

フランス語 学習

64 歳から始めた、構文解析による学習方法



2011/05/01 ~
2020/04/06

三浦 高志

本書について :

本書について :

1. 64 歳になった時、日本人は外国語をさらに習得する必要があると感じたので、まだ体が丈夫な内に、家族や親戚のために学習参考書を残してやりたいと考えて、5 か国語(イタリア語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、英語)の学習を始めた。
2. 約 1 年間、独学で 5 か国語の文法を学習してノートにまとめた。
3. 数か国語の文法書を比較すると、言語ごとに文法用語が異なる事が不便だと思った。
4. 基本的には英語の文法用語を利用し、自作の文法用語と規則を作れば、1 種類の用語と規則を理解するだけで多言語の学習を同時に進められることに気付いた。
5. 自作の文法用語と規則を用いて構文解析の例を示す書式で参考書を作成すれば、理解しやすく、多言語にも応用の効く参考書になると考えた。
6. 自作の文法用語と規則は次ページ以降に示す。
7. およそ 10 年の時間をかけて、自作の文法規則に従って文法書の例文や小説などを構文解析して、自作の文法規則の正当性を確認しながら多数の構文解析文書を作成した。
8. 作成した構文解析文書を用いて、構成要素ごとに例文を抜き出して、自作の用語および規則の例文として示す形で学習参考書を作成した。
9. 例文として引用した参考文献の記号は、[書籍記号-第?部-第??章]の形式で記述する。例えば、書籍 A の第 1 部、第 2 章であれば、[A-1-2]と記述する。第?部が無い書籍では、[A-2]のように章番号のみを記入する。

外国語を独学していると、自分の方法が正しいかどうか不安になりますが、用語と規則を自作して、多数の例文で正当性が確認できれば、独学でもなんとかやれる気がしてきます。独学者はそれぞれ自分に合った方法を試行錯誤して学習するのが良いと思います。

参考文献

[A] フランス語で読む 5 つの物語 2012 年 11 月 25 日 第 3 刷発行

著者/滝田 りら 発行者/溝口 明秀 発行所/NHK 出版

[B] 星の王子様 フランス語原書 Le Petit Prince 1969 年 8 月 25 日

ガリマール社 出版番号: 14453

[C] 異邦人 フランス語原書 L'ÉTRANGER 1967 年 9 月

ガリマール社 出版番号: 12784.

[D] La maison au toit rouge NAKAJIMA KYOKO TRADUIT DU JAPONAIS PAR

SOPHIE REFLE ÉDITIONS DU SEUIL 25, bd Romain-Rolland, Paris XIVe

原作 小さいおうち 2015 年 3 月 5 日 第 16 刷 著者 中島 京子 発行所 文芸春秋

2010 年 直木賞を受賞、2014 年 山田洋二監督により映画化。

著者略歴

著者略歴

氏名 三浦 高志

1972 年 北海道大学工学部電気工学科卒業

半導体集積回路の応用および電子回路の設計について研究

コンピュータ言語およびソフトウェアを開発

電子回路網をデジタルデータとしてパーソナルコンピュータに入力して、電子回路の動作をシミュレーションするソフトウェアを開発

アクティブフィルタの設計・周波数特性のグラフ表示・回路図データ出力をするソフトを開発

<https://www.vector.co.jp/vpack/browse/person/an008575.html>

2012 年から 5 か国語の学習を開始した。

コンピュータアプリケーションプログラムの開発では、C++コンパイラという開発ツールを使用した。C++コンパイラには、作成したプログラムが文法的に正しいかどうかを確認する構文解析部(parser)があって、プログラムに間違いがあれば指摘してくれるので、間違いを修正するのに役立っていた。この仕組みを外国語の学習に応用できないかと考えて、構文解析による学習方法を思いついた。

コンパイラの構文解析部(parser)の動作について

C++コンパイラを利用して作成するプログラムは、パソコン内ではテキストデータとして与えられます。parser はテキストデータを 1 語ずつ読み込んで、区切りの記号が現れると読み込んだ文字列がプログラムの「命令」なのか、その他の単語なのかを判断して適当な場所に格納します。

格納された単語が、関連する情報が必要な場合にはテキストデータをさらに読み進めて、情報に相当する語句を取り込んで格納します。

このようにテキストを読み進める途中で、予定していた情報が得られなかったりすると、parser は文法エラーを表示して、プログラマーにその内容を知らせます。

外国語の文章を翻訳する場合には、文の先頭から単語を読んでひとまとまりの意味を持つ語句 (we, the flower, in the garden, at night, have finished など) を文の構成要素として印を付けてから、文の最後まで同様にして構成要素を見つけて印をつけます。その後、印を付けた構成要素の意味と役割を考えて、「主語」や「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」などに分類して、相互の関連性を考慮して文全体の意味を解釈して翻訳します。

このように、外国語の翻訳と parser の動作は似ている部分があると考えました。

文の構成要素と構文解析の書式

この章は非常に重要なので、何度も読んで下さい。

文法書によると、日・伊・西・仏・独・英などの言語では異なる文法用語が使用されているが、この文書では英語の文法用語を基本として、独自解釈も交えて構文解析を行う。

「文」は「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」及び「形容詞」で構成される。
また「接続詞」や「関係代名詞」などは「文」と「文」を接続してより複雑な文を構成するために使用される。

文の構成要素と単語の品詞についておおまかに説明する。

「主語」は「動詞」の動作・作用の主体を表す「名詞・句・節」または「代名詞・句」。

「動詞」は事物の動作・作用・状態・存在などを表す。

「直接目的語」は動詞の表す動作の対象となる人・物を表す「名詞・句・節」。

「間接目的語」は動詞の表す動作によって動作主または「直接目的語」が移動または状態変化する場所または動作の目的・結果を表す「名詞・句・節」または「副詞・句・節」。

注意：英語の文法書では、「間接目的語」は「直接目的語」と共に用いられることになっているが、この文書では「間接目的語」が単独で用いられる場合がある。すなわち、「主語」「動詞」「直接目的語」と「主語」「動詞」「間接目的語」の構文がある。

「補語」は「主語」または「目的語」の性質・状態を表す「名詞」・「形容詞」・「副詞」。

「名詞」は事物の名称・状態・性質・存在などの概念を表す単語である。

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。

「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「句」は2つ以上の単語が集まって「名詞」、「形容詞」、「副詞」あるいは「動詞」の役目をするもの。それぞれ「名詞句」、「形容詞句」...などと表す。例えば、
「名詞句」は「形容詞+名詞」、「名詞+名詞」などによって作られ、
「形容詞句」は「副詞+形容詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、
「副詞句」は「副詞+副詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、
「動詞句」は「動詞+前置詞」、「動詞+副詞」、「助動詞+動詞」によって作られる。

「節」は2つ以上の単語が集まって「主語」と「動詞」を含む文を構成して、全体の中で「名詞」、「形容詞」または「副詞」の役割をする。従属節と呼ばれる。それぞれ「名詞節」、「形容詞節」および「副詞節」と表す。
2つの節が対等に結合される場合は等位節と呼ぶ。(英語で and や but で結合)

名詞・性と数

「名詞」は人または事物の名称を表す語であり、文中で「主語」、「直接目的語」、「間接目的語」または「補語」として用いられる。時には、他の「名詞」を修飾する「形容詞」として利用されたり、「時」や「場所」に関する「副詞」として利用されることがある。

「名詞」が「動詞」のように利用されて「前進！」のような命令文が作られることもある。

さらに、「名詞」として辞書に載っている単語だけでなく、「動詞」や「形容詞」または「副詞」が「名詞」的に利用されることもあるので、「名詞」の出現頻度は高い。

「代名詞」は「名詞」の代わりをする語である。代名詞を利用することで、文中に同じ単語が何度も現れるのを防いで、文を明確化することができる。

「名詞句」や「名詞節」も文中で「名詞」と同様の機能として使われる。

「名詞」は数えられる名詞「可算名詞」と数えられない名詞「不可算名詞」に分けられ、可算名詞は「普通名詞」と「集合名詞」に、不可算名詞は「固有名詞」、「物質名詞」と「抽象名詞」に分けられる。

「普通名詞」は「本」、「猫」、「机」など同じ種類の個体を多数持っているものに与えられる名称で、単数か複数かという区別を必要とする。単数の場合は「不定冠詞」か「定冠詞」を付けるのが原則である。

「集合名詞」は「委員会」、「家族」、「警察」のように人・動物・物などの集合体を指す名詞である。

「固有名詞」は「富士山」、「パリ」、「ニュートン」などのように、人・場所・事物などに固有の名称である。本来一つしかないものなので不定冠詞をつけたり、複数形にすることは原則としてない。定冠詞を付ける場合と付けない場合がある。

「物質名詞」は「空気」、「水」、「ワイン」のように物質を表す名称で、一定の形を持たず、また特別な容器を用いない限り、個々には独立して存在しない。不可算名詞なので、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

「抽象名詞」は「親切」、「愛」、「悲しみ」、「真理」のように、具体的な形を持たない抽象的な概念を示す名称である。抽象名詞も数えられないから、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

イタリア語・スペイン語・フランス語・ドイツ語などでは、「名詞」に付属する冠詞・形容詞は名詞と性・数の一致が必要となり、「名詞」に関係する「動詞」は名詞と数の一致が必要になる。

「直接目的語」と「間接目的語」

「僕は君にこの本をあげる」という文は、「主語：僕（は）」、「間接目的語：君に」、「直接目的語：この本（を）」、「動詞：あげる」という構成要素から作られている。そして、「動詞：あげる」の動作において動作の主体が操作・加工する対象となるものが「直接目的語：この本（を）」である。「間接目的語：君に」は「直接目的語」（または「主語」）の移動先（抽象的な概念の場所も含む）を表しており、動作の主体が操作・加工する対象ではない。

「直接目的語」は動作の主体が操作・加工する対象を示すと考えると、「人」や「物」を表す「名詞」類が使用されることが分かる。

「間接目的語」は「直接目的語」または「話者自身」の移動先を示す場所であると考え、場所を表す「人」や「物」または「場所を表す空間」を表す「名詞」類または「副詞」類が使用されることが分かる。参考：「私は両親に従う。」の「両親」は「両親の希望・意見などの抽象的な概念の場所」を表す「間接目的語」である。「間接目的語」が名詞・代名詞ならこれを「主語」として受動文を作れるが、副詞類なら受動文を作れない。

注意：一般の文法書では、「自動詞+前置詞+名詞」の「名詞」を前置詞の「目的語」と説明しているが、この文書では「前置詞+名詞」または「前置詞+副詞」を「間接目的語」と解釈して構文解析を進める。この方が文章を理解しやすいと判断したからである。

この方法によると、「私は学校へ行く」は自動詞の「行く」と前置詞が付いた「学校へ」が使われており、「学校へ」が「間接目的語」と構文解析されることになる。

しかし、一般の文法書の解説とは異なるので、学校の試験などでは間違いとされる恐れがあることを注意する必要がある。しかし、フランス語の文法はこの解釈に近い。

まとめ：「直接目的語」は「名詞」類が使われる。

「間接目的語」は「名詞」類または「副詞」類が使われる。

形容詞

「名詞」、「代名詞」を修飾・限定するものを「形容詞」という。「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「形容詞」類の例示：

代名詞：「私の本」、「この本」、「数冊の本」、「どんな本」の下線を付けた語句。

冠詞：「一冊の本」、「その本」の下線を付けた語句。

分詞：「眠っている赤ん坊」、「失われた時間」の下線を付けた語句。

名詞：「空軍」、「石橋」のように「名詞」＋「名詞」の語句。

形容詞句：「籠の中の鳥」の下線を付けた語句（前置詞で導かれる）。

形容詞節：「これはパリで買った指輪です」の下線を付けた語句（関係代名詞で導かれる）。

まとめ：「形容詞節」を含む「形容詞」類は「名詞」類の前後に使用される。

不定冠詞

「形容詞」類の一つである。様々な意味に使われる。

1. どれでもよい、不定の人や物の一つを指す。
2. ある具体的な一つの物（人）を指す。
3. 一つの～という意味をはっきり示す。
4. ～につきの意味を示す。
5. 或る～の意味で用いる。

話の中で初めて述べる「名詞」には不定冠詞を付けて内容を説明して、二度目以降では定冠詞を付けて使う。

定冠詞

「形容詞」類の一つである。加算名詞・不加算名詞を問わず、全ての名詞の前に付けることができ、その名詞が何らかの意味で特定されたものであることを示す。

1. 先に出た「不定冠詞+名詞」を指す場合。
2. すでに述べられた事柄に関連して特定される場合。
3. 周囲の状況からそれと分かる場合。
4. ただ一つしかないものを指す場合。
5. 最上級や唯一的な意味で限定された名詞に付ける。
6. 修飾語句によって限定される場合。
7. 楽器を代表的に指す場合

副詞

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。しかし、名詞・代名詞、句や節または文全体を修飾・限定することもある。

まとめ：「副詞」類は修飾する語句の近くに置かれるので、「文頭」、「主語」の前後、「動詞」の前後、「補語」の前後、「文末」のように、文中いたる所に使われる。

比較

「形容詞」や「副詞」は性質・様態・数量などの程度を表すが、他の物との間の程度の違いを比較・表現する場合は語形を変えてそれを示す。この語形変化を比較といい、原級、比較級、最上級の語形と慣用句がある。

補語

「補語」は文中で「主語」や「目的語」の性質・状態を補足説明する語句である。

「彼は親切だ」、「私は学生だ」など「主語+動詞+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」といって、「補語」は「主語」を補足説明している。

また、「私は彼が親切だと分かった」のように「主語+動詞+目的語+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」というが、こちらは「主語」ではなく「目的語」（二重下線部分）を補足説明している。「補語」は主に「名詞」類または「形容詞」類が使われる。

しかし「彼はパリ出身だ」、「この本はカルロスのものだ」、「このテーブルは木製だ」などの文を「～である」を表す「動詞」を使って表現すると、下線部分は「副詞句」となる。この「副詞句」も「主語」を補足説明しているので「補語」である。

参考：「私は彼が全力を尽くすことを期待している。」は「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語」の構文によって「補語」が「目的語」の動作を補足説明している。

「補語」が必要な「動詞」は「～である」、「～になる」、「～とを感じる」、「～と思われる」などの意味の「動詞」である。

まとめ：「補語」には「動詞」類、「名詞」類、「形容詞」類および「副詞」類が使用される。

動詞

「動詞」は人や様々な事物の動きや状態を述べる語である。

「主語」は「動詞」の動きを実行する主体である。

「動詞」の種類について：

完全自動詞：「主語」が「動詞」の動作を実行する。

不完全自動詞：「動詞」と「補語」によって「主語」の性質・状態を補足説明する。

完全他動詞：「主語」が「直接目的語」に対して「動詞」の動作を実行する。

間接他動詞：「動詞」と「間接目的語」で「主語」の移動先を示す。（フランス語文法）

授与動詞：「主語」が「間接目的語」に対して「直接目的語」を与える。

不完全他動詞：「目的語」の性質・状態を「補語」によって「動詞」で表現したり、「補語」で示される動作を「目的語」に対して「動詞」で表現する。

助動詞

「助動詞」は「動詞」と結びついて可能「～する事が出来る」、推量「～するかもしれない」、義務「～しなければならない」など、話し手の判断や心理を表す表現を追加する「法助動詞」とそれ自身は特に意味を持たず現在分詞・過去分詞と結びついて進行形・受動態・完了形などの時制・態を形成する助動詞がある。

疑問詞

「誰」、「何」、「どこ（場所）」、「いつ（時）」、「どちら（選択）」など文を形成する要素の一部分を話し相手に質問する時に、質問の種類を知らせるための語を「疑問詞」という。

「疑問詞」は文の中で、「主語」、「目的語」、「補語」または「副詞」類として機能するが、どの場合でも文頭におかれて、最初に質問の種類を明らかにする役目を果たす。

「疑問代名詞」、「疑問形容詞」および「疑問副詞」の3種類がある。

接続詞

「接続詞」は文中の語・句・節を接続する。

「等位接続詞」は文法上の働きが対等の関係にある語・句・節を結び付ける。

「従属接続詞」主節の一部として、全体で一つの名詞または副詞の働きをする節を導く接続詞を従属接続詞と呼ぶ。

「従属接続詞」+「節」→「従属節」となり、「従属節」が「名詞節」または「副詞節」として働くことになる。

まとめ：「語・句・節」+「等位接続詞」+「語・句・節」の形式で使用される。

「主語」+「動詞」+「従属接続詞」+「節」の形式で使用される。

関係詞

文中の「主語」、「目的語」または「補語」に対して説明を加える場合に、それを「先行詞」として、説明に適切な「関係詞」に続いて説明の「節」を置くことで、説明の行き届いた文を作ることができる。「先行詞」は「節」の中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

まとめ：「関係代名詞」は「名詞」類を修飾する「形容詞節」を導く。

「関係副詞」は「時」や「場所」を修飾する「副詞節」を導く。

前置詞

「名詞」・「代名詞」の前に置いて、それらと共に全体として一つの品詞の働きをする語。前置詞と結びついた語句の品詞によって、「形容詞句」または「副詞句」として機能する。

「形容詞句」は「名詞」と結びついて「名詞句」を構成して、文中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

「副詞句」は文全体や「動詞」・「形容詞」を修飾したり、「間接目的語」として機能する。

構文解析の書式

構文解析は文を構成要素ごとに区切りを付けて、「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」および「形容詞節」に分類して、文がどのように構成されているかを分かり易く示すことが目的である。

しかし「形容詞節」は「主語」、「目的語」などと一体化されて、「主語」または「目的語」として分類することが多い。（「形容詞節」は名詞句の一部になる）

「目的語」は必要に応じて「間接目的語」と「直接目的語」を明示する。

本文書では、日本語の文を最初に示してから、次の行に外国語の文を示す。そして、外国語の文の後ろまたは次の行に文全体の構成要素を示す。さらに、その次の行からは、各構成要素の語句ごとにその読み、語句の品詞（「動詞」の場合はその活用も表記）、日本語の意味、構成要素名を1行から3行程度のスペースを使用して表示する。

複数の語が集まって「主語」、「動詞」、「目的語」または「補語」が作られる場合には、それぞれの単語の読み、品詞、意味を表示する場合がある。この場合には、次の書式に従って表示する。

「語句」「読み」「品詞の記号」「意味」（「構成要素名」）

「品詞の記号」

名詞：男性名詞 n.m、女性名詞 n.f

代名詞：pron、pron.fのように性別を追加することがある。

形容詞：男性形容詞 adj.m 女性形容詞 adj.f

複数：pl.（名詞、代名詞と形容詞の品詞記号の前または後ろに置く）

副詞：adv、「構成要素名：修飾する語句」の形式で説明を加える。

動詞：接続法・1人称単数現在なら接・1単現のように表記、自動詞 v.i、他動詞 v.t

動詞句：否定詞+動詞、助動詞+動詞、助動詞+過去分詞、動詞+不定詞など複数の動詞関連語句は、動詞としての機能と自動詞／他動詞の区別などを示す

注意：動詞の未来、過去または完了形の場合、<「原形」の形式で示すときは原形の意味を表示するが、「原形」を示さない場合は未来、過去または完了形の意味を表示する。

接続詞：conj. 接続詞は単語そのものを表示する

前置詞：prep

複数の単語によって名詞句などが作られる場合には、複数の単語の品詞を表示してから、→「複数単語の語句」、品詞記号、意味、構成要素名の形式で表示する。

数字は読みのスペルをカッコ内に表記した。

構成要素には「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」、「形容詞」のように下線を追加した。「補語」、「副詞」および「形容詞」は同じ下線である。また、「間接目的語」と「直接目的語」も同じ下線である。「動詞句」は「動詞」と同じ下線である。

構文解析の例

2 週間の間、風邪のために喉が痛い。

J'ai mal à la gorge par le rhume pendant deux semaines.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

ai エ 1 単現 < avoir v.t (痛みなどが) ある 「動詞」

mal à la gorge マラ・ラ・ゴルジュ n.m 喉の辺りに痛みを 「目的語」

par le rhume パール・ル・リューム adv. 風邪のために

pendant deux semaines ホントゥン・トゥ・スメヌ adv. 2 週間

→ par le rhume pendant deux semaines 風邪で 2 週間 「副詞句 : ai」

今日はイタリア語とスペイン語で日記を書くために参考書を 2 冊買った。

Aujourd'hui j'ai acheté 2 (deux) livres à consulter pour tenir un journal en italien et en espagnol.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Aujourd'hui オジュルトゥイ adv. 今日 「副詞」

ai acheté エ・アシュテ 1 単現・完了形 v.t 買った 「動詞句」

2 livres à consulter トゥ・リーヴル・サ・コンシルテ n.m pl. 2 冊の参考書 「目的語」

pour tenir un journal en italien et en espagnol

プール・トゥニール・アン・ジュルナル・オニタリアン・エ・オネスパギョール

adv. イタリア語とスペイン語で日記をつけるために 「副詞句 : acheté」

山栗が 430g とナスが 2 本採れた。

Je ramassais 430 (quatre cents trente) gramme de châtaigne sauvage et récoltais 2 (deux) aubergines.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「動詞」「目的語」

ramassais ラマセ 1 単半 < ramasser v.t 拾い集める 「動詞」

430 gramme de châtaigne sauvage クアトル・ソン・トロント・グラム・トゥ・シャテーニュ・ソウ・アーシュ

n.f 山栗を 430g 「目的語」

et エ conj. それから

récoltais レコルテ 1 単半 < récolter v.t 収穫する 「動詞」

2 aubergines トゥ・ゾベルジヌ n.f pl. 茄子を 2 個 「目的語」

文の構成要素と構文解析の書式－終わり

目次

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 本書について | 2 |
| 著者略歴 | 3 |
| 文の構成要素と構文解析の書式 | 4 |
| 名詞・性と数 | 5 |
| 「直接目的語」と「間接目的語」 | 6 |
| 形容詞 | 6 |
| 不定冠詞 | 7 |
| 定冠詞 | 7 |
| 副詞 | 7 |
| 比較 | 7 |
| 補語 | 8 |
| 動詞 | 8 |
| 助動詞 | 8 |
| 疑問詞 | 9 |
| 接続詞 | 9 |
| 関係詞 | 9 |
| 前置詞 | 9 |
| 構文解析の書式 | 10 |
| 文の構成要素と構文解析の書式－終わり | 11 |
| 目次 | 13 |
| 目次終わり | 16 |
| 文の構成要素 | 17 |
| 構成要素分割 | 18 |
| 「主語」の例文 | 18 |
| 「目的語」の例文 | 46 |
| 船荷証券（ふなにしょうけん） <i>connaissances</i> : | 65 |
| 疥癬 <i>かいせん</i> : | 69 |
| 絶対分詞構文 : | 71 |
| ムーア人 : | 80 |
| 「補語」の例文 | 81 |
| ギニョール <i>guignol</i> : | 107 |
| 「副詞」の例文 | 112 |
| 条件法 過去 : 語調緩和 | 161 |

目次

| | |
|-------------------------------|-----|
| 動詞の利用形態について | 172 |
| 法と時制 | 172 |
| 直説法 | 172 |
| 接続法 | 172 |
| 条件法 | 172 |
| 命令法 | 172 |
| 動詞の活用例 | 173 |
| 動詞の用法 | 180 |
| 直説法・現在の用法 | 180 |
| 直説法・複合過去（現在完了）の用法 | 180 |
| 直説法・半過去の用法 | 180 |
| 直説法・大過去（半過去完了）の用法 | 180 |
| 直説法・単純過去（過去）の用法 | 180 |
| 直説法・前過去（過去完了）の用法 | 180 |
| 直説法・単純未来（未来）の用法 | 181 |
| 直説法・前未来（未来完了）の用法 | 181 |
| 接続法・現在の用法 | 181 |
| 接続法・過去（現在完了）の用法 | 181 |
| 接続法・半過去の用法 | 182 |
| 接続法・大過去（半過去完了）の用法 | 182 |
| 条件法・現在の用法（過去未来） | 182 |
| 条件法・過去（現在完了）の用法（過去未来完了） | 182 |
| 命令法 | 184 |
| 使役・放任・知覚動詞 | 185 |
| 「動詞」の例文 | 187 |
| 直説法・現在と直説法現在完了 | 187 |
| 直説法・半過去と半過去完了 | 218 |
| 直説法・過去と過去完了 | 248 |
| 直説法・未来と未来完了 | 271 |
| 接続法・現在と現在完了 | 295 |
| 接続法・半過去と半過去完了 | 319 |
| 条件法・現在と過去 | 334 |
| 命令法 | 356 |
| 使役・放任・知覚動詞 | 384 |
| 構文解析の例 短編と小説の一部分など | 429 |
| | 429 |

目次

| | |
|---------------------------------------|-----|
| [A-1] La Belle et la Bête 美女と野獣 | 429 |
| [B-1] 星の王子様 I..... | 471 |
| [B-2] 星の王子様 II | 483 |
| [C-1-1] 異邦人 I..... | 503 |
| [D-1-1] 小さいうち 1. | 619 |
| [D-1-2] 小さいうち 2. | 629 |
| 注釈 1. Petit Chaperon noir..... | 637 |
| 日記の例文 | 647 |
| 東北地方太平洋沖地震発生 11/03/2011 晴れ | 647 |
| 東北地方太平洋沖地震翌日 12/03/2011 晴れ | 650 |
| 東北地方太平洋沖地震発生後 13/03/2011～ | 654 |
| 16/09/2012 日曜日 曇り | 657 |
| 17/09/2012 月曜日 曇り | 659 |
| 18/09/2012 火曜日 晴れ | 661 |
| 19/09/2012 水曜日 雨のち曇り | 664 |
| 終わり | 668 |

目次

目次終わり

文の構成要素

文の構成要素

「文」は「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」及び「形容詞」などの構成要素で構成される。また、これらの構成要素は「名詞」、「形容詞」、「副詞」、「前置詞」、「動詞」、「接続詞」などの単語によって構成される。

文の構成要素について

「主語」は「動詞」の動作・作用の主体を表す「名詞・句・節」または「代名詞・句」。

「動詞」は「主語」の動作・作用・状態・存在などを表す。

「直接目的語」は動詞の表す動作の対象となる人・物を表す「名詞・句・節」。

「間接目的語」は動詞の表す動作によって動作主または「直接目的語」が移動または状態変化する場所または動作の目的・結果を表す「名詞・句・節」または「副詞・句・節」。

注意：英語の文法書では、「間接目的語」は「直接目的語」と共に用いられることになっているが、この文書では「間接目的語」が単独で用いられる場合がある。すなわち、

「主語」「動詞」「直接目的語」と「主語」「動詞」「間接目的語」の構文がある。

「補語」は「主語」または「目的語」の性質・状態・動作を表す名詞・形容詞・副詞・動詞。

「副詞」は空間的な位置、順序、時間、様態や条件・原因・理由などを説明する。

単語の品詞について

「名詞」は事物の名称・状態・性質・存在などの概念を表す単語である。

「動詞」は事物の動作・作用・状態・存在などを表す。

「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。

「句」と「節」

「句」は2つ以上の単語が集まって「名詞」、「形容詞」、「副詞」あるいは「動詞」の役目をするもの。それぞれ「名詞句」、「形容詞句」...などと表す。例えば、

「名詞句」は「形容詞+名詞」、「名詞+名詞」などによって作られ、

「形容詞句」は「副詞+形容詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、

「副詞句」は「副詞+副詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、

「動詞句」は「動詞+前置詞」、「動詞+副詞」、「助動詞+動詞」によって作られる。

「節」は2つ以上の単語が集まって「主語」と「動詞」を含む文を構成して、

全体の中で「名詞」、「形容詞」または「副詞」の役割をする。従属節と呼ばれる。

それぞれ「名詞節」、「形容詞節」および「副詞節」と表す。

2つの節が対等に結合される場合は等位節と呼ぶ。(英語で **and** や **but** で結合)

文の構成要素

構成要素分割

文の意味を理解するには、文の先頭から単語を読み、どこまでが文の構成要素になっているかを判断しながら、文を次々に構成要素に分割してから、各構成要素の中に含まれる単語に適切な意味を当てはめながら、文全体の意味をまとめる作業を行う。

この作業は、学習開始当初は非常に時間がかかるかもしれないが、「構成要素」の様々な出現形態の実例を見て、記憶を集積することで、短時間で実行できるようになると考える。本書では「構文要素」の様々な出現形態を示した。言語学習において疑問が生じた場合に、解決の手助けになれば幸いと考える。

「主語」の例文

主語は動詞の動作・作用の主体を表す「名詞・句・節」または「代名詞・句」である。主語が明示されない文の場合には、「動詞」の活用形から推察して、適切な主語を当てはめる必要がある。主語が代名詞の場合にも、代名詞の性と数に応じて適切な主語を当てはめる必要がある。

昔々あるところに、町と田舎に家を一軒ずつ同時に持っている金持ちの男がいました。

[A-2]

Il était une fois un homme riche qui possédait à la fois une maison à la ville et une à la campagne. 「動詞句」「主語」「形容詞節」

Il était une fois イレ・ユヌ・フワ 3 単半 v.i 昔々あるところに～がいました 「動詞句」

un homme riche ア・ノム・リッシュ n.m 金持ちの男が 「主語」

qui キ pron ～する 「形容詞節」

possédait ポセザ 3 単半(posséder)v.t 所有していた 「動詞」

à la fois ア・ラ・フワ adv. 同時に 「副詞句」

une maison à la ville ユヌ・メゾン・ア・ラ・ヴィル n.f 町に家を一軒 「目的語」

et エ conj. そして

une à la campagne. ユヌ・ア・ラ・コンパニー n.f 田舎に家を一軒 「目的語」

豪華な四輪馬車は金箔が貼られていたし、贅沢な家具や食器は金製か銀製だった。 [A-2]

Les carrosses qu'il avait étaient dorés, les meubles luxueux et la vaisselle était d'or ou d'argent. 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「補語」

Les carrosses レ・キャロス pl.n.m 豪華な四輪馬車は 「主語」

qu' ク pron ～する 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t 持っていた 「動詞」

étaient エテ 3 複半(être)v.i ～だった 「動詞」

文の構成要素

| | |
|---|------|
| dorés, ドレ adj. 金色、金箔を貼った | 「補語」 |
| les meubles luxueux レ・ムブル・リュクシュ pl.n.m 贅沢な家具は | 「主語」 |
| meuble n.m 家具 luxueux adj. 贅沢な | |
| et エ conj. そして | |
| la vaisselle ラ・ヴェッセル n.f 食器は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| d'or ou d'argent. トール・ウ・ダルジョン adj. 金製か銀製 | 「補語」 |
| 「主語」が複数並ぶときは、「動詞」は最後の「主語」と性・数一致する | |

彼は誰もが羨むような贅沢な暮らしをしていました。しかし、彼は青いひげを生やしているという唯一の欠点がありました。[A-2]

| | |
|---|---------------------------------|
| <u>Il vivait dans une abondance que tout le monde enviait ; seulement, il avait le malheur d'avoir une barbe bleue.</u> | 「主語」「動詞」「副詞句」；「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 |
| Il il pron 彼は | 「主語」 |
| vivait ヴィヴェ 3 単半(vivre)v.i 暮らしていた、住んでいた | 「動詞」 |
| dans une abondance ドン・ジユヌ・アボンソンス adv. 豊かさの中に | 「副詞句」 |
| que ク pron ~する | 「形容詞節」 |
| tout le monde トゥル・モンド pron 誰もが | 「主語」 |
| enviait ; ヴンヴィエ 3 単半(envier)v.t うらやむ | 「動詞」 |
| seulement, スルモン adv. ただ一つ、しかし | 「副詞」 |
| il il pron 彼は | 「主語」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t あった | 「動詞」 |
| le malheur ル・マルール n.m 不都合、欠点 | 「目的語」 |
| d'avoir ダヴィール 不定詞(avoir)v.t (心身の状態が) ~である | 「形容詞句」 |
| une barbe bleue. ユヌ・バルブ・ブル n.f 青いひげ | 「目的語」 |

ある日、青ひげは町の隣人たちを田舎の屋敷に招待しました。そして近所のご婦人とその娘たち、そして娘の友人たちや近く of 若者たちが集まりました。[A-2]

| | |
|--|-----------------------------------|
| <u>Un jour, la Barbe Bleue invita ses voisins de ville dans sa maison de campagne : sa voisine avec ses fille, ainsi que leurs amies et des jeunes voisins se réunirent.</u> | 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」：「主語」「動詞句」 |
| Un jour, アン・ジュール n.m ある日 | 「副詞句」 |
| la Barbe Bleue ラ・バルブ・ブル n.f 青ひげは | 「主語」 |
| invita アンヴィタ 3 単過(inviter)v.t 招待した | 「動詞」 |
| ses voisins de ville セ・ヴワゾン・トゥ・ヴィル pl.n. 町の隣人たちを | 「目的語」 |
| dans sa maison de campagne : ドン・サ・メゾン・トゥ・コンパニニュ | |

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| adv. 田舎の屋敷に | 「副詞句」 |
| sa voisine avec ses fille , サ・ウゝ わザン・アウゝェッキ・セ・フィユ | |
| n.f 近所のご婦人とその娘たちが | 「主語」 |
| ainsi que アンシ・ク adv. 同様に | 「副詞句」 |
| leurs amies レール・アミ pl.n.f 娘の友人たち | 「主語」 |
| et エ conj. そして | |
| des jeunes voisins デ・ジュンヌ・ウゝ わザン pl.n 近くの若者たち | 「主語」 |
| se réunirent. ス・レユニール 3 複過(se réunir)v.pr 集まった | 「動詞句」 |

「しかし、小部屋に入ることは禁止する。繰り返すが、その扉を開けてはいけない。」

[A-2]

Mais je vous interdis d'entrer dans le cabinet. Je vous le répète, n'essayez pas d'ouvrir cette porte ...》

《Mais 「主語」「目的語」「動詞」「補語」

「主語」「間接目的語」「直接目的語」「動詞」, 「動詞句」「目的語」》

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron わたしは 「主語」

vous ウゝ pron 君に 「目的語」

interdis アンテルディ 1 単現(interdire)v.t (de+不定詞 ～すること) を禁止する 「動詞」

d'entrer ドントレ 不定詞 v.i 入る 「補語」

dans le cabinet. ドン・ル・キャビネ adv. 小部屋の中に 「副詞句」

Je ジュ pron 私は 「主語」

vous ウゝ pron 君に 「間接目的語」

le ル pron そのことを 「直接目的語」

répète, レペートゥ 1 単現(répéter)v.t 繰り返して言う 「動詞」

n'essayez pas d'ouvrir ネッセイエ・パ・トウガリール 命・2 複現・否定(essayer de+不定詞)

v.t (禁止) 開けようとするな 「動詞句」

cette porte セット・ポルト n.f その扉を 「目的語」

彼女はとても我慢できないほど好奇心が沸いたので、隠し階段を通して友人たちから離れて、地階まで階段を駆け下りた。[A-2]

Elle était tellement curieuse et impatiente qu'elle quitta discrètement ses amies par un escalier secret, et dégringola les marches jusqu'en bas.

「主語」「動詞」「補語」 qu' 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

et 「動詞」「目的語」「副詞句」

Elle エル pron 彼女は 「主語」

文の構成要素

| | | |
|----------------------------------|----------------------------|-------|
| était エ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| tellement curieuse et impatiente | テルモン・キュリウーズ・エ・アンパシオン | |
| adj. | とても我慢できないほど好奇心が沸いた | 「補語」 |
| curieux キュリウ | adj. 好奇心の強い | |
| impatient アンパシオン | adj. 待ちきれない | |
| qu' ク | conj. それで～する | |
| elle エル | pron 彼女は | 「主語」 |
| quitta キタ | 3 単過(quiter)v.t (人と) 離れた | 「動詞」 |
| discrètement ディスクレトモン | adv. こっそりと | 「副詞」 |
| ses amies セ・ザミ | pl.n.f 友人たち | 「目的語」 |
| par un escalier secret, | パール・アン・エスカリエ・スクレ | |
| adv. | 隠し階段を通して | 「副詞句」 |
| et エ | conj. そして | |
| dégringola デグラングラ | 3 単過(dégringoler)v.t 駆け降りた | 「動詞」 |
| les marches レ・マルシュ | pl.n.f 階段を | 「目的語」 |
| jusqu'en bas. | ジュスコ・ハ | |
| adv. | 地階まで | 「副詞句」 |

それから部屋を見回すと、恐怖とともに壁一面にくくりつけられた女性の体が見えた。それは青ひげが結婚して次々に喉を切って殺した婦人たちでした。[A-2]

Puis, en parcourant du regard la chambre, elle découvre avec terreur des corps de femmes attachés tout le long du mur : il s'agissait des femme que la Barbe Bleue avait épousées et égorgées l'une après l'autre.

| | |
|--|---------|
| 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」: 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「形容詞節」 | |
| Puis, ピュイ adv. それから | 「副詞」 |
| en +現在分詞 オン adv. ～して | 「副詞句」 |
| parcourant パルクロン 現在分詞(parcourir)v.t 見回す | 「動詞」 |
| du regard シュ・ルガル adv. 目で、視線で | 「副詞句」 |
| la chambre, ラ・シヨンプル n.f 部屋を | 「目的語」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| découvrit テクヴリ 3 単過(découvrir)v.t 見つけた | 「動詞」 |
| avec terreur アヴェ・エッキ・テレル adv. 恐怖とともに | 「副詞句」 |
| des corps de femmes テ・コール・トゥ・ファム pl.n.m 女性の体 | 「目的語」 |
| attachés アタシェ adj. くくりつけられた | 「形容詞句」 |
| tout le long du mur: トゥ・ル・ロン・ジュ・ミュール adv. 壁一面に | 「副詞句」 |
| il イル pron それは | 「主語」 |
| s'agissait サグセ 3 単半(s'agir)v.pr (de) に関わることだった | 「動詞句」 |
| des femme テ・ファム adv.(de les femme) 女性たちに | 「間接目的語」 |
| que ク pron ～する | 「形容詞節」 |

文の構成要素

la Barbe Bleue ラ・バルブ・ブル **n.f** 青ひげが 「主語」
 avait épousées アヴ・ェ・エプ・セ 3 単半・完了形.pl.f(epouser)v.t 結婚した 「動詞句」
 et エ conj. そして
 égorgées エゴルジェ 3 単半・完了形.pl.f(égorger)v.t 喉を切って殺した 「動詞句」
 l'une après l'autre. リュヌ・アプレ・ロートル adv. 次々に 「副詞句」

「それじゃあ、お前がそんなにあの部屋に入りたいのなら、あの部屋に戻るがいいさ！そうすれば、お前があそこで見た女たちと一緒に居られるだろう！」[A-2]

Eh bien, si vous voulez tant entrer dans cette chambre, vous retournerez! Et vous prendrez place parmi ces femmes que vous y avez vues!》

《「間投」, 「副詞節」, 「動詞句」 | Et 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」》

Eh bien, エ・ビヤン int. それじゃあ 「間投」
 si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
vous ヴ pron お前が 「主語」
 voulez tant entrer ヴレ・タン・オントレ 2 複現・願望(vouloir+不定詞+tant)
 v.i そんなに入りたい 「動詞句」
 dans cette chambre, トン・セツ・シヨンプル adv. あの部屋に 「副詞句」
 vous retournerez! ヴ・ルトルネ 命・2 複現(se retourner)
 v.pr あの部屋に戻るがいいさ！ 「動詞句」
 Et エ conj. そして、そうすれば
vous ヴ pron お前は 「主語」
 prendrez プロントゥレ 2 複未(prendre)v.t 取るだろう 「動詞」
 place プラス n.f 席を 「目的語」
 parmi パルミ adv. ～の中で、～に混ざって 「副詞句」
 ces femmes セ・ファミ あの女たち 「目的語」
 que ク pron ～する 「形容詞節」
vous ヴ pron お前が 「主語」
 y イ adv. あそこで 「副詞」
 avez vues!》 アヴ・ェ・グユ 2 複現・完了形 pl.f(voir)v.t 見た 「動詞句」
 vu が ces femmes に性・数一致して vues になる

こうして、僕は6年前、サハラ砂漠での故障まで、本心で話せる人もなく、一人で暮らしていた。僕のエンジンの中で何かが壊れたのだった。[B-2]

J'ai ainsi vécu seul, sans personne avec qui parler véritablement, jusqu'à une panne dans le désert du Sahara, il y a six ans. Quelque chose s'était cassé dans mon moteur.

「主語」「動詞句」「補語」, 「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai ainsi vécu エ・アンシ・ヴ'ェキュ 1 単現・完了形(vivre)v.i それで暮らしていた 「動詞句」
seul スル adj. 一人の (状態で) 「補語」
sans ソン prep 〜のない 「副詞句」
personne ペルソヌ n.f 人 「目的語」
avec qui アヴ'ェッキ adj. その人と 「形容詞節」
parler véritablement パル・ヴァ'ェリタブ'ルモン v.i 本心で話す 「動詞句」

→ 本心で話す相手もなく

jusqu'à ジュスカ prep 〜まで(jusque) 「副詞句」

une panne ユンス・パンヌ n.f 故障 「目的語」

dans le désert du Sahara トン・ル・デゼール・ジュ・サハラ adv. サハラ砂漠での 「副詞句」

il y a six ans イリ・ア・シ・ザン adv. 6 年前 「副詞句」

→ 6 年前、サハラ砂漠での故障まで

Quelque chose s'était cassé dans mon moteur.

Quelque chose ケルク・ショース n.f 何かが 「主語」

s'était cassé セタ・カセ 3 単半・完了形(se casser)v.pr 壊れた 「動詞句」

再帰動詞の完了形では、再帰代名詞が助動詞(être)の前に置かれる

dans mon moteur トン・モン・モテール adv. 私のエンジンの中で 「副詞句」

機関士も乗客もいなかったもので、僕は難しい修理を一人で成し遂げようと準備した。

[B-2]

Et comme je n'avais avec moi ni mécanicien, ni passagers, je me préparai à essayer de réussir, tout seul, une réparation difficile.

Et 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Et エ conj. そして

comme コム conj. 〜なので 「副詞節」

je ジュ pron 私は 「主語」

n'avais ナヴ'ェ 1 単半・否定(avoir)v.t なかった 「動詞句」

avec moi アヴ'ェキムわ adv. 私と一緒に 「副詞句」

ni mécanicien, ni passagers ニ・メカニシヤン・ニ・パサジ'ェ

n. 整備士も乗客も〜ない 「目的語」

文の構成要素

→僕と一緒に整備士も乗客もいなかったので

me préparai à essayer de réussir ム・プ レパレ・ア・エッセ・トゥ・レイシール 1 単過・準備(se préparer)

v.t うまく成し遂げようと準備した 「動詞句」

essayer de+不定詞 エッセ・トゥ ~しようと試みる réussir レシール v.i 成功する

tout seul トゥ・スル adv. 一人で 「副詞句」

une réparation difficile エヌ・レパ ラシオン・ディフィシル n.f 難しい修理を 「目的語」

それはぼくにとっては生か死かの問題であった。一週間分の飲み水が、やっとあった。

[B-2]

C'était pour moi une question de vie ou de mort. J'avais à peine de l'eau à boire pour huit jours. 「主語」「動詞」「副詞句」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

C' ス pron これは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

pour moi プール・ムわ adv. 自分にとって 「副詞句」

une question de vie ou de mort エヌ・クエスチョン・トゥ・ヴィー・ウ・トゥ・モール

n.f 生きるか死ぬかの問題 「補語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t 持っていた 「動詞」

à peine de l'eau à boire pour huit jours ア・ペーヌ・トゥ・ロ・ア・ブ わ・ル・プール・ユイト・ジュール

n.f せいぜい一週間分の飲み水しか~ない 「目的語」

à peine de ア・ペーヌ・トゥ adj. せいぜい~の à boire ア・ブ わ・ル adj. 飲むための

pour huit jours プール・ユイト・ジュール adv. 一週間の間 (数え始めの日から8日で一週間)

だから、第一日目の晩、僕は人の住んでいるあらゆる地域から千マイルも離れた砂の上で眠った。[B-2]

Le premier soir je me suis donc endormi sur le sable à mille milles de toute terre habitée. 「主語」「動詞」「補語」

Le premier soir ル・プレミエスワール n.m 第一日目の晩 「副詞句」

me suis donc endormi ム・シュイ・トン・オントルミ 1 単現・完了形(s'endormir+donc)

v.pr だから、僕は眠った 「動詞句」

sur le sable シュール・ル・サブル adv. 砂の上で 「副詞句」

à mille milles de toute terre habitée ア・ミル・ミル・トゥ・トゥット・テール・アビテ

adv. 人が住む全ての土地から千マイル離れた 「副詞句」

à mille milles ア・ミル・ミル adv. 千マイル離れた

de toute terre トゥ・トゥット・テール adv. 全ての土地から

habitée アビテ adj.f 人が住んでいる (terre に性・数一致)

大海をさまよう救命ボートに乗った人よりも、はるかに孤立無援な状態だった。[B-2]

J'étais bien plus isolé qu'un naufragé sur un radeau au milieu de l'océan.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エ 1 単半(être)v.i 〜だった

「動詞」

bien plus isolé ビヤン・プリュ・イツレ adj. もっと孤立した

「補語」

qu'un naufragé カン・ノフラジェ adv. 遭難者よりも

「副詞句」

sur un radeau シュール・アン・ラト adv. 救命ボート（いかだ）の上にいる

「副詞句」

au milieu de l'océan オ・ミリュ・ドゥ・オセアン adv. 大海の真ん中の

「副詞句」

milieu ミリュ n.m 真ん中 océan オセアン n.m 大海

だから、夜明けに、おかしい可愛らしい声が僕を目覚めさせた時の僕の驚きを、君達は想像できるよね。[B-2]

Alors vous imaginez ma surprise, au lever du jour, quand une drôle de petite voix m'a réveillé.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞句」「副詞節」

Alors アー adv. (接続詞的) だから

「副詞」

vous ヴ pron 君たちは

「主語」

imaginez イマジネ 2 複現(imaginer)v.t 想像する (だろう)

「動詞」

ma surprise マ・シュルプ・リース n.f 僕の驚きを

「目的語」

au lever du jour オ・ルヴ・エ・ジュ・ジュール adv. 夜明けに

「副詞句」

quand コン conj. 〜するとき (〜したならば)

「副詞節」

une drôle de petite voix エヌ・ド・ロールト・ウ・プ・ティット・ウ・わ

n.f おかしい可愛らしい声が

「主語」

un(e) drôle de アン(エヌ)・ド・ロールト・ウ adj. 奇妙な〜、おかしい〜

petit(e) プ・ティ(ット) adj. 可愛い、いとしい、小さい

m' ム pron 僕を

「目的語」

a réveillé ア・レヴ・エイエ 3 単現・完了形(réveiller)v.t 起こした

「動詞句」

だから、夜明けに、おかしい可愛らしい声が僕を目覚めさせた時の僕の驚きを、君達は想像できるよね。[B-2]

Alors vous imaginez ma surprise, au lever du jour, quand une drôle de petite voix m'a réveillé.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞句」「副詞節」

Alors アー adv. (接続詞的) だから

「副詞」

vous ヴ pron 君たちは

「主語」

imaginez イマジネ 2 複現(imaginer)v.t 想像する (だろう)

「動詞」

文の構成要素

| | | | |
|--------------------------|--------------------|-----------------------------|-------|
| ma surprise | マ・シュルプ・リース n.f | 僕の驚きを | 「目的語」 |
| au lever du jour | オ・ルヴ・エ・ジュ・ジュール | adv. 夜明けに | 「副詞句」 |
| quand | コン conj. | ～するとき (～したならば) | 「副詞節」 |
| une drôle de petite voix | ユヌ・ド・ロールトゥ・プティット・ヴ | n.f おかしな可愛らしい声が | 「主語」 |
| un(e) drôle de | アン(ユヌ)・ド・ロールトゥ | adj. 奇妙な～、おかしな～ | |
| petit(e) | プティット | adj. 可愛い、いとしい、小さい | |
| m' ム | pron | 僕を | 「目的語」 |
| a réveillé | ア・レヴ・エイエ | 3 単現・完了形(réveiller)v.t 起こした | 「動詞句」 |

「どうか... 僕におとなしい羊の絵を描いて！」 [B-2]

《S'il vous plaît ... dessine-moi un mouton!

》「副詞節」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

| | | | |
|--------------------------|---------|-----------------------------|---------|
| S' | シ conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| il | イル pron | それが (非人称主語) | 「主語」 |
| vous | ヴ pron | あなたに | 「間接目的語」 |
| plaît | プレ | 3 単現(plaire)v.i 気に入る | 「動詞」 |
| → もしあなたの気に入れば、済みませんが、どうか | | | |
| dessine | デシ | 命・3 単現(dessiner)v.t 描いてください | 「動詞」 |
| moi | ム | adv. 私に | 「間接目的語」 |
| un mouton | アン・ムトン | n.m (去勢した) おとなしい羊を | 「直接目的語」 |

僕は、さながら雷に打たれでもしたみたいに、飛び起きた。 [B-2]

J'ai sauté sur mes pieds comme si j'avais été frappé par la foudre.

「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

| | | | |
|------------------|-------------|----------------------------|-------|
| J' | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai sauté | エイテ | 1 単現・完了形(sauter)v.i 飛びあがった | 「動詞句」 |
| sur mes pieds | シュール・メ・ピエ | adv. 起きて、立って | 「副詞句」 |
| → 飛び起きた | | | |
| comme si | コム・シ conj. | まるで～かのように | 「副詞節」 |
| j' | ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| avais été frappé | アヴ・エ・セテ・フラベ | 1 単半・完了形・受動(frapper) | |
| | v.t | 打たれた | 「動詞句」 |
| par la foudre | パール・ラ・フトゥール | adv. 雷に | 「副詞句」 |

目を良くこすった。辺りをよく見た。[B-2]

J'ai bien frotté mes yeux. J'ai bien regardé.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai bien frotté エ・ビヤン・フロテ 1 単現・完了形(frotter)v.t よくこすった 「動詞句」
 mes yeux メ・ジュー pl.n.m 両目を 「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai bien regardé エ・ビヤン・ルギヤルテ 1 単現・完了形(regarder)v.t よく見まわした 「動詞句」

すると全く不思議な男の子が、真剣に僕を見つめているのが見えた。[B-2]

Et j'ai vu un petit bonhomme tout à fait extraordinaire qui me considérait gravement.

Et 「主語」「動詞句」「目的語」

Et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形(voir)v.t 見えた 「動詞句」
 un petit bonhomme アン・プティ・ボンム n.m 男の子が 「目的語」
 tout à fait extraordinaire トウ・タ・フェ・エクストラオルディネール adj. 全く不思議な 「形容詞句」
 qui キ conj. それは～する 「形容詞節」
 me ム pron 私を 「目的語」
 considérait コンシテレ 3 単半(considérer)v.t 見つめていた 「動詞」
 gravement グラヴァモン adv. 真剣に 「副詞」

六歳の時、大人たちによって絵描きのキャリアをくじかれてしまったので、僕は中に見える
 ボア大蛇と中に見えないボア大蛇を描く以外には、絵の描き方を何も学んでいなかった。

[B-2]

J'avais été découragé dans ma carrière de peintre par les grandes personnes, à l'âge de six ans, et je n'avais rien appris à dessiner, sauf les boas fermés et les boas ouverts.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais été découragé アヴァエ・ゼテ・テクラジエ 1 単半・完了形・受動(décourager)
 v.t (意気込みを) くじかれた 「動詞句」
 dans ma carrière de peintre ドン・マ・キャリエール・トゥ・パントル
 adv. 僕の絵描きという職業に対して 「間接目的語」
 par les grandes personnes パール・レ・グロントゥ・ペルソヌ adv. 大人の人たちによって 「副詞句」
 à l'âge de six ans ア・ラージュ・トゥ・シ・ザン adv. 6歳の年に 「副詞句」
 et エ conj. それで

文の構成要素

je ジェ pron 僕は 「主語」
 n'avais rien appris à dessiner ナヴェ・リヤ・ナプリ・ア・デシネ 1 単半・完了形(apprendre)
 v.t 絵の描き方を何も習わなかった 「動詞句」
 sauf les boas fermés et les boas ouverts ソフ・レ・ボア・フェルメ・エ・レ・ボア・ウヴェール
 adv. 中の見えないボア大蛇と中の見えるボア大蛇は別として 「副詞句」

さて、その男の子は、道に迷っているようには見えないし、疲れ切っているようにも、死ぬほどお腹がすいているようにも、死ぬほど喉が渴いているようにも、死ぬほど怖がっているようにも僕には見えない。[B-2]

Or mon petit bonhomme ne me semblait ni égare, ni mort de fatigue, ni mort de faim, ni mort de soif, ni mort de peur. Or 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「補語」
 Or オール conj. さて
 mon petit bonhomme モン・プティ・ボンム n.m その少年は 「主語」
 ne ... semblait ス...ソブレ 3 単半(sembler)
 v.i (à qn 人には) ~のようには見えなかった 「動詞句」
 me ム pron 私には 「間接目的語」
 ni égare, ni mort de fatigue ニ・エガレ・ニ・モール・トウ・ファティグ
 adj. 道に迷った風にも、疲れて死にそうな風にも~ない 「補語」
 ni mort de faim, ni mort de soif, ni mort de peur
 ニ・モール・トウ・ファム・ニ・モール・トウ・スワフ・ニ・モール・トウ・ペール adj. 死ぬほど空腹な風にも、死ぬほど喉が渴いている風にも、死ぬほど怖がっている風にも 「補語」
 ne me semblait 動詞の否定は ne、補語や目的語の連続否定は ni を使用する。

人が住むすべての地域から、千マイルも離れていて、その上、死の危険にさらされている時、羊の絵を描くなどということが、どんなに馬鹿げているように見えようと、僕はポケットから一枚の紙と万年筆を取り出した。[B-2]

Aussi absurde que cela me semblât à mille milles de tous les endroits habités et en danger de mort, je sortis de ma poche une feuille de papier et un stylographe.
 「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」
 Aussi 形容詞 que + 接続法 どんなに~であっても 「副詞節」
 Aussi オシ adv. どれほど 「副詞」
 absurde アプシュルト adj. 馬鹿げた 「補語」
 que ク conj. ~ということ 「形容詞節」
 cela スラ pron これが (羊の絵を描く事) 「主語」
 me ム pron 私に 「間接目的語」
 semblât ソブレ 接・3 単半(sembler)v.i 見えても 「動詞」

文の構成要素

| | | |
|---|------------------------------|-----------------------|
| à mille milles de tous les endroits habités | ア・ミル・ミル・トゥ・トウ・レ・オント・ロワ・アビテ | |
| adv. 人が住む地域から千マイルも離れて | | 「副詞句」 |
| et en danger de mort | エ・オン・ドンジエ・トゥ・モール | |
| adv. そして死の危険にさらされて | | 「副詞句」 |
| je | ジュ | pron 僕は |
| | | 「主語」 |
| sortis | ソルティ | 1 単過(sortir)v.t 取り出した |
| | | 「動詞」 |
| de ma poche | トゥ・マ・ポッシュ | adv. ポケットから |
| | | 「副詞句」 |
| une feuille de papier et un stylographe | ユンス・フイエ・トゥ・パ・ピエ・エ・アン・スティログラフ | |
| pl.n. 一枚の紙と万年筆を | | 「目的語」 |

ボア大蛇。それはすごく危険なんだ。それに象、それはすごく場所ふさぎだよ。[B-2]

Un boa c'est très dangereux, et un éléphant c'est très encombrant.

| | | |
|-----------------|------------|------------------------------|
| | | 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞」「補語」 |
| Un boa c' | アン・ブ・ワ・ス | n.m ボア大蛇、それは |
| | | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i ~である |
| | | 「動詞」 |
| très dangereux | トレ・ドンジユール | adj. とても危険な |
| | | 「補語」 |
| et | エ | conj. そして |
| un éléphant c' | エン・エレフォン・ス | n.m 象、それは |
| | | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i ~である |
| | | 「動詞」 |
| très encombrant | トレ・オンコンブラン | adj. とても場所ふさぎの |
| | | 「補語」 |

「僕が欲しかったのは、まったくこんなのだったのさ！この羊には、草がうんと必要だと思う？」[B-2]

《C'est tout à fait comme ça que je le voulais! Crois-tu qu'il faille beaucoup d'herbe à ce mouton?》

| | | |
|----------------------|-------------|--------------------------------|
| | | 《「動詞」「補語」「主語」 「動詞」「主語」「目的語」》 |
| 《C' | ス | pron それは（形式主語） |
| est | エ | 3 単現(être)v.i ~である |
| | | 「動詞」 |
| tout à fait comme ça | トゥ・タフェ・コム・サ | n. 全くこんなの |
| | | 「補語」 |
| que | ク | conj. ~するものは |
| | | 「主語」 |
| je | ジュ | pron 僕が |
| | | 「主語」 |
| le | ル | pron それを（dessiner） |
| | | 「目的語」 |
| voulais | ヴレ | 1 単半(vouloir)v.t 望んでいる |
| | | 「動詞」 |
| Crois | クロワ | 2 単現(croire)v.t 思う |
| | | 「動詞」 |
| tu | チュ | pron 君は |
| | | 「主語」 |
| qu' | ク | conj. ~ということ |
| | | 「目的語」 |
| il | イル | pron 非人称主語 |

文の構成要素

| | |
|--------------------------------------|---------|
| faillie ファイレ 接・3 単現(falloir)v.h 必要だと | 「動詞」 |
| beaucoup d'herbe ホク・テルブ n.f 沢山の草が | 「主語」 |
| à ce mouton ア・ス・ムトン adv. この羊に | 「間接目的語」 |

目が覚める時、僕が社長に 2 日間の休暇を願い出た時に、どうして不満げな様子をして
たのかがやっと分かった：それは今日が土曜日だからなのだ。[C-1-2]

En me réveillant, j'ai compris pourquoi mon patron avait l'air mécontent quand je lui ai demandé mes deux jours de congé : c'est aujourd'hui samedi.

| | |
|--|---------|
| 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」: 「主語」「動詞」「副詞」「補語」 | |
| En +現在分詞 オン adv. ～する時に | 「副詞句」 |
| me réveillant, ム・レヴ`エイオン 現在分詞(se réveiller)v.pr 目覚める | 「動詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai compris エ・コンプ`リ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 分かった、理解した | 「動詞句」 |
| pourquoi フルクわ pron どうして～したかということ | 「目的語」 |
| mon patron モン・パ`トロン n.m 社長が | 「主語」 |
| avait アヴ`エ 3 単半(avoir)v.t (特徴を) していた | 「動詞」 |
| l'air mécontent レール・メ`コントン n.m 不満げな様子を | 「目的語」 |
| quand コン conj. ～した時に | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| ai demandé エ・ト`ウモンテ` 1 単現・完了形(demander) | |
| v.t 求めた、願い出た | 「動詞句」 |
| mes deux jours de congé: メ・ト`ウ・ジュール・ト`ウ・コンジ`エ | |
| n.m 2 日間の休暇を | 「直接目的語」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| aujourd'hui オン`ユルテ`ユイ adv. 今日は | 「副詞」 |
| samedi. サムテ`イ n.m 土曜日 | 「補語」 |

僕はそのことを忘れていたのだが、起きようとした時にこの考えが頭に浮かんだのだ。

[C-1-2]

Je l'avais pour ainsi dire oublié, mais en me levant, cette idée m'est venue.

| | |
|---|-------|
| 「主語」「目的語」「動詞句」 mais 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」 | |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ル pron そのことを | 「目的語」 |
| avais pour ainsi dire oublié, アヴ`エ・プール・オンシ・テ`イル・ウブ`リエ 1 単半・完了形(oublier) | |

文の構成要素

| | | |
|-----------------|---|---------|
| v.t | ほとんど忘れていた | 「動詞句」 |
| pour ainsi dire | プール・オンシ・ディール adv. ほとんど、いわば | |
| mais | メ conj. しかし | |
| en me levant, | オン・ム・ルヴァン adv. (en+現在分詞 se lever) 起きる時に | 「副詞句」 |
| cette idée | セット・イデア n.f この考えが | 「主語」 |
| m' | ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| est venue. | エ・ヴニュ 3 単現・完了形(venir)v.i やってきた | 「動詞句」 |

当然ながら社長は、僕が日曜を含めて 4 連休を取ることに become 思ったはずだ。それでは彼も嬉しいはずがないだろう。[C-1-2]

Mon patron, tout naturellement, a pensé que j'aurais ainsi quatre jours de vacances avec mon dimanche et cela ne pouvait pas lui faire plaisir.

| | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|-------|
| | 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」 | |
| Mon patron, | モン・パトロン n.m 社長は | 「主語」 |
| tout naturellement, | トゥ・ナチュレルモン adv. ごく自然に、当然ながら | 「副詞句」 |
| a pensé | ア・ポンセ 3 単現・完了形(penser)v.t (que) ～と思った | 「動詞句」 |
| que | ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| j' | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| aurais | アレ 条・1 単現(avoir)v.t ～をするだろう | 「動詞」 |
| ainsi | オンシ adv. それでは | 「副詞」 |
| quatre jours de vacances | クワトル・ジュール・トゥ・ヴァコンス n.f 4 連休を | 「目的語」 |
| avec mon dimanche | アヴェ・エッキ・モン・ディモンシュ adv. 日曜日も含めて | 「副詞句」 |
| et | エ conj. そして | |
| cela | スラ pron これは | 「主語」 |
| ne pouvait pas ...faire plaisir. | ヌ・プヴァエ・パ ...フェール・プレジール 3 単半・可能性・否定・使役 | |
| v.t | ～を喜ばせなかったに違いない | 「動詞句」 |
| lui | リュイ pron 彼を | 「目的語」 |
| | 「彼」を主語にして翻訳する | |

僕はひげを剃っている間に、何をしようかと自問して、海水浴をしに行く事に決めた。

[C-1-2]

Pendant que je me rasais, je me suis demandé ce que j'allais faire et j'ai décidé d'aller me baigner.

| | | |
|-------------|------------------------------------|-------|
| | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」 | |
| Pendant que | ポントンス・ク conj. ～する間に | 「副詞節」 |
| je | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me rasais, | ム・ラセ 1 単半(se raser)v.pr ひげを剃っている | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis demandé ム・シュイ・ト・ウモンテ 1 単現・完了形(se demander)v.pr 自問した | 「動詞句」 |
| ce que ス・ク pron (目的語) ～ということを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| allais faire アレ・フェール 3 単半・近接未来(aller+不定詞) | |
| v.t これからする | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai décidé d'aller エ・デシデ・ダレ 1 単現・完了形・決断(decider de+不定詞) | |
| v.i 行く事に決めた | 「動詞句」 |
| me baigner. ム・ベニエ 不定詞(aller+不定詞)v.pr 海水浴をしに | 「動詞句」 |

僕は電車に乗って、港にある海水浴場へ行った。[C-1-2]

J'ai pris le tram pour aller à l'établissement de bains du port.

| | |
|---|---------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai pris エ・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t (乗物に) 乗った | 「動詞句」 |
| le tram ル・トラム n.m 電車に | 「目的語」 |
| pour +不定詞 プール adv. (継続) そして～する、(目的) ～するために | 「副詞句」 |
| aller アレ 不定詞 v.i 行く | 「動詞」 |
| à l'établissement ア・レタブリスモン adv. 施設に | 「副詞節」 |
| de bains トゥ・バン adj. 海水浴の | 「形容詞句」 |
| du port. ジュ・ポール adv. 港にある | 「副詞句」 |

海の中で僕はマリー・カルドナに再会した。彼女は僕の会社の元タイピストだったが、当時、僕は彼女をものにしようと思っていた。[C-1-2]

J'ai retrouvé dans l'eau Marie Gardona, une ancienne dactylo de mon bureau dont j'avais eu envie à l'époque.

| | |
|---|------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」, |
| | 「間接目的語」「主語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai retrouvé エル・トルヴレ 1 単現・完了形(retrouver)v.t 再会した | 「動詞句」 |
| dans l'eau トン・ロ adv. 海の中で | 「副詞句」 |
| Marie Gardona, マリー・カルドナ n. マリー・カルドナに | 「目的語」 |
| une ancienne dactylo エヌ・アンシエンヌ・ダクティロ n.f (同格) 元タイピストの | 「形容詞句」 |
| de mon bureau トゥ・モン・ビュロー adj. 僕の会社の | 「形容詞句」 |
| dont トン pron 彼女に | 「間接目的語」 |

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais eu アヴ・ェ・ジ 1 単半・完了形(avoir)v.t 持っていた | 「動詞句」 |
| envie オンヴィー n.f 欲望を | 「直接目的語」 |
| à l'époque. ア・レポキ adv. 当時 | 「副詞句」 |

彼女もその気だった、と僕は思っている。だけど彼女はまもなく会社を辞めてしまったので、僕たちには会ったりする時間は無かった。[C-1-2]

Elle aussi, je crois. Mais elle est partie peu après et nous n'avons pas eu le temps.

「目的語」「主語」「動詞」

Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

| | |
|--|-------|
| Elle aussi, エル・オシ n. 彼女もその気だった | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| crois. クルワ 1 単現(croire)v.t と思っている | 「動詞」 |
| Mais メ conj. しかし | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| est partie エ・パルティ 3 単現・完了形.f(partir)v.i 立ち去った、会社を辞めた | 「動詞句」 |
| peu après プ・アプレ adv. まもなく | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| nous ヌ pron 僕たちは | 「主語」 |
| n'avons pas eu ナヴ・オン・パ・ジ 1 複現・完了形(avoir)v.t なかった | 「動詞句」 |
| le temps. ル・トン n.m 時間が | 「目的語」 |

彼女は僕のほうに振り返った。髪は目元にかかっていたが、笑っているのが分かった。

[C-1-2]

Elle s'est retournée vers moi. Elle avait les cheveux dans les yeux et elle riait.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞」

| | |
|---|-------|
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| s'est retournée セ・ルトゥルネ 3 単現・完了形.f(retourner)v.pr 振り返った | 「動詞句」 |
| vers moi. ヴ・ェール・ムワ adv. 僕の方を | 「副詞句」 |
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| avait アヴ・ェ 3 単半(avoir)v.t あった | 「動詞」 |
| les cheveux レ・シュヴ pl.n.m 髪の毛 | 「目的語」 |
| dans les yeux トン・レ・ジウ adv. 目のあたりに | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| riait. リエ 3 単半(rire)v.i 笑った | 「動詞」 |

文の構成要素

僕はブイの上の彼女の脇に這い上がった。[C-1-2]

Je me suis hissé à côté d'elle sur la bouée. 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis hissé ム・シュイ・イェ 1 単現・完了形(se hisser)v.pr 這い上がった 「動詞句」
 à côté d'elle ア・コテ・デル adv. 彼女の脇に 「副詞句」
 sur la bouée. シュール・ラ・ブエ adv. ブイの上の 「副詞句」

日差しが厳しくなると、彼女は水に飛び込み、僕もそれに続いた。[C-1-2]

Quand le soleil est devenu trop fort, elle a plongé et je l'ai suivie.
 「副詞節」, 「主語」「動詞句」 et 「主語」「目的語」「動詞句」
 Quand コン conj. ～すると、～する時 「副詞節」
 le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽が 「主語」
 est devenu エ・ト・ウヴニユ サンタン・完了形(devenir)v.i (+C) ～になった 「動詞句」
 trop fort, トロ・フォル adj.m 強すぎる 「補語」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 a plongé ア・プ ロンジエ 3 単現・完了形(plonger)v.i (水に) 飛び込んだ 「動詞句」
 et エ conj. そして
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ラ pron 彼女に 「目的語」
 ai suivie. エ・シュイ・ヴィイ 1 単現・完了形.f(suivre)v.t 後に続いた 「動詞句」

僕は彼女に追いつき、彼女の腰のあたりに手をまわした。それから僕らは一緒に泳いだ。

[C-1-2]

Je l'ai rattrapée, j'ai passé ma main autour de sa taille et nous avons nagé ensemble.
 「主語」「目的語」「動詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 et 「主語」「動詞句」「副詞」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ラ pron 彼女に 「目的語」
 ai rattrapée, エ・ラトラペ 1 単現・完了形(rattraper)v.t 追いついた 「動詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai passé エ・パセ 1 単現・完了形(passer)v.t 動かした 「動詞句」
 ma main マ・マン n.f 自分の手を 「目的語」
 autour de sa taille オウール・トゥ・サ・タイユ adv. 彼女の腰のあたりに 「副詞句」
 et エ conj. そして
 nous ヌ pron 僕らは 「主語」

文の構成要素

avons nagé アヴ`オン・ナジェ 1 複現・完了形(nager)vi 泳いだ 「動詞句」
ensemble. オンソヅブル adv. 一緒に 「副詞」

彼女は、ずっと笑っていた。海から波止場に上がって、僕らが体を乾かしている間、彼女は僕に言った。「私の方が焼けているわ」[C-1-2]

Elle riait toujours. Sur le quai, pendant que nous nous séchions, elle m'a dit: «Je suis plus brune que vous.»

「主語」「動詞」「副詞」 | 「副詞句」「副詞節」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」
《「主語」「動詞」「補語」》

Elle エル pron 彼女は 「主語」
riait リえ 3 単半(rire)v.i 笑っていた 「動詞」
toujours. トゥジユール adv. ずっと、いつも 「副詞」
Sur le quai, シュール・ルクワ adv. 波止場に上がって 「副詞句」
pendant que ポントソ`ク conj. ～している間 「副詞節」
nous ヌ pron 僕らが 「主語」
nous séchions, ヌ`セション 1 単半(se sécher)
v.pr (自分の体を) 乾かしていた 「動詞句」
elle エル pron 彼女は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a dit: ア`ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
«Je ジュ pron 私は 「主語」
suis シュイ 1 単現(être)v.i ～である 「動詞」
plus brune プリュ`ブリュヌ adj.f もっと褐色の 「補語」
que vous.» ク`ヴ` adv. あなたより 「副詞句」

それで、僕はベッドの上で体の向きを変えて、枕の中にマリーの髪が残した潮の香りを探し、その後 10 時まで眠った。[C-1-2]

Alors, je me suis retourné dans mon lit, j'ai cherché dans le traversin l'odeur de sel que les cheveux de Marie y avaient laissée et j'ai dormi jusqu'à dix heures.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Alors, アロ` adv. それで 「副詞」
je ジュ pron 私は 「主語」
me suis retourné ム`シュイ`ルトゥルネ 1 単現・完了形(se retourner)
v.pr 向きを変えた、(元の場所へ) 戻った 「動詞句」
この場面では、ベッドから起き出していないので、ベッドの上で向きを変えた

文の構成要素

| | | |
|-----------------------------------|---------------------------|--------|
| dans mon lit, トン・モン・リ | adv. ベッドの中に | 「副詞句」 |
| j' ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ai cherché エ・シェルシェ | 1 単現・完了形(chercher)v.t 探した | 「動詞句」 |
| dans le traversin トン・ル・トラヴェルサン | adv. 枕の中に | 「副詞句」 |
| l'odeur de sel ロデー・ル・トゥ・セル | n.f 潮の香りを | 「目的語」 |
| que ク | pron (目的語) ~する | 「形容詞節」 |
| les cheveux de Marie レ・シュヴ・トゥ・マリー | pl.n.m マリーの髪が | 「主語」 |
| y イ | adv. そこに | 「副詞」 |
| avaient laissée アヴ・ェ・レッセ | 3 複現・完了形(laisser)v.t 残した | 「動詞句」 |
| et エ | conj. そして | |
| j' ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ai dormi エ・ドルミ | 1 単現・完了形(dormir)v.i 眠った | 「動詞句」 |
| jusqu'à dix heures. ジュスカ・ディ・ゼール | adv. 10 時まで | 「副詞句」 |

それから僕は、相変わらず横になったままで、正午までタバコを何本か吸った。[C-1-2]

J'ai fumé ensuite des cigarettes, toujours couché, jusqu'à midi.

| | |
|---|-------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai fumé エ・フュメ 1 単現・完了形(fumer)v.t タバコを吸った | 「動詞句」 |
| ensuite オンシュイット adv. それから | 「副詞」 |
| des cigarettes, デ・シガレット pl.n.f タバコを何本か | 「目的語」 |
| toujours couché, トゥジール・クシェ adv. 相変わらず横になったままで | 「副詞句」 |
| jusqu'à midi. ジュスカ・ミディ adv. 正午まで | 「副詞句」 |

僕はいつものようにセレストの店で昼食をとる気にならなかった。店に行けば、きっと彼らは僕にあれこれと聞いてきただろうし、僕はそういう事が嫌いだから。[C-1-2]

Je ne voulais pas déjeuner chez Céleste comme d'habitude parce que, certainement, ils m'auraient posé des questions et je n'aime pas cela.

| | |
|--|---------------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne voulais pas déjeuner ヌ・ヴレ・パ・デジ ヌネ 1 単半・否定・願望(vouloir+不定詞) | |
| v.i 昼食を取る気にならなかった | 「動詞句」 |
| chez Céleste シェ・セレストウ adv. セレストの店で | 「副詞句」 |
| comme d'habitude コム・ダビチュート` adv. いつものように | 「副詞句」 |
| parce que, パルス・キ conj. ～なので | 「副詞節」 |
| certainement. セルテーヌモン adv. 確実に、きっと | 「副詞」 |

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| ils イル pl.pron 彼らは | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| auraient posé ル・ポゼ 条・3 複現・完了形(poser) | |
| v.t (質問を) しただろう | 「動詞句」 |
| いつものように店で食事をしていたら、あれこれ質問をしてきたに違いない | |
| des questions デ・クシュン pl.n.f あれこれと質問を | 「直接目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'aime pas ネ・ム・パ 1 単現・否定(aimer)v.t 嫌いだ、いやだ | 「動詞句」 |
| cela. スラ pron そうということが | 「目的語」 |

その他はほったらかしの状態だ。少したってから、何かをしようと思い、古新聞を取り出して、それを読んだ。[C-1-2]

Le reste est à l'abandon. Un peu plus tard, pour faire quelque chose, j'ai pris un vieux journal et je l'ai lu. 「主語」「動詞」「補語」

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」

| | |
|---|-------|
| Le reste ル・レスト n.m その他は | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| à l'abandon. ア・ラボン トン adv. だらしなく、ほったらかしに | 「補語」 |
| Un peu plus tard, アン・プ・プ リュ・タル adv. 少したってから | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. 〜するために | 「副詞句」 |
| faire フェール 不定詞 v.t する | 「動詞」 |
| quelque chose, ケルク・ショズ n.f 何かを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai pris エ・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t 取り出した | 「動詞句」 |
| un vieux journal アン・ヴィユ・ジュルナル n.m 古い新聞を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ル pron それを | 「目的語」 |
| ai lu. エ・リュ 1 単現・完了形(lire)v.t 読んだ | 「動詞句」 |

僕はそこからクルシャン製バス・ソルトの広告を切り抜き、それを古いノートに貼った。僕は新聞記事の中で面白そうなものをそのノートに貼っていたのだ。[C-1-2]

J'y ai découpé une réclame des sels Kruschen et je l'ai collée dans un vieux cahier où je mets les choses qui m'amuse dans les journaux.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」「形容詞節」

文の構成要素

| | |
|--|--------|
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| y イ adv. その中の | 「副詞」 |
| ai découpé エ・デクペ 1 単現・完了形(découper)v.t 切り抜いた | 「動詞句」 |
| une réclame エヌ・レクラム n.f 広告を | 「目的語」 |
| des sels Kruschen テ・セル・クリュシャン adj. クルシャン製バス・ソルトの | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ラ pron.f それを | 「目的語」 |
| ai collée エ・コレ 1 単現・完了形(coller)v.t 貼った | 「動詞句」 |
| dans un vieux cahier トン・ザンヴィエ・カエ adv. 古いノートに | 「副詞句」 |
| où ウ adv. そこに～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| mets メ 1 単現(mettre)v.t 入れておく | 「動詞」 |
| les choses レ・ショーズ pl.n.f 物を | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| amusent アミズ 3 複現(amuser)v.t 面白がらせる | 「動詞」 |
| dans les journaux. トン・レ・ジュール | |
| adv. 新聞記事の中で | 「副詞句」 |
| journal ジュルナル n.m 新聞 ([複] journaux) | |

まず最初に、家族が散歩に現れた。二人の男の子はセーラー服を着て、ひざ下までの半ズボンをはいていたが、糊が効き過ぎてこわばった服が少し動きずらそうだ。それから女の子は大きなバラ色のリボンをつけて、黒いエナメルの短靴をはいていた。[C-1-2]

C'étaient d'abord des familles allant en promenade, deux petits garçons en costume marin, la culotte audessous du genou, un peu empêtrés dans leurs vêtements raides, et une petite fille avec un gros noeud rosé et des souliers noirs vernis.

「動詞」「補語」「主語」, 「主語」「形容詞句」 et 「主語」「形容詞句」

| | |
|---|--------|
| C' ス pron 仮の主語(真の主語は des familles 以降) | |
| étaient エ 3 複半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| d'abord タ・ボール adv. 最初に | 「補語」 |
| des familles テ・ファミユ pl.n.f 家族が | 「主語」 |
| allant アロン 現在分詞 v.i 出てきた | 「形容詞句」 |
| en promenade, オン・プロムナト adv. 散歩に | 「副詞句」 |
| deux petits garçons トゥ・プチ・ギャルソン pl.n.m 二人の男の子 | 「主語」 |
| en costume marin, オン・コスチューム・マラン adj. セーラー服を着た | 「形容詞句」 |

文の構成要素

| | |
|--|--------|
| la culotte ラ・キュロット n.f 半ズボンをはいた | 「形容詞句」 |
| audessous du genou, オテス・ジュ・ジュヌー adj. ひざ下までの | 「形容詞句」 |
| un peu empêtrés アン・プ・オンペトレ 過去分詞・受動(empêtrer) | |
| adj. 少し動きづらい | 「形容詞句」 |
| dans leurs vêtements raides, ドン・レール・ヴァエトウモン・レド | |
| adv. こわばった服の中で | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| une petite fille ユヌ・プティット・フィユ n.f 1 人の女の子 | 「主語」 |
| avec un gros noeud rosé アヴェ・エッキ・アン・グロ・ヌー・ロゼ | |
| adj. 大きなバラ色のリボンをつけた | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| des souliers noirs vernis. デ・スリエ・ヌワ・ル・ヴァエルニ | |
| adv. 黒いエナメル製の短靴をはいた | 「形容詞句」 |

子供たちの後ろには、栗色の絹の服を着た巨大な母親と、見たことがあるとてもか細い父親が続いていた。[C-1-2]

| | |
|---|------------------|
| <u>Derrière eux, une mère énorme, en robe de soie marron, et le père, un petit homme assez frêle que je connais de vue.</u> | 「副詞句」「主語」 y 「主語」 |
| Derrière eux, デリエール・イ adv. 子供らの後ろに | 「副詞句」 |
| une mère énorme, ユヌ・メール・エノルメ n.f 巨大な母親が | 「主語」 |
| en robe オン・ロブ adv. 服を着た | 「副詞句」 |
| de soie marron, トゥ・スワ・マロン adj. 栗色の絹の | 「形容詞句」 |
| marron マロン adj. 栗色の、n.m クリ | |
| et エ conj. そして | |
| le père, ル・ペール n.m 父親が | 「主語」 |
| un petit homme アン・プティ・トム n.m 小さい男 | |
| assez frêle アセ・フレール adj. とてもか細い | 「形容詞句」 |
| que ク pron (目的語) ~する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| connais コネ 1 単半(connaitre)v.t 知っている | 「動詞」 |
| de vue. トゥ・ヴァユ adv. 目で見て | 「副詞句」 |

父親は、カンカン帽をかぶり、蝶ネクタイを結び、そして手にステッキを持っていた。

[C-1-2]

| | |
|--|------------------------------------|
| <u>Il avait un canotier, un noeud papillon et une canne à la main.</u> | 「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」 et 「目的語」「副詞句」 |
|--|------------------------------------|

文の構成要素

| | | | | |
|-------------------|-----------|----------------|----------------|-------|
| Il | イル | pron | 父親は | 「主語」 |
| avait | アヴェ | 3 単半(avoir)v.t | (所有・着用) かぶっていた | 「動詞」 |
| un canotier, | アン・カナチエ | n.m | カンカン帽を | 「目的語」 |
| un noeud papillon | アン・ヌー・パピヨ | n.m | 蝶ネクタイを (結んだ) | 「目的語」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| une canne | ユヌ・カンヌ | n.f | ステッキを (持った) | 「目的語」 |
| à la main. | ア・ラ・マン | adv. | 手に | 「副詞句」 |

妻と一緒にいる彼を見ていると、なぜ彼がこの界限で上品だと言われているのか分かった。

[C-1-2]

| | |
|---|---|
| <u>En le voyant avec sa femme, j'ai compris pourquoi dans le quartier on disait de lui qu'il était distingué.</u> | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| En le voyant | オン・ル・ヴァン ジェロンディフ(en+現在分詞)adv. 彼を見ていると 「副詞句」 |
| avec sa femme, | アヴェ・エッキ・サ・ファム adj. 妻と一緒にいる 「形容詞句」 |
| j' | ジュ pron 僕は 「主語」 |
| ai compris | エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 分かった 「動詞句」 |
| pourquoi | フルワ adv. どうして～なのかということが 「目的語」 |
| dans le quartier | ドン・ル・カルティエ adv. この界限で 「副詞句」 |
| on | オン pron 人々が (動詞は三人称単数形) 「主語」 |
| disait | ディゼ 3 単半・時制の一致(dire)v.t 言っている 「動詞」 |
| de lui | ドゥ・リュイ adv. 彼の事を 「副詞句」 |
| qu' | ク conj. ～であると 「目的語」 |
| il | イル pron 彼は 「主語」 |
| était | エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」 |
| distingué. | ディスタンゲ adj. 上品な 「補語」 |

通りにはもう小売店の店主とネコしかいなかった。通りに沿って並んでいるイチジク並木の上空は、澄んでいたが輝きがなかった。[C-1-2]

| | |
|--|---|
| <u>Il n'y avait plus dans la rue que les boutiquiers et les chats. Le ciel était pur mais sans éclat au-dessus des ficus qui bordent la rue.</u> | 「副詞句」「動詞句」「主語」 「主語」「動詞句」「補語」 mais 「補語」「副詞句」 |
| Il n'y avait | イル・ニ・アヴェ 3 単半・否定(il y avoir)v.h ～がいなかった 「動詞句」 |
| plus dans la rue | プリュ・ドン・ラ・リュ adv. もう通りには 「副詞句」 |
| que les boutiquiers et les chats. | クレ・ブティエ・エ・レ・シャ |
| pl.n | 小売店の店主とネコしか 「主語」 |
| ne que | ～ 「～しか... ない」 |

文の構成要素

| | | |
|--|-----------|--------|
| Le ciel ル・シエル n.m | 空は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| pur ピール adj. | 澄んだ | 「補語」 |
| mais メ conj. | しかし | |
| sans éclat ソン・エクラ adj. | 輝きが無い | 「補語」 |
| au-dessus des ficus オ・ドゥ・シ・デ・フィクス adv. | イチジク並木の上は | 「副詞句」 |
| qui キ pron (主語) | ～する | 「形容詞節」 |
| bordent ボルト 3 複現(border)v.t | に沿って並んでいる | 「動詞」 |
| la rue. ラ・リュ n.f | 通りに | 「目的語」 |

向かいの歩道では、タバコ屋の主人が椅子を外に出して、戸口の前に据え付け、それにまたがって、両腕で椅子の背に持たれていた。[C-1-2]

Sur le trottoir d'en face, le marchand de tabac a sorti une chaise, l'a installée devant sa porte et l'a enfourchée en s'appuyant des deux bras sur le dossier.

| | | |
|--|--|--------|
| | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」, | |
| | 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 et 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 | |
| Sur le trottoir シュール・ル・トロットワール adv. | 歩道では | 「副詞句」 |
| d'en face, ドン・ファス adj. | 正面の | 「形容詞句」 |
| le marchand ル・マルション n.m | 商人が | 「主語」 |
| de tabac トゥ・タバ adj. | タバコ屋の | 「形容詞句」 |
| a sorti ア・ソルティ 3 単現・完了形(sortir)v.t | 外に出した | 「動詞句」 |
| une chaise, ユヌ・シェーズ n.f | 椅子を | 「目的語」 |
| l' ラ pron | それを | 「目的語」 |
| a installée ア・アンスタレ 3 単現・完了形(f(installer)v.t | 据え付けた | 「動詞句」 |
| devant sa porte トゥ・ヴァン・サ・ポルト adv. | 戸口の前へ | 「副詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| l' ラ pron | それに | 「目的語」 |
| a enfourchée ア・オンフルシェ 3 単現・完了形(enfourcher)v.t | またがった | 「動詞句」 |
| en +現在分詞 オン ジェロンディフ adv. | ～しながら | 「副詞句」 |
| s'appuyant シェ・ユイヨン 現在分詞(s'appuyer)v.pr (sur に) | もたれかかる | 「動詞句」 |
| des deux bras デ・トゥ・ブラ adv. | 両腕によって | 「副詞句」 |
| sur le dossier. シュール・ル・ドシエ adv. | その背に | 「副詞句」 |

ちょっと前は満員だった路面電車は、ほとんど空になっていた。[C-1-2]

Les trams tout à l'heure bondés étaient presque vides. 「主語」 「動詞」 「補語」
Les trams レ・トラム pl.n.m 路面電車は 「主語」

文の構成要素

| | | |
|--------------------------------|-------------|-------|
| tout à l'heure トゥ・タ・レール adv. | さっきは、ちょっと前は | 「副詞句」 |
| bondés ボンデ adj.pl | 満員の | 「形容詞」 |
| étaient エ 3 複半 (être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| presque vides. プレシ・ヴィッド adj.pl | ほとんど空の | 「補語」 |

路面電車は、郊外の競技場から、ステップと手すりにひとかたまりになった観客を乗せて戻って来た。[C-1-2]

| | |
|---|--------------------|
| <u>Ils ramenaient du stade de banlieue des grappes de spectateurs perchés sur les marchepieds et les rambardes.</u> | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」 |
| Ils イル pron.pl (des tramways の代用) 路面電車は | 「主語」 |
| ramenaient ラメネ 3 複半(ramener)v.t 連れ戻した | 「動詞」 |
| du stade de banlieue ジュ・スタッド・トゥ・ボンリウ adv. 郊外の競技場から | 「副詞句」 |
| des grappes デ・グラップ pl.n.f ひとかたまりを | 「目的語」 |
| de spectateurs デ・スペクタール adj. 観客の | 「形容詞句」 |
| perchés ヘルシェ 過去分詞(percher)adj.pl とまっている | 「形容詞句」 |
| sur les marchepieds シュール・レ・マルシェイエ adv. ステップに | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| les rambardes. レ・ロンバルト pl.n.f 手すりに | 「副詞句」 |

後に続く路面電車は選手たちを乗せてきた。小さなカバンによって選手たちを見分けることが出来たのだ。[C-1-2]

| | | |
|--|------------------------------|----------------|
| <u>Les tramways suivants ont ramené les joueurs que j'ai reconnus à leurs petites valises.</u> | | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Les tramways | レス・トラムウェ pl.n.m | 路面電車が 「主語」 |
| suivants | シュイヴ`ォン adj.pl | 次の 「形容詞」 |
| ont ramené | オン・ラムネ 3 複現・完了形(ramener)v.t | 連れ戻した 「動詞句」 |
| les joueurs | レ・ジュ`ユエル pl.n.m | 選手たちを 「目的語」 |
| que | ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| j' | ジュ pron | 僕は 「主語」 |
| ai reconnu | エ・ルコニュ 1 単現・完了形(reconnaître) | |
| v.t (à で) | ～と分かった | 「動詞句」 |
| à leurs petites valises. ア・レール・プ`ティット・ウ`ァリス` | | |
| adv. | 彼らの小さなカバンで | 「副詞句」 |

文の構成要素

その時、街灯が突然点灯して、その光が、夜に先駆けて登っていた星たちを色あせさせた。

[C-1-2]

Les lampes de la rue se sont alors allumées brusquement et elles ont fait pâlir les premières étoiles qui montaient dans la nuit.

「主語」「動詞句」「副詞」 et 「主語」「動詞句」「補語」「目的語」

Les lampes de la rue レ・ロンプ・ドゥ・ラ・リュエ pl.n.f 街灯が 「主語」

se sont alors allumées ス・ソン・アロー・アリュメ 3 複現・完了形(s'allumer+alors)

v.pr その時明かりが灯った 「動詞句」

brusquement ブリュスクモン adv. 不意に、突然 「副詞」

et エ conj. すると

elles エル pron.pl 街灯の光が 「主語」

ont fait オン・フェ 3 複現・完了形・使役(faire+不定詞)v.t ~させた 「動詞句」

pâlir パール 不定詞 v.i 青ざめる、色あせる 「補語」

les premières étoiles レ・プ・ルミエール・ゼ・トワール pl.n.f 最初の星たちを 「目的語」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

montaient モンテ 3 複半(monter)v.i 登っていた 「動詞」

dans la nuit. トン・ラ・ニュイ adv. 夜に先駆けて 「副詞句」

僕は、人々や光で溢れた歩道をそのように眺めるのに目が疲れてきたことを感じた。

[C-1-2]

J'ai senti mes yeux se fatiguer à regarder ainsi les trottoirs avec leur chargement d'hommes et de lumières.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai senti エ・ソンティ 1 単現・完了形(sentir)v.t (O+不定詞) O が~するのを感じた 「動詞句」

mes yeux メ・ジユ pl.n.m(oeil) 両目が 「目的語」

se fatiguer à regarder ス・ファティゲ・アルギヤルテ 不定詞(se fatiguer à+不定詞)

v.t ~を見るのに疲れる 「補語」

ainsi アンシ adv. そのように 「副詞」

les trottoirs レ・トロットワール pl.n.m 歩道を 「目的語」

avec leur chargement アヴィ・エツキ・レール・シャルジ ユモン

adv. 荷物をもった 「形容詞句」

chargé シャルジエ adj. 荷物を持った、(de で)一杯の

d'hommes et de lumières. トム・エ・トゥ・リュミエール

adj. 人々や光の 「形容詞句」

街灯は濡れた歩道をきらめかせ、路面電車は規則的な間隔で、輝く髪の毛や、微笑みや、銀のブレスレットに照り返しの輝きを与えた。[C-1-2]

Les lampes faisaient luire le pavé mouillé, et les tramways, à intervalles réguliers, mettaient leurs reflets sur des cheveux brillants, un sourire ou un bracelet d'argent.

「主語」「動詞」「補語」「目的語」

et 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「目的語」 ou 「目的語」

Les lampes レ・ロンプ pl.n.f 街灯は 「主語」

faisaient フェ 3 複半・使役(faire)v.t (O+不定詞) O に～させた 「動詞」

luire リュール 不定詞 v.i きらめく 「補語」

le pavé ル・パヴェ n.m 歩道を 「目的語」

mouillé, ムイェ adj. 濡れた 「形容詞」

et エ conj. そして

les tramways, レ・トラムウェ pl.n.m 路面電車は 「主語」

à intervalles réguliers, ア・アンテルヴ・アル・レギュリエ adv. 規則的な間隔で 「副詞句」

mettaient メテ 3 複半(mettre)v.t 置いた、連れて来た 「動詞」

leurs reflets レール・ルフレ pl.n.m その照り返しを 「目的語」

sur シュール adv. ～の上に 「副詞句」

des cheveux brillants, デ・シュヴ・ブリヨン

pl.n.m 輝く髪の毛 「目的語」

un sourire アン・スリール n.m 微笑み 「目的語」

ou ウ conj. または

un bracelet d'argent. アン・ブラスレ・ダルゼン n.m 銀のブレスレット 「目的語」

[C-1-2]

J' シュ pron 僕は 「主語」

ai pensé エ・ポンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(+que と) 思った 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

c'était ...de tiré, セテ...トウ・テル 3 単現・完了形(se tirer).vi やっと終わった「動詞句」

toujours トウジ ュール adv. とにかく 「副詞」

un dimanche アン・デ`イモンシュ n.m 日曜日が 「主語」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

maman マモン n.f 母さんは 「主語」

était maintenant enterrée, エ・マントゥル・オントレ 3 単半・受動(enterrer+ maintenant)

v.t 今はまだ埋葬されている 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

allais reprendre アル・ルブ・モン・ル 1 単半・近接未来(aller+不定詞)

v.t 取り戻すことになるのだろう 「動詞句」

mon travail モン・トラヴァ`アイユ n.m 仕事を 「目的語」

et \mp conj. そして

que, ク conj. ～ということを 「目的語」

somme toute, ソム・トゥット adv. 結局 「副詞句」

il n'y avait イル・ニ・アヴ^エ 3 単半・否定(il'y avoir)v.t 無かった 「動詞句」

rien de changé. リアソ・トウ・シヨンジ^エ pron 変わったものは何も (～ない)「目的語」

文の構成要素

「目的語」の例文

単に「目的語」と表示したり、「間接目的語」や「直接目的語」と表示する場合がある。

ある日、粉屋が息子たちに全財産を残して亡くなりました。[A-3]

Un beau jour, le meunier mourut en laissant ses biens à ses enfants.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Un beau jour, アン・ボ・ジュール n.m ある日

「副詞句」

le meunier ル・ムニエ n.m 粉屋が

「主語」

mourut ムリ 3 単過(mourir)v.i 死んだ

「動詞」

en laissant オン・レッサン ジェルンディオ(laisser)v.t ~を残して

「副詞句」

ses biens セ・ビヤン pl.n.m 全財産を

「直接目的語」

à ses enfants. ア・セ・ゾンフオン adv. 息子たちに

「間接目的語」

長男は水車小屋を相続し、次男はロバを引き取りましたが、末っ子には猫が残されました。

[A-3]

L'ainé hérita du moulin, le cadet récupéra l'âne et le plus jeune se retrouva avec le chat.

「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」et「主語」「動詞句」「補語」

L'ainé レネ n.m (新つづりは ainé) 長男は

「主語」

hérita エリタ 3 単過(hériter)v.t 相続した

「動詞」

du moulin, ジュ・ムラン n.m 水車小屋を

「目的語」

le cadet ル・カデ n.m 次男は

「主語」

récupéra レカペラ 3 単過(récupérer)v.t 回収した、引き取った

「動詞」

l'âne ラーヌ n.m ロバを

「目的語」

et エ conj. そして

le plus jeune ル・プリュ・ジュンヌ n.m 末っ子は

「主語」

se retrouva ス・ルトゥヴァ 3 単過(se retrouver)v.pr (ある状態に) なった

「動詞句」

avec le chat. アヴ・エッキ・ル・シャ adv. 猫と一緒に

「補語」

「水車小屋とロバがあれば、協力して働けば、兄さんたちは食べていけるかもしれないな」

[A-3]

《Avec un moulin et un âne, mes frères pourront gagner leur vie en travaillant ensemble.

《「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

Avec un moulin et un âne, アヴ・エッキ・アン・ムラン・エ・アン・アーヌ

adv. (仮定・条件) 水車小屋とロバがあれば

「副詞句」

mes frères メ・フレール pl.n.m 兄さんたちは

「主語」

pourront gagner フ・ロン・ガニエ 3 複未・推測(pouvoir+不定詞)

文の構成要素

v.t. ～を稼ぐことが出来るかもしれない 「動詞句」
leur vie レール・ヴィー n.f 生活費を 「目的語」
 en travaillant ensemble. オン・トラヴァイヤン・オンサンブル ジェロンディフ
 adv. (条件) 協力して働けば 「副詞句」

「自分は、このネコで何が出来るというんだ？」 [A-3]

Quant à moi, qu'est-ce que je pourrai faire de ce chat?

《「副詞句」, 「目的語」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」》

Quant à moi, コン・タ・ムー adv. 自分はどうかということ 「副詞句」
qu'est-ce que クス・ク pron 何を 「目的語」
 je ジュ pron おれは 「主語」
 pourrai faire プール・フェール 1 単未・可能(pouvoir+不定詞)
 v.t. することが出来る 「動詞句」
 de ce chat? トゥ・ス・シャ adv. このネコで 「副詞句」

「このネコを食べてしまったら、その毛皮でチョッキ位は作れるだろうが、その後は？」

[A-3]

Quand je l'aurai mangé, je me ferai bien un gilet avec sa peau, mais après?

《「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 「副詞句」, 「副詞句」》

Quand コン conj. ～した時、～したら 「副詞節」
 je ジュ pron おれが 「主語」
l'ル pron このネコを 「目的語」
 aurai mangé, オーレ・モンジェ 1 単未・完了形(manger)v.t. 食べてしまった 「動詞句」
 je ジュ pron おれは 「主語」
me ヌ pron 自分のために 「間接目的語」
 ferai フレ 1 単未(faire)v.t. 作れるだろう 「動詞」
bien un gilet ビヤン・アン・ジレ n.m. 少なくともチョッキくらいは 「直接目的語」
 bien ビヤン adv. 少なくとも、たっぷり
 avec sa peau, アヴェッキ・サ・ポー adv. その毛皮で 「副詞句」
 mais après? メ・アプレ adv. しかしその後は? 「副詞句」

このため息を聞いていたネコは彼をなぐさめました。 [A-3]

Le Chat qui écoutait ces soupirs, le rassura :

「主語」 「目的語」 「動詞」

Le Chat ル・シャ n.m. ネコは 「主語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 écoutait エクテ 3 単半(écouter)v.t. 聞いた 「動詞」

文の構成要素

ces soupirs, セ・スピール pl.n.m このため息を 「目的語」
 le ʁ pron 彼を 「目的語」
 rassura : ラシュラ 3 単過(rassurer)v.t 慰めた 「動詞」

「心配しないでください、ご主人様。私はあなたの手伝いが出来ます。袋を一つとやぶの中を歩くために長靴を一足作ってください。きっと上手くいきますから。」 [A-3]

《Ne vous inquiétez pas, Maître. Je suis prêt à vous aider : fabriquez-moi un sac et une paire de bottes pour marcher dans les broussailles. Je vous assure que ça va s'arranger.》

《「動詞句」「呼びかけ」 | 「主語」「動詞句」:

「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

Ne vous inquiétez pas, ス・ウ・ザンキエテ・ハ 命・2 複現・否定(s'inquiéter)

v.pr 心配しないでください 「動詞句」

Maître. メートル n.m ご主人様 「呼びかけ」

Je ジュ pron 私は 「主語」

suis prêt à +不定詞 シエイ・プレ・タ 1 単現 v. ~することができます 「動詞句」

vous ʁ pron あなたを 「目的語」

aider : エテ 不定詞 v.t 手伝う 「動詞」

fabriquez-moi ファブリケ・ムワ 命・2 複現(fabriquer+moi)

v.t ~を作ってください 「動詞句」

un sac アン・サック n.m 袋 「目的語」

et エ conj. そして

une paire de bottes エヌ・ペール・ト・カ・ボット n.f 長靴を一足 「目的語」

pour +不定詞 プール adv. ~するために 「副詞句」

marcher マルシェ 不定詞 v.i 歩く 「動詞」

dans les broussailles. ドン・レ・ブルサイユ adv. やぶの中を 「副詞句」

Je ジュ pron 私は 「主語」

vous ʁ pron あなたに 「間接目的語」

assure アシユール 1 単現(assurer)v.t 保証します、誓います 「動詞」

que ク conj. ~ということを 「直接目的語」

ça サ pron それは 「主語」

va s'arranger.》 ヴァ・サロンジエ 3 単現・近接未来(aller+不定詞)

v.pr 上手くいくだろう 「動詞句」

aller アレ v.i 進行する s'arranger サロンジエ v.pr うまくいく、解決する

文の構成要素

しかし彼は、自分のネコがハツカネズミを捕まえたり木の上で曲芸をするのが器用にでき
て、賢いことを知っていたので、このネコが信用できると思いました。[A-3]

Mais comme il savait que son animal était malin --- il était très habile pour attraper les
souris ou faire des tours d'acrobatie dans les arbres --- il se dit qu'il pouvait lui faire
confiance.

Mais 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Mais メ conj. しかし

comme コム conj. ～なので

「副詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

savait サヴヱ 3 単半(savoir)v.t 知っていた

「動詞」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

son animal ソン・アニマル n.m 彼のネコは

「主語」

était エテ 3 単半 (être) v.i ～だった

「動詞」

malin マリン adj. 賢い

「補語」

il イル pron それは

「主語」

était エテ 3 単半 (être) v.i ～だった

「動詞」

très habile トレ・ザビール adj. とても器用な

「補語」

pour +不定詞 プール adv. ～するのに

「副詞句」

attraper アトラペ 不定詞 v.t 捕まえる

「動詞」

les souris レ・スーリ pl.n.f ハツカネズミを

「目的語」

ou ウ conj. または

faire フェール 不定詞 v.t ～する

「動詞」

des tours d'acrobatie テ・トゥール・ダクロバシー pl.n.m 曲芸

「目的語」

dans les arbres トン・レ・ザルブル adv. 木の上で

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

se dit ス・ディ 3 単過(se dire)v.pr 思った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

pouvait lui faire confiance. プ・ヴァ・リュイ・フェール・コンフィオンス 3 単半・可能(pouvoir+不定詞)

v.t 彼を信用できる

「動詞句」

faire confiance à qn (人) を信用する

ネコは袋をウサギの好きな種で満たし、草むらの中に横になって死んだふりをした。[A-3]

Il remplit son sac de leurs graines préférées et s'étendit dans l'herbe pour faire le mort.

「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」 et 「動詞句」 「副詞句」

Il イル pron ネコは

「主語」

remplit ロンプリ 3 単過(remplir)v.t (de で) 満たした

「動詞」

文の構成要素

| | | |
|--|-----------|-------|
| son sac ツン・サック n.m | 袋を | 「目的語」 |
| de leurs graines préférées トゥ・レル・グレヌ・プ・レフェレ adv. | ウサギの好きな種で | 「副詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| s'étendit センティ 3 単過(s'étendre)v.pr | 横になった | 「動詞句」 |
| dans l'herbe トン・レルブ adv. | 草むらの中に | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. | ～するために | 「副詞句」 |
| faire フェール 不定詞(faire+定冠詞+形容詞)v.i | ～のふりをする | 「動詞」 |
| le mort. ル・モール adj. | 死んだ | 「補語」 |

玉座に座った王様の前で、ネコはうやうやしくお辞儀をし、丁重に獲物を差し出しました。

[A-3]

Devant Sa Majesté assise sur le trône, le Chat fit une révérence très respectueuse et présenta le gibier avec précautions :

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 et 「動詞」「目的語」「副詞句」

Devant トゥヴァン prep ~の前で 「副詞句」

Sa Majesté サ・マジェステ n.f 陛下、王様 「目的語」

assise アシス 過去分詞.f(asseoir)adj. 座った 「形容詞」

sur le trône, シュール・ルトローヌ adv. 王座に 「副詞句」

le Chat ル・シャ n.m ネコは 「主語」

fit フィ 3 単過(faire)v.t ~をした 「動詞」

une révérence エヌ・レヴェランス n.f 最敬礼、お辞儀 「目的語」

très respectueuse トレ・レスペクチュース adj.f とてもうやうやしい 「形容詞句」

et エ conj. そして

présenta プレゼンタ 3 単過(présenter)v.t 差し出した 「動詞」

le gibier ル・ジビエ n.m 獲物を 「目的語」

avec précautions : アヴェク・エッキ・プレクション adv. 慎重に、丁重に 「副詞句」

「陛下！」ネコは上品な口調で言った。「このウサギは、カラバ公爵が、(声を大きくして)かの善良なるカラバ公爵がご自身で狩りをして、あなた様にお届けするようにと私をよこしたものでございます。」[A-3]

《Votre Majesté, dit-il d'un ton distingué, voici un lapin que Monsieur le Marquis de Carabas, (d'un ton plus haut) le bon Marquis de Carabas, chassa lui-même et m'envoya vous l'apporter.

《「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞」「補語」「形容詞節」》

Votre Majesté, ヴォトル・マジェステ adv. 陛下 「呼びかけ」

dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| il イル pron ネコは | 「主語」 |
| d'un ton distingué, ダン・トン・ディスタンゲ adv. 上品な口調で | 「副詞句」 |
| ton トン n.m 口調、語調、調子 distingué ディスタンゲ adj. 上品な | |
| voici ヴィシ adv.v.i これは～です | 「動詞」 |
| un lapin アン・ラパン n.m ウサギ | 「補語」 |
| que ク pron ～する | 「形容詞節」 |
| Monsieur le Marquis de Carabas, ムシユ・ル・マルキ・ドゥ・カラバ | |
| n.m カラバ公爵が | 「主語」 |
| (d'un ton plus haut) ダン・トン・プリュ・オ adv. (声を大きくして) | 「副詞句」 |
| le bon Marquis de Carabas, ル・ボン・マルキ・ドゥ・カラバ | |
| n.m かの善良なるカラバ公爵が | 「主語」 |
| chassa シャッサ 3 単過(chasser)v.t 狩りで仕留めた | 「動詞」 |
| lui-même リュイ・メーム adv. 自分で | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| m' ム pron 私に | 「目的語」 |
| envoya オンガリヤ 3 単過(envoyer qn+不定詞)v.t (人を) ～しに行かせた | 「動詞」 |
| vous ヴゥ pron あなたに | 「間接目的語」 |
| l' ル pron その獲物を | 「直接目的語」 |
| apporter. アポルテ 不定詞 v.t 持ってくる | 「動詞」 |

君がご主人に報告する時に、「私は贈り物に満足している」と礼を言ってくれ。[A-3]

Tu remercieras ton maître en lui disant que je suis content de son cadeau.》

| | |
|---|-----------------------------|
| | 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」「直接目的語」 |
| Tu チュ pron 君が | 「主語」 |
| remercieras ルメルシヤ 2 単現・依頼(remercier)v.t 礼を言ってくれ | 「動詞」 |
| ton maître トン・メートル n.m 君の主人に | 「間接目的語」 |
| en +現在分詞 オン ジェロンディフ adv. ～する時に | 「副詞句」 |
| lui リュイ adv. 彼に | 「間接目的語」 |
| disant ディザン 現在分詞(dire)v.t 報告する | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| suis シュイ 1 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| content コントン adj. 満足である | 「補語」 |
| de son cadeau.》 ドゥ・ソン・キャド adv. 贈り物に対して | 「副詞句」 |

この贈り物に喜んで、王様はネコに杯を勧めるほどの仲になりました。こうして毎回同じ方法で、ネコは〈カラバ公爵からの〉獲物を王様に届け続けました。[A-3]

Ravi de ce cadeau, celui-ci invita le Chat à prendre un verre. Ainsi, toujours de la même manière, le Chat continua de rapporter du gibier 《de la part du Marquis de Carabas》.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
 Ravi ラヴィ 過去分詞・受動(ravir)v.t (de に) 心を奪われて、喜んで 「副詞句」
 de ce cadeau, トゥ・ス・キャトゥー adv. この贈り物によって 「副詞句」
 celui-ci スリュイ・シ pron 王様は 「主語」
 invita アンヴァイタ 3 単過(inviter)v.t (qn à+不定詞) (人) に～するよう勧めた 「動詞」
 le Chat ル・シャ n.m ネコに 「目的語」
 à prendre ア・プ ロントル 不定詞 v.t を吞む 「補語」
 un verre. アン・ヴァール n.m 1 杯 「目的語」
 Ainsi, オンシ adv. こうして 「副詞」
 toujours de la même manière, トウジ ユール・トゥ・ラ・メーム・マニエール
 adv. いつも同じ方法で 「副詞句」
 le Chat ル・シャ n.m ネコは 「主語」
 continua de rapporter コンチヌア・トゥ・ラポルテ 3 単過・継続(continuer de+不定詞)
 v.t 届け続けた 「動詞句」
 du gibier ジュ・ジビエ n.m 獲物を 「目的語」
 《de la part du Marquis de Carabas》. トゥ・オウ・ラ・パール・ジュ・ナルキ・トゥ・カラバ
 adj. 〈カラバ公爵からの〉 「形容詞句」

「なんて素晴らしい天気でしょう、でもなんて暑いんでしょう！では、川に水浴に行ってみてはいかがでしょうか？だんな様！きっと気持ちがよくなると思いますよ」[A-3]

《Quel temps magnifique, mais quelle chaleur! Et si vous alliez vous baigner à la rivière, Maître? Je suis sûr que cela vous ferait du bien.》

《「感嘆」 mais 「感嘆」 | Et 「主語」「動詞句」「間接目的語」「呼びかけ」
 「主語」「動詞」「補語」》
 Quel temps magnifique, ケル・トン・マニフィク int. なんて素晴らしい天気でしょう 「感嘆」
 mais メ conj. でも
 quelle chaleur! ケル・シャレール int. なんと暑いのでしょうか！ 「感嘆」
 Et エ conj. それでは
 si シ conj. (独立節・勧誘) ～したらどうでしょうか？
 vous ヴ pron あなたは 「主語」
 alliez +不定詞 アリエ 接・2 複現(aller+不定詞)v.i ～しに行ってみる 「動詞句」
 vous baigner ヴ・ベニエ 不定詞(se baigner)v.pr 水浴をする 「動詞句」

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| à la rivière , ア・ラ・リヴィエール adv. 川に | 「間接目的語」 |
| Maître? メートル n.m だんな様 | 「呼びかけ」 |
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| suis シュイ 1 単現 (être) v.i 〜である | 「動詞」 |
| sûr シュール adj. (que 〜であることを) 確信した | 「補語」 |
| que ク conj. 〜ということ | 「目的語」 |
| cela スラ pron それは | 「主語」 |
| vous ヴェ pron あなたを | 「目的語」 |
| ferait フレ 条・3 単現(faire) v.t するだろう | 「動詞」 |
| du bien. 》 ジュ・ビヤン adj. 快適な | 「補語」 |

「陛下！カラバ侯爵が水浴をしているすきに、盗賊たちが服を盗んでいったのです」

[A-3]

| | |
|--|-----------------------------|
| 《Votre Majesté, des brigands ont volé les habits de Monsieur le Marquis de Carabas pendant qu'il se baignait.》 | 《「呼びかけ」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」》 |
| Votre Majesté, ヴォトル・マジェステ n.f 陛下 | 「呼びかけ」 |
| des brigands デ・ブリガン pl.n.m 盗賊たちが | 「主語」 |
| ont volé オン・ヴォレ 3 複現・完了形(voler) v.t 盗んだ | 「動詞句」 |
| les habits レ・ザビ pl.n.m 衣服を | 「目的語」 |
| de Monsieur le Marquis de Carabas トゥ・ムシュール・マルキ・トゥ・カラバ | |
| adj. カラバ侯爵様の | 「形容詞句」 |
| pendant qu' ポントン・キ conj. 〜する間に | 「副詞節」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| se baignait. ス・ベニエ 3 単半(se baigner) v.pr 水浴していた | 「動詞句」 |

「それはお気の毒な！」と、王様は声を上げました。「急いで、衣服を持って行って差し上げなさい！」 [A-3]

--- Le pauvre! s'exclama le roi. Vite, apportez-lui des vêtements!》

《「感嘆」》, 「動詞句」「主語」 | 《「副詞」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

| | |
|---|---------|
| Le pauvre! ル・ポーヴル int. それはお気の毒な！ | 「感嘆」 |
| s'exclama セクスラマ 3 単過(s'exclamer) v.pr 声を上げた | 「動詞句」 |
| le roi. ルール n.m 王様が | 「主語」 |
| Vite, ヴァイト adv. すぐに、急いで | 「副詞」 |
| apportez アポルテ 命・2 複現(apporter) v.t 持って行きなさい | 「動詞」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| des vêtements! 》 デ・ヴェットマン pl.n.m 衣服を | 「直接目的語」 |

文の構成要素

カラバ侯爵、実は、粉屋の息子は生まれつき美男子だったので、堂々たる衣装を着ると大いに品格が増して見えた。[A-3]

Comme le Marquis de Carabas, c'est-à-dire le fils du meunier, était beau garçon de nature, sa nouvelle tenue majestueuse lui donna beaucoup d'allure.

「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

Comme コム conj. ～なので 「副詞節」

le Marquis de Carabas, ル・マルキ・ドゥ・カラバ n.m カラバ侯爵は 「主語」

c'est-à-dire セ・タ・デー・ール adv. 実は～だ 「副詞句」

le fils du meunier, ル・フィス・デュ・ムニエ n.m 粉屋の息子 「目的語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

beau garçon ホ・ギャルソン n.m 美男子、ハンサム 「補語」

de nature, ドゥ・ナチュール adv. 生まれつき 「副詞句」

sa nouvelle tenue majestueuse サ・ヌヴ・エル・トゥニュ・マジ・エストゥーズ

n.f 彼の新しい堂々たる衣装は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

donna ドナ 3 単過(donner)v.t 与えた 「動詞」

beaucoup d'allure. ホク・ダリュール n.f 大いなる品格を 「直接目的語」

彼を主語にして翻訳する

王様は公爵を馬車の中へ招き入れました。ハンサムな青年が王女様の正面に座ると、彼女は赤くなった顔を隠そうとして、さりげなく扇子を開きました。[A-3]

Le roi invita le marquis dans le carrosse. Lorsque le bel homme s'assit en face de la princesse, celle-ci ouvrit discrètement son éventail afin de cacher son visage rougissant.

「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」 「副詞句」

Le roi ル・ルワ n.m 王様は 「主語」

invita アンヴァイタ 3 単過(inviter)v.t 招いた 「動詞」

le marquis ル・マルキ n.m 侯爵を 「目的語」

dans le carrosse. ドン・ル・キャロス adv. 馬車の中へ 「副詞句」

Lorsque ロルスキ conj. ～する時 「副詞節」

le bel homme ル・ベ・ム n.m ハンサムな青年が 「主語」

s'assit シン 3 単過(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」

en face de la princesse, オン・ファス・トゥ・ラ・プランスス adv. 王女の正面に 「副詞句」

celle-ci セル・シ pron 王女様は 「主語」

ouvrit ウヴリ 3 単過(ouvrir)v.t 開いた 「動詞」

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| discrètement ディスクレトモン adv. さりげなく | 「副詞」 |
| son éventail ソン・エヴ・ォンタイユ n.m 扇子を | 「目的語」 |
| afin de +不定詞 アフィン・トゥ adv. ～するために | 「副詞句」 |
| cacher カシェ 不定詞 v.t 隠す | 「動詞」 |
| son visage rougissant. ソン・ヴィザージュ・ルージュソン n.m 赤くなった顔を | 「目的語」 |

「もしあなたが、この牧場はカラバ侯爵のものと、よく言っておきますがカラバ侯爵ですよ、もしそのように言わなかったならあなた方は細かく刻まれてパテにされてしまうと断言します。」[A-3]

Si vous ne dites pas que ce pré appartient au Marquis de Carabas, je dis bien, Monsieur le Marquis de Carabas, je vous assure que vous serez tous hachés et bons pour du pâté!》

《「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」》

| | |
|--|---------|
| Si シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| vous ヴ pron あなた方が | 「主語」 |
| ne dites pas ス・ディット・パ 2 複現・否定(dire) | |
| v.t (que+直説法) ～と言わない | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| ce pré ス・プレ n.m この牧場は | 「主語」 |
| appartient アパルティアン 3 単現(appartenir)v.i (a の) 所有である | 「動詞」 |
| au Marquis de Carabas, オ・マルキ・トゥ・カラバ adv. カラバ侯爵の | 「副詞句」 |
| je dis bien, ジュ・ディ・ビヤン adv. 良く言っておきますよ | 「副詞節」 |
| Monsieur le Marquis de Carabas, ムシユー・ル・マルキ・トゥ・カラバ | |
| n.m カラバ侯爵ですよ | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| vous ヴ pron あなた方に | 「間接目的語」 |
| assure アシユール 1 単現(assurer)v.t (que+直説法) ～だと断言します | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| vous ヴ pron あなた方は | 「主語」 |
| serez スレ 2 複未(être)v.i ～になるだろう | 「動詞」 |
| tous hachés トゥ・アシェ adj.pl 細かく刻まれた | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| bons pour du pâté!》 ホン・プール・ジュ・パテ adj.pl パテに適した | 「補語」 |

ついにネコは大きな城の前に到着しました。その宮殿は豪華でしたが、恐ろしい人食い鬼が住んでいました：じつは、いまネコが通り抜けてきた牧場や畑や景色などの全ては、この人食い鬼のものだったのです。[A-3]

Enfin, le Chat arriva devant un grand château. Le palais était somptueux mais était habité par un terrible ogre : en fait, tout les prés, les champs et les paysages que venait de traverser le Chat appartenaient à celui-ci ...

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」 mais 「動詞句」「副詞句」
：「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」

Enfin, オンファン adv. ついに 「副詞」
le Chat ル・シャ n.m ネコは 「主語」
arriva アリーヴァ 3 単過(arriver)v.i 到着した 「動詞」
devant un grand château. トゥヴァン・オン・グランド・シャトォ adv. 大きな城の前に 「副詞句」
Le palais ル・パレ n.m その宮殿は 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
somptueux ソンプチュ adj. 豪華な 「補語」
mais メ conj. しかし
était habité エテ・アビテ 3 単半・受動(habiter)v.t 住まっていた 「動詞句」
par un terrible ogre : パール・アン・テリブル・オーグール adv. 恐ろしい人食い鬼によって 「副詞句」
en fait, オン・フェ adv. 実は、実際は 「副詞句」
tout トゥ adj. 全ての~は 「主語」
les prés, レ・プレ pl.n.m(pré) 牧場 「目的語」
les champs レ・ション pl.n.m 畑 「目的語」
et エ conj. そして
les paysages レ・ペイザージュ pl.n.m 景色 「目的語」
que ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」
venait de traverser ヴァネ・トヴァ・トラヴァゼ 3 単半・近接過去(venir de+不定詞)
v.t いま通り抜けてきた 「動詞句」
le Chat ル・シャ n.m ネコが 「主語」
appartenaient アパルトゥネ 3 複半(appartenir)v.i (à の) 所有だった 「動詞」
à celui-ci ... ア・スエイ・シ adv. この人食い鬼の 「間接目的語」

「聞くとところによると、あなたは、例えばライオンや象などあらゆる種類の動物に変わることができそうですね？本当にそんなことが出来るのでしょうか？」[A-3]

《On m'a dit que vous pouvez vous transformer en toutes sortes d'animaux, un lion ou un éléphant, par exemple. Est-ce vraiment possible?

《「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 | 「動詞」「主語」「補語」》

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| On m'a dit que オン・マ・ディ・ク adv. 聞くところによると～ | 「副詞句」 |
| 「人は私に～と言った」→「聞くところによると～」 | |
| vous ヴ pron あなたは | 「主語」 |
| pouvez +不定詞 プ・ヴェ 2 複現 v. ～ができる | 「動詞句」 |
| vous transformer ヴ・トランスフォルメ 不定詞 v.pr 変わる | 「動詞句」 |
| en toutes sortes d'animaux, オン・トゥット・ソルト・ダニモ adv. あらゆる種類の動物に | 「副詞句」 |
| un lion ou un éléphant, ウン・リオン・ウ・ウン・エルフオン n.m ライオンや象など | 「目的語」 |
| par exemple. パー・レグゾンプル adv. 例えば | 「副詞句」 |
| Est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| ce ス pron それは | 「主語」 |
| vraiment possible? ヴレモン・ポッシブル adj. 本当に可能な | 「補語」 |

「ところで」と、ネコは話を続けた。「これも噂で聞いたことですが、あなたは、小さい生き物にも姿を変えることが出来るそうですね。例えばハツカネズミにはなれますか？」

[A-3]

Dites-moi, poursuivit-il de son air malicieux, j'ai aussi entendu dire que vous pouvez vous métamorphoser en de petites créatures, comme par exemple une souris?

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「主語」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」》

Dites-moi, ディット・ムワ adv. ところで、ちょっと伺いますが 「副詞句」

直訳は「私に話してください」だが、

前後関係のない話しを始める時に Dites-moi 「ところで」を使う、

ちょっと関係のある話の場合は、À propos 「ところで」を使う

poursuivit プールシュイーヴァイ 3 単過(poursuivre)v.t 続けた 「動詞」

il イル pron 彼は 「主語」

文頭に副詞が置かれたので、「動詞」「主語」の順序に倒置された

de son air malicieux, トゥ・ウ・ソ・エル・マリシ adv. いたずらっぽい様子で 「副詞句」

j' ジュ pron 私は 「主語」

ai aussi entendu dire エ・オシ・オントトル・ディール 1 単現・完了形(entendre dire+que+直説法)

v.t. ～ということも聞いた、噂を聞いた 「動詞句」

que ク conj. ～と言う事を 「目的語」

vous ヴ pron あなたは 「主語」

pouvez +不定詞 プ・ヴェ 2 複現・可能(pouvoir+不定詞)v. ～出来る 「動詞句」

vous métamorphoser ヴ・メタモルフォセ 不定詞(se métamorphoser)

v.pr (en に) 姿を変える 「動詞句」

en de petites créatures, エン・トゥ・プティット・クレアチュール

adv. 小さい生き物に 「間接目的語」

文の構成要素

comme par exemple une souris? コム・パール・エグザンプル・ユヌ・スリ

adv. 例えばハツカネズミにはどうですか?

「副詞句」

するとネコは、あっという間にその生き物に飛びかかり、一口で食べてしまいました。

[A-3]

Alors, en un rien de temps, celui-ci sauta sur la créature pour la dévorer d'une bouchée!

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」, 「副詞句」

Alors, アー adv. すると、その時

「副詞」

en un rien de temps, オン・アン・リアン・ドゥ・タン adv. 瞬く間に

「副詞句」

celui-ci スリュイ・シ pron ネコは

「主語」

sauta サ 3 単過(sauter)v.i (sur, à に) 飛びかかった

「動詞」

sur la créature シュール・ラ・クレアチュール adv. その生き物に

「間接目的語」

pour +不定詞 プール prep (継続) そして〜した

「副詞句」

la ラ pron そのネズミを

「目的語」

dévorer デヴル 不定詞 v.t 貪り食う

「動詞」

d'une bouchée! デュヌ・ブッシェ adv. 一口で

「副詞句」

長靴をはいたネコはというと、彼は大きな領地の領主となり、気晴らしをしたい時にだけネズミ狩りをしました。[A-3]

Quant au Chat botté, lui, se retrouva comme grand seigneur et chassa les souris uniquement lorsqu'il voulait se divertir.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」 et 「動詞」 「目的語」 「副詞節」

Quant au コント adv.(quant à le) 〜については

「副詞句」

Chat botté, シャ・ボテ n.m 長靴をはいたネコ

「目的語」

lui, リュイ pron 彼は

「主語」

se retrouva ス・ルトゥルヴァ 3 単過(se retrouver)v.pr 〜になった

「動詞句」

comme grand seigneur コム・グロン・セニエール n.m 大きな領地の領主

「補語」

et エ conj. そして

chassa シャサ 3 単過(chasser)v.t 狩りをした

「動詞」

les souris レ・スリ pl.n.f ネズミを

「目的語」

uniquement lorsqu' ニキモン・ロルスキ conj. 〜する時だけ

「副詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

voulait se divertir. ヴレ・ステウヴェルチール 3 単半・願望(vouloir+不定詞 se divertir)

v.pr 気晴らしをしたい

「動詞句」

文の構成要素

王子様がどこから来たのかを理解するためには、僕には長い時間が必要だった。[B-3]

Il me fallut longtemps pour comprendre d'où il venait.

「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞句」

Il イル pron 非人称主語

me ム pron 私にとって

「間接目的語」

fallut ファリュ 3 単過(falloir)v.h 必要だった

「動詞」

longtemps ロントソ n.m 長い時間が

「主語」

pour comprendre プール・コンプ ロントゥル adv. 知るためには

「副詞句：fallut」

d'où トゥ adv. どこから～するというのを

「目的語」

il イル pron 彼が

「主語」

venait ヴネ 3 単半(venir)v.i 来た

「動詞」

王子さまは僕に多くの質問をしたが、僕の質問には決して耳を傾けてくれないように見えた。[B-3]

Le petit prince, qui me posait beaucoup de questions, ne semblait jamais entendre les miennes.

「主語」「動詞句」「目的語」

Le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様は

「主語」

qui キ conj. (彼は) ~する

「形容詞節：prince」

me ム pron 私に

「間接目的語」

posait ポゼ 3 単半(poser)v.t (質問を) した

「動詞」

beaucoup de questions ボク・トゥ・クエスチョン

n.f 沢山の質問を

「直接目的語」

ne semblait jamais entendre ヌ・ソンプレ・ジャメ・オントントゥル 3 単半・否定(sembler+不定詞)

v.t 決して耳を傾けないように見えた

「動詞句」

les miennes レ・ミエヌ pl.n.f 僕の質問に

「目的語」

こうして、彼がはじめて僕の飛行機に気づいたとき (僕は、飛行機の絵は描かない。僕には複雑すぎる絵だ)、彼はこう訊いた：[B-3]

Ainsi, quand il aperçut pour la première fois mon avion (je ne dessinerai pas mon avion, c'est un dessin beaucoup trop compliqué pour moi) il me demanda:

「副詞」, 「副詞節」(「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞」「補語」)

「主語」「間接目的語」「動詞」:

Ainsi アンシ adv. こうして

「副詞」

quand コン conj. ~する時

「副詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

aperçut アペルシュ 3 単過(apercevoir)v.t 見た

「動詞」

文の構成要素

| | | | |
|----------------------------------|--------------------|---------------------------|---------------|
| pour la première fois | プール・ラ・プルミエール・ファ | adv. 初めて | 「副詞句：aperçut」 |
| mon avion | モ・ナヴィオン | n.m 僕の飛行機を | 「目的語」 |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ne dessinerai pas | ヌ・テシヌレ・パ | 1 単未・否定(dessiner)v.t 描かない | 「動詞句」 |
| mon avion | モ・ナヴィオン | n.m 飛行機を | 「目的語」 |
| c' | ス | pron それは | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| un dessin | アン・テッサン | n.m 絵 | 「補語」 |
| beaucoup trop compliqué pour moi | ボク・トロ・コンプレク・プール・ムリ | | |
| | adj. 僕には難しすぎる | | 「形容詞句：dessin」 |
| il | イル | pron 彼は | 「主語」 |
| me | ム | pron 私に | 「間接目的語」 |
| demanda | ドゥマンダ | 3 単過(demander)v.t 尋ねた | 「動詞」 |

僕は、空を飛ぶんだということを教えることができ、誇らしかった。すると、彼は大声で言った。[B-3]

Et j'étais fier de lui apprendre que je volais. Alors il s'écria:

Et 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞句」:

| | | | |
|-----------|---------|------------------------|---------|
| Et | エ | conj. そして | |
| j' | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| étais | エテ | 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| fier | フィエール | adj. (de を) 誇らしい | 「補語」 |
| de | ドゥ | prep (+不定詞句) (理由) ~をして | 「副詞句」 |
| lui | リュイ | pron 彼に | 「間接目的語」 |
| apprendre | アプロントゥル | 不定詞 v.t 教える | 「動詞」 |
| que | ク | conj. ~ということを | 「目的語」 |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| volais | ヴォレ | 1 単半(voler)v.i そらを飛ぶ | 「動詞」 |
| Alors | アロー | adv. すると | 「副詞」 |
| il | イル | pron 彼は | 「主語」 |
| s'écria | セクリア | 3 単過(s'écrier)v.pr 叫んだ | 「動詞句」 |

そう言って、王子さまは可愛らしくけらけらと笑って、僕をひどく苛立たせた。[B-3]

Et le petit prince eut un très joli éclat de rire qui m'irrita beaucoup.

Et 「主語」「動詞」「目的語」「主語」「目的語」「動詞」「副詞」

Et エ conj. そして

le petit prince ル・プチ・フランス n.m 王子様は 「主語」

eut イ 3 単過(avoir)v.t (行為を) ～した 「動詞」

un très joli éclat de rire アン・トレ・ジヨリ・エクラ・トゥ・リール
n.m けらけらと可愛い笑いを 「目的語」

qui キ pron それが (連続的に翻訳する) 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

irrita イラ 3 単過(irriter)v.t 苛々させた 「動詞」

beaucoup ボク adv. とても、ひどく 「副詞 : irrita」

ぼくが出逢った不慮の災難を、僕は人にはまじめに受け取って欲しいんだ。[B-3]

Je désire que l'on prenne mes malheurs au sérieux.

「主語」「動詞」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

désire デジール 1 単現(désirer)v.t 希望する 「動詞」

que ク pron ～ということを 「目的語」

l'on ロン n. 人は (et, ou, que, si の後や文頭では on→l'on と書く) 「主語」

prenne プレンヌ 接・3 単現(prendre)v.t 受け止める 「動詞」

mes malheurs メ・マルール pl.n.m 僕の災難を 「目的語」

au sérieux オ・セリュ adv. まじめに 「副詞句 : prenne」

すぐさま、王子様が (こんなところに) いるという不思議さのなかに、光のかがやきが垣間見えた。そこで僕は唐突に尋ねた。[B-3]

J'entrevis aussitôt une lueur, dans le mystère de sa présence, et j'interrogeai brusquement :

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「副詞」 :

J' ジュ pron 僕は 「主語」

entrevis オントルヴィ 1 単過(entrevoir)v.t 垣間見た 「動詞」

aussitôt オト adv. すぐに、ただちに 「副詞」

une lueur ユヌ・リュエル n.f ほのかな光 「目的語」

dans le mystère トン・ル・ミステール adv. 神秘の中に 「副詞句」

de sa présence トゥ・サ・プレザンス adj. 彼の存在という 「形容詞句 : mystère」

et エ conj. そして

interrogeai アンテロジェ 1 単過(interroger)v.t 尋ねた 「動詞」

brusquement ブリュスクモン adv. 唐突に、不意に、急に 「副詞」

しかしながら、彼は僕に返事をしない。僕の飛行機を見ながら、静かに首を振っていた：

[B-3]

Mais il ne me répondit pas. Il hochait la tête doucement tout en regardant mon avion.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」：

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は 「主語」

ne ...répondit pas ス...レポ ンディ・パ 3 単過(répondre)v.i (à に) 答えなかった 「動詞句」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

hochait オッシェ 3 単半(hocher)v.t (頭を) 振っていた 「動詞」

la tête ラ・テット n.f 頭を 「目的語」

doucement トゥースモン adv. 静かに 「副詞」

tout en regardant トゥ・トン・ルギャルトン ジェロンディフ adv. 見ながら 「副詞句」

tout はジェロンディフを強調している

mon avion モ・ナヴィオン n.m 僕の飛行機を 「目的語」

それから、僕の描いた羊の絵をポケットから取り出して、彼の宝物の観相にふけた。

[B-3]

Puis, sortant mon mouton de sa poche, il se plongeait dans la contemplation de son trésor.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Puis ピュイ adv. それから 「副詞」

sortant ソルトン 現在分詞(sortir) adv. ～を取り出して 「副詞句」

mon mouton モン・ムトン n.m 僕の描いた羊の絵を 「目的語」

de sa poche トゥ・サ・ポッシェ adv. 彼のポケットから 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

se plongeait ス・プ ロンジャ 3 単過(se plonger)v.pr ひたった 「動詞句」

dans la contemplation トン・ラ・コントンプラシオン adv. 観想に 「副詞句」

de son trésor トゥ・ソン・トレゾール adj. 彼の宝物の 「形容詞句：contemplation」

王子様が『他の星』から来たらしいという半ば打ち明け話に、僕がどんなに好奇心をそそられたか、君たちには想像がつくだろう。[B-3]

Vous imaginez combien j'avais pu être intrigué par cette demi-confiance sur...《les autres planètes》...

「主語」「動詞」「目的語」

Vous ウ` pron 君たちは 「主語」

imaginez イマジネ 2 複現(imaginer)v.t 想像できるだろう 「動詞」

文の構成要素

| | | | |
|------------------------|-------------------|----------------------------|-------|
| combien | コンビヤン | adv. どれほど〜ということ | 「目的語」 |
| j' | ジュ | pron 僕が | 「主語」 |
| avais pu être intrigué | アヴァ・ピュ・エートル・アントリゲ | 1 単半・完了形・推測(pouvoir+受動不定詞) | |
| | v.t | 好奇心をそそられたらう | 「動詞句」 |
| par | パール | prep 〜に対して | 「副詞句」 |
| cette demi-confidence | セツ・ドゥミ・コンフィダンス | | |
| | n.f | この半ば打ち明け話に | 「目的語」 |
| sur | シュール | 《les autres planètes》 | |
| | adv. | 他の惑星に関する | 「副詞句」 |

「坊や、どこから来たの。君のとこって、どこなの。僕の羊をどこへ連れて行きたいの？」

[B-3]

《D'où viens-tu, mon petit bonhomme? Où est-ce “chez toi”? Où veux-tu emporter mon mouton?》
 「副詞句」「動詞」「主語」 | 「副詞」「動詞」「主語」
 「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

| | | | |
|------------------------|---------------|------------------------------|-------|
| D'où | ドゥ | adv. どこから | 「副詞句」 |
| viens | ヴィヤン | 2 単現(venir)v.i 来た | 「動詞」 |
| tu, mon petit bonhomme | チュ・モン・プティ・ボノム | pron. 坊や | 「主語」 |
| Où | ウ | adv. どこ | 「副詞」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i 〜にある | 「動詞」 |
| ce “chez toi” | ス・シェ・トゥワ | n. 君のとこ | 「主語」 |
| Où | ウ | adv. どこへ | 「副詞」 |
| veux ...emporter | ウ ...オポルテ | 2 単現(vouloir+不定詞)v.t 連れて行きたい | 「動詞句」 |
| tu | チュ | pron 君は | 「主語」 |
| mon mouton》 | モン・ムトン | n.m 僕の羊を | 「目的語」 |

黙って考え込んでから、彼はこう答えた：[B-3]

Il me répondit après un silence méditatif. 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」：
 Il pron 彼は 「主語」
 me pron 僕に 「間接目的語」
 répondit レボンティ 3 単過(répondre)v.i (à に) 答えた 「動詞」
 après アプレ prep 〜の後で 「副詞句：répondit」
 un silence méditatif アン・シロンス・メディタティフ n.m 瞑想的な沈黙 「目的語」
 → 黙って考え込んでから

この提案が、王子様にひどくショックを与えたようだった：[B-3]

La proposition parut choquer le petit prince: 「主語」「動詞」「補語」:
 La proposition ラ・プロポジション n.f この提案が 「主語」
 parut パリュ 3 単過(paraitre)v.i (+補語／不定詞) ～のように思われた 「動詞」
 choquer ショケ 不定詞 v.t ショックを与えている 「補語」
 le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様に 「目的語」

彼は僕にひどく疲れていないかと尋ね、母さんの年齢も知りたかった。[C-1-3]

Il m'a demandé si je n'étais pas trop fatigué et il a voulu savoir aussi l'âge de maman.
 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a demandé ア・ドゥァンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'étais pas ネ・パ 1 単半・否定(être)v.i ～でなかった 「動詞句」
 trop fatigué トロ・ファチゲ adj. かなり疲れた 「補語」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 a voulu savoir ア・ヴリュ・サヴ わル 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞 savoir)
 v.t 知りたかった、訊ねた 「動詞句」
 aussi オシ adv. もまた 「副詞」
 l'âge de maman. ラージュ・ト・カ・マモン n.m 母さんの年齢 「目的語」

僕の事務机の上には沢山の船荷証券が山積みになっていて、僕はそれらをすべて綿密に調べなければならなかった。[C-1-3]

Il y avait un tas de connaissances qui s'amoncelaient sur ma table et il a fallu que je les dépouille tous.
 「動詞句」「目的語」 et 「副詞節」
 Il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t ～があった 「動詞句」
 un tas de アン・タ・トゥ adj. 沢山の～ 「形容詞句」
 connaissances コネスモン pl.n.m 船荷証券 「目的語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 s'amoncelaient サモンスレ 3 複半(s'amonceler)
 v.pr 積み重なっていた 「動詞句」
 sur ma table シュール・マ・ターブル adv. 僕の事務机の上に 「副詞句」
 et

文の構成要素

il a fallu que +接続法 イ・ラ・ファリュ・ク conj. ～しなければならなかった 「副詞節」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 les レ pron それらを 「目的語」
 dépouille デプ・ユ 1 単現(dépouiller)v.t (資料を) 綿密に調べる 「動詞」
 tous トゥ adj.m.pl すべての 「形容詞 : les = connaissances」

船荷証券 (ふなにしょうけん) connaissances :

貿易における船積書類のひとつ。船会社など運送業者が発行し、貨物の引き受けを証明し、当該貨物受け取りの際の依拠とする。英語では Bill of Lading、B/L と略す。船積書類のうち、もっとも重要な書類である。

昼食を食べに行くために会社を出る前に、僕は手を洗った。正午はこの瞬間が大好きだ。

[C-1-3]

Avant de quitter le bureau pour aller déjeuner, je me suis lavé les mains. A midi, j'aime bien ce moment.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
 Avant de +不定詞 アヴァン・ドゥ adv. ～する前に 「副詞句」
 quitter キテ 不定詞 v.t ～を離れる 「動詞」
 le bureau ル・ビュロー n.m 会社を 「目的語」
 pour +不定詞 プール adv. ～するために 「副詞句」
 aller déjeuner, アレ・デジユネ 不定詞(aller+不定詞)
 v.i 昼食を食べに行く 「動詞句」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis lavé ム・シュイ・ラヴェ 1 単現・完了形(se laver)v.pr 自分の～を洗った 「動詞句」
 les mains. レ・マン pl.n.f 手を 「目的語」
 A midi, ア・ミディ adv. 正午は 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 aime bien エム・ビヤン 1 単現(aimer)v.t とても好きだ 「動詞句」
 ce moment. ス・モモン n.m この時間が、この瞬間が 「目的語」

会社は海に面しているので、太陽で焼き付くような港の中の貨物船を眺めて時間を潰した。

[C-1-3]

Le bureau donne sur la mer et nous avons perdu un moment à regarder les cargos dans le port brûlant de soleil.

「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Le bureau ル・ビュロー n.m 会社は 「主語」
 donne トンス 3 単現(donner)v.i(sur に) 面している 「動詞」

文の構成要素

| | | | |
|--------------|------------|-------------------------------|--------|
| sur la mer | シュール・ラ・メル | adv. 海に | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. そして | |
| nous | ヌ | pron 僕たちは | 「主語」 |
| avons perdu | アヴ・オン・ペルデュ | 1 複現・完了形(perdre)v.t (時間を) 潰した | 「動詞句」 |
| un moment | アン・モモン | n.m 少しの間 | 「目的語」 |
| à +不定詞 | ア | adv. (手段) ~をして | 「副詞句」 |
| regarder | ルギャルテ | 不定詞 v.t 見る、眺める | 「動詞」 |
| les cargos | レ・ツギャルゴ | pl.n.m 貨物船を | 「目的語」 |
| dans le port | ドン・ル・ポール | adv. 港の中の | 「形容詞句」 |
| brûlant | ブリュロン | 現在分詞(brûler) | |
| | v.i(de で) | 燃えている、焼き付いている | 「副詞句」 |
| de soleil. | ドゥ・ソレイユ | adv. 太陽によって | 「副詞句」 |

その時、トラックがチェーンとエンジンの轟音に包まれて到着した。[C-1-3]

A ce moment, un camion est arrivé dans un fracas de chaînes et d'explosions.

| | | | |
|---------------|-------------|---------------------------|---------------------|
| | | | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| A ce moment, | ア・ス・モモン | adv. その時、当時 | 「副詞句」 |
| un camion | アン・カミオン | n.m トラックが | 「主語」 |
| | camionnette | カミオネット n.f 小型トラック | |
| | poids lourd | フ・ワ・ルール n.m 大型トラック | |
| est arrivé | エ・アリガエ | 3 単現・完了形(arriver)v.i 到着した | 「動詞句」 |
| dans | ドン | prep ~の中から | 「副詞句」 |
| un fracas | アン・フラカ | n.m 大音響 | 「目的語」 |
| de chaînes | ドゥ・シェヌ | adj. チェーンの | 「形容詞句」 |
| et | エ | conj. そして | |
| d'explosions. | デクスプロジオン | adj. (エンジンの) 爆音の | 「形容詞句」 |

エマヌエルが僕に「あれに乗らないか」と尋ねたので、僕は駆け出した。[C-1-3]

Emmanuel m'a demandé «si on y allait» et je me suis mis à courir.

| | | | |
|-----------|---------|---------------------------|-------------------------|
| | | | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| et | | | 「主語」「動詞句」 |
| Emmanuel | エマヌエル | n.m エマヌエルが | 「主語」 |
| m' | ム | pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé | ア・ドゥモンテ | 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| «si | シ | conj. (勧誘) ~しないかという事を | 「直接目的語」 |
| on | オン | pron (動詞は三人称単数形) 俺たちは | 「主語」 |
| y | イ | adv. あれに、トラックに | 「副詞」 |
| allait» | アレ | 3 単半(aller)v.i 行く、乗る | 「動詞」 |

文の構成要素

et エ conj. そして
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis mis à courir. ム・シュイ・ミ・ア・クリル 1 単現・完了形(se mettre à+不定詞)
 v.pr 走り始めた 「動詞句」

僕はもう何も見えなかった。そしてとにかく走る衝動しか感じなかった。僕らの周囲は、ウィンチや機械類が一杯で、水平線の上でマストが踊っていて、僕らが走るすぐ横には船体が並んでいた。[C-1-3]

Je ne voyais plus rien et ne sentais que cet élan désordonné de la course, au milieu des treuils et des machines, des mâts qui dansaient sur l'horizon et des coques que nous longions.
 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「動詞句」「目的語」, 「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne voyais plus ヌ・ヴ・ワ・ヱ・フリュ 1 単半・否定(voir+ ne...plus)v.t もう見えなかった「動詞句」
 rien リン pron 何も (～ない) 「目的語」

et エ conj. そして
 ne sentais que ヌ・ン・テク 1 単半・否定(sentir+ne...que)v.t ～しか感じなかった 「動詞句」
 cet élan セット・エロン n.m あの衝動 「目的語」

désordonné デ・ゾルトネ adj. 無秩序な、不規則な 「形容詞」
 de la course, トゥ・ラ・クルス adj. 走ることの 「形容詞句」
 au milieu オ・ミユ adv. (de の) 真ん中で 「副詞句」

des treuils デ・トロイ pl.n.m ウィンチ 「目的語」
 et エ conj. そして

des machines, デ・マシヌ pl.n.f 機械 「目的語」
 des mâts デ・マ pl.n.m マスト 「目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

dansaient トンセ 3 複半(danser)v.i 踊っていた 「動詞」

sur l'horizon シュール・ロリゾン adv. 水平線の上で 「副詞句」

et エ conj. そして
 des coques デ・コック pl.n.f 船体 「目的語」

que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

nous longions. ヌ・ロンジヨン 1 複半(se longer)
 v.pr ～に沿って走った 「動詞句」

文の構成要素

僕たちは汗びっしょりでセレストの店に着いた。セレストは、太った腹に前掛けそして白い口髭という風貌で、いつものように店にいた。[C-1-3]

Nous sommes arrivés en nage chez Céleste. Il était toujours là, avec son gros ventre, son tablier et ses moustaches blanches.

| | | |
|---|-----------------------|---------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 |
| Nous ヌ pron 僕たちは | | 「主語」 |
| sommes arrivés ソム・ザリヴェ 1 複現・完了形(arriver)v.i 着いた | | 「動詞句」 |
| en nage オン・ナージュ adv. 汗びっしょりで | | 「副詞句」 |
| chez Céleste. シェ・セレスト adv. セレストの店に | | 「間接目的語」 |
| Il イル pron セレストは | | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i いた | | 「動詞」 |
| toujours là, トゥージュール・ラ adv. いつものようにそこに | | 「副詞句」 |
| avec アヴェッキ adv. ～を着て、～の様子で | | 「副詞句」 |
| son gros ventre, ソン・グロ・ヴァントル n.m 太った腹 | | 「目的語」 |
| son tablier ソン・タブリエ n.m 前掛け | | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | | |
| ses moustaches blanches. セ・ムスタシュ・ブロンシュ pl.n.f 白い口ひげ | | 「目的語」 |

部屋に上がって行く途中、暗い階段で、同じ階に住むサラマノという老人と鉢合わせした。

[C-1-3]

En montant, dans l'escalier noir, j'ai heurté le vieux Salamano, mon voisin de palier.

| | |
|--|-----------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| En montant, オン・モンソ ジェルンディオ(monter)v.i 部屋に上がって行く時 | 「副詞句」 |
| dans l'escalier noir, ドン・レスカリエ・ヌワール adv. 暗い階段で | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai heurté エ・ウルテ 1 単現・完了形(heurter)v.t ぶつかった、鉢合わせした、遭遇した | 「動詞句」 |
| le vieux Salamano, ル・ヴィュー・サラマノ n.m サラマノという老人に | 「目的語」 |
| mon voisin モン・ヴァン・ザン n.m (同格) 隣人の | 「形容詞句」 |
| de palier. ド・パリエ adj. 同じ階の | 「形容詞句」 |

彼は犬と一緒にいた。彼らが一緒にいるのを見かけるようになって8年になる。[C-1-3]

Il était avec son chien. Il y a huit ans qu'on les voit ensemble.

| | | |
|---|--------------|------------------------|
| | 「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」「補語」 |
| Il イル pron 彼は | | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | | 「動詞」 |
| avec son chien. アヴェッキ・ソン・シャン adv. 犬と一緒に | | 「補語」 |

文の構成要素

| | | |
|-----------------------------------|---------------|-------|
| Il y a huit ans qu' イ・リ・ヤ・ユイ・タン・キ | adv. 8年前から～する | 「副詞句」 |
| on オン pron 私 | | 「主語」 |
| les レ pron 彼らを | | 「目的語」 |
| voit ヴェ 3 単現(voir)v.t 見かけている | | 「動詞」 |
| ensemble. オンソブル adv. 一緒にいる | | 「補語」 |

そのスパニエル犬は皮膚病だった。疥癬だと思うのだが。それがその犬のほとんどの体毛を失わせており、犬の体を出来物や褐色のかさぶたで覆っていた。[C-1-3]

L'épagneul a une maladie de peau, le rouge, je crois, qui lui fait perdre presque tous ses poils et qui le couvre de plaques et de croûtes brunes.

| | |
|---|--|
| | 「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」「主語」「動詞」, 「形容詞節」, 「形容詞節」 |
| L'épagneul レパニエル n. そのスパニエル犬は | 「主語」 |
| a ア 3 単現(avoir)v.t ある | 「動詞」 |
| une maladie de peau, エヌ・マラデー・トゥ・プー n.f 皮膚病 | 「目的語」 |
| le rouge, ル・ルー・ジュ n. 赤い皮膚病、疥癬 | 「目的語」 |
| je ジェ pron 僕は | 「主語」 |
| crois, クル 1 単現(croire)v.t (que) ～と思う | 「動詞」 |
| qui キ pron (主語) それが～する | 「形容詞節」 |
| lui リュイ pron その犬に | 「目的語」 |
| fait perdre フェ・ペルトル 3 単現・使役(faire+不定詞)v.t 失わせる | 「動詞句」 |
| presque tous ses poils プレスキ・トゥ・セ・プールの pl.n.m ほとんどの体毛を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| qui キ pron (主語) それが～する | 「形容詞節」 |
| le ル pron 犬を | 「目的語」 |
| couvre クーブル 3 単現(couvrir)v.t (de で) 覆っている | 「動詞」 |
| de plaques トゥ・プラキ adv. 出来物で | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| de croûtes brunes. トゥ・クルト・ブリュヌ adv. 褐色のかさぶたで | 「副詞句」 |

疥癬 かいせん：

疥癬虫（ヒゼンダニ）の寄生によっておこる伝染性の皮膚病。下腹部などに散発する赤い丘疹、指の間に多発する小水疱と線状の皮疹が特徴でとてもかゆい。

文の構成要素

彼の顔には赤味を帯びたかさぶたがあり、体毛は黄色で少なかった。犬は、飼い主の老人から、鼻面を前に突き出し、首を伸ばして背中を曲げて歩くしぐさを受け継いでいた。

[C-1-3]

Il a des croûtes rougeâtres sur le visage et le poil jaune et rare. Le chien, lui, a pris de son patron une sorte d'allure voûtée, le museau en avant et le cou tendu.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
a ア 3 単現(avoir)v.t ある 「動詞」
des croûtes rougeâtres デ・クルト・ルジヤートル pl.n.f 赤味を帯びたかさぶた 「目的語」
sur le visage シュール・ル・ヴィザージュ adv. 顔に 「副詞句」
et エ conj. そして
le poil ル・ポワール n.m 体毛は 「目的語」
jaune et rare. ジョヌ・エ・ラル adj. 黄色でわずか 「形容詞句」
Le chien, ル・シヤン n.m その犬は 「主語」
lui, リュイ pron 彼から 「間接目的語」
a pris ア・プリ 3 単現・完了形(prendre)v.t 受け取った 「動詞句」
de son patron トゥ・ソン・パトロン adv. 飼い主から 「間接目的語」
une sorte d' ユンス・ソルト・ドゥ n.f 一種の～のようなものを 「直接目的語」
allure voûtée, アリュール・ヴァテ n.f 背中を曲げた歩き方 「目的語」
le museau ル・ミュゾー n.m 鼻面を～して 「副詞句」
en avant オン・アヴァン adv. 前に 「副詞句」
et エ conj. そして
le cou ル・ク n.m 首を 「目的語」
tendu. トンデュ adj. 伸ばした 「形容詞」

犬が尿をしたくなった時でも、老人はその時間を与えずに犬を引っ張っていくので、そのスパニエル犬は自分の後ろに小さなしずくの痕跡をまき散らしながら引きずられていく。

[C-1-3]

Quand le chien veut uriner, le vieux ne lui en laisse pas le temps et il le tire, l'épagneul semant derrière lui une traînée de petites gouttes.

「副詞節」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」「動詞句」「直接目的語」

et 「主語」「動詞」, 「目的語」

Quand コン conj. ～する時 「副詞節」
le chien ル・シヤン n.m 犬が 「主語」
veut uriner, ヴェ・イリネ 3 単現・願望(vouloir+不定詞)v.i 放尿したい 「動詞句」

文の構成要素

| | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|---------|
| le vieux ル・ヴィヨ n.m | 老人は | 「主語」 |
| ne ...laisse pas ス...レス・パ° | 3 単現・否定(laisser)v.t 与えない、残さない | 「動詞句」 |
| lui リュイ pron | 犬に | 「間接目的語」 |
| en オン adv. | 放尿するための | 「副詞」 |
| le temps ル・トン n.m | 時間を | 「直接目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| le ル pron | 仮の目的語（真の目的語は l'épagneul semant 以降） | |
| tire, チル | 3 単現(tirer)v.t 引っ張る | 「動詞」 |
| l'épagneul レパ°ニユエル n.m | そのスパニユエル犬を | 「目的語」 |
| semant スモン | 現在分詞(semer)v.t まき散らしている | 「形容詞句」 |
| derrière lui テリェール・リュイ adv. | 自分の後ろに | 「副詞句」 |
| une traînée エヌ・トレネ n.f | 細長い跡を | 「目的語」 |
| de petites gouttes. トゥ・プ° チット・グット | | |
| adj. | 小さなしずくの | 「形容詞句」 |

絶対分詞構文：

現在分詞や過去分詞は主語の動作や状態を表すのがふつうです。しかし、稀に現在分詞や過去分詞が独自の主語をとまって用いられる場合があります。現在分詞は主語の能動的な動作、過去分詞は主語の受動的状態を表します。

この文の semant は tire の目的語である l'épagneul の状況を説明している。

→ 老人は、自分の後ろに小さな滴の一筋をまき散らしているスパニユエル犬を引っ張る

→ 引っ張った結果として、一筋の滴をまき散らす

彼は、「薄汚い死にぞこないめ！」と叫ぶばかりだった。僕は、彼が犬の上に体を傾けて犬の首輪のどこかを調整していることに気が付いた。[C-1-3]

Il disait seulement : « Salaud ! Charogne ! » Je le devinais, penché sur son chien, en train d'arranger quelque chose sur le collier.

| | | |
|----------------------|------------------------------|------------------------|
| | 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 | 「主語」「目的語」「動詞」「補語」「副詞句」 |
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| disait ティセ° | 3 単半(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| seulement : スルモン | adv. ～だけ | 「副詞」 |
| «Salaud ! Charogne!» | サロー・シャローニ int. 「薄汚い死にぞこないめ！」 | 「目的語」 |
| Je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| le ル pron | 彼が | 「目的語」 |
| devinais, トゥヴィネ | 1 単半(deviner)v.t 見抜いた、気づいた | 「動詞」 |
| penché ポンシェ | 過去分詞(pencher)adj. 体を傾けた | 「補語」 |

文の構成要素

| | | | |
|----------------------------|--------------|---------------|-------|
| sur son chien, シュール・ソンのシヤン | adv. 犬の上に | 「副詞句」 | |
| en train d'arranger | オン・トロン・ダロンジェ | adv. 整えながら | 「副詞句」 |
| en train de+ | 不定詞 | 「～をしながら」 | |
| quelque chose | ケルク・ショーズ | n.f 何かを | 「目的語」 |
| sur le collier. | シュール・ル・コリエ | adv. 犬の首輪の上で | 「副詞句」 |
| collier | コリエ | n.m (犬などの) 首輪 | |

この境界の噂では、彼は複数の女によって生活しているということだ。しかし、僕が彼に職業を聞くと、倉庫の管理人であるという返事だった。[C-1-3]

Dans le quartier, on dit qu'il vit des femmes. Quand on lui demande son métier, pourtant, il est «magasinier».

| | | | |
|--|-----------|---------------------------------|---------|
| 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」 | | | |
| Dans le quartier, | ドン・ルクワルチエ | adv. この界限では | 「副詞句」 |
| quartier | クワルチエ | n.m 街、界限、地区 | |
| on | オン | pron (動詞は三人称単数形) (不特定の) 人々は | 「主語」 |
| dit | ディ | 3 単現(dire)v.t 言っている | 「動詞」 |
| qu' | ク | conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il | イル | pron 彼は | 「主語」 |
| vit | ヴィ | 3 単現(vivre)v.i(de ～によって) 生活している | 「動詞」 |
| des femmes. | デ・ファム | adv.(de les femmes) 複数の女によって | 「副詞句」 |
| Quand | コン | conj. ～した時 | 「副詞節」 |
| on | オン | pron 僕が | 「主語」 |
| lui | リュイ | pron 彼に | 「間接目的語」 |
| demande | ドマント | 1 単現(demander)v.t 尋ねる | 「動詞」 |
| son métier, | ソンのメチエ | n.m 彼の職業を | 「直接目的語」 |
| pourtant, | プルタン | adv. しかしながら | 「副詞」 |
| il | イル | pron 彼は | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| «magasinier». | マガジニエ | n.m 倉庫係、倉庫の管理 | 「補語」 |

僕らは階段を上った。そして別れようという時に彼が言った：「俺の部屋に腸詰とワインがあるんだが、もしよかったら一緒に軽い食事をしませんか?…」[C-1-3]

Nous sommes montés et j'allais le quitter quand il m'a dit: «J'ai chez moi du boudin et du vin. Si vous voulez manger un morceau avec moi?...»

| | | | |
|------|--|----------|------|
| | 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞節」: 「直接目的語」 | | |
| Nous | ヌ | pron 僕らは | 「主語」 |

文の構成要素

| | | | | |
|----------------------|-----------------|----------------------------|------------------------|-----------------|
| sommes montés | ソム・モンテ | 1 複現・完了形(monter)v.i | 上がった | 「動詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| j' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| allais | +不定詞 | アル | 1 単現・近接未来(aller+不定詞)v. | ～するところである 「動詞句」 |
| le | ル | pron | 彼と | 「目的語」 |
| quitter | キテ | 不定詞 v.t | 別れる | 「動詞句」 |
| quand | コン | conj. | その時～する | 「副詞節」 |
| il | イル | pron | 彼が | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: | ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| «J' | ジュ | pron | おれは～であるということを | 「直接目的語」 |
| ai | エ | 1 単現(avoir)v.t | ある | 「動詞」 |
| chez moi | シェ・ムわ | adv. | 俺の部屋に | 「副詞句」 |
| du boudin et du vin. | ジュ・ブダソ・エ・ジュ・ヴァン | | | |
| | pl.n.m | | 腸詰とワイン | 「目的語」 |
| Si | シ | conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| vous | ヴ | pron | 君が | 「主語」 |
| voulez manger | ヴレ・モンジェ | 2 複現・勧誘(vouloir+不定詞：二人称主語) | | |
| | v.t | | よろしければ食べませんか？ | 「動詞句」 |
| un morceau | アン・モルソ | n.m | 軽い食事を | 「目的語」 |
| avec moi?...» | アヴ・エッキ・ムわ | adv. | 一緒に | 「副詞句」 |

僕はこれで自分で料理しなくて済むと思って、彼の申し出を受け入れた。彼のところも、窓のない台所がついた寝室が1つあるだけだった。[C-1-3]

J'ai pensé que cela m'éviterait de faire ma cuisine et j'ai accepté. Lui aussi n'a qu'une chambre, avec une cuisine sans fenêtre.

| | | | | | | |
|------------|----------|-----------------------------|---|----|-----------|-------|
| | | | 「主語」「動詞句」「目的語」 | et | 「主語」「動詞句」 | 「目的語」 |
| J' | ジュ | pron | 僕は | | | 「主語」 |
| ai pensé | エ・ボンセ | 1 単現・完了形(penser que+直説法)v.t | ～だと思った | | | 「動詞句」 |
| que | ク | conj. | ～ということを | | | 「目的語」 |
| cela | スラ | pron | このことは | | | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕を | | | 「目的語」 |
| éviterait | エヴィタル | 条・3 単現(éviter de+不定詞)v.t | ～しないようにする | | | 「動詞」 |
| | | | 彼の誘いを受け入れたら（仮定）、料理をしなくてもよい（結果に対する話者の思い） | | | |
| de faire | トゥ・フェール | 不定詞 v.t | ～することを | | | 「補語」 |
| ma cuisine | マ・キュイジーヌ | n.f | 自分の料理を | | | 「目的語」 |

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| et エ conj. そして、それで | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai accepté. エ・アセプテ 1 単現・完了形(accepter)v.t 申し出を受け入れた | 「動詞句」 |
| Lui aussi リュイ・オシ pron 彼も | 「主語」 |
| n'a qu' ナ・ク 3 単現・否定(avoir+ne...que)v.t ～しかない | 「動詞句」 |
| une chambre, ユヌ・シヨンプル n.f 寝室が 1 つ | 「目的語」 |
| avec une cuisine アヴェ・ェッキ・ユヌ・キュイジヌ adv. 台所つきの | 「副詞句」 |
| sans fenêtre. シン・フネートル adv. 窓なしで | 「副詞句」 |

それで俺は、奴に膝蹴りを 1 発と顔面にパンチを 2 発食らわしてやった。奴の顔は血まみれになった。[C-1-3]

Alors je lui ai donné un coup de genou et deux taquets. Il avait la figure en sang.
「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
「主語」「動詞」「目的語」「補語」

| | |
|--|---------|
| Alors アロー adv. それで | 「副詞」 |
| je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 奴に | 「間接目的語」 |
| ai donné エ・トネ 1 単現・完了形(donner)v.t 与えた、おみまいした | 「動詞句」 |
| un coup アン・クー n.m 一撃を | 「直接目的語」 |
| de genou トゥ・ジュヌー adj. 膝の | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| deux taquets. トゥ・タ pl.n.m (俗・古風) 顔面への殴打、パンチを 2 発 | 「直接目的語」 |
| Il イル pron 奴は | 「主語」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (ある状態に) になった | 「動詞」 |
| la figure ラ・フィギュール n.f 顔 | 「目的語」 |
| en sang. オン・ソン adv. 血まみれの | 「補語」 |

俺は奴に、気が済んだかと訊いた。[C-1-3]

| | |
|---|-------------------------|
| <u>Je lui ai demandé s'il avait son compte.</u> | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 奴に | 「間接目的語」 |
| ai demandé エ・トモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 訊いた | 「動詞句」 |
| s' シ conj. ～かどうかということを | 「直接目的語」 |
| il イル pron 奴が | 「主語」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t 取った | 「動詞」 |
| son compte. シン・コント n.m 自分の取り分を、利益を | 「目的語」 |

文の構成要素

→ 満足したかどうかということ

すると彼は僕に、丁度この件で相談したかったのだと言った。そしてその理由として、僕が人生というものをわきまえた男なので、彼の力になることが出来るし、そうしたら彼は僕の親友になるだろうと言うのだった。[C-1-3]

Alors il m'a déclaré que, justement, il voulait me demander un conseil au sujet de cette affaire, que moi, j'étais un homme, je connaissais la vie, que je pouvais l'aider et qu'ensuite il serait mon copain.

「副詞」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」

「直接目的語」, 「直接目的語」, 「直接目的語」 et 「直接目的語」

Alors アー adv. すると 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと言った 「動詞句」

que, ク conj. ～ということ 「直接目的語」

justement, ジュストメン adv. ちょうど、まさに 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

voulait ...demander ヴレ...トウモンデ 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.t 頼みたかった 「動詞句」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

un conseil アン・ CONSEIL n.m アドバイスを、助言を 「直接目的語」

au sujet de cette affaire, オ・シュジェ・トウ・セツ・アフエル

adv. この件に関して 「副詞句」

que ク conj. (頼んだ理由) ～ということ 「直接目的語」

moi, j' ムわ・ジュ pron 僕が 「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

un homme, アン・ノム n.m 男 「補語」

je ジュ pron (主語) ～する 「形容詞節」

connaissais コネ 1 単半(connaître)v.t 知っている 「動詞」

la vie, ラ・ヴィー n.f 人生というものを 「目的語」

que ク conj. (頼んだ理由) ～ということ 「直接目的語」

je ジュ pron 僕が 「主語」

pouvais ...aider プウヴェ...エテ 1 単半・可能・時制の一致(pouvoir+不定詞)

v.t 手助けができる 「動詞句」

l' ル pron 彼を 「目的語」

et エ conj. そして

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| qu' ク conj. (頼んだ理由) ～ということを | 「直接目的語」 |
| ensuite オンシュイト adv. それから、その後に | 「副詞」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| serait スレ 条・3 単現(être)v.i (話者の考え) ～になるだろう | 「動詞」 |
| mon copain. モン・コパン n.m 僕の親友 | 「補語」 |

彼が喧嘩した相手の男は、その女の兄弟だった。彼は自分が女を養ってきたと言った。

[C-1-3]

| | |
|--|--|
| <u>L'homme avec qui il s'était battu</u> <u>était le frère de cette femme.</u> <u>Il m'a dit qu'il l'avait entretenue.</u> | 「主語」「動詞」「補語」 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| L'homme ロム pron その男は | 「主語」 |
| avec qui アヴ・ェツ・キ pron (目的語) に～する | 「形容詞節」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| s'était battu セテ・バ・チュ 3 単半・完了形(se battre) | |
| v.pr 互いに殴り合った | 「動詞句」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| le frère ル・フレール n.m 兄弟 | 「補語」 |
| de cette femme. トゥ・ウ・セツ・ファミ adj. この女の | 「形容詞句」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| l' ラ pron その女を | 「目的語」 |
| 過去分詞 entretenu が女性形 -e になっているため | |
| avait entretenue. アヴ・ェ・オントルトウニユ 3 単半・完了形.f(entretenir) | |
| v.t 養ってきた | 「動詞句」 |

僕は何も答えなかったが、彼はすぐに付け加えた。自分は限界で言われていることは知っているが、女に対しては良心に恥じることはない、そして倉庫係をしていると。[C-1-3]

| | |
|---|--|
| <u>Je n'ai rien répondu</u> <u>et pourtant il a ajouté tout de suite qu'il savait ce qu'on disait dans le quartier,</u> <u>mais qu'il avait sa conscience pour lui et qu'il était magasinier.</u> | 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 mais 「目的語」 et 「目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai ...répondu ネ...レポンスデ 1 単現・完了形・否定(répondre)v.t 答えなかった | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| rien リヤン pron 何も～ない | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| pourtant プールタン adv. けれども | 「副詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a ajouté ア・アジュテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた | 「動詞句」 |
| tout de suite トゥ・トゥ・スイット adv. すぐに | 「副詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| savait サヴェ 3 単半(savoir)v.t 知っている | 「動詞」 |
| ce qu' スク pron ～ということを | 「目的語」 |
| on オン pron (動詞は三人称単数形) 人々が | 「主語」 |
| disait デイゼ 3 単半(dire)v.t 言っている | 「動詞」 |
| dans le quartier, ドン・ルクワルチエ adv. 境界で | 「副詞句」 |
| mais メ conj. しかし | |
| qu' ク pron ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t あった | 「動詞」 |
| sa conscience サ・コンシヤンス n.f 良心が | 「目的語」 |
| pour lui プール・リュイ adv. 彼女に対する | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| qu' ク pron ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| magasinier. マガジニエ n.m 倉庫係 | 「補語」 |

僕はすでにワインを 1 リットルほど飲んでいたので、こめかみの辺りがすごく熱かった。

[C-1-3]

J'avais bu près d'un litre de vin et j'avais très chaud aux tempes.

| | |
|--|--------------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais bu アヴェ・ビュ 1 単半・完了形(boire)v.t (すでに) 飲んでいて | 「動詞句」 |
| près d'+数量表現 プレ・トゥ adj. およそ～の | 「形容詞句」 |
| un litre de vin アン・リトル・トゥ・ヴァン n.m 1 リットルのワインを | 「目的語」 |
| et エ conj. それで | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t (状態) ～だった | 「動詞」 |

文の構成要素

très chaud トレ・ショ n.m 強い熱さ、とても熱い 「目的語」
aux tempes. オ・トプ° adv. こめかみのあたりが 「副詞句」

僕は自分のタバコが切れたので、レーモンのを吸っていた。[C-1-3]

Je fumais les cigarettes de Raymond parce qu'il ne m'en restait plus.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
fumais フュメ 1 単半(fumer)v.t (タバコを) 吸っていた 「動詞」
les cigarettes レ・シガレット pl.n.f タバコを 「目的語」
de Raymond トゥ・レーモン adj. レーモンの 「形容詞句」
parce qu' パルス・ク conj. ～なので 「副詞節」
il イル pron 非人称
ne ...restait plus. ス・レステ・フリュ 3 単半・否定(rester)
v.h もう残っていなかった 「動詞句」
m' ム pron 僕の 「間接目的語」
en オン adv. タバコは 「副詞」

しかしレーモンは、自分では肝心なその手紙が書けないので、それを書くために僕のことを思いついたと言った。[C-1-3]

Mais Raymond m'a dit qu'il ne se sentait pas capable de faire la lettre qu'il fallait et qu'il avait pensé à moi pour la rédiger.

Mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「直接目的語」

Mais メ conj. しかし
Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」
m' ム on 僕に 「間接目的語」
a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
ne se sentait pas ス・ス・ソテ・パ° 3 単半・否定(se sentir)
v.pr 自分を～と思わない 「動詞句」
capable de +不定詞 カ°-ブル・トゥ adj. ～することができる 「補語」
faire フェール 不定詞 v.t (手紙を) 書く 「動詞」
la lettre ラ・レットル n.m その手紙を 「目的語」
qu' ク pron ～する 「形容詞節」
il fallait イル・ファレ 3 単半(falloir)
v.h 必要である (肝心な) 「動詞句」

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| et エ conj. そして | |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| avait pensé アヴェ・ポンセ 3 単半・完了形(penser) | |
| v.i(à のことを) 考えた | 「動詞句」 |
| à moi ア・ムリ adv. 僕のことを | 「間接目的語」 |
| pour la rédiger. プール・ラ・レディジェ adv. 手紙を書くために | 「副詞句」 |

彼は、ナイトテーブルの引き出しの中から、方眼紙を 1 枚と赤い木製の小さなペン軸それに紫色のインクが入った四角いインク瓶を取り出してきた。[C-1-3]

Il a pris dans un tiroir de sa table de nuit une feuille de papier quadrillé, une enveloppe jaune, un petit porte-plume de bois rouge et un encrier carré d'encre violette.

| | |
|--|---------------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a pris ア・プリ 3 単現・完了形(prendre)v.t 持ってきた、取り出してきた | 「動詞句」 |
| dans un tiroir トン・ザン・ティルワール adv. 引き出しの中から | 「副詞句」 |
| de sa table de nuit トゥ・サ・ターブル・トゥ・ニュイ adj. ナイトテーブルの | 「形容詞句」 |
| une feuille de papier エヌ・フィユ・トゥ・パ・ピエ n.f 紙を 1 枚 | 「目的語」 |
| quadrillé, キャトリエ adj. 方眼の入った | 「形容詞」 |
| une enveloppe jaune, エヌ・オンヴ・ロップ・ジョヌ n.f 黄色の封筒を | 「目的語」 |
| un petit porte-plume アン・プティ・ポルト・プリュム n.m 小さなペン軸を | 「目的語」 |
| de bois rouge トゥ・フ・ワ・ルージュ adj. (素材) 赤い木製の | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| un encrier アン・オンクリエ n.m インク瓶を | 「目的語」 |
| carré キャレ adj. 四角い | 「形容詞句」 |
| d'encre トンクル adj. インクの | 「形容詞句」 |
| violette. ヴィオレット adj.f(violet) 紫色の | 「形容詞」 |

彼が僕に女の姓を告げた時、僕は女がモール人だと分かった。[C-1-3]

Quand il m'a dit le nom de la femme, j'ai vu que c'était une Mauresque.

| | |
|--|-----------------------|
| | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Quand コン conj. ～する時 | 「副詞節」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| le nom de la femme, ル・ナム・トゥ・ラ・ファミ n.m 女の姓を | 「直接目的語」 |

文の構成要素

| | | |
|------------------------------|------------|-------|
| nom de la femme | 姓、ファミリーネーム | |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形(voir)v.t | 分かった | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということ | 「目的語」 |
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| une Mauresque. ムヌ・モレスキ n.f | ムーア人の女性 | 「補語」 |

ムーア人：

ヨーロッパ人が、北西アフリカ(マグリブ)のイスラム教徒を指す呼称。モール人。

僕は、自分の耳の中で鳴り響く、自分の血が脈打つ音しか聞こえなかった。僕はじっと動かないでいた。[C-1-3]

Je n'entendais que les coups de mon sang qui bourdonnait à mes oreilles. Je suis resté immobile.

| | | |
|--|----------------|---------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「補語」 |
| Je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| n'entendais ヌ・オントンテ 1 単半・否定(entendre) | | |
| v.t(ne ...que ～しか) | 聞こえなかった | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということしか | 「目的語」 |
| les coups レ・クー pl.n.m | 打つ音 | 「目的語」 |
| de mon sang ト・ウ・モン・ソン adj. | 自分の血の | 「形容詞句」 |
| qui キ pron (主語) | ～する | 「形容詞節」 |
| bourdonnait ブルトネ 3 単半(bourdonner) | | |
| v.i | ぶんぶんいう | 「動詞」 |
| à mes oreilles. ア・メ・オレイユ | | |
| adv. | 僕の耳に | 「間接目的語」 |
| Je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| suis resté シュイ・レステ 1 単現・完了形(rester)v.i | ～のままでいた | 「動詞句」 |
| immobile. インモビール adj. | 動かない | 「補語」 |

文の構成要素

「補語」の例文

「主語」「動詞」「補語」の場合：

「補語」は名詞または形容詞が使用され、「主語」の性質または状態を表す。

「主語」「動詞」「目的語」「補語」の場合：

「補語」が名詞または形容詞の場合には、「目的語」の性質または状態を表す。

「補語」が「動詞」の場合には、「目的語」の動作を表す。

主動詞が使役・放任の動詞または知覚動詞などの場合。

子供たちがまだ幼過ぎて働くことが出来ないので、家族は貧しい生活を送っていました。

[A-4]

La famille vivait misérablement, car les enfants étaient encore trop jeunes pour pouvoir gagner leur vie.

「主語」「動詞」「副詞句」「副詞節」

La famille ラ・ファミユ n.f 家族は

「主語」

vivait ヴィヴァ 3 単半(vivre)v.i 暮らしていた

「動詞」

misérablement, ミゼラブルメン adv. 貧しく

「副詞句」

car カル conj. ～なので

「副詞節」

les enfants レ・ゾンフォン pl.n.f 子供たちは

「主語」

étaient エ 3 複半(être)v.i ～だった

「動詞」

encore trop jeunes オンコール・トロ・ジュヌ adj.pl. まだ幼過ぎる

「補語」

pour +不定詞 プール(trop...pour+不定詞)adv. ... すぎて～できない

「副詞句」

pouvoir gagner プウゎル・ガニエ 不定詞・可能

v.t 稼ぐことが出来る

「動詞句」

leur vie. レール・ヴィー n.f 生活費を

「目的語」

子供たちの中で一番年下の男の子は、一番体が弱く、内気でした。そして親指と同じくらい小さかったので、家族の皆は「親指小僧」と呼んでいました。[A-4]

Parmi tous ces enfants, le plus jeune garçon était le plus fragile, le plus timide et comme il était aussi petit qu'un pouce, on l'appela le "Petit Poucet".

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」 et 「副詞節」「主語」「目的語」「動詞」「補語」

Parmi tous ces enfants, パルミ・トゥ・セ・ゾンフォン adv. 子供たちの中で

「副詞句」

le plus jeune garçon ル・プリュ・ジュヌ・ギャルソン n.f 一番年下の男の子は

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

le plus fragile, ル・プリュ・フラジール adj. 一番体が弱い

「補語」

le plus timide ル・プリュ・チミット adj. 一番内気な

「補語」

et エ conj. そして

comme コム conj. ～なので

「副詞節」

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| était エ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| aussi petit オ・プ・ティ adj. 同じくらい小さな | 「補語」 |
| qu'un pouce, カン・プ・ース adv. 親指と比べて | 「副詞句」 |
| on オン pron 家族の皆は (動詞は三人称単数形) | 「主語」 |
| l' イル pron 彼を | 「目的語」 |
| appela ア・プ・ラ 3 単過(appeler)v.t 呼んだ | 「動詞」 |
| le “Petit Poucet” . ル・プ・ティ・プ・セ n.m 「親指小僧」 | 「補語」 |

「息子たちが、飢えのために死にかかっているのをこれ以上見ていることはできない。もう、子供たちを森の中に置き去りにするしかない…」 [A-4]

《Je ne peux plus voir mes fils en train de mourir de faim! Il n'y a plus qu'à les laisser dans la forêt...

《「主語」「動詞句」「目的語」「補語」 | 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」》

| | |
|---|-------|
| 《Je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| ne peux plus voir ヌ・プ・プ・リュ・ウ・ワ・ル 1 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞+plus) | |
| v.t これ以上見ていられない | 「動詞句」 |
| mes fils メ・フィス pl.n.m 息子たちが | 「目的語」 |
| en train de mourir オン・トロン・ド・ウ・ムー・ル 不定詞・進行形(en train de+不定詞) | |
| v.i 死にかかっている | 「補語」 |
| de faim! ド・ウ・ファム adv. 空腹のために、飢えのために | 「副詞句」 |
| Il n'y a plus qu'à +不定詞 3 単現(Il y a à+不定詞+ne...que+plus) | |
| v.t もう~するしかない | 「動詞句」 |
| avoir à+不定詞 「~しなければならない」 ne...que~ 「~しかない」 | |
| les レ pron.pl 子供たちを | 「目的語」 |
| laisser レッセ 不定詞 v.t 置き去りにする | 「動詞句」 |
| dans la forêt... ドン・ラ・フォレ adv. 森の中に | 「副詞句」 |

彼女がいくら嘆いて懇願しても無駄だった。しかし息子たちをこれ以上苦しめることは出来ないで、結局、夫の言う事に従った。 [A-4]

Elle eut beau s'apitoyer, mais ne pouvant elle non plus continuer de laisser ses fils souffrir, obéit finalement à son mari.

「主語」「動詞句」,mais 「副詞句」, 「動詞」「副詞」「間接目的語」

| | |
|--|-------|
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| eut beau s'apitoyer, イ・ボ・サ・ピ・ト・ワ・エ 3 単過・無駄(avoir beau+不定詞) | |
| v.pr いくら嘆いて懇願しても無駄だった | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | | | | |
|-------------------------------|--------------------|----------------|-------------------|---------|
| s'apitoyer | サピトワイ | v.pr | 自分を哀れむ、同情を引いて懇願する | |
| mais | メ | conj. | しかし | |
| ne pouvant | ヌ・プヴァン | 現在分詞 v. | ～出来ないので | 「副詞句」 |
| elle | エル | pron | 彼女は | 「主語」 |
| non plus continuer de laisser | ノン・プリュ・コンティヌ・ド・レッセ | 不定詞・使役・否定 | | |
| (continuer de laisser+不定詞)v.t | | | もうこれ以上このまま～させておく | 「動詞句」 |
| ses fils | セ・フィス | pl.n.m | 息子たちを | 「目的語」 |
| souffrir, | スフール | 不定詞 v.i | 苦しむ | 「補語」 |
| obéit | オベイ | 3 単過(obéir)v.i | 従った | 「動詞」 |
| finalemt | フィナルメンテ | adv. | 結局、最後には | 「副詞」 |
| à son mari. | ア・ソン・マリ | adv. | 夫の言う事に | 「間接目的語」 |

この森は、10 歩も進めば簡単に道に迷うと思われる程、深くて鬱蒼としていました。

[A-4]

| | | | | |
|------------------------------|---------------------|-----------------------|-------------------|-------|
| <u>Celle-ci</u> | セル・シ | pron | この森は | |
| était | エテ | 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| tellement profonde et dense, | テルメン・プ・ロフント・ウ・エ・トンス | adj. | とても深く鬱蒼とした | 「補語」 |
| profond | プロフオン | adj. | 深い | |
| dense | ドンス | adj. | 濃い、密集した | |
| qu' | ク | conj. | ～するほど | 「副詞節」 |
| on | オン | pron | 人は | 「主語」 |
| pouvait facilement se perdre | プ・ヴェ・ファシルメン・ス・ペルトル | 3 単半・可能性(pouvoir+不定詞) | | |
| v.pr | | | 簡単に道に迷ってしまうかもしれない | 「動詞句」 |
| au bout de | オ・ブ・トゥ | adv. | ～の後に | 「副詞句」 |
| dix pas. | ディ・パ | pl.n.m | 10 歩 | 「目的語」 |

少したってから子供たちは、自分たちが森の中に残り残されていることに気づきました。

[A-4]

| | | | | |
|-----------------------------|----------|-----------------|------------------------|-------|
| <u>Peu après,</u> | | | | |
| <u>les enfants</u> | | | | |
| <u>se rendirent compte</u> | | | | |
| <u>qu'ils étaient seuls</u> | | | | |
| <u>dans la forêt.</u> | | | | |
| Peu après, | プ・アプレ | adv. | 少したってから | 「副詞句」 |
| les enfants | レ・ザンフオン | pl.n.m | 子供たちは | 「主語」 |
| se rendirent | ス・ロンディール | 3 複過(se rendre) | | |
| v.pr(compte que) | | | ～であることに気付いた | 「動詞句」 |
| se rendre compte de qch | | | [que+直説法] 「～が分かる、に気付く」 | |

文の構成要素

| | | |
|------------------------------|---------|-------|
| compte qu' コント・ク n.m | 〜という考えが | 「目的語」 |
| ils イル pron.pl | 彼らは | 「主語」 |
| étaient エテ 3 複半(être)v.i | 〜になっている | 「動詞」 |
| seuls スル adj.pl | 自分たちだけの | 「補語」 |
| dans la forêt. ドン・ラ・フォレ adv. | 森の中で | 「副詞句」 |

彼らが至る所を探し、両親を求めて力の限り叫んでも、まったく無駄でした。[A-4]

Ils eurent beau chercher à droite et à gauche, crier de toute leur force après leurs parents, tout cela en vain.

| | | |
|---|------------------------------|-------|
| 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」, 「主語」「補語」 | | |
| Ils イル pron.pl | 彼らは | 「主語」 |
| eurent beau +不定詞 | イル・ボ 3 複過・無駄(avoir beau+不定詞) | |
| v. | 〜しても無駄だった | 「動詞句」 |
| chercher シェルシェ | 不定詞 v.t 探す | 「動詞句」 |
| à droite et à gauche, ア・ド・ロワット・エ・ア・ゴ・ーシュ adv. | 至る所を | 「副詞句」 |
| crier クリエ | 不定詞 v.i 叫ぶ | 「動詞句」 |
| de toute leur force トゥ・トゥット・レール・フォルス adv. | 力の限り | 「副詞句」 |
| après leurs parents, アプ・レ・レール・パ・ロン adv. | 両親を求めて | 「副詞句」 |
| tout cela トゥ・スラ pron | これらすべては | 「主語」 |
| en vain. オン・ヴァン adj. | 無駄な | 「補語」 |

アイデアは良かったのですが、あいにく小さなパンくずはすべて小鳥たちに食べられてしまっていました。[A-4]

L'idée était bonne, mais ses petites miettes furent malheureusement toutes mangées par les oiseaux!

| | | |
|--|---------------|-------|
| 「主語」「動詞」「補語」 mais 「主語」「動詞句」「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 | | |
| L'idée リデー n.f | アイデアは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i | 〜だった | 「動詞」 |
| bonne, ボンヌ adj.f | 良い | 「補語」 |
| mais メ conj. | しかし | |
| ses petites miettes セ・プティット・ミェット pl.n.f | 小さなパンくずは | 「主語」 |
| furent ...mangées フュール...モンジエ 3 複過・受動 f.pl(manger) | | |
| v.t | 食べられてしまっていた | 「動詞句」 |
| malheureusement マル・ル・ズ・モン adv. | あいにく | 「副詞」 |
| toutes トゥット pron.f.pl | すべて (のパンくず) が | 「主語」 |
| par les oiseaux! パール・レス・ワゾ adv. | 小鳥たちによって | 「副詞句」 |

可愛そうな親指小僧！可哀そうな子供たち！皆、すっかり途方に暮れてしまいました。

[A-4]

Pauvre Petit Poucet! Pauvres enfants! Les voilà complètement perdus...

「感嘆」 | 「感嘆」 | 「補語」「動詞句」「副詞」「補語」

Pauvre ポーヴル adj. かわいそうな

「形容詞」

Petit Poucet! プティ・プセ n.m 親指小僧

「感嘆」

Pauvre ポーヴル adj. かわいそうな

「形容詞」

enfants! オンフヅ pl.n.m 子供たち

「感嘆」

Les ...perdus... レ...ペルズ 過去分詞(se perdre)v.pr 途方に暮れた

「補語」

voilà ヴォーラ adv. v.i そこにいた

「動詞句」

complètement コンプレトモン adv. すっかり

「副詞」

「狼に食われるくらいなら、むしろあなたの夫に食われるほうがましです。もしかすると、僕たちを見逃してくれるかもしれないし...」[A-4]

Nous préférons autant que ce soit votre mari qui nous mange. Peut-être que par chance, il aura pitié de nous...》

《「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」》

Nous ヌ pron.pl 僕たちは

「主語」

préférons プレフェロン 1 複現(préférer)v.t ~のほうを好む

「動詞」

autant que +接続法 オトン・ク conj. むしろ~する事を

「目的語」

ce ス pron 仮の主語（真の主語は qui 以降）

soit スわ 接・3 単現・話者の想像(être)v.i ~である

「動詞」

votre mari ヴォートル・マリ n.m あなたの夫

「補語」

qui キ pron (主語) ~する人は

「主語」

nous ヌ pron 私たちを

「目的語」

mange. モンジュ 3 単現(manger)v.t 食べる

「動詞」

Peut-être プテートル adv. ひょっとすると~かもしれない

「副詞句」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

par chance, パール・シヨンス adv. 幸運にも

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

aura pitié de オーラ・ピチエ・ドゥ 3 単未・推量(avoir pitié de)

v.t ~を哀れに思うかもしれない、~を見逃すかもしれない「動詞句」

nous...》 ヌ pron 僕たちを

「目的語」

文の構成要素

結局、女は彼らの中に入れて、子供たちが暖炉の前で体を温めている間に、翌日まで彼ら
をかくまう方法を探していました。[A-4]

Finalment, la femme les laissa entrer et pendant que les enfants se réchauffaient
devant la cheminée, elle cherchait un moyen de les cacher jusqu'au lendemain.

| | |
|--|-----------------------|
| 「副詞」「主語」「目的語」「動詞」「補語」 | et 「副詞節」「主語」「動詞」「目的語」 |
| Finalment, シナルモン adv. 結局 | 「副詞」 |
| la femme ラ・ファム n.f 女は | 「主語」 |
| les レ pron 彼らを | 「目的語」 |
| laissa レッサ 3 単過・使役(laisser)v.t(O+不定詞) O に～させた | 「動詞」 |
| entrer エントレ 不定詞 v.i 入る | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| pendant que ポントソク conj. ～する間に | 「副詞節」 |
| les enfants レ・ゾンフォン pl.n.m 子供たちが | 「主語」 |
| se réchauffaient ス・レショフェ 3 複半(se réchauffer)v.pr 体を温めていた | 「動詞句」 |
| devant la cheminée, ドゥヴァン・オン・ラ・シュミネ adv. 暖炉の前で | 「副詞句」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| cherchait シェルシェ 3 単半(chercher)v.t 探していた | 「動詞」 |
| un moyen アン・ムワイン n.m 方法を | 「目的語」 |
| de +不定詞 ドゥ adj. ～するための | 「形容詞句」 |
| les レ pron 彼らを | 「目的語」 |
| cacher カッシェ 不定詞 v.t 隠す、かくまう | 「動詞」 |
| jusqu'au lendemain. ジュスコ・ロントゥアモン adv. 翌日まで | 「副詞句」 |

その時、人食い鬼が家に戻ってくるのが聞こえました。女はすぐに、子供たちをベッドのし
たに押し込みました。[A-4]

C'est alors qu'on entendit l'ogre revenir à la maison. Sur-le-champ, la femme entraîna
les enfants sous le lit.

| | |
|---|-------------------------|
| 「動詞」「補語」「主語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 |
| C' ス pron 仮の主語（真の主語は que 以降） | |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| alors アール adv. その時 | 「補語」 |
| 強調構文（その時～した、～したのはその時である） | |
| qu' ク conj. ～したのは | 「主語」 |
| on オン pron 人は | 「主語」 |
| entendit エントンディ 3 単過(entendre)v.t(O+不定詞) O が～するのが聞こえた | 「動詞」 |
| l'ogre ローグール n.m 人食い鬼が | 「目的語」 |

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| revenir ルヴニール 不定詞 v.i 戻ってくる | 「補語」 |
| à la maison. ア・ラ・メゾン adv. 家に | 「間接目的語」 |
| Sur-le-champ, シュール・ル・ション adv. すぐに、直ちに | 「副詞句」 |
| la femme ラ・ファム n.f 女は | 「主語」 |
| entraîna オントレ 3 単過(entraîner)v.t 引っ張りいれた、連れて行った | 「動詞」 |
| les enfants レ・ゾンフォン pl.n.m 子供たちを | 「目的語」 |
| sous le lit. ス・ル・リ adv. ベッドの下に | 「副詞句」 |

「あなた... お帰りなさい」と、妻は冷静にしようとな努めた。[A-4]

| | |
|--|------------------------------------|
| --- Vous... Vous voilà... Sa femme s'efforça de rester calme. | 《「呼びかけ」, 「主語」「動詞句」》, 「主語」「動詞句」「補語」 |
| --- Vous... ヴ pron あなた | 「呼びかけ」 |
| Vous ヴ pron あなたは | 「主語」 |
| voilà... ヴワ adv. v.i ここにいる、戻ってきた | 「動詞句」 |
| Sa femme サ・ファム n.f 妻は | 「主語」 |
| s'efforça de rester セフォルサ・ドゥ・レステ 3 単過・努力(s'efforcer de+不定詞 rester) | |
| v.pr ~のままでいようと努めた | 「動詞句」 |
| calme. カム adj. 落ち着いた、冷静な | 「補語」 |

「おお、そこに見えるのはご馳走じゃあないか！」と人食い鬼は歓声をあげた。「すぐに、包丁を持って来い！」[A-4]

| | |
|---|--------|
| 《Mais c'est un festin que je vois là! L'ogre poussa un cri de joie. Vite, mon couteau!》 | |
| 《「副詞」「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」「目的語」, 《「副詞」「目的語」》 | |
| 《Mais メ adv. (驚き) おお！ | 「副詞」 |
| c' ス pron これは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| un festin アン・フェスタン n.m ご馳走 | 「補語」 |
| que ク pron (目的語) ~する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 俺が | 「主語」 |
| vois ヴワ 1 単現(voir)v.t 見える | 「動詞」 |
| là! ラー adv. そこに | 「副詞」 |
| L'ogre ローゲル n.m 人食い鬼は | 「主語」 |
| poussa プッサ 3 単過(pousser)v.t (声を) 発した | 「動詞」 |
| un cri de joie. アン・クリ・トゥ・ジュワ n.m 喜びの叫びを、歓声を | 「目的語」 |
| Vite, ヴィット adv. すぐに | 「副詞」 |
| mon couteau!》 モン・クト n.m 俺の包丁を | 「目的語」 |

文の構成要素

動詞が省略されている emporte ェポル ヲ 命・2 単現(emporter)v.t 持って来い

子供たちが鬼の前で怯えている間に、妻は人食い鬼に子供たちに手を出さないように頼み込んでいました。[A-4]

Tandis que les enfants restaient terrifiés devant le monstre, sa femme le supplia de les laisser : 「副詞節」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 「補語」

Tandis que トンディク conj. ～する間に 「副詞節」

les enfants レ・ゾソフン pl.n.m 子供たちが 「主語」

restaient レステ 3 複半(rester)v.i ～のままでいた 「動詞」

terrifiés テリフィエ 過去分詞・受動(terrifier)adj.pl 怯えた 「補語」

devant le monstre, ドゥヴァン・ル・モンストル adv. 鬼の前で 「副詞句」

sa femme サ・ファム n.f 妻は 「主語」

le ル pron 人食い鬼に 「目的語」

supplia スプリア 3 単過(supplier)v.t(qn de+不定詞) 懇願した 「動詞」

de les laisser : ドゥ・レ・レッセ 不定詞(+les) v.t 彼らに構わない、ほうっておく 「補語」

娘たちはまだあまり危険ではなかったのですが、彼らのかぎ型の鼻や鋭い歯はすでに父親のものに似ていました。[A-4]

Celles-ci n'étaient pas encore trop méchantes, mais leur nez crochu et leur dents pointues ressemblaient déjà à ceux du père.

「主語」 「動詞」 「副詞」 「補語」 mais 「主語」 「動詞」 「副詞」 「間接目的語」

Celles-ci セル・シ pron.pl 娘たちは 「主語」

n'étaient pas ネ・パ 3 複半・否定(être)v.i ～でなかった 「動詞」

encore エンコール adv. まだ 「副詞」

trop méchantes, トロ・メショント adj.f.pl (否定文で) あまり危険な 「補語」

mais メ conj. しかし

leur nez レール・ネ n.m 彼等の鼻は 「主語」

crochu クロシュ adj. かぎ型の 「形容詞」

et エ conj. そして

leur dents レール・ドン pl.n.f 彼らの歯は 「主語」

pointues ポンチュ adj.f.pl 鋭い 「形容詞」

ressemblaient ルソブレ 3 複半(ressembler)v.i(à に) 似ていた 「動詞」

déjà デジャ adv. すでに 「副詞」

à ceux du père. ア・ス・ジュ・ペール adv. 父親のそれらに 「間接目的語」

子供たちはとても疲れていたの、すぐに寝付きました。[A-4]

Les garçons étaient tellement fatigués qu'ils s'endormirent tout de suite.

「主語」「動詞」「補語」 qu' 「主語」「動詞句」「副詞句」

Les garçons レ・ギャルソン pl.n.m 子供たちは

「主語」

étaient エ 3 複半(être)v.i ~だった

「動詞」

tellement fatigués テルモン・ファチグ adj.pl とても疲れた

「補語」

qu' ク conj. (結果) 大変... なので~する

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

s'endormirent ソントルミール 3 複過(s'endormir)v.pr 寝付いた

「動詞句」

tout de suite. トゥ・ドゥ・シュイト adv. すぐに

「副詞句」

しかし末っ子だけは目を覚ましたままでした:彼は、兄たちが頭に被っている帽子を娘たちの冠と取り換えるために、家じゅうが寝付くのを待っていたのです。[A-4]

Mais seul le benjamin resta réveillé : il attendait que toute la maison se fût endormie pour remplacer les bonnets que portaient ses s sur leur tête avec les couronnes des filles...

Mais 「主語」「動詞」「補語」: 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

seul le benjamin スール・ル・バンジヤマン n.m 末っ子だけは

「主語」

resta レスタ 3 単過(rester)v.i ~のままでいた

「動詞」

réveillé: レヴェイエ 過去分詞(réveiller)adj. 目覚めた

「補語」

il イル pron 彼は

「主語」

attendait アトンデ 3 単半(attendre)v.t 待っていた

「動詞」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

toute la maison トゥット・ラ・メゾン n.f 家中が

「主語」

se fût endormie ス・フュ・オントルミール 接・3 単半・完了形.f(s'endormir)

v.pr 寝付いた

「動詞句」

pour +不定詞 プール adv. ~するために

「副詞句」

remplacer ロンプラセ 不定詞 v.t 取り替える

「動詞」

les bonnets レ・ボネ pl.n.m 帽子を

「目的語」

que ク pron (目的語) ~する

「形容詞節」

portaient ポルテ 3 複半(porter)v.t かぶっていた

「動詞」

ses frères セ・フレール pl.n.m 兄たちが

「主語」

sur leur tête シュール・レール・テット adv. 頭に

「副詞句」

avec les couronnes des filles... アヴ・エッキ・レ・クロン・デ・フィユ

adv. 娘たちの冠と

「副詞句」

文の構成要素

まだ目覚めていた親指小僧は、人食い鬼が自分に近づいてくるのを感じました。[A-4]

Le Petit Poucet, toujours éveillé, le sentit s'approcher de lui. 「主語」「動詞」「補語」
 Le Petit Poucet, ル・プチ・プー・ス n.m 親指小僧は 「主語」
 toujours トゥジュール adv. 相変わらず、まだの 「副詞」
 éveillé, エヴエイエ 過去分詞(éveiller)adj. 目覚めていた 「形容詞」
 le ル pron 人食い鬼が 「目的語」
 sentit ソンティ 3 単過(sentir)v.t 感じた 「動詞」
s'approcher シャプ ロシエ 不定詞 v.pr(de に) 近づく 「補語」
 de lui. トゥ・リュイ adv. 自分に 「間接目的語」

翌日、人食い鬼は妻に子供たちを起こしに行くように言いつけました。[A-4]

Le lendemain, l'ogre demanda à sa femme d'aller réveiller les garçons.
 「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」
 Le lendemain, ル・ロントゥモン n.m 翌日 「副詞句」
 l'ogre ローグール n.m 人食い鬼は 「主語」
 demanda ドゥモンタ 3 単過(demander)v.t 求めた、言いつけた 「動詞」
 à sa femme ア・サ・ファム adv. 妻に 「間接目的語」
d'aller réveiller ダレ・レヴエイエ 不定詞(aller+不定詞)
 v.i 起こしに行く 「補語」
 les garçons. レ・ギヤルソン pl.n.m 男の子たちを 「目的語」

しかし妻は、娘たちが自分たちが流した血の海で横たわっているのを見て、ショックで気を失いました。[A-4]

Mais lorsqu'elle vit ses filles nager dans leur sang, la femme s'évanouit par choc.
 Mais 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Mais メ conj. しかし
 lorsqu' ロルスキ conj. ～した時 「副詞節」
 elle エル pron 彼女が 「主語」
 vit ヴィ 3 単過・知覚動詞(voir)v.t(O+不定詞 O が～するのを) 見た 「動詞」
 ses filles セ・フィユ pl.n.f 娘たちが 「目的語」
nager ナジェ 不定詞 v.i 泳いでいる 「補語」
 dans leur sang, ドン・レール・ソン adv. 自分たちが流した血の海で 「副詞句」
 la femme ラ・ファム n.f 妻は 「主語」
 s'évanouit セヴァヌイ 3 単過(s'évanouir)v.pr 気を失った 「動詞句」
 par choc. パル・ショッキ adv. ショックのために 「副詞句」

バケツ一杯の水を妻の顔にかけて目覚めさせた後で、怒りで真っ赤になった人食い鬼は、7里の長靴を履いて大急ぎで子供たちを探しに飛び出していきました。[A-4]

Après avoir jeté un seau d'eau à la figure de sa femme pour la faire revenir à elle, l'ogre, rouge de colère, chaussa ses bottes de sept lieues et se lança à la recherche des garçons...

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 et 「動詞句」 「間接目的語」

Après + 不定詞・完了形 アプレ adv. ～した後で 「副詞句」

avoir jeté アヴ わ・ル・ジ ュテ 不定詞・完了形(jeter)v.t 投げかけた 「動詞句」

un seau d'eau アン・ソー・ドー n.m バケツ一杯の水を 「目的語」

à la figure de sa femme ア・ラ・フィギュール・ドゥ・サ・ファム adv. 妻の顔に 「副詞句」

pour + 不定詞 プール adv. ～するために 「副詞句」

la ラ pron 彼女を 「目的語」

faire フェール 不定詞・使役 v.t ～させる 「動詞」

revenir ルヴニール 不定詞 v.i 戻る 「補語」

à elle, ア・エル adv. 自分自身に 「間接目的語」

→ 目覚めさせるために

l'ogre, ローグール n.m 人食い鬼は 「主語」

rouge de colère, ルージュ・トゥ・コレール adj. 怒りで真っ赤になった 「形容詞句」

chaussa ショサ 3 単過(chausser)v.t (靴を) 履いた 「動詞」

ses bottes セ・ボット pl.n.f 長靴を 「目的語」

de sept lieues トゥ・セツ・リュウ adj. 7 里の (1 里は 4Km) 「形容詞句」

et エ conj. そして

se lança ス・ロンサ 3 単過(sse lancer)v.pr 大急ぎで飛び出した 「動詞句」

à la recherche ア・ラ・ルシエルシュ adv. 搜索に 「間接目的語」

des garçons... テ・ギャルソン adj. 子供たちの 「形容詞句」

そうです、不思議な力をもった 7 里の長靴は、それを履いた者がたった数歩で何里も走り
里回れるようにしてくれるのです。[A-4]

Oui, les bottes de sept lieues étant magiques permettaient à celui qui les chaussait de parcourir en quelques pas des lieues et des lieues...

「応答」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「補語」

Oui, ウイ adv. そうです 「応答」

les bottes de sept lieues レ・ボットゥ・トゥ・セツ・リュウ pl.n.f 7 里の長靴は 「主語」

étant エン 現在分詞(être)v.i ～である 「形容詞句」

magiques マジツキ adj. 不思議な力をもった 「補語」

permettaient ペルメテ 3 複半(permettre)v.t 可能にした 「動詞」

à celui ア・スリュイ adv. 人に 「間接目的語」

文の構成要素

| | |
|--|--------|
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| les レ pron.pl 長靴を | 「目的語」 |
| chaussait ショセ 3 単半(chausser)v.t 履いた | 「動詞」 |
| de parcourir トゥ・パ・ルクリール 不定詞 v.t 走り回る | 「補語」 |
| en quelques pas オン・ケル・パ adv. 数歩で | 「副詞句」 |
| des lieues et des lieues... テ・リュ・エ・テ・リュ pl.n.f 何里も | 「目的語」 |

親指小僧と兄たちが家まであと 100 歩のところに来たとき、彼らは人食い鬼が途方もない速度で自分たちのほうへ近づいてくるのに気づきました。[A-4]

Le Petit Poucet et ses frères n'étaient plus qu'à cent pas de leur maison, quand ils virent l'ogre s'approcher vers eux à une vitesse extraordinaire.

| | |
|---|-------|
| 「主語」「副詞句」「動詞」「副詞句」,quand 「主語」「動詞」「目的語」「補語」 | |
| Le Petit Poucet et ses frères ル・プティ・プース・エ・セ・フレール pl.n.m 親指小僧と兄たちは「主語」 | |
| n'...plus qu'à cent pas de leur maison, ス...プリュ・クワ・ソン・パ トゥ・リール・メゾン | |
| adv. 自分たちの家から 100 歩しかないところに | 「副詞句」 |
| étaient エテ 3 複半(être)v.i (存在) ～にいた | 「動詞」 |
| quand コン その時 | 「副詞」 |
| ils イル pron.pl 彼らは | 「主語」 |
| virent ヴィール 3 複過・知覚(voir)v.t 見えた、気が付いた | 「動詞」 |
| l'ogre ローグール n.m 人食い鬼が | 「目的語」 |
| s'approcher シャプ・ロシエ 不定詞 v.pr 近づいてくる | 「補語」 |
| vers eux ヴェール・イ adv. 彼らのほうに | 「副詞」 |
| à une vitesse ア・ユヌ・ヴィテス adv. 速度で | 「副詞句」 |
| extraordinaire. エクストラオルディネール adj. 途方もない | 「形容詞」 |

その間に、親指小僧は兄たちに家に戻るように言いました。[A-4]

Pendant ce temps, le Petit Poucet ordonna à ses frères de regagner la maison.

| | |
|--|-------|
| 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」 | |
| Pendant ce temps, ホント・ン・ストン adv. その間に、鬼が寝ている間に | 「副詞句」 |
| le Petit Poucet ル・プティ・プース n.m 親指小僧は | 「主語」 |
| ordonna オルドナ 3 単過・使役(ordonner)v.t 命じた | 「動詞」 |
| à ses frères ア・セ・フレール adv. 兄たちに | 「目的語」 |
| de regagner トゥ・リャ・ニエ 不定詞 v.t 戻る | 「補語」 |
| la maison. ラ・メゾン n.f 家に | 「目的語」 |

運に恵まれて、親指小僧はやっと自分の家に戻りました。家族はみな大喜びで彼を迎え、皆一緒に幸せに暮らしました。[A-4]

Avec la fortune, le Petit Poucet retourna enfin chez lui. Toute la famille l'accueillit avec grande joie et vécut heureuse ensemble...

| | |
|---|---------|
| 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」 et 「動詞」 「補語」 「副詞」 | |
| Avec la fortune, アヴ [゛] ェッキ・ラ・フォルチュヌ adv. 運に恵まれて | 「副詞句」 |
| le Petit Poucet ル・プ [゛] ティ・プ [゛] ース n.m 親指小僧は | 「主語」 |
| retourna ルトゥルナ 3 単過(retourner)v.i 戻った | 「動詞」 |
| enfin chez lui. オンファン・シェ・リュイ adv. やっと自分の家に | 「間接目的語」 |
| Toute la famille トゥット・ラ・ファミユ n.f 家族はみな | 「主語」 |
| l'ル pron 彼を | 「目的語」 |
| accueillit アクイ 3 単過(accueillir)v.t 迎えた | 「動詞」 |
| avec grande joie アヴ [゛] ェッキ・グ [゛] ロン・ジユワ adv. 大喜びで | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| vécut ヴェキュ 3 単過(vivre)v.i 暮らした | 「動詞」 |
| heureuse ウルーズ [゛] adj.f 幸せな | 「補語」 |
| ensemble... オンソンプル adv. みんな揃って、皆一緒に | 「副詞」 |

つまり、王子様の出身地の惑星が、せいぜい一軒の家より大きいぐらいだということ！

[B-4]

c'est que sa planète d'origine était à peine plus grande qu'une maison!

| | |
|---|----------------|
| | 「主語」 「動詞」 「補語」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| que ク conj. ~ということ | 「補語」 |
| sa planète d'origine サ・プラネット・ドリジヌ n.f 彼の出身地の惑星は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| à peine plus grande ア・ペーヌ・プ [゛] リュ・グ [゛] ロント [゛] ゥ | |
| adj. かろうじて少し大きい | 「補語」 |
| à peine ほとんどない、せいぜい、かろうじて | |
| qu'une maison キュヌ・メゾン adv. 一軒の家よりも | 「副詞句 : grande」 |

地球とか木星とか火星とか金星とかのように、名前の付いている大きな惑星の他に何百という星があつて、それらが、時には小さすぎて望遠鏡でもなかなか見えないということを、良く知っていた。[B-4]

Je savais bien qu'en dehors des grosses planètes comme la Terre, Jupiter, Mars, Vénus, auxquelles on a donné des noms, il y en a des centaines d'autres qui sont quelquefois si petites qu'on a beaucoup de mal à les apercevoir au télescope.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

savais サヴェ 3 単半(savoir)v.t 知っていた 「動詞」

bien ビヤン adv. よく 「副詞：savais」

qu' ク conj. ～と言う事を 「目的語」

「目的語」の内容は、「副詞句」「動詞句」「主語」「形容詞節」という複雑な構成

en dehors des grosses planètes コン・ドゥオー・デ・グロス・プラネット

adv. 大きな惑星以外に 「副詞句」

en dehors de ～以外の、grosses planètes 大きな惑星

comme コム conj. ～のような 「形容詞句」

la Terre, Juppiter, Mars, Vénus ラ・テール・ジュピテル・マルス・ヴェニユス

pl.n.f 地球とか木星とか火星とか金星とか 「目的語」

auxquelles オクル adv. (à lesquelles) それらに～する 「形容詞節」

on オン pron 人は 「主語」

a donné ア・ドネ 3 単現・完了形(donner)

v.t (名前を) 与えた、付けた 「動詞句」

des noms デ・ノン pl.n.m 名前を 「直接目的語」

il y en a イリ・オナ 3 単現(avoir)v.t ある 「動詞句」

des centaines d'autres デ・ソントエヌ・ドートル

n. 何百という名前の無い惑星が 「主語」

autres 別の(惑星) → 名前の付けられていない惑星

qui キ pron それらは (autres) ～する 「形容詞節」

sont ソン 3 複現(être)v.i ～である 「動詞」

quelquefois ケルクワ adv. 時には 「副詞」

si petites シ・プティット adj. 大変小さいので 「補語」

qu' ク conj. (si ... que ～) (大変... なので) ～する 「副詞節」

on オン pron 人は 「主語」

a ア 3 単現(avoir)v.t ある 「動詞」

beaucoup de mal ボク・トゥ・マル n.m 大変な苦勞が 「目的語」

à les apercevoir ア・レ・サペルスワ・ワール

文の構成要素

adv. それらを見るのに 「副詞句」
 au télescope オ・テレスコフ adv. 望遠鏡で 「副詞句」

たとえば、それを「小惑星 3251 番」と呼ぶ。 [B-4]

Il l'appelle par exemple: 《l'astéroïde 3251》.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」:《「補語」》

Il イル pron 彼は 「主語」
 l' ラ pron その惑星を 「間接目的語」
 appelle アペル 3 単現(appler)v.t ... を～と呼ぶ、名づける 「動詞」
 par exemple パー・レグザンプル adv. 例えば 「副詞句」
 l'astéroïde 3251 ラステロイト・トロワミル・トゥワソン・サンコンテ・アン
 n.m 《小惑星 3251 番》と 「補語」

僕には王子様の出身の惑星が小惑星 B612 番であると信ずるに足る真面目な理由がある。

[B-4]

J'ai de sérieuses raisons de croire que la planète d'où venait le petit prince est l'astéroïde B612.

「主語」「動詞」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai エ 1 単現(avoir)v.t (僕には～が) ある 「動詞」
 de sérieuses raisons トゥ・セリュース・レゾン pl.n.f 真面目な理由が 「目的語」
 形容詞+名詞に不定冠詞 des がつく時は de に変わる
 de croire トゥ・クルワール adj. ～と信ずるだけの 「形容詞句」
 que ク conj. ～ということ 「目的語」
 la planète ラ・プラネット n.f その惑星 「主語」
 d'où トゥ adv. そこから 「形容詞節」
 venait ヴネ 3 単半(venir)v.i 来た 「動詞」
 le petit prince ル・プティ・フランス
 n.m 王子様が 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 l'astéroïde B612 ラステロイト・ベ・シ・ソン・トゥワーズ
 n.m 《小惑星 B612 番》 「補語」

文の構成要素

ところが着ていた服が理由で、誰も彼を信用しようとしなかった。大人の人というのは、そんなものなのだ。[B-4]

Mais personne ne l'avait cru à cause de son costume. Les grande personnes sont comme ça. Mais 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Mais メ conj. しかし

personne ペルソヌ n.f 誰も 「主語」

ne l'avait cru ノ・ラヴァ・エ・クリュ 3 単現・完了形・否定(croire +l')

v.t 彼を信用しなかった 「動詞句」「目的語」

à cause de son costume ア・コース・ド・トゥ・ソン・コスチューム adv. 彼の服のせいで 「副詞句」

Les grande personnes レ・グランド・トゥ・ペルソヌ pl.n.f 大人というのは 「主語」

sont ソン 3 複現(être)v.i ~である 「動詞」

comme ça コム・サ pron そのようなもの 「補語」

すると今度は、みんなが彼の見解に同意した。[B-4]

Et cette fois-ci tout le monde fut de son avis. Et 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Et エ conj. そして

cette fois-ci セット・フワ・シ adv. 今度という今度は 「副詞句」

-ci は強意

tout le monde トゥ・ル・モンド pron すべての人が 「主語」

fut フュ 3 単過(être)v.i ~だった 「動詞」

de son avis トゥ・ソン・サヴィ adv. 彼と同意見の、彼に同意した 「補語」

être de son avis 人の意見に同意する

小惑星 B612 番について、このように些細な事を君たちに語ったのは、またその番号を明かしたのは、大人の人たちが原因。[B-4]

Si je vous ai raconté ces détails sur l'astéroïde B612 et si je vous ai confié son numéro, c'est à cause des grandes personnes. 「副詞節」 et 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

Si シ conj. (事実の提示：主節 c'est ...で理由を説明する) ~であるのは 「副詞節」

je ジュ pron 僕が 「主語」

vous ヴェ pron 君たちに 「間接目的語」

ai raconté エ・ラコンテ 1 単現・完了形(raconter)v.t 語った 「動詞句」

ces détails sur l'astéroïde B612 セ・テタイユ・シュール・ラストロイト・ベ・シ・ソン・トウーズ

pl.n.m 小惑星 B612 に関する些細なことを 「直接目的語」

et エ conj. そして

si シ conj. (事実の提示：主節 c'est ...で理由を説明する) ~であるのは 「副詞節」

je ジュ pron 僕が 「主語」

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| vous ヴ pron 君たちに | 「間接目的語」 |
| ai confié エ・コンフィエ 1 単現・完了形(confier)v.t 打ち明けた | 「動詞句」 |
| son numéro ソン・ニュメロ n.m その番号を | 「直接目的語」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| à cause des grandes personnes ア・コース・デ・グロント・ウ・ペルソヌ adv. 大人たちのせいで | 「補語」 |

かくして、もし彼らに、「王子様が存在していたという証拠、それは、王子様が素敵だった、
にここにしていた、羊を欲しがったということだ。」[B-4]

Ainsi, si vous leur dites, «La preuve que le petit prince a existé c'est qu'il était ravissant, qu'il riait, et qu'il voulait un mouton.

| | |
|--|--|
| | 「副詞」, si 「主語」 「間接目的語」 「動詞」, « 「主語」 「動詞」 「補語」 |
| Ainsi アンシ adv. こんなわけで | 「副詞」 |
| si シ conj. もし〜すると | 「副詞節」 |
| vous ヴ pron 君が | 「主語」 |
| leur レル pron 彼らに | 「間接目的語」 |
| dites ティット 2 複現(dire)v.t (次のように) 言う | 「動詞」 |
| La preuve ラ・プルヴ n.f 証拠 | 「主語」 |
| que ク conj. 〜ということ | 「形容詞節：preuve」 |
| le petit prince ル・プチ・プリンス n.m 王子様が | 「主語」 |
| a existé ア・エグジステ 3 単現・完了形(exister) v.i 存在していた | 「動詞句」 |
| c' ス pron それ（証拠）は | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| qu' ク conj. 〜ということ | 「補語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった | 「動詞」 |
| ravissant ラヴィッサン adj. すばらしい | 「補語」 |
| qu' ク conj. 〜ということ | 「補語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| riait リエ 3 単半(rire)v.i 笑っていた | 「動詞」 |
| et エ conj. そして | |
| qu' ク conj. 〜ということ | 「補語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| voulait ヴレ 3 単半(vouloir)v.t 欲しがった | 「動詞」 |

文の構成要素

un mouton アン・ムトン n.m 羊を

「目的語」

人が羊を欲しがれば、その人が存在している証拠になる」などと言えば、彼らは肩をすくめ、君たちを子ども扱いするだろう！[B-4]

Quand on veut un mouton, c'est la preuve qu'on existe》, elles hausseront les épaules et vous traiteront d'enfant!

「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」》,

「主語」「動詞」「目的語」et 「目的語」「動詞」「補語」

Quand コン conj. ～すると

「副詞節」

on オン pron 人が

「主語」

veut ヴェ 3 単現(vouloir)v.t 欲しが

「動詞」

un mouton アン・ムトン n.m 羊を

「目的語」

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

la preuve ラ・プルーヴ n.f 証拠

「補語」

qu' ク conj. (同格) ～という

「形容詞節：preuve」

on オン pron その人が

「主語」

existe エグジストゥ 3 単現 (exister)v.i 存在している

「動詞」

elles エル pron.pl. 彼らは

「主語」

hausseront オロン 3 複末(hausser)v.t すくめるだろう

「動詞」

les épaules レ・ゼポール pl.n.f 肩を

「目的語」

et エ conj. そして

vous ヴェ pron 君を

「目的語」

traiteront トレロン 3 複末(traiter)v.t 扱うだろう

「動詞」

d'enfant ドンフォン adj. 子供として

「補語」

しかしながら、「王子様の出身である星は、B612 番という小惑星だった」と言えば、大人たちは納得し、そっとしておいてくれるだろう。[B-4]

Mais si vous leur dites: 《La planète d'où il venait est l'astéroïde B612》, alors elles seront convaincues, et elles vous laisseront tranquille avec leurs questions.

Mais si 「主語」「間接目的語」「動詞」: 《「主語」「動詞」「補語」》,

「副詞」「主語」「動詞句」et 「主語」「目的語」「動詞」「補語」

Mais メ conj. しかし

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

vous ヴェ pron 君が

「主語」

leur レル pron 彼らに

「間接目的語」

dites ティット 2 複現(dire)v.t 言う

「動詞」

文の構成要素

| | | |
|---|----------------------|--------|
| La planète ラ・プラネット n.f | その惑星は | 「主語」 |
| d'où トゥ adj. | そこから | 「形容詞節」 |
| il イル pron | 彼が | 「主語」 |
| venait ヴネ 3 単半(venir)v.i | 来た | 「動詞」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| l'astéroïde B612 ラステロイド・ベ・シ・ソ・ドゥーズ n.m | 小惑星 B612 | 「補語」 |
| alors アロー adv. | すると | 「副詞」 |
| elles エル pron.pl.f. | 大人たちは | 「主語」 |
| seront convaincues スロン・コンヴ・アンキュ 3 複末・受動(convaincre) | | |
| v.t | 納得するだろう (納得させられるだろう) | 「動詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| vous ヴ pron | 君を | 「目的語」 |
| laisseront レスロン 3 複末(laisser)v.t | 〜のままにしておくだろう | 「動詞」 |
| tranquille トロンキル adj. | 静かな | 「補語」 |
| avec leurs questions アヴ・エツキ・レル・ケスチョン adv. | 彼らの質問から | 「副詞句」 |

彼の事をここに書こうとしているのは、彼を忘れない為。友達を忘れるのは、悲しい事だ。

[B-4]

Si j'essaie ici de le décrire, c'est afin de ne pas l'oublier. C'est triste d'oublier un ami.

| | |
|---|------------|
| Si 「主語」「動詞句」「副詞」, 「主語」「動詞」「補語」 「動詞」「補語」「主語」 | |
| Si ... c'est ～ シ...セ ～conj. (事実の提示)... | であるのは～だからだ |
| j' ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| essaie ... de le décrire エ...トゥ・ル・デクリール 1 単現(essayer de+不定詞+le) | |
| v.t 彼のことを書こうとしている | 「動詞句」 |
| ici イ adv. ここに | 「副詞」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| afin de+不定詞 アファン・トゥ adv. ～するため | 「補語」 |
| ne pas l'oublier ス・パ・ルブリエ 不定詞句 n. 彼を忘れない | 「動詞」 |
| C' ス pron 形式主語 | |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| triste トリスト adj. 悲しい | 「補語」 |
| d'oublier un ami トゥブリエ・ア・ナミ 不定詞句 n. 友達を忘れること | 「主語」 |

文の構成要素

誰もが友達を持ったことがあるわけではないんだ。それに、ぼくも数字にしか興味がない大人たちと同じような人間になるかもしれない。[B-4]

Tout le monde n'a pas eu un ami. Et je puis devenir comme les grandes personnes qui ne s'intéressent plus qu'aux chiffres.

「主語」「動詞句」「目的語」 | Et 「主語」「動詞句」「補語」

Tout le monde トゥ・ル・モンド n.m すべての人が、誰もが 「主語」

n'a pas eu ナ・パ・ジュ 3 単現・完了形・否定(avoir)

v.t (部分否定) 持ったことがある訳ではない 「動詞句」

un ami ア・ミ n.m 友達を 「目的語」

Et エ conj. (強調) しかも

je ジュ pron 僕が 「主語」

puis devenir ピュイ・トヴァニール 1 単現・推量(pouvoir+不定詞)

v.i (puis は peux の文語) 〜になるかもしれない 「動詞句」

comme les grandes personnes コム・レ・グランド・ペルソヌ

adv. 大人たちのように 「補語」

qui キ pron 〜する 「形容詞節」

ne s'intéressent ヌ・サンテレス 3 複現・否定(s'intéresser)

v.pr (à に) 興味がない 「動詞句」

plus qu'aux chiffres プリュ・コ・シフル

adv. 数字にしか 「間接目的語」

だから僕が絵具箱と鉛筆も買ったのは、そのためなんだ。[B-4]

C'est donc pour ça encore que j'ai acheté une boîte de couleurs et des crayons.

「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron それは (形式主語)

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

donc pour ça encore トン・プール・サ・オンコール adv. だからその為でも 「補語」

que ク conj. 〜ということ 「主語」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

ai acheté エ・アシェテ 1 単現・完了形(acheter)v.t 買った 「動詞句」

une boîte de couleurs et des crayons ヌヌ・ブワット・トゥ・クレール・エ・テ・クレヨン

pl.n. 絵具箱と鉛筆を 「目的語」

文の構成要素

6歳の時、中の見えないボア大蛇と中の見えるボア大蛇を描いたほかに、これといった絵を描いたことがなかった僕が、この年になってまた絵を描くのは、辛いことなんだ！[B-4]

C'est dur de se remettre au dessin, à mon âge, quand on n'a jamais fait d'autres tentatives que celle d'un boa fermé et celle d'un boa ouvert, à l'âge de six ans!

「動詞」「補語」「主語」「副詞句」

C' ス pron それは (形式主語)

est エ 3 単現(être)v.i ~である

「動詞」

dur デュール adj. 困難な、辛い

「補語」

de se remettre トゥ・ス・ルメットル n.(de+不定詞 se remettre)

(à qch) また~し始めることは

「主語」

au dessin オ・デッサン adv. 絵を描くことを

「間接目的語」

à mon âge ア・モノ・ナージュ adv. この年になって

「副詞句」

quand コン adj. ~の時

「形容詞節：âge」

on オン pron 自分は

「主語」

n'a jamais fait ナ・ジャ・メ・フェ 1 単現・完了形・否定(faire)

v.t したことがなかった

「動詞句」

d'autres tentatives ト・オートル・トンタティヴ

pl.n.f 別のことを

「目的語」

que ク conj. (否定分で) ~以外に

「形容詞句」

celle d'un boa fermé et celle d'un boa ouvert セル・タン・ボア・フェルメ・エ・セル・タン・ボア・ウヴェール

pl.n.f 中の見えないボア大蛇と中の見えるボア大蛇

「目的語」

à l'âge de six ans ア・ラー・ジュ・トゥ・シ・ザン adv. 6歳の時に

「副詞句」

僕の友達は、一度だって説明してくれなかった。ひょっとして、僕を自分と同じような人間だと思っていたのかもしれない。[B-4]

Mon ami ne donnait jamais d'explications. Il me croyait peut-être semblable à lui.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞」「補語」

Mon ami モ・ナミ n.m 僕の友達は

「主語」

ne donnait jamais ノ・トネ・ジャメ 3 単半・否定(donner)

v.t 決してくれなかった

「動詞句」

d'explications テクスプリアシオン pl.n.f 説明を

「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

me ム pron 私を

「目的語」

croyait クワイエ 3 単半(croire)v.t 思っていた

「動詞」

文の構成要素

peut-être プ・テートル adv. 多分 「副詞」
semblable à lui サンブラブル・ア・リュイ adj. 彼と同じような人間 「補語」

そんな時は彼に説明しなければならない。昨日は土曜日だったので、マリーが約束通りにやって来た。 [C-1-4]

Il faut alors lui donner des explications. Hier, c'était samedi et Marie est venue, comme nous en étions convenus. 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞節」

Il faut + 不定詞 イ・フォ 3 単現(falloir)v.h ~しなければならない 「動詞句」

alors アロー adv. そんな時には 「副詞句」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

donner ドネ 不定詞 v.t (動作を) する 「動詞句」

des explications. デ・セクスプレカシオン pl.n.f 説明を 「直接目的語」

Hier, イェール adv. 昨日は 「副詞」

c' ス pron (日付) 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

samedi サムディ n.m 土曜日 「補語」

et エ conj. そして

Marie マリー n.f マリーが 「主語」

est venue, エ・ヴニユ 3 単現・完了形(venir)v.i やって来た 「動詞句」

comme コム conj. ~のように 「副詞節」

nous ヌ pron.pl 僕たちが 「主語」

en オン adv. それについて 「副詞」

étions convenus. エション・コンヴァニユ 1 複半・完了形.pl(convenir)

v.i 決めていた 「動詞句」

僕はドレスの上から、彼女の引き締まった乳房を思い浮かべた。日に焼けた褐色の肌は、彼女を花の姿にしていた。 [C-1-4]

On devinait ses seins durs et le brun du soleil lui faisait un visage de fleur.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞」「補語」

On オン pron (動詞は三人称単数形) 僕は 「主語」

devinait ドゥヴァン 3 単半(deviner)v.t 推察した、想像した 「動詞」

ses seins セ・サン pl.n.m 彼女の乳房を 「目的語」

durs デュール adj. 固い、引き締まった 「形容詞」

et エ conj. そして

le brun ル・ブラン n.m その褐色は 「主語」

文の構成要素

| | |
|--|--------|
| du soleil ジュ・ソレイユ adj. 太陽による | 「形容詞句」 |
| lui リュイ pron 彼女を | 「目的語」 |
| faisait フェ 3 単半(faire)v.t にしていた | 「動詞」 |
| un visage de fleur. アン・ヴィザージュ・ドゥ・フleur n.m 花の姿 | 「補語」 |

午後 4 時の太陽はもうそれほど暑くなかったが、海水は生ぬるくて、小さな波が長くゆったりと岸に寄せていた。マリーが一つ遊びを教えてくれた。[C-1-4]

Le soleil de quatre heures n'était pas trop chaud, mais l'eau était tiède, avec de petites vagues longues et paresseuses. Marie m'a appris un jeu.

| | |
|---|-------------------------------------|
| | 「主語」「動詞」「補語」 mais 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 |
| | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽は | 「主語」 |
| de quatre heures トゥ・キヤト・レール adj. 午後 4 時の | 「形容詞句」 |
| n'était pas ネ・パ 3 単半・否定(être)v.i 〜でなかった | 「動詞」 |
| trop chaud, トロ・ショ adj. (否定文で) あまり暑く〜ない | 「補語」 |
| mais メ conj. それでも | |
| l'eau ロ n.f 水は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった | 「動詞」 |
| tiède, チエ・トゥ adj. 生ぬるい | 「補語」 |
| avec de アヴ・エツキ・トゥ adv. (様態) 〜の状態である | 「副詞句」 |
| petites vagues プ・ティット・ヴァーク pl.n.f 小さい波 | 「目的語」 |
| longues ロング adj.f.pl 長い | 「形容詞」 |
| et エ conj. そして | |
| paresseuses. パ・レス・ズ adj.f.pl ゆったりとした | 「形容詞」 |
| Marie マリー n.f マリーは | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a appris ア・アプリ 3 単現・完了形(apprendre)v.t 教えた | 「動詞句」 |
| un jeu. アン・ジュ n.m 遊びを | 「直接目的語」 |

だが、しばらく遊んでいると、口が塩の苦さで焼けたようになってしまった。[C-1-4]

Mais au bout de quelque temps, j'avais la bouche brûlée par l'amertume du sel.

| | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| | Mais 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」「副詞句」 |
| Mais メ conj. しかし | |
| au bout de オ・ブ・トゥ prep 〜の終わりに、〜の後で | 「副詞句」 |
| quelque temps, ケルク・トン n.m しばらく | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |

文の構成要素

| | |
|---|--------|
| avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t (avoir +O+C) (体の状態) O が C になった | 「動詞」 |
| la bouche ラ・ブーシュ n.f 口が | 「目的語」 |
| brûlée ブリュレ adj. 焼けた | 「補語」 |
| par l'amertume パール・ラメルチューム adv. 苦さによって | 「副詞句」 |
| du sel. シュ・セル adj. 塩の | 「形容詞句」 |

僕はマリーを抱き寄せた。それから大急ぎでバスに乗り、町に戻って、僕の部屋に入り、ベッドに飛び込んだ。[C-1-4]

Je l'ai tenue contre moi et nous avons été pressés de trouver un autobus, de rentrer, d'aller chez moi et de nous jeter sur mon lit.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「補語」

| | |
|---|-------|
| Je シュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ラ pron 彼女を | 「目的語」 |
| ai tenue エ・トゥニエ 1 単現・完了形(tenir)v.t 抱いた | 「動詞句」 |
| contre moi コントル・ムわ adv. 僕に向かって | 「副詞句」 |
| → 抱き寄せた | |
| et エ conj. そして | |
| nous ヌ pron 僕たちは | 「主語」 |
| avons été pressés アヴェ・オン・ゼ・テ・プレッセ 1 複現・完了形・受動・使役(presser) | |
| v.t(+de+不定詞) ～するように急き立てられた、大急いで～した | 「動詞句」 |
| de trouver ドゥ・トゥルヴレ 不定詞 v.t 拾う、乗る | 「補語」 |
| un autobus, アン・オトビュス n.m バスを | 「目的語」 |
| de rentrer, ドゥ・ロントレ 不定詞 v.i 戻る | 「補語」 |
| d'aller ダレ 不定詞 v.i ～に行く | 「補語」 |
| chez moi シェ・ムわ adv. 僕の部屋に | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| de nous jeter ドゥ・ヌ・ジュテ 不定詞(se jeter)v.pr 飛び込む | 「補語」 |
| sur mon lit. シュール・モン・リ adv. 僕のベッドに | 「副詞句」 |

→ 「浜辺でバスに乗り、アパートのベッドに飛び込む」までの、情欲に動かされた慌ただしい行動が1つの長い動詞句 (avons été pressés+ de+不定詞) によって描かれている。

能動態の文で考えると、「presser nous de+不定詞」の nous が「目的語」なので、後に続く一連の「de+不定詞」は目的語の動作を表す「補語」である。受動態によって、自分の意識的な行動ではなく、衝動に突き動かされた行動であることを表している。

僕は窓を開けたままにしておいた。日に焼けた僕らの体の上を、夏の夜が流れていくのを感じるのは心地よかった。[C-1-4]

J'avais laissé ma fenêtre ouverte et c'était bon de sentir la nuit d'été couler sur nos corps bruns.

J' ジュ pron 僕は 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」 et 「動詞」 「補語」 「主語」 「主語」

avais laissé アヴェ・レッセ 1 単半・完了形(laisser)v.t(laisser+O+C)

v.t O を C のままにしておいた 「動詞句」

ma fenêtre マ・フネートル n.f 窓を 「目的語」

ouverte ウヴェルト adj.f 開いた 「補語」

et エ conj. そして

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は de sentir 以降)

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

bon ボン adj. 快適な 「補語」

de +不定詞 トゥ 不定詞 n. ~することは 「主語」

sentir ソンチール 不定詞・知覚動詞 v.t 感じる 「動詞」

la nuit d'été ラ・ニュイ・デテ n.f 夏の夜を 「目的語」

couler クレ 不定詞(nuit の動作)v.i 流れる 「補語」

sur nos corps シュール・ノ・コール adv. 僕らの体の上を 「副詞句」

bruns. ブラン adj. 褐色の、日に焼けた 「形容詞」

その時、レーモンの部屋で口論の物音が響き渡った。[C-1-4]

C'est à ce moment que les bruits d'une dispute ont éclaté chez Raymond.

「動詞」 「補語」 「主語」

C' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 節) 強調構文「その時~した」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

à ce moment ア・ス・モモン adv. この時に 「補語」

que ク conj. ~ということは 「主語」

les bruits レ・ブリュイ pl.n.m 物音が 「主語」

d'une dispute テュヌ・ディスピューット adj. 口論の 「形容詞句」

ont éclaté オン・エクラテ 3 複現・完了形(éclater)v.i 響き渡った、起こった 「動詞句」

chez Raymond. シェ・レーモン adv. レーモンの部屋で 「副詞句」

マリーは、ひどいと言ったが、僕は何も答えなかった。[C-1-4]

Marie m'a dit que c'était terrible et je n'ai rien répondu.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」

Marie マリー n.f マリーは 「主語」

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| terrible テリブル adj. ひどい | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai ...répondu. ネ...レポ・ンデュ 1 単現・完了形・否定(repondre)v.t 答えなかった | 「動詞句」 |
| rien ルン pron 何も～ない | 「目的語」 |

彼女は僕に警官を呼びに行くように頼んだが、僕は警官は嫌いだと答えた。[C-1-4]

Elle m'a demandé d'aller chercher un agent, mais je lui ai dit que je n'aimais pas les agents.

| | |
|--|---------|
| 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | |
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「目的語」 |
| a demandé ア・ドゥァモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t(+de+不定詞) | |
| v.t ～するように頼んだ | 「動詞句」 |
| d'aller chercher ダレ・シェルシェ 不定詞(aller+chercher)v.t 呼びに行く | 「補語」 |
| un agent, アン・アジヨン n.m 警官を | 「目的語」 |
| mais メ conj. しかし | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼女に | 「間接目的語」 |
| ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'aimais pas ネ・パ 1 単半・否定・時制の一致(aimer) | |
| v.t 好きではない | 「動詞句」 |
| les agents. レ・サジヨン pl.n.m 警官を | 「目的語」 |

警官は拾ってもよいとレーモンに言い渡し、さらに付け加えた：「だが、この次同じことがあれば、警官はただの道化者ではないことを思い知らせるからな」[C-1-4]

L'agent a déclaré qu'il le pouvait et il a ajouté: «Mais la prochaine fois, tu sauras qu'un agent n'est pas un guignol.»

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」：
《Mais 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」》

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| L'agent ラジヨン n.m 警官は | 「主語」 |
| a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t 言い渡した | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron レーモンは | 「主語」 |
| le ル pron それを (拾うこと) | 「目的語」 |
| pouvait フウェ 3 単半・許可(pouvoir)v.t してもかまわない | 「動詞」 |
| et エ conj. そして、さらに | |
| il イル pron 警官は | 「主語」 |
| a ajouté: ア・アジユテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた | 「動詞句」 |
| «Mais メ conj. だが | |
| la prochaine fois, ラ・プロシェンヌ・フワ adv. この次は | 「副詞句」 |
| 再び警官に対してくわえ煙草で喋った場合には | |
| tu チュ pron お前は | 「主語」 |
| sauras ラ 2 単未・意志(savoir)v.t 知るだろう | 「動詞」 |
| 話者の意志として、「～を思い知らせてやる」の意味になる | |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| un agent ア・ナジヨン n.m 警官は | 「主語」 |
| n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ～でない | 「動詞」 |
| un guignol.» アン・ギニョル n.m 人形芝居の道化者、指人形、滑稽な人 | 「補語」 |

ギニョール guignol :

1808 年にフランスのローラン・ムルゲによって作られた指人形芝居の主人公の名。現在は子供向けの娯楽として、ギニョールが面白おかしく悪者を退治する勧善懲悪の話やピノッキオなどのおとぎ話が主な出し物になっている。

警官は彼に口を閉じるように言ってから、女は帰るようにと言い渡し、レーモンは警察署から呼び出されるまで部屋に留まるように言い渡した。[C-1-4]

L'agent lui a dit de fermer ça, que la fille devait partir et lui rester dans sa chambre en attendant d'être convoqué au commissariat.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」, 「目的語」

| | |
|----------------------------------|-------|
| L'agent ラジヨン n.m 警官は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| de fermer トゥ・フェルメ 不定詞 v.t 閉じる | 「補語」 |
| ça, サ pron (gueule の代用) 口を | 「目的語」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| la fille ラ・フィユ n.f 女は | 「主語」 |

文の構成要素

devait partir トゥヴァン・パルテール 3 単半・義務・時制の一致(devoir+不定詞)

v.i 帰るべきだ

「動詞句」

et エ conj. そして

lui リュイ pron 彼は

「主語」

rester レステ 3 単半・義務・時制の一致(devoir+不定詞)

v.i 留まらなければならない

「動詞句」

dans sa chambre ドン・サ・ションブル adv. 部屋の中に

「副詞句」

en attendant オン・アトントン ジェルンディオ(attendre)

adv.(de+不定詞) ～するまで待つて

「副詞句」

d'être convoqué デートル・コンヴァケ 不定詞・受動(convoquer)

v.t 呼び出される

「動詞句」

au commissariat. オ・コミサリア adv. 警察署から

「副詞句」

そこでレーモンは釈明した：「俺は酔っちゃいませんぜ、お巡りのだんな。ただ俺はお巡りさんの前にいると、震えてしまうんです。どうしようもないんだ」[C-1-4]

A ce moment, Raymond lui a expliqué: «Je ne suis pas soûl, monsieur l'agent. Seulement, je suis là, devant vous, et je tremble, c'est forcé.»

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」: 《「主語」 「動詞」 「補語」 「呼びかけ」

「副詞」 「主語」 「動詞」 「副詞句」 et 「主語」 「動詞」, 「主語」 「動詞」 「補語」》

A ce moment, ア・ス・モン adv. この時、そこで

「副詞句」

Raymond レモン n.m レーモンは

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

a expliqué: ア・エクスプリケ 3 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した、釈明した

「動詞句」

«Je ジュ pron 俺は

「主語」

ne suis pas ノ・シュイ・パ 1 単現・否定(être)v.i ～でない

「動詞」

soûl, スル adj. 酔った

「補語」

monsieur l'agent. ムシュ・ラジヨン n.m お巡りのだんな

「呼びかけ」

Seulement, スルモン adv. ただ

「副詞」

je ジュ pron 俺は

「主語」

suis シュイ 1 単現(être)v.i (存在) いる

「動詞」

là, devant vous, ラー・トゥヴァン・ヴァ adv. お巡りさんの前に

「副詞句」

et エ conj. すると、だから

je ジュ pron 俺は

「主語」

tremble, トロンブル 1 単現(trembler)v.i 震える

「動詞」

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

forcé. フォルセ adj. 不可抗力の、避けがたい

「補語」

マリーと僕は昼食の支度を終えたが、マリーは空腹ではなかったのに、僕がほとんど全部食べた。彼女は1時に帰り、僕は少し眠った。[C-1-4]

Marie et moi avons fini de préparer le déjeuner. Mais elle n'avait pas faim, j'ai presque tout mangé. Elle est partie à une heure et j'ai dormi un peu.

「主語」「動詞句」「目的語」

Mais 「主語」「動詞句」「補語」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Marie et moi マリー・エ・ムワ pl.n マリーと僕は

「主語」

avons fini de préparer アヴ・オン・フィニ・ドゥ・プレパレ 1 複現・完了形(finir de+不定詞)

v.t ~を支度するのを終えた

「動詞句」

le déjeuner. ル・デジユネ n.m 昼食

「目的語」

Mais メ conj. しかし

elle エル pron 彼女は

「主語」

n'avait pas ナヴェ・パ 3 単半・否定(avoir)v.t (+無冠詞名詞) ~でなかった

「動詞句」

faim, ファム n.f 空腹 (状態を表す「目的語」)

「補語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai ...mangé. エ...モンジェ 1 単現・完了形(manger)v.t 食べた

「動詞句」

presque tout プレスキ・トゥ pron ほとんど全部を

「目的語」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

est partie エ・パルティ 3 単現・完了形.f(partir)v.i 帰った

「動詞句」

à une heure ア・ユ・ネール adv. 1 時に

「副詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dormi エ・ドルミ 1 単現・完了形(dormir)v.i 眠った

「動詞句」

un peu. アン・プ adv. 少し

「副詞句」

それは彼も同じ意見だった。そして警官が何をしても無駄で、女が受けた殴打については何も変わらないと指摘した。[C-1-4]

C'était aussi son avis, et il a observé que l'agent avait beau faire, il ne changerait rien aux coups qu'elle avait reçus.

「主語」「動詞」「副詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

C' ス pron それは

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

aussi オ adv. もまた、同様に

「副詞」

文の構成要素

| | | |
|------------------------|----------------------------------|--------|
| son avis, ソ・ナヴィ n.m | 彼の意見 | 「補語」 |
| et エ conj. | そして | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| a observé ア・オブ・セルヴェ | 3 単現・完了形(observer)v.t 指摘した | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| l'agent ラジヨン n.m | 警官が | 「主語」 |
| avait beau +不定詞 アヴ・ェ・ボ | 3 単半・無駄(avoir beau+不定詞) | |
| v.t | ～しても無駄だ | 「動詞句」 |
| faire, フェール | 不定詞 v.t する | 「動詞句」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| ne changerait rien | ヌ・シヨンジ ユレ・リヤン 条・3 単現・否定(changer) | |
| v.t | 変えないだろう | 「動詞句」 |
| aux coups オ・クー | adv. 殴打について | 「副詞」 |
| qu' ク pron.pl | (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| elle エル pron | 彼女が | 「主語」 |
| avait reçus. アヴ・ェ・ルシュ | 3 単半・完了形(recevoir) | |
| v.t | 受け取った、食らった | 「動詞句」 |

彼は僕に、彼の証人になってもらう必要があると言った。[C-1-4]

Il m'a dit qu'il fallait que je lui serve de témoin.

| | | |
|--------------------|----------------------------|-------------------------|
| | | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「直接目的語」 |
| il fallait イル・ファレ | 3 単半・非人称・時制の一致(il falloir) | |
| v.h(que+接続法) | ～が必要である | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということが | 「主語」 |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron | 彼に | 「目的語」 |
| serve セルヴ | 接・1 単現(servir) | |
| v.i(à qn de+無冠詞名詞) | (人) に～の役目を果たす | 「動詞」 |
| de témoin. ドゥ・テムワソ | adv. 証人として | 「補語」 |

文の構成要素

僕は、彼が自分に対してとても親切に感じたので、楽しいひと時だと思った。[C-1-4]

Je le trouvais très gentil avec moi et j'ai pensé que c'était un bon moment.

| | | | |
|--|-------------------|----|----------------|
| | 「主語」「目的語」「動詞」「補語」 | et | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | | | 「主語」 |
| le ル pron 彼が | | | 「目的語」 |
| trouvais トルヴァ 1 単半(trouver)v.t(qn+C 人が) 〜だと思った | | | 「動詞」 |
| très gentil トレ・ジヨンテイ adj. とても思いやりのある、親切な | | | 「補語」 |
| avec moi アヴェ・エッキ・ムわ adv. 僕に対して | | | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | | | |
| j' ジュ pron 僕は | | | 「主語」 |
| ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(que+直説法) と思った | | | 「動詞句」 |
| que ク conj. 〜ということを | | | 「目的語」 |
| c' ス pron これは | | | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である | | | 「動詞」 |
| un bon moment. アン・ボン・モメン n.m 楽しいひと時 | | | 「補語」 |

彼は自分の部屋のドアを閉じた。僕は彼が行ったり来たりするのが聞こえた。それから彼のベッドがきしんだ。[C-1-4]

Il a fermé sa porte et je l'ai entendu aller et venir. Son lit a craqué.

| | | | | | |
|--|----------------|----|--------------------|--|-----------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 | et | 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 | | 「主語」「動詞句」 |
| Il イル pron 彼は | | | | | 「主語」 |
| a fermé ア・フェルメ 3 単現・完了形(fermer)v.t 閉じた | | | | | 「動詞句」 |
| sa porte サ・ポルト n.f 彼の部屋のドアを | | | | | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | | | | | |
| je ジュ pron 僕は | | | | | 「主語」 |
| l' ル pron 彼が | | | | | 「目的語」 |
| ai entendu エ・アントンジュ 1 単現・完了形・知覚(entendre) | | | | | |
| v.t (O+不定詞) O が〜するのが聞こえた | | | | | 「動詞句」 |
| aller et venir. アレ・エ・ヴァニール 不定詞 v.i 行ったり来たりする | | | | | 「補語」 |
| Son lit ソン・リ n.m 彼のベッドが | | | | | 「主語」 |
| a craqué. ア・クラック 3 単現・完了形(craquer)v.i きしんだ | | | | | 「動詞句」 |

文の構成要素

「副詞」の例文

「副詞」は空間的な位置、順序、時間、様態や条件・原因・理由などを説明する。

パリの詩人であるピエール・グラングワール氏に捧ぐ [A-5]

À Monsieur Pierre Gringoire, poète à Paris.

「副詞句」

À ア prep 〜に (捧げる)

「副詞句」

Monsieur Pierre Gringoire, ミッシュエール・グラングワール

n.m ピエール・グラングワール氏

「目的語」

poète à Paris. ポエット・ア・パリ adj. (同格) パリの詩人である

「形容詞句」

君がどうしてそんなことをしたのか、僕にはわからない。少し考えてみろよ！ [A-5]

Je ne comprends pas pourquoi tu as fais ça. Réfléchis un peu!

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「副詞句」

Je ジュ pron 私は

「主語」

ne comprends pas ヌ・コンプ・ロン・パ° 1 単現・否定(comprendre)v.t 分からない

「動詞句」

pourquoi フルクワ adv. なぜ〜したかということが

「目的語」

tu チュ pron 君が

「主語」

as fais ア・フェ 2 単現・完了形(faire)v.t した

「動詞句」

ça. サ pron そんなことを

「目的語」

Réfléchis レフレシ 命・2 単現(réfléchir)v.i 考えなさい

「動詞」

un peu! アン・プ° adv. 少し

「副詞句」

君は、パリの大きな新聞社でのコラムの仕事を断って、詩を書いて生計を立てることに決めたんだって！ [A-5]

Tu as refusé un travail de chroniqueur dans un grand journal à Paris, et tu as choisi de vivre en écrivant des poésies!

Tu チュ pron 君は

「主語」

as refusé アルフュゼ° 2 単現・完了形(refuser)v.t 断った

「動詞句」

un travail アン・トラヴァイェ n.m 仕事を

「目的語」

de chroniqueur トゥ・クロニケール adj. コラムの

「形容詞句」

dans un grand journal à Paris, トン・ザン・グラン・ジュルナル・ア・パリ

adv. パリの大きな新聞社での

「副詞句」

et エ conj. そして

tu チュ pron 君は

「主語」

as choisi de vivre ア・シュワジ・トゥ・ヴィーヴル 2 単現・完了形・決心(choisir de+不定詞)

v.i 生活すると決めた

「動詞句」

文の構成要素

en écrivant ェ・エクリヴァン ジェロンディフ(*écrire*)v.t (手段) ～を書いて 「副詞句」
des poésies! デ・ポエジー pl.n.f 詩を 「目的語」

君は自由を求めているのかい？よしそれじゃあ、君に、スガンさんの羊の話をしてやろう。

[A-5]

Tu as souhaité la liberté? Eh bien, je vais te raconter l'histoire de la chèvre de M.Seguin.

「主語」「動詞句」「目的語」

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Tu チュ pron 君は 「主語」

as souhaité ア・ステ 2 単現・完了形(*souhaiter*)v.t 望んでいた、願っていた 「動詞句」

la liberté? ラ・リベルテ n.f 自由を 「目的語」

Eh bien, エ・ビヤン adv. よし、じゃあ、それでは 「副詞句」

je ジュ pron 私は 「主語」

vais +不定詞 ヴェ 1 単現・近接未来(*aller*+不定詞)v. ～しよう 「動詞句」

te トゥ pron 君に 「間接目的語」

raconter ラコンテ 不定詞 v.t 語る 「動詞句」

l'histoire リストワール n.f 話を 「直接目的語」

de la chèvre de M.Seguin. トゥ・ラ・シェヴル・ドゥ・ムッシュ・スガン

adj. スガンさんの羊の

「形容詞句」

注意して聞けよ、そうすれば気ままに生きるとどうなるかが分かるだろう。[A-5]

Écoute bien et tu verras ce qui arrive en vivant en liberté...

「動詞」「副詞」「et」「主語」「動詞」「目的語」

Écoute エクト 命・2 単現(*écouter*)v.t 注意して聞けよ 「動詞」

bien ビヤン adv. よく 「副詞」

et エ conj. そうすれば

tu チュ pron 君は 「主語」

verras ヴェラ 2 単未・推測(*voir*)v.t 分かるだろう 「動詞」

ce ス pron そのことが 「目的語」

qui キ pron (主語) 何が～する 「形容詞節」

arrive アリヴ 3 単現(*arriver*)v.i (出来事が) 起こる 「動詞」

en vivant エ・ヴァン ジェレオンディフ(*vivre*)

v.i 生きています

「副詞句」

en liberté... エ・リベルテ adv. 気ままに

「副詞句」

スガンさんは、飼っている山羊に対して運がよくありませんでした。[A-5]

M.Seguin n'avait jamais de chance avec ses chèvres.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

M.Seguin ムッシュ・スカン n.m スガンさんは

「主語」

n'avait jamais ナヴェ・ジャメ 3 単半・否定(avoir)v.t なかった

「動詞句」

de chance トゥ・ションス n.f 幸運

「目的語」

avec ses chèvres. アヴェッキ・セ・シェヴァル adv. 自分の山羊に対して

「副詞句」

彼はすべての山羊を同じようにして失いました：彼は山羊を囲いの中につなぎましたが無駄でした。朝になると、山羊はロープを切って、山に逃げて行ってしまうのです。

[A-5]

Il les perdait toutes de la même manière: il avait beau les attacher dans son enclos, au matin les chèvres avaient cassé la corde pour s'en aller à la montagne.

「主語」「目的語」「動詞」「目的語」「副詞句」:

「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」,

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

les レ pron.pl 山羊たちを

「目的語」

perdait ペルテ 3 単半(perdre)v.t 失った

「動詞」

toutes トット pron すべてを

「目的語」

de la même manière: トゥ・ラ・メム・マニェール adv. 同じようなやり方で

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

avait beau +不定詞 アヴェ・ボ 3 単半・無駄(avoir beau+不定詞)

v. ～しても無駄だった

「動詞句」

les レ pron 山羊を

「目的語」

attacher アタシェ 不定詞 v.t つなぐ

「動詞句」

dans son enclos, トン・ソン・オンクロ adv. 囲いの中に

「副詞句」

au matin オ・マタン adv. 朝には

「副詞句」

les chèvres レ・シェヴァル pl.n.f 山羊は

「主語」

avaient cassé アヴェ・カッセ 3 複半・完了形(casser)v.t 切った

「動詞句」

la corde ラ・コルト n.f ロープを

「目的語」

pour +不定詞 プール adv. (継続) そして～する

「副詞句」

s'en aller ソン・アレ 不定詞 v.pr 立ち去る

「動詞句」

à la montagne. ア・ラ・モンターニュ adv. 山に

「副詞句」

山の上では、オオカミが山羊を食べようと待ち構えていました。それでも、スガンさんがいくら注意しても、オオカミの恐怖があらうと、山羊が危険を冒して自然の中に入っていくのを止めることは出来ませんでした。[A-5]

Là-haut le loup les attendait pour les manger. Pourtant, ni les soins de M.Seguin, ni la peur du loup ne les empêchaient de s'aventurer dans la nature.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

「副詞」 「主語」 「副詞」 「目的語」 「動詞句」 「補語」

Là-haut ラ・オー adv. 山の上では 「副詞句」

le loup ル・ルー n.m オオカミが 「主語」

les レ pron.pl 山羊を 「目的語」

attendait アトンデ 3 単半(attendre)v.t 待ち受けていた 「動詞」

pour +不定詞 プール adv. (目的) ~するために 「副詞句」

les レ pron 山羊を 「目的語」

manger. モンジエ 不定詞 v.t 食べる 「動詞」

Pourtant, プルトン adv. それでも 「副詞」

ni les soins ニ・レ・スワソ pl.n.m 注意も 「主語」

de M.Seguin, ドゥ・ムッシュ・スカソ adj. スガンさんの 「形容詞句」

ni la peur ニ・ラ・ペール n.f 恐怖も 「主語」

du loup ジュ・ルー adj. オオカミの 「形容詞句」

ne ヌ adv. ~ない 「副詞」

les レ pron 山羊を 「目的語」

empêchaient オンパシェ 3 複半(empêcher)v.t(de+不定詞) ~するのを妨げた 「動詞句」

de s'aventurer ドゥ・サヴァンチュレ 不定詞 v.pr 危険を冒す 「補語」

dans la nature. ドン・ラ・ナチュール adv. 自然の中に入って 「副詞句」

山羊たちは、独立心が強かった。そしてその性格のために、彼らはいつもスガンさんの小さな囲いの中に繋がれているのが退屈でした。[A-5]

Les chèvres étaient des chèvres indépendantes, et par leur caractère, elles s'ennuyaient d'être toujours enchaînées dans le petit enclos de M.Seguin.

「主語」 「動詞」 「補語」 et 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Les chèvres レ・シェヴァール pl.n.f 山羊たちは 「主語」

étaient エテ 3 複半(être)v.i ~だった 「動詞」

des chèvres indépendantes, デ・シェヴァール・アンデポントントゥ adj. 独立心の強い山羊の 「補語」

et エ conj. そして

par leur caractère, パール・レール・キャラクテル adv. 彼らの性格のために 「副詞句」

elles エル pron.pl 彼らは 「主語」

文の構成要素

s'ennuyaient d'+不定詞 ソンユイェ・トゥ 3 複半・退屈(s'ennuyer de+不定詞)

v. ～するのに退屈していた 「動詞句」

être toujours enchaînéés エートル・トゥジ ユール・オンシェネ 不定詞・受動.f.pl(enchaîner)

v.t いつも繋がれている 「動詞句」

dans le petit enclos トン・ル・プティ・オンクロ adv. 小さな囲いの中に 「副詞句」

de M.Seguin. トゥ・ムシュ・サガン adj. スガンの 「形容詞句」

山羊の性格をよく知らなかったスガンさんは、がっかりしました。[A-5]

M.Seguin, connaissant mal le caractère de ses chèvres, était découragé.

「主語」「動詞」「補語」

M.Seguin, ムシュ・サガン n.m スガンさんは 「主語」

connaissant コネソ 現在分詞(connaître)v.t ～を知っている 「形容詞句」

mal マル adv. 不十分に、あまり～ない 「副詞」

le caractère de ses chèvres, ル・キャラクテル・トゥ・シェーヴル

n.m 山羊の性格を 「目的語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

découragé. デクラジエ adj. がっかりした、落胆した 「補語」

「もうたくさんだ！もうこれ以上、山羊の世話なんかしないぞ！」と、ある日、言った。

[A-5]

《Non, c'est assez! Plus jamais je ne m'occuperai de chèvres.》dit-il un jour.

《「感嘆」「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」》

「動詞」「主語」「副詞句」

《Non, ノ adv. いや！ 「感嘆」

c' ス pron これは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

assez! アセ adv. 十分な、たくさん 「補語」

Plus プリュ adv. もう、これ以上 「副詞」

jamais ジャメ adv. 決して～ない 「副詞」

je ジュ pron わしは 「主語」

ne m'occuperai ヌ・モクブレ 1 単未・意志・否定(s'occuper)v.pr(de～の) 世話をしない 「動詞句」

de chèvres.》トゥ・シェーヴル adv. 山羊の 「間接目的語」

dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」

il イル pron 彼は 「主語」

un jour. アン・ジュール n.m ある日 「副詞句」

それでも彼は最後にもう一度だけ運を試そうと決めて、7匹目の山羊を買いました。

[A-5]

Malgré cela, il tenta une dernière fois sa chance et acheta une septième chèvre.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」 et 「動詞」 「目的語」

Malgré cela, マルグレスラ adv. それにも拘らず 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

tenta テンタ 3 単過(tenter)v.t 試してみた 「動詞」

une dernière fois ユヌ・デリエール・フワ adv. 最後にもう一度 「副詞句」

sa chance サ・シヨンス n.f 運を 「目的語」

et エ conj. そして

acheta アシクタ 3 単過(acheter)v.t 買った 「動詞」

une septième chèvre. ユヌ・セツチェーム・シェヴァール n.f 7 匹目の山羊を 「目的語」

彼は、若い内なら彼のところに慣れるだろうと思って、今回は若い山羊を買いました。

[A-5]

Il choisit cette fois-ci une jeune chèvre, en pensant qu'ainsi, elle pourrait s'habituer chez lui dès son plus jeune âge.

「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」 「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

choisit ショワジ 3 単過(choisir)v.t 選んだ 「動詞」

cette fois-ci セット・フワ・シ adv. 今回は 「副詞句」

une jeune chèvre, ユヌ・ジュヌ・シェヴァール n.f 若い山羊を 「目的語」

en pensant オン・ボンサン ジェロンディフ(penser)v.t(que) ～と考えて 「副詞句」

qu' ク conj. ～ということ 「目的語」

ainsi, オンシ adv. ～のように 「副詞」

elle エル pron 山羊が 「主語」

pourrait s'habituer プレ・サビチュエ 条・3 単現・推測(pouvoir+不定詞)

v.pr 慣れてくれるだろう 「動詞句」

chez lui シェ・リュイ adv. 彼のところに 「副詞句」

dès デ prep ～から 「副詞句」

son plus jeune âge. ソン・プリュ・ジュン・ナージュ

n.m ずっと若い年齢 「目的語」

「山羊が、俺のところにうんざりしないようにやり遂げるぞ！」 [A-5]

《Je ferai tout pour qu'elle ne s'ennuie pas chez moi!》

《「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」》

《Je ジュ pron 俺は 「主語」

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| ferai フレ 1 単未・意志(faire)v.t する | 「動詞」 |
| tout トゥ pron すべてを | 「目的語」 |
| pour プール prep ~のために | 「副詞句」 |
| qu' ク conj. ~ということ | 「目的語」 |
| elle エル pron 山羊が | 「主語」 |
| ne s'ennuie pas ヌ・ソヌイ・パ° 3 単現・否定(s'ennuyer) | |
| v.pr うんざりしない | 「動詞句」 |
| chez moi! シェ・ムわ adv. 俺のところに | 「副詞句」 |

毛並みは雪のように真っ白で、目は優しさであふれ、小さなひげはよく手入れされていて、
ひずめは新品の靴のようだった。[A-5]

Sa fourrure était blanche comme la neige, ses yeux pleins de tendresse, sa petite barbe
était bien soignée et ses sabots ressemblaient à des chaussures neuves.

| | |
|---|---------|
| 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」, 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞」「間接目的語」 | |
| Sa fourrure サ・フリュール n.f その毛並みは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半 (être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| blanche ブロンシュ adj. 白 | 「補語」 |
| comme la neige , ム・ラ・ネージュ° adv. 雪のように | 「副詞句」 |
| ses yeux セ・ジユ pl.n.m 目 | 「主語」 |
| pleins de プラン・ドゥ adj. ~で一杯の | 「形容詞句」 |
| tendresse, トントレス n.f 優しさ | 「目的語」 |
| sa petite barbe サ・プティット・バルブ° n.f 小さなひげ | 「主語」 |
| était エテ 3 単半 (être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| bien soignée ビヤン・スワニエ adj.f よく手入れされた | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| ses sabots セ・サボ° pl.n.m ひずめは | 「主語」 |
| ressemblaient ルンブレ 3 複半(ressembler)v.i(à) ~のようだった | 「動詞」 |
| à des chaussures neuves. ア・デ・ショシュール・ヌーヴ° adv. 新しい靴 | 「間接目的語」 |
| chaussure ショシュール n.f 靴 neuves ヌーヴ° adj.f.pl(neuf) 新しい | |

その上とても大人しくて、乳を搾るときは身動きしないし、腕の中に脚を突っ込むこともな
い、天使みたいな山羊だ。[A-5]

Elle était aussi très sage: elle ne bougeait pas quand on la travaillait et ne mettait jamais
sa patte dans son écuille. Oui, c'était un ange!

「主語」「動詞」「副詞」「補語」: 「主語」「動詞句」「副詞節」
et 「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「感嘆」「主語」「動詞」「補語」

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| Elle エル pron その山羊は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| aussi オ adv. ~もまた、その上 | 「副詞」 |
| très sage: トレ・サージュ adj. とてもおとなしい | 「補語」 |
| elle エル pron その山羊は | 「主語」 |
| ne bougeait pas ノ・モンジエ・パ 3 単半・否定(bouger)v.i 身動きしなかった | 「動詞句」 |
| quand コ conj. ~するとき | 「副詞節」 |
| on オン pron 人が | 「主語」 |
| la ラ pron それから | 「目的語」 |
| trayait トライエ 3 単半(traire)v.t 乳を搾る | 「動詞」 |
| et エ conj. そして | |
| ne mettait jamais ノ・メテ・ジャメ 3 単半・否定(mettre)v.t 入れなかった | 「動詞句」 |
| sa patte サ・パット n.f 脚を | 「目的語」 |
| dans son écuelle. トン・ソンの・エキュエル adv. 椀の中に | 「副詞句」 |
| Oui, ウー adv. そうだ | 「感嘆」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| un ange! アン・オンジュ n.m 天使 | 「補語」 |

スガンさんは、山羊を住ませるために牧場の一番いい場所を探し、山羊が存分に動き回れるようにとても長いロープを手を取った。[A-5]

M.Seguin chercha le plus bel endroit de son pré pour installer sa chevrette, et pris une corde très longue pour qu'elle puisse largement bouger.

| | |
|---|--------------------------------------|
| | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「動詞」「目的語」「副詞節」 |
| M.Seguin ムッシュ・スカン n.m スガンさんは | 「主語」 |
| chercha シェルシャ 3 単過(chercher)v.t 探した | 「動詞」 |
| le plus bel endroit ル・プ リュ・ベル・オントゥル n.m 一番いい場所を | 「目的語」 |
| de son pré トゥ・ソンの・プレ adj. 彼の牧場で | 「形容詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. ~するために | 「副詞句」 |
| installer アンスタレ 不定詞 v.t 住まわせる | 「動詞」 |
| sa chevrette, サ・シュヴレット n.f 彼の山羊を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| pris プリ 3 単過(prendre)v.t 手を取った | 「動詞」 |
| une corde très longue エヌ・コルト・トレ・ロング n.f とても長いロープを | 「目的語」 |
| pour qu'+接続法 プール・ク adv. ~するように | 「副詞節」 |
| elle エル pron 山羊が | 「主語」 |

文の構成要素

puisse largement bouger. ビュイス・ラルジ ユモン・ブージエ 接・3 単現・可能・推測(pouvoir+不定詞)
v.i 存分に動き回れるだろう 「動詞句」

彼はときどき、山羊が快適に過ごしているかどうかを見に来ました。そして嬉しそうに草を
食べているのを見るたびに、安心するのです。[A-5]

Il venait parfois regarder si elle se sentait bien, et à chaque fois qu'il la voyait prenant
du plaisir à brouter l'herbe, il était rassuré:

「主語」「動詞句」「副詞節」 et 「副詞節」, 「主語」「動詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

venait parfois regarder ウネ・パールワ・ルギヤルテ 3 単半・来る(venir+不定詞+ parfois)

v.t ときどき見に来た 「動詞句」

parfois パールワ adv. ときには、ときどき

si シ conj. かどうか 「副詞節」

elle エル pron 山羊が 「主語」

se sentait ス・センテ 3 単半(se sentir)v.pr 感じている 「動詞句」

bien, ビエン adj. 快適な 「補語」

et エ conj. そして

à chaque fois qu' ア・シャッキ・フワ・ク conj. 毎するたびに 「副詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

la ラ pron 山羊を 「目的語」

voyait ウわエ 3 単半(voir)v.t 見る 「動詞」

prenant du plaisir プルソ・ジユ・プレジール 現在分詞(prendre du plaisir)

adj. 喜んでいる 「補語」

à brouter l'herbe, ア・ブルテ・レルフ 不定詞 v.t 草を食べることに 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

était rassuré: エテ・ラシュレ 3 単半・受動(rassurer)v.t 安心した 「動詞句」

ある日、山羊は山を見ていて、こんなことを思いました: [A-5]

Un jour, alors qu'elle regardait la montgne, elle se dit: 「副詞句」, 「主語」「動詞句」

Un jour, アン・ジュール adv. ある日 「副詞句」

alors qu' アー・キ adv. していた時 「副詞節」

elle エル pron.f 山羊が 「主語」

regardait ルギヤルテ 3 単半(regarder)v.t 見ていた 「動詞」

la montgne, ラ・モンターニュ n.f 山を 「目的語」

elle エル pron 山羊は 「主語」

se dit: ス・ディ 3 単過(se dire)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

「あそこは素晴らしいに違いない。綱も囲いもなく、好きなだけ飛び跳ねることが出来るだろう」[A-5]

《Ça doit être bien là-bas. Sans corde ni enclos, on pourrait gambader autant qu'on veut.

《「主語」「動詞句」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞節」》

《Ça サ pron それは 「主語」

doit être トゥワ・エートル 3 単現・推定(devoir+不定詞)v.i 〜に違いない 「動詞句」

bien ビヤン adj. 素晴らしい 「補語」

là-bas. ラ・バー adv. あそこでは 「副詞句」

Sans corde ツン・コルト adv. 綱はなくて 「副詞句」

ni enclos, ニ・オンクロ adv. 囲いもない 「副詞句」

on オン pron 自分は 「主語」

pourrait gambader プレ・ゴンパデ 条・3 単現・推測(pouvoir+不定詞)

v.i 飛び跳ねることが出来るだろう 「動詞句」

autant qu' オトン・キ conj. 〜と同じくらい 「副詞節」

on オン pron 自分が 「主語」

veut. ヴェ 3 単現(vouloir)v.t 望む 「動詞」

それで毎日が長くて退屈に思われてきて、草原の草も前ほど美味しくないと思われました。

[A-5]

Alors, les jours lui paraurent longs et ennuyeux, l'herbe de la prairie lui semblait moins bonne.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」, 「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」

Alors, アール adv. それで 「副詞」

les jours レ・ジュール pl.n.m 毎日が 「主語」

lui リュイ pron 山羊にとって 「間接目的語」

paraurent パリユール 3 複過(paraître)v.i 〜のように見えた 「動詞」

longs et ennuyeux, ロン・エ・オンニユエ adj. 長くて退屈な 「補語」

l'herbe de la prairie レルブ・ドゥ・ラ・プレーリー n.f 草原の草は 「主語」

lui リュイ pron 山羊にとって 「間接目的語」

semblait サンブレ 3 単半(sembler)v.i 〜に思われた 「動詞」

moins bonne. ムワソン・ボンヌ adj.f 前ほど旨くない 「補語」

山羊は少しづつ痩せていき、ミルクはほんのわずかしかなかった。[A-5]

Comme elle maigrissait petit à petit, son lait devint rare.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「補語」

Comme コム conj. ～なので

「副詞節」

elle エル pron 山羊は

「主語」

maigrissait メグリス 3 単半・進行形(maigrir)v.i 痩せていった

「動詞」

petit à petit, プティ・タ・アプティ adv. 少しづつ

「副詞句」

son lait ソン・レ n.m ミルクは

「主語」

devint トゥヴァン 3 単過(devenir)v.i ～になった

「動詞」

rare. ラール adj. 少ない

「補語」

ヤギが山のほうへ頭を上げて、ため息に似た小さな鳴き声を漏らすのを、彼はしばしば目にしていた。[A-5]

On la voyait souvent lever la tête vers la montagne et laisser échapper un léger cri qui ressemblait à un soupir.

「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞」 「補語」 et 「補語」

On オン pron 彼は

「主語」

la ラ pron ヤギが

「目的語」

voyait ヴォワイ 3 単半・知覚(voir)v.t (VO+不定詞) O が～するのを見ていた

「動詞」

souvent スヴアン adv. しばしば

「副詞」

lever ルヴェ 不定詞 v.t 持ち上げる、上げる

「補語」

la tête ラ・テット n.f 頭を

「目的語」

vers la montagne ヴェール・ラ・モンターニュ adv. 山のほうへ

「副詞句」

et エ conj. そして

laisser échapper レッセ・エシャペ 不定詞・放任 v.t (思わず) 漏らす

「補語」

un léger cri アン・レジェ・クリ n.m 小さな鳴き声を

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

ressemblait ルンブレ 3 単半・時制の一致(ressembler)

v.i (à に) 似ている

「動詞」

à un soupir. ア・ウン・スピール adv. ため息に

「間接目的語」

スガンさんは、ヤギの体調が悪い事に気付きましたが、正確な理由は知りませんでした。

[A-5]

M.Seguin avait remarqué que sa chèvre n'allait pas bien, mais il ne savait pas exactement la raison.

「主語」 「動詞句」 「目的語」, mais 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「目的語」

M.Seguin ムッシュ・スカン n.m スガンさんは

「主語」

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| avait remarqué アヴァ・エ・マルケ 3 単半・完了形(remarquer)v.t | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| sa chèvre サ・シェヴル n.f 彼のヤギは | 「主語」 |
| n'allait pas ナ・パ° 3 単半・否定・時制の一致(aller) | |
| v.i (健康状態が) ～でない | 「動詞句」 |
| bien, ビヤン adv. よい | 「補語」 |
| mais メ conj. しかし | |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| ne savait pas ノ・サヴァ・パ° 3 単半・否定(savoir)v.t 知らなかった | 「動詞句」 |
| exactement エグザクトゥモン adv. 正確に | 「副詞」 |
| la raison. ラ・レゾン n.f その理由を | 「目的語」 |

乳しぼりの後で、ヤギが主人に向かって次のように言うまでは：[A-5]

| | |
|--|---------|
| <u>Jusqu'au jour où la chèvre s'adressa à son maître finissant de la traire:</u> | 「副詞句」 |
| Jusqu'au jour シュスコ・ジュール adv. その日まで | 「副詞句」 |
| où ウ adv. ～する | 「形容詞節」 |
| la chèvre ラ・シェヴル n.f ヤギが | 「主語」 |
| s'adressa サドレッサ 3 単過(s'adresser)v.pr (à に) 話しかけた | 「動詞句」 |
| à son maître ア・ソン・メートル adv. 飼い主に、主人に | 「間接目的語」 |
| finissant フィニソ adj. 終わりに | 「副詞句」 |
| de la traire: ド・カ・ラ・トレール adj. 乳しぼりの | 「形容詞句」 |

「旦那様、ここにいるのが退屈です。私を山に行かせてください」[A-5]

《Monsieur, je m'ennuie ici. Laissez-moi partir dans la montagne.》

《「呼びかけ」「主語」「動詞句」「副詞」 | 「動詞」「目的語」「補語」》

| | |
|--|--------|
| 《Monsieur, ムッシュ adv. 旦那様 | 「呼びかけ」 |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| m'ennuie モンニュイ 1 単現(s'ennuyer)v.pr 退屈した | 「動詞句」 |
| ici. イィ adv. ここに | 「副詞」 |
| Laissez レッセ 命・2 複現・放任(laisser)v.t ～させてください | 「動詞」 |
| moi ムワ pron 私を | 「目的語」 |
| partir パルティール 不定詞 v.i 行く | 「補語」 |
| dans la montagne. トン・ラ・モンターニュ adv. 山の中へ | 「副詞句」 |

「だが、山にはオオカミがいるのを知っているだろう？見つかったら、どうするんだい？」

[A-5]

--- Mais tu sais bien que dans la montagne il y a le loup! Que feras-tu s'il te trouve?

《Mais 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 | 「目的語」「動詞」「主語」「副詞節」》

--- Mais メ conj. しかし

tu チュ pron お前は 「主語」

sais セ 2 単現(savoir)v.t 知っている 「動詞」

bien ビヤン adv. よく 「副詞」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

dans la montagne ドン・ラ・モンターニュ adv. 山の中には 「副詞」

il y a イ・リ・ヤ 3 単現(il y avoir)v.t ～がいる 「動詞句」

le loup! ル・ルー n.m オオカミが 「目的語」

Que ク pron 何を 「目的語」

feras フラ 2 単未・意思(faire)v.t するつもりだ 「動詞」

tu チュ pron お前は 「主語」

s' シ conj. もし～すると 「副詞節」

il イル pron オオカミが 「主語」

te トゥ pron お前を 「目的語」

trouve? トゥルーヴ 3 単現(trouver)v.t 見つける 「動詞」

「困った子だね！オオカミはお前の角なんか恐れやしないんだよ。お前よりずっと立派な角がある山羊たちだって、みんな食われてしまったんだから」 [A-5]

--- Malheureuse! Le loup n'aura pas peur de tes cornes. Des chèvre autrement encornées que toi ont toutes été mangées.

《「呼びかけ」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」》

--- Malheureuse! マルルーズ n.f(Malheureux) 困った子だね！ 「呼びかけ」

Malheureux(se) マルル(ズ) n.m, n.f 困った人、不幸な人

Le loup ル・ルー n.m オオカミは 「主語」

n'aura pas ノー・ラ・パ 3 単未・推測・否定(avoir)v.t 持たないだろう 「動詞句」

peur ペール n.f(de に対して) 恐怖、恐れ 「目的語」

de tes cornes. トゥ・テ・コルヌ adv. お前の角に対して 「副詞句」

Des chèvre テ・シェヴァル pl.n.f 山羊たちは 「主語」

autrement encornées que toi オートルモン・オンコルネ・ク・トゥワ

過去分詞(encorner)adj.f.pl お前よりずっと立派な角がある 「形容詞句」

ont toutes été mangées. オン・トゥット・エテ・モンジェ 3 複現・完了形・受動.f.pl(manger+toutes)

v.t みんな食われた 「動詞句」

「私の山羊の中で一番強かったあのルノード婆さんさえも、オオカミと一晩中戦ったけれども、朝には食われてしまったんだ。」 [A-5]

Même la vieille Renaude, la plus forte de mes chèvres, s'était battue toute la nuit avec le loup... mais au matin il l'a dévorée.

《「主語」「動詞句」「副詞句」 mais 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」》

Même la vieille Renaude, メーム・ラ・ヴイエユ・ルノード adv. ルノード婆さんさえも 「主語」

vieille ヴイエユ adj.f(vieux) 年とった

la plus forte ラ・プ リュ・フォル adj. 一番強い 「形容詞句」

de mes chèvres, トゥ・メ・シェヴル adj. 私の山羊の中で 「形容詞句」

s'était battue セ・バチュ 3 単半・完了形(se battre)v.pr 戦った 「動詞句」

toute la nuit トゥット・ラ・ニユイ adv. 一晩中 「副詞句」

avec le loup... アヴ・ェッキ・ル・ルー adv. オオカミと 「副詞句」

mais メ conj. しかし

au matin オ・マタン adv. 朝には 「副詞句」

il イル pron オオカミは 「主語」

l' ラ pron 山羊を 「目的語」

a dévorée. ア・デヴオル 3 単現・完了形(dévorer)v.t 食い食った 「動詞句」

「なんだって？こいつも、狼に食われたいとは！いや、お前にそんな危険は冒させない！」

[A-5]

--- Ça alors, encore une chèvre qui veut se faire manger par le coup! Non, il n'est pas question que je te laisse courir ce danger.

《「感嘆」, 「主語」 | 「副詞」, 「動詞」「補語」「主語」》

--- Ça alors, サ・アロー adv. なんだって？ 「感嘆」

encore une chèvre オンコール・ユンス・シェヴル n.f またこのヤギが 「主語」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

veut +不定詞 ヴ 3 単現・願望(vouloir+不定詞)

v.t ~することを望む 「動詞句」

se faire +不定詞 ス・フェール 不定詞 v.t 自分を~させる 「動詞句」

manger モンジュ 不定詞 v.t 食う 「動詞句」

par le coup! パール・ル・クー adv. 狼に 「副詞句」

Non, ノン adv. いや 「副詞」

il イル pron 仮の主語 (真の主語は que je 以降)

n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ~でない 「動詞」

question ケスチョン n.f 問題 「補語」

文の構成要素

| | |
|-------------------------------------|-------|
| que ク conj. ～ということは | 「主語」 |
| je ジュ pron 私が | 「主語」 |
| te トゥ pron お前に | 「目的語」 |
| laisse レッス 1 単現・使役(laisser)v.t ～させる | 「動詞」 |
| courir クール 不定詞 v.t (危険を) 冒す | 「補語」 |
| ce danger. ス・ト・ンジェ n.m そんな危険を | 「目的語」 |

「それでは、お前が逃げ出さないように、家畜小屋に閉じ込めておくことにしよう」[A-5]

Et pour que tu ne t'échappes, je t'enfermerai dans l'étable. 》

《Et 「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」》

Et エ conj. そして

| | |
|--|-------|
| pour que プール・ク adv. ～するために | 「副詞節」 |
| tu チュ pron お前が | 「主語」 |
| ne t'échappes, ス・テシャップ° 2 単現・否定(s'échapper)v.pr 逃げない | 「動詞句」 |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| t' トゥ pron お前を | 「目的語」 |
| enfermerai オンフェルムレ 1 単未・意思(enfermer)v.t 閉じ込めておく | 「動詞」 |
| dans l'étable. 》 トン・エターブル adv. 家畜小屋に | 「副詞句」 |

こうしてスガンさんはヤギを家畜小屋に連れていき、厳重にドアを閉めました。[A-5]

Ainsi, M.Seguin emporta sa chèvre à l'étable et ferma la porte à double tour.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「動詞」「目的語」「副詞句」

| | |
|--|-------|
| Ainsi, オンシ adv. こうして | 「副詞」 |
| M.Seguin ムッシュ・スカン n.m スガンさんは | 「主語」 |
| emporta オンポルタ 3 単過(emporter)v.t を連れて行った | 「動詞」 |
| sa chèvre サ・シェヴァル n.f ヤギを | 「目的語」 |
| à l'étable ア・レターブル adv. 家畜小屋に | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| ferma フェルマ 3 単過(fermer)v.t 閉めた | 「動詞」 |
| la porte ラ・ポルト n.f ドアを | 「目的語」 |
| à double tour. ア・トゥヴァール・トゥール adv. 厳重に | 「副詞句」 |

「鍵を2度回して」から、「厳重に」となる

しかし彼は窓が開いたままだということを忘れていたので、ヤギはそこを通り抜けて、すぐに逃げていきました。[A-5]

Cependant, comme il avait oublié que la fenêtre était ouverte, elle passa à travers et s'enfuit aussitôt. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 et 「動詞句」 「副詞」

Cependant, スポントソ conj. しかしながら

comme コム conj. ～なので

「副詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

avait oublié アヴァンブリエ 3 単半・完了形(oublier)v.t 忘れていた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

la fenêtre ラ・フェートル n.f 窓が

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

ouverte, ウヴェルト adj.f 開いた

「補語」

elle エル pron ヤギは

「主語」

passa パッサ 3 単過(passer)v.i 通って行った

「動詞」

à travers ア・トラヴァール adv. (窓を) 通り抜けて

「副詞句」

et エ conj. そして

s'enfuit ソンフイ 3 単過(s'enfuir)v.pr 逃げて行った

「動詞句」

aussitôt. オスト adv. すぐに

「副詞」

君は笑うかい、グランゴワール？実は、君はこのヤギにとっても似ているんだよ。だから、話の続きを聞きたまえ。君がどこまで笑って居られるか見届けてやろう。[A-5]

Tu rigoles, Gringoire? Figure-toi que tu ressembles beaucoup à cette pauvre chèvre. Écoute donc la suite de l'histoire, nous verrons si tu riras toujours.

「主語」 「動詞」 「呼びかけ」 | 「動詞句」 「目的語」

「動詞」 「副詞」 「目的語」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

Tu チュ pron 君は

「主語」

rigoles, リゴル 2 単現・疑問文(rigoler)v.i 笑うかい？

「動詞」

Gringoire? グランゴワール n.m グランゴワール

「呼びかけ」

Figure-toi フィギュール・トゥリ 命・2 単現(figurer)

v.t(que ～ということを)想像しなさい

「動詞句」

figure-toi que... 「～を想像しなさい、実は～なんですよ」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

tu チュ pron 君は

「主語」

ressembles ルソブル 2 単現(ressembler)v.i 似ている

「動詞」

beaucoup ボク adv. とても

「副詞」

à cette pauvre chèvre. ア・セット・ポーヴール・シェヴール adv. このヤギに

「間接目的語」

文の構成要素

| | | |
|-------------------------------|------------|--------|
| Écoute エクト 命・2 単現(écouter)v.t | 聞きなさい | 「動詞」 |
| donc トン adv. | だから | 「副詞」 |
| la suite ラ・シュイト n.f | 続きを | 「目的語」 |
| de l'histoire, トゥ・リストワール adj. | 話の | 「形容詞句」 |
| nous ヌ pron | 私たちは | 「主語」 |
| verrons ヴェロン 1 複末(voir)v.t | 分かるだろう | 「動詞」 |
| si シ conj. | 〜かどうかということ | 「目的語」 |
| tu チュ pron | 君が | 「主語」 |
| riras リラ 2 単末(rire)v.i | 笑っている | 「動詞」 |
| toujours. トゥージュール adv. | いつまでも | 「副詞」 |

ロープや杭から解放されて、若いヤギは山のほうへ駆け出していきました。[A-5]

Libérée de sa corde et de son pieu, la jeune chèvre s'élança en joie vers la montagne.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

| | | | |
|-----------------------------------|-------------------------|----------|-------|
| Libérée リベレ | 過去分詞・受動・理由(libérer)adj. | 〜から解放されて | 「副詞句」 |
| de sa corde トゥ・サ・コルト | adv. | ロープから | 「副詞句」 |
| et エ conj. | そして | | |
| de son pieu, トゥ・ソン・ピュ | adv. | 杭から | 「副詞句」 |
| la jeune chèvre ラ・ジュンヌ・シェヴール n.f | 若いヤギは | | 「主語」 |
| s'élança セランサ 3 単過(s'élancer)v.pr | 駆け出した | | 「動詞句」 |
| en joie オン・ジュワ | adv. | 喜んで | 「副詞句」 |
| vers la montagne. ヴェール・ラ・モンターニュ | adv. | 山のほうへ | 「副詞句」 |

山の上では、ヤギの目に入るすべてのものが新鮮でいままでいた場所とは全く違って見えました。まさに楽園です！[A-5]

Là-haut, tout ce qui s'offrait à ses yeux lui parut nouveau et tellement différent de l'endroit d'où elle venait. Unparadis!

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「補語」 | 「補語」

| | | | |
|--|-----------|----------|---------|
| Là-haut, ラ・オ | n.m | 高いところは | 「副詞句」 |
| tout ce トゥ・ス | pron | すべてのものが | 「主語」 |
| qui キ | pron (主語) | 〜する | 「形容詞節」 |
| s'offrait ソフレ 3 単半・時制の一致(s'offrir)v.pr | | 見える | 「動詞句」 |
| à ses yeux ア・セ・ジュ | adv. | ヤギの目に | 「副詞句」 |
| lui リュイ | pron | 彼女に | 「間接目的語」 |
| parut パリュ 3 単過(paraître)v.i | | 〜のように見えた | 「動詞」 |
| nouveau ヌヴォ | adj. | 新しい | 「補語」 |

文の構成要素

et エ conj. そして

tellement différent テルモン・ツティフェロン adj. 全く異なる 「補語」

de l'endroit トゥ・ロントルわ adv. 場所とは 「副詞句」

d'où elle venait. トゥ・エル・ウネ adj. 彼女が来た 「形容詞節」

Un paradis! アン・パ ラディ n.m 楽園 「補語」

木々は木の葉でヤギをやさしく撫でてくれたし、新鮮な草は牧場の草よりずっと美味しいし、様々な野花があちらこちらに咲いていた... これほどの自由を味わったのは全く初めてだったので、ヤギは大満足でした。[A-5]

Les arbres la caressaient de leur feuillage, l'herbe fraîche était bien meilleure que celle du pré, des variétés de fleurs sauvages fleurissaient ici et là... La chèvre se sentait comblée, car c'était bien la première fois qu'elle pouvait goûter à une telle liberté.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「補語」「副詞節」

Les arbres レ・サルブル pl.n.m 木々は 「主語」

la ラ pron.f ヤギを 「目的語」

caressaient カセ 3 複半(caresser)v.t (やさしく) 撫でた 「動詞」

de leur feuillage, トゥ・レル・フイーージュ adv. (手段) 木の葉で 「副詞句」

l'herbe fraîche レルブ・フレッシュ n.f 新鮮な草は 「主語」

herbe エルブ n.f 草、牧草 fraîche フレッシュ adj.f(frais) 新鮮な、涼しい

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

bien meilleure ビヤン・メイェール adj. とても美味しい 「補語」

que celle du pré, ク・セル・ジュ・プレ adv. 牧場のものよりも 「副詞句」

des variétés de fleurs sauvages テ・ウアリエテ・トゥ・フレール・ソウアーージュ

pl.n.f 様々な野花が 「主語」

variété ウアリエテ n.f 多様 sauvage ソウアーージュ adj. 野生の

fleurissaient フルセ 3 複半(fleurir)v.i 花が咲いていた 「動詞」

ici et là... イ・エ・ラ adv. あちらこちらに 「副詞句」

La chèvre ラ・シェーヴル n.f ヤギは 「主語」

se sentait ス・ソテ 3 単半(se sentir)v.pr 自分を~だと感じた 「動詞句」

comblée, コンブレ adj. すっかり満足した 「補語」

car カル conj. なぜなら~なので 「副詞節」

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は qu'elle 以降)

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

bien la première fois ビヤン・ラ・プルミエール・フワ n.f 全く初めて 「補語」

qu' ク conj. ~ということは 「主語」

文の構成要素

elle エル pron ヤギは 「主語」
 pouvait goûter プウヰェ・グテ 3 単半・可能(pouvoir+不定詞)
 v.t 味わうことができた 「動詞句」
 à une telle liberté. ア・ユヌ・テル・リヴェルテ n.f これほどの自由を 「目的語」

すっかり喜んだヤギは、森の中を飛び跳ねて、あおむけに寝転がったり丘の上を転げまわって楽しんだ。[A-5]

Toute contente, elle gambadait dans la forêt, se vautrait les pattes en l'air, et s'amusait à se rouler dans les collines.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「副詞句」

Toute contente, トゥット・コントント adj.f (状態) すっかり喜んで 「副詞句」

または「形容詞句」として主語 elle と結合して、「すっかり喜んだヤギは」

elle エル pron ヤギは 「主語」
 gambadait ギンバデ 3 単半(gambader)v.i (陽気に) 飛び跳ねた 「動詞」
dans la forêt, ドン・ラ・フォレ adv. 森の中を 「副詞句」
 se vautrait ス・ヴォトレ 3 単半(se vautrer)v.pr 寝転がった 「動詞句」
les pattes レ・パット pl.n.f (状態) 脚を～にして 「副詞句」
 en l'air, オン・レール adv. 上にあげて 「副詞句」
 et エ

s'amusait à se rouler サミゼ・ア・スール 3 単半・遊戯(s'amuser à+不定詞)

v.pr 転げまわって楽しんだ 「動詞句」

s'amuser à+不定詞 「～して楽しむ」 se rouler スール v.pr 転げまわる

dans les collines, ドン・レ・コリーヌ adv. 丘の上を 「副詞句」

なんという幸せ！ヤギはとても嬉しくなり、茂みや峰やくぼ地を通して飛び跳ねました。
 [A-5]

Quel bonheur! Elle était tellement contente qu'elle sautillait à travers les buissons, les pics et les ravins. 「感嘆」 | 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「副詞句」

Quel bonheur! ケル・ボネール adv. なんという幸せ！ 「感嘆」

Elle エル pron ヤギは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

tellement contente テルモン・コントント adj.f とてもうれしい 「補語」

qu' ク adv.(tellement...que) (結果) それで～する

elle エル pron ヤギは 「主語」

sautillait シェ 3 単半(sautiller)v.i 飛び跳ねた 「動詞」

à travers ア・トラヴァール prep ～を通り抜けて 「副詞句」

文の構成要素

| | | |
|------------------------------|-----------|-------|
| les buissons, レ・ビュイソン pl.n.m | 茂みを | 「目的語」 |
| les pics レ・ピク pl.n.m | 峰を | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| les ravins. レ・ラヴァン pl.n.m | くぼ地を、峡谷、沢 | 「目的語」 |

上へ、下へ、右へ、そして左へ。ピョン・ピョン・ピョン... 山の中に、スガンさんのヤギが 10 頭もいると思われたかもしれません。[A-5]

En haut, en bas, à droite puis à gauche. Hop! Hop! Hop!... On aurait pensé qu'il y avait dix chèvres de M. Seguin dans la montagne.

「副詞句」 | 「擬音」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

| | | |
|------------------------------------|---------------------------|--------|
| En haut, オン・オ adv. | 上へ | 「副詞句」 |
| en bas, オン・バー adv. | 下へ | 「副詞句」 |
| à droite ア・ド・ワット adv. | 右へ | 「副詞句」 |
| puis ピュイ adv. | そして | 「副詞」 |
| à gauche. ア・ゴ・シェ adv. | 左へ | 「副詞句」 |
| Hop! Hop! Hop!... オップ・オップ・オップ int. | ピョン・ピョン・ピョン | 「擬音」 |
| On オン pron | 人は | 「主語」 |
| aurait pensé オーレ・ボンセ | 条・3 単現・完了形・推量(penser) | |
| v.t(que ～と) | 思ったかもしれない | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| il y avait イ・リ・アヴェ | 3 単半・時制の一致(il y avoir)v.t | 「動詞句」 |
| dix chèvres ティ・シェ・ヴァル pl.n.f | 10 頭のヤギが | 「目的語」 |
| de M. Seguin トゥ・ムッシュ・スカン adj. | スガンさんの | 「形容詞句」 |
| dans la montagne. トン・ラ・モンターニュ adv. | 山の中に | 「副詞句」 |

ヤギは湧き水で涼み、平らな岩の上で横になって、見事な毛並みを日に当てて乾かした。[A-5]

Au torrent, elle se rafraîchit avec l'eau de la source, et en s'allongeant sur une roche plate, fit sécher sa magnifique fourrure blanche au soleil.

「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」et 「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」

| | | |
|-----------------------------|-------------------------|--------|
| Au torrent, オ・トロン adv. | (場所) 急流で | 「副詞句」 |
| elle エル pron.f | ヤギは | 「主語」 |
| se rafraîchit ス・ラフレシ | 3 単過(se rafraîchir)v.pr | 「動詞句」 |
| avec l'eau アヴェ・エキ・ロ adv. | (手段) 水で | 「副詞句」 |
| de la source, トゥ・ラ・スルス adj. | 水源の、泉の | 「形容詞句」 |
| eau de source | (泉の) 湧き水 | |

文の構成要素

et エ conj. そして

en s'allongeant オン・サロヅヨン ジェロンディフ(s'allonger)v.pr 寝そべって 「副詞句」

sur une roche plate, シュール・コンヌ・ロッシュ・プラット adv. 平らな岩の上で 「副詞句」

fit sécher フィ・セッシェ 3 単過・使役(faire+不定詞)v.t ~を乾かした 「動詞句」

sa magnifique fourrure blanche サ・マニフィキ・フーリュール・ブロンシュ

n.f 見事な白い毛並みを 「目的語」

au soleil. オ・ソレイ adv. 日に当てて 「副詞句」

その日、後になって、エニシダの花をくわえながら高原を歩いていると、ずっと遠くの下のほうに、スガンさんの家と囲いが目に入りました。[A-5]

Plus tard dans la journée, s'avancant sur un plateau avec une fleur de cytise aux dents, elle aperçut en bas, au loin, la maison de M. Seguin et son enclos.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Plus tard プリュ・タール adv. 後になって 「副詞句」

dans la journée, ドン・ラ・ジユルネ adv. その日のうちに 「副詞句」

s'avancant サヴ・オンソ 現在分詞(s'avancer)v.pr (時間) 歩いている時に 「副詞句」

sur un plateau シュール・アン・プラトー adv. 高原を 「副詞句」

avec une fleur de cytise アヴ・エッキ・コンヌ・フレール・トウ・シチース

adv. エニシダの花を持って 「副詞句」

aux dents, オ・ドン adv. (手段) 歯で 「副詞句」

elle エル pron ヤギは 「主語」

aperçut アペルシュ 3 単過(apercevoir)v.t 見た、目に入った 「動詞」

en bas, オン・バー adv. 下のほうに 「副詞句」

au loin, オ・ルソ adv. 遠くに 「副詞句」

la maison de M. Seguin ラ・メゾン・トウ・ムッシェ・スカン n.f スガンさんの家 「目的語」

et エ conj. そして

son enclos. ソン・オンクロ n.m 囲い 「目的語」

「なんてちっぽけなの！」ヤギは大笑いして言いました。「あんなところでどうやって暮らしていたのか不思議なくらいだわ」[A-5]

《Que c'est petit! dit-elle en éclatant de rire. Je me demande comment j'ai pu vivre là-dedans.》

《「感嘆」「主語」「動詞」「補語」

「動詞」「主語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」》

《Que ク int. なんて 「感嘆」

c' ス pron それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| petit! フティ adj. 小さい | 「補語」 |
| dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| elle エル pron ヤギは | 「主語」 |
| en éclatant de rire. オン・エクラトン・ドゥ・リール ジェロンディフ(<i>éclater de rire</i>) | |
| adv. 大笑いしながら | 「副詞句」 |
| <i>éclater de rire</i> 大笑いする、どっと笑う、吹き出す | |
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| me demande ム・ドゥ・マンドゥ 1 単現(<i>se demander</i>)v.pr 不思議に思う、自問する | 「動詞句」 |
| comment コモン adv. どのように〜するかということを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 私は | 「主語」 |
| ai pu vivre エ・ピュ・ヴィーヴル 1 単現・完了形・可能(<i>pouvoir</i> +不定詞) | |
| v.i 暮らすことができた | 「動詞句」 |
| là-dedans.》ラ・ドゥ・ダンス adv. あんなところで | 「副詞句」 |

ヤギは今自分が大きくなってしかも自由になった気がしました：何も恐れるものはありません。[A-5]

| | |
|---|---------|
| <u>La chèvre se sentait maintenant grande et libre: elle n'avait plus peur de rien.</u> | |
| 「主語」「動詞句」「副詞」「補語」：「主語」「動詞句」「間接目的語」 | |
| La chèvre ル・シェーヴル n.f ヤギは | 「主語」 |
| se sentait ス・ソント 3 単半(<i>se sentir</i>)v.pr 自分が〜だと感じた | 「動詞句」 |
| maintenant マントナン adv. 今 | 「副詞」 |
| grande et libre: グロントゥ・エ・リーブル adj. 大きくて自由な | 「補語」 |
| elle エル pron ヤギは | 「主語」 |
| n'avait plus peur ナヴ・エ・プ・リュール 3 単半・否定(<i>voir</i>)v.t もう恐れなかった | 「動詞句」 |
| de rien. ドゥ・リヤン adv. 何も | 「間接目的語」 |
| avoir peur de+名詞「〜を恐れる」 avoir peur de+不定詞「〜することを恐れる」 | |

ある時ヤギは、偶然に、山葡萄を食べているカモシカの群れに出会いました。[A-5]

| | |
|--|--------|
| <u>Une fois, elle rencontra par hasard un troupeau de chamois en train de manger des raisins sauvages.</u> | |
| 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」 | |
| Une fois, ユンス・フワ adv. ある時 | 「副詞句」 |
| elle エル pron ヤギは | 「主語」 |
| rencontra ロンコントラ 3 単過(<i>rencontrer</i>)v.t 出会った | 「動詞」 |
| par hasard パール・アザール adv. たまたま、偶然 | 「副詞句」 |
| un troupeau アン・トルポール n.m 群れに | 「目的語」 |
| de chamois トゥ・シャムワ adj. カモシカの | 「形容詞句」 |

文の構成要素

en train de manger オン・トラン・トゥ・モンジェ

adj. 食べている最中の

「形容詞句」

des raisins sauvages. デ・レザン・ソウヴァージュ

pl.n.m 山ぶどうを

「目的語」

カモシカの雄たちは若くて白いヤギをお姫様のように迎えました。[A-5]

Les messieurs chamois accueillirent la jeune chèvre blanche comme une princesse.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Les messieurs chamois レ・メッシュュー・シャムわ pl.n.m カモシカの雄たちは

「主語」

accueillirent アクイール 3 複過(accueillir)v.t 迎えた

「動詞」

la jeune chèvre blanche ラ・ジュヌ・シェヴル・ブロンシュ n.f 若くて白いヤギを

「目的語」

comme une princesse. コム・ユヌ・プランス adv. お姫様のように

「副詞句」

彼らは皆とても親切で、おいしい果物を一緒に味わうためにヤギを最高の場所へ連れて行きました。[A-5]

Tout très galants, ils l'amenèrent à la meilleure place pour goûter ensemble au délicieux fruit.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞節」

Tout très galants, トゥ・トレ・ギャン adj.pl (状況) 皆とても親切な

「形容詞句」

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

l' ラ pron ヤギを

「目的語」

amenèrent アムネール 3 複過(amener)v.t 連れて行った

「動詞」

à la meilleure place ア・ラ・メイェール・プラス adv. 最高の場所へ

「副詞句」

pour goûter プール・グテ adv. (目的) 味わうために

「副詞句」

goûter à+名詞 「～を味わう」

ensemble オンソンプル adv. 一緒に

「副詞」

au délicieux fruit. オ・デリシウ・フリュイ adv. おいしい果物を

「間接目的語」

ブランケットは、雄たちの中で若くて黒いカモシカに惹き付けられていました。[A-5]

Parmi les messieurs, Blanquette fut attirée par un jeune chamois noir.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Parmi パルミ prep ～の中で

「副詞句」

les messieurs, レ・メッシュュー

pl.n.m (les messieurs chamois の省略) カモシカの雄たち

「目的語」

Blanquette ブランケット n.f (スガンさんのヤギの名前) ブランケットは

「主語」

fut attirée フュ・アトレ 3 単過・受動.f(attirer)v.t 引き付けられていた

「動詞句」

par un jeune chamois noir. パール・アン・ジュヌ・シャムわ・ル・ヌわ・ル

adv. 若くて黒いカモシカに

「副詞句」

そこでこっそりと、2 頭だけでしばらく森の中に入っていました。[A-5]

Alors, discrètement, ils s'aventurèrent tous les deux dans le bois pendant un moment.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Alors, アー adv. それで

「副詞」

discrètement, ディスクレトマン adv. こっそりと

「副詞」

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

s'aventurèrent サヴオンチュレール 3 複過(s'aventurer)v.pr 思い切って～をした

「動詞句」

tous les deux トゥ・レ・ドゥ adv. 2 頭だけで

「副詞句」

dans le bois ドン・レ・ブー adv. 森の中へ

「副詞句」

pendant un moment. ポントン・アン・モマン adv. しばらくの間

「副詞句」

s'aventurer dans le bois 「思い切って森の中に入る、危険を冒して森に入る」

グランゴワール、彼らが何を話し合ったかを知りたいのなら、苔の中に潜んでいる、おしゃべりな湧き水に聞くがいいさ。[A-5]

Si tu veux savoir ce dont ils discutaient, Gringoire, demande donc aux sources bavardes qui se cachent dans la mousse.

「副詞節」, 「動詞」「副詞」「間接目的語」

Si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

tu チュ pron 君が

「主語」

veux savoir ヴー・サヴー わル 2 単現・願望(vouloir+不定詞)v.t 知りたい

「動詞句」

ce ス pron それを

「目的語」

dont ドン pron (目的語) ～する

「形容詞節」

ils イル pron.pl 彼らが

「主語」

discutaient, ディスクテ 3 複半(discuter)

v.t (何について) 話し合った

「動詞」

Gringoire, グランゴワール n. グランゴワール

「呼びかけ」

demande ドマント 命・2 単現(demander)v.t 聞きなさい

「動詞」

donc ドン adv. それならば

「副詞」

aux sources bavardes オ・スルス・バヴァルトゥ adv. お喋りな湧き水に

「間接目的語」

sources スルス pl.n.f(soource) 泉 bavardes バヴァルトゥ adj.f.pl(bavard) おしゃべりな

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

se cachent ス・カッシュ 3 複現(se cacher)v.pr 潜んでいる

「動詞句」

dans la mousse. ドン・ラムース adv. 苔の中に

「副詞句」

文の構成要素

徐々に風が冷たくなってきて、太陽が沈もうとしていました。[A-5]

Peu à peu, le vent se rafraîchit, le soleil se préparait à se coucher.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」, 「主語」 「動詞句」

Peu à peu, プ・ア・プ adv. 少しずつ、徐々に

「副詞句」

le vent ル・ヴァン n.m 風は

「主語」

se rafraîchit, ス・ラフレシ 3 単過(se rafraîchir)v.pr 冷たくなった

「動詞句」

le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽は

「主語」

se préparait à +不定詞 ス・プレパレ・ア 3 単半・準備(se préparer à+不定詞)

v.pr ~しようとしていた

「動詞句」

se coucher. ス・クシェ 不定詞 v.pr (日が) 沈む

「動詞句」

「おや、もう？」と、ヤギは驚きました。一日中遊んでいたのに、時間が過ぎたことに気が付かなかったのです。[A-5]

《Déjà?》 s'étonna la chèvre, car en s'amusant toute la journée, elle n'avait pas vu le temps passer.

《「感嘆」》「動詞句」 「主語」, 「副詞節」

《Déjà?》 デジャ adv. もう?

「感嘆」

s'étonna セナ 3 単過(s'étonner)v.pr 驚いた

「動詞句」

la chèvre, ラ・シェーヴル n.f ヤギは

「主語」

car カル conj. ~なので

「副詞節」

en s'amusant オン・サミュザン ジェロンディフ(s'amuser)

adv. (原因・理由) 遊んでいたのに

「副詞句」

toute la journée, トゥット・ラ・ジュール adv. 一日中

「副詞句」

elle エル pron.f ヤギは

「主語」

n'avait pas vu ナヴェ・パ・ヴ 3 単半・完了形・知覚動詞・否定(voir)

v.t(SVO+不定詞) (O が~するのを) 気がつかなかった

「動詞句」

le temps ル・トン n.m 時間

「目的語」

passer. パセ 不定詞・目的語の動作 v.t (時間が) 過ぎる

「補語」

ヤギが再び視線を谷の方へ下げると、霧の中にほとんど隠れた、スガンさんの小さい家が見えました。[A-5]

Quand elle baissa de nouveau son regard vers la vallée, elle remarqua la petite maison de M. Seguin, presque cachée dans le brouillard.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

Quand コン conj. ~するとき、~すると

「副詞節」

elle エル pron ヤギが

「主語」

baissa ベッサ 3 単過(baisser)v.t 下げた

「動詞」

de nouveau トゥ・ヌヴォ adv. もう一度、再び

「副詞句」

文の構成要素

| | | | |
|--------------------------------|-------------------------|--------------------------|----------|
| son regard | ソ・ルギヤール n.m | 視線を | 「目的語」 |
| vers la vallée, | ヴァール・ラ・ヴァレ adv. | 谷の方へ | 「副詞句」 |
| elle | エル pron | ヤギは | 「主語」 |
| remarqua | ルマルカ 3 単過(remarquer)v.t | 気づいた、見えた | 「動詞」 |
| la petite maison de M. Seguin, | ラ・プティット・メゾン・ドゥ・ムッシュ・サガン | | |
| | n.f | サガンさんの小さい家 | 「目的語」 |
| presque cachée | プレスキ・カシェ adj. | ほとんど隠れた | 「形容詞句」 |
| | cachée | カシェ 過去分詞・受動(cacher)adj.f | 隠れた、隠された |
| dans le brouillard. | ドン・ルブルイール adv. | 霧の中に | 「副詞句」 |

夜が近づくにつれて、不気味な雰囲気になってきました。[A-5]

À l'approche de la nuit, l'atmosphère devenait inquiétante.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」

| | | | |
|---------------------|------------------------|-------------|--------|
| <u>À l'approche</u> | ア・ラプ ロッシュ adv. | 接近に従って | 「副詞句」 |
| de la nuit, | ドゥ・ラ・ニュイ adj. | 夜の | 「形容詞句」 |
| l'atmosphère | ラトモスフェール n.f | 空気は、雰囲気は | 「主語」 |
| devenait | ドゥヴァネ 3 単半(devenir)v.i | ～になった | 「動詞」 |
| inquiétante. | アンキェントゥ adj.f | 不安にさせる、不気味な | 「補語」 |

「うおう、うおう」と、森の中に遠吠えが鳴り響きました。あれはオオカミの鳴き声... オオカミだわ！ヤギはそのことをすっかり忘れていました。[A-5]

《Hou! Hou!...》 un hurlement retentit dans la montagne: un cri de loup... Le loup! Elle l'avait complètement oublié.

| | | |
|----------------------------|-------------------------------------|----------------|
| 《「鳴き声」》 | 「主語」「動詞」「副詞句」: 「補語」... 「補語」 | 「主語」「目的語」「動詞句」 |
| 《Hou! Hou!...》 | ウー・ウー int. (オオカミの鳴き声) うおう、うおう | 「鳴き声」 |
| un hurlement | アン・ユルモン n.m (動物の) 遠吠えが | 「主語」 |
| retentit | ルトンティ 3 単過(retentir)v.i 鳴り響いた | 「動詞」 |
| dans la montagne: | ダン・ラ・モンターニュ adv. 森の中に | 「副詞句」 |
| un cri de loup... | アン・クリ・トゥール n.m オオカミの鳴き声 | 「補語」 |
| Le loup! | ル・ルー n.m オオカミ! | 「補語」 |
| Elle | エル pron.f ヤギは | 「主語」 |
| l' | ル pron それを | 「目的語」 |
| avait complètement oublié. | アヴェ・コンプレットモン・ウブリエ 3 単半・完了形(oublier) | |
| v.t | 完全に忘れていた | 「動詞句」 |

「ブー」と、谷間で角笛が鳴りました。スガンさんが、最後に自分の子ヤギを呼んでいたのです。[A-5]

《Bouhou!...》 Au même moment, une trompe sonna dans la vallée. C'était M. Seguin qui appelait une dernière fois sa chevrete.

《「笛の音」》「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「補語」「主語」
 《Bouhou!...》ブー adv. ブー 「笛の音」
 Au même moment, オ・メム・モメン adv. 同時に 「副詞句」
 une trompe ヌ・トロンプ n.f 角笛が、らっぱが 「主語」
 sonna ヲ 3 単過(sonner)v.i 鳴った 「動詞」
 dans la vallée. トン・ラ・ヴァレ adv. 谷間で 「副詞句」
 C' ス pron 仮の主語 (真の主語は qui 以降)
 était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 M. Seguin ム・シュ・セガン n.m スガンさん 「補語」
 qui キ pron ~する人は 「主語」
 appelait アプレ 3 単半(appler)v.t 呼んでいた 「動詞」
 une dernière fois ヌヌ・デルニエール・フリ adv. 最後に 「副詞句」
 sa chevrete. サ・シュヴレット n.f 子ヤギを 「目的語」

ブランケットは戻りたいと思いましたが、ロープや囲いや昔の退屈な生活を思い出して、やっぱり山に残ることにしました。[A-5]

Blanquette eut envie de revenir, mais en se rappelant de la corde, de l'enclos, et de son ancienne vie ennuyeuse, elle décida finalement de rester.

「主語」「動詞句」 mais 「副詞句」「主語」「動詞句」
 Blanquette ブランケット n.f ブランケットは 「主語」
 eut envie de revenir, イ・オンヴァ・イー・ト・ウ・ルヴニール 3 単過・願望(avoir envie de+不定詞)
 v.i 戻りたいと思った 「動詞句」
 mais メ conj. しかし
 en se rappelant オ・ス・ラップルン ジェロンディフ(se rappeler)v.pr(de を)
 adv. (原因) 思い出して 「副詞句」
 de la corde, ト・ウ・ラ・コルト adv. ロープを 「間接目的語」
 de l'enclos, ト・ウ・ロンクロ adv. 囲いを 「間接目的語」
 et エ conj. そして
 de son ancienne vie ennuyeuse, ト・ソン・オンシエヌ・ウ・イー・オンニユエーズ
 adv. 昔の退屈な生活を 「間接目的語」
 elle エル pron.f ヤギは 「主語」
 décida finalement de rester. デシダ・ファイナルメン・ト・ウ・レステ 3 単過・決断(decider de+不定詞)

v.i 結局残ることに決めた

「動詞句」

それに代わって若いヤギは、すぐ近くの後ろの枝の間の暗闇の中から、何かが近づいてくるのが聞こえました。[A-5]

À la place, la jeune chèvre entendit quelque chose qui s'approchait tous près, derrière, dans l'ombre, entre les feuillages.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

À la place, ア・ラ・プラス adv. その代わりに

「副詞句」

la jeune chèvre ラ・ジュヌ・シェヴル n.f 若いヤギは

「主語」

entendit オンテンディ 3 単過(entendre)v.t 聞いた

「動詞」

quelque chose ケルク・ショーズ pron 何かを

「目的語」

qui キ pron (主語) ~する

「形容詞節」

s'approchait サプロシェ 3 単半(s'approcher)v.pr 近づいてきた

「動詞句」

tous près, トゥ・プレ adv. すぐ近くに

「副詞句」

derrière, デリエール adv. 後ろに

「副詞」

dans l'ombre, トン・ロンブル adv. 暗闇の中で

「副詞句」

entre les feuillages. オントル・レ・フィヤージュ adv. 枝の間で

「副詞句」

辺りはもう真っ暗になっていましたが、真っすぐ伸びた長い耳のある巨大な黒いシルエットや意地悪く光る 2 つの目が見えました。[A-5]

Bien qu'il fasse désormais tout noir, on pouvait reconnaître une énorme silhouette noire avec de longues oreilles redressées et deux yeux qui lui saient méchamment.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Bien qu'+接続法 conj. ~にもかかわらず、~ではあるが

「副詞節」

il イル pron (天候・明暗など)

fasse ファス 接・3 単現(faire)v.h (天候・明暗など) ~である

「動詞」

désormais デゾルメ adv. その時以来

「副詞句」

tout noir, トゥ・ヌワール adj. 真っ暗の

「補語」

on オン pron 人は

「主語」

pouvait reconnaître プウヴェ・ロネートル 3 単半・可能(pouvoir+不定詞)

v.t 見分けることができた

「動詞句」

une énorme silhouette noire エヌ・エノルム・シルエット・ヌワール n.f 巨大な黒いシルエットを「目的語」

avec de longues oreilles アヴェ・エッキ・トゥ・ロング・オレイユ adv. 長い耳の

「形容詞句」

redressées ルドレッセ adj.f.pl 真っすぐになった、真っすぐ伸びた「形容詞」

et エ conj. そして

deux yeux トゥ・ジユ pl.n.m 2 つの目を

「目的語」

qui キ pron (主語) ~する

「形容詞節」

文の構成要素

lui**saient** リュセ³ 3 複半(luire)v.i 輝く、光る 「動詞」
méchamment. メシャモン adv. 意地悪く 「副詞」

一晩中戦い続けて、朝には貪り食われてしまったルノード婆さんの話を思い出して、ブランケットはすぐに食べられてしまったほうがましだと思ったでしょう。[A-5]

En se rappelant l'histoire de la vieille Renaude qui se battit toute la nuit et qui se fit dévorer au matin, Blanquette aurait préféré se faire manger tout de suite.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

En se rappelant オン・ス・ラプ³ ん ジェロンディフ(se rappeler)adv. ～を思い出して 「副詞句」
l'histoire リストわ^ル n.f 話を 「目的語」

de la vieille Renaude ト³ ヲ・ラ・ウ³ イエイユ・ルノード

adj. ルノード婆さんの

「形容詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

se battit ス・バチ 3 単過(se battre)v.pr 戦った

「動詞句」

toute la nuit トゥット・ラ・ニユイ adv. 一晩中

「副詞句」

et エ conj. そして

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

se fit dévorer ス・フィ・テウ³ ヲレ 3 単過・使役(se faire+不定詞: ～される)

v.t 貪り食われた

「動詞句」

au matin, オ・マタン adv. 朝に

「副詞句」

Blanquette ブランケット n.f ブランケットは

「主語」

aurait préféré +不定詞 オ・レ・プ³ レフェレ 条・3 単現・完了形・推量(préférer+不定詞)

v. ～するほうがましだと思ったでしょう

「動詞句」

se faire manger ス・フェール・モンジ³ エ 不定詞・使役 v.pr 食べられる

「動詞句」

tout de suite. ト³ ヲ・ド³ ヲ・シュイト adv. すぐに

「副詞句」

そのほうが余り苦しまないで済むでしょう。しかし驚いたことに、彼女はオオカミをまっすぐ見つめて、頭を下げて角を前に出して、勇敢なヤギのように戦いに備えました。[A-5]

Elle souffrirait moins. Mais non, étonnamment, elle fixa tout droit le loup, baissa la tête pour mettre ses cornes en avant, et se prépara au combat comme une brave chèvre.

「主語」 「動詞句」 | Mais 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」,
「動詞」 「目的語」 「副詞句」 et 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

souffrirait moins. スフリ³ エムワン 条・3 単現・推量・否定(souffrir+moins)

v.i あまり苦しまないだろう (と思った)

「動詞句」

Mais メ conj. しかし

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| non , ノン adv. いいえ | 「副詞」 |
| étonnamment , エトナモン adv. 驚いたことに | 「副詞」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| fixa フィクサ 3 単過(fixer)v.t (相手を) 見つめた | 「動詞」 |
| tout droit トゥ・ド・クルワ adv. まっすぐに | 「副詞句」 |
| le loup, ル・ルー n.m オオカミを | 「目的語」 |
| baissa ベッサ 3 単過(baisser)v.t 下げた | 「動詞」 |
| la tête ラ・テット n.f 頭を | 「目的語」 |
| pour +不定詞 プール adv. (継続) そして～する | 「副詞句」 |
| mettre メットル 不定詞 v.t 置く、～に向ける | 「動詞」 |
| ses cornes セ・コルス pl.n.f 角を | 「目的語」 |
| en avant, オン・アヴァン adv. 前に | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| se prépara ス・プレパラ 3 単過(se préparer)v.pr 準備した | 「動詞句」 |
| au combat オ・コンバ adv. 戦いに | 「間接目的語」 |
| comme une brave chèvre . コム・ユヌ・ブラヴァ・シェブル adv. 勇敢なヤギのように | 「副詞句」 |

もちろん、自分の角でオオカミを倒せないことは分かっていましたが、たやすく食べられてしまうよりも、ルノード婆さんのように最後まで抵抗してみようと思ったのです。[A-5]

| | |
|---|--|
| <u>Bien sûr, elle savait que ses cornes ne pouvaient pas abattre un loup, mais au lieu de se laisser manger aisément, elle essaya de résister jusqu'à la fin, comme la vieille Renaude...</u> | 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」,mais「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Bien sûr , ビヤン・シュール adv. もちろん | 「副詞句」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| savait サヴェ 3 単半(savoir)v.t 知っていた | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| ses cornes セ・コルス pl.n.f 彼女の角は | 「主語」 |
| ne pouvaient pas abattre ス・プウヴェ・パ・アバットル 3 複半・可能・否定(pouvoir+不定詞) | |
| v.t ～を打ち負かせない | 「動詞句」 |
| un loup, アン・ルー n.m オオカミを | 「目的語」 |
| mais メ conj. しかし | |
| au lieu de +不定詞 オ・リュ・ド・リ adv. ～するより、～しないで | 「副詞句」 |
| se laisser manger ス・レッセ・モンジェ 不定詞・放任(se laisser+不定詞) | |
| v.pr 食べられるままになる | 「動詞句」 |
| aisément, イェモン adv. たやすく | 「副詞」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |

文の構成要素

essaya de +不定詞 エッセヤ・ドゥ 3 単過・努力(essayer de+不定詞)

v. ～しようと試みた 「動詞句」

résister レジステ 不定詞 vi 抵抗する

「動詞句」

jusqu'à la fin, シュスカ・ラ・ファン adv. 最後まで

「副詞句」

comme la vieille Renaude... コム・ラ・ヴィエイユ・ルノード adv. ルノード婆さんのように「副詞句」

ああ、グランゴワール！このブランケットがどれほど勇敢だったかを、君が知ったら良かったのになあ！[A-5]

Ah! Gringoire, si tu savais comme elle était courageuse, cette Blanquette.

「感嘆」「呼びかけ」 si 「動詞」「主語」「目的語」

Ah! アー int. ああ！

「感嘆」

Gringoire, グランゴワール n.m. グランゴワール

「呼びかけ」

si シ conj. (願望) もし～ならばなあ

「副詞節」

tu チュ pron 君が

「主語」

savais サヴェ 2 単半・假定法過去(savoir)v.t 知った

「動詞」

comme コム adv. どれほど～であるかを

「目的語」

elle エル pron 彼女が

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

courageuse, クラジューズ adj.f 勇敢な

「補語」

cette Blanquette. セット・ブランケット n.f このブランケットが

「主語」

一晩中、勇ましくオオカミに立ち向かったんだ。時々、星空のほうへ視線を上げて、朝になるのをうかがっていたんだ。[A-5]

Toute la nuit elle s'opposait vaillamment au loup. De temps en temps, elle levait les yeux vers le ciel étoilé pour guetter l'arrivée du jour.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Toute la nuit トゥット・ラ・ニユイ adv. 一晩中

「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

s'opposait ソポザ 3 単過(s'opposer)v.pr(à に) 立ち向かった

「動詞句」

vaillamment ヴァイヤマン adv. 勇ましく、けなげに

「副詞」

au loup. オール adv. オオカミに

「間接目的語」

De temps en temps, トゥ・トン・ゾン・トン adv. 時々

「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

levait ルヴェ 3 単半(lever)v.t 上げた

「動詞」

文の構成要素

| | | |
|-------------------------------|------------------|--------|
| les yeux レ・ジウ pl.n.m | 目を、視線を | 「目的語」 |
| vers ヴェール prep | ～の方へ | 「副詞句」 |
| le ciel étoile ル・シル・エトワール n.m | 星空 | 「目的語」 |
| pour +不定詞 | adv. (継続) そして～する | 「副詞句」 |
| guetter ゲテ 不定詞 v.t | うかがう、待ちわびる | 「動詞」 |
| l'arrivée ラリヴェ n.f | 到着 | 「目的語」 |
| du jour. ジュ・ジュール adj. | 朝の | 「形容詞句」 |

「朝まで持ちこたえられたら良いのだけれど」と、彼女はつぶやいていた。[A-5]

《Pourvu que je tienne jusqu'au matin...》 murmurait-elle alors.

《Pourvu que 「主語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞」

《Pourvu que プールヴュ・キ conj. (願望) ～すればよいのだが

| | | |
|------------------------------------|-------------------|-------|
| je ジュ pron | 私が | 「主語」 |
| tiens チェンス 接・1 単現・願望(tenir)v.i | 持ちこたえる | 「動詞」 |
| jusqu'au matin...》 | ジュスコ・マタン adv. 朝まで | 「副詞句」 |
| murmurait ミュルミュレ 3 単半(murmurer)v.i | つぶやいていた | 「動詞」 |
| elle エル pron | 彼女は | 「主語」 |
| alors. アル adv. | その時 | 「副詞」 |

少しずつ、朝のほのかな明かりが空を照らし始めました。それでも、ブランケットは相手を角で突き続けました。[A-5]

Peu à peu, la lueur du matin vint éclairer le ciel. Pourtant, Blanquette continuait à donner des coups de cornes à son adversaire.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

| | | |
|--|----------|--------|
| Peu à peu, プ・ア・プ adv. | 少しずつ | 「副詞句」 |
| la lueur ラ・リュール n.f | ほのかな明かりが | 「主語」 |
| du matin ジュ・マタン adj. | 朝の | 「形容詞句」 |
| vint éclairer ヴァン・エクレ 3 単過・しに来る(venir+不定詞) | | |
| v.t | 照らし始めた | 「動詞句」 |
| le ciel. ル・シエル n.m | 空を | 「目的語」 |
| Pourtant, プールタン adv. | それでも | 「副詞」 |
| Blanquette ブランケット n.f | ブランケットは | 「主語」 |
| continuait à donner コンチヌ・ア・トネ 3 単半・継続(continuer à+不定詞) | | |
| v.t | ～を与え続けた | 「動詞句」 |
| des coups デ・ケー pl.n.m | 打撃を | 「目的語」 |
| de cornes デ・コルヌ adv. | (手段) 角で | 「副詞句」 |

à son adversaire. ア・ソ・アドヴヰルセール adv. 相手に

「副詞句」

オオカミは容赦なくブランケットを鋭い牙で攻撃した。それから日の光が地平線を照らし始めると、オンドリが目を覚ました。[A-5]

Sans pitié, celui-ci l'attaquait de ses crocs acérés. Puis, un rayon de soleil vint éclairer l'horizon: le coq se réveilla.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

「副詞」 「主語」 「動詞句」 「目的語」: 「主語」 「動詞句」

Sans pitié, ソ・ピチ adv. 無情にも、情け容赦なく

「副詞句」

celui-ci スリュイ・シ pron オオカミは

「主語」

l'ラ pron ブランケットを

「目的語」

attaquait アタケ 3 単半(attaquer)v.t 攻撃した

「動詞」

de ses crocs ドゥ・セ・クロ adv. (手段) 牙で

「副詞句」

acérés. アッセレ adj.pl 鋭い

「形容詞」

Puis, ピュイ adv. それから

「副詞」

un rayon アン・レイオン n.m 光が

「主語」

de soleil ドゥ・ソレイユ adj. 太陽の

「形容詞句」

vint éclairer ヴァン・エクレ 3 単過・しに来る(venir+不定詞)

v.t 照らし始めた

「動詞句」

l'horizon: ロリゾン n.m 地平線を

「目的語」

le coq ル・コッキ n.m オンドリが

「主語」

se réveilla. ス・レヴァイヤ 3 単過(se réveiller)v.pr 目を覚ました

「動詞句」

「ああ、朝だわ！」と、弱々しくブランケットが言った。彼女はすぐに攻撃を止めて、注意深く草の上に横たわった。[A-5]

《Voilà le jour...!》 dit faiblement Blanquette. À cet instant elle cessa les coups et s'allongea sagement dans l'herbe.

《「感嘆」》, 「動詞」 「副詞」 「主語」

「副詞句」 「主語」 「動詞」 「目的語」 et 「動詞句」 「副詞句」

《Voilà le jour...!》 ヴォワール・ジュール int. ああ、朝だわ！

「感嘆」

dit ディ 3 単過(dire)v.t 言った

「動詞」

faiblement フェブールメン adv. 弱々しく

「副詞」

Blanquette. ブランケット n.f ブランケットが

「主語」

À cet instant ア・セ・アンストン adv. すぐに、この瞬間に

「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

cessa セサ 3 単過(cesser)v.t やめた、中止した

「動詞」

les coups レ・クー pl.n.m 打撃を、攻撃を

「目的語」

文の構成要素

et エ conj. そして

s'allongea サロンジャ 3 単過(s'allonger)v.pr 横たわった、寝そべった 「動詞句」

sagement サンジェモン adv. 慎重に、おとなしく 「副詞」

dans l'herbe. ドン・レルブ adv. 草の上に 「副詞句」

彼女の白い毛皮は、今では、血で真っ赤に染まっていた。[A-5]

Sa fourrure blanche était désormais couverte de sang.

「主語」「動詞句」「副詞」「動詞句」「副詞句」

Sa fourrure blanche サ・フーリュール・ブロンシュ n.f 彼女の白い毛皮は 「主語」

était ...couverte エテ...クヴェルト 3 単半・状態受動(couvrir)v.t(de に) 覆われていた 「動詞句」

désormais デゾルマ adv. 今では 「副詞」

de sang. ドウ・ソン adv. (手段) 血によって 「副詞句」

オオカミがすかさずその上にとびかかり、ヤギを食べてしまいました。[A-5]

Le loup, sans tarder, sauta dessus pour la manger.

「主語」「副詞句」「動詞」「副詞句」

Le loup, ル・ルー n.m オオカミが 「主語」

sans tarder, ソン・タルデ adv. すぐに、ぐずぐずせずに 「副詞句」

sauta サタ 3 単過(sauter)v.i(sur に) 飛び乗った 「動詞」

dessus ドゥッシュ adv. その上に 「副詞」

pour +不定詞 プール adv. (継続) そして～した 「副詞句」

la ラ pron ヤギを 「目的語」

manger. モンジェ 不定詞 v.t 食べた 「動詞」

さあ、グランゴワール。スガンさんのヤギの話はこれで終わりだ。[A-5]

Voilà Gringoire, ainsi se termine l'histoire de la chèvre de M. Seguin.

「呼びかけ」「副詞」「動詞句」「主語」

Voilà Gringoire, ヴェ・ワラ・グランゴワール adv. さあ、グランゴワール 「呼びかけ」

ainsi アンシ adv. これで 「副詞」

se termine ス・テルミヌ 3 単現(se terminer)v.pr 終わる 「動詞句」

l'histoire リストワール n.f 話は 「主語」

de la chèvre de M. Seguin. ドウ・ラ・シェヴァール・ド・ム・セグン

adj. スガンさんのヤギの

「形容詞句」

もし僕が作り話をしていると思うのなら、プロヴァンスに行けば分かると思うよ。そこでは誰もが、一晩中オオカミと戦って朝には食べられてしまった、スガンさんのヤギの話を君に話すだろう。[A-5]

Si tu crois que je l'ai inventée, tu verras qu'en Provence, tout le monde te parlera de la cabro de moussu Seguin qui s'est battue toute la nuit avec le loup et s'est fait manger au matin.

| | | | |
|------------------------------|----------------------|------------------------------|---------|
| Si | シ conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| tu | チュ pron | 君が | 「主語」 |
| crois | クルわ | 2 単現(croire)v.t 思う | 「動詞」 |
| que | ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| je | ジュ pron | 私が | 「主語」 |
| l' | ル pron | それを | 「目的語」 |
| ai inventée, | エ・アンヴェ・オンテ | 1 単現・完了形(inventer)v.t でっち上げた | 「動詞句」 |
| tu | チュ pron | 君は | 「主語」 |
| verras | ヴェラ | 2 単末(voir)v.t 分かるだろう、知るだろう | 「動詞」 |
| qu' | ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| en Provence, | オン・プロヴァンス | adv. プロヴァンスでは | 「副詞句」 |
| tout le monde | トゥール・モンド | pron 誰でもが | 「主語」 |
| te | トゥ pron | 君に | 「間接目的語」 |
| parlera | パルラ | 3 単末(parler)v.i 話すだろう | 「動詞」 |
| de la cabro de moussu Seguin | トゥ・ラ・カブ・ロ・トゥ・ムシュ・スガン | adv. スガンさんのヤギのことを | 「間接目的語」 |
| qui | キ pron | (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| s'est battue | セ・バチュ | 3 単現・完了形(su battre) | |
| | v.pr | 戦った | 「動詞句」 |
| toute la nuit | トゥット・ラ・ニュイ | adv. 一晩中 | 「副詞句」 |
| avec le loup | アヴェッキ・ル・ルー | adv. オオカミと | 「副詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| s'est fait manger | セ・フェ・マンジェ | 3 単現・完了形・使役(se faire+manger) | |
| | v.t | 食べられてしまった | 「動詞句」 |
| au matin. | オ・マタン | adv. 朝には | 「副詞句」 |

僕の言うことがよく分かるだろう、グランゴワール。[A-5]

| | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| <u>Tu m'entends bien, Gringoire.</u> | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞」, 「呼びかけ」 |
| Tu | チュ pron 君は |
| m' | ム pron 僕の言うことを |

文の構成要素

| | |
|------------------------------------|--------|
| entends オントン 2 単現(entendre)v.t 分かる | 「動詞」 |
| bien, ビェン adv. よく | 「副詞」 |
| Gringoire. グランゴワール n.m グランゴワール | 「呼びかけ」 |

日ごとに、僕は、王子様の惑星について、旅立ちについて、そして旅行について、何かを知
るようになった。[B-5]

Chaque jour, j'apprenais quelque chose sur la planète, sur le départ, sur le voyage.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

| | |
|---|----------------|
| Chaque jour シャッキ・ジュール adv. 日ごとに、毎日 | 「副詞句」 |
| apprenais アプルネ 1 単半(apprendre)v.t (情報を) 知った | 「動詞」 |
| quelque chose ケルク・ショース pron 何かを | 「目的語」 |
| sur la planète, sur le départ, sur le voyage シュール・ラ・プ ラネット・シュール・ル・デ パール・シュール・ル・ウ ヲリヤージュ adj. 惑星、出発、旅行などに関する | 「形容詞句 : chose」 |

(王子様が) たまたま口にする (思いがけない) 考え事によって、実にゆっくりと話が分か
ってきた。[B-5]

Ça venait tout doucement, au hasard des réflexions.

「主語」「動詞」「副詞句」

| | |
|--|-------|
| Ça サ pron それは | 「主語」 |
| venait ヴネ 3 単半(venir)v.i (考えが) 浮かんできた、分った | 「動詞」 |
| tout doucement トゥ・ドゥースモン adv. 本当にゆっくりと | 「副詞句」 |
| au hasard des réflexions オ・アザール・デ・レフレクション adv. 偶然聞かされた王子様の考え事を通じて au hasard de... 偶然の～を通じて réflexion n.f 考察、意見 | 「副詞句」 |

このようにして、三日目にバオバブの惨事を知った。[B-5]

C'est ainsi que, le troisième jour, je connus le drame des baobabs.

「動詞」「副詞句」「主語」

| | |
|--|-------|
| C' ス pron 形式主語 (真の主語は que 節 : 強調構文) | |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| ainsi オンシ adv. このようにして | 「副詞句」 |
| que ク conj. ～することは | 「主語」 |
| le troisième jour ル・トゥロワジエム・ジュール n.m 3 日目に | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| connus コニュ 1 単過(connaitre)v.t 知った | 「動詞」 |
| le drame ル・ドラマ n.m 惨劇を | 「目的語」 |

文の構成要素

des baobabs テ・バ・オバブ adj. バオバブの 「形容詞句：drame」

今度もまた、あの羊のおかげだった。それというのは、王子様が深刻な疑念にとりつかれてもしたように、唐突に、僕にこう聞いたのだ：[B-5]

Cette fois-ci encore ce fut grâce au mouton, car brusquement le petit prince m'interrogea, comme pris d'un doute grave: 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」,

car 「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」:

Cette fois-ci encore セット・フワ・シ・オンコール adv. 今回もまた 「副詞句」

ce ス pron それは 「主語」

fut フュ 3 単過(être)v.i ~だった 「動詞」

grâce au mouton グラース・オ・ムトン adv. あの羊のおかげ 「補語」

grâce à... ~のおかげ、au ← à le

car カール conj. ~というのは 「副詞節」

brusquement ブリュスクモン adv. 不意に、突然 「副詞」

le petit prince ル・プチ・プリンス n.m 王子様が 「主語」

m' ム pron 私に 「間接目的語」

interrogea アンテロジャ 3 単過(interroger)v.t 尋ねた 「動詞」

comme コム adv. ~のように 「副詞句」

pris プリ 過去分詞 v.t (疑念に) 取りつかれた (受動) 「動詞」

d'un doute grave ダン・トゥット・グラウヴ adv. 深刻な疑念に 「副詞句」

「したがって、羊はバオバブも食べるんだね」[B-5]

《Par conséquent ils mangent aussi les baobabs?》

《「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」》

Par conséquent ils mangent aussi les baobabs?

Par conséquent パール・コンセコン adv. 従って 「副詞句」

ils イル pl.pron 羊は 「主語」

mangent モンジュ 3 複現(manger)v.t 食べる 「動詞」

aussi les baobabs オシ・レ・バ・オバブ pl.n.m バオバブも 「目的語」

僕は王子様に、バオバブは低木ではなくて、教会のように大きな木であること、王子様が象の群れ全体を連れて行っても、その群れはたった一本のバオバブも食べつくせないだろうということを気づかせた。[B-5]

Je fis remarquer au petit prince que les baobabs ne sont pas des arbustes, mais des arbres grands comme des églises et que, si même il emportait avec lui tout un troupeau d'éléphants, ce troupeau ne viendrait pas à bout d'un seul baobab.

文の構成要素

| | |
|---|-------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| fis remarquer フィ・マルケ 1 単過・使役(faire+不定詞 remarquer +à qn) | |
| v.t (人に～を) 気づかせた | 「動詞句」 |
| 不定詞は au petit prince の動作を表す「補語」の働きをしている | |
| au petit prince オ・プティ・フランス adv. 王子様に | 「間接目的語」 |
| que ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| les baobabs レ・バオバブ pl.n.m バオバブは | 「主語」 |
| ne sont pas ス・ソ・パ 3 複現(être)v.i ～ではない | 「動詞句」 |
| des arbustes デ・サルビュスト pl.n.m 低木 | 「補語」 |
| mais メ conj. それどころか | |
| des arbres grands デ・サルブル・グロン pl.n.m 大きな木 | 「補語」 |
| comme des églises コム・デ・セグリズ adj. 教会のように「形容詞句：arbres」 | |
| et エ conj. そして | |
| que ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| si même シ・メム adv. たとえ～しても | 「副詞節」 |
| il イル pron 王子様が | 「主語」 |
| emportait オンポルテ 3 単半(emporter)v.t 連れてくる | 「動詞」 |
| avec lui アヴ・ェッキ・リュイ adv. 一緒に | 「副詞句」 |
| tout un troupeau d'éléphants トゥ・タン・トルポ・デレフォン | |
| n.m 象の群れ全体を | 「目的語」 |
| ce troupeau ストルポ n.m その群れは | 「主語」 |
| ne viendrait pas à bout d' ス・ヴィヤントレ・パ・ア・ブ・ドゥ 条・3 単半・否定・推量 | |
| v.t ～を食べつくせないだろう | 「動詞句」 |
| venir à bout de... ～を終える、に打ち勝つ、～を食べつくす | |
| un seul baobab アン・スル・バオバブ n.m 一本のバオバブさえも | 「目的語」 |

「バオバブでも、大きくなる前は、小さいんだよね」[B-5]

《Les baobabs, avant de grandir, ça commence par être petit.》

《「主語」「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

| | |
|--|-------|
| Les baobabs レ・バオバブ pl.n.m バオバブは | 「主語」 |
| avant de grandir アヴァ・オン・トゥ・グロンテール adv.(avant de+不定詞) | |
| 大きくなる前は | 「副詞句」 |
| ça サ pron それは (バオバブは) | 「主語」 |
| commence コモン 3 単現(commencer par)v.i ～から始まる | 「動詞」 |
| par être petit パール・エトル・プティ adv. 小さい状態から | 「副詞句」 |

「そのとおり！でも、なぜ、小さなバオバブを君の羊たちが食べるのを望むの」 [B-5]

--- C'est exact! Mais pourquoi veux-tu que tes moutons mangent les petits baobabs?》

《「主語」「動詞」「補語」 | Mais 「副詞」「動詞」「主語」「目的語」》

C' ス pron それは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
 exact エグザ adj. 正しい、その通りだ 「補語」
 pourquoi フルクワ adv. どうして 「副詞」
 veux ウ 2 単現(vouloir)v.t 望む 「動詞」
 tu チュ pron 君は 「主語」
 que ク conj. ~ということ 「目的語」
 tes moutons テ・ムトン pl.n.m 君の羊が 「主語」
 mangent モンジュ 接・3 複現(manger)v.t 食べる 「動詞」
 les petits baobabs レ・プチ・バ・オ・バブ pl.n.m 小さいバオバブを 「目的語」

それで僕は、自分一人でその問題を解くのに、大きな努力が必要だった。 [B-5]

Et il me fallut un grand effort d'intelligence pour comprendre à moi seul ce problème.

Et 「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞句」

Et エ conj. そして
 il イル pron 非人称主語
 me ム pron 私にとって 「間接目的語」
 fallut ファリュ 3 単過(falloir+名詞)v.h ~が必要だった 「動詞」
 un grand effort d'intelligence アン・グランド・エフォール・ダン・テリジョン
 n.m 知能の大きな努力が 「主語」
 pour comprendre プール・コンプ・ロントル adv. ~を理解するために 「副詞句」
 à moi seul ア・ムワ・スル adv. 自分一人で 「副詞句」
 ce problème ス・プロブレム n.m その問題を 「目的語」
 それで、必要だった、その問題を一人で理解するために。

実のところ、王子様の惑星には、あらゆる惑星と同じように、良い草と悪い草があった。

[B-5]

Et en effet, sur la planète du petit prince, il y avait, comme sur toutes les planètes, de bonnes herbes et de mauvaises herbes.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」「主語」

Et en effet エ・オ・ネフェ adv. そして確かに 「副詞句」
 sur la planète du petit prince シュール・ラ・プ・ラネット・ジュ・プチ・フランス
 adv. 王子様の惑星には 「副詞句」

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| il y avait イ・リ・ヤヴ ^ェ 3 単半(avoir)v.t あった | 「動詞句」 |
| comme sur toutes les planètes コム・シュール・トット・レ・プ ^ラ ネット | |
| adv. あらゆる惑星と同じように | 「副詞句」 |
| de bonnes herbes et de mauvaises herbes ト ^ゥ ・カ・ボンヌ・エルブ ^ヱ ・エ・ト ^ゥ ・カ・モウ ^ヱ ・エズ ^ヱ ・エルブ ^ヱ | |
| pl.n.f 良い草と悪い草が | 「主語」 |

でも、種というのは目に見えない。土の中でそのうちのどれか一つの種が芽を覚ます気になるまで、眠っている。[B-5]

Mais les graines sont invisibles. Elles dorment dans le secret de la terre jusqu'à ce qu'il prenne fantaisie à l'une d'elles de se réveiller.

| | |
|--|---------|
| Mais 「主語」「動詞」「補語」 「主語」「動詞」「副詞句」 | |
| les graines レ・グレヌ pl.n.f 種は | 「主語」 |
| sont ヲン 3 複現 (être) v.i ~である | 「動詞」 |
| invisibles アンヴィジブル adj. 目に見えない | 「補語」 |
| Elles エル pl.n.f 種たちは | 「主語」 |
| dorment ト ^ル ム 3 複現(dormir)v.i 眠る | 「動詞」 |
| dans le secret de la terre ト ^ン ・ル・スクレ・ト ^ゥ ・ラ・テール ト ^ン ・ル・スクレ・ト ^ゥ ・ラ・テール | |
| adv. 地面の中で | 「副詞句」 |
| jusqu'à ジュスカ adv. ~するまで | 「副詞句」 |
| ce qu' スク pron ~ということ | 「目的語」 |
| il イル pron 形式主語 | |
| prenne プ ^レ ヌ 接・3 単現(prendre)v.i 起こる | 「動詞」 |
| fantaisie フォンテジー n.f 気まぐれが | 「主語」 |
| à l'une d'elles ア・リュヌ・テル adv. 種のどれか一つが | 「間接目的語」 |
| de se réveiller ト ^ゥ ・ス・レヴ ^ヱ ・エエ adj. 目を覚まそうという 「形容詞句 : fantaisie」 | |

それから背伸びをする。そして、はじめはおずおずと、日光の方へ、魅力的な小さな罪のな
い小枝を伸ばす。[B-5]

| | |
|--|---------------------------------|
| Alors <u>elle s'étire</u> , et <u>pousse d'abord timidement vers le soleil une ravissante petite brindille inoffensive</u> . | 「副詞」「主語」「動詞句」 et 「動詞」「副詞句」「目的語」 |
| Alors ア ^ロ adv. それから | 「副詞」 |
| elle エル pron それは | 「主語」 |
| s'étire セ ^{ティ} ル 3 単現(s'étirer)v.pr 背伸びをする | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| pousse プ ^ス 3 単現(pousser)v.t 伸ばす | 「動詞」 |
| d'abord timidement タ ^ボ ール・チミット ^{モン} adv. 最初は遠慮がちに | 「副詞句」 |

文の構成要素

vers le soleil ヴェール・ル・ソレイユ adv. 日光の方へ 「副詞句」
 une ravissante petite brindille inoffensive エヌ・ラヴァシヴァン・プティット・ブランディユ・イノフオンシフ
 n.f うっとりするような、罪のない小枝を 「目的語」

赤カブや薔薇の木の小枝なら、それが芽を出すままにさせておけば良い。 [B-5]

S'il s'agit d'une brindille de radis ou de rosier, on peut la laisser pousser comme elle veut.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」 「副詞節」

S' ス conj. もし〜である 「副詞節」

il イル pron 非人称主語

s'agit サジ 3 単現(s'agir de+qch)v.h 〜に関わることである 「動詞句」

d'une brindille デュンヌ・ブランディユ n.f 小枝 「主語」

de radis ou de rosier トゥ・ラディ・ウ・トゥ・ロジエ

adj. 赤カブやバラの木の

「形容詞句 : brindille」

on オン pron 人は

「主語」

peut ... laisser pousser プ ... レ・プセ 3 単現・可能・放任(pouvoir+不定詞)

v.i 伸びるままにさせて構わない

「動詞句」

la ラ pron 小枝が

「目的語」

comme elle veut コム・エル・ヴァ adv. 小枝が望むように

「副詞節」

もしそれが赤カブやバラの小枝なら、枝が伸びたい放題にさせておけば良い。

しかし、悪い植物なら、気づくやいなやすぐ抜き取らねばならない。 [B-5]

Mais s'il s'agit d'une mauvaise plante, il faut arracher la plante aussitôt, dès qu'on a su la reconnaître.

Mais 「副詞節」, 「動詞」 「主語」 「副詞節」

Mais メ conj. しかし

s' ス conj. もし〜である

「副詞節」

il イル pron 非人称主語

s'agit サジ 3 単現(s'agir de+qch)v.h 〜に関わることである

「動詞句」

d'une mauvaise plante ジュンヌ・モヴァーズ・プラント n.f 悪い植物

「主語」

il イル pron 非人称主語

faut フォ 3 単現(falloir+不定詞)v.h 〜しなければならない

「動詞」

arracher アラシェ 不定詞 v.t 引き抜くこと

「主語」

la plante ラ・プラント n.f その植物を

「目的語」

aussitôt オト adv. ただちに

「副詞」

dès qu' デ・ク adv. 〜するやいなや

「副詞節」

on オン pron 人は

「主語」

a su ...reconnaître ア・ス...ルコネートル 3 単現・完了形(savoir+不定詞)

文の構成要素

v.t 見分けることができた 「動詞句」
la ラ pron それを 「目的語」

ところで王子様の星には、恐ろしい種があった…。バオバブの種だ。[B-5]

Or il y avait des graines terribles sur la planète du petit prince ... c'étaient les graines de baobabs.

Or 「動詞句」「主語」「副詞句」... 「主語」「動詞」「補語」

Or オール conj. ところで

il y avait イ・リ・アヴ 3 単半(avoir)v.t があった 「動詞句」

des graines terribles テ・グレヌ・テリブル pl.n.m 恐ろしい種が 「主語」

sur la planète du petit prince シュール・ラ・プラネット・ジュ・プティ・ランス

adv. 王子様の星には 「副詞句」

c' ス pron それは 「主語」

étaient エ 3 複半(être)v.i 〜だった 「動詞」

les graines de baobabs レ・グレヌ・ド・バオバブ pl.n.m バオバブの種 「補語」

その惑星の地面には、それがはびこっていた。一本のバオバブでも、とりかかるのが遅すぎると、もう絶対に片づけられなくなる。[B-5]

Le sol de la planète en était infesté. Or un baobab, si l'on s'y prend trop tard, on ne peut jamais plus s'en débarrasser.

「主語」「副詞」「動詞句」 | Or 「目的語」, 「副詞節」, 「主語」「動詞句」

Le sol de la planète ル・ソル・ド・ラ・プラネット n.m その惑星の地面は 「主語」

en オン pron (de graines de baobabs の代用) それに 「副詞」

était infesté エ・アンフェステ 3 単半・受動(infester)v.t はびこられていた 「動詞句」

Or オール conj. ところが

un baobab アン・バオバブ n.m 一本のバオバブでも 「目的語」

si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

l' ル pron それを 「目的語」

on オン pron 人が 「主語」

s'y prend シ・フロン 3 単現(s'y prendre)v.t 取り掛かる 「動詞句」

trop tard トロ・タル adv. あまりに遅く 「副詞句」

on オン pron 人は 「主語」

ne peut jamais plus s'en débarrasser ヌ・プ・ジャメ・プリュ・ソン・テ・バ・ラッセ
3 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞 se débarrasser+en)

v.t 絶対にそれを片づけられない 「動詞句」

se débarrasser de ... を処分する、を片づける

それは惑星全体にはびこる。根でもってそれに穴をあける。そして星が小さすぎてバオバブが多すぎると、それらは星を破裂させてしまうのだ。[B-5]

Il encombre toute la planète. Il la perfore de ses racines. Et si la planète est trop petit, et si les baobabs sont trop nombreux, ils la font éclater.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Et 「副詞節」, et 「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞句」

| | | | | |
|------------------|--------------|----------------------------|----------------|-------|
| Il | イル | pron | それは (バオバブは) | 「主語」 |
| encombre | オンコンブル | 3 単現(encombrer)v.t | (場所を) ふさぐ、はびこる | 「動詞」 |
| toute la planète | トゥット・ラ・プラネット | adv. | 惑星全体に | 「副詞句」 |
| Il | イル | pron | それは (バオバブは) | 「主語」 |
| la | ラ | pron | 惑星に | 「目的語」 |
| perfore | ペルフォー | 3 単現(perforer de)v.t | 〜で穴をあける | 「動詞」 |
| de ses racines | ドゥ・セ・ラシーヌ | adv. | (道具) 根によって | 「副詞句」 |
| Et | エ | conj. | そして | |
| si | シ | conj. | もし〜なら | 「副詞節」 |
| la planète | ラ・プラネット | n.f | その惑星が | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| trop petit | トロ・プティ | adj. | 小さすぎる | 「補語」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| si | シ | conj. | もし〜なら | 「副詞節」 |
| les baobabs | レ・バオバブ | pl.n.m | バオバブが | 「主語」 |
| sont | ソン | 3 複現(être)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| trop nombreux | トロ・ンブル | adj. | 多すぎる | 「補語」 |
| ils | イル | pron.pl | バオバブは | 「主語」 |
| la | ラ | pron | 惑星を | 「目的語」 |
| font éclater | フォン・エクラテ | 3 複現・使役(faire+不定詞 éclater) | | |
| | | v.i | 破裂させてしまう | 「動詞句」 |

そしてある日、王子様は、僕の所の子供たちの頭によく入るように、美しいデッサンを描き上げることに専念するように勧めた。[B-5]

Et un jour il me conseilla de m'appliquer à réussir un beau dessin, pour bien faire entrer ça dans la tête des enfants de chez moi.

「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「副詞句」

| | | | | |
|------------|-----------|------|--------|---------|
| Et un jour | エ・アン・ジュール | n.m | そしてある日 | 「副詞句」 |
| il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| me | ム | pron | 私に | 「間接目的語」 |

文の構成要素

| | |
|--|---------------|
| conseilla コンセイヤ 3 単過(conseiller à qn de+不定詞 m'appliquer) | |
| v. ～するように勧めた | 「動詞句」 |
| de m'appliquer à réussir トゥ・マプ リケ・ア・レユシール 不定詞(m'appliquer+不定詞) | |
| v.t (絵を) 描きあげることに専念する | 「直接目的語」 |
| un beau dessin アン・ボ・デッサン n.m 美しい絵を | 「目的語」 |
| pour プール adv. ～するために | 「副詞句」 |
| bien faire entrer ビヤン・フェール・オントレ 不定詞 v.t しっかりと入らせる | 「動詞句」 |
| ça サ pron それを | 「目的語」 |
| dans la tête ドン・ラ・テート adv. 頭の中に | 「副詞句」 |
| des enfants de chez moi デ・ゾンフオン・トゥ・シェ・ムわ | |
| adj. 僕のところの子供たちの | 「形容詞句 : tête」 |

「彼らがいつか旅行をするような場合、」と、彼は言った。「役に立つかもしれないよ。仕事を後回しにする事は、時には差し障りがないこともある。」[B-5]

《S'ils voyagent un jour, me disait-il, ça pourra leur servir. Il est quelquefois sans inconvénient de remettre à plus tard son travail.

《「副詞節」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」,

《「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞」「補語」「主語」》

| | |
|---|---------|
| S' シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| ils イル pron.pl 彼らが | 「主語」 |
| voyagent ヴワヤジュ 3 複現(voyager) | |
| v.i 旅行する | 「動詞」 |
| un jour アン・ジュール n.m (未来) いつか | 「副詞句」 |
| me ム pron 私に | 「間接目的語」 |
| disait ディヤ 3 単半(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| ça サ pron それは | 「主語」 |
| pourra ...servir プラ...セルヴァール 3 単未・推量 | |
| (pouvoir+不定詞 servir)v.i (à qn) (人の) 役に立つかもしれない | 「動詞句」 |
| leur レール pron 彼らの | 「間接目的語」 |
| Il イル 形式主語 | |
| est エ (être)v.i ～である | 「動詞」 |
| quelquefois sans inconvénient ケルクワ・ソン・アンコンヴェニヤン | |
| adj. 時には支障がない | 「補語」 |
| de remettre トゥ・ルメットル 不定詞 延期することが | 「主語」 |
| à plus tard ア・プリュ・タル adv. 後回しに | 「副詞句」 |

文の構成要素

son travail ツン・トラヴァイユ n.m 仕事を

「目的語」

「だけど、バオバブに関しては、そんなことをしたらおしまいさ。怠け者が住んでいた星を知っているけど、その人は三本のバオバブを放っておいたんだよ...」[B-5]

Mais, s'il s'agit des baobabs, c'est toujours une catastrophe. J'ai connu une planète habitée par un paresseux. Il avait négligé trois arbustes ...》

《Mais 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「補語」

「主語」 「動詞句」 「目的語」 | 「主語」 「動詞句」 「目的語」》

Mais メ conj. しかし

s' シ conj. もし〜ならば

「副詞節」

il イル pron 非人称主語

s'agit シヅ 3 単現(s'agir de...)v.pr 〜に関すること

「動詞句」

des baobabs テ・ハ・バ・オブ pl.n.m バオバブの

「目的語」

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i 〜である

「動詞」

toujours une catastrophe トウジ ュール・コンヌ・キャストロフ n.f 悲惨な結果に決まっている

「補語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai connu エ・コニュ 1 単現・完了形(connaitre)v.t 知っている

「動詞句」

une planète コンヌ・プラネット n.f ある星を

「目的語」

habitée アビテ p.p.adj.f(habiter) 〜が住んでいた

「形容詞句 : planète」

他動詞の過去分詞は受動的な意味になる「住まれていた」

par un paresseux パール・アン・パレスー adv. 怠け者が「副詞句」

「怠け者に住まれていた」を能動文に翻訳する

Il イル pron 彼は

「主語」

avait négligé アヴィ・ェ・ネグリジェ 3 単半・完了形(négliger)v.t 放っておいた

「動詞句」

trois arbustes. トロワ・サルビュスト pl.n.m 3 本のバオバブを

「目的語」

バオバブの危険さはあまり知られていないし、小惑星で道に迷った人が冒す危険というのはあまりにも大きいので、一度だけ、僕の慎みに例外を設けて、こう言いたい。「おーい、子供たちよ、バオバブには注意するんだよ！」[B-5]

Mais le danger des baobabs est si peu connu, et les risques courus par celui qui s'égèrerait dans un astéroïde sont si considérables, que, pour une fois, je fais exception à ma réserve. Je dis: 《Enfants! Faites attention aux baobabs!》

Mais 「主語」 「動詞」 「補語」 et 「主語」 「動詞」 「補語」

que 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

「主語」 「動詞」 : 《「呼びかけ」 「動詞」 「直接目的語」 「間接目的語」》

文の構成要素

| | | | |
|-----------------------|-----------------------|-------------|----------------|
| Mais | メ conj. | しかし | |
| le danger des baobabs | ル・ドンジエ・デ・バオバブ n.m | バオバブの危険性 | 「主語」 |
| est | エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| si peu connu | シ・プ・コニュ adj. | ほとんど知られていない | 「補語」 |
| et | エ conj. | それに | |
| les risques | レ・リスキ pl.n.m | 危険 | 「主語」 |
| courus | クリュ 過去分詞 adj. | 冒された | 「形容詞句：risques」 |
| par celui | パール・スユイ adv. | 誰かによって | 「副詞句」 |
| qui | キ pron | ～する | 「形容詞節：celui」 |
| s'égèrerait | セガール 条・3 単現(s'égèrer) | | |
| | v.pr | 道に迷う | 「動詞句」 |
| dans un astéroïde | ドン・サン・アステロイト | | |
| | adv. | 小惑星で | 「副詞句」 |
| sont | ソ 3 複現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| si considérables | シ・コンシデラブル adj. | とても甚大な | 「補語」 |
| que | ク conj.(si...que) | だから | |
| pour une fois | プール・ユヌ・フワ adv. | 一度だけ、例外的に | 「副詞句」 |
| je | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| fais | フェ 1 単現(faire)v.t | 作る | 「動詞」 |
| exception | エクセプション n.f | 例外を | 「目的語」 |
| à ma réserve | ア・マ・レゼルヴ adv. | 僕の控えめな態度に | 「副詞句」 |
| Je | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| dis | ディ 1 単現(dire)v.t | 言う | 「動詞」 |
| Enfants | オンフオン pl.n. | 子供たちよ | 「呼びかけ」 |
| Faites | フェット 命・2 複現(faire)v.t | しなさい | 「動詞」 |
| attention | アトション n.f | 注意を | 「直接目的語」 |
| aux baobabs | オ・バオバブ adv. | バオバブに | 「間接目的語」 |

僕が与えたこの教訓はその苦勞に値していた。君たちは、不思議に思うかもしれない：

[B-5]

La leçon que je donnais en valait la peine. Vous vous demanderez peut-être:

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」：

| | | | |
|----------|--------------------|-----|--------------|
| La leçon | ラ・ルソ n.f | 教訓 | 「主語」 |
| que | ク pron | ～する | 「形容詞節：leçon」 |
| je | ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| donnais | ドネ 1 単半(donner)v.t | 与えた | 「動詞」 |

文の構成要素

| | | | | | |
|-----------------|-----------|----------------------|--------------|----------|----------------|
| en | ㄢ | adj. | そうしたこと(| de cela) | 「形容詞句 : peine」 |
| valait | ヴァレ | 3 単半(valoir) | v.i | ～の価値がある | 「動詞」 |
| la peine | ラ・ペヌ | n.f | 苦勞、骨折り | | 「補語」 |
| Vous | ヴ | pron | 君たちは | | 「主語」 |
| vous demanderez | ヴ・ドゥモンドゥレ | 2 複未・推量(se demander) | | | |
| v.pr | | | 不思議に思うかもしれない | | 「動詞句」 |
| peut-être | プ・テートル | adv. | もしかしたら | | 「副詞句」 |

試みてはみたけど、うまくいかなかったんだ。バオバブの絵を描いたときは、急を要するという気持ちで僕は活気づいていたんだよ。[B-5]

J'ai essayé mais je n'ai pas pu réussir. Quand j'ai dessiné les baobabs j'ai été animé par le sentiment de l'urgence.

| | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------------|-----------------------------|-------------|--------|-----------|--|---------------------|
| | | | 「主語」「動詞句」 | mais | 「主語」「動詞句」 | | 「副詞節」「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| J' | ジュ | pron | 僕は | | | | 「主語」 |
| ai essayé | エ・エッセ | 1 単現・完了形(essayer) | v.t | 試してみた | | | 「動詞句」 |
| mais | メ | conj. | だけど | | | | |
| je | ジュ | pron | 僕は | | | | 「主語」 |
| n'ai pas pu réussir | ネ・パ・ピュ・リュール | 1 単現・完了形・可能・否定(pouvoir+不定詞) | | | | | |
| v.i | | | うまくいかなかった | | | | 「動詞句」 |
| Quand | コン | adv. | ～する時 | | | | 「副詞節」 |
| j' | ジュ | pron | 僕が | | | | 「主語」 |
| ai dessiné | エ・デシネ | 1 単現・完了形(dessiner) | v.t | デッサンした | | | 「動詞句」 |
| les baobabs | レ・バオバブ | pl.n.m | バオバブを | | | | 「目的語」 |
| j' | ジュ | pron | 僕は | | | | 「主語」 |
| ai été animé | エ・エテ・アンイメ | 1 単現・完了形・受動(animer) | | | | | |
| v.t | | | 活気づけられていた | | | | 「動詞句」 |
| par le sentiment de l'urgence | パール・ル・ソソテイモン・トゥ・ルルジヨンス | | | | | | |
| adv. | | | 急を要するという感情に | | | | 「副詞句」 |

彼の友人の 1 人が（レーモンはその友人に僕の話を話していたのだ）アルジェの近くにある彼の別荘で日曜日に 1 日過ごすしてはどうかと僕を招待しているを言うのだ。[C-1-5]

Il m'a dit qu'un de ses amis (il lui avait parlé de moi) m'invitait à passer la journée de dimanche dans son cabanon, près d'Alger.

| | | | |
|----|----|------|-------------------------|
| | | | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Il | イル | pron | 彼は |
| m' | ム | pron | 僕に |
| | | | 「間接目的語」 |

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| un de ses amis アン・ドゥ・セ・ザミ n.m 彼の友人の 1 人が | 「主語」 |
| (il イル pron レーモンは | 「主語」 |
| lui リュイ pron その友人に | 「間接目的語」 |
| avait parlé アヴェ・パル 3 単半・完了形(parler) | |
| v.i 話していた | 「動詞句」 |
| de moi) トゥ・ムわ adv. 僕のことを | 「間接目的語」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| invitait アンヴィテ 3 単半(inviter)v.t(qn à+不定詞 人に～するように) | |
| v.t 招待した | 「動詞」 |
| à passer ア・パセ 不定詞 v.t 過ごす | 「補語」 |
| la journée ラ・ジュルネ n.f 1 日を | 「目的語」 |
| de dimanche トゥ・ディモンジュ adj. 日曜日の | 「形容詞句」 |
| dans son cabanon, トン・ソン・カバン adv. 彼の別荘に | 「副詞句」 |
| près d'Alger. プレ・ダルジェ adv. アルジェの近くにある | 「副詞句」 |

僕は是非そうしたいのだが、既に女友達と 1 日過ごす約束があると答えた。[C-1-5]

J'ai répondu que je le voulais bien, mais que j'avais promis ma journée à une amie.

| | |
|---|---------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu エ・レポンスジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| le ル pron それを | 「目的語」 |
| voulais ヴレ 1 単半・時制の一致(vouloir)v.t ～したい | 「動詞」 |
| bien, ビヤン adv. とても | 「副詞」 |
| mais メ conj. しかし | |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais promis アヴェ・プロミ 1 単半・完了形(promettre) | |
| v.t(qch à qn 人に何を) 既に約束した | 「動詞句」 |
| ma journée マ・ジュルネ n.f 1 日を | 「目的語」 |
| à une amie. ア・エヌ・アミ adv. 女友達に | 「間接目的語」 |

友人の奥さんは、男たちの中で一人きりにならずに済むので、とても喜ぶだろう。[C-1-5]

La femme de son ami serait très contente de ne pas être seule au milieu d'un groupe d'hommes. 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

La femme ラ・ファム n.f 妻は 「主語」
de son ami トゥ・ソ・ン・アミ adj. 友人の 「形容詞句」
serait スーレ 条・3 単現・未来の推測(être)v.i ~だろう 「動詞」
très contente トレ・コントント adj.f とても喜んだ 「補語」
de +不定詞・否定形 トゥ 不定詞・理由 v.i ~しないので 「副詞句」
ne pas être ヌ・パ・ゼール 不定詞・否定形 v.i ~でない 「動詞句」
seule スル adj. 一人きり 「補語」
au milieu オ・ミユ adv. 真ん中で 「副詞句」
d'un groupe d'hommes. ダン・グルプ・ドム adj. 男たちの 「形容詞句」

僕は、社長が私用電話が嫌いなことを知っているの、電話をすぐに切りたかった。

[C-1-5]

J'ai voulu raccrocher tout de suite parce que je sais que le patron n'aime pas qu'on nous téléphone de la ville. 「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai voulu raccrocher エ・ヴァリュ・ラクロシェ 1 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)
v.i (受話器を置いて) 切りたかった 「動詞句」
tout de suite トゥ・トゥ・シュエット adv. すぐに 「副詞句」
parce que パルス・キ conj. ~なので、~だから 「副詞節」
je ジュ pron 僕は 「主語」
sais セ 1 単現(savoir)v.t 知っている 「動詞」
que ク conj. ~ということ を 「目的語」
le patron ル・パトロン n.m 社長は 「主語」
n'aime pas ネム・パ 3 単現・否定(aimer)v.t 好まない 「動詞句」
qu' ク conj. ~ということ を 「目的語」
on オン pron 誰かが 「主語」
nous ヌ pron 僕らに 「間接目的語」
téléphone テレフォヌ 3 単現(téléphoner)v.i 電話してくる 「動詞」
de la ville. トゥ・ラ・ヴィル adv. 町から、仕事以外で 「副詞句」

しかしレーモンは僕に待ってくれとせがんで、この招待の件は夜に伝えても良かったのだが、実は別に知らせておきたい事があると言った。[C-1-5]

Mais Raymond m'a demandé d'attendre et il m'a dit qu'il aurait pu me transmettre cette invitation le soir, mais qu'il voulait m'avertir d'autre chose.

Mais 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 mais 「直接目的語」

Mais メ conj. しかし

Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」

m' ム pron 僕に 「目的語」

a demandé d'+不定詞 ア・トゥモンデ・トゥ 3 単現・完了形・願望(demander à qn de+不定詞)

v.t (人に) ～するように頼んだ 「動詞句」

attendre アトンドル 不定詞 v.i 待つ 「補語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形((dire)v.t 言った 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

aurait pu +不定詞 オレ・ピュ 条・3 単現・完了形・推測・語調緩和(pouvoir+不定詞)

v. ～することが出来たのだが 「動詞句」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

transmettre トロンスメル 不定詞 v.t 伝える 「動詞句」

cette invitation セット・アンヴィタシオン n.f この招待の話を 「直接目的語」

le soir, ル・スワール adv. 夜に 「副詞句」

mais メ conj. しかし

qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

voulait+不定詞 ウレ 3 単半・願望(vouloir)v. ～したかった 「動詞句」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

avertir アヴァエルチール 不定詞 v.t(de を) 知らせる 「動詞句」

d'autre chose. トートル・ショーズ n.f 別のことを 「直接目的語」

条件法 過去 : 語調緩和

条件法過去は過去における未来完了の意味を表し、推測や語調緩和を表現する。

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| et エ conj. そして | |
| directement, ディレクトゥモン adv. 直接に | 「副詞」 |
| avec les grandes compagnies アヴェッキ・レ・グロント・コンパニー | |
| adv. 大企業と | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして、それで | |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| voulait savoir ヴレ・サヴ ザ 3 単半・願望(vouloir+不定詞)v.t 知りたかった | 「動詞句」 |
| si シ conj. ～かどうかということ | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| étais エ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| disposé à +不定詞 ディスポゼ・ア adj. (～する気が) ある | 「補語」 |
| y イ adv. そこに | 「副詞」 |
| aller. アレ 不定詞 v.i 行く | 「動詞」 |

僕はとりあえず、ええ、と言ったが、結局のところそういうことには関心がないと付け加えた。すると社長は僕に、生活を変えるということに興味がないのかと尋ねた。[C-1-5]

J'ai dit que oui mais que dans le fond cela m'était égal. Il m'a demandé lors si je n'étais pas intéressé par un changement de vie.

| | |
|---|-----------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「目的語」 |
| | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| oui ウー adv. ええ | 「応答・肯定」 |
| mais メ conj. しかし | |
| que ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| dans le fond トン・ル・フォン adv. 結局のところ、実際は | 「副詞句」 |
| cela スラ pron それは | 「主語」 |
| m' ム pron 僕にとっては | 「間接目的語」 |
| était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| égal. エガル adj. どうでもよい、関心がない | 「補語」 |
| Il イル pron 社長は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・ドゥマンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| lors ロール adv. その時、すると | 「副詞」 |
| si シ conj. ～かどうかということ | 「直接目的語」 |

文の構成要素

je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'étais pas intéressé ネ・パ・アンテレス 1 単半・受動・否定・時制の一致(intéresser)
 v.t 興味がない、関心を引かれない 「動詞句」
 par un changement de vie. パール・アン・シヨンジエモン・ドゥ・ヴィー
 adv. 生活を変えることに対して 「副詞句」

それで僕は仕事に戻った。社長に不満を抱かせたくはなかったが、僕には自分の生活を変える理由は見当たらなかった。[C-1-5]

Je suis retourné travailler alors. J'aurais préféré ne pas le mécontenter, mais je ne voyais pas de raison pour changer ma vie.

「主語」「動詞句」「副詞」 | 「主語」「動詞句」,mais 「主語」「動詞句」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 suis retourné travailler シュイ・ルトゥルネ・トラヴァイエ 1 単現・完了形・復帰(retourner)
 v.i (+不定詞) 仕事に戻った 「動詞句」
 alors. アロ adv. それで 「副詞」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 aurais préféré オレ・プレフェレ 条・1 単現・完了形・語調緩和(préférer+不定詞)
 v.t ~したかったのだが 「動詞句」
 ne pas le mécontenter, ヌ・パ・ル・メコントンテ 不定詞・否定(mécontenter+le)
 v.t 彼に不満を抱かせない 「動詞句」
 mais メ conj. しかし
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne voyais pas ヌ・ヴ・ワイエ・パ 1 単半・否定(voir)v.t 見えなかった 「動詞句」
 de raison ドゥ・レゾン n.f 理由は 「目的語」
 pour changer ma vie. プール・シヨンジエ・マ・ヴィー
 adj. 自分の生活を変えるための 「形容詞句」

しかし、学業を諦めなければならなかった時に、野心などは重要なことではないとすぐに理解したのだ。[C-1-5]

Mais quand j'ai dû abandonner mes études, j'ai très vite compris que tout cela était sans importance réelle.

Mais 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」
 Mais メ conj. しかし
 quand コン conj. ~した時 「副詞節」
 j' ジュ pron 僕が 「主語」
 ai dû abandonner エ・ジュ・アボントネ 1 単現・完了形・必要(devoir+不定詞)
 v.t 諦めなければならなかった 「動詞句」

文の構成要素

| | | |
|---|---------------------------------|----------|
| mes études, メ・エチュート [°] pl.n.f | 学業を | 「目的語」 |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai très vite compris エ・トレ・ヴィット・コンプリ | 1 単現・完了形(comprendre+ très vite) | |
| v.t | すぐに理解した | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| tout cela トゥ・スラ pron | それはすべて | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である |
| sans importance réelle. ソン・アンポ・ルトンス・レエル | n.f 重要ではない事実 | 「補語」 |
| sans importance adj. | 重要でない réel レエル n.m (n.f réelle) | 現実、事実、問題 |

自分としてはどちらでもいいが、彼女がそれを望むのなら、結婚しても構わないと答えた。

[C-1-5]

| | | |
|---|-------------------------------|---------|
| J'ai dit que cela m'était égal et que nous pourrions le faire si elle le voulait. | | |
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「目的語」 | |
| J' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai dit エ・ディ | 1 単現・完了形(dire)v.t | 言った |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| cela スラ pron | それは | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕にとって | 「間接目的語」 |
| était エテ | 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である |
| égal エガル adj. | どちらでもよい | 「補語」 |
| et エ conj. | そして | |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| nous ヌ pron.pl | 僕らは | 「主語」 |
| pourrions +不定詞 | プリアン 条・1 複現・語調緩和(pouvoir+不定詞) | |
| v. | ～しても構わないのだが | 「動詞句」 |
| le ル pron | 結婚を | 「目的語」 |
| faire フェール | 不定詞 v.t(行為を) する | 「動詞句」 |
| si シ conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| elle エル pron | 彼女が | 「主語」 |
| le ル pron | 結婚を | 「目的語」 |
| voulait. ヴレ | 3 単半・時制の一致(vouloir)v.t | 望む |
| | | 「動詞」 |

それは全然重要ではない、もし彼女が望むなら結婚してもよい、と僕は彼女に説明した。

[C-1-5]

Je lui ai expliqué que cela n'avait aucune importance et que si elle le désirait, nous pouvions nous marier. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「直接目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」
 ai expliqué エ・エクスプ リケ 1 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した 「動詞句」
 que ク conj. ～ということ を 「直接目的語」
 cela スラ pron それは 「主語」
 n'avait ナヴァ 3 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t ～がない 「動詞句」
 aucune importance オキュヌ・アンポ ルトヌ n.f どんな重要性も～ない 「目的語」
 et エ conj. そして
 que ク conj. ～ということ を 「直接目的語」
 si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
 elle エル pron 彼女が 「主語」
 le ル pron それを (結婚すること) 「目的語」
 désirait, デジレ 3 単半・時制の一致(desirer)v.t 望む 「動詞」
 nous ヌ pron.pl 僕らは 「主語」
 pouvions nous marier. プウヴィオン・ヌ・マリエ 1 複半・時制の一致(pouvoir+不定詞 se marier)
 v.pr 結婚してもよい 「動詞句」

もっとも、それを尋ねたのは彼女のほうで、僕のほうは「それでいい」と言っただけだ。

[C-1-5]

D'ailleurs, c'était elle qui le demandait et moi je me contentais de dire oui.
 「副詞句」, 「動詞」「補語」「主語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 D'ailleurs, ダイユール adv. そもそも、もっとも 「副詞句」
 c' ス pron 仮の主語 (真の主語は qui 以降) 強調構文
 était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
 elle エル pron 彼女 「補語」
 qui キ pron ～する人は 「主語」
 le ル pron それを 「目的語」
 demandait ドゥマンテ 3 単半(demander)v.t 尋ねた 「動詞」
 et エ conj. そして
 moi je ムワ・ジュ pron 僕のほうは 「主語」
 me contentais de dire ム・コントネ・ドゥ・ディール 1 単半(se contenter de+不定詞)
 v.t 言ったにすぎない、言っただけだ 「動詞句」

文の構成要素

se contenter de+不定詞 「～するにとどめる、～するに過ぎない」

oui. ウィー adv. 承知したと

「目的語」

また少し黙り込んだ後で、僕は風変わりだ、きっとそのせいで僕を愛しているのだろう、だがしかしきつといつか同じ理由で僕を嫌いになるかもしれない、と彼女は呟いた。

[C-1-5]

Après un autre moment de silence, elle a murmuré que j'étais bizarre, qu'elle m'aimait sans doute à cause de cela mais que peut-être un jour je la dégoûterais pour les mêmes raisons.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」, 「目的語」 mais 「目的語」

Après un autre moment de silence, アプレ・アン・オートル・モモン・ドゥ・シロンス

adv. また少し黙り込んだ後で

「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

a murmuré ア・ミュルミュレ 3 単現・完了形(murmurer)v.t つぶやいた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

bizarre, ビザール adj. 風変わりな

「補語」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

elle エル pron 彼女は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

aimait エメ 3 単半・時制の一致(aimer)v.t 愛している

「動詞」

sans doute シン・ドゥット adv. きつと

「副詞句」

à cause de cela ア・コース・ドゥ・スラ adv. そのせいで

「副詞句」

mais メ conj. しかし

que ク conj. ～ということを

「目的語」

peut-être プ・テートル adv. きつと

「副詞句」

un jour アン・ジュール adv. いつか

「副詞句」

je ジュ pron 僕が

「主語」

la ラ pron 彼女に

「目的語」

dégoûterais デグットレ 条・1 単現・推測(dégoûter)

v.t うんざりさせる、嫌いにさせるかもしれない

「動詞」

pour les mêmes raisons. プール・レ・メム・レゾン adv. 同じ理由で

「副詞句」

僕が彼女に嫌いにさせる → 彼女が僕を嫌いになる

他に言うことが無かったので黙っていると、彼女は僕の腕を取って、僕と結婚したいとはっきりと言った。[C-1-5]

Comme je me taisais, n'ayant rien à ajouter, elle m'a pris le bras en souriant et elle a déclaré qu'elle voulait se marier avec moi.

「副詞節」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 Comme コム conj. (ちょうど) ～する時に 「副詞節」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 me taisais, ム・テセ 1 単半(se taire)v.pr 黙っていた 「動詞句」
 n'ayant ネン 現在分詞・否定形・理由(avoir)v.t ～がなかったので 「副詞句」
 rien リン pron 何も～ない 「目的語」
 à ajouter, ア・アジユテ 不定詞 v.t 付け足すべき 「形容詞句」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 m' ム pron 僕の 「間接目的語」
 a pris ア・プリ 3 単現・完了形(prendre)v.t 取った 「動詞句」
 le bras ル・ブラ n.m 腕を 「直接目的語」
 en souriant オン・シリオン ジェロンディフ(sourire)v.i 微笑みながら 「副詞句」
 et エ conj. そして
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと言った 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 voulait se marier ヴレ・ス・マリエ 3 単半・願望・時制の一致(vouloir+不定詞)
 v.pr 結婚したい 「動詞句」
 avec moi. アヴェ・エツキ・ムワ adv. 僕と 「副詞句」

僕はセレストの店で夕食をとった。僕がもう食べ始めていた時に、奇妙な小柄の女が入ってきて、僕に、相席をしてもよいかと尋ねた。[C-1-5]

J'ai dîné chez Céleste. J'avais déjà commencé à manger lorsqu'il est entré une bizarre petite femme qui m'a demandé si elle pouvait s'asseoir à ma table.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞節」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai dîné エ・ディネ 1 単現・完了形(dîner)v.i 夕食をとった 「動詞句」
 chez Céleste. シェ・セレスト adv. セレストの店で 「副詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais déjà commencé à manger アヴェ・デジヤ・コモンセ・ア・モンジェ 1 単半・完了形・開始
 (commencer à+不定詞+ déjà)v.i すでに食事を始めていた 「動詞句」

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| lorsqu' ルルスキ conj. ～した時には | 「副詞節」 |
| il イル pron 仮の主語（真の主語は une bizarre petite femme） | |
| 実際の主語が長いので、仮の主語が使われた | |
| est entré エ・アントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入ってきた | 「動詞句」 |
| il が仮の主語なので、実際の主語の性別に影響されず、過去分詞は男性形のままである | |
| une bizarre petite femme エヌ・ビザール・プティット・ファム | |
| n.f 奇妙な小柄の女が | 「主語」 |
| qui キ pron （主語）そして～する | |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・ドゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| si シ conj. ～かどうかということ | 「直接目的語」 |
| elle エル pron 彼女が | 「主語」 |
| pouvait s'asseoir プゥ・ェ・サスワール 3 単半・許可(pouvoir+不定詞) | |
| v.pr 座ってもよいか | 「動詞句」 |
| à ma table. ア・マ・ターブル adv. 僕のテーブルに | 「副詞句」 |

前菜を待っている間、女はハンドバッグを開け、そこから小さな四角い紙と鉛筆を取り出し、前もって勘定を計算し、それにチップを追加した丁度の金額をポケットから取り出して、それを目の前に置いた。[C-1-5]

En attendant les hors-d'oeuvre, elle a ouvert son sac, en a sorti un petit carré de papier et un crayon, a fait d'avance l'addition, puis a tiré d'un gousset, augmentée du pourboire, la somme exacte qu'elle a placée devant elle.

| | |
|--|--------|
| 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」, 「副詞」 「動詞句」 「目的語」, | |
| 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」, 「副詞」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」 「副詞節」 | |
| En attendant オ・ナトドン ジェロンディフ(attendre)v.t 待っている間に | 「副詞句」 |
| les hors-d'oeuvre, レ・オール・ドゥ・ウール pl.n.m 前菜を | 「目的語」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| a ouvert ア・ウヴァール 3 単現・完了形(ouvrir)v.t 開けた | 「動詞句」 |
| son sac, ソン・サック n.m ハンドバッグを | 「目的語」 |
| en オン adv. そこから(de son sac) | 「副詞」 |
| a sorti ア・ソルティ 3 単現・完了形(sortir)v.t(de から) 取り出した | 「動詞句」 |
| un petit carré アン・プティ・キャレ n.m 小さな四角いものを | 「目的語」 |
| de papier ドゥ・パピエ adj. 紙の | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| un crayon, アン・クレヨン n.m 鉛筆を | 「目的語」 |
| a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t ～した | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | | | | |
|--|-------------|-------------------------|------------|---------|
| d'avance | ダヴァンス | adv. | あらかじめ、前もって | 「副詞句」 |
| l'addition, | ラディシオン | n.f | 勘定の計算を | 「目的語」 |
| puis | ピュイ | adv. | それから | 「副詞」 |
| a tiré | ア・チレ | 3 単現・完了形(tirer)v.t | 取り出した | 「動詞句」 |
| d'un gousset, | ダン・グセ | adv. | ポケットから | 「副詞句」 |
| augmentée | オグモンテ | 過去分詞・受動(augmenter)adj.f | 追加された | 「形容詞句」 |
| du pourboire, | デュ・プ・ルヴ・ワール | adv. | チップの分を | 「間接目的語」 |
| la somme | ラ・ソム | n.f | 金額を | 「目的語」 |
| exacte | エグザクトゥ | adj.f | 丁度の | 「形容詞」 |
| qu'ク | pron | (目的語) | それを〜した | 「副詞節」 |
| elle | エル | pron | 彼女は | 「主語」 |
| a placée | ア・プラセ | 3 単現・完了形.f(placer)v.t | 置いた | 「動詞句」 |
| 過去分詞 placée は「直接目的語」 la somme に性・数一致している | | | | |
| devant elle. | ドヴァン・テル | adv. | 自分の前に | 「副詞句」 |

それから女は立ち上がり、先程と同様に自動人形のように正確な仕草でジャケットを着て、出て行った。[C-1-5]

| | |
|---|---|
| <u>Puis elle s'est levée, a remis sa jaquette avec les mêmes gestes précis d'automate et elle est partie.</u> | 「副詞」「主語」「動詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」 |
| Puis ヒュイ adv. それから | 「副詞」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| s'est levée, セ・ルヴェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった | 「動詞句」 |
| a remis ア・ルミ 3 単現・完了形(remettre)v.t 再び着た | 「動詞句」 |
| sa jaquette サ・ジャケット n.f ジャケットを | 「目的語」 |
| avec les mêmes gestes précis アヴ・エッキ・レ・メーム・ジエストゥ・プレシ | |
| adv. 相変わらずの正確なしぐさで | 「副詞句」 |
| d'automate ドトマット adj. 自動人形の | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| est partie. エ・パルティ 3 単現・完了形(partir)v.i 出て行った | 「動詞句」 |

女は歩道の縁石の上に乗った、それから、信じられないほどの速度と正確さで、足を踏み外したり、振り向いたりすることもなく、縁石の上を伝って行った。[C-1-5]

Elle s'était placée sur la bordure du trottoir et avec une vitesse et une sûreté incroyables, elle suivait son chemin sans dévier et sans se retourner.

| | | | | | | | | | |
|----------------|---------------|---------------------------|---|----|-------|------|------|-------|--------|
| | 「主語」 | 「動詞句」 | 「副詞句」 | et | 「副詞句」 | 「主語」 | 「動詞」 | 「目的語」 | 「副詞句」 |
| Elle | エル | pron | 女は | | | | | | 「主語」 |
| s'était placée | セテ・プラセ | 3 単半・完了形.f(se placer)v.pr | 自分の身を置いた | | | | | | 「動詞句」 |
| | | | 過去分詞 placée は「直接目的語」 se (再帰代名詞：彼女) に性・数一致 | | | | | | |
| sur la bordure | シュール・ラ・ボルデュール | adv. | (歩道の) 縁石の上に | | | | | | 「副詞句」 |
| du trottoir | ジュ・トロットワール | adj. | 歩道の | | | | | | 「形容詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | | | | | | |
| avec | アヴェック | adv. | (様態) 〜で | | | | | | 「副詞句」 |
| une vitesse | ユヌ・ヴィテス | n.f | 速度 | | | | | | 「目的語」 |
| et | エ | conj. | そして | | | | | | |
| une sûreté | ユヌ・シュルテ | n.f | 正確さ | | | | | | 「目的語」 |
| incroyables, | アンクロワイヤブル | adj.pl | 信じられない | | | | | | 「形容詞」 |
| elle | エル | pron | 女は | | | | | | 「主語」 |
| suivait | シュイヴェ | 3 単半(suivre)v.t | (道を) たどっていった、つたっていった | | | | | | 「動詞」 |
| son chemin | ソン・シュマン | n.m | 自分の道を | | | | | | 「目的語」 |
| sans +不定詞 | ソン | adv. | 〜しないで | | | | | | 「副詞句」 |
| dévier | デヴィエ | 不定詞 v.i | (道を) 踏み外す | | | | | | 「動詞」 |
| et | エ | conj. | そして | | | | | | |
| sans +不定詞 | ソン | adv. | 〜しないで | | | | | | 「副詞句」 |
| se retourner. | ス・ルトゥルネ | 不定詞 v.pr | 振り返る | | | | | | 「動詞句」 |

動詞の利用形態について

法と時制

法とは、言語表現の内容に対する話し手の態度（見聞きしたままの事実の叙述か、主観的想定か、可能性の表現か、など）が反映された動詞の形態のことであり、時制は、その表現内容の時間的關係が動詞の形になって表れたものである。そして動詞が人称ごとに変化する、英語でいう「定形動詞」に相当するものに直説法、条件法、接続法、命令法の 4 種類の法を持つとされる。しかしこのうち条件法は、直説法過去未来と見るほうが良い。

一方、英語の「不定形動詞」に相当する不定法には、不定詞、現在分詞、過去分詞という 3 つの形がある。「不定形動詞」は文の構成要素としては、「主語」、「補語」、「動詞句」、「副詞句」あるいは「形容詞句」として利用される。

直説法

物事を見聞きし、了解したままの「事実」として述べる、もっとも広く用いられる法である。動詞そのものが活用変化する「単純時制」が 4 つ、〈助動詞 *avoir* または *être* の変化形+過去分詞〉という結合の形「複合時制」が 4 つ、計 8 つの時制が含まれている。

接続法

見聞きしたままの「(客観的) 事実」を表現する直説法に対し、接続法は、考え・感じ・願いという精神活動を介して、事物を「(主観的) 想念」の形で表す。この対立はときに、「確実・現実性 (直説法)」対「不確実・非現実性 (接続法)」の一面を持つ。同時にもっぱら従属節内で用いられるという構文上の際立った特徴を備え、ときに見られる独立節での使用は、主節が省略された従属節でのものと考えることが出来る。接続法には単純時制「現在」「半過去」と、複合時制「過去」「大過去」の 4 つの時制がある。

条件法

過去における未来、非現実の仮定、語調緩和または遠まわしの非難・後悔などの表現に用いられる。条件法には「現在」と「過去」の 2 つの時制がある。

命令法

相手に指示や依頼をするときに使用される。一人称複数および二人称単数・複数に対する活用がある。依頼や提案の表現にも利用される。

動詞の活用例

| | | | |
|-----------------|----------|------------|------------|
| aimer | エメ | vt | |
| 現在分詞 | aimant | 過去分詞 | aimé |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 |
| aime | aimais | aimai | aimerai |
| aimes | aimais | aimas | aimeras |
| aime | aimait | aima | aimera |
| aimons | aimions | aimâmes | aimerons |
| aimez | aimiez | aimâtes | aimerez |
| aiment | aimaient | aimèrent | aimeront |
| 愛する、（が）好きである、好む | | | |
| tu, nous, vousに | | | |
| 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| | aime | aimasse | aimerais |
| aime | aimes | aimasses | aimerais |
| | aime | aimât | aimerait |
| aimons | aimions | aimassions | aimerions |
| aimez | aimiez | aimassiez | aimeriez |
| | aiment | aimassent | aimeraient |

文の構成要素

| | | | |
|-----------------|-------------|------------|------------|
| finir | フィニール | ir vt | |
| 現在分詞 | finissan t | 過去分詞 | fini |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 |
| finis | finissais | finis | finirai |
| finis | finissais | finis | finiras |
| finit | finissait | finit | finira |
| finissons | finissions | finîmes | finirons |
| finissez | finissiez | finîtes | finirez |
| finissent | finissaient | finirent | finiront |
| 終わる、完成する | | | |
| tu, nous, vousに | | | |
| 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| | finisse | finisse | finirais |
| finis | finisses | finisses | finirais |
| | finisse | finit | finirait |
| finissons | finissions | finissions | finirions |
| finissez | finissiez | finissiez | finiriez |
| | finissent | finissent | finiraient |

文の構成要素

| | | | |
|-----------------|------------------|------------------|--------------------|
| prendre | ブロンドル | vt | |
| 現在分詞 | prenant | 過去分詞 | pris |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 |
| prends | prenais | pris | prendrai |
| prends | prenais | pris | prendras |
| prend | prenait | prit | prendra |
| prenons | prenions | prîmes | prendrons |
| prenez | preniez | prîtes | prendrez |
| prennent | prenaient | prirent | prendront |
| 取る、飲む | | | |
| tu, nous, vousに | | | |
| 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| | prenne | prisse | prendrais |
| prends | prennes | prisses | prendrais |
| | prenne | prît | prendrait |
| prenons | prenions | prissions | prendrions |
| prenez | preniez | prissiez | prendriez |
| | prennent | prissent | prendraient |

文の構成要素

| | | | |
|-----------------|------------|------------|-------------|
| recevoir | ルスヴォワール | vt | |
| 現在分詞 | recevan t | 過去分詞 | reçu |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 |
| reçois | recevais | reçus | recevrai |
| reçois | recevais | reçus | recevras |
| reçoit | recevait | reçut | recevra |
| recevons | recevions | reçûmes | recevrons |
| recevez | receviez | reçûtes | recevrez |
| reçoivent | recevaient | reçurent | recevront |
| 受け取る、受け入れる | | | |
| tu, nous, vousに | | | |
| 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| | reçoive | reçusse | recevrais |
| reçois | reçoives | reçusses | recevrais |
| | reçoive | reçût | recevrait |
| recevons | recevions | reçussions | recevrions |
| recevez | receiez | reçussiez | recevriez |
| | reçoivent | reçussent | recevraient |

フランス語 構文解析による学習

文の構成要素

| 時制の活用形 | er動詞の活用形 | フランス語 | | | | | |
|---------------------|---------------------|--------------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|----------------------|--------------------------------|
| 現在分詞 | -ant | 過去分詞 | -é | tu, nous, vousに | | | ?:にはa, i, uが入る。*:にはa, t, oが入る。 |
| 直・現・er動詞 | 直・半過去 | 直・単過去・er動詞 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| (je) -e | -ais | -ai | -rai | | -e | -?sse | -rais |
| (tu) -es | -ais | -as | -ras | -e | -es | -?sses | -rais |
| (il) -e | -ait | -a | -ra | | -e | -?t | -rait |
| (nous) -ons | -ions | -âmes | -rons | -ons | -ions | -?ssions | -rions |
| (vous) -ez | -iez | -âtes | -rez | -ez | -iez | -?ssiez | -riez |
| (ils) -ent | -aient | -èrent | -ront | | -ent | -?ssent | -raient |
| 時制の活用形 | er動詞以外の活用形 | ?:にはi, uが入る。*:にはt, oが入る。 | | | | | |
| 現在分詞 | -ant | 過去分詞 | -i, -u | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在・er以外 | 直・半過去 | 直・単過去・er動詞以外 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| (je) -s | -ais | -s | -rai | | -e | -?sse | -rais |
| (tu) -s | -ais | -s | -ras | -s | -es | -?sses | -rais |
| (il) -t | -ait | -t | -ra | | -e | -?t | -rait |
| (nous) -ons | -ions | -**mes | -rons | -ons | -ions | -?ssions | -rions |
| (vous) -ez | -iez | -**tes | -rez | -ez | -iez | -?ssiez | -riez |
| (ils) -ent | -aient | -srent | -ront | | -ent | -?ssent | -raient |
| 時制の活用形 | 複合時制 | | | | | | |
| 直・現在・完了 | | 直・半過去・完了 | | 直・単純過去・完了 | | 直・未来・完了 | |
| 複合過去 avoir | 複合過去 être | 大過去 avoir | 大過去 être | 前過去 avoir | 前過去 être | 前未来 avoir | 前未来 être |
| ai + pp | suis + pp | avais + pp | étais + pp | eus + pp | fus + pp | aurai + pp | serai + pp |
| as + pp | es + pp | avais + pp | étais + pp | eus + pp | fus + pp | auras + pp | seras + pp |
| a + pp | est + pp | avait + pp | était + pp | eut + pp | fut + pp | aura + pp | sera + pp |
| avons + pp | sommes + pp | avons + pp | étions + pp | eûmes + pp | fûmes + pp | aurons + pp | serons + pp |
| avez + pp | êtes + pp | aviez + pp | étiez + pp | eûtes + pp | fûtes + pp | aurez + pp | seriez + pp |
| ont + pp | sont + pp | avaient + pp | étaient + pp | eurent + pp | furent + pp | auront + pp | seront + pp |
| 時制の活用形 | 複合時制 | | | | | | |
| 接・現在・完了 | | 接・半過去・完了 | | 条・現在・完了 | | | |
| 接・過去 avoir | 接・過去 être | 接・大過去 avoir | 接・大過去 être | 条・過去 avoir | 条・過去 être | | |
| aie + pp | sois + pp | eusse + pp | fusse + pp | aurais + pp | serais + pp | | |
| aies + pp | sois + pp | eusses + pp | fusses + pp | aurais + pp | serais + pp | | |
| ait + pp | soit + pp | eût + pp | fût + pp | aurait + pp | serait + pp | | |
| ayons + pp | soyons + pp | eussions + pp | fussions + pp | aurions + pp | serions + pp | | |
| ayez + pp | soyez + pp | eussiez + pp | fussiez + pp | auriez + pp | seriez + pp | | |
| aient + pp | soient + pp | eussent + pp | fussent + pp | auraient + pp | seraient + pp | | |
| 時制の活用形 | 受動態 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 直・受動・現在 | 直・受動・複合過去 | 直・受動・半過去 | 直・受動・大過去 | 接・受動・現在 | 接・受動・複合過去 | 条・受動・現在 | 条・受動・複合過去 |
| suis + pp | ai été + pp | étais + pp | avais été + pp | sois + pp | aie été + pp | serais + pp | aurais été + pp |
| es + pp | as été + pp | étais + pp | avais été + pp | sois + pp | aies été + pp | serais + pp | aurais été + pp |
| est + pp | a été + pp | était + pp | avait été + pp | soit + pp | ait été + pp | serait + pp | aurait été + pp |
| sommes + pp | avons été + pp | étions + pp | avons été + pp | soyons + pp | ayons été + pp | serions + pp | aurions été + pp |
| êtes + pp | avez été + pp | étiez + pp | aviez été + pp | soyez + pp | ayez été + pp | seriez + pp | auriez été + pp |
| sont + pp | ont été + pp | étaient + pp | avaient été + pp | soient + pp | aient été + pp | seraient + pp | auraient été + pp |
| 時制の活用形 | s'habiller | v pr | 服を着る | 再帰動詞・単純時制 | 再帰的用法 | | |
| | | | | | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| m'habille | m'habillais | m'habillai | m'habillerai | | m'habille | m'habillasse | m'habillerais |
| t'habilles | t'habillais | t'habillais | t'habilleras | | t'habilles | t'habillasses | t'habillerais |
| s'habille | s'habillait | s'habilla | s'habillera | | s'habille | s'habillât | s'habillerait |
| nous habillons | nous habillions | nous habillâmes | nous habillerons | | nous habillons | nous habillassions | nous habillerions |
| vous habillez | vous habilliez | vous habillâtes | vous habillerez | | vous habillez | vous habillassiez | vous habilleriez |
| s'habillent | s'habillaient | s'habillèrent | s'habilleront | | s'habillent | s'habillassent | s'habilleraient |
| 時制の活用形 | se connaître | v pr | 知り合う | 再帰動詞・単純時制 | 相互的用法 | | |
| | | | | | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| me connais | me connaissais | me connus | me connaîtrai | | me connaisse | me connusse | me connaîtrais |
| te connais | te connaissais | te connus | te connaîtras | | te connaites | te connusses | te connaîtrais |
| se connaît | se connaissait | se connut | se connaîtra | | se connait | se connût | se connaîtrait |
| nous connaissons | nous connaissions | nous connus | nous connaîtrons | | nous connaissons | nous connussions | nous connaîtrions |
| vous connaissez | vous connaissiez | vous connus | vous connaîtrez | | vous connaissez | vous connussiez | vous connaîtreiez |
| se connaissent | se connaissaient | se connurent | se connaîtront | | se connaissent | se connussent | se connaîtraient |
| 時制の活用形 | se coucher | v pr | 寝る | 再帰動詞・複合時制 | ← 助動詞は être | | |
| 直・現在・完了 | 直・半過去・完了 | 直・単純過去・完了 | 直・未来・完了 | 接・現在・完了 | 接・半過去・完了 | 条・現在・完了 | |
| 複合過去 être | 大過去 être | 前過去 être | 前未来 être | 接・過去 être | 接・大過去 être | 条・過去 être | |
| me suis couché | m'étais couché | me fus couché | me serai couché | me sois couché | me fusse couché | me serais couché | |
| t'es couché | t'étais couché | te fus couché | te seras couché | te sois couché | te fusses couché | te serais couché | |
| s'est couché | s'était couché | se fut couché | se sera couché | se soit couché | se fût couché | se serait couché | |
| nous sommes couchés | nous étions couchés | nous fûmes couchés | nous serons couchés | nous soyons couchés | nous fussions couchés | nous serions couchés | |
| vous êtes couchés | vous étiez couchés | vous fûtes couchés | vous serez couchés | vous soyez couchés | vous fussiez couchés | vous seriez couchés | |
| se sont couchés | s'étaient couchés | se furent couchés | se seront couchés | se soient couchés | se fussent couchés | se seraient couchés | |

フランス語 構文解析による学習

文の構成要素

| aboutir | アブティール | vi | (に)達する、届く、拂着する、成功する | | | | finir |
|---------------|-----------------|---------------|---------------------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 現在分詞 | aboutissant | 過去分詞 | abouti | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| aboutis | aboutissais | aboutis | aboutirai | | aboutisse | aboutisse | aboutirais |
| aboutis | aboutissais | aboutis | aboutiras | aboutis | aboutisses | aboutisses | aboutirais |
| aboutit | aboutissait | aboutit | aboutira | | aboutisse | aboutit | aboutirait |
| aboutissons | aboutissions | aboutîmes | aboutirons | aboutissons | aboutissions | aboutissions | aboutirions |
| aboutissez | aboutissiez | aboutîtes | aboutirez | aboutissez | aboutissiez | aboutissiez | aboutiriez |
| aboutissent | aboutissaient | aboutirent | aboutiront | | aboutissent | aboutissent | aboutiraient |
| accepter | アクセプテ | vt | 受け取る、受け入れる、認める | | | | aimer |
| 現在分詞 | acceptant | 過去分詞 | accepté | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| accepte | acceptais | acceptai | accepterai | | accepte | acceptasse | accepterais |
| acceptes | acceptais | acceptas | accepteras | accepte | acceptes | acceptasses | accepterais |
| accepte | acceptait | accepta | acceptera | | accepte | acceptât | accepterait |
| acceptons | acceptions | acceptâmes | accepterons | acceptons | acceptions | acceptassions | accepterions |
| acceptez | acceptiez | acceptâtes | accepterez | acceptez | acceptiez | acceptassiez | accepteriez |
| acceptent | acceptaient | acceptèrent | accepteront | | acceptent | acceptassent | accepteraient |
| accomplir | アコンプリール | vt | やり遂げる、実現する、果たす | | | | finir |
| 現在分詞 | accomplissant | 過去分詞 | accompli | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| accomplis | accomplissais | accomplis | accomplirai | | accomplisse | accomplisse | accomplirais |
| accomplis | accomplissais | accomplis | accompliras | accomplis | accomplisses | accomplisses | accomplirais |
| accomplit | accomplissait | accomplit | accomplira | | accomplisse | accomplit | accomplirait |
| accomplissons | accomplissions | accomplîmes | accomplirons | accomplissons | accomplissions | accomplissions | accomplirions |
| accomplissez | accomplissiez | accomplîtes | accomplirez | accomplissez | accomplissiez | accomplissiez | accompliriez |
| accomplissent | accomplissaient | accomplirent | accompliront | | accomplissent | accomplissent | accompliraient |
| accroître | アクロワトル | vt | 増大させる、増加させる | | | | croître |
| 現在分詞 | accroissant | 過去分詞 | accru | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| accrois | accroissais | accrus | accroîtrai | | accroisse | accrusse | accroitrais |
| accrois | accroissais | accrus | accroîtras | accrois | accroisses | accrusses | accroitrais |
| accroît | accroissait | accrut | accroîtra | | accroisse | accrût | accrotrait |
| accroissons | accroissions | accrûmes | accroîtrons | accroissons | accroissions | accrussions | accroîtrions |
| accroissez | accroissiez | accrûtes | accroîtrez | accroissez | accroissiez | accrussiez | accrotriez |
| accroissent | accroissaient | accurent | accroîtront | | accroissent | accrussent | accrotraient |
| accueillir | アキュール | vt | 迎える、受け入れる | | | | cueillir |
| 現在分詞 | accueillant | 過去分詞 | accueilli | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| accueille | accueillais | accueillis | accueillerai | | accueille | accueillisse | accueillerais |
| accueilles | accueillais | accueillis | accueilleras | accueille | accueilles | accueillisses | accueillerais |
| accueille | accueillait | accueillit | accueillera | | accueille | accueillît | accueilleraient |
| accueillons | accueillions | accueillîmes | accueillerons | accueillons | accueillions | accueillissions | accueillerions |
| accueillez | accueilliez | accueillîtes | accueillerez | accueillez | accueilliez | accueillissiez | accueilleriez |
| accueillent | accueillient | accueillirent | accueilleront | | accueillent | accueillissent | accueilleraient |
| acheter | アシュテ | * er vt | 買う | | | | acheter |
| 現在分詞 | achetant | 過去分詞 | acheté | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| achète | achetais | achetai | achèterai | | achète | achetasse | achèterais |
| achètes | achetais | achetas | achèteras | achète | achètes | achetasses | achèterais |
| achète | achetait | acheta | achètera | | achète | achetât | achèterait |
| achetons | achetions | achetâmes | achèterons | achetons | achetions | achetassions | achèterions |
| achetez | achetiez | achetâtes | achèterez | achetez | achetiez | achetassiez | achèteriez |
| achètent | achetaient | achetèrent | achèteront | | achètent | achetassent | achèteraient |
| acquérir | アケリール | vt | 獲得する、入手する | | | | acquérir |
| 現在分詞 | acquérant | 過去分詞 | acquis | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| acquiers | acquérais | acquis | acquerrai | | acquière | acquisse | acquerrais |
| acquiers | acquérais | acquis | acquerras | acquiers | acquières | acquisses | acquerrais |
| acquiert | acquérirait | acquît | acquerra | | acquière | acquît | acquerrait |
| acquérons | acquérions | acquîmes | acquerrons | acquérons | acquérions | acquissions | acquerrions |
| acquérez | acquériez | acquîtes | acquerez | acquérez | acquériez | acquissiez | acqueriez |
| acquière | acquieraient | acquient | acquerront | | acquière | acquissent | acquerraient |
| agir | アジュール | vi | 振舞う、行動する、作用する | | | | finir |
| 現在分詞 | agissant | 過去分詞 | agi | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| agis | agissais | agis | agirai | | agisse | agisse | agirais |
| agis | agissais | agis | agiras | agis | agisses | agisses | agirais |
| agit | agissait | agit | agira | | agisse | agit | agirait |
| agissons | agissions | agîmes | agirons | agissons | agissions | agissions | agirions |
| agissez | agissiez | agîtes | agirez | agissez | agissiez | agissiez | agiriez |
| agissent | agissaient | agirent | agiront | | agissent | agissent | agiraient |

フランス語 構文解析による学習

文の構成要素

| étudier | エテューディエ | vt | 勉強する、学ぶ、習う、練習する、調査する | | | | aimer |
|------------|--------------|--------------|-------------------------|-----------------|-------------|----------------|----------------|
| 現在分詞 | étudiant | 過去分詞 | étudié | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| étudie | étudiais | étudiai | étudierai | | étudie | étudiasse | étudierais |
| études | étudiais | étudias | étudieras | étude | études | étudiasse | étudierais |
| étudie | étudiait | étudia | étudiera | | étudie | étudiât | étudierait |
| études | étudiions | étudiâmes | étudierons | études | étudiions | étudiassions | étudierions |
| étudiez | étudiez | étudiâtes | étudierez | étudiez | étudiez | étudiassiez | étudieriez |
| étudiant | étudiaient | étudièrent | étudieront | | étudiant | étudiassent | étudieraient |
| exagérer | エグザジェレ | vt | 誇張する、極端にする | | | | préférer |
| 現在分詞 | exagérant | 過去分詞 | exagéré | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| exagère | exagérais | exagérai | exagèrerais | | exagère | exagérasse | exagèrerais |
| exagères | exagérais | exagéras | exagèreras | exagère | exagères | exagérasse | exagèrerais |
| exagère | exagérait | exagéra | exagèrera | | exagère | exagérait | exagèrerait |
| exagérons | exagérons | exagérames | exagèrerons | exagérons | exagérons | exagéraissions | exagèrerions |
| exagérez | exagériez | exagéraîtes | exagèrerez | exagérez | exagériez | exagéraissiez | exagèreriez |
| exagèrent | exagéraient | exagèrent | exagèreraient | | exagèrent | exagéraissent | exagèreraient |
| excuser | エクスキゼ | vt | 許す、弁護する、弁解をする | | | | aimer |
| 現在分詞 | excusant | 過去分詞 | excusé | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| excuse | excusais | excusai | excuserai | | excuse | excusasse | excuserais |
| excuses | excusais | excusas | excuseras | excuse | excuses | excusasses | excuserais |
| excuse | excusait | excusa | excusera | | excuse | excusât | excuserait |
| excusons | excusions | excusâmes | excuserons | excusons | excusions | excusassions | excuserions |
| excusez | excusiez | excusâtes | excuserez | excusez | excusiez | excussassiez | excuseriez |
| excusent | excusaient | excusèrent | excuseront | | excusent | excussassent | excuseraient |
| exercer | エグゼルセ | vt | 訓練する | | | | placer |
| 現在分詞 | exerçant | 過去分詞 | exercé | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| exerce | exerçais | exerçai | exercerais | | exerce | exerçasse | exercerais |
| exerces | exerçais | exerças | exerceras | exerce | exerces | exerçasses | exercerais |
| exerce | exerçait | exerça | exercera | | exerce | exerçât | exercerait |
| exerçons | exercions | exercâmes | exercerons | exerçons | exercions | exercissions | exercerions |
| exercez | exerciez | exercâtes | exercerez | exercez | exerciez | exercassiez | exerceriez |
| exercent | exerçaient | exerchèrent | exerceront | | exercent | exercassent | exerceraient |
| exiger | エグズィジェ | vt | 要求する、求める、必要とする | | | | changer |
| 現在分詞 | exigeant | 過去分詞 | exigé | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| exige | exigeais | exigeai | exigerais | | exige | exigeasse | exigerais |
| exiges | exigeais | exigeas | exigeras | exige | exiges | exigeasses | exigerais |
| exige | exigeait | exigea | exigera | | exige | exigeât | exigerait |
| exigeons | exigions | exigeâmes | exigerons | exigeons | exigions | exigeassions | exigerions |
| exigez | exigiez | exigeâtes | exigerez | exigez | exigiez | exigeassiez | exigeriez |
| exigent | exigeaient | exigèrent | exigeront | | exigent | exigeassent | exigeraient |
| expliquer | エクスプリケ | vt | 説明する、解説する、教える | | | | aimer |
| 現在分詞 | expliquant | 過去分詞 | expliqué | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| explique | expliquais | expliquai | expliquerais | | explique | expliquasse | expliquerais |
| expliques | expliquais | expliquas | expliqueras | explique | expliques | expliquasses | expliquerais |
| explique | expliquait | expliqua | expliquera | | explique | expliquât | expliquerait |
| expliquons | expliquions | expliquâmes | expliquerons | expliquons | expliquions | expliquassions | expliquerions |
| expliquez | expliquiez | expliquâtes | expliquerez | expliquez | expliquiez | expliquassiez | expliqueriez |
| expliquent | expliquaient | expliquèrent | expliqueront | | expliquent | expliquassent | expliqueraient |
| faire | フェール | vt | する、作る | | | | faire |
| 現在分詞 | faisant | 過去分詞 | fait | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| fais | faisais | fis | ferai | | fasse | fisse | ferais |
| fais | faisais | fis | feras | fais | fasses | fisses | ferais |
| fait | faisait | fit | fera | | fasse | fit | ferait |
| faisons | faisions | fîmes | ferons | faisons | fassions | fissions | ferions |
| faites | faisiez | fîtes | ferez | faites | fassiez | fissiez | feriez |
| font | faisaient | firent | feront | | fassent | fissent | feraient |
| fermer | フェルメ | vt | 閉じる、閉める、(店を)休む、(電気を)止める | | | | aimer |
| 現在分詞 | fermant | 過去分詞 | fermé | tu, nous, vousに | | | |
| 直・現在 | 直・半過去 | 直・単純過去 | 直・単純未来 | 命・現在 | 接・現在 | 接・半過去 | 条・現在 |
| ferme | fermais | fermai | fermerai | | ferme | fermasse | fermerais |
| fermes | fermais | fermas | fermeras | ferme | fermes | fermasses | fermerais |
| ferme | fermait | ferma | fermera | | ferme | fermât | fermerait |
| fermons | fermions | fermâmes | fermerons | fermons | fermions | fermassions | fermerions |
| fermez | fermiez | fermâtes | fermerez | fermez | fermiez | fermassiez | fermeriez |
| ferment | fermaient | fermèrent | fermeront | | ferment | fermassent | fermeraient |

文の構成要素

動詞の用法

直説法・現在の用法

- 現在の事柄：「～する」「～している」
- 確実な未来の事柄

直説法・複合過去（現在完了）の用法

現在と何らかのつながりを持つ過去の事柄を表します。

現在完了 ← avoirまたはêtreの現在形 + 過去分詞（語尾は不変）

- 現在の時点で完了した行為：「もう～してしまった」
- 現在と関係のあるまだ過ぎ去っていない期間内（今日、今週、今月、今年など）の行為
- 現在までの経験を表します

直説法・半過去の用法

- 過去における継続的行為・状態を表す。
- 過去における習慣・反復的行為を表す。
- 描写
- 過去における現在

直説法・大過去（半過去完了）の用法

半過去の完了形で、過去のある時点より前に行われた事柄を表す時制です。

半過去完了 ← avoirまたはêtreの半過去形 + 過去分詞（語尾は不変）

- 過去のある時点までに完了した行為：「(その時まで)に すでに～してしまっていた」
- 過去のある時点までの経験：「(その時まで)に すでに～したことがあった」

直説法・単純過去（過去）の用法

- 単純過去は新聞や小説などで過去の出来事を客観的に述べるときに使われます。

直説法・前過去（過去完了）の用法

一般に従属節において用いられ、単純過去に示される主節の直前に完了した行為を示す。

単純過去完了 ← avoirまたはêtreの単純過去形 + 過去分詞（語尾は不変）

直説法・単純未来（未来）の用法

- 未来の事柄に対する推量や話し手の意志を表します：「～するだろう・～するつもりだ」
- 現在の事柄についての推量を表します：「～だろう」

直説法・前未来（未来完了）の用法**未来完了 ← avoirまたはêtreの単純未来形 + 過去分詞（語尾は不変）**

- 未来のある時点までに完了していると推測される行為や状態を表します：「（そのときには）～してしまっているだろう」
- 現在完了の推量を表します：「（今頃はもう）～してしまっているだろう」

接続法・現在の用法

接続法は特定の主動詞に導かれた従属節の中とか命令の表現などに使われます。

接続法は「不確かな」あるいは「まだ実現していない」事柄を話し手の頭の中で考えられたこととして**主観的に述べる表現法**です。形式上は、接続詞（que など）に導かれる従属節（名詞節・形容詞節・副詞節）の中で、

特定の表現 + que + 接続法

という構文でよく用いられます。

- 名詞節で、主節の動詞が「願望・依頼・勧告・命令・許可・禁止」など意志を表すとき。
- 名詞節で、主節の動詞が「疑惑・否定」などを表すとき。
- 名詞節で、主節の動詞が喜怒哀楽・恐れなどの「感情」を表すとき。
- 名詞節で、主節が「必要性・可能性」など価値判断を表す無人称表現で。
- 関係代名詞 que などによって導かれる形容詞節で、関係詞の内容が「不特定」または「否定」の意味を表すとき。
- 「目的」を表す副詞節で。
- 「時」を表す副詞節で、内容が未来のとき。
- 「譲歩」を表す副詞節で、内容が仮定的なとき及び慣用表現で。

接続法・過去（現在完了）の用法**接続法現在完了 ← avoirまたはêtreの接続法現在形 + 過去分詞（語尾は不変）**

接続法現在に「完了」の意味が加わった時制で、接続法現在と同様に、接続法が要求される従属節の中で用いられます。

文の構成要素

接続法・半過去の用法

- 主節が過去あるいは条件法の時に、接続法半過去や大過去が用いられます。

接続法・大過去（半過去完了）の用法

接続法半過去完了 ← avoirまたはêtreの接続法半過去形 + 過去分詞（語尾は不変）

接続法半過去に「完了」の意味が加わった時制で、接続法が要求される従属節の中で用いられる。

| 主節 | 従属節 | |
|-----------|---------|-----------|
| | 同時または未来 | 過去または未来完了 |
| 直説法現在・未来 | 接続法現在 | 接続法過去 |
| 直説法過去、条件法 | 接続法半過去 | 接続法大過去 |

条件法・現在の用法（過去未来）

- 現在または未来の事実に対する仮定の帰結
- 現在または未来の語調緩和
- 過去における未来
- 間接話法における条件法現在

条件法・過去（現在完了）の用法（過去未来完了）

条件法過去 ← avoirまたはêtreの条件法現在形 + 過去分詞（語尾は不変）

- 過去の事実に対する仮定の帰結

| 条件節 | 主節（帰結文） |
|--------------|---------|
| Si + 直説法大過去, | 条件法過去 |

- 過去の語調緩和
- 過去の推測
- 過去における未来完了
- 間接話法における条件法過去

条件法 現在・過去 : 用法の文例

条件法は、事実の反対を仮定して語るときに使用する叙法です。

- 現在または未来の事実に対する仮定の帰結

仮定を表す条件節は〈si+直説法半過去〉で示され、その帰結文である主節に〈条件法現在〉が用いられます。

Si le général n'obéissait pas, ce ne **serait** pas la faute du général.

もし将軍が従わないとしても、それは彼の過失ではないであろう。

文の構成要素

- 現在または未来の語調緩和

Je **voudrais** voir un coucher de soleil. 僕は夕陽が見たいんです。

- 現在または未来の推測、反語

Pourquoi un chapeau **ferait-il** peur? どうして帽子が怖いんだね?

- 過去における未来

主節が過去時制のとき、従属節に用いられて、過去における未来を表します。

Je pensais qu'ils se **marieraient**. 彼らが結婚するだろうと思っていた。

- 間接話法における条件法現在

主節が過去時制のとき、直接話法を間接話法に変えると、〈時制の一致〉により、従属節の直説法単純未来が条件法現在に変わります。

Il m'a dit qu'il **voyagerait** en Europe. 彼はヨーロッパ旅行をするだろうと言った。

(Il m'a dit: 《Je voyagerai en Europe.》) 直接話法

- 条件法過去 (avoir/être の条件法現在+過去分詞) の用法

- ・ 過去の事実に反する仮定の帰結

S'il avait fait beau, nous **serions allés** à la montagne.

晴れていれば僕たちは山へ行っただろうに。(そうならなかった)

- ・ 過去の語調緩和

J'**aurais voulu** acheter ces bijoux. そのアクセサリーを買いたかったのに。

- ・ 過去の推測

Il y **aurait eu** un grave accident. 大きな事故があっただろう。

- 主節が過去時制の時、従属節に〈時制の一致〉として用いられて、過去における未来完了を表します。

Je croyais qu'elle **serait rentrée** avant onze heures.

私は彼女が 11 時までには帰っているだろうと思っていた。

- 主節が過去時制の時、直接話法を間接話法に変えると、〈時制の一致〉によって、従属節の直説法前未来が条件法過去に変わります。

Il m'a dit qu'il **aurait fini** son travail quand je reviendrais.

彼は僕が戻ってくるときには自分の仕事を終えているだろうと言った。

命令法

動詞は tu, nous, vous に対する 3 種類の命令形を持っています。

直説法現在の活用形から主語を除いた形が命令法になります。

| | tuに対して | nousに対して | vousに対して |
|---------|--------|-----------|----------|
| 動詞 | ～しなさい | ～しましょう | ～してください |
| aimer | aime | aimons | aimez |
| venir | viens | venons | venez |
| finir | finis | finissons | finissez |
| donner | donne | donnons | donnez |
| aller | va | allons | allez |
| faire | fais | faisons | faites |
| avoir | aie | ayons | ayez |
| être | sois | soyons | soyez |
| savoir | sache | sachons | sachez |
| vouloir | veille | veillons | veuillez |

nous に対する命令形は「～しましょう」という勧誘の意味になります。

否定命令は動詞を ne...pas (plus, jamais)ではさみ、動作の禁止を意味します。

命令法の例文

S'il vous plaît... **dessine**-moi un mouton! お願いします... 僕にヒツジの絵をかいて！

Allons voir un coucher de soleil... 夕陽を見に行こうよ...

J'ai soif aussi... **cherchons** un puits... 僕も、のどが渴いている... 井戸を探しに行こうよ...

Soyez mes amis, je suis seul. 友達になってよ、ぼく、ひとりぼっちなんだ。

Ayons du courage. 勇気をもとう。

N'**aie** pas peur. 怖がるな。

Ne **traîne** pas comme ça, c'est agaçant.

そんなふうにぐずぐずいてはだめよ。いらいらしてくるじゃないの。

Je vais repartir! --- Ne **pars** pas.

また旅に出ます。—— 去ってはいかん。

使役・放任・知覚動詞

使役・放任・知覚動詞の構文は、「主語」「動詞」「目的語」「補語」の形となり、
「補語」は動詞の不定詞や過去分詞または現在分詞が用いられて、「目的語」の動作を表す。
使役・放任の場合には、「動詞」+「補語」を「動詞句」として翻訳することが多い。
この構文で補語が形容詞の場合は、目的語の性質・状態などを表す。

laisser 使役・放任

laisser qn [qch]+不定詞

(人)に自由に～させておく、～させる、～するがままにしておく

不定詞が自動詞の時：

J'ai **laissé gagner** ma fille. 私は（ゲームで）娘を勝たせておいた。

Je les ai **laissé partir**. 私は彼らを立ち去るに任せた。

不定詞が他動詞の時：

Il **laisse croire** qu'il est riche. 彼は金持ちであることを暗ににおわせている。

J'ai **laissé Marie faire** la vaisselle. 私はマリーに食器を洗わせておいた。

faire 使役

faire+不定詞 ～させる

注意：複合時制の時、女性形の目的語が先に有っても、過去分詞 **fait** は性・数一致しない。

不定詞が自動詞の時：

Le soleil **fait fondre** la neige. 太陽が雪を溶かす。

Il nous a **fait entrer**. 彼は我々を中へ入らせた。(fait は不変)

Cette chanson le [lui] **faisait songer** à sa jeunesse.

この歌は彼に若いころのことを思わせた。

不定詞が他動詞の時：

On a **fait soigner** les blessés. 負傷者の手当てをさせた。

Faites-les soigner. 彼らの手当てをさせなさい。

Je **ferai faire** cette réparation à un spécialiste.

私はこの修理を専門家にやらせるつもりだ。

Faites-le (s')asseoir. 彼を座らせなさい。

(不定詞が代名動詞の時、再帰代名詞 **se** は省略されることが多いが、文意を明らかにするために残すこともある)

知覚動詞 : **écouter, entendre, regarder, voir, sentir** など

知覚動詞 qn [qch] +不定詞

(人) (何) が～するのが聞こえる (見える...)

On **entend** les merles **siffler**. (siffler les merles も可) つぐみがさえずるのが聞こえる。

Il **regardait** la neige **tomber**. (tomber la neige も可) 彼は雪が降るのを眺めていた。

Je **vois** Michel **marcher** dans la rue. ミシェルが通りを歩いているのが見える。

Je n'aime pas **voir souffrir**. 私は人が苦しむのを見るのは嫌いだ。

(voir の主語となる目的語なしで)

Je l'ai souvent **vue pleurer**. 私はよく彼女が泣いているのを見た。

(l'が女性の場合、過去分詞 vu が性・数一致する)

sentir la terre **trembler** (trembler la terre も可) 地面が揺れるのを感じる

Il **sentait** le sommeil le **gagner**. 彼は眠気が襲ってくるのを感じた。

「動詞」の例文

直説法・現在と直説法現在完了

「それでは、君に家のすべての鍵を預けよう。」[A-2]

Je vous confie donc les différentes clefs de la maison :

《「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」》

Je ジュ pron 私は

「主語」

vous ヴ pron 君に

「間接目的語」

confie コンフィ 1 単現(**confier**)v.t 預ける

「動詞」

donc ドン adv. それでは

「副詞」

les différentes clefs レ・ディフェント・クレ pl.n.f 様々なカギを、全ての鍵を

「直接目的語」

de la maison : ド・ラ・メゾン adj. 家の

「形容詞句」

「これは宝石を保管している金庫の鍵だ。」[A-2]

voilà celles de mon coffret où je range mes pierres précieuses,

《「副詞句」》

voilà ヴ わー adv. これは～だ

「副詞句」

celles セル pl.pron 鍵

「目的語」

de mon coffret ド・モン・コッフレ adj. 金庫の

「形容詞句」

où ウ pron ～する

「形容詞節」

je ジュ pron 私が

「主語」

range ロンジュ 1 単現(**ranger**)v.t しまっている

「動詞」

mes pierres précieuses, メ・ピエール・プレシユーズ

pl.n.f 宝石を

「目的語」

「この小さい鍵は、大きい廊下の突き当りにある小部屋の鍵だ。」[A-2]

《Cette petite clef est celle du cabinet au bout de la grande galerie.

《「主語」「動詞」「補語」》

Cette petite clef セット・プチット・クレ n.f この小さい鍵は

「主語」

est エ 3 単現(**être**)v.i ～である

「動詞」

celle du cabinet セル・ジュ・キャビネ pron.f 小部屋の鍵

「補語」

au bout オ・ブ adv. 突き当りにある

「副詞句」

de la grande galerie. ド・オ・ラ・グロント・カ・ギャラー adj. 大きい廊下の

「形容詞句」

「鍵を自由に使っても構わない。」[A-2]

vous pourrez vous en servir librement.

《「主語」「動詞句」「副詞」》

vous ヴ pron 君は

「主語」

文の構成要素

pourrez +不定詞 プレ 2 複現・許可(pouvoir+不定詞)v. ～しても構わない 「動詞句」
 vous en servir ヴ・ゾン・セルヴ ィール 不定詞(se servir+en)
 v.pr それらを使う 「動詞句」
 se servir ス・セルヴ ィール v.pr 使う en すべての鍵のうちのどれでも
 librement. リーフルモン adv. 自由に 「副詞」

「そしてこれなんて、金メッキで縁取りされたこの鏡に気がつきましたか？」[A-2]

--- Ca alors! Avez-vous remarqué ce miroir avec ses bordures de vermeil!》
 《「感嘆」 | 「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》
 Ca alors! サ・アロー adv. そしてこれなんて 「感嘆」
 Avez ...remarqué アヴ・ェ...ルマルケ 2 複現・完了形(remarquer)v.t 気づきましたか? 「動詞句」
 vous ヴ pron 皆さん 「主語」
 ce miroir ス・ミルワール n.m この鏡に 「目的語」
 avec ses bordures アヴ・ェッキ・セ・ホルジュール adj. 縁取りが付いた 「形容詞句」
 de vermeil! トゥ・ヴェルメイユ adj. 銀に金メッキをした 「形容詞句」

「あなたが戻られて、とても嬉しいわ！」[A-2]

《Que je suis contente de vous retrouver!》 《「副詞」「主語」「動詞」「補語」「副詞句」》
 Que ク int. なんと、とても（強調） 「副詞」
 je ジュ pron 私は 「主語」
 suis シュイ 1 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 contente コントント adj.f 嬉しい 「補語」
 je が女性なので content が女性形になっている
 de +不定詞 トゥ adv. (原因) ～して 「副詞句」
 vous retrouver! ヴ・ルトゥルヴ・ェ 不定詞(se retrouver)
 v.pr あなたが戻って来る 「動詞句」
 再帰代名詞がこの動作の主語を示している

「おや！小部屋の鍵が見当たらないぞ。」と彼が尋ねた。「どこにあるのかね？」[A-2]

《Tiens, je ne trouve pas la clef du cabinet, demanda-t-il. Où est-elle donc?》
 《「感嘆」「主語」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞」「動詞」「主語」「副詞」》
 Tiens, テイヤン int. おや 「感嘆」
 je ジュ pron 私は 「主語」
 ne trouve pas ス・トルヴ・パ 1 単現・否定(trouver)v.t 見当たらない 「動詞句」
 la clef du cabinet, ラ・クレ・ジュ・キャビネ n.f 小部屋の鍵が 「目的語」
 demanda トゥモンタ 3 単過(demander)v.t 尋ねた 「動詞」

文の構成要素

| | |
|--------------------------|------|
| il. イル pron 彼は | 「主語」 |
| Où ウ adv. どこに | 「副詞」 |
| est エ 3 単現(être)v.i 〜にある | 「動詞」 |
| elle エル pron 鍵は | 「主語」 |
| donc? トン adv. それじゃあ | 「副詞」 |

「さあ、私には分かりません…」妻はほとんど目を上げることができませんでした。

[A-2]

--- Je ne sais pas ... La femme ne pouvait à peine lever les yeux.

《「主語」「動詞句」》, 「主語」「動詞句」「目的語」

| | |
|--|-------|
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| ne sais pas ... ヌ・セ・パ° 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない、知らない | 「動詞句」 |
| La femme ラ・ファム n.f 妻は | 「主語」 |
| ne pouvait à peine lever ヌ・プ°ウ°ェ・ア・ペ°ーヌ・ル°ェ 3 単半・否定(pouvoir+不定詞) v.t ほとんど上げることが出来なかった | 「動詞句」 |
| à peine ア・ペ°ーヌ ほとんど〜ない (否定文で pas の代わりに用いる) | |
| les yeux. レ・ジウ pl.n.m 目を | 「目的語」 |

「死ななければならないのなら」と妻は答えた。「少し時間を下さい、せいぜい神に祈るための時間だけでも！」[A-2]

--- Puisqu'il faut mourir, répondit la femme, laissez-moi un peu de temps, juste le temps de prier Dieu. 《「副詞節」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

Puisqu' ピュイスク conj. 〜である以上、〜ならば 「副詞節」

il faut mourir, イフオ・ムール 3 単現・必要(falloir+不定詞)

v.i 死ななければならない 「動詞句」

répondit レポンドィ 3 単過(répondre)v.i 答えた 「動詞」

la femme, ラ・ファム n.f 妻は 「主語」

laissez レセ 命・2 複現(laisser)v.t 残してください、与えてください 「動詞」

moi ムワ pron 私に 「間接目的語」

un peu de temps, アン・プ°・トゥ・トン n.m 時間を少し 「直接目的語」

juste le temps de prier Dieu. ジュスト・ル・トン・トゥ・プリエ・ディウ

n.m せいぜい神に祈るための時間 「直接目的語」

「私には、きらめいている空と緑に色づいている草しか見えないわ。」[A-2]

--- Je vois seulement le soleil qui poudroie et l'herbe qui verdoie.》

《「主語」「動詞」「副詞」「目的語」》

文の構成要素

| | |
|---|--------|
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| vois ヴワ 1 単現(voir)v.t 見える | 「動詞」 |
| seulement スルモン adv. ～だけ、～しか... ない | 「副詞」 |
| le soleil ル・ソレイユ n.m 空だけが | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| poudroie プトロワ 3 単現(poudroyer)v.i きらめいている | 「動詞」 |
| et エ conj. そして | |
| l'herbe レルブ n.f 草が | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| verdoie. ヴェルトワ 3 単現(verdoyer)v.i 緑に色づいている | 「動詞」 |

「お前は、すぐに降りてくるのか、来ないのか？青ひげの声はますます高くなった。」

[A-2]

《Tu vas descendre, oui ou non?! La voix de la Barbe Bleue s'élevait de plus en plus.

《「主語」「動詞句」「確認」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」》

| | |
|--|-------|
| Tu チュ pron お前は | 「主語」 |
| vas descendre, ヴァ・デ・ソントル 2 単現・近未来(aller+不定詞) | |
| v.i すぐ降りてくる | 「動詞句」 |
| oui ou non?! ウィ・ウ・ノン adv. そうなのか？違うのか？ | 「確認」 |
| La voix de la Barbe Bleue ラ・ヴワ・ト・ウ・ラル・バルブ・ブルー n.f 青ひげの声は | 「主語」 |
| s'élevait セルヴェ 3 単半(s'élever)v.pr 高くなった | 「動詞句」 |
| de plus en plus. ト・ウ・プリュ・ゾン・プリュ adv. ますます、次第に | 「副詞句」 |

「今、参ります！」と妻は答えた。「アンヌ、アンヌ姉さん！今も、まだ何も見えないの？」

[A-2]

--- J'arrive, répondit la femme. Anne, ma soeur Anne! Et maintenant, ne vois-tu toujours rien venir?

《「主語」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「呼びかけ」

Et 「副詞」「動詞句」「主語」「副詞」「目的語」「補語」》

| | |
|---|--------|
| J' ジュ pron 私は | 「主語」 |
| arrive, アリヴ 1 単現・近未来(arriver)v.i すぐ行きます | 「動詞」 |
| répondit レボンティ 3 単過(répondre)v.i 答えた | 「動詞」 |
| la femme. ラ・ファム n.f 妻は | 「主語」 |
| Anne, ma soeur Anne! アンヌ・マ・セル・アンヌ adv. 「アンヌ、アンヌ姉さん」 | 「呼びかけ」 |
| Et エ conj. そして | |
| maintenant, マントゥノン adv. 今は | 「副詞」 |
| ne vois ヌ・ヴワ 2 単現・否定(voir)v.t 見えない | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | |
|----------------------------|-------|
| tu チュ pron あなたは | 「主語」 |
| toujours トゥジュール adv. 相変わらず | 「副詞」 |
| rien リヤン pron 何も～ない | 「目的語」 |
| venir? ヴミール 不定詞 v.i 来る | 「補語」 |

こうして、僕は6年前、サハラ砂漠での故障まで、本心で話せる人もなく、一人で暮らしていた。僕のエンジンの中で何かが壊れたのだった。[B-2]

J'ai ainsi vécu seul, sans personne avec qui parler véritablement, jusqu'à une panne dans le désert du Sahara, il y a six ans. Quelque chose s'était cassé dans mon moteur.

「主語」「動詞句」「補語」, 「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

| | |
|---|--------|
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai ainsi vécu エ・アンシ・ヴュ 1 単現・完了形(vivre)v.i それで暮らしていた | 「動詞句」 |
| seul スル adj. 一人の(状態で) | 「補語」 |
| sans ソン prep ～のない | 「副詞句」 |
| personne ペルソヌ n.f 人 | 「目的語」 |
| avec qui アヴ・エキ adj. その人と | 「形容詞節」 |
| parler véritablement パル・ヴァリタブルモン v.i 本心で話す | 「動詞句」 |

→ 本心で話す相手もなく

| | |
|--|-------|
| jusqu'à ジュスカ prep ～まで(jusque) | 「副詞句」 |
| une panne ユンス・パンヌ n.f 故障 | 「目的語」 |
| dans le désert du Sahara トン・ル・デゼール・ジュ・サハラ adv. サハラ砂漠での | 「副詞句」 |
| il y a six ans イリ・ア・シ・サン adv. 6 年前 | 「副詞句」 |

→ 6 年前、サハラ砂漠での故障まで

| | |
|--|-------|
| Quelque chose ケルク・ショース n.f 何か | 「主語」 |
| s'était cassé セ・カセ 3 単半・完了形(se casser)v.pr 壊れた | 「動詞句」 |

再帰動詞の完了形では、再帰代名詞が助動詞(être)の前に置かれる

| | |
|---|-------|
| dans mon moteur トン・モン・モテール adv. 僕のエンジンの中で | 「副詞句」 |
|---|-------|

だから、第一日目の晩、僕は人の住んでいるあらゆる地域から千マイルも離れた砂の上で眠った。[B-2]

Le premier soir je me suis donc endormi sur le sable à mille milles de toute terre habitée.

「主語」「動詞」「補語」

| | |
|---|-------|
| Le premier soir ル・プリミエ・スワール n.m 第一日目の晩 | 「副詞句」 |
| me suis donc endormi ム・シュイ・トン・オントルミ 1 単現・完了形(s'endormir+donc) | |
| v.pr だから、僕は眠った | 「動詞句」 |
| sur le sable シュール・ル・サブル adv. 砂の上で | 「副詞句」 |

文の構成要素

à mille milles de toute terre habitée ア・ミル・ミル・トゥ・トゥ・テール・アビテ

adv. 人が住む全ての土地から千マイル離れた 「副詞句」

à mille milles ア・ミル・ミル adv. 千マイル離れた

de toute terre トゥ・トゥ・テール adv. 全ての土地から

habitée アビテ adj.f 人が住んでいる (terre に性・数一致)

だから、夜明けに、おかしな可愛らしい声が僕を目覚めさせた時の僕の驚きを、君達は想像できるよね。 [B-2]

Alors vous imaginez ma surprise, au lever du jour, quand une drôle de petite voix m'a réveillé. 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞句」「副詞節」

Alors アロー adv. (接続詞的) だから 「副詞」

vous ヴェ pron 君たちは 「主語」

imaginez イマジネ 2 複現(imaginer)v.t 想像する (だろう) 「動詞」

ma surprise マ・シュルプ・リース n.f 僕の驚きを 「目的語」

au lever du jour オ・ルヴ・エ・ジュ・ジュール adv. 夜明けに 「副詞句」

quand コン conj. ~するとき (~したならば) 「副詞節」

une drôle de petite voix エヌ・ド・ロールトゥ・プティット・ヴ

n.f おかしな可愛らしい声が 「主語」

un(e) drôle de アン(エヌ)・ド・ロールトゥ adj. 奇妙な~, おかしな~

petit(e) プティ(ット) adj. 可愛い、いとしい、小さい

m' ム pron 僕を 「目的語」

a réveillé ア・レヴ・エイエ 3 単現・完了形(réveiller)v.t 起こした 「動詞句」

「どうか... 僕におとなしい羊の絵を描いて！」 [B-2]

《S'il vous plaît ... dessine-moi un mouton!》

《「副詞節」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

S' シ conj. もし~ならば 「副詞節」

il イル pron それが (非人称主語) 「主語」

vous ヴェ pron あなたに 「間接目的語」

plaît プレ 3 単現(plaire)v.i 気に入る 「動詞」

→ もしあなたの気に入れば、済みませんが、どうか

dessine デシヌ 命・3 単現(dessiner)v.t 描いてください 「動詞」

moi ムわ adv. 私に 「間接目的語」

un mouton アン・ムトン n.m (去勢した) おとなしい羊を 「直接目的語」

僕は、さながら雷に打たれでもしたみたいに、飛び起きた。[B-2]

J'ai sauté sur mes pieds comme si j'avais été frappé par la foudre.

「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai sauté エ・サテ 1 単現・完了形(sauter)v.i 飛びあがった

「動詞句」

sur mes pieds シュール・メ・ピエ adv. 起きて、立って

「副詞句」

→ 飛び起きた

comme si コム・シ conj. まるで～かのように

「副詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

avais été frappé アヴェ・ゼ・テ・フラベ 1 単半・完了形・受動(frapper)

v.t 打たれた

「動詞句」

par la foudre パール・ラ・フドゥール adv. 雷に

「副詞句」

目を良くこすった。辺りをよく見た。[B-2]

J'ai bien frotté mes yeux. J'ai bien regardé.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai bien frotté エ・ビヤン・フロテ 1 単現・完了形(frotter)v.t よくこすった

「動詞句」

mes yeux メ・ジュー pl.n.m 両目を

「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai bien regardé エ・ビヤン・ルギヤルデ 1 単現・完了形(regarder)v.t よく見まわした

「動詞句」

すると全く不思議な男の子が、真剣に僕を見つめているのが見えた。[B-2]

Et j'ai vu un petit bonhomme tout à fait extraordinaire qui me considérait gravement.

Et 「主語」「動詞句」「目的語」

Et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai vu エ・ヴィ 1 単現・完了形(voir)v.t 見えた

「動詞句」

un petit bonhomme アン・プティ・ボンム n.m 男の子が

「目的語」

tout à fait extraordinaire トゥ・タ・フェ・エクストラオルディネール adj. 全く不思議な「形容詞句」

qui キ conj. それは～する

「形容詞節」

me ム pron 私を

「目的語」

considérait コンシデレ 3 単半(considérer)v.t 見つめていた

「動詞」

gravement グラヴモン adv. 真剣に

「副詞」

後になって、僕が描いた一番良い肖像画がこれだ。[B-2]

Voilà le meilleur portrait que, plus tard, j'ai réussi à faire de lui. 「副詞句」「主語」

Voilà ヴォワ adv. (副詞・動詞の機能をかねる) ここに～がある 「副詞句」

le meilleur portrait ル・メイェール・ポルトレ n.m 最良の肖像画 「主語」

que ク conj. それは～する 「形容詞節」

plus tard プリュ・タル adv. 後になって 「副詞句」

ai réussi à faire エ・レユシ・ア・フェール 1 単現・完了形(réussir à+不定詞)

v.t 上手く描くことができた 「動詞句」

de lui トゥ・リュイ adv. 彼を 「間接目的語」

しかし、もちろん、僕の絵は実物よりもはるかに魅力に欠けている。[B-2]

Mais mon dessin, bien sûr, est beaucoup moins ravissant que le modèle.

Mais 「主語」「副詞句」「動詞」「補語」

Mais メ conj. しかし

mon dessin モン・デッサン n.m 僕の絵は 「主語」

bien sûr ビヤン・シュール adv. もちろん 「副詞句」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

beaucoup moins ravissant ボク・ムワソン・ラヴァンソン adj. はるかに魅力に欠ける 「補語」

que le modèle ク・ル・モデル adv. 実物よりも 「副詞句」

そこで僕は、驚きですっかり丸くなった目で、その出現者を見つめた。[B-2]

Je regardai donc cette apparition avec des yeux tout ronds d'étonnement.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

regardai ルギヤルデ 1 単過(regarder)v.t 見つめた 「動詞」

donc トン adv. それ故、それで 「副詞」

cette apparition セット・アパリシオン n.f この出現者を 「目的語」

avec des yeux アヴェッキ・デ・ジュ adv. 両目で 「副詞句」

tout ronds d'étonnement トゥ・ロン・デ・トンヌモン

adj. 驚きですっかり丸くなった 「形容詞句 : yeux」

神秘というものがあまりにも感銘深い時には、人はあえて従わない訳にはいかない。[B-2]

Quand le mystère est trop impressionnant, on n'ose pas désobéir.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」

Quand コン conj. ～の時には 「副詞節」

le mystère ル・ミステール n.m 神秘が 「主語」

文の構成要素

| | | |
|--------------------------------|-----------------------------|-------|
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| trop impressionnant トロ・アンプレシヨナ | adj. あまりにも感動的な | 「補語」 |
| on オン pron | 人は | 「主語」 |
| n'ose pas désobéir ノズ・パ・デザベール | 3 単現・否定(oser + 不定詞) | |
| v.t | あえて従わない訳にはいかない、自然と従ってしまうものだ | 「動詞句」 |

「良く見て... これはおとなしい羊じゃなくて、オスだよ。角がある...」[B-2]

《Tu vois bien ... ce n'est pas un mouton, c'est un bélier. Il a des cornes ...》

《「呼びかけ」「動詞」「副詞」---

「主語」「動詞句」「補語」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

| | | |
|--------------------------------|---------------|--------|
| Tu チュ pron | 君 | 「呼びかけ」 |
| vois ヴワ 命・2 単現(voir)v.t | 見なさい | 「動詞」 |
| bien ビヤン adv. | よく | 「副詞」 |
| ce ス pron | これは | 「主語」 |
| n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i | ～でない | 「動詞句」 |
| un mouton アン・ムトン n.m | (去勢した) やさしい雄羊 | 「補語」 |
| c' ス pron | これは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| un bélier アン・ベリエ n.m | (去勢していない) 雄羊 | 「補語」 |
| Il イル pron | それは | 「主語」 |
| a ア 3 単現(avoir)v.t | ある | 「動詞」 |
| des cornes デ・コルヌ pl.n.f | 角 | 「目的語」 |

「これは箱だよ。君の欲しい羊はこの中にいるよ」[B-2]

《Ca c'est la caisse. Le mouton que tu veux est dedans.》

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「副詞」》

| | | |
|-------------------------|---------|---------------|
| 《Ca c' サ・ス pron | これは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| la caisse ラ・ケース n.f | 箱 | 「補語」 |
| Le mouton ル・ムトン n.m | 羊は | 「主語」 |
| que ク conj. | ～する | 「形容詞節：mouton」 |
| tu チュ pron | 君が | 「主語」 |
| veux ヴ 2 単現(vouloir)v.t | 欲しがっている | 「動詞」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | いる | 「動詞」 |
| dedans トゥ・ダトン adv. | 中に | 「副詞」 |

文の構成要素

「僕が欲しかったのは、まったくこんなだったのさ！この羊には、草がうんと必要だと思う？」 [B-2]

《C'est tout à fait comme ça que je le voulais! Crois-tu qu'il faille beaucoup d'herbe à ce mouton?》
 《「動詞」「補語」「主語」 | 「動詞」「主語」「目的語」》

《C' ス pron それは (形式主語)
 est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
 tout à fait comme ça トゥ・タフ・コム・サ n. 全くこんなの 「補語」
 que ク conj. ~するものは 「主語」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 le ル pron それを (dessiner) 「目的語」
 voulais ヴレ 1 単半(vouloir)v.t 望んでいる 「動詞」
 Crois クワ 2 単現(croire)v.t 思う 「動詞」
 tu チュ pron 君は 「主語」
 qu' ク conj. ~ということ 「目的語」
 il イル pron 非人称主語
 faille ファイル 接・3 単現(falloir)v.h 必要だと 「動詞」
 beaucoup d'herbe ボク・デルブ n.f 沢山の草が 「主語」
 à ce mouton ア・ス・ムトン adv. この羊に 「間接目的語」

「それほど小さくもないな... おや！眠っちゃったよ...」 [B-2]

《Pas si petit que ça... Tiens! Il s'est endormi ...》
 《「補語」 | 「感嘆」 | 「主語」「動詞句」》
 《Pas si petit パ・シ・プチ adj. (部分否定) そんなに小さくない 「補語」
 que ça ク・サ adv. それ程 「副詞」
 Tiens ティアン int. (驚き) おや 「感嘆」
 Il イル pron 羊が 「主語」
 s'est endormi セ・オントルミ 3 単現・完了形(s'endormir)v.i 眠った 「動詞句」

こうして、僕はその王子さまと知り合いになった。 [B-2]

Et c'est ainsi que je fis la connaissance du petit prince. Et 「動詞」「副詞」「主語」
 Et エ conj. そして
 c' ス pron 形式主語
 est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
 ainsi オンシ adv. このように 「副詞」
 que ク conj. ~ということは 「主語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」

文の構成要素

fis フィ 3 単過(faire)v.t ~になった 「動詞」

la connaissance du petit prince ラ・コネツス・ジュー・プティ・フランス

n.f 王子様と知り合い 「目的語」

faire la connaissance de qn. 「人と知り合いになる」

C'est ... que 節 「～は... である」という強調構文

少しずつ僕に全容を明かしたのは、たまたま発せられた言葉だった。[B-3]

Ce sont des mots prononcés par hasard qui, peu à peu, m'ont tout révélé.

「主語」「動詞」「補語」

Ce ス pron それは

「主語」

sont ヲン 3 複現(être)v.i ~である

「動詞」

des mots テ・モ pl.n.m 言葉

「補語」

prononcés par hasard プ・ロノンセ・パール・アザール

adj. たまたま発せられた

「形容詞句：mots」

qui キ pron (その言葉は) ~する

「形容詞節：mots」

peu à peu プ・ア・プ adv. 少しずつ

「副詞句」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

ont ...révélé オン...レヴェル 3 複現・完了形(révéler)

v.t (未知の事実を) 明かした

「動詞句」

tout トゥ pron すべてを

「直接目的語」

「なんだって！じゃあ、君は空から落っこちたんだ！」[B-3]

《Comment! tu es tombé du ciel!

《「聞き返し」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」》

《Comment! コモン adv. なんだって！

「聞き返し」

tu チュ pron 君は

「主語」

es tombé エ・トンベ 2 単現・完了形(tomber)v.i 落ちた

「動詞句」

du ciel ジュ・シエル adv. 空から

「副詞句：tombé」

ぼくが出逢った不慮の災難を、僕は人にはまじめに受け取って欲しいんだ。[B-3]

Je désire que l'on prenne mes malheurs au sérieux.

「主語」「動詞」「目的語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

désire テジール 1 単現(désirer)v.t 希望する

「動詞」

que ク pron ~ということを

「目的語」

l'on オン n. 人は(et, ou, que, si の後や文頭では on→l'on と書く)

「主語」

prenne プレンヌ 接・3 単現(prendre)v.t 受け止める

「動詞」

mes malheurs メ・マルール pl.n.m 私の災難を

「目的語」

au sérieux オ・セリウ adv. まじめに

「副詞句：prenne」

王子様が『他の星』から来たらしいという半ば打ち明け話に、僕がどんなに好奇心をそそられたか、君たちには想像がつくだろう。[B-3]

Vous imaginez combien j'avais pu être intrigué par cette demi-confiance sur...《les autres planètes》...

「主語」「動詞」「目的語」

Vous ウ` pron 君たちは

「主語」

imaginez イマジネ 2 複現(imaginer)v.t 想像できるだろう

「動詞」

combien コンビヤン adv. どれほど～ということ

「目的語」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

avais pu être intrigué アヴァ`エ・ピ`ユ・エートル・アントリゲ` 1 単半・完了形・推測(pouvoir+受動不定詞)

v.t 好奇心をそそられただろう

「動詞句」

par パール prep ～に対して

「副詞句」

cette demi-confiance セット・トゥミ・コンフィトンス

n.f この半ば打ち明け話に

「目的語」

sur 《les autres planètes》シュール・レ・ゾートル・プラネット

adv. 他の惑星に関する

「副詞句」

「坊や、どこから来たの。君のところで、どこなの。僕の羊をどこへ連れて行きたいの？」

[B-3]

《D'où viens-tu, mon petit bonhomme? Où est-ce “chez toi”? Où veux-tu emporter mon mouton?》

《「副詞句」「動詞」「主語」 | 「副詞」「動詞」「主語」

「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

D'où トゥ adv. どこから

「副詞句」

viens ヴィヤン 2 単現(venir)v.i 来た

「動詞」

tu, mon petit bonhomme チュ・モン・プティ・ボノム pron. 坊や

「主語」

Où ウ adv. どこ

「副詞」

est エ 3 単現(être)v.i ～にある

「動詞」

ce “chez toi” ス・シェ・トゥワ n. 君のそこ

「主語」

Où ウ adv. どこへ

「副詞」

veux ...emporter ヴ`...オボ`ルテ 2 単現(vouloir+不定詞)v.t 連れて行きたい

「動詞句」

tu チュ pron 君は

「主語」

mon mouton》 モン・ムトン n.m 僕の羊を

「目的語」

「自分の前をまっすぐといっても、そう遠くへ行ける物ではない...」 [B-3]

《Droit devant soi on ne peut pas aller bien loin ...》

《「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」》

《Droit devant soi トゥロワ・トゥヴァン・スワ

adv. (譲歩) 自分の前を真直ぐといっても

「副詞句」

on オン pron 人は

「主語」

ne peut pas aller ス・プ・パ・ザレ 3 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.i 行けるものではない

「動詞句」

bien loin》 ビヤン・ルワン adv. (否定文で) それほど遠くへ

「副詞句」

つまり、王子様の出身地の惑星が、せいぜい一軒の家より大きいぐらいだということ！

[B-4]

c'est que sa planète d'origine était à peine plus grande qu'une maison!

「主語」「動詞」「補語」

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である

「動詞」

que ク conj. ~ということ

「補語」

sa planète d'origine サ・プラネット・ドリジヌ n.f 彼の出身地の惑星は

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ~である

「動詞」

à peine plus grande ア・ペーヌ・プリュ・グロントゥ

adj. かろうじて少し大きい

「補語」

à peine ほとんどない、せいぜい、かろうじて

qu'une maison キュヌ・メゾン adv. 一軒の家よりも

「副詞句：grande」

地球とか木星とか火星とか金星とかのように、名前の付いている大きな惑星の他に何百という星があつて、それらが、時には小さすぎて望遠鏡でもなかなか見えないということ、よく知っていた。 [B-4]

Je savais bien qu'en dehors des grosses planètes comme la Terre, Jupiter, Mars, Vénus, auxquelles on a donné des noms, il y en a des centaines d'autres qui sont quelquefois si petites qu'on a beaucoup de mal à les apercevoir au télescope.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

savais サヴァ 3 単半(savoir)v.t 知っていた

「動詞」

bien ビヤン adv. よく

「副詞：savais」

qu' ク conj. ~と言う事を

「目的語」

「目的語」の内容は、「副詞句」「動詞句」「主語」「形容詞節」という複雑な構成

文の構成要素

| | | |
|---------------------------------|--|---------|
| en dehors des grosses planètes | コン・ドゥオー・デ・グロス・プラネット | |
| adv. 大きな惑星以外に | | 「副詞句」 |
| en dehors de | ～以外の、grosses planètes | 大きな惑星 |
| comme | コム conj. ～のような | 「形容詞句」 |
| la Terre, Juppiter, Mars, Vénus | ラ・テール・ジュピテル・マルス・ヴェニユス | |
| pl.n.f | 地球とか木星とか火星とか金星とか | 「目的語」 |
| auxquelles | ケル adv. (à lesquelles) それらに～する | 「形容詞節」 |
| on | オン pron 人は | 「主語」 |
| a donné | ア・ドネ 3 単現・完了形(donner) | |
| v.t | (名前を) 与えた、付けた | 「動詞句」 |
| des noms | デ・ノン pl.n.m 名前を | 「直接目的語」 |
| il y en a | イ・リ・オ・ナ 3 単現(avoir)v.t ある | 「動詞句」 |
| des centaines d'autres | デ・ソンテヌ・ドートル | |
| n. | 何百という名前の無い惑星が | 「主語」 |
| autres | 別の(惑星) → 名前の付けられていない惑星 | |
| qui | キ pron それらは (autres) ～する | 「形容詞節」 |
| sont | ソン 3 複現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| quelquefois | ケルクワ adv. 時には | 「副詞」 |
| si petites | シ・プティット adj. 大変小さいので | 「補語」 |
| qu' | ク conj. (si ... que ～) (大変... なので) ～する | 「副詞節」 |
| on | オン pron 人は | 「主語」 |
| a | ア 3 単現(avoir)v.t ある | 「動詞」 |
| beaucoup de mal | ボク・ドゥ・マル n.m 大変な苦勞が | 「目的語」 |
| à les apercevoir | ア・レ・ザ・ペルスワ・ル | |
| adv. | それらを見るのに | 「副詞句」 |
| au télescope | オ・テレスコプ adv. 望遠鏡で | 「副詞句」 |

僕には王子様の出身の惑星が小惑星 B612 番であると信ずるに足る真面目な理由がある。

[B-4]

| | | |
|---|-----------------------------|---------------|
| <u>J'ai de sérieuses raisons de croire que la planète d'où venait le petit prince est l'astéroïde B612.</u> | | 「主語」「動詞」「目的語」 |
| J' | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai | エ 1 単現(avoir)v.t (僕には～が) ある | 「動詞」 |
| de sérieuses raisons | ドゥ・セリュース・レゾン pl.n.f 真面目な理由が | 「目的語」 |
| 形容詞+名詞に不定冠詞 des がつく時は de に変わる | | |
| de croire | ドゥ・クルワ・ル adj. ～と信ずるだけの | 「形容詞句」 |

文の構成要素

| | |
|------------------------------------|--------|
| que ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| la planète ラ・プラネット n.f その惑星 | 「主語」 |
| d'où トゥ adv. そこから | 「形容詞節」 |
| venait ヴネ 3 単半(venir)v.i 来た | 「動詞」 |
| le petit prince ル・プチ・フランス | |
| n.m 王子様が | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| l'astéroïde B612 ラステロイト・ベ・シ・ソン・トウズ | |
| n.m 《小惑星 B612 番》 | 「補語」 |

当時、その天文学者は、国際天文学会でその発見を堂々と発表した。[B-4]

| | |
|---|-------------------------|
| <u>Il avait fait alors une grande démonstration de sa découverte à un congrès international d'astronomie.</u> | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| avait fait アヴィ・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t ～をした | 「動詞句」 |
| alors アロー adv. 当時 | 「副詞」 |
| une grande démonstration ユンス・グランド・デモンストラシオン n.f 立派な論証を | 「目的語」 |
| de sa découverte トゥ・サ・デクヴァルト adj. 彼の発見について | 「形容詞句 : démonstration」 |
| à un congrès international d'astronomie ア・アン・コングレ・アンテルナショナル・ダストロミー | |
| adv. 国際天文学会で | 「副詞句」 |

小惑星 B612 番について、このように些細な事を君たちに語ったのは、またその番号を明かしたのは、大人の人たちが原因。[B-4]

| | |
|--|------------------------------|
| <u>Si je vous ai raconté ces détails sur l'astéroïde B612 et si je vous ai confié son numéro, c'est à cause des grandes personnes.</u> | 「副詞節」 et 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」 |
| Si シ conj. (事実の提示 : 主節 c'est ... で理由を説明する) ～であるのは | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| vous ヴ pron 君たちに | 「間接目的語」 |
| ai raconté エ・ラコンテ 1 単現・完了形(raconter)v.t 語った | 「動詞句」 |
| ces détails sur l'astéroïde B612 セ・テタイユ・シュール・ラステロイト・ベ・シ・ソン・トウズ | |
| pl.n.m 小惑星 B612 に関する些細なことを | 「直接目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| si シ conj. (事実の提示 : 主節 c'est ... で理由を説明する) ～であるのは | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| vous ヴ pron 君たちに | 「間接目的語」 |
| ai confié エ・コンフィエ 1 単現・完了形(confier)v.t 打ち明けた | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | | | | |
|-------------------------------|---------------------|---------------|-------|---------|
| son numéro | ソ・ニュメロ | n.m | その番号を | 「直接目的語」 |
| c' | ス | pron | それは | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| à cause des grandes personnes | ア・コース・デ・グロント・ウ・ペルソヌ | | | |
| adv. | 大人たちのせいで | | | 「補語」 |

「その人はどんな声？好きな遊びは何？蝶々のコレクションをしているの？」[B-4]

《Quel est le son de sa voix? Quels sont les jeux qu'il préfère? Est-ce qu'il collectionne les papillons?》

《「補語」「動詞」「主語」 | 「補語」「動詞」「主語」 | 「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

| | | | | |
|--------------------|---------------|-------------------|---------------------------------------|-------------|
| Quel | ケル | adj. | どんな | 「補語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| le son de sa voix? | ル・ソ・ド・ウ・サ・ウ・ワ | n.m | その人の声の響きは | 「主語」 |
| Quels | ケル | pron | 何 | 「補語」 |
| sont | ソ | 3 複現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| les jeux | レ・ジュー | pl.n.m (jeu) | 遊び | 「主語」 |
| qu' | ク | pron | ～すること | 「形容詞節：jeux」 |
| il | イル | pron | その人が | 「主語」 |
| préfère? | プレフェール | 3 単現(préférer)v.t | 好きである | 「動詞」 |
| Est-ce qu'... | エス・ク... | collectionne | エス・ク...コレクションヌ 3 単現・疑問(collectionner) | |
| v.t | 集めているの？ | | | 「動詞句」 |
| il | イル | pron | その人は | 「主語」 |
| les papillons? | レ・パピオン | pl.n.m | 蝶々 | 「目的語」 |

大人の人たちに「窓にジェラニウムがあつて、屋根には鳩がいる、バラ色のレンガ造りの美しい家を見たよ...」と言ったとしても、彼らはその家をうまく想像することができない。

[B-4]

Si vous dites aux grandes personnes: «J'ai vu une belle maison en briques roses, avec des géranium aux fenêtres et des colombes sur le toit ... », elles ne parviennent pas à s'imaginer cette maison.

Si 「主語」「動詞」「間接目的語」:

《「主語」「動詞句」「目的語」, 「副詞句」》, 「主語」「動詞句」「目的語」

| | | | | |
|-----------------------|---------------|---------------|--------|---------|
| Si | シ | conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| vous | ウ | pron | 君たちが | 「主語」 |
| dites | ディット | 2 複現(dire)v.t | 言う | 「動詞」 |
| aux grandes personnes | オ・グロント・ウ・ペルソヌ | adv. | 大人たちに | 「間接目的語」 |

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形(voir)v.t 見た | 「動詞句」 |
| une belle maison エヌ・ベル・メゾン n.f 美しい家を | 「目的語」 |
| en briques roses オン・ブリッキ・ローズ adj. バラ色の煉瓦造りの「形容詞句：maison」 | |
| avec アヴ・ェッキ adv. 〜がある | 「副詞句」 |
| des géranium aux fenêtres テ・ジ・ェラニウム・オ・フネートル pl.n.m 窓にはジェラニウム | 「目的語」 |
| et エ conj. と | |
| des colombes sur le toit テ・コロンブ・シュール・ル・トゥワ pl.n.f 屋根には鳩 | 「目的語」 |
| elles エル pron 大人たちは | 「主語」 |
| ne parviennent pas à s'imaginer ス・パ・ルヴ・イエンヌ・パ・ア・シマジネ 3 複現・可能・否定 (parvenir à+不定詞 s'imaginer)v.pr うまく思い描くことができない | 「動詞句」 |
| cette maison セット・メゾン n.f この家を | 「目的語」 |

大人たちって、そういうもの。彼らを恨んだりしてはいけない。子供は大人たちに対して非常に寛大でなければいけない。[B-4]

Elles sont comme ça. Il ne faut pas leur en vouloir. Les enfants doivent être très indulgents envers les grandes personnes.

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」
「主語」「動詞句」「補語」

| | |
|---|--------------|
| Elles エル pron 大人たちは | 「主語」 |
| sont ヴン 3 複現(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| comme ça コム・サ pron そのようなもの | 「補語」 |
| Il イル pron 非人称主語 | |
| ne faut pas +不定詞 ス・フォ・パ 3 単現・否定(falloir+不定詞)v.h 〜してはならない「動詞句」 | |
| leur en vouloir レール・オン・ヴルわ・ル 不定詞(en vouloir a qn.) 彼らを恨んではいけない | 「間接目的語」「動詞句」 |
| en vouloir a qn. (〜を) 恨む、悪く思う、leur = à + eux 彼らを | |
| Les enfants レ・ザンフオン pl.n. 子供たちは | 「主語」 |
| doivent être トゥワ・ヴ・エートル 3 複現・必要(devoir+不定詞) v.i 〜でなければならない | 「動詞句」 |
| très indulgents トレ・アンデイルジヨン adj. 非常に寛大な | 「補語」 |
| envers les grandes personnes オンヴ・ェール・レ・グロント・ペルソヌ adv. 大人たちに対して | 「副詞句」 |

誰もが友達を持ったことがあるわけではないんだ。それに、ぼくも数字にしか興味がない大人たちと同じような人間になるかもしれない。[B-4]

Tout le monde n'a pas eu un ami. Et je puis devenir comme les grandes personnes qui ne s'intéressent plus qu'aux chiffres.

「主語」「動詞句」「目的語」 | Et 「主語」「動詞句」「補語」

Tout le monde トゥ・ル・モンド n.m すべての人が、誰もが 「主語」

n'a pas eu ナ・パ・ジュ 3 単現・完了形・否定(avoir)

v.t (部分否定) 持ったことがある訳ではない 「動詞句」

un ami ア・ミ n.m 友達を 「目的語」

Et エ conj. (強調) しかも

je ジュ pron 僕が 「主語」

puis devenir ヒュイ・トゥヴァニール 1 単現・推量(pouvoir+不定詞)

v.i (puis は peux の文語) 〜になるかもしれない 「動詞句」

comme les grandes personnes コム・レ・グランド・ペルソヌ

adv. 大人たちのように 「補語」

qui キ pron 〜する 「形容詞節」

ne s'intéressent ヌ・サンテレス 3 複現・否定(s'intéresser)

v.pr (à に) 興味がない 「動詞句」

plus qu'aux chiffres プリュ・コ・シフル

adv. 数字にしか 「間接目的語」

このようにして、三日目にバオバブの惨事を知った。[B-5]

C'est ainsi que, le troisième jour, je connus le drame des baobabs.

「動詞」「副詞句」「主語」

C' ス pron 形式主語 (真の主語は que 節: 強調構文)

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

ainsi オンシ adv. このようにして 「副詞句」

que ク conj. 〜することは 「主語」

le troisième jour ル・トゥワジエム・ジュール n.m 3 日目に 「副詞句」

je ジュ pron 僕が 「主語」

connus コニュ 1 単過(connaitre)v.t 知った 「動詞」

le drame ル・ドラマ n.m 惨劇を 「目的語」

des baobabs デ・バオバブ adj. バオバブの 「形容詞句: drame」

それから背伸びをする。そして、はじめはおずおずと、日光の方へ、魅力的な小さな罪のない小枝を伸ばす。[B-5]

Alors elle s'étire, et pousse d'abord timidement vers le soleil une ravissante petite brindille inoffensive.
 「副詞」「主語」「動詞句」 et 「動詞」「副詞句」「目的語」
 Alors アー adv. それから 「副詞」
 elle エル pron. それは 「主語」
 s'étire セイル 3 単現(s'étirer)v.pr. 背伸びをする 「動詞句」
 et エ conj. そして
 pousse プス 3 単現(pousser)v.t. 伸ばす 「動詞」
 d'abord timidement タボール・チミットモン adv. 最初は遠慮がちに 「副詞句」
 vers le soleil ヴェール・ル・ソレイユ adv. 日光の方へ 「副詞句」
 une ravissante petite brindille inoffensive エヌ・ラヴァッサンテ・プティット・ブランディユ・イノフオンシフ
 n.f. うっとりするような、罪のない小枝を 「目的語」

赤カブや薔薇の木の小枝なら、それが芽を出すままにさせておけば良い。[B-5]

S'il s'agit d'une brindille de radis ou de rosier, on peut la laisser pousser comme elle veut.
 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞節」
 S' ス conj. もし〜である 「副詞節」
 il イル pron. 非人称主語
 s'agit サジ 3 単現(s'agir de+qch)v.h. 〜に関わることである 「動詞句」
 d'une brindille デュンヌ・ブランディユ n.f. 小枝 「主語」
 de radis ou de rosier トゥ・ラディ・ウ・トゥ・ロジエ
 adj. 赤カブやバラの木の 「形容詞句 : brindille」
 on オン pron. 人は 「主語」
 peut ... laisser pousser プ ... レ・プセ 3 単現・可能・放任(pouvoir+不定詞)
 v.i. 伸びるままにさせて構わない 「動詞句」
 la ラ pron. 小枝が 「目的語」
 comme elle veut コム・エル・ヴァー adv. 小枝が望むように 「副詞節」
 もしそれが赤カブやバラの小枝なら、枝が伸びたい放題にさせておけば良い。

その惑星の地面には、それがはびこっていた。一本のバオバブでも、とりかかるのが遅すぎると、もう絶対に片づけられなくなる。[B-5]

Le sol de la planète en était infesté. Or un baobab, si l'on s'y prend trop tard, on ne peut jamais plus s'en débarrasser.

「主語」「副詞」「動詞句」 | Or 「目的語」, 「副詞節」, 「主語」「動詞句」
 Le sol de la planète ル・ソル・トゥ・ラ・プラネット n.m. その惑星の地面は 「主語」

文の構成要素

| | | | |
|--------------------------------------|------------------------|---|-------|
| en | オン | pron (de graines de baobabs の代用) それに | 「副詞」 |
| était infesté | エテ・アンフェステ | 3 単半・受動(infester)v.t はびこられていた | 「動詞句」 |
| Or | オール | conj. ところが | |
| un baobab | アン・バ・オバブ | n.m 一本のバオバブでも | 「目的語」 |
| si | シ | conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| l' | ル | pron それを | 「目的語」 |
| on | オン | pron 人が | 「主語」 |
| s'y prend | シ・プ・ロン | 3 単現(s'y prendre)v.t 取り掛かる | 「動詞句」 |
| trop tard | トロ・タル | adv. あまりに遅く | 「副詞句」 |
| on | オン | pron 人は | 「主語」 |
| ne peut jamais plus s'en débarrasser | ヌ・プ・ジャメ・プ・リュ・ソン・デ・バラッセ | 3 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞 se débarrasser+en) v.t 絶対にそれを片づけられない se débarrasser de ... を処分する、を片づける | 「動詞句」 |

それは惑星全体にはびこる。根でもってそれに穴をあける。そして星が小さすぎてバオバブが多すぎると、それらは星を破裂させてしまうのだ。[B-5]

Il encombre toute la planète. Il la perfore de ses racines. Et si la planète est trop petit, et si les baobabs sont trop nombreux, ils la font éclater.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Et 「副詞節」, et 「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞句」

| | | | |
|------------------|--------------|-----------------------------------|-------|
| Il | イル | pron それは (バオバブは) | 「主語」 |
| encombre | オンコンブル | 3 単現(encombrer)v.t (場所を) ふさぐ、はびこる | 「動詞」 |
| toute la planète | トゥット・ラ・プラネット | adv. 惑星全体に | 「副詞句」 |
| Il | イル | pron それは (バオバブは) | 「主語」 |
| la | ラ | pron 惑星に | 「目的語」 |
| perfore | ペルフォー | 3 単現(perforer de)v.t ～で穴をあける | 「動詞」 |
| de ses racines | ドゥ・セ・ラシーヌ | adv. (道具) 根によって | 「副詞句」 |
| Et | エ | conj. そして | |
| si | シ | conj. もし～なら | 「副詞節」 |
| la planète | ラ・プラネット | n.f その惑星が | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| trop petit | トロ・プ・ティ | adj. 小さすぎる | 「補語」 |
| et | エ | conj. そして | |
| si | シ | conj. もし～なら | 「副詞節」 |
| les baobabs | レ・バ・オバブ | pl.n.m バオバブが | 「主語」 |

文の構成要素

| | | | |
|---------------|-----------------|----------------------------|-------|
| sont | ソ 3 複現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| trop nombreux | トロ・ンブル | adj. 多すぎる | 「補語」 |
| ils | イル pron.pl | バオバブは | 「主語」 |
| la | ラ pron | 惑星を | 「目的語」 |
| font éclater | フォン・エクラテ | 3 複現・使役(faire+不定詞 éclater) | |
| | v.i | 破裂させてしまう | 「動詞句」 |

目が覚める時、僕が社長に 2 日間の休暇を願い出た時に、どうして不満げな様子をしていたのかがやっと分かった：それは今日が土曜日だからなのだ。[C-1-2]

En me réveillant, j'ai compris pourquoi mon patron avait l'air mécontent quand je lui ai demandé mes deux jours de congé : c'est aujourd'hui samedi.

| | | | |
|---------------------------|-----------------------|---|-----------------|
| | | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 : 「主語」 「動詞」 「副詞」 「補語」 | |
| En +現在分詞 | オン adv. | ～する時に | 「副詞句」 |
| me réveillant, | ム・レヴ ^{エイ} エイ | 現在分詞(se réveiller)v.pr | 目覚める 「動詞句」 |
| j' | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai compris | エイ・コンプリ | 1 単現・完了形(comprendre)v.t | 分かった、理解した 「動詞句」 |
| pourquoi | フルワ | pron どうして～したかということ | 「目的語」 |
| mon patron | モン・パトロン | n.m | 社長が 「主語」 |
| avait | アヴ ^エ | 3 単半(avoir)v.t (特徴を) していた | 「動詞」 |
| l'air mécontent | レル・メcont | n.m | 不満げな様子を 「目的語」 |
| quand | コン conj. | ～した時に | 「副詞節」 |
| je | ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| lui | リュイ pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| ai demandé | エイ・ト ^ウ モンテ | 1 単現・完了形(demander) | |
| | v.t | 求めた、願い出た | 「動詞句」 |
| mes deux jours de congé : | メ・トゥ・ジュール・トゥ・コンジェ | | |
| | n.m | 2 日間の休暇を | 「直接目的語」 |
| c' | ス pron | それは | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | ～である 「動詞」 |
| aujourd'hui | オン・ユルテ ^{ユイ} | adv. | 今日は 「副詞」 |
| samedi. | サムテ ^イ | n.m | 土曜日 「補語」 |

僕はそのことを忘れていたのだが、起きようとした時にこの考えが頭に浮かんだのだ。

[C-1-2]

Je l'avais pour ainsi dire oublié, mais en me levant, cette idée m'est venue.

| | | | | | | | | |
|-------|------|-------|-------|-------------------------|----------------------|--------------------|--------------------------|---------|
| | 「主語」 | 「目的語」 | 「動詞句」 | mais | 「副詞句」 | 「主語」 | 「間接目的語」 | 「動詞句」 |
| Je | ジュ | pron | 僕は | | | | | 「主語」 |
| l' | ル | pron | そのことを | | | | | 「目的語」 |
| avais | | | | pour ainsi dire oublié, | アヴァ・ポール・オンシ・デイル・ウブリエ | 1 単半・完了形(oublier) | | |
| | | | | v.t | ほとんど忘れていた | | | 「動詞句」 |
| | | | | pour ainsi dire | ポール・オンシ・デイル | adv. | ほとんど、いわば | |
| | | | | mais | メ | conj. | しかし | |
| | | | | en me levant, | オン・ム・ルヴァン | adv. | (en+現在分詞 se lever) 起きる時に | 「副詞句」 |
| | | | | cette idée | セット・イデ | n.f | この考えが | 「主語」 |
| | | | | m' | ム | pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| | | | | est venue. | エ・ヴニユ | 3 単現・完了形(venir)v.i | やってきた | 「動詞句」 |

当然ながら社長は、僕が日曜を含めて 4 連休を取ることになると思ったはずだ。それでは彼も嬉しいはずがないだろう。[C-1-2]

Mon patron, tout naturellement, a pensé que j'aurais ainsi quatre jours de vacances avec mon dimanche et cela ne pouvait pas lui faire plaisir.

| | | | | | | | | |
|----------------------------------|------------------------|---------------------|---------------|----------------|----|------|-------|-------|
| | 「主語」 | 「副詞句」 | 「動詞句」 | 「目的語」 | et | 「主語」 | 「動詞句」 | 「目的語」 |
| Mon patron, | モン・パトロン | n.m | 社長は | | | | | 「主語」 |
| tout naturellement, | トゥ・ナチュレルモン | adv. | ごく自然に、当然ながら | | | | | 「副詞句」 |
| a pensé | ア・ポンセ | 3 単現・完了形(penser)v.t | (que) ～と思った | | | | | 「動詞句」 |
| que | ク | conj. | ～ということを | | | | | 「目的語」 |
| j' | ジュ | pron | 僕は | | | | | 「主語」 |
| aurais | オレ | 条・1 単現(avoir)v.t | ～をするだろう | | | | | 「動詞」 |
| ainsi | オンシ | adv. | それでは | | | | | 「副詞」 |
| quatre jours de vacances | クワトル・ジュール・トゥ・ヴァカンス | n.f | 4 連休を | | | | | 「目的語」 |
| avec mon dimanche | アヴェ・エッキ・モン・ディモンシュ | adv. | 日曜日も含めて | | | | | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | | | | | |
| cela | スラ | pron | これは | | | | | 「主語」 |
| ne pouvait pas ...faire plaisir. | ヌ・プヴァレ・パ ...フェール・プレジール | 3 単半・可能性・否定・使役 | | | | | | |
| | | | v.t | ～を喜ばせなかったに違いない | | | | 「動詞句」 |
| lui | リュイ | pron | 彼を | | | | | 「目的語」 |
| | | | 「彼」を主語にして翻訳する | | | | | |

文の構成要素

しかし（一方では）、母さんの葬儀が今日ではなく昨日だったのは僕が悪い訳ではないし、
（他方では、）いずれにしても僕は土曜と日曜は休んでいたはずなのだ。[C-1-2]

Mais d'une part, ce n'est pas de ma faute si on a enterré maman hier au lieu d'aujourd'hui
et d'autre part, j'aurais eu mon samedi et mon dimanche de toute façon.

Mais 「副詞句」, 「動詞」「補語」「主語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

d'une part, テュヌ・パール adv. 一方では 「副詞句」

ce ス pron 仮の主語(真の主語は si 以降)

n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i 〜でない 「動詞」

de ma faute ドゥ・マ・フォート adj. 僕の間違い 「補語」

si シ conj. (事実の提示) 〜ということは 「主語」

on オン pron 人が 「主語」

a enterré ア・オンテレ 3 単現・完了形(enterrer)v.t の葬儀を行った 「動詞句」

maman マモン n.f 母さんを 「目的語」

hier イェール adv. 昨日 「副詞」

au lieu d' オ・リュ・トゥ adv. 〜の代わりに、〜ではなく 「副詞句」

aujourd'hui オジュルデュイ n.m 今日 「目的語」

et エ conj. そして

d'autre part, ドートル・パール adv. 他方では 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais eu オーレ・イ 条・1 単現・完了形(avoir)v.t 取っていただろう 「動詞句」

mon samedi et mon dimanche モン・サムディ・エ・モン・ディモンシュ

pl.n.m 土曜と日曜の休みを 「目的語」

de toute façon. トゥ・トゥット・ファソン adv. いずれにしても 「副詞句」

もちろん、だからといって社長の気持ちが分からない訳ではない。[C-1-2]

Bien entendu, cela ne m'empêche pas de comprendre tout de même mon patron.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」

Bien entendu, ビヤン・ナトンジュ adv. もちろん、当然 「副詞句」

cela スラ pron このことは 「主語」

ne m'empêche pas ヌ・モンペ・シュ・パ 3 単現・否定(empêcher+me)

v.t 僕の邪魔をしない 「動詞句」

de comprendre トゥ・コンプ ロントル 不定詞 v.t 〜を理解する 「補語」

tout de même トゥ・トゥ・メム adv. それでも、にもかかわらず 「副詞句」

mon patron. モン・パトロン n.m 社長を 「目的語」

僕はひげを剃っている間に、何をしようかと自問して、海水浴をしに行く事に決めた。

[C-1-2]

Pendant que je me rasais, je me suis demandé ce que j'allais faire et j'ai décidé d'aller me baigner. 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」

Pendant que ポントソク conj. ～する間に 「副詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

me rasais, ムラセ 1 単半(se raser)v.pr ひげを剃っている 「動詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis demandé ムシュイ・ドゥモンテ 1 単現・完了形(se demander)v.pr 自問した 「動詞句」

ce que スク pron (目的語) ～ということ 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

allais faire アレ・フェール 3 単半・近接未来(aller+不定詞)

v.t これからする 「動詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai décidé d'aller エ・デシテ・ダレ 1 単現・完了形・決断(decider de+不定詞)

v.i 行く事に決めた 「動詞句」

me baigner. ム・ベニエ 不定詞(aller+不定詞)v.pr 海水浴をしに 「動詞句」

海の中で僕はマリー・カルドナに再会した。彼女は僕の会社の元タイピストだったが、当時、僕は彼女をものにしようと思っていた。[C-1-2]

J'ai retrouvé dans l'eau Marie Gardona, une ancienne dactylo de mon bureau dont j'avais eu envie à l'époque. 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」,

「間接目的語」 「主語」 「動詞句」 「直接目的語」 「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai retrouvé エルトルヴ 1 単現・完了形(retrouver)v.t 再会した 「動詞句」

dans l'eau トソ・ロ adv. 海の中で 「副詞句」

Marie Gardona, マリー・カルドナ n. マリー・カルドナに 「目的語」

une ancienne dactylo エヌ・アンシエヌ・ダクティロ n.f (同格) 元タイピストの 「形容詞句」

de mon bureau トゥ・モン・ビュロー adj. 僕の会社の 「形容詞句」

dont トソ pron 彼女に 「間接目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais eu アヴェ・ジ 1 単半・完了形(avoir)v.t 持っていた 「動詞句」

envie オンヴィー n.f 欲望を 「直接目的語」

à l'époque. ア・レポキ adv. 当時 「副詞句」

気持ちがよかった。僕はふざけたふりをして、頭を後ろにのけ反らせて、彼女の腹の上に頭を乗せた。[C-1-2]

Il faisait bon et, comme en plaisantant, j'ai laissé aller ma tête en arrière et je l'ai posée sur son ventre. 「動詞句」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Il faisait イル・フェ 3 単半・非人称(faire)v.h ~だった 「動詞句」

bon ボン adj. 気持ちが良い 「補語」

et, エ conj. そして

comme en plaisantant, コム・オン・プレザントン adv. (comme+en+現在分詞 plaisanter)

adv. ふざけているように、ふりをして 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai laissé aller エ・レッセ・アレ 1 単現・完了形・使役(laisser+不定詞)v.t 行かせた 「動詞句」

ma tête マ・テット n.f 自分の頭を 「目的語」

en arrière オン・アリエール adv. 後ろの方へ 「副詞句」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ラ pron 頭を 「目的語」

ai posée エ・POSE 1 単現・完了形.f(poser)v.t 置いた、のせた 「動詞句」

sur son ventre. シュール・ソン・ヴァントル adv. 彼女の腹の上に 「副詞句」

僕は彼女に追いつき、彼女の腰のあたりに手をまわした。それから僕らは一緒に泳いだ。

[C-1-2]

Je l'ai rattrapée, j'ai passé ma main autour de sa taille et nous avons nagé ensemble.

「主語」「目的語」「動詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

et 「主語」「動詞句」「副詞」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ラ pron 彼女に 「目的語」

ai rattrapée, エ・ラトラペ 1 単現・完了形(rattraper)v.t 追いついた 「動詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai passé エ・パセ 1 単現・完了形(passer)v.t 動かした 「動詞句」

ma main マ・マン n.f 自分の手を 「目的語」

autour de sa taille オトゥール・ドゥ・サ・タイユ adv. 彼女の腰のあたりに 「副詞句」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕らは 「主語」

avons nagé アヴ・オン・ナジェ 1 複現・完了形(nager)vi 泳いだ 「動詞句」

ensemble. オンソングル adv. 一緒に 「副詞」

文の構成要素

僕らの着替えが終わると、僕が黒のネクタイをしているのを見て、彼女はとても驚いた顔をした。そして不幸があったのかと僕に尋ねた。[C-1-2]

Quand nous nous sommes rhabillés, elle a eu l'air très surprise de me voir avec une cravate noire et elle m'a demandé si j'étais en deuil.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

et 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

Quand コン conj. ～すると、～した時

「副詞節」

nous ヌ pron 僕らが

「主語」

nous sommes rhabillés, ヌ・スム・ラビレ 1 複現・完了形(se rhabiller)

v.pr 着替えした

「動詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t (特徴) ～だった

「動詞句」

l'air レール n.m 様子

「目的語」

très surprise ロテ・シュルプリズ adj.f とても驚いた

「形容詞句」

de +不定詞 トゥ adv. (原因) ～して

「副詞句」

me ム pron 僕を

「目的語」

voir ヴァ・ワール 不定詞 v.t 見る

「動詞」

avec une cravate noire アヴ・エッキ・コンヌ・クラヴァット・ヌワール

adj. 黒のネクタイをした

「形容詞句」

et エ conj. そして

elle エル pron 彼女は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥマンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということを

「直接目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i (存在) ～にいる

「動詞」

en deuil. オン・ドゥイユ adv. 喪に服して、近親の死に、喪服の中に

「副詞句」

それで、僕はベッドの上で体の向きを変えて、枕の中にマリーの髪が残した潮の香りを探し、その後 10 時まで眠った。[C-1-2]

Alors, je me suis retourné dans mon lit, j'ai cherché dans le traversin l'odeur de sel que les cheveux de Marie y avaient laissée et j'ai dormi jusqu'à dix heures.

「副詞」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

et 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Alors, アロー adv. それで

「副詞」

je ジュ pron 僕は

「主語」

文の構成要素

| | |
|---|--------|
| me suis retourné ム・シュイ・ルトゥルネ 1 単現・完了形(se retourner) | |
| v.pr 向きを変えた、(元の場所へ) 戻った | 「動詞句」 |
| この場面では、ベッドから起き出していないので、ベッドの上で向きを変えた | |
| dans mon lit, トン・モン・リ adv. ベッドの中に | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai cherché エ・シェルシェ 1 単現・完了形(chercher)v.t 探した | 「動詞句」 |
| dans le traversin トン・ル・トラヴェルサン adv. 枕の中に | 「副詞句」 |
| l'odeur de sel ロデル・トゥ・セル n.f 潮の香りを | 「目的語」 |
| que ク pron (目的語) ~する | 「形容詞節」 |
| les cheveux de Marie レ・シュヴ・トゥ・マリー pl.n.m マリーの髪が | 「主語」 |
| y イ adv. そこに | 「副詞」 |
| avaient laissée アヴ・ェ・レッセ 3 複現・完了形(laisser)v.t 残した | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dormi エ・ドルミ 1 単現・完了形(dormir)v.i 眠った | 「動詞句」 |
| jusqu'à dix heures. ジュスカ・デ・イ・ゼール adv. 10 時まで | 「副詞句」 |

僕は自分で卵を料理して、それを大皿から直接食べた。パンは切らしていたが、それを買うために降りたくなかったので、パンは無しで済ませた。[C-1-2]

Je me suis fait cuire des oeufs et je les ai mangés à même le plat, sans pain parce que je n'en avais plus et que je ne voulais pas descendre pour en acheter.

| | |
|---|-------|
| 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」 | |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis fait cuire ム・シュイ・フェ・キュール 1 単現・完了形(se faire+不定詞) | |
| v.t 自分のために料理した | 「動詞句」 |
| se は「自分のために」、faire cuire は「料理する」の意味 | |
| des oeufs デ・ウッフ pl.n.m 卵を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| les レ pron 調理した卵を | 「目的語」 |
| ai mangés エ・モンジェ 1 単現・完了形(manger)v.t 食べた | 「動詞句」 |
| à même le plat, ア・メーム・ル・プラ adv. 調理用の大皿から直に | 「副詞句」 |
| 料理は鍋から盛り皿 plat に盛り付け、取り皿 assiette アシェット に取り分けて食べる | |
| sans pain ツン・パン adv. パンは無しで | 「副詞句」 |
| parce que パルス・キ conj. ~なので | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |

文の構成要素

n'en avais plus ノン・アヴヱ・フリュ 1 単半・否定(avoir+en)

v.t それを切らしていた

「動詞句」

et エ conj. そして

que ク conj. ～なので（副詞節の続き）

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne voulais pas descendre ヌ・ヴレ・パ・デ・ソントル 1 単半・否定・願望(vouloir+不定詞)

v.i 降りたくなかった

「動詞句」

pour en acheter. プール・オン・アシュテ adv. パンを買いに行くために

「副詞句」

もはや僕はこの部屋の中だけで、少しへこんだ麦わら詰め椅子と、姿見が黄ばんだ箆笥と、化粧台と銅製のベッドに囲まれて暮らしている。[C-1-2]

Je ne vis plus que dans cette pièce, entre les chaises de paille un peu creusées, l'armoire dont la glace est jaunie, la table de toilette et le lit de cuivre.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne vis plus que ヌ・ヴィ・プリュ・ク 1 単現(vivre+ne...plus que)

v.i もはや～だけで暮らしている

「動詞句」

dans cette pièce, ドン・セット・ピエス adv. この部屋の中

「副詞句」

entre オントル prep. ～の間で

「副詞句」

les chaises レ・シェーズ pl.n.f 椅子

「目的語」

de paille トゥ・パ・イユ adj. 麦わらを詰めた

「形容詞句」

un peu creusées, アン・フ・クルセ adj. 少しへこんだ 「形容詞句」

l'armoire ラルムワール n.f 箆笥

「目的語」

dont ドン pron (主語) それは～する

「形容詞節」

la glace ラ・グラス n.f 姿見は

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

jaunie, ジョニー adj.f 黄ばんだ

「補語」

la table ラ・ターブル n.f 台

「目的語」

de toilette トゥ・トゥワレット adj. 化粧の

「形容詞句」

et エ conj. そして

le lit ル・リ n.m ベッド

「目的語」

de cuivre. トゥ・キューヴル adj. 銅製の

「形容詞句」

向かいの歩道では、タバコ屋の主人が椅子を外に出して、戸口の前に据え付け、それにまたがって、両腕で椅子の背に持たれていた。[C-1-2]

Sur le trottoir d'en face, le marchand de tabac a sorti une chaise, l'a installée devant sa porte et l'a enfourchée en s'appuyant des deux bras sur le dossier.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」,

「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 et 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

Sur le trottoir シュール・ル・トロットワール adv. 歩道では 「副詞句」

d'en face, ドン・ファス adj. 正面の 「形容詞句」

le marchand ル・マルション n.m 商人が 「主語」

de tabac トゥ・タバ adj. タバコ屋の 「形容詞句」

a sorti ア・ソルティ 3 単現・完了形(sortir)v.t 外に出した 「動詞句」

une chaise, ユヌ・シェーズ n.f 椅子を 「目的語」

l' ラ pron それを 「目的語」

a installée ア・アンスタレ 3 単現・完了形(f(installer)v.t 据え付けた 「動詞句」

devant sa porte ドゥヴァン・サ・ポルト adv. 戸口の前へ 「副詞句」

et エ conj. そして

l' ラ pron それに 「目的語」

a enfourchée ア・オンフルシェ 3 単現・完了形(enfourcher)v.t またがった 「動詞句」

en +現在分詞 オン ジェロンディフ adv. ～しながら 「副詞句」

s'appuyant シェ・ユイヨン 現在分詞(s'appuyer)v.pr (sur に) もたれかかる 「動詞句」

des deux bras デ・トゥ・ブラ adv. 両腕によって 「副詞句」

sur le dossier. シュール・ルドシエ adv. その背に 「副詞句」

そうしている間に、空は少しづつ晴れてきた。しかし雲が通過すると、路面に雨の前触れのような跡を残していったので、路面はさらに黒っぽくなった。[C-1-2]

Il s'est découvert peu à peu cependant. Mais le passage des nuées avait laissé sur la rue comme une promesse de pluie qui l'a rendue plus sombre.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Mais 「主語」 「動詞句」 「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「補語」

Il イル pron 空は 「主語」

s'est découvert セ・デクヴァール 3 単現・完了形(se découvrir)v.pr (空が) 晴れた 「動詞句」

peu à peu プ・ア・フ adv. 少しづつ 「副詞句」

cependant. スポントソ adv. そうしている間に 「副詞」

Mais メ conj. しかし

le passage ル・パサージュ n.m 通過は 「主語」

des nuées デ・ニエ adj. 雲の 「形容詞句」

文の構成要素

| | |
|--|--------|
| avait laissé アヴ`ェ・レッセ 3 単半・完了形(laisser)v.t 跡を残した | 「動詞句」 |
| sur la rue シュール・ラ・リュウ adv. 路面に | 「副詞句」 |
| comme コム adv. ～のように | 「副詞句」 |
| une promesse エヌ・プロメス n.f 約束、見込み、前触れ | 「目的語」 |
| de pluie トゥ・プリユイ adj. 雨の | 「形容詞句」 |
| qui キ pron (主語) (継続) それが～する | 「副詞節」 |
| l' ラ pron (la rue の代用) 路面を | 「目的語」 |
| a rendue ア・ロンデュ 3 単現・完了形.f(rendre)v.t (+C) ～にした | 「動詞句」 |
| plus sombre. プリュ・ゾンブル adj. もっと黒っぽい | 「補語」 |

また少し日が傾いてきた。屋根の上では空が赤みを帯びてきており、日が暮れるに従って通りは活気づいてきた。[C-1-2]

La journée a tourné encore un peu. Au-dessus des toits, le ciel est devenu rougeâtre et, avec le soir naissant, les rues se sont animées.

「主語」「動詞句」「副詞句」

「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」

| | |
|--|-------|
| La journée ラ・ジュルネ n.f 昼間、日中は | 「主語」 |
| a tourné ア・トゥルネ 3 単現・完了形(tourner)v.i 回った | 「動詞句」 |
| encore un peu. オンコール・アン・プ adv. さらに少し | 「副詞句」 |
| Au-dessus des toits, オ・トゥッシュ・デ・トゥワ adv. 屋根の上には | 「副詞句」 |
| le ciel ル・シエル n.m 空が | 「主語」 |
| est devenu エ・トゥヴァニユ 3 単現・完了形(devenir)v.i ～になっていた | 「動詞句」 |
| rougeâtre ルージュートル adj. 赤みを帯びた | 「補語」 |
| et, エ conj. そして | |
| avec le soir naissant, アヴ`エッキ・ル・スワ・ル・ネソ adv. 日が暮れるに従って | 「副詞句」 |
| avec アヴ`エッキ prep (同時性) ～と同時に、～とともに | |
| les rues レ・リュ pl.n.f 通りは | 「主語」 |
| se sont animées. ス・ソ・アニメ 3 複現・完了形.f.pl(s'animer)v.pt 活気づいた | 「動詞句」 |

その時、街灯が突然点灯して、その光が、夜に先駆けて登っていた星たちを色あせさせた。

[C-1-2]

Les lampes de la rue se sont alors allumées brusquement et elles ont fait pâlir les premières étoiles qui montaient dans la nuit.

「主語」「動詞句」「副詞」 et 「主語」「動詞句」「補語」「目的語」

| | |
|---|------|
| Les lampes de la rue レ・ロンプ・トゥ・ラ・リュ pl.n.f 街灯が | 「主語」 |
| se sont alors allumées ス・ソ・アロー・アリュメ 3 複現・完了形(s'allumer+alors) | |

文の構成要素

| | | |
|-----------------------|--------------------------------------|--------|
| v.pr | その時明かりが灯った | 「動詞句」 |
| brusquement | ブリュスクモン adv. 不意に、突然 | 「副詞」 |
| et | エ conj. すると | |
| elles | エル pron.pl 街灯の光が | 「主語」 |
| ont fait | オン・フェ 3 複現・完了形・使役(faire+不定詞)v.t ~させた | 「動詞句」 |
| pâlir | パール 不定詞 v.i 青ざめる、色あせる | 「補語」 |
| les premières étoiles | レ・プ ルミエール・セトワール pl.n.f 最初の星たちを | 「目的語」 |
| qui | キ pron (主語) ~する | 「形容詞節」 |
| montaient | モンテ 3 複半(monter)v.i 登っていた | 「動詞」 |
| dans la nuit. | ドン・ラ・ニュイ adv. 夜に先駆けて | 「副詞句」 |

直説法・半過去と半過去完了

むかしむかし、3人の息子と一緒に暮らしている粉屋がいました。[A-3]

Il était une fois, un meunier qui vivait avec ses trois fils. 「動詞句」「主語」
 Il était une fois, イ・レ・エヌ・フワ 3 単半(être)v.i むかしむかし～がいました 「動詞句」
 un meunier アン・ムニエ n.m 粉屋 「主語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 vivait ヴィヴァエ 3 単半(vivre)v.i 暮らしていた 「動詞」
 avec ses trois fils. アヴ・エツキ・セ・トルワ・フィス adv. 3 人の息子と一緒に 「副詞句」

彼の全財産といえば、水車小屋とロバと猫が一匹ずつだけだった。[A-3]

Tout ce qu'il possédait était un moulin, un âne et un chat. 「主語」「動詞」「補語」
 Tout ce トゥット・ス pron 全てのもの 「主語」
 qu' ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 il イル pron 彼が 「主語」
 possédait ポセダエ 3 単半(posséder)v.t 持っていた 「動詞」
 était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
 un moulin, アン・ムラン n.m 水車小屋 「補語」
 un âne アン・アヌ n.m 一匹のロバ 「補語」
 et エ conj. そして
 un chat. アン・シャ n.m ネコが一匹 「補語」

当然、この末っ子は分け前に満足できませんでした。[A-3]

Naturellement, ce dernier n'était pas content du partage : 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」
 Naturellement, ナチュレルモン adv. 当然 「副詞」
 ce dernier ス・テルニエ n.m この末っ子は 「主語」
 n'était pas ネ・タ・パ 3 単半・否定(être)v.i ～でなかった 「動詞句」
 content コント adj. (de に) 満足な 「補語」
 du partage : ジュ・ハ・ルタージュ adv. 分け前に対して 「副詞句」

このため息を聞いていたネコは彼をなぐさめました。[A-3]

Le Chat qui écoutait ces soupirs, le rassura : 「主語」「目的語」「動詞」
 Le Chat ル・シャ n.m ネコは 「主語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 écoutait エクテ 3 単半(écouter)v.t 聞いた 「動詞」

文の構成要素

| | | |
|----------------------------------|--------|-------|
| ces soupirs, セ・スピール pl.n.m | このため息を | 「目的語」 |
| le ル pron | 彼を | 「目的語」 |
| rassura : ラシュラ 3 単過(rassurer)v.t | 慰めた | 「動詞」 |

しかし彼は、自分のネコがハツカネズミを捕まえたり木の上で曲芸をするのが器用にできて、賢いことを知っていたので、このネコが信用できると思いました。[A-3]

Mais comme il savait que son animal était malin --- il était très habile pour attraper les souris ou faire des tours d'acrobatie dans les arbres --- il se dit qu'il pouvait lui faire confiance.

Mais 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

| | | |
|---|-----------|-------|
| Mais メ conj. | しかし | |
| comme コム conj. | ～なので | 「副詞節」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| savait サヴェ 3 単半(savoir)v.t | 知っていた | 「動詞」 |
| que ク conj. | ～ということ | 「目的語」 |
| son animal ソン・アニマル n.m | 彼のネコは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半 (être) v.i | ～だった | 「動詞」 |
| malin マリン adj. | 賢い | 「補語」 |
| il イル pron | それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半 (être) v.i | ～だった | 「動詞」 |
| très habile トレ・ザビール adj. | とても器用な | 「補語」 |
| pour +不定詞 プール adv. | ～するのに | 「副詞句」 |
| attraper アトラペ 不定詞 v.t | 捕まえる | 「動詞」 |
| les souris レ・スリ pl.n.f | ハツカネズミを | 「目的語」 |
| ou ウ conj. | または | |
| faire フェール 不定詞 v.t | ～する | 「動詞」 |
| des tours d'acrobatie テ・トゥール・ダクロバシー pl.n.m | 曲芸 | 「目的語」 |
| dans les arbres トン・レ・ザルブル adv. | 木の上で | 「副詞句」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| se dit ス・ディ 3 単過(se dire)v.pr | 思った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | ～ということ | 「目的語」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| pouvait lui faire confiance. プ・ヴァ・リュイ・フェール・コンフィオンス 3 単半・可能(pouvoir+不定詞) | | |
| v.t | 彼を信用できる | 「動詞句」 |
| faire confiance à qn | (人) を信用する | |

ネコは、長靴をはき袋をかついで、ウサギがたくさんいる草原に狩りに出かけました。

[A-3]

Avec ses bottes et son sac, le Chat partit en chasse dans la prairie, où se trouvaient beaucoup de lapins.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Avec ses bottes et son sac, アヴ ェッキ・セ・ボット・エ・ソン・サック

adv. 長靴をはき、袋をかついで

「副詞句」

le Chat ル・シャ n.m ネコは

「主語」

partit パルティ 3 単過(partir)v.i 出発した

「動詞」

en chasse オン・シャス adv. 狩りをしに

「副詞句」

dans la prairie, ドン・ラ・プリー adv. 草原に

「副詞句」

où ウ pron そこに～する

「形容詞節」

se trouvaient ストルヴァエ 3 複半(se trouver)v.pr ～がいる

「動詞句」

beaucoup de lapins. ボク・ドゥ・ラパン pl.n.m ウサギがたくさん

「主語」

夏のある日、王様が美しい王女様と一緒に川辺に散歩に出かけるという知らせを、ネコが聞きました。[A-3]

Le Chat apprit, un beau jour d'été, que le roi allait faire une promenade au bord de la rivière en compagnie de sa fille, une charmante princesse.

「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Le Chat ル・シャ n.m ネコは

「主語」

apprit, アプリ 3 単過(apprendre)v.t 聞きました

「動詞」

un beau jour d'été, アン・ボ・ジュール・デテ adv. ある夏の日に

「副詞句」

un beau jour アン・ボ・ジュール n.m ある日

que ク conj. ～ということを

「目的語」

le roi ル・ルわ n.m 王様が

「主語」

allait faire アレ・フェール 3 単半・近接未来・時制の一致(aller+不定詞)

v.t ～をする予定だ

「動詞句」

une promenade ユヌ・フロムナド n.f 散歩を

「目的語」

au bord de la rivière オ・ボー・ドゥ・ラ・リヴィエール adv. 川辺を

「副詞句」

en compagnie de sa fille, オン・コンパニ・ドゥ・サ・フィユ adv. 娘と一緒に

「副詞句」

une charmante princesse. ユヌ・シャルモント・プランス

n.f (同格) 美しい王女

「目的語」

実を言えば、主人は泳ぎたいという気持ちは全くなかったのですが、いつもネコがよい助言をしてくれるので、川に行く事にしました。[A-3]

À vrai dire, le maître n'avait pas vraiment envie de nager; mais comme le Chat lui donnait à chaque fois de bons conseils, il décida d'y aller.

| | |
|--|-----------------------|
| 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 | mais 「副詞節」, 「主語」「動詞句」 |
| À vrai dire, ア・ヴレ・ディール adv. 実の所、実を言えば | 「副詞句」 |
| le maître ル・メートル n.m 主人は | 「主語」 |
| n'avait pas ナヴェ・パ 3 単半・否定(avoir)v.t 無かった | 「動詞句」 |
| vraiment ヴレモン adv. まったく | 「副詞」 |
| envie de nager; オンヴィ・ド・ナジェ n.f 泳ぎたいという気持ち | 「目的語」 |
| mais メ conj. しかし | |
| comme コム conj. ～なので | 「副詞節」 |
| le Chat ル・シャ n.m ネコが | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| donnait ドネ 3 単半(donner)v.t くれていた | 「動詞」 |
| à chaque fois ア・シャッキ・フワ adv. いつも、毎回 | 「副詞句」 |
| de bons conseils, ド・ボン・conseils pl.n.m よい助言を | 「直接目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| décida d'y aller. デシダ・ディ・アレ 3 単過・決断(décider+不定詞) | |
| v.i 川に行く事を決めた | 「動詞句」 |

「われわれは散歩をしていたところです、できれば一緒に散歩を続けられたらうれしいのだが、侯爵。」[A-3]

《Nous étions en train de faire une promenade, et serions ravis de continuer en votre compagnie, Marquis.》 《「主語」「動詞」「補語」 et 「動詞」「補語」「副詞句」》

| | |
|---------------------------------------|-------|
| Nous ヌ pron 我々は | 「主語」 |
| étions エション 1 複半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| en train de +不定詞 オン・トラン・ドゥ adv. ～する最中 | 「補語」 |
| être en train de +不定詞 「～している最中である」 | |
| faire フェール 不定詞 v.t する | 「動詞」 |
| une promenade, ユヌ・プ ロマナト n.f 散歩 | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| serions シヨ 条・1 複現・勧誘(être)v.i ～だろう | 「動詞」 |
| ravis ラヴィ adj.pl うれしい | 「補語」 |
| de +不定詞 ドゥ adv. (条件) ～すれば | 「副詞句」 |
| continuer コンティニュエ 不定詞 v.i 続ける | 「動詞」 |

文の構成要素

en votre compagnie, オン・ウゝォトル・コンパニィ adv. 貴方と一緒に 「副詞句」
Marquis.》マルキ n.m 公爵 「呼びかけ」

あちらでカラバ侯爵のもの、こちらでもカラバ侯爵のもの、これほどの富を目にして王様は
カラバ侯爵に魅了されてしまいました。[A-3]

Monsieur le Marquis de Carabas par-ci. Monsieur le Marquis de Carabas par-là, le roi
était enchanté de découvrir une telle richesse. 「目的語」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Monsieur le Marquis de Carabas par-ci, ムシュ・ル・マルキ・ドゥ・カラバ・パール・シ

n. あちらでカラバ侯爵 「目的語」

Monsieur le Marquis de Carabas par-là, ムシュ・ル・マルキ・ドゥ・カラバ・パール・ラ

n. こちらでもカラバ侯爵 「目的語」

le roi ル・ルワ n.m 王様は 「主語」

était enchanté エテ・オンションテ 3 単半・受動(enchanter)v.t 魅了されてしまった 「動詞句」

de +不定詞 トゥ adv. (理由) ~して 「副詞句」

découvrir デクヴリール 不定詞 v.t 目にする 「動詞」

une telle richesse. ユヌ・テル・リシェス n.f これほどの富を 「目的語」

tel, telle テル adj. それほどの、そのような

ついにネコは大きな城の前に到着しました。その宮殿は豪華でしたが、恐ろしい人食い鬼が
住んでいました：じつは、いまネコが通り抜けてきた牧場や畑や景色などの全ては、この人
食い鬼のものだったのです。[A-3]

Enfin, le Chat arriva devant un grand château. Le palais était somptueux mais était
habité par un terrible ogre : en fait, tout les prés, les champs et les paysages que venait
de traverser le Chat appartenaient à celui-ci ...

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」 mais 「動詞句」「副詞句」

: 「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」

Enfin, オンファン adv. ついに 「副詞」

le Chat ル・シャ n.m ネコは 「主語」

arriva アリーヴァ 3 単過(arriver)v.i 到着した 「動詞」

devant un grand château. トゥウゝォン・アン・グロン・シャトォ adv. 大きな城の前に 「副詞句」

Le palais ル・パレ n.m その宮殿は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

somptueux ソンプチュ adj. 豪華な 「補語」

mais メ conj. しかし

était habité エテ・アビテ 3 単半・受動(habiter)v.t 住まれていた 「動詞句」

par un terrible ogre : パール・アン・テリブル・オーグレル adv. 恐ろしい人食い鬼によって 「副詞句」

文の構成要素

| | | |
|-----------------------|--|---------|
| en fait, オン・フェ | adv. 実は、実際は | 「副詞句」 |
| tout トゥ | adj. 全ての～は | 「主語」 |
| les prés, レ・プレ | pl.n.m(pré) 牧場 | 「目的語」 |
| les champs レ・ション | pl.n.m 畑 | 「目的語」 |
| et エ | conj. そして | |
| les paysages レ・ペイザージュ | pl.n.m 景色 | 「目的語」 |
| que ク | pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| venait de traverser | ヴネ・トヴァ・トラヴァエル 3 単半・近接過去(venir de+不定詞) | |
| v.t | いま通り抜けてきた | 「動詞句」 |
| le Chat ル・シャ | n.m ネコが | 「主語」 |
| appartenait | アパルトゥネ 3 複半(appartenir)v.i (à の) 所有だった | 「動詞」 |
| à celui-ci ... | ア・スリュイ・シ adv. この人食い鬼の | 「間接目的語」 |

驚きと感動が続いた後で、王女様は侯爵に夢中になり、王様はそのことに大喜びでした。

[A-3]

Après tant de surprises et tant d'émotions, la princesse était devenue folle du marquis,
et le roi en était bien ravi.

| | | |
|-------------------|--|-------|
| | 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「副詞句」「動詞」「補語」 | |
| Après アプレ | prep ～の後で | 「副詞句」 |
| tant de surprises | トン・トヴァ・シュルプ リーズ pl.n.f 沢山の驚き | 「目的語」 |
| tant de+名詞 | 「沢山の～」 | |
| et エ | conj. そして | |
| tant d'émotions, | トン・デモンシオン pl.n.f 沢山の感動 | 「目的語」 |
| la princesse | ラ・プランス n.f 王女様は | 「主語」 |
| était devenue | エテ・ドヴァニユ 3 単半・完了形(devenir)v.i ～になった | 「動詞」 |
| folle フォル | adj.f(fou) (de に) 夢中な | 「補語」 |
| du marquis, | ジュ・マルキ adv. 侯爵に | 「副詞句」 |
| et エ | conj. そして | |
| le roi ル・ルワ | n.m 王様は | 「主語」 |
| en オン | adv. それに | 「副詞句」 |
| | 王女が侯爵に夢中になったことなどを指す | |
| était エテ | 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| bien ravi. | ビヤン・ラヴィ adj. 大喜びの | 「補語」 |

長い間、穏やかな日の入りしか気晴らしではなかったんだね。[B-6]

Tu n'avais eu longtemps pour distraction que la douceur des couchers de soleil.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Tu チュ pron 君は

「主語」

n'avais eu ...que ナヴヱ・ジィ...ク 3 単半・完了形・否定(avoir)

v.t ~しか持たなかった

「動詞句」

longtemps ロントソ adv. 長い間

「副詞」

pour distraction プール・ディストラクシヨソ adv. (目的) 気晴らしとして

「副詞句」

la douceur des couchers de soleil ラ・ドゥセル・デ・クシェ・ドゥ・ソレイユ

n.f 穏やかな日の入り

「目的語」

けれども、君の小さな星の上だったら、椅子を二、三步引っ張るだけで充分だった。[B-6]

Mais, sur ta si petite planète, il te suffisait de tirer ta chaise de quelques pas.

Mais 「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」「主語」

Mais メ conj. だけど

sur ta si petite planète シュール・タ・シ・プティット・プラネット

adv. とっても小さい君の星の上なら

「副詞句」

il イル pron 形式主語 (真の主語は de tirer 以降)

te トゥ pron 君にとって、君が

「間接目的語」

suffisait シフイ 3 単半(suffire de+不定詞)v.i ~するだけで十分だった

「動詞」

de tirer トゥ・ティレ 不定詞句 v.t ~を引くことが

「主語」

ta chaise タ・シェース n.f 椅子を

「目的語」

de quelques pas トゥ・ケル・パ adv. ほんの二、三步だけ

「副詞句」

だから君は、見たいと思うたびごとに、たそがれを眺めていたのよね... [B-6]

Et tu regardais le crépuscule chaque fois que tu le désirais ...

Et 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Et エ conj. それで

tu チュ pron 君は

「主語」

regardais ルギヤルテ 2 単半(regarder)v.t 見た

「動詞」

le crépuscule ル・クレプスキュール n.m たそがれを

「目的語」

chaque fois シャック・フワ n.f 毎回

「副詞句」

que ク pron ~する

「形容詞節 : fois」

tu チュ pron 君が

「主語」

le ル pron それを

「目的語」

文の構成要素

désirais デジレ 2 単半(désirer)v.t 望んだ 「動詞」

そして、少したって、こう付け加えたものだね：[B-6]

Et un peu plus tard tu ajoutais : Et 「副詞句」「主語」「動詞」：

Et エ conj. そして

un peu plus tard アン・フ・プリュ・タール adv. 少し後で 「副詞句」

tu チュ pron 君は 「主語」

ajoutais アジュテ 2 単半(ajouter)v.t 付け加えた 「動詞」

「それじゃあ、44 回も日の入りを見た日は、よっぽど悲しかったんだね。」[B-6]

--- Le jour des quarante-quatre fois, tu étais donc tellement triste?》

《「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」「補語」》

Le jour ル・ジュール n.m その日 「副詞句」

des quarante-quatre fois テ・キヤントゥ・ツキヤトル・フワ adj. 44 回の 「形容詞句：jour」

tu チュ pron 君は 「主語」

étais エテ 2 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」

donc トン adv. それじゃあ 「副詞」

tellement triste テルモン・トゥリスト adj. とても悲しい 「補語」

僕はそれを知らなかった。その時は、あまりにも固く締めすぎているエンジンのボルトを外すのに、僕は大わらわだった。[B-7]

Je ne le savais pas. J'étais alors très occupé à essayer de dévisser un boulon trop serré de mon moteur. 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「主語」「副詞」「補語」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

ne ...savais pas ス...サヴァエ・パ 1 単半・否定(savoir)v.t 知らなかった 「動詞句」

le ル pron それを 「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

étais エテ 1 単半 (être)v.i 〜であった 「動詞」

alors アロー adv. その時 「副詞」

très occupé トレ・ゾキュヘ° adj. 大忙し 「補語」

à essayer de dévisser ア・エッセイェ・トゥ・デヴィッセ

adv. (目的) 取り外そうとするのに 「副詞句」

un boulon アン・ブロン n.m ボルトを 「目的語」

trop serré トロ・セレ adj. きつく締めすぎた 「形容詞句：boulon」

de mon moteur トゥ・モン・モトゥール adj. エンジンの 「形容詞句：boulon」

故障が大変深刻だということが分かってきたうえに、飲み水も底を尽きかけていたので、最悪の事態がたいへん心配だった。[B-7]

J'étais très soucieux car ma panne commençait de m'apparaître comme très grave, et l'eau à boire qui s'épuisait me faisait craindre le pire.

「主語」「動詞」「補語」「副詞節」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais エ 1 単半 (être)v.i 〜であった 「動詞」
 très soucieux トレ・スシュー adj. とても心配そうな 「補語」
 car カル conj. なぜなら 「副詞節」
 ma panne マ・パンヌ n.f 故障は 「主語」
 commençait de m'apparaître コモンセ・ド・マ・パレートル 3 単半・開始(commencer de+不定詞+me)
 v.i 私に分かり始めてきた 「動詞句」
 comme très grave コム・トレ・グラーヴ adj. どれほど重大な 「補語」
 et エ conj. そして
 l'eau à boire ロ・ア・ブ・わ・ル n.f 飲み水が 「主語」
 qui キ pron 〜する 「形容詞節」
 s'épuisait セ・ュイセ 3 単半(s'épuiser)v.pr 底を尽きかけていた 「動詞句」
 me ム pron 私に 「間接目的語」
 faisait craindre フェ・クラントル 3 単半・使役(faire+不定詞)
 v.t 恐れさせていた 「動詞句」
 le pire ル・ピール n.m 最悪の事態を 「直接目的語」

王子様は、いったん質問をしだすと決して諦めなかった。[B-7]

Le petit prince ne renonçait jamais à une question, une fois qu'il l'avait posée.

「主語」「動詞句」「間接目的語」
 Le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様は 「主語」
 ne renonçait jamais ノ・ルノンセ・ジヤメ 3 単半・否定(renoncer)
 v.i (à を) 決して諦めなかった 「動詞句」
 à une question ア・ユヌ・クエスチョン adv. 質問を 「間接目的語」
 une fois qu' ユヌ・フワ・ク adv. 一度〜する 「形容詞節」
 il イル pron 彼が 「主語」
 l' ル pron それを 「目的語」
 avait posée アヴ・エ・ポセ 3 単半・完了形(poser)
 v.t (質問を) した 「動詞句」

僕はボルトに苛立っていたので、いい加減に答えた：[B-7]

J'étais irrité par mon boulon et je répondis n'importe quoi :

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「副詞句」:

| | |
|--|-------|
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| étais エ 1 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| irrité イレ adj. いらだっている | 「補語」 |
| par mon boulon パール・モン・ブロン adv. ボルトのせいで | 「副詞句」 |
| et エ conj. それで | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| répondis レポンスィ 1 単過(répondre)v.i 答えた | 「動詞」 |
| n'importe quoi ナポルト・クワ adv. でたらめに、いいかげんに | 「副詞句」 |

僕は何も答えなかった。その瞬間心の中で思っていた：[B-7]

Je ne répondis rien. À cet instant-là je me disais :

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」:

| | |
|--|-------|
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne répondis ネレポンスィ 1 単過・否定(répondre)v.t 答えなかった | 「動詞句」 |
| rien リヤン pron 何も~ない | 「目的語」 |
| À cet instant-là ア・セタンストン・ラ adv. この瞬間 | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me disais ム・ディセ 1 単半(se dire)v.pr 思っていた | 「動詞句」 |

彼は僕を見ていた。僕は片手にカナヅチを持ち、手の指は機械油で汚れ、彼には大変醜く見えるものを覗き込んでいた。[B-7]

Il me voyait, mon marteau à la main, et les doigts noirs de cambouis, penché sur un objet qui lui semblait très laid.

「主語」「目的語」「動詞」, 「補語」 et 「補語」, 「補語」

| | |
|---|----------------|
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| voyait ヴワイ 3 単半(voir)v.t 見ていた | 「動詞」 |
| mon marteau モン・マルトー n.m (僕の状況を説明) ハンマーを | 「補語」 |
| à la main ア・ラ・マン adv. 手に持ち | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| les doigts noirs レ・ドゥ・ヌワール pl.n.m 黒い指 | 「補語」 |
| de cambouis トゥ・コンビィ adj. 機械油で汚れた | 「形容詞句: doigts」 |
| penché ポンシェ adj. 身をかがめていた | 「補語」 |
| sur un objet シュール・アン・オブジェ adv. 物の上に | 「副詞句: penché」 |

文の構成要素

| | | |
|---------------------|------------------|--------------|
| qui キ pron | それは～する | 「形容詞節：objet」 |
| lui リュイ pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| semblait シンブレ | 3 単半(sembler)v.i | ～に見える 「動詞」 |
| très laid トレ・レ adj. | とても醜い | 「補語」 |

彼は本当にひどく、苛立っていた。すっかり金色に染まった髪を風になびかせて：[B-7]

Il était vraiment très irrité. Il secouait au vent des cheveux tout dorés：

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」：

| | | |
|-------------------------|------------------|-------------------|
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半(être)v.i | ～だった 「動詞」 |
| vraiment ヴレモン adv. | 本当に | 「副詞：irrité」 |
| très irrité トレ・ジリテ adj. | ひどく苛立った | 「補語」 |
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| secouait スクエ | 3 単半(secouer)v.t | (髪を) なびかせていた 「動詞」 |
| au vent オ・ウ・オン adv. | 風に | 「副詞句」 |
| des cheveux テ・シュウ | pl.n.m | 髪の毛を 「目的語」 |
| tout dorés: トウ・ドレ adj. | すべて金色の | 「形容詞句：cheveux」 |

王子様は今では青くなって怒っていた。[B-7]

Le petit prince était maintenant tout pâle de colère. 「主語」「動詞」「副詞」「補語」

| | | |
|---|---------------|-----------|
| Le petit prince ル・プチ・プリンス n.m | 王子様は | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半(être)v.i | ～だった 「動詞」 |
| maintenant マントナン adv. | 今では | 「副詞」 |
| tout pâle de colère トウ・パール・トゥ・コレール adj. | 怒りで真っ青な | 「補語」 |

でも、羊がもし花を食べてしまえば、その人にとっては、ふいに星という星が消えたみたいになってしまうんだ。[B-7]

Mais, si le mouton mange la fleur, c'est pour lui comme si, brusquement, toutes les étoiles s'éteignaient! Mais 「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」「補語」

| | | |
|---------------------|-----------------|----------|
| Mais メ conj. | しかし | |
| si シ conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| le mouton ル・ムトン n.m | 羊が | 「主語」 |
| mange モンジュ | 3 単現(manger)v.t | 食べる 「動詞」 |
| la fleur ラ・フレール n.f | 花を | 「目的語」 |
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| est エ(être)v.i | ～である | 「動詞」 |

文の構成要素

| | | |
|--------------------------------|-------------------------------|-------|
| pour lui プール・リュイ | adv. その人にとって | 「副詞句」 |
| comme si コム・シ | adv. このようなもの | 「補語」 |
| brusquement ブリュスクモン | adv. 不意に | 「副詞」 |
| toutes les étoiles トット・レ・ゼトワール | pl.n.f. すべての星が | 「主語」 |
| s'éteignaient セテニエ | 3 複半(s'éteindre)v.pr. 消えてしまった | 「動詞句」 |

彼はもうそれ以上なにも言うことができなかった。いきなりすすり泣いた。日が暮れていた。

[B-7]

Il ne put rien dire de plus. Il éclata brusquement en sanglots. La nuit était tombée.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」 | 「主語」「動詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

ne put rien dire ヌ・ピュ・リヤン・ヂール 3 単過・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t. なにも言えなかった 「動詞句」

ne ... rien 「何も～ない」

de plus トゥ・プリュ adv. もうそれ以上 「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

éclata エクラタ 3 単過(éclater)v.i (en+無冠詞名詞) ～を爆発させた 「動詞」

brusquement ブリュスクモン adv. 急に、不意に 「副詞」

en sanglots オン・ソングロ adv. すすり泣きを 「間接目的語」

La nuit ラ・ニュイ n.f. 夜は (日が) 「主語」

était tombée エテ・トンベ 3 単半・完了形(tomber)v.i (日が) 暮れていた 「動詞句」

僕は道具を手放していた。カナヅチも、ボルトも、のどの渇きも、死の恐怖も、もう意に介さなかった。[B-7]

J'avais lâché mes outils. Je me moquais bien de mon marteau, de mon boulon, de la soif et de la mort.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais lâché アヴェ・ラシェ 3 単半・完了形(lâcher)v.t. 手放していた 「動詞句」

mes outils メ・ズティ pl.n.m. 道具を 「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

me moquais ム・モク 3 単半(se moquer)v.pr. 意に介さなかった 「動詞句」

bien ビヤン adv. (否定・強調) まったく 「副詞」

de mon marteau, de mon boulon, de la soif et de la mort

トゥ・モ mm・マルト・トゥ・モン・ブロン・トゥ・ラスワフ・エ・トゥ・ラ・モール

n. カナヅチも、ボルトも、のどの渇きも、死ぬことさえ 「目的語」

一つの星の上に、惑星の上に、僕の星、この地球の上に、慰めてあげなければならない一人の王子様が存在していた！[B-7]

Il y avait, sur une étoile, une planète, la mienne, la Terre, un petit prince à consoler!

「動詞句」「副詞句」「主語」「形容詞句」

Il y avait イ・リ・ヤヴ 3 単半(avoir)v.t あった

「動詞句」

sur une étoile, une planète, la mienne, la Terre

シュール・エヌ・エトワ・ル・コンヌ・プランेट・ラ・ミエンヌ・ラ・テール

adv. 一つの星の上に、惑星の上に、僕の星、この地球の上に

「副詞句」

un petit prince アン・プティ・プランス n.m 一人の王子様が

「主語」

à consoler ア・コンソレ adj. 慰めるべき

「形容詞句：prince」

à+不定詞 「～すべき」

王子様の惑星の上には、花びらが一重の、少しも場所ふさぎにならない、誰の邪魔もしない、きわめて素朴な花があった。[B-8]

Il y avait toujours eu, sur la planète du petit prince, des fleurs très simples, ornées d'un seul rang de pétales, et qui ne tenaient point de place, et qui ne dérangeraient personne.

「動詞句」「副詞句」「主語」

Il y avait toujours eu イリ・アヴ・エ・トゥジール・イ 3 単半・完了形(avoir)v.t あった

「動詞句」

sur la planète du petit prince シュール・ラ・プランेट・デュ・プティ・プランス

adv. 王子様の惑星には

「副詞句」

des fleurs très simples デ・フレール・トレ・サンブル pl.n.f とても素朴な花が

「主語」

ornées d' オルネ・ドゥ adj. ～で飾られた

「形容詞句：fleurs」

un seul rang de pétales アン・スル・ラング・ドゥ・ペタル n.m 一重の花びら 「目的語」

et エ conj. そして

qui キ pron それは

「主語」

ne tenaient point ヌ・テナネ・プ・ワン 3 複半・否定(tenir)

v.t (場所を) 占めない

「動詞句」

de place ドゥ・プラス n.f 場所を

「目的語」

et エ conj. そして

qui キ pron それは

「主語」

ne dérangeraient ヌ・テロンジエ 3 複半・否定(déranger)

v.t 邪魔をしない

「動詞句」

personne ペルソヌ n.f (否定文で) 誰も

「目的語」

それらの花は、ある朝、草のあいだから現れ、その晩には消えてしまうのだった。[B-8]

Elles apparaissaient un matin dans l'herbe, et puis elles s'éteignaient le soir.

「主語」「動詞」「副詞句」 et 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

Elles エル pl.n.f 花たちは 「主語」
 apparaissaient アパレセ 3 複半(apparaître)v.i 現れた 「動詞」
 un matin アン・マタン n.m ある朝 「副詞句」
 dans l'herbe トン・レルブ adv. 草の間から 「副詞句」
 et puis エ・ピュイ conj. そしてそれから et 「副詞」
 elles エル pl.n.f 花たちは 「主語」
 s'éteignaient セテニエ 3 複半(s'éteindre)v.pr 消えた 「動詞句」
 le soir ル・スワール n.m その晩には 「副詞句」

ところが王子様のその花は、どこからともなく運ばれてきた種から、ある日芽を出したのだった。それで王子様は、ほかの芽とは違うその芽をすぐそばで見張っていた。[B-8]

Mais celle-là avait germé un jour, d'une graine apportée d'on ne sait où, et le petit prince avait surveillé de très près cette brindille qui ne ressemblait pas aux autres brindilles.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし
 celle-là セル・ラ n.f その花は 「主語」
 avait germé アヴァ・ジェメル 3 単半・完了形(germer)v.i 芽を出した 「動詞句」
 un jour アン・ジュール n.m ある日 「副詞句」
 d'une graine apportée デュンヌ・グレーヌ・アポルテ 過去分詞・受動
 adv. 運ばれてきた種から 「副詞句：germé」
 d' トゥ adv. ～から 「副詞節」
 on オン pron 人は 「主語」
 ne sait ヌセ 3 単現・否定(savoir)v.t 知らない 「動詞句」
 où ウ adv. 何処か 「副詞」
 et エ conj. それで
 le petit prince ル・プティ・プランス n.m 王子様は 「主語」
 avait surveillé アヴァ・シュールヴエイエ 3 単半・完了形(surveiller)v.t 見張っていた 「動詞句」
 de très près トゥ・トレ・プレ adv. すぐそばで 「副詞句」
 cette brindille セット・ブランデイエ n.f この小枝を 「目的語」
 qui キ pron ～する 「形容詞節：brindille」
 ne ressemblait pas ヌ・ルソングレ・パ 3 単半・否定
 v.i (à に)似ていない 「動詞句」
 aux autres brindilles オ・ゾートル・ブランデイエ

adv. 他の小枝に

「間接目的語」

大きな蕾が育っていくのを目撃した王子様は、そこから奇跡が現れてくるのを感じていた。
ところが花は、緑の部屋のかげで美しくなるためのお化粧を止めそうにない。[B-8]

Le petit prince, qui assistait à l'installation d'un bouton énorme, sentait bien qu'il en sortirait une apparition miraculeuse, mais la fleur n'en finissait pas de se préparer à être belle, à l'abri de sa chambre verte.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」「副詞句」

Le petit prince ル・プチ・プリンス n.m 王子様は 「主語」

qui キ pron ーする

「形容詞節：prince」

assistait アシステ 3 単半(assister)v.i(à)を目撃していた 「動詞」

à l'installation ア・ランスタリオン adv. 取り付けを 「目的語」

d'un bouton énorme ダン・ブトン・エノルム

adj. 巨大な蕾の 「形容詞句：l'installation」

sentait ソンテ 3 単半(sentir)v.t 感じていた 「動詞」

bien ビヤン adv. 十分に 「副詞」

qu' ク conj. ーということを 「目的語」

il イル pron 形式主語

en オン adv. そこから 「副詞」

sortirait ソルティール 条・3 単現(sortir)v.i (結果が) 生じる 「動詞」

une apparition miraculeuse ユンス・アパ・リシオン・ミラクユールズ n.f 奇跡の出現 「主語」

mais メ conj. しかし

la fleur ラ・フルール n.f 花は 「主語」

n'en finissait pas de se préparer ノン・フィニセ・パ・ドゥ・ス・プレパレ 3 単半・終了・否定

v.pr その中でずっとお化粧を続けていた 「動詞句」

à être belle ア・エートル・ベル adv. 美しくなるために 「副詞句」

à l'abri de ア・ラブリ・ドゥ adv. ーに守られて 「副詞句」

sa chambre verte サ・シヨンプル・ヴェルト n.f 緑の部屋 「目的語」

念入りに色彩を選んでいた。ゆっくりと服を着て、花卉を一枚一枚ととのえていた。[B-8]

Elle choisissait avec soin ses couleurs. Elle s'habillait lentement, elle ajustait un à un ses pétales.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

「主語」「動詞句」「副詞」, 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Elle エル pron 花は 「主語」

choisissait シュワジセ 3 単半(choisir)v.t 選んでいた 「動詞」

avec soin アヴェ・エッキ・スワン adv. 入念に、念入りに 「副詞句」

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| ses couleurs セ・クレール pl.n.f 色彩を | 「目的語」 |
| Elle エル pron 花は | 「主語」 |
| s'habillait サビエイ 3 単半(s'habiller)v.pr 服を着ていた | 「動詞句」 |
| lentement ロントモン adv. ゆっくりと | 「副詞」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| ajustait アジュステ 3 単半(ajuster)v.t 整えていた | 「動詞」 |
| un à un ア・ナ・アン adv. 一枚一枚 | 「副詞句」 |
| ses pétales セ・ペタル pl.n.m 花びらを | 「目的語」 |

ヒナゲシの花のような、しわしわの姿を見せなくなかった。[B-8]

Elle ne voulait pas sortir toute fripée comme les coquelicots.

| | |
|---|----------------|
| | 「主語」「動詞句」「補語」 |
| Elle エル n.f 彼女は | 「主語」 |
| ne voulait pas sortir ヌ・ヴレ・パ・ソルティール 3 単半・願望・否定(vouloir+不定詞) | |
| v.i 外に出たくなかった | 「動詞句」 |
| toute fripée トットウ・フリペ adj. 皺だらけの状態で | 「補語」 |
| comme les coquelicots コム・レ・コクリコ adv. ヒナゲシのように | 「副詞句 : fripée」 |

だから、彼女の神秘的なお化粧は、幾日も幾日も続いた。[B-8]

Sa toilette mystérieuse avait donc duré des jours et des jours.

| | |
|--|----------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Sa toilette mystérieuse サ・トゥワレット・ミステリューズ n.f 彼女の神秘的なお化粧は | 「主語」 |
| avait donc duré アヴァ・ドン・デュレ 3 単半・完了形(durer)v.i だから続いた | 「動詞句」 |
| des jours et des jours デ・ジュール・エ・デ・ジュール pl.n.m 何日も何日も | 「副詞句」 |

こうして、ついにある朝、ちょうど日の出の時刻に、彼女は姿を見せた。[B-8]

Et puis voici qu'un matin, justement à l'heure du lever du soleil, elle s'était montrée.

| | |
|--|---------------------|
| | Et 「副詞句」, 「主語」「動詞句」 |
| Et エ conj. そして | |
| puis voici qu'un matin エ・ピ・ユイ・ウ・ワシ・カン・マタン adv. そしてついにある朝 | 「副詞句」 |
| justement à l'heure ジュストゥモン・ア・レール adv. ちょうど時刻に | 「副詞句」 |
| du lever du soleil シュル・ヴレ・デュ・ソレイユ adj. 日の出の | 「形容詞句 : heure」 |
| elle エル n.f 彼女は | 「主語」 |
| s'était montrée セ・モントレ 3 単半・完了形(se montrer) | |
| v.pr 姿を現した | 「動詞句」 |

文の構成要素

「朝食の時間だと思うわ。恐れ入りますがあたくしのことを考えていただけないでしょうか...」やがて彼女はそう付け加えた。[B-8]

《C'est l'heure, je crois, du petit déjeuner, avait-elle bientôt ajouté, auriez-vous la bonté de penser à moi ...》 《「動詞」「補語」, 「副詞節」, 「動詞句」「主語」「副詞」「動詞句」, 「動詞」「主語」「目的語」》

C' ス pron 形式主語

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

l'heure ルール n.f 時間 「補語」

je crois ジュ・クルわ adv. 私は思うのだけれど 「副詞節」

du petit déjeuner ジュ・プティ・デジネ adj. 朝食の 「形容詞句 : heure」

avait ...ajouté アヴエ...アジュテ 3 単半・完了形(ajouter)v.t 付け加えた 「動詞句」

elle エル pron 彼女は 「主語」

bientôt ビヤント adv. やがて 「副詞」

auriez オエ 条・2 複現(avoir)v.t 持っていただけないでしょうか 「動詞」

vous ヴ pron あなたは 「主語」

la bonté ラ・ボンテ n.f 優しさ 「目的語」

de penser à moi トゥ・ポンセ・アムわ adj. 私のことを考える 「形容詞句 : bonté」

彼は僕にひどく疲れていないかと尋ね、母さんの年齢も知りたがった。[C-1-3]

Il m'a demandé si je n'étais pas trop fatigué et il a voulu savoir aussi l'âge de maman.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a demandé ア・ドゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

si シ conj. ~かどうかということ 「直接目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'étais pas ネ・パ 1 単半・否定(être)v.i ~でなかった 「動詞句」

trop fatigué トロ・ファチゲ adj. かなり疲れた 「補語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

a voulu savoir ア・ヴリュ・サヴ わル 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞 savoir)

v.t 知りたがった、訊ねた 「動詞句」

aussi オシ adv. もまた 「副詞」

l'âge de maman. ラージュ・ドゥ・マモン n.m 母さんの年齢 「目的語」

いつだったか、それについて社長に指摘したことがある。彼は、そのことは遺憾なことだと答えたが、続けて、それでも取るに足らない些細なことだと言った。[C-1-3]

J'en ai fait la remarque un jour à mon patron. Il m'a répondu qu'il trouvait cela regrettable, mais que c'était tout de même un détail sans importance.

「主語」「副詞句」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」「間接目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 mais 「直接目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 en オン adv. それについて 「副詞句」
 ai fait エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t (行為を) した 「動詞句」
 la remarque ラ・マルク n.f 指摘 「直接目的語」
 un jour アン・ジュール adv. ある日、いつだったか 「副詞句」
 à mon patron. ア・モン・パトロン adv. 社長に 「間接目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 私に 「間接目的語」
 a répondu ア・レポンス 3 単現・完了形(répondre)v.t (que+直説法) ~だと答えた 「動詞句」
 qu' ク conj. ~ということ 「直接目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 trouvait トルヴァ 3 単半(trouver)v.t ~だと思う 「動詞」
 cela スラ pron そのこと 「目的語」
 regrettable, ルグレタブル adj. 遺憾な 「補語」
 mais メ conj. しかし
 que ク conj. ~ということ 「直接目的語」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i ~である 「動詞」
 tout de même トゥ・ドゥ・メム adv. それでも、にもかかわらず 「副詞句」
 un détail アン・テタイユ n.m 些細なこと 「補語」
 sans importance. ソン・アンポルトンス
 adj. 重要でない、取るに足らない 「形容詞句」

エマヌエルが僕に「あれに乗らないか」と尋ねたので、僕は駆け出した。[C-1-3]

Emmanuel m'a demandé «si on y allait» et je me suis mis à courir.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」

Emmanuel エマヌエル n.m エマヌエルが 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a demandé ア・ドゥ・マンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 «si シ conj. (勧誘) ~しないかという事 「直接目的語」

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| on オン pron (動詞は三人称単数形) 俺たちは | 「主語」 |
| y イ adv. あれに、トラックに | 「副詞」 |
| allait アレ 3 単半(aller)v.i 行く、乗る | 「動詞」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis mis à courir. ム・シュイ・ミ・ア・クリル 1 単現・完了形(se mettre à+不定詞) | |
| v.pr 走り始めた | 「動詞句」 |

トラックは僕らを追い越して行った。そこで僕らはそれを追って疾走を始めた。僕は騒音と埃に包み込まれた。[C-1-3]

Le camion nous a dépassés et nous nous sommes lancés à sa poursuite. J'étais noyé dans le bruit et la poussière.

| | |
|--|---------|
| 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 | |
| Le camion ル・カミオン n.m トラックは | 「主語」 |
| nous ヌ pron 僕らを | 「目的語」 |
| a dépassés ア・デパセ 3 単現・完了形(dépasser)v.t 追い越して行った | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| nous ヌ pron 僕らは | 「主語」 |
| nous sommes lancés ヌ・ソム・ロンセ 1 複現・完了形(se lancer à la poursuite) | |
| v.pr その追跡にとりかかった | 「動詞句」 |
| à sa poursuite. ア・サ・プールシュイット adv. 追跡を | 「間接目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| étais noyé エ・ヌワイ 1 単半・受動(noyer)v.t 水浸しになった | 「動詞句」 |
| dans トン prep 〜の中に | 「副詞句」 |
| le bruit ル・ブリュイ n.m 騒音 | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| la poussière. ラ・プシエール n.f 埃 | 「目的語」 |

僕はもう何も見えなかった。そしてとにかく走る衝動しか感じなかった。僕らの周囲は、ウインチや機械類が一杯で、水平線の上でマストが踊っていて、僕らが走るすぐ横には船体が並んでいた。[C-1-3]

Je ne voyais plus rien et ne sentais que cet élan désordonné de la course, au milieu des treuils et des machines, des mâts qui dansaient sur l'horizon et des coques que nous longions.

| | |
|--|-------|
| 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「動詞句」「目的語」, 「副詞句」 | |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne voyais plus ヌ・ヴァワイ・プリュ 1 単半・否定(voir+ ne...plus)v.t もう見えなかった | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | |
|--|--------|
| rien リヤン pron 何も (～ない) | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| ne sentais que ス・ソントケ 1 単半・否定(sentir+ne...que)v.t ～しか感じなかった | 「動詞句」 |
| cet élan セット・エロン n.m あの衝動 | 「目的語」 |
| désordonné デゾルトネ adj. 無秩序な、不規則な | 「形容詞」 |
| de la course, トゥ・ラ・クルス adj. 走ることの | 「形容詞句」 |
| au milieu オ・ミユ adv. (de の) 真ん中で | 「副詞句」 |
| des treuils デ・トロイ pl.n.m ウィンチ | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| des machines, デ・マシヌ pl.n.f 機械 | 「目的語」 |
| des mâts デ・マ pl.n.m マスト | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| dansaient トンセ 3 複半(danser)v.i 踊っていた | 「動詞」 |
| sur l'horizon シュール・ロリゾン adv. 水平線の上で | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| des coques デ・コック pl.n.f 船体 | 「目的語」 |
| que ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| nous longions. ス・ロンジヨン 1 複半(se longer) | |
| v.pr ～に沿って走った | 「動詞句」 |

僕たちは息が切れてしまった。トラックは、埃と太陽の中を、埠頭のでこぼこした敷石の上を跳びはねるように走っていた。エマニュエルは息をするのも忘れるほど笑っていた。

[C-1-3]

Nous étions hors de souffle, le camion sautait sur les pavés inégaux du quai, au milieu de la poussière et du soleil. Emmanuel riait à perdre haleine.

| | |
|---|--------|
| 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「副詞」, 「副詞句」 「主語」「動詞」「副詞句」 | |
| Nous ス pron 僕たちは | 「主語」 |
| étions エホン 1 複半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| hors de souffle, オール・トゥ・スフル adv. 息が切れた | 「補語」 |
| hors オール prep ～を超えた、はずれた souffle スフル n.m 息 | |
| le camion ル・カモン n.m トラックは | 「主語」 |
| sautait ソテ ソテ 3 単半(sauter)v.i 跳ねて走った | 「動詞」 |
| sur les pavés シュール・レ・パヴェ adv. 敷石の上を | 「副詞」 |
| inégaux イェゴ adj.pl でこぼこした | 「形容詞」 |
| du quai, ジュ・ケ adj. 埠頭の | 「形容詞句」 |
| au milieu オ・ミユ adv.(de の) 真ん中で、～に囲まれて | 「副詞句」 |

文の構成要素

| | |
|--------------------------------------|-------|
| de la poussière トゥ・ラ・プシェール adv. ほこりに | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| du soleil. ジュ・ソレイユ adv. 太陽に | 「目的語」 |
| Emmanuel エマニュエル n.m エマニュエルは | 「主語」 |
| riaît リエ 3 単半(rire)v.i 笑っていた | 「動詞」 |
| à perdre ア・ペルトル 不定詞・程度 adv. ～を忘れるほどに | 「副詞句」 |
| haleine. アレンヌ n.f 息を | 「目的語」 |

彼は僕に「なんとかやっているか？」と尋ねた。僕は、「ああ、なんとか。」と答え、「腹が減っている」と続けた。[C-1-3]

| | |
|---|-------------------------|
| <u>Il m'a demandé si «ça allait quand même». Je lui ai dit que oui et que j'avais faim.</u> | |
| | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・ドゥマンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| si シ conj. ～かどうかということ | 「直接目的語」 |
| «ça サ pron 状況は | 「主語」 |
| allait アル 3 単半(aller)v.i うまく進んでいる | 「動詞」 |
| quand même». コン・メーム adv. なにはともあれ、それでも、やはり | 「副詞句」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que oui ク・ワイ conj. ああ | 「応答」 |
| et エ conj. そして | |
| que j'avais faim. ク・ジャヴ・エ・ファム conj. 腹が減っている | 「応答」 |

もう仕事に遅れそうな時間なので、路面電車に乗るために走った。午後はずっと働いた。[C-1-3]

| | |
|---|---|
| <u>Il était tard et j'ai couru pour attraper un tram. J'ai travaillé tout l'après-midi.</u> | |
| | 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Il イル pron 時間は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| tard タール adj. 遅い | 「補語」 |
| et エ conj. それで | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| ai couru エ・クリュ 1 単現・完了形(courir)v.i 走った | 「動詞句」 |
| pour attraper プール・アトラペ adv. 捕まえる、乗るために | 「副詞句」 |
| un tram. アン・トラム n.m 路面電車に | 「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai travaillé エ・トラヴァイエ 1 単現・完了形(travailler)v.i 働いた | 「動詞句」 |
| tout l'après-midi. トゥ・ラプレ・ミディ adv. 午後はずっと | 「副詞句」 |

昼食と昼休み：

1940 年頃には、スペインやフランスの労働者たちは、昼食の時間が 2 時間～3 時間あって、自宅に戻って食事をしたり昼寝をしていた。

空は緑色で、僕は満足した気分だった。けれどもジャガイモを茹でておきたかったので、真っすぐ僕の部屋に帰った。[C-1-3]

Le ciel était vert, je me sentais content. Tout de même, je suis rentré directement chez moi parce que je voulais me préparer des pommes de terre bouillies.

| | |
|--|-----------------------------|
| | 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」「補語」 |
| | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」 |
| Le ciel ル・シエル n.m 空は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| vert, ヴェール adj. 緑色の | 「補語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me sentais ム・ソント 1 単半(se sentir)v.pr 自分を～だと感じていた | 「動詞句」 |
| content. コント adj. 満足した | 「補語」 |
| Tout de même, トゥ・ド・トゥ・メーム adv. けれども、それでも | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| suis rentré シュイ・ロントレ 1 単現・完了形(rentre)v.i 帰った、帰宅した | 「動詞句」 |
| directement テイレクトモン adv. まっすぐに、直接に | 「副詞」 |
| chez moi シェ・ムワ adv. 僕の部屋に | 「副詞句」 |
| parce que パルス・キ conj. ～なので | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| voulais me préparer ヴレ・ム・プレパレ 1 単半・願望(vouloir+不定詞 se préparer) | |
| v.pr 調理したかった | 「動詞句」 |
| des pommes de terre テ・ポム・トゥ・テル pl.n.f ジャガイモを | 「目的語」 |
| bouillies. ブイ adj.f.pl ゆでた | 「補語」 |

僕が階段で偶然出会った時、彼は犬をののしっているところだった。彼が犬に、「薄汚い死にぞこないめ！」と言うと、犬はつらそうに呻いていた。僕は、「今晚は」と声をかけたが、彼はまだののしり続けていた。[C-1-3]

Quand je l'ai rencontré dans l'escalier, Salamano était en train d'insulter son chien. Il lui disait: «Salaud ! Charogne!» et le chien gémissait. J'ai dit: «Bonsoir», mais le vieux insultait toujours.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
et 「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「動詞」「副詞」

Quand コン conj. ～した時 「副詞節」

je ジュ pron 僕が 「主語」

l' ル pron 彼を 「目的語」

ai rencontré エ・ロンコントレ 1 単現・完了形(rencontrer)v.t 偶然出会った 「動詞句」

dans l'escalier, トン・レスカリエ adv. 階段で 「副詞句」

Salamano サラマノ n.m サラマノは 「主語」

était en train d'+不定詞 エテ・オン・トラソ・ドゥ 3 単半・近接動作(être en train de+不定詞)

v. ～するところだった 「動詞句」

insulter アンシュルテ 不定詞 v.t ののしる 「動詞」

son chien. ソン・シャソ n.m 犬を 「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

lui リュイ pron 犬に 「間接目的語」

disait: デイゼ 3 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」

«Salaud ! Charogne!» サロー・シャローニュ int. 「薄汚い死にぞこないめ！」 「直接目的語」

Salaud サロー n.m 下劣なやつ Charogne シャローニュ n.f (動物の) 腐った死骸

et エ conj. そして

le chien ル・シャソ n.m 犬は 「主語」

gémissait. ジェミセ 3 単半(gémir)v.i (苦痛に) 呻いていた 「動詞」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

«Bonsoir», ホンスワール adv. 「今晚は」 「目的語」

mais メ conj. しかし

le vieux ル・ヴィユ n.m 老人は 「主語」

insultait アンシュルテ 3 単半(insulter)v.t 罵っていた 「動詞」

toujours. トゥジューール adv. 相変わらず、まだ 「副詞」

彼は、「薄汚い死にぞこないめ！」と叫ぶばかりだった。僕は、彼が犬の上に体を傾けて犬の首輪のどこかを調整していることに気が付いた。[C-1-3]

Il disait seulement : « Salaud ! Charogne ! » Je le devinais, penché sur son chien, en train d'arranger quelque chose sur le collier.

| | |
|--|-------|
| 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 「主語」「目的語」「動詞」「補語」「副詞句」 | |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| seulement : スルモン adv. ーだけ | 「副詞」 |
| «Salaud ! Charogne!» サロー・シャローニュ int. 「薄汚い死にぞこないめ！」 | 「目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| le ル pron 彼が | 「目的語」 |
| devinais, トゥヴイネ 1 単半(deviner)v.t 見抜いた、気づいた | 「動詞」 |
| penché ポンシェ 過去分詞(pencher)adj. 体を傾けた | 「補語」 |
| sur son chien, シュール・ソン・シヤン adv. 犬の上に | 「副詞句」 |
| en train d'arranger オン・トロン・ダロンジエ adv. 整えながら | 「副詞句」 |
| en train de+不定詞 「～をしながら」 | |
| quelque chose ケルク・ショーズ n.f 何かを | 「目的語」 |
| sur le collier. シュール・ル・コリエ adv. 犬の首輪の上で | 「副詞句」 |
| collier コリエ n.m (犬などの) 首輪 | |

それから彼は犬を引っ張りながら立ち去ったが、犬は 4 本の足で立ったまま、引っ張られて、うなっていた。[C-1-3]

Puis il est parti en tirant la bête qui se laissait traîner sur ses quatre pattes, et gémissait.

| | |
|---|--------|
| 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 | |
| Puis ビュイ adv. それから | 「副詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| est parti エ・パルティ 3 単現・完了形(partir)v.i 立ち去った | 「動詞句」 |
| en tirant オン・チロン ジェロンディフ(tirer)v.t 引っ張りながら | 「副詞句」 |
| la bête ラ・ベート n.f 動物を、犬を | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| se laissait traîner ス・レッセ・トレネ 3 単現・使役(se laisser+不定詞) | |
| v.pr 引っ張られるままになっていた | 「動詞句」 |
| sur ses quatre pattes, シュール・セ・クアトル・パット | |
| adv. 4 本の足で立って | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| gémissait. ジェミセ 3 単半(gémir)v.i 呻いていた | 「動詞」 |

部屋は汚く、ベッドは乱れたままだった。彼はまず石油ランプに火をつけた。それからポケットからかなり薄汚い包帯を取り出して、右手をくるんだ。[C-1-3]

La chambre était sale et le lit défait. Il a d'abord allumé sa lampe à pétrole, puis il a sorti un pansement assez douteux de sa poche et a enveloppé sa main droite.

「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「補語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」,
「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「動詞句」「目的語」

La chambre ラ・シヨンプル n.f 部屋は 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 sale サル adj. 汚い 「補語」
 et エ conj. そして
 le lit ル・リ n.m ベッドは 「主語」
 défait. デフェ adj. 乱れた、散らかった 「補語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 a d'abord allumé ア・ダボール・アリュメ 3 単現・完了形(allumer+ d'abord)
 v.t (明かりを) まずつけた 「動詞句」
 d'abord ダボール adv. まず第一に allumer アリュメ v.t 火をつける、電気をつける
 sa lampe à pétrole, サ・ロンプ・ア・ペトルール n.f 石油ランプを 「目的語」
 puis ピュイ adv. それから 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 a sorti ア・ソルティ 3 単現・完了形(sortir)v.t 取り出した 「動詞句」
 un pansement アン・ポンスモン n.m 包帯を 「目的語」
 assez douteux アセ・トゥトゥ adj. かなり薄汚い 「形容詞句」
 de sa poche トゥ・サ・ポッシュ adv. ポケットから 「副詞句」
 et エ conj. そして
 a enveloppé ア・オンヴレ 3 単現・完了形(envelopper)v.t くるんだ、巻いた 「動詞句」
 sa main droite. サ・マン・ドルワット n.f 右手を 「目的語」

すると彼は僕に、丁度この件で相談したかったのだと言った。そしてその理由として、僕が人生というものをわきまえた男なので、彼の力になることが出来るし、そうしたら彼は僕の親友になるだろうと言うのだった。[C-1-3]

Alors il m'a déclaré que, justement, il voulait me demander un conseil au sujet de cette affaire, que moi, j'étais un homme, je connaissais la vie, que je pouvais l'aider et qu'ensuite il serait mon copain.

「副詞」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」
 「直接目的語」, 「直接目的語」, 「直接目的語」 et 「直接目的語」

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| Alors アー adv. すると | 「副詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと言った | 「動詞句」 |
| que, ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| justement, ジュストゥモン adv. ちょうど、まさに | 「副詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| voulait ...demander ヴレ...トゥモンデ 3 単半・願望(vouloir+不定詞) | |
| v.t 頼みたかった | 「動詞句」 |
| me ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| un conseil アン・conseil n.m アドバイスを、助言を | 「直接目的語」 |
| au sujet de cette affaire, オ・シュジェ・トゥ・セツ・アフエル | |
| adv. この件に関して | 「副詞句」 |
| que ク conj. (頼んだ理由) ～ということを | 「直接目的語」 |
| moi, j' ムわ・ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| un homme, アン・ノム n.m 男 | 「補語」 |
| je ジュ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| connaissais コネ 1 単半(connaître)v.t 知っている | 「動詞」 |
| la vie, ラ・ヴィー n.f 人生というものを | 「目的語」 |
| que ク conj. (頼んだ理由) ～ということを | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron 僕が「主語」 | |
| pouvais ...aider プゥェ...エテ 1 単半・可能・時制の一致(pouvoir+不定詞) | |
| v.t 手助けができる | 「動詞句」 |
| l' ル pron 彼を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| qu' ク conj. (頼んだ理由) ～ということを | 「直接目的語」 |
| ensuite オンシュイット adv. それから、その後に | 「副詞」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| serait スレ 条・3 単現(être)v.i (話者の考え) ～になるだろう | 「動詞」 |
| mon copain. モン・コパン n.m 僕の親友 | 「補語」 |

彼は最初はためらいがちに話し始めた。「付き合っている女がいるんだ... 言ってみれば、
愛人ってとこかな」[C-1-3]

Il hésitait d'abord un peu. «J'ai connu une dame... c'était pour autant dire ma maîtresse.»

「主語」「動詞」「副詞句」

《「主語」「動詞句」「目的語」...「主語」「動詞」「副詞句」「補語」》

Il イル pron 彼は 「主語」
hésitait エジテ 3 単半(hésiter)v.i ためらっていた 「動詞」
d'abord ダボール adv. 最初は 「副詞句」
un peu. アン・プ° adv. 少し 「副詞句」
«J' シュ pron 俺は 「主語」
ai connu エ・コニュ 1 単現・完了形(connaître)v.t ~と知り合いだ、付き合っている 「動詞句」
une dame... エヌ・ダム n.f 1 人の女 「目的語」
c' ス pron それは 「主語」
était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」
pour autant dire プール・オートン・ディール adv. 言ってみれば、いわば 「副詞句」
ma maîtresse.» マ・メレス n.f(新つづり maitresse) 愛人 「補語」

彼が喧嘩した相手の男は、その女の兄弟だった。彼は自分が女を養ってきたと言った。

[C-1-3]

L'homme avec qui il s'était battu était le frère de cette femme. Il m'a dit qu'il l'avait
entretenue. 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

L'homme ロム pron その男は 「主語」
avec qui アヴ・ェツ・キ pron (目的語) に~する 「形容詞節」
il イル pron 彼が 「主語」
s'était battu セテ・バチュ 3 単半・完了形(se battre)
v.pr 互いに殴り合った 「動詞句」
était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
le frère ル・フレール n.m 兄弟 「補語」
de cette femme. トゥ・セツ・ファミ adj. この女の 「形容詞句」
Il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
qu' ク conj. ~ということを 「直接目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
l' ラ pron その女を 「目的語」
過去分詞 entretenu が女性形 -e になっているため

文の構成要素

avait entretenu^e. アヴ^ェ・オントルトウニユ 3 単半・完了形.f(entretenir)

v.t 養ってきた

「動詞句」

彼は生活するのに必要な分だけ女に与えていた。彼は女の部屋の家賃を彼自身で払ってやっていたし、食費として 1 日あたり 20 フランを女に与えていたと言うのだ。[C-1-3]

Il lui donnait juste de quoi vivre. Il payait lui-même le loyer de sa chambre et il lui donnait vingt francs par jour pour la nourriture.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

et 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

lui リュイ pron 女に

「間接目的語」

donnait トネ 3 単半(donner)v.t 与えていた

「動詞」

juste ジュスト adv. ちょうど

「副詞句」

de quoi vivre. トゥ・クワ・ヴィーヴル adv. 生活するのに必要な

「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

payait ペイ 3 単半(payer)v.t 支払っていた

「動詞」

lui-même リュイ・メーム pron 彼自身で

「副詞句」

le loyer ル・ルワイ n.m 家賃を

「目的語」

de sa chambre トゥ・サ・ションブル adj. 女の部屋の

「形容詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

lui リュイ pron 女に

「間接目的語」

donnait トネ 3 単半(donner)v.t 与えていた

「動詞」

vingt francs ヴァン・フロン pl.n.m 20 フラン

「直接目的語」

par jour パール・ジュール adv. 1 日あたり

「副詞句」

pour la nourriture. プール・ラ・ヌチュール adv. 食費として

「副詞句」

けれども俺はいつも女に言っていたんだ。「どうして、半日でも働こうとしないんだ？お前がそうすれば、あれやこれや細々したことについて随分楽になるんだ」[C-1-3]

Pourtant, je lui disais : «Pourquoi tu travailles pas une demi-journée? Tu me soulagerais bien pour toutes ces petites choses.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」:

《「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」》

Pourtant, プールトン adv. しかし、けれども

「副詞」

je ジュ pron 俺は

「主語」

lui リュイ pron 女に

「間接目的語」

文の構成要素

| | | |
|---|------------------|-------|
| disais : ディゼ 1 単半・習慣(dire)v.t | いつも言っていた | 「動詞」 |
| «Pourquoi プルクァ adv. | どうして | 「副詞」 |
| tu チュ pron | お前は | 「主語」 |
| travailles pas トラヴァイエ・パ 2 単現・否定(travailler)v.i | 働かない | 「動詞句」 |
| une demi-journée? エヌ・ドミ・ジュルネ adv. | ほんの半日 | 「副詞句」 |
| Tu チュ pron | お前は | 「主語」 |
| me ム pron | 俺を | 「目的語」 |
| soulagerais スラジエ 条・2 単現(soulager)v.t | 楽にするだろうに | 「動詞」 |
| bien ビヤン adv. | 大いに | 「副詞」 |
| pour toutes ces petites choses. プール・トゥット・セ・プティ・ショーズ | | |
| adv. | あれやこれや細々したことについて | 「副詞句」 |

アパートは静まり返っており、階段の底から、陰鬱な息吹が立ち上っていた。[C-1-3]

| | |
|--|-------------------------------|
| <u>La maison était calme et des profondeurs de la cage d'escalier montait un souffle obscur et humide.</u> | 「主語」「動詞」「補語」 et 「副詞句」「動詞」「主語」 |
| La maison ラ・メゾン n.f アパートは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| calme カルム adj. 静かな | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| des テ prep.pl ～から | 「副詞句」 |
| profondeurs プロフォンデール pl.n.f 奥、底 | 「目的語」 |
| de la cage d'escalier トゥ・ラ・カージュ・デスカリエ adj. 階段枠の | 「形容詞句」 |
| montait モンテ 3 単半(monter)v.i 上ってきた | 「動詞」 |
| un souffle アン・スフル n.m 息吹が | 「主語」 |
| obscur オブスキュール adj. 暗い | 「形容詞」 |
| et エ conj. そして | |
| humide. イミット adj. 湿った | 「形容詞」 |

僕は、自分の耳の中で鳴り響く、自分の血が脈打つ音しか聞こえなかった。僕はじっと動かないでいた。[C-1-3]

| | |
|---|--------------------------------|
| <u>Je n'entendais que les coups de mon sang qui bourdonnait à mes oreilles. Je suis resté immobile.</u> | 「主語」「動詞句」「目的語」 「主語」「動詞句」「補語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'entendais ヌ・オンソデ 1 単半・否定(entendre) | |
| v.t(ne ...que ～しか) 聞こえなかった | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということしか | 「目的語」 |

文の構成要素

| | | | | | |
|-----------------|----------|------------------|----------|---------|---------|
| les coups | レ・クー | pl.n.m | 打つ音 | | 「目的語」 |
| de mon sang | ドゥ・モン・サン | adj. | 自分の血の | | 「形容詞句」 |
| qui | キ | pron | (主語) ～する | | 「形容詞節」 |
| bourdonnait | ブルドネ | 3 単半(bourdonner) | | | |
| | v.i | ぶんぶんいう | | | 「動詞」 |
| à mes oreilles. | ア・メ・オレイユ | | | | |
| | adv. | 僕の耳に | | | 「間接目的語」 |
| Je | ジュ | pron | 僕は | | 「主語」 |
| suis resté | シュイ・レステ | 1 単現・完了形(rester) | v.i | ～のままでいた | 「動詞句」 |
| immobile. | インモビル | adj. | 動かない | | 「補語」 |

直説法・過去と過去完了

子供たちの中で一番年下の男の子は、一番体が弱く、内気でした。そして親指と同じくらい小さかったので、家族の皆は「親指小僧」と呼んでいました。[A-4]

Parmi tous ces enfants, le plus jeune garçon était le plus fragile, le plus timide et comme il était aussi petit qu'un pouce, on l'appela le "Petit Poucet".

| | | | | | | | | | |
|-------------------------|------------------|------------------|------------------|----|-------|------|-------|------|-------|
| 「副詞句」 | 「主語」 | 「動詞」 | 「補語」 | et | 「副詞節」 | 「主語」 | 「目的語」 | 「動詞」 | 「補語」 |
| Parmi tous ces enfants, | パルミ・トゥ・セ・ゾンソン | adv. | 子供たちの中で | | | | | | 「副詞句」 |
| le plus jeune garçon | ル・プ・リュ・ジュヌ・ギャルソン | n.f | 一番年下の男の子は | | | | | | 「主語」 |
| était | エテ | 3 単半(être)v.i | ～だった | | | | | | 「動詞」 |
| le plus fragile, | ル・プ・リュ・フラジール | adj. | 一番体が弱い | | | | | | 「補語」 |
| le plus timide | ル・プ・リュ・チミット | adj. | 一番内気な | | | | | | 「補語」 |
| et | エ | conj. | そして | | | | | | |
| comme | コム | conj. | ～なので | | | | | | 「副詞節」 |
| il | イル | pron | 彼は | | | | | | 「主語」 |
| était | エテ | 3 単半(être)v.i | ～だった | | | | | | 「動詞」 |
| aussi petit | オシ・プ・ティ | adj. | 同じくらい小さな | | | | | | 「補語」 |
| qu'un pouce, | カン・プ・ース | adv. | 親指と比べて | | | | | | 「副詞句」 |
| on | オン | pron | 家族の皆は（動詞は三人称単数形） | | | | | | 「主語」 |
| l' | ル | pron | 彼を | | | | | | 「目的語」 |
| appela | アプ・ラ | 3 単過(appeler)v.t | 呼んだ | | | | | | 「動詞」 |
| le "Petit Poucet" | ル・プ・ティ・プ・セ | n.m | 「親指小僧」 | | | | | | 「補語」 |

ある年、夫婦はもはや子供たちを養う事が出来なくなっていました。[A-4]

| | | | | | | | | | |
|------------------------|----------------|------------------------------|------------------|--|--|--|--|--|--------|
| Il | イル | pron | 非人称 | | | | | | |
| arriva | アリヴァ | 3 単過(arriver)v.h | （出来事が）～が起こった、生じた | | | | | | 「動詞」 |
| une année | ユヌ・アンネ | n.f | 年が | | | | | | 「主語」 |
| où | ウ | adv. | その時に～する | | | | | | 「形容詞節」 |
| les parents | レ・パ・ロン | pl.n.m | 両親が | | | | | | 「主語」 |
| ne purent plus nourrir | ヌ・ピール・プ・リュ・ヌール | 3 複過・可能・否定(pouvoir+不定詞+plus) | | | | | | | |
| | | v.t | もはや養えなくなった | | | | | | 「動詞句」 |
| les enfants. | レ・ゾンソン | pl.n.m | 子供たちを | | | | | | 「目的語」 |

それである晩、絶望した父親は、子供たちを捨てることを決めました。[A-4]

Alors un soir, le père désespéré décida de les abandonner.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」

Alors アー adv. それで

「副詞」

un soir, アン・スワール adv. ある晩に

「副詞句」

le père ル・ペール n.m 父親は

「主語」

désespéré デゼスペレ adj. 絶望した

「形容詞」

decida de +不定詞 デシダ・ドゥ 3 単過・決定(decider de+不定詞)

v. ～することを決めた

「動詞句」

les レ pron.pl 子供たちを

「目的語」

abandonner. アボンデネ 不定詞 v.t 捨てる

「動詞句」

彼女がいくら嘆いて懇願しても無駄だった。しかし息子たちをこれ以上苦しめることは出来ないので、結局、夫の言う事に従った。[A-4]

Elle eut beau s'apitoyer, mais ne pouvant elle non plus continuer de laisser ses fils souffrir, obéit finalement à son mari.

「主語」 「動詞句」, mais 「副詞句」, 「動詞」 「副詞」 「間接目的語」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

eut beau s'apitoyer, イ・ボ・セ・トワイ 3 単過・無駄(avoir beau+不定詞)

v.pr いくら嘆いて懇願しても無駄だった

「動詞句」

s'apitoyer セ・トワイ v.pr 自分を哀れむ、同情を引いて懇願する

mais メ conj. しかし

ne pouvant +不定詞 ネ・プヴァン 現在分詞 v. ～出来ないで

「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

non plus continuer de laisser+不定詞 ノン・プリュ・コンティヌエ・ドゥ・レッセ 不定詞・使役・否定

(continuer de laisser+不定詞)v.t もうこれ以上このまま～させておく 「動詞句」

ses fils セ・フィス pl.n.m 息子たちを

「目的語」

souffrir, スリール 不定詞 v.i 苦しむ

「補語」

obéit オバイ 3 単過(obéir)v.i 従った

「動詞」

finalement フィナルメンテ adv. 結局、最後には

「副詞」

à son mari. ア・ソン・マリ adv. 夫の言う事に

「間接目的語」

両親が話し合っている間、子供たちは自分たちの寝室で眠っていたので、誰もどんな運命が彼らを待ち受けているかと言う事に気づきませんでした。[A-4]

Pendant que les parents discutaient, les enfants dormaient dans leur chambre et personne ne se douta de ce que le destin leur préparait...

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 et 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」
 Pendant que ポントソ・キ conj. ～する間に 「副詞節」
 les parents レ・パロン pl.n.m 両親が 「主語」
 discutaient, ディスキュテ 3 複半(discuter)v.t 話し合っていた 「動詞」
 les enfants レ・ゾソフオン pl.n.m 子供たちは 「主語」
 dormaient ドルメ 3 複半(dormir)v.i 眠っていた 「動詞」
 dans leur chambre トソ・レル・ショソブル adv. 自分たちの寝室で 「副詞句」
 et エ conj. それで
 personne ペルソヌ pron 誰も～ない 「主語」
 ne se douta ノ・ストクタ 3 単過・否定(se douter)v.pr (de に) 気付かなかった 「動詞句」
 de ce トゥ・ス adv. ことに 「間接目的語」
 que ク pron (直接目的語) 何を～するかという 「形容詞節」
 le destin ル・デスタン n.m 運命が 「主語」
 leur レル pron 彼らに 「間接目的語」
 préparait... プレパレ 条・3 単現(préparer)v.t 用意している 「動詞」

翌日、木こりの妻は子供たち一人ひとりに最後のパン切れを与えて、家族は一緒に家をでて森へ向かいました。[A-4]

Le lendemain, la bûcheronne donna à chaque enfant leur dernier morceau de pain, et la famille quitta la maison pour la forêt.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」 et
 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」
 Le lendemain, ル・ロントゥモン n.m 翌日 「副詞句」
 la bûcheronne ラ・ビュショロンヌ n.f 木こりの妻は 「主語」
 donna トンナ 3 単過(donner)v.t 与えた 「動詞」
 à chaque enfant ア・シャッキ・オンフオン adv. 子供たち皆に 「間接目的語」
 leur dernier morceau de pain, レル・テルニエ・モルソ・トゥ・パン
 n.m 最後のパン切れを 「直接目的語」
 et エ conj. そして
 la famille ラ・ファミユ n.f 家族は 「主語」
 quitta キタ 3 単過(quitter)v.t (場所を) 出た、離れた 「動詞」
 la maison ラ・メゾン n.f 家を 「目的語」

文の構成要素

pour la forêt. プール・ラ・フォレ adv. 森に向かって 「副詞句」

少したってから子供たちは、自分たちが森の中に残り残されていることに気づきました。

[A-4]

Peu après, les enfants se rendirent compte qu'ils étaient seuls dans la forêt.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Peu après, プ・アプレ adv. 少したってから 「副詞句」

les enfants レ・ゾンフォン pl.n.m 子供たちは 「主語」

se rendirent ス・ロンテール 3 複過(se rendre)

v.pr(compte que) ～であることに気付いた 「動詞句」

se rendre compte de qch [que+直説法] 「～が分かる、に気付く」

compte qu' コント・ク n.m ～という考えが 「目的語」

ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

étaient エテ 3 複半(être)v.i ～になっている 「動詞」

seuls スル adj.pl 自分たちだけの 「補語」

dans la forêt. ドン・ラ・フォレ adv. 森の中で 「副詞句」

彼らが至る所を探し、両親を求めて力の限り叫んでも、まったく無駄でした。[A-4]

Ils eurent beau chercher à droite et à gauche, crier de toute leur force après leurs parents, tout cela en vain.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」, 「主語」 「補語」

Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

eurent beau +不定詞 イール・ボ 3 複過・無駄(avoir beau+不定詞)

v. ～しても無駄だった 「動詞句」

chercher シェルシェ 不定詞 v.t 探す 「動詞句」

à droite et à gauche, ア・トロワット・エ・ア・ゴーシュ adv. 至る所を 「副詞句」

crier クリエ 不定詞 v.i 叫ぶ 「動詞句」

de toute leur force トゥ・トゥット・レール・フォルス adv. 力の限り 「副詞句」

après leurs parents, アプレ・レール・パロン adv. 両親を求めて 「副詞句」

tout cela トゥ・スラ pron これらすべては 「主語」

en vain. オン・ヴァン adj. 無駄な 「補語」

アイデアは良かったのですが、あいにく小さなパンくずはすべて小鳥たちに食べられてしまっていました。[A-4]

L'idée était bonne, mais ses petites miettes furent malheureusement toutes mangées par les oiseaux!

「主語」「動詞」「補語」 mais 「主語」「動詞句」「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」
 L'idée リデー n.f アイデアは 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
 bonne, ボンヌ adj.f 良い 「補語」
 mais メ conj. しかし
 ses petites miettes セ・プティット・ミエット pl.n.f 小さなパンくずは 「主語」
 furent ...mangées フール...モンジエ 3 複過・受動 f.pl(manger)
 v.t 食べられてしまっていた 「動詞句」
 malheureusement マルルーズモン adv. あいにく 「副詞」
 toutes トウト pron.f.pl すべて (のパンくず) が 「主語」
 par les oiseaux! パール・レス・ワゾ adv. 小鳥たちによって 「副詞句」

泥だらけの地面や未開の茂みを歩き回って、彼らは森の出口にたどり着きました：そこには光が漏れ出している家がありました。[A-4]

En parcourant la terre boueuse et la broussaille sauvage, ils arrivèrent à la sortie du bois : là se trouvait la maison d'où s'échappait la lumière.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」: 「副詞」「動詞句」「主語」
 En +現在分詞 ジェロンディフ adv. 〜をしながら 「副詞句」
 parcourant パルクロン 現在分詞(parcourir)v.t を歩き回る 「動詞」
 la terre boueuse ラ・テル・ブウーズ n.f 泥だらけの地面を 「目的語」
 et エ conj. そして
 la broussaille sauvage, ラ・ブルサイル・サヴァージュ n.f 未開の茂みを 「目的語」
 ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
 arrivèrent アリヴァール 3 複過(arriver)v.i 着いた 「動詞」
 à la sortie ア・ラ・ソルティエ adv. 出口に 「間接目的語」
 du bois: ジュ・フ・ワ adj. 森の 「形容詞句」
 là ラ adv. そこには 「副詞」
 se trouvait ス・トルヴァエ 3 単半(se trouver)v.pr あった 「動詞句」
 la maison ラ・メゾン n.f 家が 「主語」
 d'où トゥ adv. そこから〜する 「形容詞節」
 s'échappait セシャペ 3 単半(s'échapper)v.pr 漏れていた 「動詞句」
 la lumière. ラ・リュミエール n.f 光が 「主語」

親指小僧がドアをノックすると、1人の女がドアを開けに来ました。[A-4]

Le Petit Poucet frappa à la porte. Une femme vint lui ouvrir.

「主語」「動詞」「間接目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Le Petit Poucet ル・プチ・プーセ n.m 親指小僧は 「主語」

frappa フラパ 3 単過(frapper)v.i (à を) たたいた、ノックした 「動詞」

à la porte. ア・ラ・ポルト adv. ドアを 「間接目的語」

Une femme ユヌ・ファム n.f 1 人の女が 「主語」

vint ...ouvrir. ヴァン...ウヴリール 3 単過・目的(venir+不定詞)v.t 開けにきた 「動詞句」

lui リュイ pron (la porte の代用) それを 「目的語」

僕が思うには、王子様は逃げ出すために野生の鳥たちの渡りを利用したのだ。[B-9]

Je crois qu'il profita, pour son évason, d'une migration d'oiseaux sauvages.

「主語」「動詞」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

crois クルワ 1 単現(croire)v.t 思っている 「動詞」

qu' ク conj. ～ということ 「目的語」

il イル pron 王子様は 「主語」

profita プロフィタ 3 単過(profiter)

v.i(de を) 利用した 「動詞」

pour son évason プール・ソン・エヴァジオン

adv. 脱出のために 「副詞句」

d'une migration デュヌ・ミグレーション

adv. (鳥の) 渡りを 「間接目的語」

d'oiseaux sauvages ドゥワゾ・ソヴァージュ

adj. 野鳥の 「形容詞句：migration」

出発の朝、彼は自分の星をきちんと整えた。念入りに活火山の煤払いをした。[B-9]

Au matin du départ il mit sa planète bien en ordre. Il ramona soigneusement ses volcans en activité.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Au matin du départ オ・マタン・ジュー・テパール adv. 出発の朝 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

mit ミ 3 単過(mettre)v.t (mettre ... en ordre) を整理した 「動詞」

sa planète サ・プラネット n.f 自分の星を 「目的語」

bien en ordre ビヤン・オン・オルドール adv. よく整理された状態に 「副詞句」

文の構成要素

| | | | | | |
|-------------------------|------------------|------------------|--------|--|-------|
| Il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| ramona | ラムナ | 3 単過(ramoner)v.t | 煤払いをした | | 「動詞」 |
| soigneusement | スワニユーズモン | adv. | 念入りに | | 「副詞」 |
| ses volcans en activité | セ・ヴォルコン・オン・アクティヴ | pl.n.m | 活火山を | | 「目的語」 |

だから休火山も同じように、煤払いをした。[B-9]

| | | | | |
|---|-------------|--------------------|--------|-------|
| <u>Il ramona donc également le volcan éteint.</u> | | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | | |
| Il | イル | pron 彼は | | 「主語」 |
| ramona | ラムナ | 3 単過(ramoner)v.t | 煤払いをした | 「動詞」 |
| donc également | ドン・エガルモン | adv. | だから同様に | 「副詞句」 |
| le volcan éteint | ル・ヴォルコン・エタン | n.m | 休火山も | 「目的語」 |

王子様は、ちょっとばかり憂鬱そうに、バオバブの最新の芽を抜くこともした。[B-9]

| | | | |
|--|----------------------|-------------------------|-------|
| <u>Le petit prince arracha aussi, avec un peu de mélancolie, les dernières pousses de baobabs.</u> | | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」 | |
| Le petit prince | ル・プチ・プリンス | n.m 王子様は | 「主語」 |
| arracha | アラシャ | 3 単過(arracher)v.t 引き抜いた | 「動詞」 |
| aussi | オン | adv. もまた | 「副詞」 |
| avec un peu de mélancolie | アヴェッキ・アン・プ・トゥ・メロンコリー | adv. ちょっと憂鬱そうに | 「副詞句」 |
| les dernières pousses de baobabs | レ・テリニエール・プ・ストゥ・バオバブ | pl.n.f 最新のバオバブの新芽を | 「目的語」 |

ところがこうしたやりなれた仕事が、その朝は、彼にはこの上もなく甘美なものに思われた。

[B-9]

| | |
|--|-------------------------------|
| Mais <u>tous ces travaux familiers</u> <u>lui</u> <u>parurent</u> , <u>ce matin-là</u> , <u>extrêmement doux</u> . | Mais 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「補語」 |
| Mais メ conj. しかし | |
| tous ces travaux familiers トウ・セ・トラヴァ [゛] ォ・ファミリエ | |
| pl.n.m この慣れ親しんだ仕事が | 「主語」 |
| travaux トラヴァ [゛] ォ pl.n.m(travail) 仕事、familier adj. 慣れ親しんだ | |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| parurent ハ [゛] リュール 3 複過(paraître)v.i ～と思われた | 「動詞」 |
| ce matin-là ス・マタン・ラ adv. その朝は | 「副詞句」 |
| extrêmement doux エクストレームモン・ドゥ [゛] adj. とても甘い | 「補語」 |

そして、これを最後に花に水をかけ、覆いをかけようとしていたとき、王子様は自分のうちに泣き出した欲求を見出した。[B-9]

Et, quand il arrosa une dernière fois la fleur, et se prépara à la mettre à l'abri sous son globe, il se découvrit l'envie de pleurer. Et 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Et エ conj. そして

quand コン conj. ～するとき 「副詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

arrosa アロザ 3 単過(arroser)v.t 水をかけた 「動詞」

une dernière fois エヌ・デルニエル・フワ adv. 最後にもう一度 「副詞句」

la fleur ラ・フレール n.f 花に 「目的語」

et エ conj. そして

se prépara + à+不定詞 ス・プレパラ 3 単過(se préparer à+不定詞)

v.pr ～を準備していた 「動詞句」

à la mettre ア・ラ・メットル à+不定詞 v.t 彼女に置く 「動詞句」

à l'abri ア・ラブリ adv. 安全な場所に 「副詞句」

sous son globe ス・ソ・グロブ adv. 球形の覆いの下の 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

se découvrit ス・デクヴリ 3 単過(se découvrir)v.pr 自分の内に～を発見した 「動詞句」

l'envie de pleurer ロンヴィー・ドゥ・プル n.f 泣きたいという欲求を 「目的語」

花は咳をした。けれども、風邪をひいていたからではなかった。[B-9]

La fleur toussa. Mais ce n'était pas à cause de son rhume.

「主語」 「動詞」 | Mais 「主語」 「動詞句」 「補語」

La fleur ラ・フレール n.f 花は 「主語」

toussa トサ 3 単過(tousser)v.i 咳をした 「動詞」

Mais メ conj. しかし

ce ス pron これは 「主語」

n'était pas ネ・ハ 3 単半・否定(être)v.i ～でなかった 「動詞句」

à cause de ア・コース・ドゥ adv. (原因) ～のためで 「補語」

son rhume ソ・リュム n.m 風邪 「目的語」

「あたくし、馬鹿だったわ」と彼女はついに口をきいた。[B-9]

«J'ai été sotte, lui dit-elle enfin».

«「主語」 「動詞句」 「補語」», 「間接目的語」 「動詞」 「主語」 「副詞」

J' ジュ pron 私は 「主語」

ai été エ・エ 1 単現・完了形(être)v.i ～だった 「動詞句」

文の構成要素

| | |
|--------------------------|---------|
| sotte ソット n.f(sot) ばか | 「補語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| enfin オンファン adv. ついに | 「副詞」 |

咎めだてる様子が全然ないので、王子様はびっくりした。[B-9]

| | |
|---|-------------------|
| <u>Il fut surpris par l'absence de reproches.</u> | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| fut フュ 3 単過(être)v.i 〜だった | 「動詞」 |
| surpris シュルプ°リ adj. 驚いた | 「補語」 |
| par パール adv. (原因・理由) 〜のために、〜なので | 「副詞句」 |
| l'absence ラ°ソンス n.f 欠如、無いこと | 「目的語」 |
| de reproches ト°ウ・ルプ°ロシュ adj. 非難の → 何も非難する様子がないので | 「形容詞句：absence」 |

「そうよ、あたくし、あなたが好きよ」と彼女は言った。[B-9]

| | |
|---|--------------------------------------|
| 《 <u>Mais oui, je t'aime, lui dit la fleur.</u> | 《「応答」「主語」「目的語」「動詞」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」 |
| Mais oui メ・ウイー adv. いえ、そうよ | 「応答」 |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| t' トゥ pron あなたを | 「目的語」 |
| aime エム 1 単現(aimer)v.t 好きよ | 「動詞」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| la fleur ラ・フルール n.f 花が | 「主語」 |

そう言って、無邪気にも花は四つの棘を見せた。それからこう付け加えた：[B-9]

Et elle montrait naïvement ses quatre épines. Puis elle ajouta :

Et 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 | 「副詞」「主語」「動詞」:

| | |
|--|-------|
| Et エ conj. そして | |
| elle エル pron 花は | 「主語」 |
| montrait モントレ 3 単半(montrer)v.t 見せた | 「動詞」 |
| naïvement ナイ°ヴァ°モン adv. 無邪気に | 「副詞」 |
| ses quatre épines セ°ク°ワ°トル°エ°ピ°ヌ pl.n.f 4 つの棘を | 「目的語」 |
| Puis ビ°ユイ adv. それから | 「副詞」 |

文の構成要素

elle エル pron 花は 「主語」
ajouta アジュタ 3 単過(ajouter)v.t 付け加えた 「動詞」

「やあ！家来が来た！」王様は王子様に気付くと、大声で言った。[B-10]

《Ah! Voilà un sujet!》, s'écria le roi quand il aperçut le petit prince.

《「感嘆」》, 「動詞」「主語」「副詞節」

Ah! Voilà un sujet! アー・ヴ わー・アン・シュジェ int. あー、あそこに家臣が来た！ 「感嘆」
s'écria セ・クリア 3 単過(s'écrier)v.pr 叫んだ 「動詞」
le roi ル・ルわ n.m 王様は 「主語」
quand コン conj. ～するとき 「副詞節」
il イル pron 王様が 「主語」
aperçut アペルシュ 3 単過(apercevoir)v.t ちらっと見た 「動詞」
le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様を 「目的語」

王子様は自問した：[B-10]

Et le petit prince se demanda :

Et 「主語」「動詞句」：

Et エ conj. そして
le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様は 「主語」
se demanda ス・ドマندا 3 単過(se demander)v.pr 自問した 「動詞句」

「もっとよく見えるように、近う寄れ」誰かに対してついに王様になることができ非常に鼻が高くなった王様は、そういった。[B-10]

《Approche-toi que je te voie mieux》, lui dit le roi qui était tout fier d'être enfin roi pour quelqu'un.

《「動詞」「主語」「副詞節」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」

Approche アプロシュ 命・2 単現(approcher)v.i 近くに来なさい 「動詞」
toi トワ pron お前は 「主語」
que ク conj. (命令の目的を表す) ～のために 「副詞節」
je ジュ pron わしが 「主語」
te トゥ pron お前を 「目的語」
voie ヴワ 接・1 単現(voir)v.t 見えるように 「動詞」
mieux ミュ adv. もっとよく 「副詞」
lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」
le roi ル・ルわ n.m 王様は 「主語」
qui キ pron ～する 「形容詞節」
était エテ 3 単半(être)v.i ～になった 「動詞」

文の構成要素

| | | |
|-------------------------|-----------------|--------|
| tout fier トゥ・フィエ | adj. 誇らしい | 「補語」 |
| d' トゥ | adv. (原因) ~のために | 「副詞句」 |
| être エートル | 不定詞 v.i なる | 「動詞」 |
| enfin オンファン | adv. ついに、やっと | 「副詞」 |
| roi ルわ | n.m 王様 | 「補語」 |
| pour quelqu'un プール・ケルカン | adj. 誰かに対して | 「形容詞句」 |

王子様は、腰かける場所を目で探したが、星全体がみごとな白貂のコートですっかりふさがれてしまっていた。[B-10]

Le petit prince chercha des yeux où s'asseoir, mais la planète était tout encombrée par le magnifique manteau d'hermine.

| | | |
|-------------------------------------|------------------------|---------------------|
| | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」 | mais 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Le petit prince ル・プチ・プリンス | n.m 王子様は | 「主語」 |
| chercha シェルシャ | 3 単過(chercher)v.t 探した | 「動詞」 |
| des yeux テ・ジユ | adv. (de les yeux) 両目で | 「副詞句」 |
| où s'asseoir ウ・サスワール | adv. 座るべき場所を | 「目的語」 |
| mais メ | conj. しかし | |
| la planète ラ・プラネット | n.f 星は | 「主語」 |
| était tout encombrée エ・トゥ・トンコンブレ | 3 単半・受動(encombrer) | |
| v.t | 全体がふさがれていた | 「動詞句」 |
| par le magnifique manteau d'hermine | パール・ル・マニフィク・モント・テルミヌ | |
| adv. (動作主) | 白貂の見事なマントによって | 「副詞句」 |

だから立ったままだった。そして疲れていたのも、あくびをしていた。[B-10]

Il resta donc debout, et, comme il était fatigué, il bâilla.

| | | |
|---------------|-------------------------|--------------------|
| | 「主語」「動詞」「副詞」「補語」 | et 「副詞節」, 「主語」「動詞」 |
| Il イル | pron 彼は | 「主語」 |
| resta レスタ | 3 単過(rester)v.i ~のままでいた | 「動詞」 |
| donc ドン | adv. それで | 「副詞」 |
| debout デブー | adj. 立った | 「補語」 |
| et エ | conj. そして | |
| comme コム | conj. ~なので | 「副詞節」 |
| il イル | pron 彼は | 「主語」 |
| était エ | 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| fatigué ファティグ | adj. 疲れた | 「補語」 |
| il イル | pron 彼は | 「主語」 |

bâilla バイヤ 3 単過(bâiller)v.i あくびをした 「動詞」

「あくびを我慢できなかったのです」と王子様は、すっかり恐縮して答えた。[B-10]

--- Je ne peux pas m'en empêcher, répondit le petit prince tout confus.

《「主語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

Je ジュ pron 私は 「主語」

ne peux pas m'en empêcher ヌ・フ・パ・モン・オン・シェ 1 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.pr あくびを我慢できなかった 「動詞句」

m'empêcher de bâiller 「あくびを我慢する」 より de bâiller を en に代えた

répondit レ・ンディ 3 単過(répondre)v.i 答えた 「動詞」

le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様は 「主語」

tout confus トゥ・コンフュ adv. すっかり恐縮して 「副詞句」

「その命令ではおじけづいて... もう二度とできませんよ...」王子様はすっかり顔を赤らめて、そう言った。[B-10]

--- Ça m'intimide ... je ne peux plus ..., fit le petit prince tout rougissant.

《「主語」「目的語」「動詞」... 「主語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

Ça サ pron それは 「主語」

m' ム pron 私を 「目的語」

intimide アンティミドゥ 3 単現(intimider)v.t 怖気づかせる 「動詞」

→ 自分を「主語」に替えて翻訳する

je ジュ pron 私は 「主語」

ne peux plus ヌ・フ・プリュ 1 単現・否定(pouvoir)v.i もうできない 「動詞句」

fit フィ 3 単過(faire)v.t 答えた、言った 「動詞」

le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様は 「主語」

tout rougissant トゥ・ルジッサン adv. すっかり赤面して 「副詞句」

そして白貂の毛皮のマントの垂れを、もったいぶって引き寄せた。[B-10]

qui ramena majestuesement un pan de son manteau d'hermine.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

qui キ pron (主語) ~する、そして~する 「形容詞節」

ramena ラメナ 3 単過(ramener)v.t 引き寄せた 「動詞」

majestuesement マジェスチュースモン adv. 厳かに 「副詞」

un pan アン・パン n.m すそを 「目的語」

de son manteau トゥ・ソンの・モンター adj. マントの 「形容詞句」

d'hermine テルミンヌ adj. 白貂の 「形容詞句」

「質問をするように命じる」と王様は急いで言った。[B-10]

--- Je t'ordonne de m'interroger, se hâta de dire le roi.

《「主語」「目的語」「動詞」「補語」, 「動詞句」「主語」

Je ジュ pron わしは 「主語」

t' トゥ pron お前に 「目的語」

ordonne オルドンヌ 1 単現(ordonner)v.t 命じる 「動詞」

de +不定詞 トゥ v. ~することを 「補語」

m' ム pron わしに 「間接目的語」

interroger アンテロジェ 不定詞(interroger)v.t 質問する 「動詞」

se hâta de dire ス・アタ・トゥ・テイル 3 単過・急ぎ(se hâter de+不定詞)

v.t 急いで言った 「動詞句」

le roi ル・ルわ n.m 王様は 「主語」

王様は、控えめな身振りで自分の惑星とほかの惑星とほかの星たちを指差した。[B-10]

Le roi d'un geste discret désigna sa planète, les autres planètes et les étoiles.

「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」

Le roi ル・ルわ n.m 王様は 「主語」

d'un geste discret ダン・ジェスト・テイスクレ adv. 控えめな身振りで 「副詞句」

désigna デジニャ 3 単過(désigner)v.t 指差した 「動詞」

sa planète サ・プラネット n.f 自分の惑星 「目的語」

les autres planètes レ・ゾートル・プラネット pl.n.f ほかの惑星 「目的語」

et エ conj. そして

les étoiles レ・ゼトワ・ル pl.n.f ほかの星 「目的語」

たいした権力だな、と王子様は驚嘆した。[B-10]

Un tel pouvoir émerveilla le petit prince.

「主語」「動詞」「目的語」

Un tel pouvoir アン・テル・プウ・ワ・ル n.m それほどのすごい権力は 「主語」

émerveilla エメルヴ・エイヤ 3 単過(émerveiller)v.t 感嘆させた 「動詞」

le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様を 「目的語」

→ 王子様はすごい権力に感嘆した

「そのとおり。誰であれ、それぞれ自分でできることをするように要請しなければいけない。」と、王様は答えた。「権威というものはまず道理に基づいている。」[B-10]

--- Exact. Il faut exiger de chacun ce que chacun peut donner, reprit le roi.

L'autorité repose d'abord sur la raison. 《「補語」 | 「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」

文の構成要素

《「主語」「動詞」「副詞句」》

| | |
|---|---------|
| Exact エグザ ^サ adj. そのとおり(C'est exact.) | 「補語」 |
| Il faut +不定詞 イル・フォ 3 単現(falloir+不定詞)v.h. ～しなければならない | 「動詞句」 |
| exiger エグジジエ 不定詞 n. 求めること | 「主語」 |
| de chacun トゥ・シャ ^ン adv. 誰に対しても | 「間接目的語」 |
| ce que ス・ク n.m. ～するものを | 「直接目的語」 |
| chacun シャ ^ン pron 誰もが | 「主語」 |
| peut donner フ・ドネ 3 単現・可能(pouvoir+不定詞) | |
| v.t. できる | 「動詞句」 |
| reprit ルプリ 3 単過(reprendre)v.t. また言った | 「動詞」 |
| le roi ル・ル ^ワ n.m. 王様は | 「主語」 |
| L'autorité ロトリテ n.f. 権威は | 「主語」 |
| repose ルポーズ 3 単現(reposer)v.i (sur に)立っているものである | 「動詞」 |
| d'abord タボール adv. まず第一に | 「副詞句」 |
| sur la raison シュール・ラ・レゾン adv. 道理の上に | 「副詞句」 |

「それじゃあ、僕の日入りのことは？」と王子様はまた言った。彼は、いったん言い出した質問は、絶対に忘れなかった。[B-10]

--- Alors mon coucher de soleil? rappela le petit prince qui jamais n'oubliait une question une fois qu'il l'avait posée.

《「副詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

| | |
|--|----------------|
| Alors アロー adv. それじゃあ | 「副詞」 |
| mon coucher de soleil モン・クシェ・ドゥ・ソレイユ n.m. 僕の日入りのことは? | 「目的語」 |
| rappela ラプラ 3 単過(appeler)v.t. 叫んだ | 「動詞」 |
| le petit prince ル・プティ・フランス n.m. 王子様は | 「主語」 |
| qui キ pron. ～する | 「形容詞節: prince」 |

(形容詞的な翻訳をしないで) 王子様の説明を連続的に翻訳する。

jamais n'oubliait ジャメ・ヌブリエ 3 単半・否定(oublier)

| | |
|------------------------------------|-------|
| v.t. 決して忘れなかった | 「動詞句」 |
| une question エヌ・クエション n.f. 質問を | 「目的語」 |
| une fois qu' +直説法 エヌ・フワ・ク | |
| adv. いったん～したら | 「副詞節」 |
| il イル pron. 彼が | 「主語」 |
| l' イル pron. それを | 「目的語」 |
| avait posée アヴェ・ポゼ 3 単半・完了形(poser) | |
| v.t. (質問を) 提起した | 「動詞句」 |

王子様はあくびをした。見損なった日の入りを悔やんでいた。それに、もうすでにいくらか退屈していた。[B-10]

Le petit prince bâilla. Il regrettait son coucher de soleil manqué. Et puis il s'ennuyait déjà un peu :

「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Et 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」:

| | | | |
|-----------------------|---------------------------|-----------------|-------|
| Le petit prince | ル・プチ・フランス n.m | 王子様は | 「主語」 |
| bâilla | バヤ 3 単過(bâiller)v.i | あくびをした | 「動詞」 |
| Il | イル pron | 彼は | 「主語」 |
| regrettait | ルグレテ 3 単半(regretter)v.t | 後悔していた、悔やんでいた | 「動詞」 |
| son coucher de soleil | ソン・グシェ・トゥ・ソレイユ n.m | 日の入りを | 「目的語」 |
| manqué | モンケ adj. | (機会を) 逸した、見損なった | 「形容詞」 |
| Et puis | エ・ピュイ conj. | その上、おまけに | |
| il | イル pron | 彼は | 「主語」 |
| s'ennuyait | サンニユイ 3 単半(s'ennuyer)v.pr | 退屈していた | 「動詞句」 |
| déjà | デジャ adv. | もうすでに | 「副詞」 |
| un peu | アン・フー adv. | 少しばかり | 「副詞句」 |

「こんにちは」と王子様は言った。「おかしい帽子をかぶってますね」[B-11]

《Bonjour, dit le petit prince. Vous avez un drôle de chapeau.

《「挨拶」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「目的語」》

| | | | |
|---------------------|---------------------|---------------|-------|
| Bonjour | ボンジュール n.m | おはよう | 「挨拶」 |
| dit | ディ 3 単過(dire)v.t | 言った | 「動詞」 |
| le petit prince | ル・プチ・フランス n.m | 王子様は | 「主語」 |
| Vous | ヴー pron | あなたは | 「主語」 |
| avez | アヴェ 2 複現(avoir)v.t | (着用・携行) ~している | 「動詞」 |
| un drôle de chapeau | アン・トロール・トゥ・シャポー n.m | おかしい帽子を | 「目的語」 |

「挨拶するためなんだよ」と見栄張り男は答えた。[B-11]

--- C'est pour saluer, lui répondit le vaniteux.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」

| | | | |
|-------------|-------------------------|--------|---------|
| C' | ス pron | これは | 「主語」 |
| est | エ 3 単現(être)v.i | ~である | 「動詞」 |
| pour saluer | プール・サルエ adv. | 挨拶するため | 「補語」 |
| lui | リュイ pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| répondit | レボンディ 3 単過(répondre)v.i | 答えた | 「動詞」 |
| le vaniteux | ル・ヴァニトー n.m | 見栄っ張り | 「主語」 |

「あ、そう？」と王子様は言ったがよくわからない。[B-11]

--- Ah oui? dit le petit prince qui ne comprit pas. 《「応答」》, 「動詞」「主語」
 Ah oui? アー・ウィ int. あ、そう? 「応答」
 dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」
 le petit prince ル・プチ・プリンス n.m 王子様 「主語」
 qui キ pron 〜する (王子様の状態を表している) 「形容詞節」
 ne comprit pas ヌ・コンプリ・パ 3 単過・否定(comprendre)
 v.t 分かっていたなかった 「動詞句」
 → この形容詞節は副詞句的に翻訳する 「あ、そう」とよく分からないまま言った。

「拍手しなさい」と見栄張り男はすすめた。[B-11]

--- Frappe tes mains l'une contre l'autre》, conseilla donc le vaniteux.
 《「動詞」「目的語」 副詞句》, 「動詞」「副詞」「主語」
 Frappe フラプ 命・2 単現(frapper)v.t 打ちつけなさい 「動詞」
 tes mains テ・マン pl.n.f 両手を 「目的語」
 l'une contre l'autre リュヌ・コントル・オートル adv. 一方を他方に対して 「副詞句」
 男性名詞に対しては、l'un contre l'autre を使用する
 → 「拍手をしなさい」と翻訳する
 conseilla コンセイヤ 3 単過(conseiller)v.t 勧めた 「動詞」
 donc ドン adv. すると 「副詞」
 le vaniteux ル・ヴァニテウ n.m 見栄っ張り男 「主語」

五分間の実習の後、王子様は遊びの単調さに疲れてしまった：[B-11]

Après cinq minutes d'exercice le petit prince se fatigua de la monotonie du jeu :
 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」：
 Après アプレ adv. 〜のあとで 「副詞句」
 cinq minutes d'exercice サンク・ミニュット・テグ・セベルス n.m 5 分間の実習 「目的語」
 le petit prince ル・プチ・プリンス n.m 王子様は 「主語」
 se fatigua ス・ファティガ 3 単過(se fatiguer +de)v.pr 〜に飽きてしまった 「動詞句」
 de la monotonie du jeu トゥ・ラ・モトニー・ジュ・ジュー adv. 遊びの単調さに 「間接目的語」
 monotonie モトニー n.f 単調、退屈

しかし、見栄張り男は彼の話を聞いていなかった。見栄張りたちというのは、ほめ言葉だけにしか耳を貸さないんだ。[B-11]

Mais le vaniteux ne l'entendit pas. Les vaniteux n'entendent jamais que les louanges.

Mais 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

le vaniteux ル・ヴァニテウ n.m 見栄っ張りは 「主語」

ne l'entendit pas ヌ・ロントンディ・パ 3 単過・否定(entendre+le)

v.t 彼の言うことを聞いていなかった 「動詞句」

Les vaniteux レ・ヴァニテウ pl.n.m 見栄っ張りというものは 「主語」

n'entendent jamais ノントント・ウ・ジャメ 3 複現・否定(entendre)

v.t 決して聞かない 「動詞句」

que les louanges ク・レ・ルワンジェ pl.n.f 褒め言葉しか 「目的語」

ne ... que〜 「〜しか...しない」

その呑み助は、空の瓶と酒のいっぱい入った瓶の寄せ集めの前に、黙ってすわっていた。

[B-12]

qu'il trouva installé en silence devant une collection de bouteilles vides et une collection de bouteilles pleines. 「主語」「動詞」「補語」

qu' ク pron (目的語 : buveur の代用) 〜する

「その呑兵衛は〜していた」と翻訳する

il イル pron 王子様は 「主語」

trouva トゥルヴァ 3 単過(trouver)v.t (呑兵衛が〜の状態だと) 分かった 「動詞」

qu' は trouva の「目的語」

installé アンスタレ adj.m 座った (状態) 「補語」

en silence オン・シロンス adv. 黙って 「副詞句」

devant ド・ヴァン adv. 〜の前で 「副詞句」

une collection de bouteilles vides ユンス・コレクションド・ウ・ブテイユ・ヴァイト

n.f 空き瓶の寄せ集め 「目的語」

et エ conj. と

une collection de bouteilles pleines ユンス・コレクションド・ウ・ブテイユ・プレヌ

n.f 酒で満杯の瓶の寄せ集め 「目的語」

「飲んでるんだ」と呑み助は陰気な様子で答えた。[B-12]

--- Je bois, répondit le buveur, d'un air lugubre.

《「主語」「動詞」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

Je ジュ pron 俺は 「主語」

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| bois ブゎ 1 単現(boire)v.t 飲んでいる | 「動詞」 |
| répondit レポンドィ 3 単過(répondre)v.t 答えた | 「動詞」 |
| le buveur ル・ビュヴェール n.m 呑兵衛は | 「主語」 |
| d'un air lugubre タ・ネル・リュグユブル adv. 陰鬱な様子で | 「副詞句」 |

「何を忘れるためなの」と王子様は訊いた。王子様は、もうすでに彼を憐れんでいた。

[B-12]

---- Pour oublier quoi? s'enquit le petit prince qui déjà le plaignait.

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 「主語」「副詞」「目的語」「動詞」

| | |
|--|--------|
| Pour oublier プール・ウブリエ adv. 忘れるため? | 「副詞句」 |
| quoi クゎ pron 何を | 「目的語」 |
| s'enquit シンキ 3 単過(s'enquérir)v.pr 詳しく聞いた | 「動詞」 |
| le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様は | 「主語」 |
| qui キ pron ~する | 「形容詞節」 |
| 「その王子様は~する」と翻訳する | |
| déjà デジャ adv. もう | 「副詞」 |
| le ル pron 彼を | 「目的語」 |
| plaignait プレニエ 3 単半(plaindre)v.t 哀れんでいた | 「動詞」 |

「恥ずかしいということを忘れるためだよ」と呑み助は、うつむいて打ち明けた。 [B-12]

---- Pour oublier que j'ai honte, avoua le buveur en baissant la tête.

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

| | |
|---|-------|
| Pour oublier プール・ウブリエ adv. 忘れるためだよ | 「副詞句」 |
| que ク conj. ~ということ | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 自分が | 「主語」 |
| ai エ 1 単現(avoir)v.t 持つ、ある | 「動詞」 |
| honte オト n.f 恥ずかしさ | 「目的語」 |
| avoir honte de ... 「~を恥じる、~を恥ずかしがる」 | |
| avoua アヴァ 3 単過(avouer)v.t 打ち明けた | 「動詞」 |
| le buveur ル・ビュヴェール n.m 呑兵衛は | 「主語」 |
| en baissant オン・ベッサン (baisser)adv. 下げながら、うなだれて | 「副詞句」 |
| la tête ラ・テート n.f 頭を | 「目的語」 |

「酒を飲むのが恥ずかしいのさ」。そう言い終わって、呑み助は決定的に沈黙のなかに閉じこもってしまった。[B-12]

---- Honte de boire!》 acheva le buveur qui s'enferma définitivement dans le silence.
 〔「目的語」〕, 〔「動詞」〕「主語」
 Honte オントゥ n.f 恥ずかしさ 「目的語」
 de boire トゥ・ブ・ワール adj. 酒を飲むことに対する 「形容詞句」
 acheva アシュヴァ 3 単過(achever)v.t 言い終えた 「動詞」
 le buveur ル・ビュヴァール n.m 呑兵衛は 「主語」
 qui キ pron (結果の説明) ~する 「形容詞節」
 s'enferma ソンフェルマ 3 単過(s'enfermer)v.pr 閉じこもった 「動詞句」
 définitivement デフィニティヴモン adv. 決定的に 「副詞」
 dans le silence トン・ル・シロンス adv. 沈黙の中に 「副詞句」

その人はあまりの忙しさに、王子様がやってきても、顔を上げさえしなかった。[B-13]

Cet homme était si occupé qu'il ne leva même pas la tête à l'arrivée du petit prince.
 〔「主語」〕「動詞」〔「補語」〕
 Cet homme セット・オム n.m この男の人は 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 si occupé qu' シ・キュペ・ク adj. あまり忙しすぎて (~する) 「補語」
 il イル pron 彼は (結果の説明) 「副詞節」
 ne leva même pas ノ・ルヴァ・メム・パ 3 単過・否定(lever)
 v.t 上げさえしなかった 「動詞句」
 même メム adv. ~さえ (leva を修飾している)
 la tête ラ・テット n.f 頭を 「目的語」
 à l'arrivée ア・ラリヴェー adv. 到着に対して 「副詞句」
 du petit prince ジュ・プティ・フランス adj. 王子様の 「形容詞句」

「こんにちは」と王子様は言った。「タバコの火が消えてますよ」[B-13]

Bonjour, lui dit celui-ci. Votre cigarette est éteinte.
 〔「挨拶」〕, 〔「間接目的語」〕「動詞」〔「主語」〕, 〔「主語」〕「動詞」〔「補語」〕
 Bonjour ボンジュール int. こんにちは 「挨拶」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」
 celui-ci スリュイ・シ pron (後者) 王子様は 「主語」
 Votre cigarette ヴォトル・シガレット n.f タバコが 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

éteinte エタント adj. 消えた

「補語」

《この男は、あの酔っ払いさんみたいな理屈を言っているな》と王子様は心の中で思った。

[B-13]

Celui-là, se dit en lui-même le petit prince, il raisonne un peu comme mon ivrogne.

《「主語」》, 「動詞句」 「副詞句」 「主語」, 《「主語」 「動詞」 「副詞句」》

Celui-là スリュイ・ラ pron この男は

「主語」

Celui はものを表すのが普通だが、-là を付けて人を指すと軽蔑の意味が含まれる。

この-là には遠近の意味はない。

se dit ス・ディ 3 単過(se dire)v.pr 心の中で思った

「動詞句」

en lui-même オン・リュイ・メーム adv. 自分自身で

「副詞句」

le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様は

「主語」

il イル pron 彼は

「主語」

raisonne レゾヌ 3 単現(raisonner)v.i 理屈を言っている

「動詞」

un peu comme mon ivrogne アン・プ・コム・モン・イヴロニュ

adv. 少しあの酔っ払いみたいに

「副詞句」

この星に着いたとき、王子様は点灯夫にうやうやしく挨拶をした。[B-14]

Lorsqu'il aborda la planète, il salua respectueusement l'allumeur :

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」

Lorsqu' ロルスク conj. 〜の時に

「副詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

aborda アボルダ 3 単過(aborder)v.i 到着した

「動詞」

la planète ラ・プラネット n.f この星に

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

salua サルア 3 単過(saluer)v.t 挨拶した

「動詞」

respectueusement レスペクチュースモン adv. うやうやしく

「副詞」

l'allumeur ラリュメル n.m この点灯夫に

「目的語」

「指示があったんだよ。おはよう」と点灯夫は答えた。[B-14]

---- C'est la consigne, répondit l'allumeur. Bonjour.

《「主語」 「動詞」 「補語」》, 「動詞」 「主語」, 《「挨拶」》

C' ス pron これは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i 〜である

「動詞」

la consigne ラ・コンシーニュ n.f 命令、指示

「補語」

répondit レポンドイ 3 単過(répondre)v.i 答えた

「動詞」

文の構成要素

l'allumeur ラリュメル n.m 点灯夫は 「主語」
 Bonjour ボンジュール n.m おはよう 「挨拶」

それから、赤いチェックのハンケチで自分の額を拭いた。[B-14]

Puis il s'épongea le front avec un mouchoir à carreaux rouges.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Puis ピュイ adv. それから 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 s'épongea セボンジャ 3 単過(s'éponger)v.pr 自分の～をぬぐった 「動詞句」
 le front ル・フロン n.m 額を 「目的語」
 avec un mouchoir アヴ エッキ・アン・ムシュール adv. ハンカチで 「副詞句」
 à carreaux rouges ア・キャロ・ルージュ adj. 赤いチェックの 「形容詞句」

王子様は彼をじっと見た。そして、こんなにも指示に忠実なその点灯夫を好きになった。

[B-14]

Le petit prince le regarda et il aima cet allumeur qui était tellement fidèle à la consigne.

「主語」「目的語」「動詞」et「主語」「動詞」「目的語」

Le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様は 「主語」
 le ル pron 彼を 「目的語」
 regarda ルギヤルタ 3 単過(regarder)v.t じっと見た 「動詞」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 aima エマ 3 単過(aimer)v.t 好きになった 「動詞」
 cet allumeur セット・アリュメル n.m この点灯夫 「目的語」
 qui キ pron ～する 「形容詞節」
 était エテ 3 単半(être)v.i ～である 「動詞」
 tellement fidèle テルモン・フィテール adj. とても忠実な 「補語」
 à la consigne. ア・ラ・コンシニュー adv. 指示に 「副詞句」

昔、自分で椅子を移動させて、日の入りを何度も見ようとしていたことを思い出した。

[B-14]

Il se souvint des couchers de soleil que lui-même allait autrefois chercher en tirant sa chaise.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
 se souvint ス・スヴァン 3 単過(se souvenir)v.pr (de) を思い出した 「動詞句」
 des couchers de soleil デ・クシェ・ドゥ・ソレイユ pl.n.m 日の入り 「目的語」

文の構成要素

| | | |
|---|--------------------|--------|
| que ク pron | ～する | 「形容詞節」 |
| lui-même リュイ・メーム pron | 彼自身が | 「主語」 |
| allait autrefois chercher, アレ・オートルフ・ワ・シェルシェ | 3 単半・習慣(aller+不定詞) | |
| v.t | 昔、探し求めていた | 「動詞句」 |
| en tirant sa chaise. オン・ティロン・サ・シェーズ | adv. 椅子を引いて | 「副詞句」 |

王子様は哀惜の溜息をつき、さらにこう思った：[B-14]

Il eut un soupir de regret et se dit encore :

「主語」「動詞」「目的語」et「動詞句」「副詞」:

| | | |
|------------------------------|--------|--------|
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| eut イ 3 単過(avoir)v.t | 持った、した | 「動詞」 |
| un soupir アン・スピール n.m | ため息を | 「目的語」 |
| de regret ドゥ・ルグレ adj. | 後悔の | 「形容詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| se dit ス・ディ 3 単過(se dire)v.t | 思った | 「動詞句」 |
| encore オンコール adv. | また | 「副詞」 |

もう少し後に、町はずれに住んでいる若者たちが通りかかった。彼らの身なりは、ヘアラッカーでかためて光沢のある髪、赤いネクタイ、刺繍付きの飾りハンカチをつけた体にピチピチの上着そして先端が角ばった短靴という具合だ。[C-1-2]

Un peu plus tard passèrent les jeunes gens du faubourg, cheveux laqués et cravate rouge, le veston très cintré, avec une pochette brodée et des souliers à bouts carrés.

「副詞句」「動詞」「主語」,「目的語」

| | | |
|--|-------------------|--------|
| Un peu plus tard アン・プ・フリュ・タル adv. | もう少し後に | 「副詞句」 |
| passèrent パセル 3 複過(passer)v.t | 通りかかった | 「動詞」 |
| les jeunes gens レ・ジュヌ・ジヨン pl.n.m | 若者たち | 「主語」 |
| du faubourg, ジュ・フォブル adj. | 町はずれに住んでいる | 「形容詞句」 |
| 若者たちの服装などを説明している。動詞(porter など)は省略されている。 | | |
| cheveux laqués シュヴ・ラケ pl.n.m | ヘアラッカーでかためて光沢のある髪 | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| cravate rouge, クラヴァット・ルージュ n.f | 赤いネクタイ | 「目的語」 |
| le veston ル・ヴェストン n.m | 上着 | 「目的語」 |
| très cintré, トレ・サントレ adj. | 体にピチピチの | 「形容詞句」 |
| avec une pochette brodée アヴ・エッキ・コンヌ・ポシェット・ブローテ | | |
| adv. | 刺繍付きの飾りハンカチのついた | 「形容詞句」 |
| et エ conj. | そして | |

文の構成要素

des souliers デ・スリエ pl.n.m 短靴 「目的語」
à bouts carrés. ア・ブ・カル adj. 先端が角ばった 「形容詞句」

市街の映画館から戻ってくる観客たちは、少し後に着いた。彼らはもっとおごそかな感じに見えた。[C-1-2]

Ceux qui revenaient des cinémas de la ville arrivèrent un peu plus tard. Ils semblaient plus graves.
「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」
Ceux ス pron.pl(celui の男性複数形) 観客たちは 「主語」
qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
revenaient ルヴネ 3 複半(revenir)v.i 戻って来た 「動詞」
des cinémas de la ville デ・シネ・ド・ラ・ヴィル
adv. 市街の映画館から 「副詞句」
arrivèrent アリヴァール 3 複過(arriver)v.i 着いた 「動詞」
un peu plus tard. アン・プ・プリュ・タル adv. 少し後で 「副詞句」
Ils イル pron 彼らは 「主語」
semblaient ソンブレ 3 複半(sembler)v.i ～のように見えた 「動詞」
plus graves. プリュ・グラーヴ adj. もっとおごそかな 「補語」

その晩、マリーが僕を呼びに来て、彼女と結婚しようと思っているのかと僕に尋ねた。
[C-1-5]

Le soir, Marie est venue me chercher et m'a demandé si je voulais me marier avec elle.
「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Le soir, ル・スワール adv. その晩 「副詞句」
Marie マリー n.f マリーが 「主語」
est venue +不定詞 エ・ヴァニユ 3 単過・完了形(venir+不定詞)v. ～しに来た 「動詞句」
me ム pron 僕を 「目的語」
chercher シェルシェ 不定詞 v.t 呼ぶ、迎える 「動詞句」
et エ conj. そして
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a demandé ア・ドゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
si シ conj. ～かどうかを 「直接目的語」
je シュ pron 僕は 「主語」
voulais 不定詞 ヴレ 1 単半・時制の一致(vouloir+不定詞)
v. ～したい 「動詞句」
me marier ム・マリエ 不定詞(se marier)v.pr(avec と) 結婚する 「動詞句」
avec elle. アヴェ・ツケル adv. 彼女と 「副詞句」

直説法・未来と未来完了

注意して聞けよ、そうすれば気ままに生きるとどうなるかが分かるだろう。[A-5]

Écoute bien et tu verras ce qui arrive en vivant en liberté...

| | | | |
|---------------|--------------------------|------------|---------------|
| | 「動詞」「副詞」 | et | 「主語」「動詞」「目的語」 |
| Écoute | エクト 命・2 単現(écouter)v.t | 注意して聞けよ | 「動詞」 |
| bien | ビヤン adv. | よく | 「副詞」 |
| et | エ conj. | そうすれば | |
| tu | チュ pron | 君は | 「主語」 |
| verras | ヴェラ 2 単未・推測(voir)v.t | 分かるだろう | 「動詞」 |
| ce | ス pron | そのことが | 「目的語」 |
| qui | キ pron (主語) | 何が～する | 「形容詞節」 |
| arrive | アリヴ 3 単現(arriver)v.i | (出来事が) 起こる | 「動詞」 |
| en vivant | オン・ヴィヴァン ジェレオンディフ(vivre) | | |
| | v.i | 生きていると | 「副詞句」 |
| en liberté... | オン・リベルテ adv. | 気ままに | 「副詞句」 |

「もうたくさんだ！もうこれ以上、山羊の世話なんかしないぞ！」と、ある日、言った。

[A-5]

《Non, c'est assez! Plus jamais je ne m'occuperai de chèvres.》 dit-il un jour.

《「感嘆」「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」》
「動詞」「主語」「副詞句」

| | | | |
|----------------|--|-------------|---------|
| Non, | ノン adv. | いや！ | 「感嘆」 |
| c' | ス pron | これは | 「主語」 |
| est | エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| assez! | アセ adv. | 十分な、たくさん | 「補語」 |
| Plus | プリュ adv. | もう、これ以上 | 「副詞」 |
| jamais | ジャメ adv. | 決して～ない | 「副詞」 |
| je | ジュ pron | わしは | 「主語」 |
| ne m'occuperai | ヌ・モクブレ 1 単未・意志・否定(s'occuper)v.pr(de～の) | 世話をしない「動詞句」 | |
| de chèvres.》 | トゥ・シェーヴル adv. | 山羊の | 「間接目的語」 |
| dit | ディ 3 単過(dire)v.t | 言った | 「動詞」 |
| il | イル pron | 彼は | 「主語」 |
| un jour. | アン・ジュール n.m | ある日 | 「副詞句」 |

「山羊が、俺のところにうんざりしないようにやり遂げるぞ！」[A-5]

《Je ferai tout pour qu'elle ne s'ennuie pas chez moi!》

《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

| | | | | | |
|-----------------|-----------|--------------------|---------|--|-------|
| 《Je | ジュ | pron | 俺は | | 「主語」 |
| ferai | フレ | 1 単未・意志(faire)v.t | する | | 「動詞」 |
| tout | トゥ | pron | すべてを | | 「目的語」 |
| pour | プール | prep | ～のために | | 「副詞句」 |
| qu' | ク | conj. | ～ということ | | 「目的語」 |
| elle | エル | pron | 山羊が | | 「主語」 |
| ne s'ennuie pas | ヌ・ソンニユイ・パ | 3 単現・否定(s'ennuyer) | | | |
| v.pr | | | うんざりしない | | 「動詞句」 |
| chez moi! | シェ・ムわ | adv. | 俺のところに | | 「副詞句」 |

「だが、山にはオオカミがいるのを知っているだろう？見つかったら、どうするんだい？」

[A-5]

--- Mais tu sais bien que dans la montagne il y a le loup! Que feras-tu s'il te trouve?

《Mais 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 | 「目的語」「動詞」「主語」「副詞節」》

--- Mais メ conj. しかし

| | | | | | |
|------------------|-------------|---------------------|---------|--|-------|
| tu | チュ | pron | お前は | | 「主語」 |
| sais | セ | 2 単現(savoir)v.t | 知っている | | 「動詞」 |
| bien | ビヤン | adv. | よく | | 「副詞」 |
| que | ク | conj. | ～ということを | | 「目的語」 |
| dans la montagne | ドン・ラ・モンターニュ | adv. | 山の中には | | 「副詞」 |
| il y a | イ・リ・ヤ | 3 単現(il y avoir)v.t | ～がいる | | 「動詞句」 |
| le loup! | ル・ルー | n.m | オオカミが | | 「目的語」 |
| Que | ク | pron | 何を | | 「目的語」 |
| feras | フラ | 2 単未・意思(faire)v.t | するつもりだ | | 「動詞」 |
| tu | チュ | pron | お前は | | 「主語」 |
| s' | シ | conj. | もし～すると | | 「副詞節」 |
| il | イル | pron | オオカミが | | 「主語」 |
| te | トゥ | pron | お前を | | 「目的語」 |
| trouve? | トゥルーヴ | 3 単現(trouver)v.t | 見つける | | 「動詞」 |

「困った子だね！オオカミはお前の角なんか恐れやしないんだよ。お前よりずっと立派な角がある山羊たちだって、みんな食われてしまったんだから」[A-5]

--- Malheureuse! Le loup n'aura pas peur de tes cornes. Des chèvre autrement encornées que toi ont toutes été mangées.

《「呼びかけ」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」》

--- Malheureuse! マルルーズ^ス n.f(Malheureux) 困った子だね！ 「呼びかけ」

Malheureux(se) マルル(ス) n.m, n.f 困った人、不幸な人

Le loup ル・ルー n.m オオカミは 「主語」

n'aura pas ノー・ア・パ 3 単未・推測・否定(avoir)v.t 持たないだろう 「動詞句」

peur ペール n.f(de に対して) 恐怖、恐れ 「目的語」

de tes cornes. トゥ・テ・コルヌ adv. お前の角に対して 「副詞句」

Des chèvre テ・シェヴァル pl.n.f 山羊たちは 「主語」

autrement encornées que toi オートルモン・オンコルネ・ク・トゥワ

過去分詞(encorner)adj.f.pl お前よりずっと立派な角がある 「形容詞句」

ont toutes été mangées. オン・トゥット・エテ・モンジェ 3 複現・完了形・受動.f.pl(manger+toutes)

v.t みんな食われた 「動詞句」

「それでは、お前が逃げ出さないように、家畜小屋に閉じ込めておくことにしよう」[A-5]

Et pour que tu ne t'échappes, je t'enfermerai dans l'étable. 》

《Et 「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」》

Et エ conj. そして

pour que プール・ク adv. ～するために 「副詞節」

tu チュ pron お前が 「主語」

ne t'échappes, ス・テシャップ 2 単現・否定(s'échapper)v.pr 逃げない 「動詞句」

je ジュ pron 私は 「主語」

t' トゥ pron お前を 「目的語」

enfermerai オンフェルムレ 1 単未・意思(enfermer)v.t 閉じ込めておく 「動詞」

dans l'étable. 》 トン・エターブル adv. 家畜小屋に 「副詞句」

君は笑うかい、グランゴワール？実は、君はこのヤギにとっても似ているんだよ。だから、話の続きを聞きたまえ。君がどこまで笑って居られるか見届けてやろう。[A-5]

Tu rigoles, Gringoire? Figure-toi que tu ressembles beaucoup à cette pauvre chèvre. Écoute donc la suite de l'histoire, nous verrons si tu riras toujours.

「主語」「動詞」「呼びかけ」 | 「動詞句」「目的語」

「動詞」「副詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」

Tu チュ pron 君は 「主語」

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| rigoles, リゴル 2 単現・疑問文(rigoler)v.i 笑うかい? | 「動詞」 |
| Gringoire? グランゴワール n.m グランゴワール | 「呼びかけ」 |
| Figure-toi フィギュール・トゥリ 命・2 単現(figurer) | |
| v.t(que ～ということを)想像しなさい | 「動詞句」 |
| figure-toi que... 「～を想像しなさい、実は～なんですよ」 | |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| tu チュ pron 君は | 「主語」 |
| ressembles ルソブル 2 単現(ressembler)v.i 似ている | 「動詞」 |
| beaucoup ボク adv. とても | 「副詞」 |
| à cette pauvre chèvre. ア・セツ・ポーヴル・シェヴル adv. このヤギに | 「間接目的語」 |
| Écoute エクト 命・2 単現(écouter)v.t 聞きなさい | 「動詞」 |
| donc ドン adv. だから | 「副詞」 |
| la suite ラ・シュイト n.f 続きを | 「目的語」 |
| de l'histoire, トゥ・リストワール adj. 話の | 「形容詞句」 |
| nous ヌ pron 私たちは | 「主語」 |
| verrons ヴェロン 1 複末(voir)v.t 分かるだろう | 「動詞」 |
| si シ conj. ～かどうかということを | 「目的語」 |
| tu チュ pron 君が | 「主語」 |
| riras リラ 2 単末(rire)v.i 笑っている | 「動詞」 |
| toujours. トゥジュール adv. いつまでも | 「副詞」 |

もし僕が作り話をしていると思うのなら、プロヴァンスに行けば分かると思うよ。そこでは誰もが、一晩中オオカミと戦って朝には食べられてしまった、スガンさんのヤギの話を君に話すだろう。[A-5]

Si tu crois que je l'ai inventée, tu verras qu'en Provence, tout le monde te parlera de la cabro de moussu Seguin qui s'est battue toute la nuit avec le loup et s'est fait manger au matin.

| | |
|--|-------|
| Si シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| tu チュ pron 君が | 「主語」 |
| crois クルわ 2 単現(croire)v.t 思う | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| je ジュ pron 私が | 「主語」 |
| l' ル pron それを | 「目的語」 |
| ai inventée, エ・アンヴァンテ 1 単現・完了形(inventer)v.t でっち上げた | 「動詞句」 |
| tu チュ pron 君は | 「主語」 |
| verras ヴェラ 2 単末(voir)v.t 分かるだろう、知るだろう | 「動詞」 |

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| en Provence, オン・プ ロヴ ゾンス adv. プロヴァンスでは | 「副詞句」 |
| tout le monde トゥ・ル・モンド pron 誰でもが | 「主語」 |
| te トゥ pron 君に | 「間接目的語」 |
| parlera パルラ 3 単未(parler)v.i 話すだろう | 「動詞」 |
| de la cabro de moussu Seguin トゥ・ラ・カブ ロ・トゥ・ムシュ・サガン | |
| adv. スガンさんのヤギのことを | 「間接目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| s'est battue セ・バチュ 3 単現・完了形(su battre) | |
| v.pr 戦った | 「動詞句」 |
| toute la nuit トゥット・ラ・ニュイ adv. 一晩中 | 「副詞句」 |
| avec le loup アヴ ェッキ・ル・ルー adv. オオカミと | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| s'est fait manger セ・フェ・マンジェ 3 単現・完了形・使役(se faire+manger) | |
| v.t 食べられてしまった | 「動詞句」 |
| au matin. オ・マタン adv. 朝には | 「副詞句」 |

「きっと、ちょうどいいよ。実に小さな羊をあげたんだから」 [B-2]

| | |
|---|--------------|
| --- <u>Ça suffira sûrement. Je t'ai donné un tout petit mouton.</u> 》 | |
| 《「主語」「動詞」「副詞」 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》 | |
| --- Ça サ pron それは | 「主語」 |
| suffira シフィラ 3 単未・推量(suffire)v.i 十分だろう | 「動詞」 |
| sûrement シュールモン adv. きっと | 「副詞：suffira」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| t' トゥ pron 君に | 「間接目的語」 |
| ai donné エ・トネ 1 単現・完了形(donner)v.t あげた | 「動詞句」 |
| un tout petit mouton アン・トゥ・プ ティ・ムトン n.m 全く小さい羊を | 「直接目的語」 |

こうして、彼がはじめて僕の飛行機に気づいたとき（僕は、飛行機の絵は描かない。僕には複雑すぎる絵だ）、彼はこう訊いた： [B-3]

Ainsi, quand il aperçut pour la première fois mon avion (je ne dessinerai pas mon avion, c'est un dessin beaucoup trop compliqué pour moi) il me demanda:

「副詞」, 「副詞節」(「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞」「補語」)

「主語」「間接目的語」「動詞」:

| | |
|---------------------|-------|
| Ainsi アンシ adv. こうして | 「副詞」 |
| quand コン conj. ～する時 | 「副詞節」 |

文の構成要素

| | |
|--|-----------------|
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| aperçut アペルシュ 3 単過(apercevoir)v.t 見た | 「動詞」 |
| pour la première fois プール・ラ・プ・ルミエール・ファ adv. 初めて | 「副詞句 : aperçut」 |
| mon avion モ・ナヴィオン n.m 僕の飛行機を | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne dessinerai pas ヌ・デシネ・パ 1 単未・否定(dessiner)v.t 描かない | 「動詞句」 |
| mon avion モ・ナヴィオン n.m 飛行機を | 「目的語」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| un dessin アン・デッサン n.m 絵 | 「補語」 |
| beaucoup trop compliqué pour moi ホク・トロ・コンプレ・ケ・プール・ムリ | |
| adj. 僕には難しすぎる | 「形容詞句 : dessin」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| me ム pron 私に | 「間接目的語」 |
| demanda ドゥマンダ 3 単過(demander)v.t 尋ねた | 「動詞」 |

「君がくれた箱が良かったのは、夜の間、それが羊の家の役に立つからだよ」[B-3]

《Ce qui est bien, avec la caisse que tu m'as donnée, c'est que, la nuit, ça lui servira de maison.》
 〔「主語」「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」〕

《Ce qui est bien ス・キ・エ・ビヤン n. それが良いのは》 「主語」

Ce ス pron それ 「主語」

qui キ pron ~ということ 「形容詞節 : Ce」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

bien ビヤン adj. 良い 「補語」

avec la caisse アヴェッキ・ラ・カス adv. 箱によって 「副詞句」

que ク pron ~する 「形容詞節 : caisse」

tu チュ pron 君が 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

as donnée ア・トネ 2 単現・完了形.f(donner)(la caisse に性・数一致)

v.t くれた 「動詞句」

c' ス pron それが 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

que ク pron ~ということ 「補語」

la nuit ラ・ニュイ n.f 夜の間は 「副詞句」

ça サ pron それが 「主語」

lui リュイ pron 彼に (羊に) 「間接目的語」

文の構成要素

servira セルヴァー 3 単未(servir)

v.i (à qn de+無冠詞名詞) (人に) ～として役立つ

「動詞」

de maison トゥ・メゾン adv. 家として

「副詞句」

「—もちろん、そうさ。それに君がいい子なら、綱もあげよう。昼の間羊をつないでおくた
めさ。それから、棒杭も。」[B-3]

--- Bien sûr. Et si tu es gentil, je te donnerai aussi une corde pour l'attacher pendant le
jour. Et un piquet.》

《「応答」 | Et 「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 「副詞句」

Et 「目的語」》

---Bien sûr ビヤン・シュール adv. もちろん、その通り

「応答」

Et エ conj. そして

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

tu チュ pron 君が

「主語」

es エ 2 単現(être)v.i ～である

「動詞」

gentil ジョントイ adj. (子供が) いい子の

「補語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

te トゥ pron 君に

「間接目的語」

donnerai トンヌレ 1 単未(donner)v.t あげよう

「動詞」

aussi une corde オシ・ユヌ・コルトゥ n.f 綱も

「直接目的語」

pour +不定詞 プール prep ～するために

「副詞句」

l' ル pron 羊を

「目的語」

attacher アタシェ 不定詞 v.t つないでおく

「動詞」

pendant le jour ホントン・ル・ジュール adv. 昼の間

「副詞句」

Et エ conj. そして

un piquet アン・ピケ n.m 棒杭

「目的語」

「—でも、つないでおかないと、どことかまわす行っちゃうよ。そして迷子になっちゃう…」

[B-3]

《--- Mais si tu ne l'attaches pas, il ira n'importe où, et il se perdra.》

《---Mais メ conj. しかし

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

tu チュ pron 君が

「主語」

ne l'attaches pas ヌ・ラタッシュ・パ 2 単現・否定(attacher)

v.t 羊をつながない

「動詞句」 「目的語」 「動詞句」

ira イラ 3 単未(aller)v.i 行ってしまう

「動詞」

文の構成要素

n'importe où ナポルト・ウ adv. どこへでも 「副詞句」
 et エ conj. そして
 il イル pron ヒツジは 「主語」
 se perdra》 ス・ペルトゥラ 3 単末(se perdre)v.pr 道に迷うだろう 「動詞句」

人が羊を欲しがれば、その人が存在している証拠になる」などと言え、彼らは肩をすくめ、
 君たちを子ども扱いするだろう！ [B-4]

Quand on veut un mouton, c'est la preuve qu'on existe》, elles hausseront les épaules et
 vous traiteront d'enfant! 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」》,
 「主語」「動詞」「目的語」 et 「目的語」「動詞」「補語」

Quand コン conj. ～すると 「副詞節」
 on オン pron 人が 「主語」
 veut ウ゛ 3 単現(vouloir)v.t 欲しがる 「動詞」
 un mouton アン・ムトン n.m 羊を 「目的語」
 c' ス pron それは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 la preuve ラ・プルーヴ n.f 証拠 「補語」
 qu' ク conj. (同格) ～という 「形容詞節：preuve」
 on オン pron その人が 「主語」
 existe エグジストゥ 3 単現(exister)v.i 存在している 「動詞」
 elles エル pron.pl. 彼らは 「主語」
 hausseront オセロン 3 複末(hausser)v.t すくめるだろう 「動詞」
 les épaules レ・ゼポール pl.n.f 肩を 「目的語」
 et エ conj. そして
 vous ウ゛ pron 君を 「目的語」
 traiteront トレロン 3 複末(traiter)v.t 扱うだろう 「動詞」
 d'enfant ドンフォン adj. 子供として 「補語」

結局、僕はもっと大切な細部を間違えてしまいそうだ。 [B-4]

Je me tromperai enfin sur certains détails plus importants.
 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 me tromperai ム・トロンプレ 1 単末・推量(se tromper)
 v.pr (sur について) 間違えるかもしれない 「動詞句」
 enfin オンフォン adv. 結局 「副詞」
 sur certains détails シュール・セルタン・デタイユ adv. ある細部について 「間接目的語」

文の構成要素

plus importants フリュ・ザンポルトン adj. もっと大切な 「形容詞句：détails」

「彼らがいつか旅行をするような場合、」と、彼は言った。「役に立つかもしれないよ。仕事を後回しにする事は、時には差し障りがないこともある。」[B-5]

《S'ils voyagent un jour, me disait-il, ça pourra leur servir. Il est quelquefois sans inconvénient de remettre à plus tard son travail.

《「副詞節」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」,

《「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞」「補語」「主語」》

S' シ conj. もし～ならば 「副詞節」

ils イル pron.pl 彼らが 「主語」

voyagent ヴァリヤージュ 3 複現(voyager)

v.i 旅行する 「動詞」

un jour アン・ジュール n.m (未来) いつか 「副詞句」

me ム pron 私に 「間接目的語」

disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」

il イル pron 彼は 「主語」

ça サ pron それは 「主語」

pourra ...servir フラ...セルヴァール 3 単未・推量

(pouvoir+不定詞 servir)v.i (à qn) (人の) 役に立つかもしれない 「動詞句」

leur レール pron 彼らの 「間接目的語」

Il イル 形式主語

est エ (être)v.i ～である 「動詞」

quelquefois sans inconvénient ケルクワ・ソン・アンコンヴェニヤン

adj. 時には支障がない 「補語」

de remettre トゥ・ルメットル 不定詞 延期することが 「主語」

à plus tard ア・プリュ・タル adv. 後回しに 「副詞句」

son travail ソン・トラヴァイユ n.m 仕事を 「目的語」

僕が与えたこの教訓はその苦勞に値していた。君たちは、不思議に思うかもしれない：

[B-5]

La leçon que je donnais en valait la peine. Vous vous demanderez peut-être:

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」：

La leçon ラ・ルソン n.f 教訓 「主語」

que ク pron ～する 「形容詞節：leçon」

je ジュ pron 僕が 「主語」

donnais トネ 1 単半(donner)v.t 与えた 「動詞」

文の構成要素

| | | | | |
|-----------------|-----------|----------------------|-----------------|----------------|
| en | ㄢ | adj. | そうしたこと(de cela) | 「形容詞句 : peine」 |
| valait | ヴァレ | 3 単半(valoir)v.i | ～の価値がある | 「動詞」 |
| la peine | ラ・ペヌ | n.f | 苦労、骨折り | 「補語」 |
| Vous | ヴ | pron | 君たちは | 「主語」 |
| vous demanderez | ヴ・ドゥモンドゥレ | 2 複未・推量(se demander) | | |
| v.pr | | | 不思議に思うかもしれない | 「動詞句」 |
| peut-être | プ・テートル | adv. | もしかしたら | 「副詞句」 |

「このボルトがまだいうことをきかないなら、カナヅチで叩いて吹っ飛ばしてやろう」

[B-7]

《Si ce boulon résiste encore, je le ferai sauter d'un coup de marteau.》

《「副詞節」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」》

| | | | | |
|----------------------|--------------|-----------------------|--------|-------|
| Si | シ | conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| ce boulon | ス・ブロン | n.m | このボルトが | 「主語」 |
| résiste | レジストゥ | 3 単現(résister)v.i | 抵抗する | 「動詞」 |
| encore | オンコール | adv. | まだ | 「副詞」 |
| je | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| le | ル | pron | それを | 「目的語」 |
| ferai sauter | フレ・サテ | 1 単未・使役(faire+不定詞)v.i | 飛ばしてやる | 「動詞句」 |
| d'un coup de marteau | ダ・ソ・ク・トゥ・マルト | adv. | 金槌で叩いて | 「副詞句」 |

《君が愛している花は、大丈夫だよ... 君の羊に口輪を描いてあげる...》 [B-8]

《La fleur que tu aimes n'est pas en danger ... Je lui dessinerai une muselière, à ton mouton ...》

《「主語」 「動詞句」 「補語」

「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 「間接目的語」

| | | | | |
|-----------|---------|------------------|---|----------------|
| La fleur | ラ・フレール | n.f | 花は | 「主語」 |
| que | ク | pron | ～する | 「形容詞節 : fleur」 |
| tu | チュ | pron | 君が | 「主語」 |
| aimes | エム | 2 単現(aimer)v.t | 愛している | 「動詞」 |
| n'est pas | ネ・パ | 3 単現・否定(être)v.i | ～でない | 「動詞句」 |
| en danger | オン・ドンジエ | adv. | 危険な状態 | 「補語」 |
| | | | → 危険ではない → 大丈夫だ | |
| J' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| lui | リュイ | pron | 彼に(à ton mouton の先出) | 「間接目的語」 |
| | | | スペイン語でも間接目的語代名詞を動詞の前において、前置詞付きの「間接目的語」を動詞の後ろに置く | |

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| dessinerais デシヌレ 1 単未(desinner)v.t 描いてあげる | 「動詞」 |
| une mu se lière ユヌ・ミユズリエール n.f 口輪を | 「直接目的語」 |
| à ton mouton ア・トン・ムトン adv. 君の羊に | 「間接目的語」 |

「夕方になったら、覆いをかけてください。あなたのとこって、とても寒いよね。」[B-8]

《Le soir vous me mettez sous globe. Il fait très froid chez vous.

| | |
|---|-------|
| 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 | |
| Le soir ル・スワール n.m 夜には | 「副詞句」 |
| vous ヴ pron あなたが | 「主語」 |
| me ム pron 私を | 「目的語」 |
| mettez メツレ 2 複未(mettre)v.t 入れる | 「動詞」 |
| sous globe ス・グロブ adv. 覆いの下に | 「副詞句」 |
| → 花は動かせないなので、「花に覆いをかける」という意味 | |
| Il イル pron 天候など | 「主語」 |
| fait フェ 3 単現(faire)v.h 〜である | 「動詞」 |
| très froid トレ・フロワ adj. とても寒い | 「補語」 |
| chez vous シェ・ヴァ adv. あなたのところは | 「副詞句」 |

「そんなに風邪をひいている訳ではないの... 夜の涼しい風があたくしに元気をもたらすでしょう。あたくし花なんだから」[B-9]

--- Je ne suis pas si enrhumée que ça ... L'air frais de la nuit me fera du bien. Je suis une fleur.

《「主語」「動詞句」「補語」 | 「主語」「目的語」「動詞」「補語」
「主語」「動詞」「補語」》

| | |
|---|------------|
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| ne suis pas ヌ・シュイ・パ 1 単現(être)v.i 〜ではない | 「動詞句」 |
| si enrhumée シ・オンリュメ adj.f ひどく風邪をひいた | 「補語」 |
| que ça ク・サ adv. それほど | 「副詞句」 |
| L'air frais レール・フレ n.m 冷たい空気が | 「主語」 |
| de la nuit トゥ・ウ・ラ・ニュイ adj. 夜の | 「形容詞句：air」 |
| me ム pron 私を | 「目的語」 |
| fera フラ 3 単未(faire)v.t (faire A de B) A を B にするでしょう | 「動詞」 |
| du bien ジュ・ビヤン n.m よいこと、元気 | 「補語」 |
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| suis シュイ (être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| une fleur ユヌ・フレール n.f 花 | 「補語」 |

「蝶々って本当に綺麗に思われる。蝶々でなかったら、だれがあたくしを訪ねてくれるのかしら。」[B-9]

Il paraît que c'est tellement beau. Sinon qui me rendra visite?

《「動詞」「主語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Il il pron 形式主語 (真の主語は que 節)

paraît パレ 3 単現(paraître)v.i 〜のように思われる 「動詞」

que ク conj. 〜ということ 「主語」

c' ス pron それ (蝶々) は 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

tellement beau テルモン・ボ adj. とても美しい 「補語」

Sinon qui シノン・キ pron (蝶々) 以外に誰が 「主語」

me ム pron 私に 「間接目的語」

rendra ロンドラ 3 単未(rendre)v.t 与えてくれるだろう 「動詞」

visite ヴィジット n.f 訪問を 「直接目的語」

「もし国民に向かって、海に身投げをするよう命令したりしたら、革命が起こるよ。」

[B-10]

Si tu ordonnes à ton peuple d'aller se jeter à la mer, il fera la révolution.

《「副詞節」, 「動詞句」「主語」

Si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

tu チュ pron 君が 「主語」

ordonnes オルドンヌ 2 単現(ordonner)v.t 命じる 「動詞」

à ton peuple ア・トン・プーフル adv. 国民に 「間接目的語」

d'aller se jeter à la mer ダレ・ス・ジュテ・ア・ラ・メル
不定詞 v.i 海に身投げに行くように 「補語」

il fera イル・フラ 3 単未・非人称(faire)v.h 生じる、起こるだろう 「動詞句」

la révolution ラ・レヴオリュション n.f 革命が 「主語」

しかし、裁判するたびに、彼の命を大切にするために、恩赦を与えるのだ。[B-10]

Mais tu le gracieras chaque fois pour l'économiser.

Mais 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

tu チュ pron 君は 「主語」

le ル pron ネズミを 「目的語」

gracieras グラシエラ 2 単未(gracier)v.t 恩赦を与えて欲しい 「動詞」

chaque fois シャック・フワ adv. 毎回 「副詞句」

文の構成要素

| | |
|------------------------------|-------|
| pour +不定詞 プール adv. ～するために | 「副詞句」 |
| l'ル pron 彼の命を | 「目的語」 |
| économiser エコノミゼ 不定詞 v.t 大切に | 「動詞」 |

「ね... 君が休みたいときに休める方法を知ってるよ...」 [B-14]

《Tu sais ... je connais un moyen de te reposer quand tu voudras ...

》「呼びかけ」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

| | |
|--|--------|
| Tu sais チュ・セ adv. ね... | 「呼びかけ」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| connais コネ 1 単現(connaître)v.t 知っている | 「動詞」 |
| un moyen de +不定詞 アン・ムイヤン・ドゥ n.m ～する方法を | 「目的語」 |
| te reposer トゥ・ルポゼ 不定詞(se reposer)v.pr 休む | 「動詞句」 |
| quand コン conj. ～するときに | 「副詞節」 |
| tu チュ pron 君が | 「主語」 |
| voudras ヴドゥラ 2 単末(vouloir)v.t 望む、希望する | 「動詞」 |

「休みたいときには、歩きさえすればいい... そうすれば、昼間が自分の好きなだけ、続くことになるよ」 [B-14]

Quand tu voudras te reposer tu marcheras ... et le jour durera aussi longtemps que tu voudras.

》「副詞節」 「主語」 「動詞」 ,et 「主語」 「動詞」 「副詞句」

| | |
|---|--------|
| Quand コン conj. ～するときは | 「副詞節」 |
| tu チュ pron 君が | 「主語」 |
| voudras te reposer ヴドゥラ・トゥ・ルポゼ 2 単末・願望(vouloir+不定詞) | |
| v.pr 休みたい | 「動詞句」 |
| tu チュ pron 君は | 「主語」 |
| marcheras マルシェラ 2 単末・助言(marcher)v.i 歩けばよい | 「動詞」 |
| et エ conj. そうすれば | |
| le jour ル・ジュール n.m 昼が | 「主語」 |
| durera ジュラ 3 単末(durer)v.i 続くだろう | 「動詞」 |
| aussi longtemps オッシ・ロントン adv. それだけ長く | 「副詞句」 |
| que tu voudras. ク・チュ・ヴドゥラ adj. 君が望むだけ | 「形容詞節」 |

彼は少し微笑み、立ち去る前に、僕に言った：「今夜は、犬が吠えないで欲しいですが。いつもうちの犬じゃないかって思うんです」 [C-1-5]

Il a souri un peu et avant de partir, il m'a dit: «J'espère que les chiens n'aboieront pas cette nuit. Je crois toujours que c'est le mien.»

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」: | |
| 《「主語」「動詞」「目的語」 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」》 | |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a souri ア・スリ 3 単現・完了形(sourire)v.i 微笑んだ | 「動詞句」 |
| un peu アン・プ° adv. 少し | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| avant de partir, アヴ° オン・トヴ° ャ・パ° ルティール adv. 立ち去る前に | 「副詞句」 |
| partir パ° ルティール v.i 出発する、立ち去る、帰っていく | |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| «J' ジュ pron 私は | 「主語」 |
| espère エスペール 1 単現(espérer)v.t 希望する | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| les chiens レ・シヤン pl.n 犬が | 「主語」 |
| n'aboieront pas ナヴ° わロン 3 複未・否定(aboyer)v.i 吠えないだろう | 「動詞句」 |
| cette nuit. セット・ニュイ adv. 今晩は | 「副詞句」 |
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| crois クルわ 1 単現(croire)v.t(que ～だと) 思う | 「動詞」 |
| toujours トウジューール adv. いつも | 「副詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| c' ス pron あれは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| le mien. ル・ミヤン pron.m 私の犬 | 「補語」 |

「もし乱闘になったら、マソン、お前は、2 人目を相手にしてくれ」 [C-1-6]

| | |
|--|-------|
| «S'il y a de la bagarre, toi, Masson, tu prendras le deuxième. | |
| 《「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」》 | |
| «S' シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| il y a イ・リ・ヤ 3 単現(il y avoir)v.t ～がある | 「動詞句」 |
| de la bagarre, トヴ° ャ・ラ・バガール n.f けんか、乱闘 | 「目的語」 |
| toi, Masson, tu トゥワ・マソン・チュ n.m マソン、おまえは | 「主語」 |
| prendras プ° ロントラ 2 単未・依頼(prendre)v.t 対応する、引き受ける | 「動詞」 |
| le deuxième. ル・トゥジエム n.m 2 人目を | 「目的語」 |

文の構成要素

僕はとにかく言った：「相手はまだ話していない。この状況で撃てば、君が卑怯者になる」

[C-1-6]

Je lui ai seulement dit: «Il ne t'a pas encore parlé. Ça ferait vilain de tirer comme ça.»

「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」 | 「動詞」「補語」「主語」》

Je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai seulement dit: エ・スルモン・ティ 1 単現・完了形(dire+ seulement)

v.t とにかく言った 「動詞句」

«Il イル pron 奴は 「主語」

ne ...a pas encore parlé. ス...ア・パ・ゾソール・パルレ 3 単現・完了形・否定

v.i まだ話していない 「動詞句」

t' トゥ pron 君に 「間接目的語」

Ça サ pron 仮の主語 (真の主語は de tirer 以降)

ferait フレ 3 単末(faire)v.i ~になるだろう 「動詞」

vilain ヴェイラン adj. 卑怯な 「補語」

de tirer トゥ・フレ 不定詞 v.t 撃つことは 「主語」

comme ça.» コム・サ adv. この状況で 「副詞句」

それからレーモンが言った：「それなら、俺が奴を侮辱してやる、そして奴が応じてきたら、俺が撃ってやる」 [C-1-6]

Puis Raymond a dit : «Alors, je vais l'insulter et quand il répondra, je le descendrai.»

「副詞」「主語」「動詞句」:

《「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」 et 「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」》

Puis ピュイ adv. それから 「副詞」

Raymond レモン n.m レーモンが 「主語」

a dit: ア・ティ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

«Alors, アロー adv. それなら 「副詞」

je ジュ pron 俺は 「主語」

vais...insulter ヴェ...アンシュルテ 1 単現・近接未来・意思(aller+不定詞)

v.t 侮辱してやる 「動詞句」

l' ル pron 奴を 「目的語」

et エ conj. そして

quand コン conj. ~したとき 「副詞節」

il イル pron 奴が 「主語」

répondra, レポンドラ 3 単末(répondre)v.i 応じてくる 「動詞」

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| je ジュ pron 俺が | 「主語」 |
| le ル pron 奴を | 「目的語」 |
| descendrai.》 デソントレ 1 単未・意思(descendre)v.t 撃ってやる | 「動詞」 |

「だめだ！」と、僕はレーモンに言った。「素手で 1 対 1 で相手をしろ、そして僕に君のリボルバーをよこせ。もう一人が加わったり、そいつがナイフを取り出したりしたら、僕がそいつを撃ってやる」[C-1-6]

«Non, ai-je dit à Raymond. Prends-le d'homme à homme et donne-moi ton revolver. Si l'autre intervient, ou s'il tire son couteau, je le descendrai.»

《「呼びかけ」, 「動詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」》,

「動詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」, 《「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」》

«Non, ノ adv. (否定) だめだ、やめろ 「呼びかけ」

ai ...dit エ...ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

à Raymond. ア・レーモン adv. レーモンに 「間接目的語」

Prends プロソ 命・2 単現(prendre)v.t 相手にしろ 「動詞」

le ル pron そいつを 「目的語」

d'homme à homme トム・ア・オム adv. 男同士で、素手で 1 対 1 で 「副詞句」

生身の体で、しかも 1 対 1 で

et エ conj. そして

donne トヌ 命・2 単現(donner)v.t よこせ 「動詞」

moi ムリ pron 僕に 「間接目的語」

ton revolver. トン・ルヴォルヴエ n.m 君のリボルバーを 「直接目的語」

Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

l'autre ロートル pron もう一人が 「主語」

intervient, アンテルヴィヤン 3 単現(intervenir)v.i 参加する、加わる 「動詞」

ou ウ conj. それとも

s' シ conj. もし～ならば 「副詞節」

il イル pron そいつが 「主語」

tire チル 3 単現(tirer)v.t 取り出す 「動詞」

son couteau, ソン・クトー n.m ナイフを 「目的語」

je ジュ pron 僕が 「主語」

le ル pron そいつを 「目的語」

descendrai.》 トゥソントレ 1 単未・意思(descendre)v.t 撃つ、撃ち殺す 「動詞」

彼は微笑んで言った：「そう言うことも出来るでしょう。しかし、法律がそうなっているのです。もしあなたが弁護士を決めないのであれば、こちらのほうで官選の弁護士を指名しようと思います」[C-2-1]

Il a souri en disant: «C'est un avis. Pourtant, la loi est là. Si vous ne choisissez pas d'avocat, nous en désignerons un d'office.»

「主語」「動詞句」「副詞句」：《「主語」「動詞」「補語」

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞節」「主語」「目的語」「動詞」「目的語」》

| | | | | |
|---------------------|---------------|----------------------|-------------|-------|
| Il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| a souri | ア・スリ | 3 単現・完了形(sourire)v.i | 微笑んだ | 「動詞句」 |
| en disant: | オン・ディザン | adv.(dire) | 言いながら、言って | 「副詞句」 |
| «C' | ス | pron | それは | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| un avis. | ア・サヴィ | n.m | 1つの意見 | 「補語」 |
| Pourtant, | プルン | adv. | それでも、しかしながら | 「副詞」 |
| la loi | ラ・ルワ | n.f | 法律が | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| là. | ラー | adv. | そう、そのような | 「補語」 |
| Si | シ | conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| vous | ヴ | pron | あなたが | 「主語」 |
| ne choisissez pas | ヌ・ショジセ・パ | 2 複現・否定(choisir)v.t | 決めない | 「動詞句」 |
| d'avocat, | ダヴ・オカ | n.m | 弁護士を | 「目的語」 |
| nous | ヌ | pron | 私たちが | 「主語」 |
| en ...un d'office.» | オン...アン・ト・フィス | n.m | 官選の弁護士を | 「目的語」 |
| désignerons | デジヌン | 1 複未(désigner)v.t | 指名します | 「動詞」 |

「そして、仮に私が何も反論することが出来なければ、そのことが、検察側にとって強力な論拠になってしまうでしょう」[C-2-1]

Et ce sera un gros argument pour l'accusation, si je ne trouve rien à répondre.»

《Et「主語」「動詞」「補語」,「副詞節」》

| | | | | |
|--------------------|--------------|------------------|---------|-------|
| Et | エ | conj. | そして | |
| ce | ス | pron | このことは | 「主語」 |
| sera | スラ | 3 単未・推測(être)v.i | ～になるだろう | 「動詞」 |
| un gros argument | アン・グロ・アルギュモン | n.m | 強力な論拠 | 「補語」 |
| pour l'accusation, | プール・ラキュサシオン | adv. | 検察側にとって | 「副詞句」 |
| si | シ | conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| je | ジュ | pron | 私が | 「主語」 |

文の構成要素

ne trouve rien à répondre.》ヌ・トゥル・ヴァ・リヤン・ア・レポントル 接・1 単現・発見・否定・推測

v.t 何も答えることができない

「動詞句」

trouver à+不定詞 「～できる、～する手段を見つける」

マリーがもう一度叫んだ：「あなたが出てきたら、私たちは結婚するのよ！」[C-2-2]

Elle a crié de nouveau: «Tu sortiras et on se mariera!»

「主語」「動詞句」「副詞句」：《「主語」「動詞」et「主語」「動詞句」》

Elle エル pron 彼女は

「主語」

a crié ア・クリエ 3 単現・完了形(crier)v.i 叫んだ

「動詞句」

de nouveau: トゥ・ヌヴォ adv. もう一度

「副詞句」

«Tu チュ pron あなたが

「主語」

sortiras ソルチラ 2 単未・仮定(sortir)v.i 出てきたら

「動詞」

et エ conj. そして

on オン pron 私たちは

「主語」

se mariera!》ス・マリエラ 3 単未・推定(se marier)v.pr 結婚する

「動詞句」

「そもそも」と、彼は付け加えた。「あなたの審議は、今会期の最重要案件ではないので、裁判所は急いで処理するでしょう」[C-2-3]

«D'ailleurs, avait-il ajouté, la cour sera pressée parce que votre affaire n'est pas la plus importante de la session.

《「副詞句」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「主語」「動詞」「補語」, 「副詞節」》

«D'ailleurs, ダイユール adv. それに、そもそも

「副詞句」

avait... ajouté, アヴァエ...アジュテ 3 単半・完了形(sjouter)v.t 付け加えた

「動詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

la cour ラ・クール n.f 裁判所は

「主語」

sera スラ 3 単未・推測(être)v.i ～だろう

「動詞」

pressée プレッセ adj.f 急いでいる

「補語」

parce que パルス・キ conj. ～なので

「副詞節」

votre affaire ヴォトル・アフェール n.f あなたの審議は、事件

「主語」

n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ～でない

「動詞」

la plus importante ラ・プリュ・アンポルトント n.f 最重要な件

「補語」

de la session. トゥ・ラ・セッション adj. 会期の

「形容詞句」

「すぐ後に、尊属殺人が待ち構えていますから」[C-2-3]

Il y a un parricide qui passera tout de suite après.»

《「動詞句」「目的語」》

Il y a イ・リア 3 単現(il y avoir)v.t ～がある

「動詞句」

文の構成要素

un parricide ウン・パリシト^ス n.m 尊属殺人 「目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

passera パスラ 3 単未(passer)v.i やって来る、予定になっている 「動詞」

tout de suite après. トゥ・ドゥ・シュイト・アプレ adv. すぐ後に 「副詞句」

「しかし陪審員の皆さんは、〈他人であればコーヒーを勧めても構わないが、自分を生んでくれた母親のなきがらの前では、息子はそれを断るべきだろう〉と結論付けるでしょう」

[C-2-3]

Et ils concluront qu'un étranger pouvait proposer du café, mais qu'un fils devait le refuser devant le corps de celle qui lui avait donné le jour.»

《Et 「主語」「動詞句」「目的語」,mais 「目的語」》

Et エ conj. そして

ils イル pron.pl (les Jurés の代用) 陪審員は 「主語」

concluront コンキュロン 3 複未・推測(conclure)v.t (～と) 結論を出すだろう 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

un étranger ア・ネロンジエ n.m 他人は 「主語」

pouvait proposer プヴァエ・プロボゼ 3 単半・可能性・時制の一致(pouvoir+不定詞)

v.t 勧めることができるかもしれない 「動詞句」

du café, ジュ・キャフェ n.m コーヒーを 「目的語」

mais メ conj. しかし

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

un fils アン・フィス n.m 息子は 「主語」

devait ...refuser トヴァエ...ルフゼ 3 単半・必然・時制の一致(devoir+不定詞)

v.t 断るべきである 「動詞句」

le ル pron.m (café の代用) それを 「目的語」

devant le corps トヴァン・オン・ル・コール adv. 遺体の前では 「副詞句」

de celle トゥ・セル adj. その体の 「形容詞句」

qui キ pron (主語) ～した 「形容詞節」

lui リュイ pron (被告を指す) 彼に 「間接目的語」

avait donné アヴァエ・トネ 3 単半・完了形(donner)

v.t 与えた 「動詞句」

le jour. ル・ジュール n.m 生命を 「直接目的語」

donner le jour à un enfant 「子供を産む」

それで、今度は検事が言った：「陪審員の皆さんは十分に意味を理解するでしょう」

[C-2-3]

Le procureur a dit alors à son tour: «MM. les Jurés apprécieront.»

「主語」「動詞句」「副詞句」：《「主語」「動詞」》

| | | | | |
|----------------|------------------------|-----------------------|-----------|-------|
| Le procureur | ル・プ ^ロ クュレール | n.m | 検事は | 「主語」 |
| a dit | ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| alors | アロー | adv. | それで | 「副詞」 |
| à son tour: | ア・ソン・トゥール | adv. | 彼の番で、今度は | 「副詞句」 |
| «MM. les Jurés | メッシュー・レ・ジュレ | pl.n.m | 陪審員の皆さんは | 「主語」 |
| apprécieront.» | アプレシエロン | 3 複未・推量(apprécier)v.t | 高く評価するだろう | 「動詞」 |

「私はその事を証明してご覧にいれましょう、皆さん。しかも、2通りのやり方で」

[C-2-3]

«J'en ferai la preuve, messieurs, et je la ferai doublement.

《「主語」「副詞」「動詞」「目的語」,「呼びかけ」,et「主語」「目的語」「動詞」「副詞」》

| | | | | |
|-----------------|---------|-------------------|------------------|--------|
| «J' | ジュ | pron | 私は | 「主語」 |
| en | オン | adv. | それについて | 「副詞」 |
| ferai | フレ | 1 単未・意思(faire)v.t | (動作を) しましょう | 「動詞」 |
| la preuve, | ラ・プルヴ | n.f | 証拠、証明 | 「目的語」 |
| faire la preuve | | | 証明する | |
| messieurs, | メッシュー | pl.n.m | 皆さん | 「呼びかけ」 |
| et | エ | conj. | そして、しかも | |
| je | ジュ | pron | 私は | 「主語」 |
| la | ラ | pron | (preuve の代用) それを | 「目的語」 |
| ferai | フレ | 1 単未・意思(faire)v.t | (動作を) しましょう | 「動詞」 |
| doublement. | トゥブールモン | adv. | 2 通りに | 「副詞」 |

「まず最初は、事実が放つ目が眩むほどの光の下で。次に、この罪深い魂の心理分析を私に与えてくれるであろう、薄暗い照明の中で」 [C-2-3]

Sous l'aveuglante clarté des faits d'abord et ensuite dans l'éclairage sombre que me fournira la psychologie de cette âme criminelle.»

《「副詞句」et「副詞句」》

| | | | | |
|---------------------|-----------------|------------------|-----------|--------|
| Sous | ス | prep | (位置) ~の下で | 「副詞句」 |
| l'aveuglante clarté | ラヴグロントゥ・クラテ | n.f | 目が眩むほどの光 | 「目的語」 |
| aveuglante | ラヴグロントゥ | adj.f(aveuglant) | 目を眩ませる | |
| clarté | クラテ | n.f | 明かり、光 | |
| des faits | デ・フェ | | | |
| adj. (所有) | 事実の、事実の持つ、事実が放つ | | | 「形容詞句」 |

文の構成要素

| | | | | |
|--------------------------|---------------|---------------------|-----------|---------|
| d'abord | ダボール | adv. | まず第一に、最初に | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| ensuite | オンシュイト | adv. | それから、次に | 「副詞」 |
| dans | ドン | prep | (場所) 〜の中で | 「副詞句」 |
| l'éclairage sombre | レクレージュ・ソムブル | n.m | 薄暗い照明 | 「目的語」 |
| éclairage | エクレージュ | n.m | 照明、明かり | |
| sombre | ソムブル | adj. | 薄暗い | |
| que | ク | pron | (主語) 〜する | 「形容詞節」 |
| me | ム | pron | 私に | 「間接目的語」 |
| fournira | フルニラ | 3 単未・推量(fournir)v.t | 与えるであろう | 「動詞」 |
| la psychologie | ラ・プシコロジー | n.f | 心理分析を | 「直接目的語」 |
| de cette âme criminelle. | ドゥ・セツ・アム・クリネル | | | |
| adj. | この罪深い魂の | | | 「形容詞句」 |
| âme | アム | n.f | 魂、霊魂 | |
| criminelle | クリネル | adj. | 罪のある | |

「私はそう確信しています、皆さん」と、彼は声を高めて付け加えた。「皆さんは私の考えが大胆すぎるとは思わないでしょう。もし私が、その被告人席に座っている男が、本法廷が明日、裁かなければならない父親殺しと同じ罪も同様にあったとしても。」[C-2-4]

«J'en suis persuadé, messieurs, a-t-il ajouté en élevant la voix, vous ne trouverez pas ma pensée trop audacieuse, si je dis que l'homme qui est assis sur ce banc est coupable aussi du meurtre que cette cour devra juger demain.

《「主語」「補語」「動詞」「補語」「呼びかけ」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」,
《「主語」「動詞句」「目的語」「補語」「副詞節」》

| | | | | |
|---------------------|----------------|----------------------|--------------|---------|
| «J' | ジュ | pron | 私は | 「主語」 |
| en | オン | adv. | そのことを | 「間接目的語」 |
| suis | シュイ | 1 単現(être)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| persuadé, | ペルシュアデ | adj.(de を) | 確信した | 「補語」 |
| J'en suis persuadé. | 私はそう信じている。 | | | |
| messieurs, | メッシュュー | pl.n.m | 皆さん | 「呼びかけ」 |
| a... ajouté | ア...アジユテ | 3 単現・完了形(ajouter)v.t | 付け加えた | 「動詞句」 |
| il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| en élevant la voix, | オン・エルク・オン・ラ・ヴァ | ジェロンディフ・同時(élever) | | |
| adv. | 声を高めて | | | 「副詞句」 |
| vous | ヴ | pron.pl | 皆さんは | 「主語」 |
| ne trouverez pas | ヌ・トラル・ヴレ・パ | 2 複未・否定(trouver)v.t | 思わないだろう | 「動詞句」 |
| ma pensée | マ・ボンセ | n.f | 私の考えが | 「目的語」 |
| trop audacieuse, | トロ・オダシューズ | adj. | 大胆すぎる、大げさすぎる | 「補語」 |

文の構成要素

| | |
|---|--------|
| si シ conj. (譲歩) もし〜であっても | 「副詞節」 |
| je ジェ pron 私 | 「主語」 |
| dis ディ 1 単現・假定(dire)v.t 言う | 「動詞」 |
| que ク conj. 〜ということを | 「目的語」 |
| l'homme ロム n.m 男 | 「主語」 |
| qui キ pron (主語) 〜する | 「形容詞節」 |
| est エ 3 単現(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| assis アシ adj. 座っている | 「補語」 |
| sur ce banc シュール・ス・ボン | |
| adv. その被告人席に | 「副詞句」 |
| est エ 3 単現(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| coupable クパーブル adj. 罪のある | 「補語」 |
| aussi du meurtre オシ・ジユ・メルトル adj. 殺人もまた | 「副詞句」 |
| que ク pron (目的語) 〜する | 「形容詞節」 |
| cette cour セット・クール n.f 本法廷 | 「主語」 |
| devra juger トゥヴラ・ジュジェ 3 単未・義務(devoir+不定詞) | |
| v.t 裁かなければならない | 「動詞句」 |
| demain. トゥマン adv. 明日 | 「副詞」 |

「いずれにしても」と、弁護士が僕に言った。「上訴という手段があります。この方法なら、良い結果が得られると確信しています」[C-2-4]

«De toute façon, m'a dit mon avocat, il y a le pourvoi. Mais je suis persuadé que l'issue sera favorable.»

| | |
|--|---------|
| 《「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」, 《Mais 「主語」「動詞」「補語」》 | |
| «De toute façon, トゥ・トゥット・ファツ adv. ともかく、いずれにせよ | 「副詞句」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| mon avocat, モ・ナヴァ n.m 弁護士は | 「主語」 |
| il y a イ・リ・ヤ 3 単現・存在(il y avoir)v.t 〜がある | 「動詞句」 |
| le pourvoi. ル・プルーヴ n.m 上訴が、抗告 | 「目的語」 |
| Mais メ conj. しかし | |
| je ジェ pron 私は | 「主語」 |
| suis シュイ 1 単現(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| persuadé ペルシュアデ adj.(que 〜ということに) 確信している | 「補語」 |
| que ク conj. (形容詞の補語・理由・原因) 〜について | 「副詞節」 |
| l'issue リシュ n.f 結果は | 「主語」 |

文の構成要素

sera スラ 3 単未・変化(être)v.i ~になるだろう 「動詞」
favorable. ヲヴァ ォラブル adj. 有利な、好都合な 「補語」

弁護士は僕と別れる時に言った：「まず陪審長が回答を読み上げます。あなたは、裁判長が判決を言い渡す時まで、入廷することが出来ません」 [C-2-4]

Mon avocat m'a quitté en disant: «Le président du jury va lire les réponses. On ne vous fera entrer que pour l'énoncé du jugement.» 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」
Mon avocat モ・ナヴ ォカ n.m 僕の弁護士は 「主語」
m' ム pron 僕と 「目的語」
a quitté ア・キテ 3 単現・完了形(quitter)v.t 別れた 「動詞句」
en disant: オン・ディザン ジェロンディフ・同時(dire)v.t 言いながら 「副詞句」
«Le président du jury ル・プレジト ン・ジュ・ジュリー n.m 陪審長が 「主語」
va lire ヲヴァ リール 3 単現・近接未来(aller+不定詞)v.t 読む予定だ 「動詞句」
les réponses. レ・レポ ンス pl.n.f 回答を 「目的語」
On オン pron 法廷は 「主語」
ne ...fera entrer ス...フラ・ォントレ 3 単未・使役・否定(faire+不定詞 entrer) 「動詞句」
v.t 入らせないだろう 「動詞句」
vous ヲ pron あなたを 「目的語」
vous を「主語」にして翻訳する
que ク conj. (ne...que) ~しか 「副詞句」
pour l'énoncé プール・レノンセ adv. 陳述のため 「副詞句」
du jugement. ヲジュ・ジュ・ジュモン adj. 判決の 「形容詞句」

司祭に話すことは何もないし、話したくない。彼とはすぐに会うことになるのだから。

[C-2-4]

Je n'ai rien à lui dire, je n'ai pas envie de parler, je le verrai bien assez tôt.

「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞句」「目的語」,
「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

| | |
|---|--------|
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai ネ 1 単現・否定(avoir)v.t. ～がない | 「動詞句」 |
| rien リヤン pron 何も～ない | 「目的語」 |
| à lui dire, ア・リュイ・デール 不定詞 adj. (目的) 彼に話すべき | 「形容詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai pas ネ・パ 1 単現・否定(avoir)v.t. ～がない | 「動詞句」 |
| envie de parler, オンヴァイ・ドゥ・パール n.f 話したいという願望 | 「目的語」 |
| avoir envie de+不定詞 「～したい、～したいと思う」 | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| le ル pron 彼に | 「目的語」 |
| verrai ヴレ 1 単未・確信(voir)v.t. 会うに違いない | 「動詞」 |
| bien assez tôt. ビヤン・アセ・ト adv. すぐに | 「副詞句」 |

接続法・現在と現在完了

「私が留守の間に退屈しないように、君が好きなように気晴らしをしないでください。」[A-2]

《Pour que vous ne vous ennuyiez pas pendant mon absence, divertissez-vous comme vous voulez.》
 «「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」»

Pour que プール・ク adv. ～するために 「副詞句」

n. ～ということ 「目的語」

vous ヴェ pron お前が 「主語」

ne vous ennuyiez pas ス・ヴェ・オンニエ・パ 接・2 複現・否定(s'ennuyer)

v.pr 退屈しない (だろう) 「動詞句」

pendant mon absence, ポント・モン・アブ・ソンス adv. 私が留守の間に 「副詞句」

divertissez-vous ティヴェルティセ・ヴェ 命・2 複現(se divertir)

v.pr 気晴らしをしないで 「動詞句」

comme コム adv. ～のように 「副詞節」

vous ヴェ pron 君が 「主語」

voulez. ヴェレ 2 複現(vouloir)v.t 望む 「動詞」

部屋は真っ暗で、窓は閉まっていた。中に何があるか分かるには、時間がかかった。[A-2]

La chambre était toute noire, les fenêtres closes. Il fallut un moment avant que la jeune femme ne sache ce qui se trouvait à l'intérieur.

「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「補語」 | 「動詞句」「主語」「副詞節」

La chambre ラ・ションブル n.f 部屋は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

toute noire, トゥット・ヌワール adj. 真っ暗な 「補語」

les fenêtres レ・フェネートル pl.n.f 窓は 「主語」

closes. クローズ adj.pl.f 閉まった (動詞は省略) 「補語」

Il fallut +名詞 イル・ファリュ 3 単過(falloir)v.h (非人称) ～が必要だった 「動詞句」

un moment アン・モモン n.m 時間が 「主語」

avant que +接続法 アヴァン・ク conj. ～する前に 「副詞節」

la jeune femme ラ・ジュヌ・ファム n.f 若い妻が 「主語」

ne sache ス・サッシュ 接・3 単現(savoir+虚辞の ne)v.t 分かる 「動詞句」

ce ス pron もの 「目的語」

qui キ pron ～する 「形容詞節」

se trouvait ス・トルヴァエ 3 単半(se trouver)v.pr あった 「動詞句」

à l'intérieur. ア・ランテリエール adv. 部屋の中に 「副詞句」

「なんて素晴らしい天気でしょう、でもなんて暑いんでしょう！では、川に水浴に行ってみてはいかがでしょう？だんな様！きっと気持ちがよくなると思いますよ」[A-3]

《Quel temps magnifique, mais quelle chaleur! Et si vous alliez vous baigner à la rivière, Maître? Je suis sûr que cela vous ferait du bien.》

《「感嘆」 mais 「感嘆」 | Et 「主語」「動詞句」「間接目的語」「呼びかけ」
「主語」「動詞」「補語」》

Quel temps magnifique, ケル・トン・マニフィク int. なんて素晴らしい天気でしょう 「感嘆」
mais メ conj. でも
quelle chaleur! ケル・シャレル int. なんと暑いのでしょうか！ 「感嘆」
Et エ conj. それでは
si シ conj. (独立節・勧誘) ～したらどうでしょうか？
vous ヴ pron あなたは 「主語」
alliez +不定詞 アリエ 接・2 複現(aller+不定詞)v.i ～しに行ってみる 「動詞句」
vous baigner ヴ・ベニエ 不定詞(se baigner)v.pr 水浴をする 「動詞句」
à la rivière, ア・ラ・リヴィエール adv. 川に 「間接目的語」
Maître? メートル n.m だんな様 「呼びかけ」
Je ジュ pron 私は 「主語」
suis シュイ 1 単現 (être) v.i ～である 「動詞」
sûr シュール adj.(que ～であることを) 確信した 「補語」
que ク conj. ～ということ 「目的語」
cela スラ pron それは 「主語」
vous ヴ pron あなたを 「目的語」
ferait フレ 条・3 単現(faire)v.t するだろう 「動詞」
du bien.》 ジュ・ビヤン adj. 快適な 「補語」

「まったく可能だとも！」と、怪物は堂々と答えた。「それではお前が納得するように、それを証明して見せてやろう。いち、に、さん！」[A-3]

--- Tout à fait possible, répondit fièrement le monstre. Et pour que vous en ayez la preuve, je vais vous le démontrer : un... deux... trois! 》

《「応答」, 「動詞」「副詞」「主語」,

《Et 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」: 「掛け声」》

Tout à fait possible, トゥ・タ・フェ・ポッシブル adj. まったく可能だ 「応答」
répondit レポンドィ 3 単過(répondre)v.i 答えた 「動詞」
fièrement フィエールモン adv. 堂々と 「副詞」
le monstre. ル・モンストル n.m 怪物は 「主語」
Et エ conj. そして

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| pour que +接続法 プール・ク conj. ～するために | 「副詞節」 |
| vous ヴ pron お前が | 「主語」 |
| en エン adv. その | 「間接目的語」 |
| ayez エイエ 接・2 複現(avoir)v.t 持つ | 「動詞」 |
| la preuve, ラ・プルーヴ n.f 証拠を | 「目的語」 |
| je ジュ pron 俺が | 「主語」 |
| vais ...démontrer: ヴェ...デモンストレ 1 単現・近接未来(aller+不定詞) v.t 証明してやろう | 「動詞句」 |
| vous ヴ pron お前に | 「間接目的語」 |
| le ル pron それを | 「直接目的語」 |
| un... deux... trois! アン・ドゥ・トルワ adv. いち、に、さん | 「掛け声」 |

「侯爵、そなたさえよければ、娘の婿になってくださらんか？」[A-3]

《Cela ne dépendra que de vous, Marquis, que vous soyez l'époux de ma fille.》

《「動詞句」「間接目的語」, 「呼びかけ」「主語」》

《Cela ス pron 仮の主語(真の主語は que 以降)

ne dépendra que ヌ・デパンドラ・ク 3 単末(dépendre)v.i (de に) よる、次第である「動詞句」

ne ... que ～ 「～だけ」という強調の意味

de vous, ドゥ・ヴ adv. あなたに 「間接目的語」

Marquis, マルキ n. 侯爵 「呼びかけ」

que ク conj. ～ということ 「主語」

vous ヴ pron そなたは 「主語」

soyez スワイエ 接・2 複現(être)v.i ～になる 「動詞」

l'époux レプー n.m 夫 「補語」

de ma fille.》ドゥ・マ・フィユ adj. 娘の 「形容詞句」

「狼に食われるくらいなら、むしろあなたの夫に食われるほうがましです。もしかすると、僕たちを見逃してくれるかもしれないし...」[A-4]

Nous préférons autant que ce soit votre mari qui nous mange. Peut-être que par chance, il aura pitié de nous...》

《「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」》

Nous ス pron.pl 僕たちは 「主語」

préférons プレフェロン 1 複現(préférer)v.t ～のほうを好む 「動詞」

autant que +接続法 オトン・ク conj. むしろ～する事を 「目的語」

ce ス pron 仮の主語 (真の主語は qui 以降)

soit スワイ 接・3 単現・話者の想像(être)v.i ～である 「動詞」

votre mari ヴォトル・マリ n.m あなたの夫 「補語」

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| qui キ pron (主語) ～する人は | 「主語」 |
| nous ヌ pron 私たちを | 「目的語」 |
| mange. モンジュ 3 単現(manger)v.t 食べる | 「動詞」 |
| Peut-être プテートル adv. ひょっとすると～かもしれない | 「副詞句」 |
| que ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| par chance, パール・シヨンス adv. 幸運にも | 「副詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| aura pitié de オー・ピティエ・ドゥ 3 単未・推量(avoir pitié de) | |
| v.t ～を哀れに思うかもしれない、～を見逃すかもしれない | 「動詞句」 |
| nous...》 ヌ pron 僕たちを | 「目的語」 |

しかしながら、親指小僧が盗みを犯したと考えることに気分が悪くなる人たちがいます。このような人たちが語っている次のような話があります。[A-4]

Il existe néanmoins des personnes qui ont du mal à croire que le Petit Poucet ait pu commettre ce vol. Voici donc ce que racontent ces derniers.

| | |
|--|-------------------------------|
| | 「動詞句」「副詞」「主語」 「動詞句」「副詞」「主語」 |
| Il existe イル・エクジストゥ 3 単現・非人称(exister)v.h (= il y a) ～がいる | 「動詞句」 |
| néanmoins ネアンモワンス adv. しかしながら | 「副詞」 |
| des personnes デ・ペルソンス pl.n.f 人々が | 「主語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| ont オン 3 複現(avoir)v.t 持つ、ある | 「動詞」 |
| du mal ジュ・マル n.m 気分の悪さ | 「目的語」 |
| à croire ア・クルワール 不定詞・限定・条件 adv. ～と思うことに | 「副詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| le Petit Poucet ル・プチ・プー ス n.m 親指小僧が | 「主語」 |
| ait pu commettre エ・ピュ・コメットル 接・3 単現・完了形・可能性(pouvoir+不定詞) | |
| v.t ～を犯してしまっただろうと | 「動詞句」 |
| ce vol. ス・ヴォール n.m 盗みを | 「目的語」 |
| Voici ヴーシ adv.,v.i ここに～がある | 「動詞句」 |
| donc ドンス adv. それで | 「副詞」 |
| ce ス pron 話が | 「主語」 |
| que ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| racontent ラコントゥ 3 複現(raconter)v.t 語る | 「動詞」 |
| ces derniers. セ・テルニエ pl.n このような人たちが | 「主語」 |

il y a と il existe :

il y a は、Il y avoir+「目的語」という構文で、il は不特定の「主語」。誰かが「目的語」を

文の構成要素

持っているという意味なので、「目的語」が単数でも複数でも「動詞」は単数形である。
il existe は、Il exister+「主語」という構文で Il は仮の主語（三人称単数）なので、意味上の「主語」が単数でも複数でも「動詞」は単数形である。

スガンさんは、山羊を住ませるために牧場の一番いい場所を探し、山羊が存分に動き回れるようにとても長いロープを手にとった。[A-5]

M.Seguin chercha le plus bel endroit de son pré pour installer sa chevrette, et pris une corde très longue pour qu'elle puisse largement bouger.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「動詞」「目的語」「副詞節」

M.Seguin ムッシュ・スカン n.m スガンさんは 「主語」
chercha シェルシャ 3 単過(chercher)v.t 探した 「動詞」
le plus bel endroit ル・プ・リュ・ベル・オントゥール n.m 一番いい場所を 「目的語」
de son pré トゥ・ソ・ン・プレ adj. 彼の牧場で 「形容詞句」
pour +不定詞 プール adv. ～するために 「副詞句」
installer アンスタレ 不定詞 v.t 住まわせる 「動詞」
sa chevrette, サ・シュヴレット n.f 彼の山羊を 「目的語」
et エ conj. そして
pris プリ 3 単過(prendre)v.t 手に取った 「動詞」
une corde très longue ユヌ・コルト・トレ・ロング n.f とても長いロープを 「目的語」
pour qu'+接続法 プール・ク adv. ～するように 「副詞節」
elle エル pron 山羊が 「主語」
puisse largement bouger. ビュイス・ラルジユモン・ブージュエ 接・3 単現・可能・推測(pouvoir+不定詞)
v.i 存分に動き回れるだろう 「動詞句」

辺りはもう真っ暗になっていましたが、真っすぐ伸びた長い耳のある巨大な黒いシルエットや意地悪く光る 2 つの目が見えました。[A-5]

Bien qu'il fasse désormais tout noir, on pouvait reconnaître une énorme silhouette noire avec de longues oreilles redressées et deux yeux qui lui avaient méchamment.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Bien qu'+接続法 conj. ～にもかかわらず、～ではあるが 「副詞節」
il イル pron (天候・明暗など)
fasse ファス 接・3 単現(faire)v.h (天候・明暗など) ～である 「動詞」
désormais デゾルメ adv. その時以来 「副詞句」
tout noir, トゥ・ヌワール adj. 真っ暗の 「補語」
on オン pron 人は 「主語」
pouvait reconnaître プヴァエ・ルコネトル 3 単半・可能(pouvoir+不定詞)

文の構成要素

| | |
|---|--------|
| v.t 見分けることができた | 「動詞句」 |
| une énorme silhouette noire エヌ・エノルム・シルエット・ヌワール n.f 巨大な黒いシルエットを「目的語」 | |
| avec de longues oreilles アヴェ・ェッキ・トゥ・ロング・オレイユ adv. 長い耳の | 「形容詞句」 |
| redressées ルドレッセ adj.f.pl 真っすぐになった、真っすぐ伸びた | 「形容詞」 |
| et エ conj. そして | |
| deux yeux トゥ・ジユ pl.n.m 2つの目を | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ~する | 「形容詞節」 |
| luisaient リュイェ 3 複半(luire)v.i 輝く、光る | 「動詞」 |
| méchamment. メシャモン adv. 意地悪く | 「副詞」 |

「朝まで持ちこたえられたら良いのだけれど」と、彼女はつぶやいていた。[A-5]

《Pourvu que je tienne jusqu'au matin...》 murmurait-elle alors.

《Pourvu que 「主語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞」

《Pourvu que フールヴ・ユ・キ conj. (願望) ~すればよいのだが

| | |
|--|-------|
| je ジュ pron 私が | 「主語」 |
| tiens チェンヌ 接・1 単現・願望(tenir)v.i 持ちこたえる | 「動詞」 |
| jusqu'au matin...》 ジュスコ・マタン adv. 朝まで | 「副詞句」 |
| murmurait ミュルミュレ 3 単半(murmurer)v.i つぶやいていた | 「動詞」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| alors. アロー adv. その時 | 「副詞」 |

僕がその時、人の住んでいる地域から千マイルも離れたところにいたということを忘れないで欲しい。[B-2]

N'oubliez pas que je me trouvais à mille milles de toute région habitée.

「動詞句」「目的語」

N'oubliez pas ヌブレリエ・パ 接・2 複現・否定・願望(oublier)

| | |
|---|-------|
| v.t 忘れないで欲しい | 「動詞句」 |
| que ク conj. ~ということ | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me trouvais ム・トゥルヴ・エ 1 単半(se trouver)v.pr (場所に) いた | 「動詞句」 |
| à mille milles de toute région habitée ア・ミル・ミル・トゥ・トゥット・レジヨン・アビテ | |
| adv. 僕が人が住むすべての土地から千マイル離れた所に | 「副詞句」 |

「これは年寄りだよ。うんと長生きする羊が欲しいんだ」[B-2]

《Celui-là est trop vieux. Je veux un mouton qui vive longtemps.》

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

文の構成要素

| | | | | |
|------------|--------|------------------|---------|---------------|
| Celui-là | スエイ・ラ | pron.m | これは | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| trop vieux | トロ・ヴェ | adj. | 年を取り過ぎた | 「補語」 |
| Je | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| veux | ヴェ | 1 単現(vouloir)v.t | 欲しい | 「動詞」 |
| un mouton | アン・ムトン | n.m | 羊を | 「目的語」 |
| qui | キ | conj. | 〜するような | 「形容詞節：mouton」 |
| vive | ヴィヴ | 接・3 単現(vivre)v.i | 生きるような | 「動詞」 |
| longtemps | ロント | adv. | 長い間 | 「副詞句」 |

「僕が欲しかったのは、まったくこんなのだったのさ！この羊には、草がうんと必要だと思
う？」[B-2]

| | |
|---|--------------------------------|
| 《C'est tout à fait comme ça que je le voulais! Crois-tu qu'il faille beaucoup d'herbe à ce mouton?》 | 《「動詞」「補語」「主語」 「動詞」「主語」「目的語」》 |
| 《C' ス pron それは（形式主語） | |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| tout à fait comme ça トゥ・タフエ・コム・サ n. 全くこんなの | 「補語」 |
| que ク conj. ～するものは | 「主語」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| le ル pron それを（dessiner） | 「目的語」 |
| voulais ヴレ 1 単半(vouloir)v.t 望んでいる | 「動詞」 |
| Crois クロワ 2 単現(croire)v.t 思う | 「動詞」 |
| tu チュ pron 君は | 「主語」 |
| qu' ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| il イル pron 非人称主語 | |
| faille ファイレ 接・3 単現(falloir)v.h 必要だと | 「動詞」 |
| beaucoup d'herbe ボク・デルブ n.f 沢山の草が | 「主語」 |
| à ce mouton ア・ス・ムトン adv. この羊に | 「間接目的語」 |

ぼくが出逢った不慮の災難を、僕は人にはまじめに受け取って欲しいんだ。[B-3]

| | |
|---|---------------|
| <u>Je désire que l'on prenne mes malheurs au sérieux.</u> | 「主語」「動詞」「目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| désire デザール 1 単現(désirer)v.t 希望する | 「動詞」 |
| que ク pron 〜ということを | 「目的語」 |
| l'on ロン n. 人は (et, ou, que, si の後や文頭では on→l'on と書く) | 「主語」 |
| prenne プレヌ 接・3 単現(prendre)v.t 受け止める | 「動詞」 |

文の構成要素

mes malheurs メ・マルール pl.n.m 僕の災難を 「目的語」
au sérieux オ・セリウ adv. まじめに 「副詞句：prenne」

なぜなら、僕はこの本を軽々しく読んで貰いたくないから。 [B-4]

Car je n'aime pas qu'on lise mon livre à la légère. Car 「主語」「動詞句」「目的語」
Car カール conj. なぜなら
je ジュ pron 僕は 「主語」
n'aime pas ネム・パ° 1 単現・否定 v.t. ～を望まない 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということ 「目的語」
on オン pron 人々が 「主語」
lise リス° 接・3 単現(lire)v.t 読む 「動詞」
mon livre モン・リーヴル n.m この本を 「目的語」
à la légère ア・ラ・レジェール adv. 軽々しく 「副詞句」

「そのとおり！でも、なぜ、小さなバオバブを君の羊たちが食べるのを望むの」 [B-5]

--- C'est exact! Mais pourquoi veux-tu que tes moutons mangent les petits baobabs?»
《「主語」「動詞」「補語」 | Mais 「副詞」「動詞」「主語」「目的語」》
C' ス pron それは 「主語」
est エ 3 単現(être)v.i. ～である 「動詞」
exact エグザ° adj. 正しい、その通りだ 「補語」
pourquoi フルクワ adv. どうして 「副詞」
veux ウ° 2 単現(vouloir)v.t 望む 「動詞」
tu チュ pron 君は 「主語」
que ク conj. ～ということ 「目的語」
tes moutons テ・ムトン pl.n.m 君の羊が 「主語」
mangent モンジュ 接・3 複現(manger)v.t 食べる 「動詞」
les petits baobabs レ・プティ・バオバブ pl.n.m 小さいバオバブを 「目的語」

でも、種というのは目に見えない。土の中でそのうちのどれか一つの種が芽を覚ます気にな
るまで、眠っている。 [B-5]

Mais les graines sont invisibles. Elles dorment dans le secret de la terre jusqu'à ce qu'il
prenne fantaisie à l'une d'elles de se réveiller.
Mais 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」
les graines レ・グレヌ pl.n.f 種は 「主語」
sont ヲン 3 複現 (être) v.i. ～である 「動詞」
invisibles アンヴィジブル adj. 目に見えない 「補語」

文の構成要素

| | |
|--|--------------------|
| Elles エル pl.n.f 種たちは | 「主語」 |
| dorment トルム 3 複現(dormir)v.i 眠る | 「動詞」 |
| dans le secret de la terre トン・ル・スクレ・トゥ・ラ・テール トン・ル・スクレ・トゥ・ラ・テール | |
| adv. 地面の中で | 「副詞句」 |
| jusqu'à ジュスカ adv. ～するまで | 「副詞句」 |
| ce qu' スク pron ～ということ | 「目的語」 |
| il イル pron 形式主語 | |
| prenne プレンヌ 接・3 単現(prendre)v.i 起こる | 「動詞」 |
| fantaisie フォンテジー n.f 気まぐれが | 「主語」 |
| à l'une d'elles ア・リュヌ・テル adv. 種のどれか一つが | 「間接目的語」 |
| de se réveiller トゥ・ス・レヴェイエ adj. 目を覚まそうという | 「形容詞句 : fantaisie」 |

「花がなぜ、まったく役に立たないとげを作るのに、あれほど多くの苦労を自らに与えているのかを理解しようとするのが、まじめじゃないと言うの？」[B-7]

Et ce n'est pas sérieux de chercher à comprendre pourquoi elles se donnent tant de mal pour se fabriquer des épines qui ne servent jamais à rien?

《Et 「動詞句」「補語」「主語」》

| | |
|--|-----------------|
| Et エ conj. そして | |
| ce ス pron 形式主語 (真の主語は de chercher 以降) | |
| n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ～でない | 「動詞句」 |
| sérieux セリュ adj. 真面目な | 「補語」 |
| de chercher à comprendre トゥ・シェルジェ・ア・コンプ ロントル 不定詞句(de chercher à+不定詞) | |
| n. ～を理解しようと努めること | 「主語」 |
| pourquoi プルクワ adv. その理由を | 「目的語」 |
| elles エル pron 花たちが | 「主語」 |
| se donnent ス・ドンヌ 3 複現(se donner)v.pr 自らに与える | 「動詞句」 |
| tant de mal トン・トゥ・マル n. たくさんの苦労を | 「目的語」 |
| pour+不定詞 プール adv. ～するために | 「副詞句」 |
| se fabriquer ス・ファブリケ 不定詞 v.pr 作る | 「動詞句」 |
| des épines デ・セビエヌ pl.n.f とげを | 「目的語」 |
| qui キ pron ～する | 「形容詞節 : épines」 |
| ne servent jamais ヌ・セルヴ・ジャメ 接・3 複現・否定(servir) | |
| v.t 役に立たないと思われる | 「動詞句」 |
| à rien ア・リヤン adv. 何のためにも | 「間接目的語」 |

「そして、僕の星以外にはどこにも存在しない、この世でたった一輪の花を僕が知っていて、その花を小さな羊が、ある朝、何をしているのか気づかないまま、このようにただの一撃で消滅させてしまうかもしれないということが、大事じゃないということか！」[B-7]

Et si je connais, moi, une fleur unique au monde, qui n'existe nulle part, sauf dans ma planète, et qu'un petit mouton peut anéantir d'un seul coup, comme ça, un matin, sans se rendre compte de ce qu'il fait, ce n'est pas important ça!」

《Et si 「主語」「動詞」「主語」「目的語」

「主語」「動詞句」「補語」「主語」》

Et エ conj. そして

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

connais コネ 1 単現(connâitre)v.t 知っている

「動詞」

moi ムわ pron (強調) 僕が

「主語」

une fleur unique ユンス・フレール・イニキ n.f 一本しかない花を

「目的語」

au monde オ・モンド adv. この世で

「副詞句：unique」

qui キ pron ～する

「形容詞節：fleur」

n'existe ネグジストゥ 接・3 単現・否定(exister)v.i 存在しない「動詞句」

nulle part ヌル・パール adv. どこにも

「副詞句」

sauf dans ma planète ソフ・トソン・マ・プ ラネット

adv. 僕の星以外は

「副詞句」

→そして僕の星以外にはどこにも存在しない、この世でたった一輪の花を僕が知っていて

et エ conj. そして

qu' ク pron ～する

「形容詞節：fleur」

un petit mouton アン・プティ・ムトン n.m 小さな羊が

「主語」

peut anéantir プ・アネアンティール 3 単現・可能性(pouvoir+不定詞)

v.t 消滅させるかもしれない

「動詞句」

d'un seul coup ダン・スル・クー adv. (手段) ただの一撃で「副詞句」

comme ça コムサ adv. このように

「副詞句」

un matin アン・マタン adv. ある朝

「副詞句」

sans se rendre compte de ソン・ス・ロントール・コント・ドゥ

adv. ～に気づかずに

「副詞句」

se rendre compte de 「～に気づく」

ce qu'il fait ス・キル・フェ

n.m 自分が何をしているかということ 「目的語」

→ そして、ある朝、小さな羊が、自分が何をしているか分からないうちに、ただの一撃で消滅させてしまうかもしれない(そのような花を知っていたとしたら)

文の構成要素

| | | | | |
|-----------|--------|------------------|------------|-------|
| ce | ス | pron | そのことが | 「主語」 |
| n'est pas | ネ・パ | 3 単現・否定(être)v.i | ～でない | 「動詞句」 |
| important | アンポルトン | adj. | 重要な | 「補語」 |
| ça | サ | pron | (強調) そのことが | 「主語」 |

「もし誰かが、何百万、何千万とある星のうちの一つにしか存在しない一輪の花を愛しているなら、それだけでその星たちを眺めるときに十分幸福になれる。」[B-7]

《Si quelqu'un aime une fleur qui n'existe qu'à un exemplaire dans les millions et les millions d'étoiles, ça suffit pour qu'il soit heureux quand il les regarde.

《Si 「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「副詞節」》

| | | | | |
|---|---|-----------------------------------|---|--------------|
| Si | シ | conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| quelqu'un | ケルカソ | n.m | 誰かが | 「主語」 |
| aime | エーム | 3 単現(aimer)v.t | 愛している | 「動詞」 |
| une fleur | ユンヌ・フレール | n.f | 一輪の花を | 「目的語」 |
| qui | キ | pron | ～する | 「形容詞節：fleur」 |
| n'existe qu' | ネ・ジスト・ク | 接・3 単現・否定(exister) | | |
| | v.i | | しか存在しない | 「動詞句」 |
| à un exemplaire dans les millions et les millions d'étoiles | | | | |
| | ア・アン・エクザンプレ・レー・トソン・レ・ミヨン・エ・レ・ミヨン・デ・トワール | | | |
| | adv. | | 何百万、何千万の星の中の一つに | 「副詞句」 |
| → | | | もし誰かが何百万、何千万の星の中の一つにしか存在しない一輪の花を愛しているなら | |
| ça | サ | pron | それは | 「主語」 |
| suffit | シフィ | 3 単現(suffire)v.i (à pour+que+接続法) | | |
| | v.i | | (～するために) 十分である | 「動詞」 |
| pour qu' | プール・ク | adv. | ～するために | 「副詞節」 |
| il | イル | pron | その人が | 「主語」 |
| soit | スワ | 接・3 単現(être)v.i | ～になる | 「動詞」 |
| heureux | ウル | adj. | 幸せ | 「補語」 |
| quand | コン | adv. | ～するとき | 「副詞節」 |
| il | イル | pron | その人が | 「主語」 |
| les | レ | pl.pron | その星たちを | 「目的語」 |
| regarde | ルギヤルト | 3 単現(regarder)v.t | 見る | 「動詞」 |

文の構成要素

「蝶々と知り合いになりたかったら、二、三匹の毛虫には我慢しなくちゃ。」[B-9]

--- Il faut bien que je supporte deux ou trois chenilles si je veux connaître les papillons.

《「動詞句」「副詞」「主語」「副詞節」》

Il faut イル・フォ 3 単現(falloir)v.h (非人称) ～しなければならない 「動詞句」

bien ビヤン adv. よく、しっかり 「副詞」

que +接続法 ク conj. ～ということ 「主語」

je ジュ pron 私は 「主語」

supporte シュポルト 接・1 単現(supporter)v.t 我慢する 「動詞」

deux ou trois chenilles トゥ・ウ・トルワ・シュニユ pl.n.f 2～3 匹の毛虫 「目的語」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

je ジュ pron 私が 「主語」

veux connaître ヴェ・コネートル 1 単現・願望(vouloir+不定詞)

v.t 知り合いになりたい 「動詞句」

les papillons レ・パピヨン pl.n.m 蝶々 「目的語」

「もっとよく見えるように、近う寄れ」誰かに対してついに王様になることができ非常に鼻が高くなった王様は、そういった。[B-10]

《Approche-toi que je te voie mieux》, lui dit le roi qui était tout fier d'être enfin roi pour quelqu'un. 《「動詞」「主語」「副詞節」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」

Approche アプ ロシュ 命・2 単現(approcher)v.i 近くに来なさい 「動詞」

toi トワ pron お前は 「主語」

que ク conj. (命令の目的を表す) ～のために 「副詞節」

je ジュ pron わしが 「主語」

te トゥ pron お前を 「目的語」

voie ヴワ 接・1 単現(voir)v.t 見えるように 「動詞」

mieux ミュ adv. もっとよく 「副詞」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

dit ディ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」

le roi ル・ルワ n.m 王様は 「主語」

qui キ pron ～する 「形容詞節」

était エテ 3 単半(être)v.i ～になった 「動詞」

tout fier トゥ・フィエ adj. 誇らしい 「補語」

d' トゥ adv. (原因) ～のために 「副詞句」

être エートル 不定詞 v.i なる 「動詞」

enfin オンファン adv. ついに、やっと 「副詞」

roi ルワ n.m 王様 「補語」

pour quelqu'un プール・ケルン adj. 誰かに対して 「形容詞句」

「ではきみが金持ちになると、何の役に立つの？」

「誰かが他の星を見つけたら、買うことができる」 [B-13]

---- Et à quoi cela te sert-il d'être riche ?

---- À acheter d'autres étoiles, si quelqu'un en trouve.》

《Et 「間接目的語」「主語」「間接目的語」「動詞」「主語」》

《「間接目的語」「副詞節」》

Et エ conj. それで

à quoi ア・クワ adv. 何に

「間接目的語」

cela スラ pron. そのこと

「主語」

te トゥ pron. 君にとって

「間接目的語」

sert セール 3 単現(servir)v.i (à に) 役に立つ

「動詞」

il イル 形式主語 (疑問文を作る)

d'être riche デートル・リッシュ 不定詞 n. 金持ちになることは

「主語」

À acheter d'autres étoiles ア・アシュテ・トートル・セトワール

adv. 他の星を買うことに (役立つ)

「間接目的語」

si シ conj. もし～するならば

「副詞節」

quelqu'un ケルン pron. 誰かが

「主語」

en オン pron. 星を

「目的語」

trouve トルーヴ 接・3 単現(trouver)v.t. 見つけることがある

「動詞」

「もし僕がマフラーを持っていたら、それを首にまきつけたり、持ち歩いたりできる。」

[B-13]

《Moi, si je possède un foulard, je puis le mettre autour de mon cou et l'emporter.

《「主語」, 「副詞節」, 「主語」「動詞句」》

Moi ムワ pron. 僕が

「主語」

si シ adv. もし～ならば

「副詞節」

je ジュ pron. 僕が

「主語」

possède ホセトール 接・3 単現(posséder)v.t. 持っているとする

「動詞」

un foulard アン・フラー n.m. マフラーを

「目的語」

je ジュ pron. 僕は

「主語」

puis +不定詞 ピュイ 1 単現(pouvoir+不定詞)v.t. ～することができる

「動詞句」

le mettre ル・メットル 不定詞 v.t. それを置く

「目的語」「動詞句」

autour de mon cou オトゥール・トウ・モン・ク adv. 首の周りに

「副詞句」

et エ conj. そして

文の構成要素

l'emporter ロンポルテ 不定詞 v.t それを持ち歩く 「目的語」「動詞句」

「だけど、探検家に証拠の提出を求める」[B-15]

Mais on exige de l'explorateur qu'il fournisse des preuves.

Mais 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Mais メ conj. しかし

on オン pron (動詞はは人称単数) わしは 「主語」

exige エグジジュ 3 単現(exiger)v.t 強く求める 「動詞」

de l'explorateur トゥ・レクスプロラテール adv. その探検家に 「間接目的語」

qu' ク conj. ～することを 「直接目的語」

il イル pron 彼が 「主語」

fournisse フルニス 接・3 単現(fournir)v.t 提出する 「動詞」

des preuves. デ・プルーヴ pl.n.f 証拠を 「目的語」

「才気をひけらかそうとすると、人はちょっとばかし嘘をつくことがある。」[B-17]

Quand on veut faire de l'esprit, il arrive que l'on mente un peu.

「副詞節」, 「動詞句」「主語」

Quand コン conj. ～するとき 「副詞節」

on オン pron 人が 「主語」

veut +不定詞 ヴ 3 単現・願望 v. ～しようとする 「動詞句」

faire de l'esprit, フェール・トゥ・レスプリ 不定詞 v.t 才気をひけらかす 「動詞句」

il arrive イ・アリヴ 3 単現(arriver que)v.t ～がある 「動詞句」

que ク conj. ～ということが 「主語」

l'on ロン pron 人は 「主語」

mente モント 接・3 単現(mentir)v.i 嘘をつく (だろう) 「動詞」

un peu. アン・プ adv. 少し 「副詞句」

「誰もが、いつかは自分の星に戻ることができるように、星たちはきらめいているのかな、
と思うことがある。」[B-17]

《Je me demande, dit-il, si les étoiles sont éclairées afin que chacun puisse un jour
retrouver la sienne.》 「主語」「動詞句」, 「動詞」「主語」, 《「目的語」》

Je ジュ pron 僕は 「主語」

me demande, ム・トゥ・カメント 1 単現(se demander)v.pr 自問する 「動詞句」

dit-il, ディ・ティル 3 単過(dire)v.t 彼は言った 「動詞」「主語」

si シ conj. ～かどうかということを 「目的語」

les étoiles レ・ゼトワール pl.n.f 星たちは 「主語」

文の構成要素

| | | | |
|---|--------------------|--------------|-------|
| sont | ソ 3 複現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| éclairées | エクレ adj.pl.f. | 輝いた | 「補語」 |
| afin que | アフアン・ク conj. | ～するために | 「副詞節」 |
| chacun | シャクン pron | 誰もが | 「主語」 |
| puisse un jour retrouver | ピュイス・アン・ジュール・ルトルヴエ | 接・3 単現・可能 | |
| (pouvoir+不定詞+ un jour)v.i | | いつかは戻ることができる | 「動詞句」 |
| la sienne. | ラ・シエンヌ pron.f | 自分の星に | 「目的語」 |
| 「僕は自問する、誰もが自分の星に戻れるように、星たちは輝いているのだろうか」と | | | |

彼は僕に、ごまかしがあったと思うかと訊いた。僕としては、確かにごまかしがあったと思うと答えた。それから、自分は女に思い知らせるべきかそれと僕が彼の立場だったらどうするかと尋ねた。僕は自分だったらどうするかは全くわからないが、女を懲らしめたいという気持ちは理解できると答えた。[C-1-3]

Il m'a demandé si je pensais qu'il y avait de la tromperie, et moi, il me semblait bien qu'il y avait de la tromperie, si je trouvais qu'on devait la punir et ce que je ferais à sa place, je lui ai dit qu'on ne pouvait jamais savoir mais je comprenais qu'il veuille la punir. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

et 「副詞」「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」,

「直接目的語」 et 「直接目的語」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

| | | | |
|------------------|-------------|--|---------|
| Il | イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' | ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé | ア・ドゥァンデ | 3 単現・完了形(demander)v.t | 「動詞句」 |
| si | シ conj. | ～かどうかということ | 「直接目的語」 |
| je | ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| pensais | ポンセ | 1 単半(penser)v.t | 「動詞」 |
| qu' | ク conj. | ～ということ | 「目的語」 |
| il y avait | イ・リ・アヴエ | 3 単半(il y avoir)v.t | 「動詞句」 |
| de la tromperie, | ドゥ・ラ・トロンプリー | n.f | 「目的語」 |
| et | エ conj. | そして | |
| moi, | ムワ pron | 僕としては | 「副詞」 |
| il | イル pron | 仮の主語 (真の主語は qu'il y avait de la tromperie) | |
| me | ム pron | 僕には | 「間接目的語」 |
| semblait | サンブレ | 3 単半(sembler)v.i | 「動詞」 |
| bien | ビヤン adv. | 確かに | 「副詞」 |
| qu' | ク conj. | ～ということが | 「主語」 |
| il y avait | イ・リ・アヴエ | 3 単半(il y avoir)v.t | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | | |
|---|------------|---------|
| de la tromperie, トゥ・ラ・トロンプリー n.f | ごまかし | 「目的語」 |
| si シ conj. | 〜かどうかということ | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| trouvais トゥヴ゛ 1 単半(trouver)v.t(que+直説法) | 〜であると思う | 「動詞」 |
| qu' ク conj. | 〜ということ | 「目的語」 |
| on オン pron | 自分は | 「主語」 |
| devait ...punir トゥヴ゛エ...ピュニール 3 単半・義務(devoir+不定詞) | | |
| v.t | 罰するべきである | 「動詞句」 |
| la ラー pron | 女を | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| ce ス pron | そのことを | 「直接目的語」 |
| que ク pron | (目的語) 〜する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| ferais フレ 条・1 単現(faire)v.t | するだろう | 「動詞」 |
| à sa place, ア・サ・プラス adv. | かれの立場では | 「副詞句」 |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | 〜ということ | 「直接目的語」 |
| on オン pron | 僕は | 「主語」 |
| ne pouvait jamais savoir, ヌ・プヴ゛エ・ジャメ・サヴ わ-ル 3 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞) | | |
| v.t | 全くわからない | 「動詞句」 |
| mais メ conj. | しかし | |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| comprenais コンプレネ 1 単半(comprendre)v.t | 理解する | 「動詞」 |
| qu' ク conj. | 〜ということ | 「目的語」 |
| il イル pron | 彼が | 「主語」 |
| veuille ...punir. ヴェユ...ピュニール 接・3 単現・願望(vouloir+不定詞) | | |
| v.t | 〜を罰したがる | 「動詞句」 |
| la ラー pron | 女を | 「目的語」 |

彼は僕に、彼の証人になってもらう必要があると言った。[C-1-4]

Il m'a dit qu'il fallait que je lui serve de témoin.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| il fallait イル・ファレ 3 単半・非人称・時制の一致(il falloir) | |
| v.h(que+接続法) ～が必要である | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということが | 「主語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「目的語」 |
| serve セルヴ 接・1 単現(servir) | |
| v.i(à qn de+無冠詞名詞) (人) に～の役目を果たす | 「動詞」 |
| de témoin. トゥ・テムワソ adv. 証人として | 「補語」 |

その日曜日は、僕はなかなか目が覚めず、マリーが僕を呼び起こし、最後には僕を揺り起こさなければならないほどだった。[C-1-6]

| | |
|---|---------------------------------------|
| <u>Le dimanche</u> , j'ai eu de la peine à me réveiller et il a fallu que Marie m'appelle et me secoue. | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「動詞句」 「主語」 |
| Le dimanche, ル・ディモンシュ n.m その日曜日に | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t ～があった | 「動詞句」 |
| de la peine トゥ・ラ・ペーヌ n.f 苦労 | 「目的語」 |
| peine ペーヌ n.f 苦労、骨折り (不可算名詞なので部分冠詞 de la を使用する) | |
| à +不定詞 ア adv. (目的) ～するのに | 「副詞句」 |
| me réveiller ム・レヴァイエ 不定詞(se réveiller)v.pr 起きる、目が覚める | 「動詞句」 |
| et | |
| il a fallu que +接続法 イ・ラ・ファリュ・キ 3 単現・完了形(il falloir que+接続法) | |
| v.h ～しなければならなかった | 「動詞句」 |
| Marie マリー n.f マリーが～すること | 「主語」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| appelle アペル 接・3 単現(appeler)v.t 呼び起こす | 「動詞」 |
| et エ conj. そして | |
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| secoue. スク 接・3 単現(secouer)v.t 揺り起こす | 「動詞」 |

マリーはすぐに出かけようと言った。[C-1-6]

| | |
|--|------------------|
| <u>Elle a voulu qu'on parte tout de suite.</u> | 「主語」 「動詞句」 「目的語」 |
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| a voulu ア・ヴリュ 3 単現・完了形(vouloir)v.t 望んだ、希望した | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | |
|------------------------------------|-------|
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| on オン pron 私たちは | 「主語」 |
| parte パルテ 接・3 単現(partir)v.i 出発する | 「動詞」 |
| tout de suite. トゥ・ドゥ・シュイト adv. すぐに | 「副詞句」 |

マリーと一緒に泳ぎたいと言った。[C-1-6]

| | |
|--|----------------|
| <u>Marie a voulu que nous nagions ensemble.</u> | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Marie マリー n.f マリーは | 「主語」 |
| a voulu ア・ヴリュ 3 単現・完了形(vouloir)(que+接続法 ～するのを) 望んだ | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～することを | 「目的語」 |
| nous ヌ pron 僕たちが | 「主語」 |
| nagions ナジョン 接・1 複現(nager)v.i 泳ぐ | 「動詞」 |
| ensemble. オンソブル adv. 一緒に | 「副詞」 |

バタ足の小さな水音が、午前中僕が疲れを感じるまでずっと、僕たちの後ろについてきた。

[C-1-6]

| | |
|---|---------------------|
| <u>Le petit bruit de l'eau battue nous a suivis dans le matin jusqu'à ce que je me sente fatigué.</u> | 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 |
| Le petit bruit ル・プティ・ブリュイ n.m 小さな音が | 「主語」 |
| de l'eau battue トゥ・ロ・バチュ adj. 打ちつけられた水の | 「形容詞句」 |
| nous ヌ pron 僕たちに | 「目的語」 |
| a suivis ア・シュイヴィ 3 単現・完了形(suivre)v.t の後に付いてきた | 「動詞句」 |
| dans le matin トン・ル・マタン adv. 午前中 | 「副詞句」 |
| jusqu'à ジュスカ adv. ～まで | 「副詞句」 |
| ce ス pron その時 | 「目的語」 |
| que ク pron (同格) ～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| me sente ム・ソント 接・1 単現(se sentir) | |
| v.pr 自分が～だと感じる | 「動詞句」 |
| fatigué. ファチゲ adj. 疲れた | 「補語」 |

「そして、仮に私が何も反論することが出来なければ、そのことが、検察側にとって強力な論拠になってしまうでしょう」[C-2-1]

| | |
|--|--------------------------|
| Et <u>ce sera un gros argument pour l'accusation, si je ne trouve rien à répondre.</u> | 《Et 「主語」「動詞」「補語」, 「副詞節」》 |
|--|--------------------------|

Et エ conj. そして

文の構成要素

| | | |
|---|-------------------|-------|
| ce ス pron | このことは | 「主語」 |
| sera スラ 3 単末・推測(être)v.i | ～になるだろう | 「動詞」 |
| un gros argument アン・グロ・アルギュモン n.m | 強力な論拠 | 「補語」 |
| pour l'accusation, プール・ラキュザシオン adv. | 検察側にとって | 「副詞句」 |
| si シ conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| je ジュ pron | 私が | 「主語」 |
| ne trouve rien à répondre.》ヌ・トゥル・ヴァ・リヤン・ア・レポントル 接・1 単現・発見・否定・推測 | | |
| v.t | 何も答えることができない | 「動詞句」 |
| trouver à+不定詞 | 「～できる、～する手段を見つける」 | |

「あなたは望むのですか？」と、彼は叫んだ。「私の人生が無意味になることを」 [C-2-1]

| | |
|---|-------|
| 《 <u>Voulez-vous</u> , <u>s'est-il exclamé</u> , <u>que ma vie n'ait pas de sens?</u> 》 | |
| 《「動詞」「主語」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「目的語」》 | |
| 《Voulez ヴレ 2 複現・疑問文(vouloir)v.t 望むのですか | 「動詞」 |
| vous, ヴ pron あなたは | 「主語」 |
| s'est ...exclamé, セ...エクスクラメ 3 単現・完了形(s'exclamer)v.pr 叫んだ | 「動詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| 願望に対する従属節は接続法を用いる | |
| ma vie マ・ヴィー n.f 私の人生が | 「主語」 |
| n'ait pas ネ・パ 接・3 単現・否定・推量(avoir)v.t なくなるだろう | 「動詞句」 |
| de sens?》ド・ッサン n.m 意味が | 「目的語」 |

独房に移ってから 1 度、僕は看守にタバコを返してくれないだろうかと頼んでみた。

[C-2-2]

| | |
|---|-----------------------|
| Une fois en cellule, j'ai demandé qu'on me les rende. | |
| | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Une fois ユンス・フワ adv. 1 度 | 「副詞句」 |
| en cellule, オン・セリュル adv. 独房で | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai demandé エ・ト・ヴァモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 頼んだ | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| on オン pron 看守が | 「主語」 |
| me ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| les レ pron.pl タバコを | 「直接目的語」 |
| rende. レントゥ 接・3 単現・願望(rendre)v.t 返してくれないだろうか | 「動詞」 |

「そして、いづれか価値がありそうなのは、あなたの事件と親殺しだけだったのです。」

[C-2-3]

Et il n'y avait que votre histoire et celle du parricide qui valaient quelque chose.»

《Et 「動詞句」「目的語」「主語」》

Et エ conj. そして

il n'y avait que イル・ニ・アヴ・ェ・キ 3 単半・否定・限定・存在(il'y avoir+ne...que)

v.t. ～しかなかった

「動詞句」

votre histoire ヴォトル・イストワ・ル n.f. あなたの事件

「目的語」

et エ conj. そして

celle セル pron 事件

「目的語」

du parricide ジュ・パ・リシト adj. 親殺しの

「形容詞句」

qui キ pron.pl (主語、先行詞なしで) ～は

「主語」

valaient ヴァユ 接・3 複現・推量(valoir)v.i. 価値があると思われる

「動詞」

価値を示す名詞が「補語」になる

quelque chose.》 ケルク・ショーズ n.f. いづれか

「補語」

Combien vaut cette bague? --- Ça vaut dix mille francs.

その指輪はいくらですか? — 1 万フランです。

僕の意見を聞こうともせず、僕の運命は決定されようとしている。[C-2-4]

Mon sort se réglait sans qu'on prenne mon avis.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Mon sort モン・ソール n.m. 僕の運命が

「主語」

se réglait ス・レグレ 3 単半・再帰受動・時制の一致(se régler)

v.pr. 取り決められようとしている

「動詞句」

sans ソン prep. ～なしに

「副詞句」

qu' ク conj. ～ということ

「目的語」

on オン pron. 人々が

「主語」

prenne プレンヌ 接・3 単現(prendre)v.t. 受け取る、採用する

「動詞」

mon avis. モ・ナヴィ n.m. 僕の意見を

「目的語」

ここで検事は僕の方に振り向き、僕を打ちのめすような言葉を浴びせながら僕を指さしたが、実のところ僕にはどうしてそんなことをするのか分からなかった。[C-2-4]

A ce moment, il s'est tourné vers moi et m'a désigné du doigt en continuant à m'accabler sans qu'en réalité je comprenne bien pourquoi.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「目的語」「動詞句」「副詞句」

A ce moment, ア・ス・モメン adv. この時、ここで

「副詞句」

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| il イル pron 検事は | 「主語」 |
| s'est tourné セ・トルネ 3 単現・完了形(se tourner)v.pr(vers の方に) 振り向いた | 「動詞句」 |
| vers moi ヴェール・ムわ adv. 僕の方に | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| a désigné ア・デジニエ 3 単現・完了形(désigner)v.t 指し示した | 「動詞句」 |
| du doigt ジュ・ドゥワ adv. (手段) 指で | 「副詞句」 |
| en continuant à m'accabler オン・コンチニュオン・ア・マカブレ ジェロンディフ(continuer) | |
| adv.(+à+不定詞) 僕に攻撃的な言葉を浴びせ続けながら | 「副詞句」 |
| continuer à+不定詞 「～し続ける」 accabler アカブレ v.t (悪口を) 浴びせる、打ちのめす | |
| sans qu'+接続法 ヲン・キ conj. (結果) ～することなしに | 「副詞節」 |
| en réalité オン・レアリテ adv. 実のところ、実際は | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| comprenez コンプレヌ 接・1 単現・否定文(comprendre)v.t 分からない | 「動詞」 |
| bien pourquoi. ビヤン・プルクわ adv. どうしてかよく～ない | 「副詞句」 |

「皆さん、私は驚いています」と、彼は付け加えた。「皆さんが、この養老院のことで、これほど大騒ぎをするとは」[C-2-4]

| | |
|---|--------|
| «Je m'étonne, messieurs, a-t-il ajouté, qu'on ait mené si grand bruit autour de cet asile.» | |
| 《「主語」「動詞句」, 「呼びかけ」, 「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「目的語」》 | |
| «Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| m'étonne, メヌ 3 単現(s'étonner)v.pr 驚いている | 「動詞句」 |
| messieurs, メシユー pl.n.m 皆さん | 「呼びかけ」 |
| a... ajouté, ア...アジュテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた | 「動詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| 精神活動を表す動詞（ここでは s'étonner）に導かれる節は、接続法を使用する | |
| on オン pron (動詞は三人称単数形) 皆さんは | 「主語」 |
| ait mené エ・メネ 接・3 単現・完了形(mener)v.t ～に至った | 「動詞句」 |
| si grand bruit シ・グラン・ブリュイ n.m これほどの大騒ぎ | 「目的語」 |
| autour de cet asile. オトゥール・ドゥ・セツ・アジール adv. この養老院のことで | 「副詞句」 |

僕自身に何かが起こる時には、僕はその場に居たいと思う。[C-2-5]

Quand il m'arrive quelque chose, je préfère être là.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞」

Quand コン conj. (仮定・条件) ～する時は

「副詞節」

文の構成要素

| | | | | |
|----------------|--------------------|-------------------------------|---------------|---------|
| il | イル | pron | 非人称 | |
| m' | ム | pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| arrive | アリヴ | 3 単現・非人称(il arrive qch)v.h | (à qn 人に) 起こる | 「動詞」 |
| quelque chose, | ケルキ・ショズ | n.f | 何か | 「主語」 |
| je | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| préfère être | プレフェール・エートル | 接・1 単現・願望・帰結・存在(préférer+不定詞) | | |
| v.i | ～にいたいと思う | | | 「動詞句」 |
| préférer+不定詞 | 「～するほうがよい、～したいと思う」 | | | |
| là. | ラー | adv. | そこに | 「副詞」 |

だから結局僕は、昼間は少しだけ眠って、夜は一晩中、空からガラス窓に光が差し込むのを辛抱強く待った。[C-2-5]

C'est pourquoi j'ai fini par ne plus dormir qu'un peu dans mes journées et, tout le long de mes nuits, j'ai attendu patiemment que la lumière naisse sur la vitre du ciel.

C'est pourquoi 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

C'est pourquoi セ・プルクワ conj. それゆえ、だから

| | | | | |
|----------------------------|-----------------------|-----------------------|--------------|-------|
| j' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ai fini par ne plus dormir | エ・フィニ・パール・ヌ・プリュ・ドルミール | 1 単現・完了形・結局 | | |
| (finir par+不定詞)v.i | 結局もう眠らなかった | | | 「動詞句」 |
| qu'un peu | クワンプ | adv.(ne que) | 少ししか | 「副詞句」 |
| dans mes journées | ドン・メ・ジュールネ | adv. | 昼間には | 「副詞句」 |
| et, ɛ conj. | そして | | | |
| tout le long de mes nuits, | トル・ロン・ド・メ・ニュイ | adv. | 夜の間中は | 「副詞句」 |
| j' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ai attendu | エ・アトンジュ | 1 単現・完了形(attendre)v.t | 待った | 「動詞句」 |
| patiemment | パシヤモン | adv. | 辛抱強く | 「副詞」 |
| que | ク | conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| la lumière | ラ・リュミエール | n.f | 光が | 「主語」 |
| naisse | ネス | 接・3 単現(naître)v.i | 生まれる、(光が) さす | 「動詞」 |
| sur la vitre | シュール・ラ・ヴィートル | adv. | ガラス窓の上に | 「副詞句」 |
| du ciel. | ジュ・シエル | adv. | (場所) 空から | 「副詞句」 |

ほんの微かな摩擦音を、僕が足音と聞き間違えて戸口に駆け寄ったとしても、戸口の板に耳を押し当てて、狂ったように待ち続け、自分の呼吸の音が聞こえて、それがしゃがれていて、犬の喘ぎ声に良く似ていると気付いて怯えたとしても、結局の所、僕の心臓は破裂しない。僕はまた 24 時間儲けたのだ。 [C-2-5]

Même si le moindre glissement me jetait à la porte, même si, l'oreille collée au bois, j'attendais éperdument jusqu'à ce que j'entende ma propre respiration, effrayé de la trouver rauque et si pareille au rôle d'un chien, au bout du compte mon coeur n'éclatait pas et j'avais encore gagné vingt-quatre heures.

「副詞節」, 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」
 Même si メム・シ conj. たとえ〜であっても 「副詞節」
 le moindre glissement ル・ムワント・ル・グリスモン n.m. ほんの微かな摩擦音が 「主語」
 何かの擦れる音を、足音ではないかと聞き間違えたとしたら
 me ム pron 僕を 「目的語」
 jetait ジェテ 3 単半・假定(jeter)v.t (場所に) 押しやった、駆けよらせた 「動詞」
 à la porte, ア・ラ・ポルト adv. 戸口へ 「副詞句」
 même si, メム・シ conj. たとえ〜であっても 「副詞節」
 l'oreille オレイユ n.f (様態) 耳で 「副詞句」
 collée コレ adj(collé).f ぴったりついた 「形容詞」
 au bois, オ・ブ・わ adv. (戸口の) 木材に 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕が 「主語」
 attendais アトンデ 1 単半・時制の一致(attendre)v.i 待つ 「動詞」
 éperdument エペ・ルジ・ュモン adv. 狂ったように 「副詞」
 jusqu'à ジュスカ prep (時間) 〜まで、(結果) そして〜する 「副詞句」
 ce que ス・ク conj. 〜ということ 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 entende オントントゥ 接・1 単現(entendre)v.t 聞く 「動詞」
 ma propre respiration, マ・フ・ロプ・ル・レスピ・ラシオン
 n.f 自分の呼吸音を 「目的語」
 effrayé エフレイエ 過去分詞・假定・譲歩(effrayer)
 adv. 怯えたとしても 「副詞句」
 de +不定詞 不定詞・理由 adv. 〜して 「副詞句」
 la ラ pron (respiration の代用) それが 「目的語」
 trouver トゥルヴレ 不定詞 v.t 〜と思う 「動詞」
 rauque ロキ adj. しゃがれた 「補語」
 et エ conj. そして
 si pareille シ・パレイユ

文の構成要素

| | | |
|----------------------|-----------------|---------------------------------------|
| adj(pareil).f | とても良く似た | 「補語」 |
| au rôle | オ・ラル | adv. 喘ぎ声に 「副詞句」 |
| d'un chien, | ダン・シヤン | adj. 犬の「形容詞句」 |
| au bout du compte | オ・ブ・ジュ・コント | adv. 結局、要するに 「副詞句」 |
| mon coeur | モン・ケール | n.m 僕の心臓は 「主語」 |
| n'éclatait pas | ネクラテ・パ | 3 単半・否定・時制の一致(éclater)v.i 破裂しない 「動詞句」 |
| et | エ | conj. そしえ |
| j' | ジュ | pron 僕は 「主語」 |
| avais encore gagné | アヴィ・ェ・オンコール・ガニエ | 1 単半・完了形(gagner)v.t また儲けた 「動詞句」 |
| vingt-quatre heures. | ヴィン・キヤトル・エール | pl(heure).n.f 24 時間 「目的語」 |

要するに、これ以上明白なことは無い。それが今すぐだろうが 20 年後だろうが、死ぬのはいつでも僕自身なのだ。[C-2-5]

Rien n'était plus clair, en somme. C'était toujours moi qui mourrais, que ce soit maintenant ou dans vingt ans.

| | | |
|--------------|-----------|-------------------------------------|
| | | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 「動詞」「補語」「主語」 |
| Rien | リヤン | pron 何も～ない 「主語」 |
| n'était | ネ | 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～でない 「動詞」 |
| plus clair, | プリュ・クレール | adj. より明白な 「補語」 |
| en somme. | オン・ソム | adv. 要するに、結局 「副詞句」 |
| C' | ス | pron 仮の主語（真の主語は que 以降） |
| était | エテ | 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」 |
| toujours moi | トゥジュール・ムわ | pron いつでも僕 「補語」 |
| qui | キ | pron （主語）～する 「形容詞節」 |
| mourrais, | ムレ | 条・1 単現・推量(mourir)v.i 死ぬことになるのは 「動詞」 |
| que | ク | conj. ～ということは 「主語」 |
| ce | ス | pron それが 「主語」 |
| soit | スわ | 接・3 単現・仮定(être)v.i ～である 「動詞」 |
| maintenant | マントナン | adv. 今 「補語」 |
| ou | ウ | conj. または |
| dans | ドン | prep （時間）～後に 「補語」 |
| vingt ans. | ドン・ヴァン・タン | pl(an).n.m 20 年 「目的語」 |
| dans | ドン | prep （限定しの付かない数字の前で、現在を起点として）～後に |

接続法・半過去と半過去完了

しかし末っ子だけは目を覚ましたままでした：彼は、兄たちが頭に被っている帽子を娘たちの冠と取り換えるために、家じゅうが寝付くのを待っていたのです。[A-4]

Mais seul le benjamin resta réveillé : il attendait que toute la maison se fût endormie pour remplacer les bonnets que portaient ses s sur leur tête avec les couronnes des filles...

Mais 「主語」「動詞」「補語」：「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

seul le benjamin スール・ル・バンジヤマン n.m 末っ子だけは 「主語」

resta レスタ 3 単過(rester)v.i 〜のままでいた 「動詞」

réveillé：レヴエイエ 過去分詞(réveiller)adj. 目覚めた 「補語」

il イル pron 彼は 「主語」

attendait アトンデ 3 単半(attendre)v.t 待っていた 「動詞」

que ク conj. 〜ということを 「目的語」

toute la maison トゥット・ラ・メゾン n.f 家中が 「主語」

se fût endormie ス・フュ・オントルミ 接・3 単半・完了形.f(s'endormir)

v.pr 寝付いた 「動詞句」

pour +不定詞 プール adv. 〜するために 「副詞句」

remplacer ロンプラセ 不定詞 v.t 取り替える 「動詞」

les bonnets レ・ボネ pl.n.m 帽子を 「目的語」

que ク pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

portaient ポルテ 3 複半(porter)v.t かぶっていた 「動詞」

ses frères セ・フレール pl.n.m 兄たちが 「主語」

sur leur tête シュール・レール・テット adv. 頭に 「副詞句」

avec les couronnes des filles... アヴ・エッキ・レ・クロンウ・デ・フィユ

adv. 娘たちの冠と 「副詞句」

人が住むすべての地域から、千マイルも離れていて、その上、死の危険にさらされている時、羊の絵を描くなどということが、どんなに馬鹿げているように見えようと、僕はポケットから一枚の紙と万年筆を取り出した。[B-2]

Aussi absurde que cela me semblât à mille milles de tous les endroits habités et en danger de mort, je sortis de ma poche une feuille de papier et un stylographe.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Aussi 形容詞 que + 接続法 どんなに〜であっても 「副詞節」

Aussi オシ adv. どれほど 「副詞」

absurde アプシュルトゥ adj.馬鹿げた 「補語」

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| que ク conj. ～ということ | 「形容詞節」 |
| cela スラ pron これが (羊の絵を描く事) | 「主語」 |
| me ム pron 私に | 「間接目的語」 |
| semblât ヲンブラ 接・3 単半(sembler)v.i 見えても | 「動詞」 |
| à mille milles de tous les endroits habités ア・ミル・ミル・トゥ・トゥ・レ・オント・ロワ・アビテ | |
| adv. 人が住む地域から千マイルも離れて | 「副詞句」 |
| et en danger de mort エ・オン・ドンジエ・トゥ・モール | |
| adv. そして死の危険にさらされて | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| sortis ソルティ 1 単過(sortir)v.t 取り出した | 「動詞」 |
| de ma poche トゥ・マ・ポッシュ adv. ポケットから | 「副詞句」 |
| une feuille de papier et un stylographe ユンヌ・フイエ・トゥ・パ・ピエ・エ・アン・スティログラフ | |
| pl.n. 一枚の紙と万年筆を | 「目的語」 |

羊が低木を食べることが、なぜそんなに大事なのか、僕にはわからなかった。しかし、王子様は付け加えた：[B-5]

Je ne compris pas pourquoi il était si important que les moutons mangeassent les arbustes. Mais le petit prince ajouta:

「主語」「動詞句」「目的語」 | Mais 「主語」「動詞」:

| | |
|--|-------|
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne compris pas ヌ・コンプリ・パ 1 単過・否定(comprendre)v.t 分からなかった | 「動詞句」 |
| pourquoi フルクワ n. どうして～であるかということ | 「目的語」 |
| il イル pron 形式主語 (真の主語は que 以降) | |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| si important シ・アンボルトン adj. そんなに大事な | 「補語」 |
| que ク conj. ～ということが | 「主語」 |
| les moutons レ・ムトン pl.n.m 羊が | 「主語」 |
| mangeassent モンジャス 接・3 複半・推量(manger) | |
| v.t 食べるだろう | 「動詞」 |
| les arbustes レ・ザルビュスト pl.n.m 低木を | 「目的語」 |
| Mais メ conj. しかし | |
| le petit prince ル・プティ・プランス n.m 王子様は | 「主語」 |
| ajouta: アジュタ 3 単過(ajouter)v.t 付け加えた | 「動詞」 |

僕をひどく苛立たせたあの爪の話だって、あるいは僕をほろりとさせるはずだったかもしれない...」[B-8]

Cette histoire de griffes, qui m'avait tellement agacé, eût dû m'attendrir ...》

「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」》

Cette histoire de griffes セット・イストワール・トゥ・グリフ n.f あの爪の話

「主語」

qui キ pron ～する

「形容詞節：histoire」

m' ム pron 私を

「目的語」

avait tellement agacé アヴァン・テルモン・アガセ 3 単半・完了形(agacer)

v.t ひどく苛立たせた

「動詞句」

eût dû +不定詞 イ・ジュ 接・3 単半・完了形 (条件法過去第二型) (devoir+不定詞)

v.t ～するはずだったかもしれない

「動詞句」

m'attendrir マントリール 不定詞(attendrir+me)

v.t 私の心を動かす

「動詞句」

彼女は泣いているところを彼に見られなくなかったからそう言った。それはそんなに勝気な花だった...」[B-9]

Car elle ne voulait pas qu'il la vît pleurer. C'était une fleur tellement orgueilleuse ...

「副詞節」 | 「主語」「動詞」「補語」

Car カール conj. なぜなら～なので

「副詞節」

elle エル pron 花は

「主語」

ne voulait pas ヌ・ヴレ・パ 3 単半・否定(vouloir)v.t 望まなかった

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ

「目的語」

il イル pron 彼が

「主語」

la ラ pron 彼女を

「目的語」

vît ヴィ 接・3 単半(voir)v.t 見るだろう

「動詞」

pleurer プル 不定詞 v.i (花が) 泣く

「補語」

C' ス pron それは

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

une fleur エヌ・フレール n.f 花

「補語」

tellement orgueilleuse テルモン・オルグ・イユーズ adj. とても誇り高い

「形容詞句」

なぜなら、自分の権威が尊重されることに何よりも執着していたから。」[B-9]

Car le roi tenait essentiellement à ce que son autorité fût respectée.

Car 「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」

Car カール conj. なぜなら

le roi ル・ルワ n.m 王様は

「主語」

文の構成要素

tenait トゥネ 3 単半(tenir)v.i (à に) 執着していた、こだわっていた 「動詞」

essentiellement エソジエルトン adv. なによりも 「副詞」

à ce que ア・ス・ク adv. ～ということに 「間接目的語」

son autorité ソトリティ n.f 彼の権威が 「主語」

所有形容詞女性形 sa は、母音又は無音の h で始まる語の前では son となりリエゾンする
fût respectée フュ・レスペ・クテ 接・3 単半・受動(respecter)v.t 尊重される 「動詞句」

《あの人だけは、ぼくの友達にできたかもしれないな。》[B-15]

Celui-là est le seul dont j'eusse pu faire mon ami. 《「主語」「動詞」「補語」

Celui-là スリュイ・ラ pron あの人 「主語」

est エ (être)v.i ～である 「動詞」

le seul ル・スル n.m 唯一の人 「補語」

dont トン pron それと～する 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

eusse pu faire イス・ピュ・フェール 接・1 単半・完了形(pouvoir+不定詞)

v.t ～することができたかもしれない 「動詞句」

faire de (人) son ami 「人を友達にする」→ dont が使用される

mon ami. モ・ナミ n.m 友達 「目的語」

彼が知っていた山は、彼の膝に達する三つの火山だけ。[B-19]

Les seules montagnes qu'il eût jamais connues étaient les trois volcans qui lui arrivaient au genou. 「主語」「動詞」「補語」

Les seules montagnes レ・スル・モンターニュ pl.n.f 山は～だけ 「主語」

qu' ク pron ～する 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

eût jamais connues イ・ジヤメ・コニュ 接・3 単半・完了形(connaître)

v.t それまでに知っていた 「動詞句」

jamais ジヤメ adv. かつて、今までに

étaient エテ 3 複半(être)v.i ～だった 「動詞」

les trois volcans レ・トルワ・ヴォルコン pl.n.m 3 の火山 「補語」

qui キ pron ～する 「形容詞節」

lui リュイ pron 彼の 「間接目的語」

arrivaient アリヴァエ 3 複半(arriver)v.i 達する 「動詞」

au genou. オ・ジヌ adv. 膝に 「間接目的語」

「昨日と同じ時刻に来たほうがよかったね」と狐が言った。[B-21]

《Il eût mieux valu revenir à la même heure, dit le renard.》

《「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」,

Il イル pron 非人称主語

eût mieux valu イ・ミュ・ヴァリュ 接・3 単半・完了形 (条件法過去第 II 型) (valoir+ mieux)

v.i もっとと価値があっただろう 「動詞句」

revenir ルヴニール 不定詞 v.i やってくる事が 「主語」

à la même heure, ア・ラ・メーム・ウール adv. 同じ時刻に 「副詞句」

「同じ時刻にやって来たとしたら」

dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」

le renard. ル・ルナール n.m キツネが 「主語」

地球の上で、これ以上に壊れやすいものはないようにさえ思われた。[B-24]

Il me semblait même qu'il n'y eût rien de plus fragile sur la Terre.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」

Il イル pron 非人称 (真の主語は même qu'以降)

me ム pron 私には 「間接目的語」

semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i ~のように思われた 「動詞」

même メーム adv. ~とさえ 「副詞」

qu' ク conj. ~ということ 「主語」

il n'y eût イル・ニ・イ 接・3 単半・否定(il y a)v.t なかつただろう 「動詞句」

rien 何も 「主語」

de plus fragile ドゥ・ウ・フリュ・フラジール adj. これ以上に壊れやすい 「形容詞句」

sur la Terre. シュール・ラ・テール adv. 地球上に 「副詞句」

ぼくは、彼に骨折らせたくなかった：[B-25]

Je ne voulais pas qu'il fit un effort :

「主語」「動詞句」「目的語」:

Je ジュ pron 僕は 「主語」

ne voulais pas ヌ・ヴレ・パ 1 単半・否定(vouloir)v.t 望まなかった 「動詞句」

qu' ク conj. (話者の考えなので接続法) ~ということ 「目的語」

il イル pron 彼が 「主語」

fit フィ 接・3 単半(faire)v.t するだろう 「動詞」

un effort : アン・エフォール n.m 骨折りを、努力を 「目的語」

思い煩う必要など、どこにあらう... (、とぼくは思った) [B-25]

Pourquoi fallait-il que j'eusse de la peine ...

「副詞」「動詞」「主語」

文の構成要素

| | |
|--------------------------------------|-------|
| Pourquoi プルワ adv. なぜ、どうして | 「副詞」 |
| fallait-il ファレ・ティル 3 単半・疑問文(falloir) | |
| v.h (時制の一致) ～しなければならないのか? | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「主語」 |
| j' ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| eusse イス 接・1 単半(avoir)v.t もつ、～する | 「動詞」 |
| de la peine ... トゥ・ラ・ペーン n.f 苦勞を | 「目的語」 |
| avoir de la peine 「心を痛める、思い煩う」 | |
| 反語的に「何を思い煩う必要があろうか!」「思い煩う必要などない!」 | |

僕はいまだになぜかわからないのだが、僕がこのことで悪く言われているとは今まで知らなかったと答えて、さらに、母さんを看護してもらうだけの十分なお金がなかったので、養老院は自分にとっては自然な成り行きに思われたと答えた。[C-1-5]

J'ai répondu, je ne sais pas encore pourquoi, que j'ignorais jusqu'ici qu'on me jugeât mal à cet égard, mais que l'asile m'avait paru une chose naturelle puisque je n'avais pas assez d'argent pour faire garder maman.

| | |
|---|------------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」, 「副詞節」, 「目的語」 mais 「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu, エ・レ・ソ・ジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| 副詞節が挿入されている | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない、知らない | 「動詞句」 |
| encore オンコール adv. まだ、いまだに | 「副詞」 |
| pourquoi, プルワ adv. なぜか | 「副詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ignorais イノレ 1 単半(ignorer)v.t 知らなかった | 「動詞」 |
| jusqu'ici ジュスキ adv. 今まで | 「副詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| on オン pron 人が | 「主語」 |
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| jugeât モンジャ 接・3 単半・推量(juger)v.t 評価しているとは | 「動詞」 |
| mal マル adv. 悪く | 「副詞」 |
| à cet égard, ア・セツ・エガール adv. この件で | 「副詞句」 |
| mais メ conj. しかし | |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |

文の構成要素

| | | |
|---|-----------|---------|
| l'asile ラジール n.m | 養老院は | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕にとっては | 「間接目的語」 |
| avait paru アヴ・ェ・パリュ 3 単半・完了形(paraître)v.i | ～のように思われた | 「動詞句」 |
| une chose naturelle エヌ・ショーズ・ナチュレル n.f | 自然なこと | 「補語」 |
| puisque ビュイスキ conj. | ～なので | 「副詞節」 |
| je ジュ pron | 私は | 「主語」 |
| n'avais pas ナヴ・ェ・パ 1 単半・否定(avoir)v.t | なかった | 「動詞句」 |
| assez d'argent アセ・ダールゼヨン n.m | 十分なお金 | 「目的語」 |
| pour +不定詞 プール adv. (目的) | ～するために | 「副詞句」 |
| faire garder フェール・ギャルテ 不定詞・使役 | | |
| v.t | 看護をしてもらう | 「動詞句」 |
| maman. マモン n.f | 母さんを | 「目的語」 |

それから僕は、動かなくなった体に向かってさらに 4 回撃った。銃弾は痕跡をとどめずに吸い込まれていった。[C-1-6]

| | |
|--|-----------------------------|
| <u>Alors, j'ai tiré encore quatre fois sur un corps inerte où les balles s'enfonçaient sans qu'il y parût.</u> | 「副詞」, 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」 |
| Alors, アール adv. それから | 「副詞」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai tiré エ・チレ 1 単現・完了形(tirer)v.t 撃った | 「動詞句」 |
| encore オンコール adv. さらに | 「副詞」 |
| quatre fois クワトル・フワ adv. 4 度、4 回 | 「副詞句」 |
| sur un corps シュール・アン・コール adv. 体に | 「副詞句」 |
| inerte イネルト adj. 動かない | 「形容詞」 |
| où ウ conj. (継続) そこで～する | 「副詞節」 |
| les balles レ・バル pl.n.f 球は | 「主語」 |
| s'enfonçaient ソンフォンセ 3 複半(s'enfoncer)v.pr 潜り込んでいった | 「動詞句」 |
| sans qu'+接続法 ソン・キ conj. ～することなしに | 「副詞節」 |
| il y parût. イ・リ・パリュ 接・3 単半・非人称・推測(il y paraître) | |
| v.h そこにあると思われた | 「動詞句」 |
| → 存在しないかのように → 痕跡をとどめずに | |

僕は、司法当局がこんな細々したことまで面倒を見てくれるのは、とても便利だと思った。
[C-2-1]

| | |
|--|----------------|
| <u>J'ai trouvé qu'il était très commode que la justice se chargeât de ces détails.</u> | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
|--|----------------|

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai trouvé エ・トゥヴ'ェ 1 単現・完了形(trouver)v.t(que ～であると) 思った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 以降) | |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| très commode トレ・コモッド adj. とても便利な | 「補語」 |
| que ク conj. ～ということは | 「主語」 |
| la justice ラ・ジュステイス n.f 司法当局が、司法警察が | 「主語」 |
| se chargeât ス・シャルジャ 接・3 単半(se charger) | |
| v.pr(de を) 面倒を見る | 「動詞句」 |
| de ces détails. ドゥ・セ・デタイユ pl.n.m こんな細々したことを | 「間接目的語」 |

確実に言えることは、母さんが死ななかったほうが良かったということだ。[C-2-1]

Ce que je pouvais dire à coup sûr, c'est que j'aurais préféré que maman ne mourût pas.

| | |
|--|--------------|
| | 「主語」「動詞」「補語」 |
| Ce ス pron それは | 「主語」 |
| que ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| pouvais dire プウ'ェ・ディール 1 単半・可能(pouvoir+不定詞) | |
| v.t 言える | 「動詞句」 |
| à coup sûr, ア・ク・シュール adv. 確実に、間違いなく | 「副詞句」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということ | 「補語」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| aurais préféré オレ・プレフェレ 条・1 単過未・完了形・推測(préférer) | |
| v.t(que ～のほうが) 良いだろうと思った | 「動詞句」 |
| que+接続法 ク conj. ～であることを | 「目的語」 |
| maman マモン n.f 母さんが | 「主語」 |
| ne mourût pas. ス・ムリュ・パ 接・3 単半・仮定法(mourir) | |
| v.i 死ななかった | 「動詞句」 |

しかし僕には、彼の質問には答えないで、僕の弁護士が僕の手助けができるようになるのを待つ権利がある。[C-2-1]

Mais j'avais le droit de ne pas répondre à ses questions et d'attendre que mon avocat pût m'assister.

Mais 「主語」「動詞」「目的語」「形容詞句」

文の構成要素

| | | |
|---|-----------------|---------|
| Mais メ conj. | しかし | |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t | ～がある | 「動詞」 |
| le droit ル・ドゥアルわ n.m | 権利 | 「目的語」 |
| de +不定詞 トゥ adj. | (目的) ～するための | 「形容詞句」 |
| ne pas répondreヌ・パ・レポントル | 不定詞・否定形 | |
| v.i(à に) | 答えない | 「動詞句」 |
| à ses questions ア・セ・クエション adv. | 彼の質問に | 「間接目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| d'attendre ダントトル adj. | ～を待つための | 「形容詞句」 |
| que ク conj. | ～ということ | 「目的語」 |
| mon avocat モン・アヴカ n.m | 僕の弁護士が | 「主語」 |
| pût m'assister. ヒュ・マシステ 接・3 単半・推測(pouvoir+不定詞+me) | | |
| v.t | 僕を手助けできるようになるのを | 「動詞句」 |

すると、彼はとても早口で情熱的な口調で僕に言った：彼は神を信じている。彼の信念によると、どんな人間であつても、神がお許しにならないほど罪深くはない。しかしそのためには、悔い改めることで魂を空っぽにして、すべてを受け入れる準備ができた子供のようになることが必要である。[C-2-1]

Alors il m'a dit très vite et d'une façon passionnée que lui croyait en Dieu, que sa conviction était qu'aucun homme n'était assez coupable pour que Dieu ne lui pardonnât pas, mais qu'il fallait pour cela que l'homme par son repentir devînt comme un enfant dont l'âme est vide et prête à tout accueillir.

「副詞」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「副詞句」,
「直接目的語」, 「直接目的語」 mais 「直接目的語」

| | | |
|---|---------|---------|
| Alors アー adv. | それで、すると | 「副詞」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| très vite トレ・ヴィット adv. | とても早口で | 「副詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| d'une façon passionnée ジョヌ・ファツン・パ シネ adv. | 情熱的に | 「副詞句」 |
| que ク conj. | ～ということ | 「直接目的語」 |
| lui リュイ pron | 彼は | 「主語」 |
| croyait クワイ 3 単半・時制の一致(croire)v.i(en を) | 信じている | 「動詞」 |
| en Dieu, オン・ディユ adv. | 神を | 「間接目的語」 |

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| sa conviction サ・コンヴ・イクシヨン n.f 彼の信念は | 「主語」 |
| était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| qu' ク conj. ～ということ | 「補語」 |
| aucun homme オ・カン・オム n.m どんな人間も | 「主語」 |
| n'était ネ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～でない | 「動詞」 |
| assez coupable アセ・カ°・プブル adj. 十分に罪のある | 「補語」 |
| pour que プール・ク adv. ～するほど、～するために | 「副詞節」 |
| Dieu ティユ n.m 神が | 「主語」 |
| ne ...pardonnât pas, ス...パ°ルト°ナ°パ° 接・3 単半・否定(pardonner) v.t 許さない | 「動詞句」 |
| lui リュイ pron 彼を | 「目的語」 |
| mais メ conj. しかし | |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| il fallait イル・ファレ 3 単半・非人称(il falloir)v.h (que) ～が必要である | 「動詞句」 |
| pour cela プール・スラ adv. そのためには | 「副詞句」 |
| que ク conj. ～ということが | 「主語」 |
| l'homme ロム n.m 人は | 「主語」 |
| par son repentir パール・ソ°ン・ルポ°ンチール adv. 悔い改めによって | 「副詞句」 |
| devînt トゥヴ°アン 接・3 単半・推量(devenir)v.i ～になるだろう | 「動詞」 |
| comme un enfant コム・アン・オンフォン adv. 子供のように | 「副詞句」 |
| dont ドン adv. それによって | 「形容詞節」 |
| l'âme ラーム n.f 魂は | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| vide ヴァイツ° adj. 空っぽの | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| prête プレツ adj.f(à に) 準備ができている | 「補語」 |
| à tout accueillir. ア・トゥ・アキュエイール adv. (目的) すべてを受け入れる | 「副詞句」 |

判事は、もう僕に関心がないように見えた、その上、僕の件をすでに何らかの分類に評価し
終えているようにも見えた。[C-2-1]

Il semblait que le juge ne s'intéressât plus à moi et qu'il eût classé mon cas en quelque
sorte. 「動詞」「主語」 et 「主語」

Il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 及び qu' 以降の節)

semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i ～のように見えた 「動詞」

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| que ク conj. ～ということは | 「主語」 |
| le juge ル・ジュージュ n.m 判事は | 「主語」 |
| ne s'intéressât plus ヌ・ソントレッサ・プリュ 3 単過・否定(s'intéresser) | |
| v.pr(à に) もう関心がなくなった | 「動詞句」 |
| à moi ア・ムわ adv. 僕に | 「間接目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| qu' ク conj. ～ということは | 「主語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| eût classé イ・クラッセ 接・3 単半・完了形・推量(classer) | |
| v.t 評価してしまったかもしれない | 「動詞句」 |
| mon cas モン・カ n.m 僕の件を | 「目的語」 |
| en quelque sorte. エン・ケルキ・ソルト adv. 何らかの分類に | 「補語」 |

少し非対称な彼の顔には、明確な感情を表に出さず、注意深く僕を観察しているととても澄んだ2つの目だけしか見えなかった。[C-2-3]

Dans son visage un peu asymétrique, je ne voyais que ses deux yeux très clairs qui m'examinaient attentivement, sans rien exprimer qui fût définissable.

| | |
|---|-------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 |
| Dans son visage トン・ソンのヴィザージュ adv. 彼の顔には | 「副詞句」 |
| un peu asymétrique, アン・プ・アシメトリキ adj. 少し左右非対称な | 「形容詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne voyais que ヌ・ヴァイェ・ク 1 単半(voir)v.t. ～しか見えなかった | 「動詞句」 |
| ses deux yeux, セ・ドゥ・ジュ pl.n.m 2つの目 | 「目的語」 |
| très clairs, トレ・クレール adj. とても澄んだ | 「形容詞句」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| examinaient エグザミネ 3 複半(examiner)v.t 観察していた | 「動詞」 |
| attentivement, アトンチガモン adv. 注意深く | 「副詞」 |
| sans rien exprimer ソン・リヤン・エクスプリメ adv. 何も表さずに | 「副詞句」 |
| qui キ pron (同格) ～という | 「形容詞節」 |
| fût フュ 接・3 単半・推量(être)v.i. ～だった | 「動詞」 |
| définissable. デフィニサブル | |
| adj. 明確な、定義できる | 「補語」 |

僕は、この抗いがたいメカニズムから脱出し、死刑執行の前に失踪して、警察の非常線を突破できた死刑囚の前例があったのではないかと何度自問したか分からない。[C-2-5]

Je ne sais combien de fois je me suis demandé s'il y avait des exemples de condamnés à mort qui eussent échappé au mécanisme implacable, disparu avant l'exécution, rompu les cordons d'agents.

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne sais ノセ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない

「動詞句」

combien de fois コンビヤン・ドゥ・フワ conj. 何回～したかということ

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis demandé ム・シュイ・ドゥ・モンテ 1 単現・完了形(se demander)

v.pr 自問した

「動詞句」

s' シ conj. ～かどうかということ

「目的語」

il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t ～があった

「動詞句」

des exemples デ・セグザンプル pl.n.m 例が

「目的語」

de condamnés à mort トゥ・コンダムネ・ア・モール

adj. 死刑囚の

「形容詞句」

qui キ pron.pl (主語) ～する

「形容詞節」

eussent échappé イス・エシャペ 接・3 複半・完了形・推測(échapper)

v.i 逃げた

「動詞句」

au mécanisme implacable, オ・メカニスム・アンプレカーブル

adv. 抵抗し難いメカニズムから「副詞句」

disparu ディスパリュ 接・3 複半・完了形・推測(disparaître)

v.i 見えなくなった、失踪した「動詞句」

avant アヴァン prep (時間) ～の前に「副詞句」

l'exécution, レグゼキューション

n.f 死刑執行、処刑「目的語」

rompu ロンピュ 接・3 複半・完了形・推測(rompre)

v.t 破った、突破した

「動詞句」

les cordons レ・コルトン

pl(cordon).n.m ひも、非常線

「目的語」

d'agents. タグション

adj. 警察の

「形容詞句」

大事なことは、脱走のチャンスだ。すなわち、冷酷な儀式の外への飛び出しや、希望のすべての可能性をかなえてくれる一心不乱の疾走についてだ。[C-2-5]

Ce qui comptait, c'était une possibilité d'évasion, un saut hors du rite implacable, une course à la folie qui offrit toutes les chances de l'espoir.

「主語」「動詞」「補語」, 「補語」

Ce ク pron そのことは

「主語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

comptait, コンテ 3 単半・時制の一致(compter)v.i 重要である

「動詞」

c' ス pron それは

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

une possibilité ユンス・ポシビリテ n.f チャンス、可能性、手段

「補語」

d'évasion, デウヴァンション adj. 脱出の、脱走の

「形容詞句」

un saut アン・ソー n.m 一飛び、飛び出し

「補語」

hors du rite オール・ジュ・リト adv. 儀式の外への

「副詞句」

implacable, アンプラカブル adj. 冷酷な、容赦のない

「形容詞」

une course ユンス・クルス n.f 疾走

「補語」

à la folie ア・ラ・フォー adv. 夢中の、一心不乱の

「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

offrit オフリ 接・3 単半・可能性・推量(offrir)v.t 与えてくれる

「動詞」

toutes les chances トゥット・レ・ションス pl.n.f すべての可能性を

「目的語」

de l'espoir. ドゥ・ウ・レスプ・ワール adj. 希望の

「形容詞句」

Ce qui compte, c'est... 「大事なことは～だ」

そうなると、煩わしいことになる。受刑囚は処刑装置が適切に作動することを願うのみだ。

[C-2-5]

Par suite ce qu'il y avait d'ennuyeux, c'est qu'il fallait que le condamné souhaitât le bon fonctionnement de la machine.

「副詞句」「主語」, 「主語」「動詞」「補語」

Par suite パール・シュイト adv. その結果として、従って

「副詞句」

ce ス pron それは

「主語」

qu' ク conj. (同格) ～ということ

「形容詞節」

il y avait イ・リ・ヤヴェ 3 単半・存在・時制の一致(il y avoir)

v.t ～がある

「動詞句」

d'ennuyeux, ドンニユエ n. 厄介なこと、煩わしいこと

「目的語」

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

qu' ク conj. ～ということ

「補語」

文の構成要素

il fallait que イル・ファレ・ク 非人称・3 単半・時制の一致 conj. ～しなければならない
 le condamné ル・コンダムネ n.m 受刑者は 「主語」
 souhaitât スェタ 接・3 単半・推量(souhaiter)v.t 願うだろう 「動詞」
 le bon fonctionnement ル・ボン・フォンクシヨモン n.m 適切な動作を 「目的語」
 de la machine. トゥ・ラ・マシーヌ adj. 処刑装置の 「形容詞句」

すべてが問題なく順調に運ぶことが、彼にとっては利益なのだ。[C-2-5]

C'était son intérêt que tout marchât sans accroc. 「動詞」「補語」「主語」
 C' ス pron 仮の主語（真の主語は que 以降）
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 son intérêt ソン・アンテレ n.m 彼の利益 「補語」
 que ク conj. ～ということが 「主語」
 tout トゥ pron.m すべてが 「主語」
 marchât マルシャ 接・3 単半・假定(marcher)v.i (物事が) うまく運ぶ 「動詞」
 sans accroc. ソン・アクロ adv. 障害なく、問題なく 「副詞句」

僕がもっと早くそのことに気が付かなかったのは、全くおかしな話だ。[C-2-5]

C'était assez drôle que je ne m'en fusse pas avisé plus tôt. 「動詞」「補語」「主語」
 C' ス pron 仮の主語（真の主語は que 以降）
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 assez drôle アセ・ドロール adj. まったくおかしな 「補語」
 que ク conj. ～ということは 「主語」
 感情を表す drôle に導かれる節は、接続法を用いる
 je ジェ pron 僕が 「主語」
 ne m'... fusse pas avisé ヌ・ム...フュス・パ・アヴィゼ 接・1 単半・完了形(s'avisé)
 v.pr(à に) 思いつかなかった 「動詞句」
 en エン adv. そのことに 「間接目的語」
 plus tôt. プリュ・ト adv. もっと早く 「副詞句」

僕は、これほど長い間僕に付き添ってきたこの物音がよもや止むことがあるとは想像できない。僕はいまだかつて本当の想像力があつたことがない。[C-2-5]

Je ne pouvais imaginer que ce bruit qui m'accompagnait depuis si longtemps pût jamais cesser. Je n'ai jamais eu de véritable imagination.
 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」
 Je ジェ pron 僕は 「主語」
 ne pouvais imaginer ヌ・プヴィエ・イマジネ 1 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞)

文の構成要素

| | |
|--|--------|
| v.t 想像できない | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| ce bruit ク・ブリユイ n.m この物音が | 「主語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron 僕に | 「目的語」 |
| accompagnait アコンパニエ 3 単半(accompagner) | |
| v.t 付き添ってきた | 「動詞」 |
| depuis si longtemps トゥビエイ・シ・ロント | |
| adv. これほど長い間 | 「副詞句」 |
| pût jamais cesser. ビュ・ジャメ・セッセ 接・3 単半・可能性・強調(pouvoir+不定詞+ jamais) | |
| v.i よもや止むことがあるとは | 「動詞句」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai jamais eu ネ・ジャメ・ジ 1 単現・完了形・否定・強調(avoir) | |
| v.t いまだかつて～があったことがない | 「動詞句」 |
| de véritable imagination. トゥ・ヴェリタブル・イマジナシオン n.f 本当の想像力を | 「目的語」 |
| de は否定の冠詞 | |

条件法・現在と過去

結婚して 1 ヶ月が過ぎた。ある日、青ひげは仕事のために 6 週間地方に行かなければなら
ないと妻に告げた。[A-2]

Un mois s'écoula après le mariage. Un beau jour, la Barbe Bleue annonça à sa femme
qu'il devrait partir en province pendant six semaines pour des affaires.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
Un mois アン・ムわ n.m 1 ヶ月が 「主語」
s'écoula セクラ 3 単過(s'écouler)v.pr (時が) 流れた 「動詞句」
après le mariage. アプレ・ル・マリージュ adv. 結婚後に 「副詞句」
Un beau jour, アン・ボ・ジュール n.m ある日 (突然) 「副詞句」
la Barbe Bleue ラ・バルブ・ブル n.f 青ひげは 「主語」
annonça アンサ 3 単過(annoncer)v.t 告げた 「動詞」
à sa femme ア・サ・ファム adv. 妻に 「間接目的語」
qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
devrait partir トゥヴレ・パルティール 条・3 単現・必要(devoir+不定詞)
v.i 出発しなければならない 「動詞句」
en province オン・プロヴァンス adv. 地方に 「副詞句」
pendant six semaines ポント・シ・スメヌ adv. 6 週間 「副詞句」
pour des affaires. プール・デ・ザフェール adv. 仕事のために 「副詞句」

「すぐに降りて来い！さもなければ俺がそっちへ行くぞ」男は怒ってしまいました。

[A-2]

《Descends immédiatement, ou je monterai là-haut! s'énerva l'homme.

《「動詞」「副詞」 ou 「動詞」「副詞」》, 「動詞」「主語」
Descends デツン 命・2 単現(descendre)v.i 降りて来い 「動詞」
immédiatement, イメディヤットモン adv. すぐに 「副詞」
ou ウ conj. さもなければ
je ジュ pron 俺が 「主語」
monterai モントレ 条・1 単現(monter)v.i 上がっていくぞ 「動詞」
là-haut! ラ・オ adv. そっちへ 「副詞」
s'énerva セネルヴァ 3 単過(s'énervier)v.pr 怒った、興奮した 「動詞句」
l'homme. ム n.m 男は 「主語」

「なんて素晴らしい天気でしょう、でもなんて暑いんでしょう！では、川に水浴に行ってみてはいかがでしょう？だんな様！きっと気持ちがよくなると思いますよ」[A-3]

《Quel temps magnifique, mais quelle chaleur! Et si vous alliez vous baigner à la rivière, Maître? Je suis sûr que cela vous ferait du bien.》

《「感嘆」 mais 「感嘆」 | Et 「主語」「動詞句」「間接目的語」「呼びかけ」
「主語」「動詞」「補語」》

Quel temps magnifique, ケル・トン・マニフィク int. なんて素晴らしい天気でしょう 「感嘆」
mais メ conj. でも
quelle chaleur! ケル・シャレール int. なんと暑いのでしょうか！ 「感嘆」
Et エ conj. それでは
si シ conj. (独立節・勧誘) ～したらどうでしょうか？
vous ヴェ pron あなたは 「主語」
alliez +不定詞 アリエ 接・2 複現(aller+不定詞)v.i ～しに行ってみる 「動詞句」
vous baigner ヴェ・ベニエ 不定詞(se baigner)v.pr 水浴をする 「動詞句」
à la rivière, ア・ラ・リヴィエール adv. 川に 「間接目的語」
Maître? メートル n.m だんな様 「呼びかけ」
Je ジュ pron 私は 「主語」
suis シュイ 1 単現 (être) v.i ～である 「動詞」
sûr シュール adj.(que ～であることを) 確信した 「補語」
que ク conj. ～ということ 「目的語」
cela スラ pron それは 「主語」
vous ヴェ pron あなたを 「目的語」
ferait フレ 条・3 単現(faire)v.t するだろう 「動詞」
du bien.》 ジュ・ビヤン adj. 快適な 「補語」

「われわれは散歩をしていたところです、できれば一緒に散歩を続けられたらうれしいのだが、侯爵。」[A-3]

《Nous étions en train de faire une promenade, et serions ravis de continuer en votre compagnie, Marquis.》 《「主語」「動詞」「補語」 et 「動詞」「補語」「副詞句」》

Nous ノス pron 我々は 「主語」
étions エション 1 複半(être)v.i ～だった 「動詞」
en train de +不定詞 オン・トラン・ドゥ adv. ～する最中 「補語」
être en train de +不定詞 「～している最中である」
faire フェール 不定詞 v.t する 「動詞」
une promenade, ユンヌ・プロムナード n.f 散歩 「目的語」
et エ conj. そして

文の構成要素

| | | | |
|---------------------|------------------------|-----------|--------|
| serions | シリヨ 条・1 複現・勧誘(être)v.i | ～だろう | 「動詞」 |
| ravis | ラヴィ adj.pl | うれしい | 「補語」 |
| de +不定詞 | トゥ adv. | (条件) ～すれば | 「副詞句」 |
| continuer | コンティニュエ 不定詞 v.i | 続ける | 「動詞」 |
| en votre compagnie, | オン・ヴァ・オトール・コンパニー adv. | 貴方と一緒に | 「副詞句」 |
| Marquis.》 | マルキ n.m | 公爵 | 「呼びかけ」 |

「なんと？この城は侯爵のものだと？」王様はびっくりして叫びました。「是非とも、なか
を見て見たいものだ」[A-3]

--- Comment? Ce château appartient au Marquis? s'exclama le roi. Je souhaiterais
vivement le visiter. 《「確認」 | 「主語」「動詞」「間接目的語」》, 「動詞句」「主語」,
《「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」》

| | | | |
|-------------------|----------------------------------|--------------|---------|
| --- Comment? | コモン adv. | なんと？ | 「確認」 |
| Ce château | ス・シャトー n.m | この城は | 「主語」 |
| appartient | アパルチアン 3 単現(appartenir)v.i (à の) | 所有である | 「動詞」 |
| au Marquis? | オ・マルキ adv. | 侯爵の | 「間接目的語」 |
| s'exclama | セクスラマ 3 単過(s'exclamer)v.pr | 叫んだ、大きな声を出した | 「動詞句」 |
| le roi. | ル・ルイ n.m | 王様が | 「主語」 |
| Je | ジュ pron | わしは | 「主語」 |
| souhaiterais +不定詞 | ステウレ 条・1 単現・願望(souhaiter+不定詞) | | |
| v. | できれば～したいと思う | | 「動詞句」 |
| vivement | ヴィーヴモン adv. | 強く、ぜひとも | 「副詞」 |
| le | ル pron (Ce château の代用) | それを | 「目的語」 |
| visiter. | ヴィジテ 不定詞 v.t | 見物する | 「動詞」 |

両親が話し合っている間、子供たちは自分たちの寝室で眠っていたので、誰もどんな運命が
彼らを待ち受けているかと言う事に気づきませんでした。[A-4]

Pendant que les parents discutaient, les enfants dormaient dans leur chambre et
personne ne se douta de ce que le destin leur préparait...

| | | | |
|-------------------|--------------------------|--|-------|
| | | 「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「間接目的語」 | |
| Pendant que | ポントンスキ conj. | ～する間に | 「副詞節」 |
| les parents | レ・パロン pl.n.m | 両親が | 「主語」 |
| discutaient, | ディスキュテ 3 複半(discuter)v.t | 話し合っていた | 「動詞」 |
| les enfants | レ・ゾンフオン pl.n.m | 子供たちは | 「主語」 |
| dormaient | ドルム 3 複半(dormir)v.i | 眠っていた | 「動詞」 |
| dans leur chambre | ドン・レール・シヨンプル adv. | 自分たちの寝室で | 「副詞句」 |

文の構成要素

et エ conj. それで
 personne ペルソヌ pron 誰も～ない 「主語」
 ne se douta ヌ・ス・ドゥタ 3 単過・否定(se douter)v.pr (de に) 気付かなかった 「動詞句」
 de ce ドゥ・ス adv. ことに 「間接目的語」
 que ク pron (直接目的語) 何を～するかという 「形容詞節」
 le destin ル・デスタン n.m 運命が 「主語」
 leur レール pron 彼らに 「間接目的語」
 préparait... プレパレ 条・3 単現(préparer)v.t 用意している 「動詞」

「今できることを、明日まで待つ意味があるのか？小僧たちを一目見に行ってみよう」

[A-4]

《Pourquoi attendre demain ce que je pourrai faire maintenant? Allons jeter un coup d'oeil à ces petits.》
 《「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」「副詞句」》
 《Pourquoi +不定詞 プルクワ adv. ～して何になるのか 「副詞句」
 attendre アントドル 不定詞 v.t 待つ 「動詞」
 demain トゥマン adv. 明日まで 「副詞」
 ce ス pron ことを 「目的語」
 que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 je ジュ pron 俺が 「主語」
 pourrai faire プレフェール 条・1 単現・可能(pouvoir+不定詞)
 v.t することができるだろう 「動詞句」
 maintenant? マントゥノン adv. 今 「副詞」
 Allons jeter アロン・ジュテ 1 複現・勧誘(aller+不定詞)
 v.t 投げに行こうじゃないか 「動詞句」
 un coup d'oeil アン・ク・ドゥイユ n.m 一瞥を 「目的語」
 à ces petits.》 ア・セ・プティ adv. 小僧たちを 「副詞句」

「陛下、もしお望みならば、戦場の様子を今日中にお知らせすることが出来るのですが」

[A-4]

《Votre Majesté, si vous le souhaitez, je pourrais vous rapporter les nouvelles du front dans la journée.》
 《「呼びかけ」, 「副詞節」,
 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 副詞句》
 《Votre Majesté, ヴォトル・マジエステ adv. 陛下 「呼びかけ」
 si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
 vous ヴ pron あなたが 「主語」
 le ル pron それを 「目的語」

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| souhaitez, スエテ 2 複現(souhaiter)v.t 望む | 「動詞」 |
| je ジェ pron 私は | 「主語」 |
| pourrais +不定詞 プレ 条・1 単現・可能・語調緩和(pouvoir+不定詞) | |
| v. ～できるのですが | 「動詞句」 |
| vous ヴェ pron あなたに | 「間接目的語」 |
| rapporter ラポルテ 不定詞 v.t 知らせる | 「動詞句」 |
| les nouvelles レ・ヌヴェル pl.n.f ニュースを | 「直接目的語」 |
| du front ジュ・フロン adj. 戦線の | 「形容詞句」 |
| dans la journée.》 トン・ラ・ジュールネ adv. 今日中に | 「副詞句」 |

彼は、若い内なら彼のところに慣れるだろうと思って、今回は若い山羊を買いました。

[A-5]

| | |
|--|-------------------------|
| <u>Il choisit cette fois-ci une jeune chèvre, en pensant qu'ainsi, elle pourrait s'habituer chez lui dès son plus jeune âge.</u> | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| choisit ショワジ 3 単過(choisir)v.t 選んだ | 「動詞」 |
| cette fois-ci セット・フワ・シ adv. 今回は | 「副詞句」 |
| une jeune chèvre, ムヌ・ジユヌ・シェヴル n.f 若い山羊を | 「目的語」 |
| en pensant オン・ボンソン ジェロンディフ(penser)v.t(que) ～と考えて | 「副詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| ainsi, オンシ adv. ～のように | 「副詞」 |
| elle エル pron 山羊が | 「主語」 |
| pourrait s'habituer プレ・サ・ビチュエ 条・3 単現・推測(pouvoir+不定詞) | |
| v.pr 慣れてくれるだろう | 「動詞句」 |
| chez lui シェ・リュイ adv. 彼のところに | 「副詞句」 |
| dès デ prep ～から | 「副詞句」 |
| son plus jeune âge. ソン・プ・リュ・ジユ・ナージュ | |
| n.m ずっと若い年齢 | 「目的語」 |

「あそこは素晴らしいに違いない。綱も囲いもなく、好きなだけ飛び跳ねることが出来るだろう」[A-5]

| | |
|--|-------------------------------------|
| 《 <u>Ca doit être bien là-bas. Sans corde ni enclos, on pourrait gambader autant qu'on veut.</u> | 「主語」「動詞句」「補語」 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞節」 |
| 《Ca サ pron それは | 「主語」 |
| doit être トゥワ・エートル 3 単現・推定(devoir+不定詞)v.i ～に違いない | 「動詞句」 |
| bien ビヤン adj. 素晴らしい | 「補語」 |

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| là-bas. ラ・バー adv. あそこでは | 「副詞句」 |
| Sans corde ツン・コルト ^ス adv. 綱はなくて | 「副詞句」 |
| ni enclos, ニ・オンクロ adv. 囲いもない | 「副詞句」 |
| on オン pron 自分は | 「主語」 |
| pourrait gambader プレ・ゴンバデ ^テ 条・3 単現・推測(pouvoir+不定詞) | |
| v.i 飛び跳ねることができるだろう | 「動詞句」 |
| autant qu' オトン・キ conj. ーと同じくらい | 「副詞節」 |
| on オン pron 自分が | 「主語」 |
| veut. ヴ ^テ 3 単現(vouloir)v.t 望む | 「動詞」 |

一晩中戦い続けて、朝には食り食われてしまったルノード婆さんの話を思い出して、ブランケットはすぐに食べられてしまったほうがましだと思ったでしょう。[A-5]

En se rappelant l'histoire de la vieille Renaude qui se battit toute la nuit et qui se fit dévorer au matin, Blanquette aurait préféré se faire manger tout de suite.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

En se rappelant オン・ス・ラプ^{ロン} ジェロンディフ(se rappeler)adv. ーを思い出して 「副詞句」

l'histoire リストわ・ル n.f 話を 「目的語」

de la vieille Renaude ト^ク・ラ・ウ^イエイユ・ルノ^{ード}

adj. ルノード婆さんの 「形容詞句」

qui キ pron (主語) ーする 「形容詞節」

se battit ス・バチ 3 単過(se battre)v.pr 戦った 「動詞句」

toute la nuit トゥット・ラ・ニュイ adv. 一晩中 「副詞句」

et エ conj. そして

qui キ pron (主語) ーする 「形容詞節」

se fit dévorer ス・フィ・テウ^{オル} 3 単過・使役(se faire+不定詞: ーされる)

v.t 食り食われた 「動詞句」

au matin, オ・マタン adv. 朝に 「副詞句」

Blanquette ブランケット n.f ブランケットは 「主語」

aurait préféré +不定詞 オーレ・プレフェレ^レ 条・3 単現・完了形・推量(préférer+不定詞)

v. ーするほうがましだと思ったでしょう 「動詞句」

se faire manger ス・フェール・モンジ^エ 不定詞・使役 v.pr 食べられる 「動詞句」

tout de suite. トゥ・ド^ク・シュイット adv. すぐに 「副詞句」

そのほうが余り苦しまないで済むでしょう。しかし驚いたことに、彼女はオオカミをまっすぐ見つめて、頭を下げ、角を前に出して、勇敢なヤギのように戦いに備えました。[A-5]

Elle souffrirait moins. Mais non, étonnamment, elle fixa tout droit le loup, baissa la tête pour mettre ses cornes en avant, et se prépara au combat comme une brave chèvre.

「主語」「動詞句」 | Mais 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」,
「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Elle エル pron 彼女は 「主語」

souffrirait moins. スフリレ・ムワソ 条・3 単現・推量・否定(souffrir+moins)

v.i あまり苦しまないだろう (と思った) 「動詞句」

Mais メ conj. しかし

non, ノン adv. いいえ 「副詞」

étonnamment, エトナモン adv. 驚いたことに 「副詞」

elle エル pron 彼女は 「主語」

fixa フィクサ 3 単過(fixer)v.t (相手を) 見つめた 「動詞」

tout droit トゥ・ド・ウルワ adv. まっすぐに 「副詞句」

le loup, ル・ルー n.m オオカミを 「目的語」

baissa ベッサ 3 単過(baisser)v.t 下げた 「動詞」

la tête ラ・テット n.f 頭を 「目的語」

pour +不定詞 プール adv. (継続) そして～する 「副詞句」

mettre メットル 不定詞 v.t 置く、～に向ける 「動詞」

ses cornes セ・コルス pl.n.f 角を 「目的語」

en avant, オン・アヴァン adv. 前に 「副詞句」

et エ conj. そして

se prépara ス・プレパラ 3 単過(se préparer)v.pr 準備した 「動詞句」

au combat オ・コンバ adv. 戦いに 「間接目的語」

comme une brave chèvre. コム・ユヌ・ブラヴァ・シェブル adv. 勇敢なヤギのように 「副詞句」

僕は、できることなら、この話を妖精物語のように始めたかったのだが。[B-4]

J'aurais aimé commencer cette histoire à la façon des contes de fées.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais aimé commencer オーレ・エメ・モンセ 条・1 単現・完了形・願望(aimer+不定詞)

v.t (条件法過去) 出来ることなら～を始めたかったのだが 「動詞句」

cette histoire セット・イストワール n.f この話を 「目的語」

à la façon des contes de fées ア・ラ・ファゾン・デ・コント・ドゥ・フェ

adv. 妖精の物語のような調子で 「副詞句」

文の構成要素

僕はこんな風に話したかった：[B-4]

J'aurais aimé dire :

「主語」「動詞句」:

J' ジュ pron 私は

「主語」

aurais aimé dire オレ・エメ・デーレ 条・1 単現・完了形・願望(aimer+不定詞)

v.t. ～と言いたかったのだが

「動詞句」

人生を知っている人たちにとっては、この語り口の方がはるかに本当らしい様子をしてい
たかもしれない。[B-4]

Pour ceux qui comprennent la vie, ça aurait eu l'air beaucoup plus vrai.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Pour ceux プール・スー adv. ～のような人たちにとって

「副詞句」

qui キ pron ～する人

「形容詞節：ceux」

comprennent コンプレヌ 3 複現(comprendre)

v.t. 知っている

「動詞」

la vie ラ・ヴィー n.f. 人生を

「目的語」

ça サ pron それは

「主語」

aurait eu オレイ 条・3 単現・完了形(avoir)v.t. (見えた) だろう

「動詞句」

l'air レール n.m. 様子

「目的語」

avoir l'air +形容詞 ～のように見える

beaucoup plus vrai ボク・プリュ・ヴレ adj. もっと本当らしい

「形容詞句：air」

もちろん、ぼくは肖像画をかぎりなく本物そっくりに描くようにつとめる。[B-4]

J'essaierais, bien sûr, de faire des portraits le plus ressemblants possible.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 私は

「主語」

essaierais, bien sûr, de faire エセレイ・ビヤン・シュール・トォウ・フェール 条・1 単現(essayer de+不定詞)

v.t. もちろん～しようと努めようと思う

「動詞句」

des portraits デ・ポルトレ pl.n.m. 肖像画を

「目的語」

le plus ressemblants possible ル・プリュ・ルソンプ ロン・ホッシーブル

adj. 可能な限り似ているような

「形容詞句：portraits」

僕は、もちろん、肖像画を描こうと試みる、可能な限り似ているように。

僕は王子様に、バオバブは低木ではなくて、教会のように大きな木であること、王子様が象の群れ全体を連れて行っても、その群れはたった一本のバオバブも食べつくせないだろうということを気づかせた。[B-5]

Je fis remarquer au petit prince que les baobabs ne sont pas des arbustes, mais des arbres grands comme des églises et que, si même il emportait avec lui tout un troupeau d'éléphants, ce troupeau ne viendrait pas à bout d'un seul baobab.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

fis remarquer フィ・マルケ 1 単過・使役(faire+不定詞 remarquer +à qn)

v.t (人に～を) 気づかせた

「動詞句」

不定詞は au petit prince の動作を表す「補語」の働きをしている

au petit prince オ・プティ・フランス adv. 王子様に

「間接目的語」

que ク conj. ～ということ

「直接目的語」

les baobabs レ・バオバブ pl.n.m バオバブは

「主語」

ne sont pas ノ・ソ・パ° 3 複現(être)v.i ～ではない

「動詞句」

des arbustes デ・サルビュスト pl.n.m 低木

「補語」

mais メ conj. それどころか

des arbres grands デ・サルブル・グロン pl.n.m 大きな木

「補語」

comme des églises コム・デ・セグリズ° adj. 教会のように「形容詞句：arbres」

et エ conj. そして

que ク conj. ～ということ

「直接目的語」

si même シ・メルム adv. たとえ～しても

「副詞節」

il イル pron 王子様が

「主語」

emportait オンポルテ 3 単半(emporter)v.t 連れてくる

「動詞」

avec lui アヴ・ェッキ・リュイ adv. 一緒に

「副詞句」

tout un troupeau d'éléphants トゥ・タン・トルポ°・デレフォン

n.m 象の群れ全体を

「目的語」

ce troupeau ス・トルポ° n.m その群れは

「主語」

ne viendrait pas à bout d' ノ・ヴィヤントレ・パ°・ア・ブ°・ドゥ 条・3 単半・否定・推量

v.t ～を食べつくせないだろう

「動詞句」

venir à bout de... ～を終える、に打ち勝つ、～を食べつくす

un seul baobab アン・スル・バオバブ n.m 一本のバオバブさえも

「目的語」

バオバブの危険さはあまり知られていないし、小惑星で道に迷った人が冒す危険というのはあまりにも大きいので、一度だけ、僕の慎みに例外を設けて、こう言いたい。「おーい、子供たちよ、バオバブには注意するんだよ！」[B-5]

Mais le danger des baobabs est si peu connu, et les risques courus par celui qui s'égarerait dans un astéroïde sont si considérables, que, pour une fois, je fais exception à ma réserve. Je dis: 《Enfants! Faites attention aux baobabs!》

Mais 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞」「補語」

que 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞」: 《「呼びかけ」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」》

Mais メ conj. しかし

le danger des baobabs ル・ドンジエ・デ・バオバブ n.m バオバブの危険性 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

si peu connu シ・プ・コニュ adj. ほとんど知られていない 「補語」

et エ conj. それに

les risques レ・リスキ pl.n.m 危険 「主語」

courus クュ 過去分詞 adj. 冒された 「形容詞句: risques」

par celui パール・スエイ adv. 誰かによって 「副詞句」

qui キ pron 〜する 「形容詞節: celui」

s'égarerait セガル 条・3 単現(s'égarer)

v.pr 道に迷う 「動詞句」

dans un astéroïde ドン・サン・アステロイト

adv. 小惑星で 「副詞句」

sont ヲン 3 複現(être)v.i 〜である 「動詞」

si considérables シ・コンシデラブル adj. とても甚大な 「補語」

que ク conj.(si...que) だから

pour une fois プール・ユヌ・フワ adv. 一度だけ、例外的に 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

fais フェ 1 単現(faire)v.t 作る 「動詞」

exception エクセプション n.f 例外を 「目的語」

à ma réserve ア・マ・レゼルヴ adv. 僕の控えめな態度に 「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

dis デイ 1 単現(dire)v.t 言う 「動詞」

Enfants オンフォン pl.n. 子供たちよ 「呼びかけ」

Faites フェット 命・2 複現(faire)v.t しなさい 「動詞」

attention アトシヨン n.f 注意を 「直接目的語」

aux baobabs オ・バオバブ adv. バオバブに 「間接目的語」

だから、日の入りを見物するためには、一分でフランスに行ければ十分であろう。[B-6]

Il suffirait de pouvoir aller en France en une minute pour assister au coucher du soleil.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Il イル pron 非人称主語

「主語」

suffirait de pouvoir aller シフィレ・ド・ウ・プ・ウ・ワ・ル・アレ 条・3 単現(suffire de pouvoir+不定詞)

v.i 行けたら十分だろう

「動詞句」

en France オン・フロンス adv. フランスに

「間接目的語」

en une minute オン・ユヌ・ミニュット adv. 1 分で

「副詞句」

pour assister プール・アシステ adv. (目的・仮定) 見物するには

「副詞句」

au coucher du soleil オ・グシェ・ド・ウ・ソレイユ adv. 日の入りを

「間接目的語」

大きな蕾が育っていくのを目撃した王子様は、そこから奇跡が現れてくるのを感じていた。

ところが花は、緑の部屋のかげで美しくなるためのお化粧を止めそうにない。[B-8]

Le petit prince, qui assistait à l'installation d'un bouton énorme, sentait bien qu'il en sortirait une apparition miraculeuse, mais la fleur n'en finissait pas de se préparer à être belle, à l'abri de sa chambre verte.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」「副詞句」

Le petit prince ル・プティ・フランス n.m 王子様は

「主語」

qui キ pron ～する

「形容詞節：prince」

assistait アシステ 3 単半(assister)v.i(à)を目撃していた

「動詞」

à l'installation ア・ランスタリション adv. 取り付けを

「目的語」

d'un bouton énorme タン・ブトン・エノルム

adj. 巨大な蕾の

「形容詞句：l'installation」

sentait ソンテ 3 単半(sentir)v.t 感じていた

「動詞」

bien ビヤン adv. 十分に

「副詞」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 形式主語

en オン adv. そこから

「副詞」

sortirait ソルティール 条・3 単現(sortir)v.i (結果が) 生じる

「動詞」

une apparition miraculeuse ユヌ・アパ・リション・ミラクユールズ n.f 奇跡の出現

「主語」

mais メ conj. しかし

la fleur ラ・フルール n.f 花は

「主語」

n'en finissait pas de se préparer ノン・フィニセ・パ・ド・ウ・ス・プレパレ 3 単半・終了・否定

v.pr その中でずっとお化粧を続けていた

「動詞句」

à être belle ア・エトル・ベル adv. 美しくなるために

「副詞句」

文の構成要素

à l'abri de ア・ラブリ・ドゥ adv. 〜に守られて 「副詞句」
sa chambre verte サ・シヨンブル・ヴェルト n.f 緑の部屋 「目的語」

「朝食の時間だと思うわ。恐れ入りますがあたくしのことを考えていただけないでしょうか...」やがて彼女はそう付け加えた。[B-8]

《C'est l'heure, je crois, du petit déjeuner, avait-elle bientôt ajouté, auriez-vous la bonté de penser à moi ...》 《「動詞」「補語」, 「副詞節」, 「動詞句」「主語」「副詞」「動詞句」, 「動詞」「主語」「目的語」》

C' ス pron 形式主語

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

l'heure ルール n.f 時間 「補語」

je crois ジュ・クルわ adv. 私は思うのだけれど 「副詞節」

du petit déjeuner ジュ・プティ・デジユネ adj. 朝食の 「形容詞句: heure」

avait ...ajouté アヴェ...アジユテ 3 単半・完了形(ajouter)v.t 付け加えた 「動詞句」

elle エル pron 彼女は 「主語」

bientôt ビヤント adv. やがて 「副詞」

auriez オエ 条・2 複現(avoir)v.t 持っていたけなんでしょうか 「動詞」

vous ヴェ pron あなたは 「主語」

la bonté ラ・ボンテ n.f 優しさ 「目的語」

de penser à moi ドゥ・ポンセ・アムわ adj. 私のことを考える 「形容詞句: bonté」

「虎なんかちっとも怖くないけど、空気の流れが嫌なの。衝立、ひとつもお持ちでなくて？」
[B-8]

--- Je ne crains rien des tigres, mais j'ai horreur des courants d'air. Vous n'auriez pas un paravent?》 《「主語」「動詞句」「目的語」, mais 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

Je ジュ pron 私は 「主語」

ne crains rien ノ・クラン・リヤン 1 単現・否定(craindre)v.t 少しも恐れない 「動詞句」

des tigres デ・ティグール pl.n.m 虎なんて 「目的語」

mais メ conj. けれど

j' ジュ pron 私は 「主語」

ai エ 1 単現(avoir)v.t 持つ 「動詞」

horreur ホール n.f 嫌悪を 「目的語」

des courants d'air デ・クロン・デアール adv. 空気の流れに 「副詞句」

→ avoir horreur de... 「〜をひどく嫌う」

Vous ヴェ pron あなたは 「主語」

文の構成要素

n'auriez pas ノエ・パ 条・2 複現・否定(avoir)

v.t (疑問文で) もしかしたら持っていませんか 「動詞句」

un paravent アン・パヴァン n.m (風除けの) 衝立を 「目的語」

「あのとき、僕は何も理解できなかったんだよ！彼女の言葉ではなく、行為によって彼女を判断すべきだったのに。」[B-8]

《Je n'ai alors rien su comprendre! J'aurais dû la juger sur les actes et non sur les mots.

《「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

n'ai alors rien su +不定詞 ネ・アロー・リヤン・シ 1 単現・完了形・否定(savoir+不定詞)

v. その時は何も～することができなかった 「動詞句」「目的語」「動詞句」

comprendre コンプ ロントル 不定詞 v.t 理解する 「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais dû +不定詞 オーレ・ジュ 条・1 単現・完了形(devoir+不定詞)

v. ～すべきだった 「動詞句」

la juger ラ・ジュジェ 不定詞(juger+la)v.t 彼女を判断する 「目的語」「動詞句」

sur les actes シュール・レ・ザクトゥ adv. 行為によって 「副詞句」

et エ conj. そして

non sur les mots ノン・シュール・レ・モ adv. 彼女の言葉ではなくて 「副詞句」

「決して彼女から逃げ出すべきではなかったんだ！あわれな企みのかげに隠れていた、彼女の優しさを見抜くべきだった。」[B-8]

Je n'aurais jamais dû m'enfuir! J'aurais dû deviner sa tendresse derrière ses pauvres ruses. 《「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

n'aurais jamais dû+不定詞 ノレ・ジャメ・ジュ 条・1 単現・完了形・否定(devoir+不定詞+ jamais)

v. ～すべきでなかった 「動詞句」

m'enfuir モンフューール 不定詞(s'enfuir)v.pr 逃げ去る 「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais dû+不定詞 オーレ・ジュ 条・1 単現・完了形 (devoir+不定詞)

v. ～すべきだった 「動詞句」

deviner トゥヴィネ 不定詞 v.t 見抜く 「動詞句」

sa tendresse サ・トントレス n.f 彼女の優しさ 「目的語」

derrière ses pauvres ruses デリエール・セ・ポーブル・リュース

adj. 哀れな策略の裏に隠れた 「形容詞句：tendresse」

「もしわしが、ある将軍に海鳥に変身しろと命令し、将軍がそれに従わない場合、その将軍が悪いのではあるまい。それはわしの過ちだろう」[B-10]

《Si j'ordonnais, disait-il couramment, si j'ordonnais à un général de se changer en oiseau de mer, et si le général n'obéissait pas, ce ne serait pas la faute du général. Ce serait ma faute.》

《「副詞節」》, 「動詞」「主語」「副詞」,

《si 「主語」「動詞」「目的語」「補語」,

et 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

| | |
|---|--------|
| Si シ conj. もし～なら | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron わしが | 「主語」 |
| ordonnais オル ^ド ネ 1 単半(ordonner)v.t 命令する | 「動詞」 |
| disait デイ ^ゼ 3 単半(dire)v.t 言っていた | 「動詞」 |
| il イル pron 王様は | 「主語」 |
| couramment クー ^ラ モン adv. いつも、日ごろから | 「副詞」 |
| Si シ conj. もし～なら | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron わしが | 「主語」 |
| ordonnais オル ^ド ネ 1 単半(ordonner)v.t 命令する | 「動詞」 |
| à un général ア・アン・ジ ^ェ ネラル adv. ある将軍に | 「目的語」 |
| de +不定詞 トゥ ^ウ v. ～するように | 「補語」 |
| se changer ス・シ ^ョ ンジ ^ェ 不定詞 v.pr 変身する | 「動詞」 |
| en oiseau de mer オン・ワ ^ヅ ・トゥ ^ウ ・メル adv. 海鳥に | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| si シ conj. もし～なら | 「副詞節」 |
| le général ル・ジ ^ェ ネラル n.m その将軍が | 「主語」 |
| n'obéissait pas ノベ ^イ セ ^ハ 3 単半・否定(obéir)v.i 従わなかった | 「動詞句」 |
| ce ス pron このことは | 「主語」 |
| ne serait pas ス・セ ^レ ・ハ 条・3 単現・否定(être)v.i ～でないだろう | 「動詞句」 |
| la faute ラ・フォ ^ト n.f 過ち | 「補語」 |
| du général ジュ・ジ ^ェ ネラル adj. 将軍の | 「形容詞句」 |
| Ce ス pron それは | 「主語」 |
| serait ス ^レ 条・3 単現(être)v.i ～だろう | 「動詞」 |
| ma faute マ・フォ ^ト n.f わしの過ち | 「補語」 |

《ほかの人たちみんなから軽蔑されるだろうな、王様からも、見栄張り男からも、呑み助からも、事業家からも》[B-14]

celui-là serait méprisé par tous les autres, par le roi, par le vaniteux, par le buveur, par le businessman. 《「主語」「動詞句」「副詞句」》

celui-là スエイ・ラ pron あの人は 「主語」
 serait méprisé スレ・メプ・リゼ 条・3 単現・受動(mépriser)v.t 軽蔑されるだろう 「動詞句」
 par tous les autres, パール・トゥ・レ・ゾートル adv. ほかの皆から 「副詞句」
 par le roi, パール・ル・ルわ adv. 王様から 「副詞句」
 par le vaniteux, パール・ル・ヴァニトゥ adv. 見栄っ張りから 「副詞句」
 par le buveur, パール・ル・ビュベール adv. 呑兵衛から 「副詞句」
 par le businessman. パール・ル・ビジネスマン adv. 事業家から 「副詞句」

「嘘をつくような探検家は、地理学の本を台なしにしてしまう。」[B-15]

---Parce qu'un explorateur qui mentirait entraînerait des catastrophes dans les livres de géographie. 《Parce qu'「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Parce qu' パルスク conj. 〜だから
 un explorateur ア・ネクスプ ロラテル n.m 探検家は 「主語」
 qui mentirait キ・モンティレ adj.条・3 単現 嘘をつくかもしれない 「形容詞節」
 entraînerait オントレヌ 条・3 単現(entraîner)v.t (結果を) もたらすかもしれない 「動詞」
 des catastrophes デ・キャタストロフ pl.n.f 破局を 「目的語」
 dans les livres de géographie. トン・レ・リーヴル・ドゥ・ジエオグラフイ
 adv. 地理学の本の内容に 「副詞句」

地球に住んでいる 20 億の人々が、集会をする時のように少々つめあって立った状態のまま
 でいたら、長さ 20 マイルに対して、幅 20 マイルの公共広場に、たやすく収まってしまう。

[B-17]

Si les deux milliards d'habitants qui peuplent la Terre se tenaient debout et un peu serrés, comme pour un meeting, ils logeraient aisément sur une place publique de vingt milles de long sur vingt milles de large. 「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」

Si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」
 les deux milliards d'habitants レ・トゥ・ミヤール・ダビトン pl.n. 20 億人の住人が 「主語」
 qui キ pron 〜する 「形容詞節」
 peuplent プーブル 3 複現(peupler)v.t 住みついている 「動詞」
 la Terre ラ・テル n.f 地球に 「目的語」
 se tenaient ス・トゥネ 3 複半(se tenir)v.pr とどまる 「動詞句」
 debout ドゥッバー adj. 立った 「補語」

文の構成要素

| | |
|---|--------|
| et エ conj. そして | |
| un peu serrés, アン・プ°・セレ adj. 少し体を寄せた | 「補語」 |
| comme pour un meeting, コム・プ°ール・アン・ミツグ° | |
| adv. 集会を開くときのように | 「副詞句」 |
| ils イル pron 人々は | 「主語」 |
| logeraient ロジユレ 条・3 複現(loger)v.i 泊まる、入る | 「動詞」 |
| aisément エゼモン adv. たやすく | 「副詞」 |
| sur une place publique シュール・ユンヌ・プ°ラース・ビ°ュブリキ adv. 公共広場に | 「副詞句」 |
| de トゥ adj. への | 「形容詞句」 |
| vingt milles de long ウ°アン・ミル・トゥ°・ロン n.m 長さ 20 マイル | 「目的語」 |
| sur シュール adv. へに対して | 「副詞句」 |
| vingt milles de large. ウ°アン・ミル・トゥ°・ラルジユ n.m 幅 20 マイル | 「目的語」 |

《もし余分に使える五十三分があったら、泉の方へゆっくり歩いて行くのにな...》[B-23]

| | |
|--|------------------------|
| si j'avais cinquante-trois minutes à dépenser, je marcherais tout doucement vers une fontaine ...》 | 《「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」》 |
| si シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| avais アヴ°エ 3 単半(avoir)v.t あった、持っていた | 「動詞」 |
| cinquante-trois minutes サンコント°トルワ°ミニュット pl.n.f 53 分を | 「目的語」 |
| à dépenser, ア°デボンセ adj. 使うべき、余分な | 「形容詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| marcherais マルジュレ 条・1 単現(marcher)v.i 歩いて行きたいものだ | 「動詞」 |
| tout doucement トゥ°トゥ°カースモン adv. とてもゆっくりと | 「副詞句」 |
| vers une fontaine ...》 ウ°ェール・ユンヌ°フォンテーヌ adv. 泉の方へ | 「副詞句」 |

「でも、求めているものは、たった一本のバラの花とか、わずかな水の中にみつかるとはな...」[B-25]

| | |
|---|-----------------------------|
| ---- Et cependant <u>ce qu'ils cherchent</u> pourrait être trouvé dans une seule rose ou un peu d'eau ... | Et cependant 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Et エ conj. そして | |
| cependant セ°ント°ン conj. ～にもかかわらず | |
| ce qu'ils cherchent ス°キル°シェルジュ pron 彼らが探しているものは | 「主語」 |
| pourrait être trouvé プ°ーレ°エートル°トルヴ°エ 条・3 単現・受動・可能性 | |
| v.t 見つけられるだろう | 「動詞句」 |
| dans ト°ン prep. ～の中に | 「副詞句」 |

文の構成要素

une seule rose ユンヌ・スル・ローズ` n.f 一本のバラの花 「目的語」

ou ヴ conj. または

un peu d'eau ... アン・プ・ト` n.m 少しの水 「目的語」

当然ながら社長は、僕が日曜を含めて 4 連休を取ることになると思ったはずだ。それでは彼も嬉しいはずがないだろう。[C-1-2]

Mon patron, tout naturellement, a pensé que j'aurais ainsi quatre jours de vacances avec mon dimanche et cela ne pouvait pas lui faire plaisir.

「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Mon patron, モン・パトロン n.m 社長は 「主語」

tout naturellement, トゥ・ナチュラルモン adv. ごく自然に、当然ながら 「副詞句」

a pensé ア・ポンセ 3 単現・完了形(penser)v.t (que) 〜と思った 「動詞句」

que ク conj. 〜ということを 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais ル 条・1 単現(avoir)v.t 〜をするだろう 「動詞」

ainsi オンシ adv. それでは 「副詞」

quatre jours de vacances クワトル・ジュール・トゥ・ヴァンソン n.f 4 連休を 「目的語」

avec mon dimanche アヴェ・エツキ・モン・デーモンシュ adv. 日曜日も含めて 「副詞句」

et エ conj. そして

cela スラ pron これは 「主語」

ne pouvait pas ...faire plaisir. ヌ・プヴァエ・パ ...フェール・プレジール 3 単半・可能性・否定・使役

v.t 〜を喜ばせなかったに違いない 「動詞句」

lui リュイ pron 彼を 「目的語」

「彼」を主語にして翻訳する

しかし（一方では）、母さんの葬儀が今日ではなく昨日だったのは僕が悪い訳ではないし、（他方では、）いずれにしても僕は土曜と日曜は休んでいたはずなのだ。[C-1-2]

Mais d'une part, ce n'est pas de ma faute si on a enterré maman hier au lieu d'aujourd'hui et d'autre part, j'aurais eu mon samedi et mon dimanche de toute façon.

Mais 「副詞句」, 「動詞」「補語」「主語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

d'une part, デュンヌ・パール adv. 一方では 「副詞句」

ce ス pron 仮の主語(真の主語は si 以降)

n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i 〜でない 「動詞」

de ma faute トゥ・マ・フォート adj. 僕の間違い 「補語」

si シ conj. (事実の提示) 〜ということは 「主語」

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| on オン pron 人が | 「主語」 |
| a enterré ア・オンテレ 3 単現・完了形(enterrer)v.t の葬儀を行った | 「動詞句」 |
| maman マモン n.f 母さんを | 「目的語」 |
| hier イェール adv. 昨日 | 「副詞」 |
| au lieu d' オ・リュ・トゥ adv. ～の代わりに、～ではなく | 「副詞句」 |
| aujourd'hui オン・ユル・テ・ユイ n.m 今日 | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| d'autre part, ド・オートル・パール adv. 他方では | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| aurais eu オー・レイ 条・1 単現・完了形(avoir)v.t 取っていただろう | 「動詞句」 |
| mon samedi et mon dimanche モン・サム・ディ・エ・モン・ディ・モン・ジュ | |
| pl.n.m 土曜と日曜の休みを | 「目的語」 |
| de toute façon. トゥ・トゥット・ファソン adv. いずれにしても | 「副詞句」 |

僕はいつものようにセレストの店で昼食をとる気にならなかった。店に行けば、きっと彼らは僕にあれこれと聞いてきただろうし、僕はそういう事が嫌いだから。[C-1-2]

Je ne voulais pas déjeuner chez Céleste comme d'habitude parce que, certainement, ils m'auraient posé des questions et je n'aime pas cela.

| | |
|--|---------------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne voulais pas déjeuner ヌ・ヴレ・パ・デ・ジュネ 1 単半・否定・願望(vouloir+不定詞) | |
| v.i 昼食を取る気にならなかった | 「動詞句」 |
| chez Céleste シェ・セレスト adv. セレストの店で | 「副詞句」 |
| comme d'habitude コム・ダビチュート adv. いつものように | 「副詞句」 |
| parce que, パルス・キ conj. ～なので | 「副詞節」 |
| certainement, セルテームモン adv. 確実に、きっと | 「副詞」 |
| ils イル pl.pron 彼らは | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| auraient posé オレ・ポゼ 条・3 複現・完了形(poser) | |
| v.t (質問を) しただろう | 「動詞句」 |
| いつものように店で食事をしていたら、あれこれ質問をしてきたに違いない | |
| des questions テ・クシュオン pl.n.f あれこれと質問を | 「直接目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'aime pas ネム・パ 1 単現・否定(aimer)v.t 嫌いだ、いやだ | 「動詞句」 |
| cela. スラ pron そうということが | 「目的語」 |

彼らは怒鳴り散らしながら、声を限りに自分たちのチームは不滅であると歌っていました。

[C-1-2]

Ils hurlaient et chantaient à pleins poumons que leur club ne périrait pas.

「主語」「動詞」 et 「動詞」「副詞句」「目的語」

Ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

hurlaient ユル 3 複半(hurler)v.i 怒鳴っていた、わめいていた

「動詞」

et エ conj. そして

chantaient ションテ 3 複半(chanter)v.t (que ～と) 歌っていた

「動詞」

à pleins poumons ア・プレ・ン・プ・モン adv. 息を胸いっぱい吸って、声を限りに

「副詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

leur club レール・クラブ n.m 彼らのチームは

「主語」

ne périrait pas. ヌ・ペ・リレ・パ 条・3 単現(périr)v.i 滅ばない(だろう)

「動詞句」

主節が過去時制のとき、直接話法を間接話法に変えると、〈時制の一致〉により、従属節の直説法単純未来が条件法現在に変わります。

僕はこれで自分で料理しなくて済むと思って、彼の申し出を受け入れた。彼のところも、窓のない台所がついた寝室が1つあるだけだった。[C-1-3]

J'ai pensé que cela m'éviterait de faire ma cuisine et j'ai accepté. Lui aussi n'a qu'une chambre, avec une cuisine sans fenêtre.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser que+直説法)v.t ～だと思った

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

cela スラ pron このことは

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

éviterait エヴィタレ 条・3 単現(éviter de+不定詞)v.t ～しないようにする

「動詞」

彼の誘いを受け入れたら(仮定)、料理をしなくてもよい(結果に対する話者の思い)

de faire トゥ・フェール 不定詞 v.t ～することを

「補語」

ma cuisine マ・キュイジーヌ n.f 自分の料理を

「目的語」

et エ conj. そして、それで

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai accepté. エ・アクセプテ 1 単現・完了形(accepter)v.t 申し出を受け入れた

「動詞句」

Lui aussi ルイ・オシ pron 彼も

「主語」

n'a qu' ナ・ク 3 単現・否定(avoir+ne...que)v.t ～しかない

「動詞句」

une chambre, ヌヌ・シヨンプル n.f 寝室が1つ

「目的語」

文の構成要素

avec une cuisine アヴ'ェッキ・ユヌ・キュヰヰヌ adv. 台所つきの 「副詞句」
sans fenêtre. ヲン・フネートル adv. 窓なしで 「副詞句」

すると彼は僕に、丁度この件で相談したかったのだと言った。そしてその理由として、僕が人生というものをわきまえた男なので、彼の力になることが出来るし、そうしたら彼は僕の親友になるだろうと言うのだった。[C-1-3]

Alors il m'a déclaré que, justement, il voulait me demander un conseil au sujet de cette affaire, que moi, j'étais un homme, je connaissais la vie, que je pouvais l'aider et qu'ensuite il serait mon copain.

「副詞」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」

「直接目的語」, 「直接目的語」, 「直接目的語」 et 「直接目的語」

Alors アロー adv. すると 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと言った 「動詞句」

que, ク conj. ～ということを 「直接目的語」

justement, ジュストゥメン adv. ちょうど、まさに 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

voulait ...demander ヴレ...トゥモンデ 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.t 頼みたかった 「動詞句」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

un conseil アン・コンセイユ n.m アドバイスを、助言を 「直接目的語」

au sujet de cette affaire, オ・シュジエ・トゥ・セット・アフエル

adv. この件に関して 「副詞句」

que ク conj. (頼んだ理由) ～ということを 「直接目的語」

moi, j' ムわ・ジュ pron 僕が 「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

un homme, アン・ノム n.m 男 「補語」

je ジュ pron (主語) ～する 「形容詞節」

connaissais コネ 1 単半(connaître)v.t 知っている 「動詞」

la vie, ラ・ヴィー n.f 人生というものを 「目的語」

que ク conj. (頼んだ理由) ～ということを 「直接目的語」

je ジュ pron 僕が 「主語」

pouvais ...aider プヴ'ェ...エテ 1 単半・可能・時制の一致(pouvoir+不定詞)

v.t 手助けができる 「動詞句」

l' ル pron 彼を 「目的語」

文の構成要素

| | | |
|---------------------------|-----------------|---------|
| et エ conj. | そして | |
| qu' ク conj. | (頼んだ理由) ～ということを | 「直接目的語」 |
| ensuite オンシュイト adv. | それから、その後に | 「副詞」 |
| il イル pron | 彼が | 「主語」 |
| serait スレ 条・3 単現(être)v.i | (話者の考え) ～になるだろう | 「動詞」 |
| mon copain. モン・コパン n.m | 僕の親友 | 「補語」 |

今朝、マリーは帰らずにいたので、一緒に昼食を食べないかと誘った。[C-1-4]

Ce matin, Marie est restée et je lui ai dit que nous déjeunerions ensemble.

| | |
|---|---------|
| 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 et 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 | |
| Ce matin, ス・マタン adv. 今朝 | 「副詞句」 |
| Marie マリー n.f マリーは | 「主語」 |
| est restée エ・レステ 3 単現・完了形.f(rester)v.i 残っていた | 「動詞句」 |
| et エ conj. それで | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼女に | 「間接目的語」 |
| ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| nous ヌ pron 僕らは | 「主語」 |
| déjeunerions デ・ジユヌリオン 条・1 複現・勧誘(déjeuner) | |
| v.i 昼食を取るのはどうだろう | 「動詞」 |
| ensemble. オンソンプル adv. 一緒に | 「副詞」 |

レーモンが震えているのを見て、警官が付け加えて言った。「こんなに震えるほど酔っばら
って恥ずかしいと思わんのか？」[C-1-4]

Il a ajouté que Raymond devrait avoir honte d'être soûl au point de trembler comme il le
faisait. 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Il イル pron 警官は 「主語」

a ajouté ア・アジユテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」

devrait avoir トゥヴレ・アヴ わル 条・3 単現・義務・推測(devoir+不定詞)

v.t ～を持つべきだと思うが(どうなんだ?) 「動詞句」

honte ホント n.f(de+不定詞 ～するのは) 恥 「目的語」

d'+不定詞 adv. (原因・理由) ～するのは 「副詞句」

être エートル 不定詞 v.i ～である 「動詞」

soûl スル adj. 酔った 「補語」

au point de +不定詞 オ・プ わン・トゥ adv. ～するほど 「副詞句」

trembler トロンブレ 不定詞 v.i 震える 「動詞」

comme コム conj. (原因) ～なので 「副詞節」

il イル pron 彼は 「主語」

le ル pron (tremblement の代用) 震え 「目的語」

faisait. フェ 3 単半・時制の一致(faire)v.t (動作) ある、している 「動詞」

命令法

「私が留守の間に退屈しないように、君が好きなように気晴らしをしないでください。」[A-2]

《Pour que vous ne vous ennuyiez pas pendant mon absence, divertissez-vous comme vous voulez.

《「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」》

Pour que プール・ク adv. ～するために

「副詞句」

n. ～ということ

「目的語」

vous ヴ pron お前が

「主語」

ne vous ennuyiez pas ヌ・ヴ・オンニエ・パ 接・2 複現・否定(s'ennuyer)

v.pr 退屈しない (だろう)

「動詞句」

pendant mon absence, ポント・モン・アブ・ソンス adv. 私が留守の間に 「副詞句」

divertissez-vous デイヴ・エルティエ・ヴ 命・2 複現(se divertir)

v.pr 気晴らしをしないで

「動詞句」

comme コム adv. ～のように

「副詞節」

vous ヴ pron 君が

「主語」

voulez. ヴレ 2 複現(vouloir)v.t 望む

「動詞」

「しかし、小部屋に入ることは禁止する。繰り返すが、その扉を開けてはいけません。」

[A-2]

Mais je vous interdis d'entrer dans le cabinet. Je vous le répète, n'essayez pas d'ouvrir cette porte ...》

《Mais 「主語」 「目的語」 「動詞」 「補語」

「主語」 「間接目的語」 「直接目的語」 「動詞」, 「動詞句」 「目的語」》

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron わたしは

「主語」

vous ヴ pron 君に

「目的語」

interdis アンテルディ 1 単現(interdire)v.t (de+不定詞 ～すること) を禁止する

「動詞」

d'entrer ドントレ 不定詞 v.i 入る

「補語」

dans le cabinet. ドン・ル・キャビネ adv. 小部屋の中に

「副詞句」

Je ジュ pron 私は

「主語」

vous ヴ pron 君に

「間接目的語」

le ル pron そのことを

「直接目的語」

répète, レペート 1 単現(répéter)v.t 繰り返して言う

「動詞」

n'essayez pas d'ouvrir ネッセイエ・パ・トウヴリール 命・2 複現・否定(essayer de+不定詞)

v.t (禁止) 開けようとするな

「動詞句」

cette porte セット・ポルト n.f その扉を

「目的語」

「この衣装戸棚を見て！これほど素晴らしいものを見たことがないわ！」[A-2]

--- Regardez-moi cette garde-robe! Je n'en ai jamais vu de pareille!

《「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」》

Regardez ルガヤルテ 命・2 複現(regarder)v.t 見て 「動詞」

moi ムワ pron (話者の関心を示す虚辞的間接目的語)

cette garde-robe! セット・ギヤルト・ローブ n.f この衣装戸棚を 「目的語」

Je ジュ pron 私は 「主語」

n'en ai jamais vu ノ・ネ・ジヤメ・ヴェ 1 単現・完了形(voir)

v.t 衣装戸棚を見たことがない 「動詞句」

de pareille! トゥ・パレイユ adj. これほど素晴らしい 「形容詞句：en」

「それじゃあ、お前がそんなにあの部屋に入りたいのなら、あの部屋に戻るがいいさ！そうすれば、お前があそこで見た女たちと一緒に居られるだろう！」[A-2]

Eh bien, si vous voulez tant entrer dans cette chambre, vous retournerez! Et vous prendrez place parmi ces femmes que vous y avez vues!》

《「間投」, 「副詞節」, 「動詞句」 | Et 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

Eh bien, エ・ビヤン int. それじゃあ 「間投」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

vous ヴェ pron お前が 「主語」

voulez tant entrer ヴレ・トゥ・オントレ 2 複現・願望(vouloir+不定詞+tant)

v.i そんなに入りたい 「動詞句」

dans cette chambre, トン・セツ・ションブル adv. あの部屋に 「副詞句」

vous retournerez! ヴ・ルトルネ 命・2 複現(se retourner)

v.pr あの部屋に戻るがいいさ！ 「動詞句」

Et エ conj. そして、そうすれば

vous ヴェ pron お前は 「主語」

prendrez プロントレ 2 複末(prendre)v.t 取るだろう 「動詞」

place プラス n.f 席を 「目的語」

parmi パルミ adv. ～の中で、～に混ざって 「副詞句」

ces femmes セ・ファム あの女たち 「目的語」

que ク pron ～する 「形容詞節」

vous ヴェ pron お前が 「主語」

y イ adv. あそこで 「副詞」

avez vues!》 ヴァヴェ・ヴェ 2 複現・完了形 pl.f(voir)v.t 見た 「動詞句」

vu が ces femmes に性・数一致して vues になる

文の構成要素

「約束を破ったことを許してください！もう二度としませんから、ああ、お願いですから、許してください！」[A-2]

《Pardonnez-moi de n'avoir pas tenu la promesse! Je ne recommencerai plus jamais. Oh, je vous en prie, pardonnez-moi!》

《「動詞」「目的語」「補語」 | 「主語」「動詞句」「副詞」

「間投」「主語」「間接目的語」「副詞」「動詞」, 「動詞」「目的語」》

Pardonnez パル^ドネ 命・2 複現(pardonner)v.t 許してください 「動詞」

pardonner à qn de+不定詞 人に (が) ~することを許す

moi ムワ pron 私が 「目的語」

de +不定詞 トゥ 不定詞 v. ~すること (目的語の動作) 「補語」

n'avoir pas tenu ナヴ^ワ・ル・パ^ス・トゥニユ 不定詞・完了形・否定(tenir)

v.t (約束を) 破った 「動詞句」

la promesse! ラ・プロメス n.f 約束を 「目的語」

Je ジュ pron 私は 「主語」

ne recommencerai plus ヌ・ルコモンスレ・プリュ 1 単未・否定(recommencer)

v.t もう同じことを繰り返しません 「動詞句」

jamais. ジャメ adv. 絶対に 「副詞」

Oh, オ int. ああ 「間投」

je ジュ pron 私は 「主語」

vous ヴ pron あなたに 「間接目的語」

en オ adv. そのことを 「副詞」

prie, プリ 1 単現(prier)v.t 祈る 「動詞」

pardonnez パル^ドネ 命・2 複現(pardonner)v.t 許してください 「動詞」

moi! ムワ pron 私を 「目的語」

「死ななければならぬのなら」と妻は答えた。「少し時間を下さい、せいぜい神に祈るための時間だけでも！」[A-2]

--- Puisqu'il faut mourir, répondit la femme, laissez-moi un peu de temps, juste le temps de prier Dieu. 《「副詞節」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

Puisqu' ピュイスク conj. ~である以上、~ならば 「副詞節」

il faut mourir, イフ・ムール 3 単現・必要(falloir+不定詞)

v.i 死ななければならぬ 「動詞句」

répondit レポ^ンディ 3 単過(répondre)v.i 答えた 「動詞」

la femme, ラ・ファム n.f 妻は 「主語」

laissez レ 命・2 複現(laisser)v.t 残してください、与えてください 「動詞」

文の構成要素

moi ムわ pron 私に 「間接目的語」
 un peu de temps, アン・プ・ドゥ・トン n.m 時間を少し 「直接目的語」
 juste le temps de prier Dieu. シュスト・ル・トン・ドゥ・プリエ・ディウ
 n.m せいぜい神に祈るための時間 「直接目的語」

「アンヌ、アンヌ姉さん！お願い！塔の上まで登って、兄さんたちが到着するかどうかをよく見て頂戴。今日は私に会いに来る予定になっていたの。お願いだから、すぐに登って！」

[A-2]

《Anne, ma soeur Anne! Je t'en prie, monte sur le haut de la tour et regarde si mes frères arrivent. Ils avaient prévus de venir me voir aujourd'hui. S'il te plaît, monte vite!》

《「呼びかけ」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」, 「動詞」「副詞句」 et 「動詞」「目的語」
 「主語」「動詞句」「副詞」 | 「副詞句」「依頼」》

Anne, ma soeur Anne! アンヌ・マ・セール・アンヌ adv. アンヌ、アンヌ姉さん！ 「呼びかけ」
 Je ジュ pron 私は 「主語」
 t'en トン pron あなたに 「間接目的語」
 prie, プリー 1 単現(prier)v.t お願いします 「動詞」
 monte モントゥ 命・2 単現(monter)v.i 登って頂戴 「動詞」
 sur le haut de la tour シュール・ル・オ・トゥ・ラ・トゥール adv. 塔の上まで 「副詞句」
 et エ conj. そして
 regarde レギヤルトゥ 命・2 単現(regarder)v.t 良く見て頂戴 「動詞」
 si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」
 mes frères メ・フレール pl.n.m 兄さんたちが 「主語」
 arrivent. アリウゝ 3 複現(arriver)v.i 着く 「動詞」
 Ils イル pl.pron 彼らは 「主語」
 avaient prévus de venir アウゝエ・プレヴュ・ドゥ・ヴィニール 3 複現・完了形・予定(prevoir de+不定詞)
 v.i 来る予定になっていた 「動詞句」
 me voir ム・ウゝ わール 不定詞(voir+me)v.t 私に会いに 「動詞句」
 aujourd'hui. オジユルジユイ adv. 今日 「副詞」
 S'il te plaît, シル・トゥ・プレ adv. お願いだから 「副詞句」
 monte vite! モントゥ・ヴァイト 命・2 単現(monter+vite)v.i すぐ登って！ 「依頼」

「いますぐ降りて来い！」 [A-2]

《Il faut descendre maintenant!》

《「動詞句」「副詞」》

Il faut + 不定詞 イフォ 3 単現・命令(falloir+不定詞)v. ～しなさい 「動詞句」
 descendre テリントール 不定詞 v.i 降りる 「動詞」
 maintenant! マントゥノン adv. 今すぐ 「副詞」

「すぐに降りて来い！さもなければ俺がそっちへ行くぞ」男は怒ってしまいました。[A-2]

《Descends immédiatement, ou je monterai là-haut! s'énerva l'homme.

《「動詞」「副詞」 ou 「動詞」「副詞」》, 「動詞」「主語」

Descends デソ 命・2 単現(descendre)v.i 降りて来い 「動詞」

immédiatement, イメディヤットモン adv. すぐに 「副詞」

ou ウ conj. さもなければ

je ジュ pron 俺が 「主語」

monterai モントレ 条・1 単現(monter)v.i 上がっていくぞ 「動詞」

là-haut! ラ・オ adv. そっちへ 「副詞」

s'énerva セネヴァ 3 単過(s'énervé)v.pr 怒った、興奮した 「動詞句」

l'homme. ム n.m 男は 「主語」

「心配しないでください、ご主人様。私はあなたの手伝いが出来ます。袋を一つとやぶの中を歩くために長靴を一足作ってください。きっと上手くいきますから。」[A-3]

《Ne vous inquiétez pas, Maître. Je suis prêt à vous aider : fabriquez-moi un sac et une paire de bottes pour marcher dans les broussailles. Je vous assure que ça va s'arranger.》

《「動詞句」「呼びかけ」 | 「主語」「動詞句」:

「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

Ne vous inquiétez pas, ヌ・ヴ・ザンキエテ・パ 命・2 複現・否定(s'inquiéter)

v.pr 心配しないでください 「動詞句」

Maître. メートル n.m ご主人様 「呼びかけ」

Je ジュ pron 私は 「主語」

suis prêt à +不定詞 シュイ・プレ・タ 1 単現 v. ～することができます 「動詞句」

vous ヴ pron あなたを 「目的語」

aider: エテ 不定詞 v.t 手伝う 「動詞」

fabriquez-moi ファブリケ・ムワ 命・2 複現(fabriquer+moi)

v.t ～を作ってください 「動詞句」

un sac アン・サック n.m 袋 「目的語」

et エ conj. そして

une paire de bottes ヌヌ・ペール・ドゥ・ボット n.f 長靴を一足 「目的語」

pour +不定詞 プール adv. ～するために 「副詞句」

marcher マルシェ 不定詞 v.i 歩く 「動詞」

dans les broussailles. ドン・レ・ブルサイユ adv. やぶの中を 「副詞句」

Je ジュ pron 私は 「主語」

vous ヴ pron あなたに 「間接目的語」

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| assure アシュール 1 単現(assurer)v.t 保証します、誓います | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| ça サ pron それは | 「主語」 |
| va s'arranger.》 ヴァ・サロンジエ 3 単現・近接未来(aller+不定詞) | |
| v.pr 上手くいくだろう | 「動詞句」 |
| aller アレ v.i 進行する s'arranger サロンジエ v.pr うまくいく、解決する | |

「それはお気の毒な！」と、王様は声を上げました。「急いで、衣服を持って行って差し上げなさい！」[A-3]

| | |
|--|---------|
| --- <u>Le pauvre! s'exclama le roi.</u> Vite, apportez-lui des vêtements!》 | |
| 《「感嘆」》, 「動詞句」「主語」 《「副詞」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》 | |
| Le pauvre! ル・ポール int. それはお気の毒な！ | 「感嘆」 |
| s'exclama セクスクラマ 3 単過(s'exclamer)v.pr 声を上げた | 「動詞句」 |
| le roi. ル・ルワ n.m 王様が | 「主語」 |
| Vite, ヴァイト adv. すぐに、急いで | 「副詞」 |
| apportez アポルテ 命・2 複現(apporter)v.t 持って行きなさい | 「動詞」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| des vêtements!》 テ・ヴァエットウモン pl.n.m 衣服を | 「直接目的語」 |

「こんにちは、皆さん！」と、ネコは挨拶した。「お仕事でお邪魔してすみませんが、皆さんに警告しておくことがあります」[A-3]

| | |
|--|--------|
| 《 <u>Bonjour, messieurs dames! salua le Chat.</u> <u>Permettez-moi de vous déranger en plein travail,</u> mais je dois vous avertir d'une chose. | |
| 《「挨拶」「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」, | |
| 《「動詞」「目的語」「補語」 mais 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》 | |
| Bonjour, ボンジュール n.m こんにちは | 「挨拶」 |
| messieurs dames! メッシユー・ダム pl.n みなさん | 「呼びかけ」 |
| salua サルア 3 単過(saluer)v.t 挨拶した | 「動詞」 |
| le Chat. ル・シャ n.m ネコは | 「主語」 |
| Permettez ペルメテ 命・2 複現(permettre)v.t 許してください | 「動詞」 |
| moi ムワ pron 私を | 「目的語」 |
| de +不定詞 トゥ 不定詞 v.t ～するのを | 「補語」 |
| vous ヴー pron あなた方を | 「目的語」 |
| déranger テロンジエ 不定詞 v.t 仕事を邪魔をする | 「動詞」 |
| en plein travail, オン・ブラン・トラヴァイエ adv. 仕事の最中に | 「副詞句」 |
| mais メ conj. しかし | |

文の構成要素

| | |
|--|---------|
| je ジェ pron 僕は | 「主語」 |
| dois ...avertir トゥワ...アヴェルティール 1 単現・意思(devoir+不定詞) | |
| v.t. ～を警告します | 「動詞句」 |
| vous ヴェ pron 皆さんに | 「間接目的語」 |
| d'une chose. デュンヌ・ショーズ n.f あることを | 「直接目的語」 |

「こんにちは、皆さん！ニンジンみたいに、おろし金でおろされたくなければ、皆さんが刈り取っている小麦は、カラバ侯爵のものと言うんですよ！」[A-3]

《Bonjour, tout le monde! Si vous ne voulez pas être râpé comme une carotte, dites que le blé que vous moissonnez appartient au Marquis de Carabas!》

《「挨拶」 | 「副詞節」, 「動詞」「目的語」》

| | |
|--|---------|
| Bonjour, tout le monde! ボンジュール・トル・モンド adv. 今日は・みなさん | 「挨拶」 |
| Si シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| vous ヴェ pron あなたたちが | 「主語」 |
| ne voulez pas être râpé ヌ・ヴレ・パ・エートル・ラペ 2 複現・願望・否定(vouloir+不定詞・受動形) | |
| v.t (おろし金で) おろされたくない | 「動詞句」 |
| comme une carotte, コム・ユヌ・キャロット adv. ニンジンみたいに | 「副詞句」 |
| dites ディット 命・2 複現(dire)v.t. ～と言いなさい | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| le blé ル・ブレ n.m 小麦は | 「主語」 |
| que ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| vous ヴェ pron あなたたちが | 「主語」 |
| moissonnez ムワソネ 2 複現(moissonner)v.t 刈り取っている | 「動詞」 |
| appartient アパルティ 3 単現(appartenir)v.i (à の) 所有である | 「動詞」 |
| au Marquis de Carabas! オ・マルキ・トゥ・カラバ adv. カラバ侯爵の | 「間接目的語」 |

「心配しないで！」と、親指小僧は兄弟たちを励ましました。「パンのかけらが帰り道を教えてくれるから」[A-4]

《Ne vous inquiétez pas, rassura-t-il ses frères. Les miettes de pain permettront de retrouver le chemin du retour.》

《「動詞句」》, 「動詞」「主語」「目的語」, 《「主語」「動詞句」「目的語」》

《Ne vous inquiétez pas, ヌ・ヴ・サンキエ・パ 命・2 複現・否定(s' inquiéter)

| | |
|---|-------|
| v.pr 心配しないで！ | 「動詞句」 |
| rassura ラシュラ 3 単過(rassurer)v.t 安心させた、励ました | 「動詞」 |
| il イル pron 親指小僧は | 「主語」 |
| ses frères. セ・フレール pl.n.m 兄弟たちを | 「目的語」 |

文の構成要素

Les miettes de pain レ・ミエツ・ドゥ・パン pl.n.f パンのかけらは 「主語」
 permettront de retrouver ヘルメトン・ドゥ・ルトウリュェ 3 複未・支援(permettre de+不定詞)
 v.t ~を見つけるのを可能にしてくれるだろう 「動詞句」
 le chemin du retour. ル・シュマン・ジュ・ルトゥール n.m 帰り道を 「目的語」

「おお、そこに見えるのはご馳走じゃあないか！」と人食い鬼は歓声をあげた。「すぐに、包丁を持って来い！」[A-4]

《Mais c'est un festin que je vois là! L'ogre poussa un cri de joie. Vite, mon couteau!》
 《「副詞」「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」「目的語」, 《「副詞」「目的語」》
 《Mais メ adv. (驚き) おお！ 「副詞」
 c' ス pron これは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
 un festin アン・フェスタン n.m ご馳走 「補語」
 que ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 je ジュ pron 俺が 「主語」
 vois ヴォ 1 単現(voir)v.t 見える 「動詞」
 là! ラー adv. そこに 「副詞」
 L'ogre ローグール n.m 人食い鬼は 「主語」
 poussa プッサ 3 単過(pousser)v.t (声を) 発した 「動詞」
 un cri de joie. アン・クリ・ドゥ・ジュワ n.m 喜びの叫びを、歓声を 「目的語」
 Vite, ヴァイト adv. すぐに 「副詞」
 mon couteau! モン・クト n.m 俺の包丁を 「目的語」
 動詞が省略されている emporte オンポルトゥ 命・2 単現(emporter)v.t 持って来い

その間に、親指小僧は兄たちに家に戻るように言いました。[A-4]

Pendant ce temps, le Petit Poucet ordonna à ses frères de regagner la maison.
 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 Pendant ce temps, ポントンス・ストン adv. その間に、鬼が寝ている間に 「副詞句」
 le Petit Poucet ル・プティ・プース n.m 親指小僧は 「主語」
 ordonna オルドナ 3 単過・使役(ordonner)v.t 命じた 「動詞」
 à ses frères ア・セ・フレール adv. 兄たちに 「目的語」
 de regagner ドゥ・ルガニエ 不定詞 v.t 戻る 「補語」
 la maison. ラ・メゾン n.f 家に 「目的語」

君がどうしてそんなことをしたのか、僕にはわからない。少し考えてみろよ！[A-5]

Je ne comprends pas pourquoi tu as fais ça. Réfléchis un peu!

| | |
|---|----------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 「動詞」「副詞句」 |
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| ne comprends pas ヌ・コンプ°ロン・パ° 1 単現・否定(comprendre)v.t 分からない | 「動詞句」 |
| pourquoi プ°ルワ adv. なぜ～したかということが | 「目的語」 |
| tu チュ pron 君が | 「主語」 |
| as fais ア°フェ 2 単現・完了形(faire)v.t した | 「動詞句」 |
| ça. サ pron そんなことを | 「目的語」 |
| Réfléchis レフレシ 命・2 単現(réfléchir)v.i 考えなさい | 「動詞」 |
| un peu! アン°プ° adv. 少し | 「副詞句」 |

君は正気なのか？見てみなよ、ボロボロの靴やその痩せこけた顔を、それに腹だって空腹だ
って音を立てているじゃあないか！[A-5]

Es-tu vraiment sérieux? Regarde tes chaussures en lambeaux, ton visage tout maigre et
ton ventre qui crie la faim!

| | |
|--|--|
| | 「動詞」「主語」「補語」 「動詞」「目的語」, 「目的語」et「目的語」 |
| Es エ 2 単現・疑問文(être)v.i ～なのか？ | 「動詞」 |
| tu チュ pron 君は | 「主語」 |
| vraiment sérieux? ブ°レモン°セリュ adj. 本当に正気の | 「補語」 |
| Regarde ルギ°ヤルト° 命・2 単現(regarder)v.t 見てみなよ、考えてみろよ | 「動詞」 |
| tes chaussures テ°ショシュール pl.n.f 自分の靴を | 「目的語」 |
| en lambeaux, オン°ロンボ°ー adj. ぼろぼろの | 「形容詞句」 |
| ton visage トン°ウイザ°ージュ n.m 自分の顔を | 「目的語」 |
| tout maigre トウ°メグル adj. 痩せこけた | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| ton ventre トン°ウオントル n.m 自分の腹を | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| crie クリ 3 単現(crier)v.t (を) 強く訴えている | 「動詞」 |
| la faim! ラ°ファム n.f 空腹を | 「目的語」 |

注意して聞けよ、そうすれば気ままに生きるとどうなるかが分かるだろう。[A-5]

Écoute bien et tu verras ce qui arrive en vivant en liberté...

| | |
|---------------------------------------|-------------------------|
| | 「動詞」「副詞」et「主語」「動詞」「目的語」 |
| Écoute エクト 命・2 単現(écouter)v.t 注意して聞けよ | 「動詞」 |
| bien ビ°ヤン adv. よく | 「副詞」 |

文の構成要素

| | | |
|-----------------------------|-----------------|--------|
| et エ conj. | そうすれば | |
| tu チュ pron | 君は | 「主語」 |
| verras ヴェラ 2 単未・推測(voir)v.t | 分かるだろう | 「動詞」 |
| ce ス pron | そのことが | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) | 何が～する | 「形容詞節」 |
| arrive アリヴ 3 単現(arriver)v.i | (出来事が) 起こる | 「動詞」 |
| en vivant オン・ヴィヴン | ジェレオンディフ(vivre) | |
| v.i | 生きています | 「副詞句」 |
| en liberté... オン・リベルテ adv. | 気ままに | 「副詞句」 |

「旦那様、ここにいるのが退屈です。私を山に行かせてください」[A-5]

《Monsieur, je m'ennuie ici. Laissez-moi partir dans la montagne.

「呼びかけ」「主語」「動詞句」「副詞」 | 「動詞」「目的語」「補語」

| | | |
|------------------------------------|----------|--------|
| Monsieur, ムシユ adv. | 旦那様 | 「呼びかけ」 |
| je ジュ pron | 私は | 「主語」 |
| m'ennuie モンニユイ 1 単現(s'ennuyer)v.pr | 退屈した | 「動詞句」 |
| ici. イシ adv. | ここに | 「副詞」 |
| Laissez レッセ 命・2 複現・放任(laisser)v.t | ～させてください | 「動詞」 |
| moi ムワ pron | 私を | 「目的語」 |
| partir パルティール 不定詞 v.i | 行く | 「補語」 |
| dans la montagne. トン・ラ・モンターニュ adv. | 山の中へ | 「副詞句」 |

君は笑うかい、グランゴワール？実は、君はこのヤギにとっても似ているんだよ。だから、話の続きを聞きたまえ。君がどこまで笑って居られるか見届けてやろう。[A-5]

Tu rigoles, Gringoire? Figure-toi que tu ressembles beaucoup à cette pauvre chèvre. Écoute donc la suite de l'histoire, nous verrons si tu riras toujours.

「主語」「動詞」「呼びかけ」 | 「動詞句」「目的語」

「動詞」「副詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」

| | | |
|---------------------------------------|---------------------|--------|
| Tu チュ pron | 君は | 「主語」 |
| rigoles, リゴル 2 単現・疑問文(rigoler)v.i | 笑うかい？ | 「動詞」 |
| Gringoire? グランゴワール n.m | グランゴワール | 「呼びかけ」 |
| Figure-toi フィギュール・トゥワ 命・2 単現(figurer) | | |
| v.t(que ～ということを) | 想像しなさい | 「動詞句」 |
| figure-toi que... | 「～を想像しなさい、実は～なんですよ」 | |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| tu チュ pron | 君は | 「主語」 |

文の構成要素

| | | |
|--|-------------|---------|
| ressembles ルソブル 2 単現(ressembler)v.i | 似ている | 「動詞」 |
| beaucoup ボク adv. | とても | 「副詞」 |
| à cette pauvre chèvre. ア・セツ・ポーヴル・シェヴル adv. | このヤギに | 「間接目的語」 |
| Écoute エクト 命・2 単現(écouter)v.t | 聞きなさい | 「動詞」 |
| donc ドン adv. | だから | 「副詞」 |
| la suite ラ・シュイト n.f | 続きを | 「目的語」 |
| de l'histoire, ドゥ・リストワル adj. | 話の | 「形容詞句」 |
| nous ヌ pron | 私たちは | 「主語」 |
| verrons ヴェロン 1 複末(voir)v.t | 分かるだろう | 「動詞」 |
| si シ conj. | 〜かどうかということを | 「目的語」 |
| tu チュ pron | 君が | 「主語」 |
| riras リラ 2 単末(rire)v.i | 笑っている | 「動詞」 |
| toujours. トゥジュール adv. | いつまでも | 「副詞」 |

グランゴワール、彼らが何を話し合ったかを知りたいのなら、苔の中に潜んでいる、おしゃべりな湧き水に聞くがいいさ。[A-5]

| | | | |
|---|---|---------------------------------------|--------------------------|
| <u>Si tu veux savoir ce dont ils discutaient.</u> | <u>Gringoire, demande donc aux sources bavardes</u> | <u>qui se cachent dans la mousse.</u> | 「副詞節」, 「動詞」 「副詞」 「間接目的語」 |
| Si シ conj. | もし〜ならば | | 「副詞節」 |
| tu チュ pron | 君が | | 「主語」 |
| veux savoir ヴ・サヴ わル 2 単現・願望(vouloir+不定詞)v.t | 知りたい | | 「動詞句」 |
| ce ス pron | それを | | 「目的語」 |
| dont ドン pron | (目的語) 〜する | | 「形容詞節」 |
| ils イル pron.pl | 彼らが | | 「主語」 |
| discutaient, ディスキュテ 3 複半(discuter) | | | |
| v.t (何について) 話し合った | | | 「動詞」 |
| Gringoire, グランゴワール n. | グランゴワール | | 「呼びかけ」 |
| demande ドゥメント 命・2 単現(demander)v.t | 聞きなさい | | 「動詞」 |
| donc ドン adv. | それならば | | 「副詞」 |
| aux sources bavardes オ・スルス・バヴァルトゥ adv. | お喋りな湧き水に | | 「間接目的語」 |
| sources スルス pl.n.f(soource) | 泉 | bavardes バヴァルトゥ adj.f.pl(bavard) | おしゃべりな |
| qui キ pron | (主語) 〜する | | 「形容詞節」 |
| se cachent ス・カッシュ 3 複現(se cacher)v.pr | 潜んでいる | | 「動詞句」 |
| dans la mousse. ドン・ラムース adv. | 苔の中に | | 「副詞句」 |

「戻ってこい！戻ってこい！」と、角笛が叫びます。[A-5]

《Reviens! Reviens!...》 criait la trompe. 「「叫び」」「動詞」「主語」
 《Reviens! Reviens!...》 ルヴイェン・ルヴイェン 命・2 単現(revenir)v.i 戻ってこい！ 「叫び」
 criait クリエ 3 単半(crier)v.i 叫んだ 「動詞」
 la trompe. ラ・トロンプ n.f 角笛が 「主語」

「どうか... 僕におとなしい羊の絵を描いて！」[B-2]

《S'il vous plaît ... dessine-moi un mouton!》 「「副詞節」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》
 S' シ conj. もし～ならば 「副詞節」
 il イル pron それが (非人称主語) 「主語」
 vous ヴェ pron あなたに 「間接目的語」
 plaît プレ 3 単現(plaire)v.i 気に入る 「動詞」
 → もしあなたの気に入れば、済みませんが、どうか
 dessine デシヌ 命・3 単現(dessiner)v.t 描いてください 「動詞」
 moi ムワ adv. 私に 「間接目的語」
 un mouton アン・ムトン n.m (去勢した) おとなしい羊を 「直接目的語」

「だめだよ！これはひどい病気にかかっている。別のを描いて」[B-2]

《Non! Celui-là est déjà très malade. Fais-en un autre.》 「「応答」 | 「主語」「動詞」「副詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》
 Non ノン adv. 違う 「応答」
 Celui-là スリュイ・ラ pron これは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 déjà デジャ adv. もう 「副詞」
 très malade トレ・マラット adj. ひどい病気の 「補語」
 Fais フェ 命・2 単現(faire)v.t 描いて 「動詞」
 en un autre オン・アン・オートル n.m 別の羊を (en は mouton) 「目的語」

「良く見て... これはおとなしい羊じゃなくて、オスだよ。角がある...」[B-2]

《Tu vois bien ... ce n'est pas un mouton, c'est un bélier. Il a des cornes ...》 「「呼びかけ」「動詞」「副詞」 ---
 「主語」「動詞句」「補語」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》
 Tu チュ pron 君 「呼びかけ」
 vois ヴワ 命・2 単現(voir)v.t 見なさい 「動詞」
 bien ビヤン adv. よく 「副詞」

文の構成要素

| | | | |
|------------|--------|-------------------|-------|
| ce | ス pron | これは | 「主語」 |
| n'est pas | ネ・パ | 3 単現・否定(être)v.i | 「動詞句」 |
| un mouton | アン・ムトン | n.m (去勢した) やさしい雄羊 | 「補語」 |
| c' | ス pron | これは | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | 「動詞」 |
| un bélier | アン・ベリエ | n.m (去勢していない) 雄羊 | 「補語」 |
| Il | イル | pron それは | 「主語」 |
| a | ア | 3 単現(avoir)v.t | 「動詞」 |
| des cornes | デ・コルヌ | pl.n.f 角 | 「目的語」 |

バオバブの危険さはあまり知られていないし、小惑星で道に迷った人が冒す危険というのはあまりにも大きいので、一度だけ、僕の慎みに例外を設けて、こう言いたい。「おい、子供たちよ、バオバブには注意するんだよ！」[B-5]

Mais le danger des baobabs est si peu connu, et les risques courus par celui qui s'égèrerait dans un astéroïde sont si considérables, que, pour une fois, je fais exception à ma réserve. Je dis: 《Enfants! Faites attention aux baobabs!》

Mais 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞」「補語」

que 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞」：《「呼びかけ」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」》

Mais メ conj. しかし

| | | | |
|-----------------------|---------------|---------------------|----------------|
| le danger des baobabs | ル・ドンジエ・デ・バオバブ | n.m バオバブの危険性 | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | 「動詞」 |
| si peu connu | シ・プ・コニュ | adj. ほとんど知られていない | 「補語」 |
| et | エ | conj. それに | |
| les risques | レ・リスキ | pl.n.m 危険 | 「主語」 |
| courus | クリュ | 過去分詞 adj. 冒された | 「形容詞句：risques」 |
| par celui | パール・スリュイ | adv. 誰かによって | 「副詞句」 |
| qui | キ | pron ～する | 「形容詞節：celui」 |
| s'égèrerait | セガール | 条・3 単現(s'égèrer) | |
| v.pr | 道に迷う | | 「動詞句」 |
| dans un astéroïde | ドン・サン・アステロイト | | |
| adv. | 小惑星で | | 「副詞句」 |
| sont | ソ | 3 複現(être)v.i | 「動詞」 |
| si considérables | シ・コンシデラブル | adj. とても甚大な | 「補語」 |
| que | ク | conj.(si...que) だから | |
| pour une fois | プール・ユヌ・フワ | adv. 一度だけ、例外的に | 「副詞句」 |

文の構成要素

| | |
|--------------------------------------|---------|
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| fais フェ 1 単現(faire)v.t 作る | 「動詞」 |
| exception エクセプション n.f 例外を | 「目的語」 |
| à ma réserve ア・マ・レゼルヴ adv. 僕の控えめな態度に | 「副詞句」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| dis ディ 1 単現(dire)v.t 言う | 「動詞」 |
| Enfants オンフン pl.n. 子供たちよ | 「呼びかけ」 |
| Faites フェット 命・2 複現(faire)v.t しなさい | 「動詞」 |
| attention アトシオン n.f 注意を | 「直接目的語」 |
| aux baobabs オ・バ・オバブ adv. バオバブに | 「間接目的語」 |

「僕、日の入りが大好きなんだ。日の入りを見に行こうよ...」 [B-6]

《J'aime bien les couchers de soleil. Allons voir un coucher de soleil ...

《「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」》

| | |
|---|-------|
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| aime エム 1 単現(aimer)v.t 好きだ | 「動詞」 |
| bien ビヤン adv. とても | 「副詞」 |
| les couchers de soleil レ・クシェ・ト・ウ・ソレイユ pl.n.m 日の入り | 「目的語」 |
| Allons voir アロン・ワ・ル 命・1 複現・勧誘(aller+不定詞 voir) v.t 見に行こうよ | 「動詞句」 |
| un coucher de soleil アン・クシェ・ト・ウ・ソレイユ n.m 日の入りを | 「目的語」 |

「ごめんなさい...」 [B-8]

--- Pardonnez-moi ...

《「動詞」「目的語」》

| | |
|--|-------|
| Pardonnez パルドネ 命・2 複現(pardonner)v.t 許して下さい | 「動詞」 |
| moi ムワ pron 私を | 「目的語」 |

「ごめんなさいね。お幸せになってね」 [B-9]

Je te demande pardon. Tâche d'être heureux.》

《「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「動詞句」「補語」》

| | |
|---|---------|
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| te トゥ pron あなたに | 「間接目的語」 |
| demande ドゥマント 1 単現(demander)v.t 求める | 「動詞」 |
| pardon パルドン n.m 許しを | 「直接目的語」 |
| Tâche +不定詞 タッシュ 命・2 単現(tâcher+不定詞) v. 〜しようと努めなさい | 「動詞句」 |

文の構成要素

d'être デートル 不定詞 v.i 〜になる 「動詞」
heureux ウル adj. 幸せな 「補語」

お幸せになってね。... その覆いガラスなんか、放っといてちょうだい。もうそんなもの、
いないわ」 [B-9]

Tâche d'être heureux ... Laisse ce globe tranquille. Je n'en veux plus.

「動詞句」「補語」 | 「動詞」「目的語」「補語」 | 「主語」「動詞句」「副詞」》

Tâche +de+不定詞 タッシュ 命・2 単現(tâcher)v.i 〜しようと努めてください 「動詞句」

d'être デートル 不定詞 v.i 〜になる 「動詞句」

heureux ウル adj. 幸せな 「補語」

Laisse レス 命・2 単現(laisser)v.t (何) を〜のままにしておいて頂戴 「動詞」

ce globe ス・グローブ n.m その覆いを 「目的語」

tranquille トロンキル adj. 静かな、放っておく、構わない 「補語」

Je ジュ pron 私は 「主語」

n'en veux ノン・ガ 1 単現・否定(vouloir+en)v.t そんなものはいない 「動詞句」

en は vouloir **de ce globe** に対応する

plus プリュ adv. (ne ... plus) もう〜ない 「副詞」

「そんなにぐずぐずしていないで。いらいらしてくるわ。出発することに決めたんでしょう。
行っちゃいなさいよ」 [B-10]

《Ne traîne pas comme ça, c'est agaçant. Tu as décidé de partir. Va-t'en.》

《「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」 | 「動詞句」》

Ne traîne pas ノ・トレヌ・パ 命・2 単現・否定(trâiner)v.i ぐずぐずしないで！ 「動詞句」

comme ça コム・サ adv. そんな風に 「副詞句」

c' ス pron それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

agaçant アガツン adj. 苛立たせる 「補語」

Tu チュ pron あなたは 「主語」

as décidé de partir ア・デジテ・ト・ウ・パ ルティール 2 単現・完了形(decider de+不定詞)

v.t 出発することを決めた 「動詞句」

Va t'en ガ・ア・トン 命・2 単現(s'en aller)v.pr 行っちゃいなさい 「動詞句」

人称によって、Allons-nous-en! または Allez-vous-en! が使われる。

「もっとよく見えるように、近う寄れ」誰かに対してついに王様になることができて非常に鼻が高くなった王様は、そういった。[B-10]

《Approche-toi que je te voie mieux》, lui dit le roi qui était tout fier d'être enfin roi pour quelqu'un.
 「動詞」「主語」「副詞節」, 「間接目的語」「動詞」「主語」
 Approche アプ ロシュ 命・2 単現(approcher)v.i 近くに来なさい 「動詞」
 toi トわ pron お前は 「主語」
 que ク conj. (命令の目的を表す) ~のために 「副詞節」
 je ジュ pron わしが 「主語」
 te トゥ pron お前を 「目的語」
 voie ヴワ 接・1 単現(voir)v.t 見えるように 「動詞」
 mieux ミュ adv. もっとよく 「副詞」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 dit ディ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」
 le roi ル・ルわ n.m 王様は 「主語」
 qui キ pron ~する 「形容詞節」
 était エテ 3 単半(être)v.i ~になった 「動詞」
 tout fier トゥ・フィエ adj. 誇らしい 「補語」
 d' ドゥ adv. (原因) ~のために 「副詞句」
 être エートル 不定詞 v.i なる 「動詞」
 enfin オンファン adv. ついに、やっと 「副詞」
 roi ルわ n.m 王様 「補語」
 pour quelqu'un プール・ケルカン adj. 誰かに対して 「形容詞句」

「あくびをするように命令する。ここ数年来、あくびをする人間を一人も見ることがない。」
 [B-10]

je t'ordonne de bâiller. Je n'ai vu personne bâiller depuis des années.

「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」「副詞句」
 je ジュ pron 私は 「主語」
 t' トゥ pron 君に 「間接目的語」
 ordonne オルドンヌ 3 単現(ordonner)v.t 命令する 「動詞」
 de bâiller トゥ・バィエ 不定詞 v. あくびをするように 「補語」
 Je ジュ pron 私は 「主語」
 n'ai vu ネ・ヴィ 1 単現・完了形・否定(voir)v.t 見たことがない 「動詞句」
 personne ペルソヌ n.f (否定文で) 誰も~ない 「目的語」
 bâiller バィエ 不定詞 v.i あくびをしている 「補語」
 depuis des années デュシ・デ・ザネ adv. 何年も前から 「副詞句」

でも、そんなうんざりすることで貴重な時間を費やしてはいけない。[B-17]

Mais ne perdez pas votre temps à ce pensum.

Mais 「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Mais メ conj. しかし

ne perdez pas ス・ペルテ・パ 命・2 複現・否定(perdre)v.t 無駄にするな 「動詞句」

votre temps ヴォトル・トン nm 時間を 「目的語」

à ce pensum. ア・ス・パンスム adv. そんなくだらないことに 「副詞句」

「見てごらん、僕の星を。ちょうど僕たちの真上にある... でも、何て遠いんだろう！」

[B-17]

Regarde ma planète. Elle est juste au-dessus de nous ... Mais comme elle est loin!

《「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 | Mais 「副詞」「主語」「動詞」「副詞」》

Regarde ルギャルト 命・2 単現(regarder)v.t 見てごらん 「動詞」

ma planète. マ・プラネット n.f 僕の星を 「目的語」

Elle エル pron 僕の星は 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i (存在) にある 「動詞」

juste au-dessus de nous ジュスト・オ・ドゥシュ・ドゥ・ヌ adv. ちょうど僕たちの真上に 「副詞句」

juste ジュスト adv. ちょうど au-dessus オ・ドゥシュ adv. 上に

Mais メ conj. でも

comme コム adv. なんて 「副詞」

elle エル pron 僕の星は 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i (存在) にある 「動詞」

loin! ルワソ adv. 遠くに 「副詞」

「ぼくの友達になってよ。ぼくは独りぼっちなんだよ」と王子様は言った。[B-19]

---Soyez mes amis, je suis seul, dit-il.

《「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

Soyez スワイ 命・2 複現(être)v.i ~になっておくれよ 「動詞」

mes amis, メ・ザミ pl.n. 友達 「補語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

suis シュイ 1 単現(être)v.i ~である 「動詞」

seul, スル adj. 独りぼっち 「補語」

dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」

il. イル pron 彼は 「主語」

「ぼくと遊ぼうよ」と王子様は提案した。「ぼくはこんなにも悲しいんだよ...」[B-21]

--- Viens jouer avec moi, lui proposa le petit prince. Je suis tellement triste ...

《「動詞句」「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》
 Viens jouer ビヤン・ジュエ 命・2 単現(venir+不定詞)v.i 遊びに来ておくれよ 「動詞句」
 avec moi, アヴェッキ・ムわ adv. 僕と一緒に 「副詞句」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 proposa プロポザ 3 単過(proposer)v.t 提案した 「動詞」
 le petit prince. ル・プチ・プリンス n.m 王子様は 「主語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 suis シュイ 1 単現(être)v.i 〜である 「動詞」
 tellement triste テルモン・トクリスト adj. とても悲しい 「補語」

そしてそれから、ほら見てごらん！あそこに、麦畑が見えるね？[B-21]

Et puis regarde! Tu vois, là-bas, les champs de blé?

Et 「副詞」「動詞」 | 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Et エ conj. そして
 puis ピュイ adv. それから 「副詞」
 regarde! ルガヤルト 命・2 単現(regarder)v.t 見てごらん 「動詞」
 Tu チュ pron 君は 「主語」
 vois, ヴワ 2 単現 (voir)v.t (疑問文で) 見えるだろう？ 「動詞」
 là-bas, ラ・バー adv. あそこに 「副詞」
 les champs de blé? レ・ション・ドゥ・ブレ pl.n.m 小麦畑 「目的語」

「頼むから... ぼくを飼いならしてよ！」と狐は言った。[B-21]

《S'il te plaît ... apprivoise-moi! dit-il.》

《「副詞節」, 「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

S' シ conj. もし〜ならば 「副詞節」
 il イル pron それが 「主語」
 te トゥ pron 君にとって 「間接目的語」
 plaît プレ 3 単現(plaire)v.i 気に入る 「動詞」
 (お願い) もし出来るなら〜して下さい、お願いだから〜して下さい
 apprivoise アプリウゎズ 命・2 単現(apprivoiser)v.t 飼いならしてちょうだい 「動詞」
 moi! ムわ pron 僕を 「目的語」
 dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」
 il. イル pron 彼は 「主語」

文の構成要素

それから、こう付け加えた：[B-21]

Puis il ajouta : 「副詞」「主語」「動詞」:
 Puis ピュイ adv. それから 「副詞」
 il イル pron キツネは 「主語」
 ajouta : アジュタ 3 単過(ajouter)v.t 付け加えた 「動詞」

Va revoir ヴァ・ルヴ・ワール 命・2 単現(aller+不定詞)v.t もう一度見に行ってください 「動詞句」
 les roses. レ・ローズ pl.n.f バラの花たちを 「目的語」

「ぼくも、のどが渴いた... 井戸を探そう...」[B-24]

《J'ai soif aussi ... cherchons un puits ...》
 《「主語」「動詞」「目的語」 副詞 | 「動詞」「目的語」》
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai エ 1 単現(avoir)v.t ある 「動詞」
 soif スワフ n.f 喉の渴きが 「目的語」
 aussi ... オシ adv. 〜もまた 「副詞」
 cherchons シェルシヨン 命・1 複現・勧誘(chercher)v.t 探そう 「動詞」
 un puits ...》 アン・ピュイ n.m 井戸を 「目的語」

「ぼくにやらせて欲しい。きみには重すぎるよ」とぼくは言った。[B-25]

《Laisse-moi faire, lui dis-je, c'est trop lourd pour toi.》
 《「動詞」「目的語」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》
 Laisse レッス 命・2 単現・使役(laisser)v.t させなさい、させて頂戴 「動詞」
 moi ムワ pron 僕に 「目的語」
 faire, フェール 不定詞 v.t する 「補語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 dis ディ 1 単過(dire)v.t 言った 「動詞」
 je, ジュ pron 僕は 「主語」
 c' ス pron それは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」
 trop lourd トロ・ルール adj. 重すぎる 「補語」
 pour toi.》 プール・トワ adv. 君にとっては 「副詞句」

「その水こそ、ほんとに欲しかったんだ」と王子様は言った。「飲ませてよ...」[B-25]

《J'ai soif de cette eau-là, dit le petit prince, donne-moi à boire ...》
 《「主語」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」「補語」》

文の構成要素

| | |
|---|--------|
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai エ 1 単現(avoir)v.t ~がある | 「動詞」 |
| soif スワフ n.f 渴望 | 「目的語」 |
| de cette eau-là, トゥ・セツ・オ・ラ adj. この水に対する | 「形容詞句」 |
| avoir soif de+無冠詞名詞 「~に飢えている、~をすごく欲しい」 | |
| avoir soif 「のどが渴く、水を必要とする」 | |
| dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| le petit prince, ル・プチ・プリンス n.m 王子様は | 「主語」 |
| donne トンス 命・2 単現・使役(donner à qn à+不定詞)v.t 人に~させてちょうだい | 「動詞」 |
| moi ムワ pron 僕に | 「目的語」 |
| à boire ア・ブワール 不定詞 v.t 飲む | 「補語」 |

「さて、きみは仕事をしなくちゃあ。飛行機の所へまた戻らなくちゃね。ぼくはここで待つてる。あしたの夕方、ここに戻ってきてよ...」[B-25]

《Tu dois maintenant travailler. Tu dois repartir vers ta machine. Je t'attends ici. Reviens demain soir ...》

《「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

「主語」「目的語」「動詞」「副詞」 | 「動詞」「副詞句」》

| | |
|---|-------|
| Tu チュ pron 君は | 「主語」 |
| dois maintenant travailler. トゥ・マントゥワ・トラヴァイエ 2 単現・必要(devoir+不定詞) | |
| v.i さあ、君は仕事をしなくちゃいけない | 「動詞句」 |
| maintenant マントゥワ adv. さて、さあ、ところで | |
| Tu チュ pron 君は | 「主語」 |
| dois repartir トゥ・ワ・ル・パルティール 2 単現・必要(devoir+不定詞) | |
| v.i 戻らなくちゃいけない | 「動詞句」 |
| vers ta machine. ヴェール・タ・マシーヌ adv. 君の飛行機の所へ | 「副詞句」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| t' トゥ pron 君を | 「目的語」 |
| attends アトン 1 単現(attendre)v.t 待つている | 「動詞」 |
| ici. イシ adv. ここで | 「副詞」 |
| Reviens ルヴィヤン 命・2 単現(revenir)v.i 戻っておいで | 「動詞」 |
| demain soir ...》 トゥ・マン・スワール adv. 明日の夕方 | 「副詞句」 |

「さあ、あっちへ行つて... ぼくは降りたいんだよ!」[B-26]

《Maintenant, va-t'en, dit-il ... Je veux redescendre!》

《「副詞」「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞句」》

Maintenant, マントゥワ adv. さあ 「副詞」

文の構成要素

| | | |
|--|-------------|-------|
| va-t'en, ヴァ・トン 命・2 単現(s'en aller)v.pr | 立ち去れ、行ってしまえ | 「動詞句」 |
| dit ディ 3 単過(dire)v.t | 言った | 「動詞」 |
| il ... イル pron | 彼は | 「主語」 |
| Je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| veux redescendre!》 ヴァ・ルデ・ソント・ル 1 単現・願望(vouloir+不定詞)v.i | 降りたい | 「動詞句」 |

「そして、ときにはこんなふうに気晴らしに窓を開けてよ...」 [B-26]

Et tu ouvriras parfois ta fenêtre, comme ça, pour le plaisir...

《Et 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」》

| | | |
|--------------------------------------|----------|-------|
| Et エ conj. | そして | |
| tu チュ pron | 君は | 「主語」 |
| ouvriras ヴヴリーラ 2 単未・命令(ouvrir)v.t | 開けてちょうだい | 「動詞」 |
| parfois パ・ルフワ adv. | ときには | 「副詞」 |
| ta fenêtre, タ・フネートル n.f | 窓を | 「目的語」 |
| comme ça, コム・サ adv. | こんな風に | 「副詞句」 |
| pour le plaisir ... プール・ル・プレジール adv. | 気晴らしに | 「副詞句」 |

空をよく見て欲しい。自問してみて欲しい。 [B-27]

| | |
|---|-------------------|
| <u>Regardez le ciel. Demandez-vous :</u> | 「動詞」「目的語」 「動詞句」 |
| Regardez ルギャルト 命・2 複現(regarder)v.t よく見てください | 「動詞」 |
| le ciel. ル・シエル n.m 空を | 「目的語」 |
| Demandez-vous : トゥモンテ・ウ 命・2 複現(se demander) | |
| v.pr 自分に問いかけてください | 「動詞句」 |

もしいつかアフリカの砂漠を旅行するような場合、たしかにここだとわかるように、この景色を注意深くごらんください。 [B-27]

Regardez attentivement ce paysage afin d'être sûrs de le reconnaître, si vous voyagez un jour en Afrique, dans le désert.

「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞節」

| | | |
|---------------------------------------|-------------------------|-------|
| Regardez ルギャルト 命・2 複現・要望(regarder)v.t | 見てください | 「動詞」 |
| attentivement アントエイヴモン adv. | 注意深く | 「副詞」 |
| ce paysage ス・ペイザージュ n.m | この景色を | 「目的語」 |
| afin d'+不定詞 アファン・トゥ adv. | ～するために | 「副詞句」 |
| être エートル 不定詞 v.i | ～である、～になる | 「動詞」 |
| sûrs シュール adj.pl (de に) | 確信した | 「補語」 |
| être の主語は vous (君たち: 複数) なので | 「補語」の sûr が sûrs になっている | |
| de +不定詞 トゥ adv. | ～するのに | 「副詞句」 |

文の構成要素

| | |
|--------------------------------------|-------|
| le ル pron それを | 「目的語」 |
| reconnaitre, ルコネトル 不定詞 v.t それとわかる | 「動詞」 |
| si シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| vous ヴ pron 君たちが | 「主語」 |
| voyagez ヴ わやジェ 2 単現(voyager)v.i 旅をする | 「動詞」 |
| un jour アン・ジュール n.m いつか | 「副詞句」 |
| en Afrique, オン・アフリキ adv. アフリカを | 「副詞句」 |
| dans le désert. トン・ル・デゼール adv. 砂漠を | 「副詞句」 |

そして、たまたまここを通りかかるようなことがあれば、どうか急がないで、ちょうどこの星の下でちょっと待ってごらんなさい！[B-27]

Et, s'il vous arrive de passer par là, je vous en supplie, ne vous pressez pas, attendez un peu juste sous l'étoile! Et 「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「副詞句」 「動詞」, 「動詞句」、 「動詞」 「副詞句」

Et, エ conj. そして
s' シ conj. もし～ならば 「副詞節」
il vous arrive de +不定詞 イル・ヴ・ザリヴ・ドゥ 3 単現(il à qn arrive de+不定詞)
v. 君たちがたまたま～することがある 「動詞句」
il は非人称主語 vous は「間接目的語」 君たちにとって (de+不定詞が「主語」)
il arrive que+接続法 「～ということがある」 (il は非人称主語、que 節が「主語」)
passer パセ 不定詞 v.i 通りかかる 「動詞」
par là, パール・ラ adv. ここを 「副詞句」
je ジュ pron 僕は 「主語」
vous ヴ pron 君たちに 「間接目的語」
en オン pron つぎのように 「副詞句」
en は ne vous pressez pas 以降のお願いの先出し
supplie, シュプリ 1 単現(supplier) v.t お願いします 「動詞」
ne vous pressez pas, ネ・ヴ・プレ・パ 命・2 複現・否定(se presser)
v.pr 急がないでください 「動詞句」
attendez アントェ 命・2 複現(attendre)v.i 待ってください 「動詞」
un peu アン・フ adv. 少しの間 「副詞句」
juste sous l'étoile! ジュスト・ス・トワール adv. ちょうどこの星の下で 「副詞句」

そのときには、親切にしてください！ぼくをこんなに悲しんでいるままにしておかないでください。すぐさま、ぼくに便りをください、彼が戻ってきたよ、と... [B-27]

Alors soyez gentils! Ne me laissez pas tellement triste : écrivez-moi vite qu'il est revenu ...

文の構成要素

「副詞」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」「動詞句」「補語」:
「動詞」「間接目的語」「副詞」「直接目的語」

| | |
|--|---------|
| Alors アー adv. その時は | 「副詞」 |
| soyez スワイ 命・2 複現(être)v.i ~でいてください | 「動詞」 |
| gentils! ジョンティ adj.pl. 親切的な | 「補語」 |
| Ne ...laissez pas ス...レッセ・パ 命・2 複現・否定(laisser qn 補語) | |
| v.t (人) を~のままにしないでください | 「動詞句」 |
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| tellement triste: テルモン・トリスト adj. こんなに悲しい | 「補語」 |
| écrivez エクリヴェ 命・2 複現(écrire à qn que+直説法) | |
| v.t (人に) 手紙で知らせてください | 「動詞」 |
| moi ムわ pron 僕に | 「間接目的語」 |
| vite ヴィット adv. すぐに | 「副詞」 |
| qu' ク conj. ~ということを | 「直接目的語」 |
| il イル pron 王子様が | 「主語」 |
| est revenu ... エ・ルヴニユ 3 単現・完了形(revenir)v.i 戻ってきた | 「動詞句」 |

相手の野郎が、俺に言いやがった:「男なら、電車から降りろ」と。[C-1-3]

L'autre, il m'a dit: «Descends du tram si tu es un homme.»

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

| | |
|---|---------|
| L'autre, ロートル pron 相手の野郎が | 「主語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 俺に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| «Descends デンソ 命・2 単現(descendre)v.i 降りろ!... ということを | 「直接目的語」 |
| du tram ジュ・トラム adv. 電車から | 「副詞句」 |
| si シ conj. もしなにならば | 「副詞節」 |
| tu チュ pron お前が | 「主語」 |
| es エ 2 単現(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| un homme.» アン・ノム n.m 男 | 「補語」 |

俺は奴に「まあ、落ち着け」と言ってやったんだ。すると俺は男じゃないと言ったんだ。

[C-1-3]

Je lui ai dit: «Allez, reste tranquille.» Il m'a dit que je n'étais pas un homme.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| Je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| «Allez, アレ 命・2 複現・呼びかけ(aller)adv. まあ... ということ | 「直接目的語」 |
| reste レストゥ 命・2 単現(rester)v.i ~のままでいる | 「動詞」 |
| tranquille.» トンキル adj. 穏やかな | 「補語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 俺に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ~とということ | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| n'étais pas ネ・パ 1 単半・否定(être)v.i ~でない | 「動詞」 |
| un homme. アン・ノム n.m 男 | 「補語」 |

レーモンは答えた。「わしにものを言うときは、くわえ煙草はやめろ」と、警官が言った。

[C-1-4]

Raymond a répondu. «Enlève ta cigarette de la bouche quand tu me parles», a dit l'agent.

| | |
|---|---------|
| 「主語」「動詞句」 《「動詞」「目的語」「副詞句」「副詞節」》, 「動詞句」「主語」 | |
| Raymond レモン n.m レーモンは | 「主語」 |
| a répondu. ア・レポ ンテュ 3 単現・完了形(répondre)v.i 答えた | 「動詞句」 |
| «Enlève オンレヴ 命・2 単現(enlever)v.t 取り除け | 「動詞」 |
| ta cigarette タ・シガレット n.f 煙草を | 「目的語」 |
| de la bouche トゥ・ラ・ブーシュ adv. 口から | 「副詞句」 |
| quand コン conj. ~する時は | 「副詞節」 |
| tu チュ pron お前が | 「主語」 |
| me ム pron わしに | 「間接目的語」 |
| parles», パルル 2 単現(parler)v.i 話す | 「動詞」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| l'agent. ラジヨン n.m 警官が | 「主語」 |

それでレーモンは女のほうへ振り返って、言った。「おい、待ってろよ！また会う時を」

[C-1-4]

Raymond s'est alors retourné vers la fille et il lui a dit: «Attends, petite, on se retrouvera.»

| | |
|-------------------------------------|------|
| 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」: | |
| 《「動詞」「呼びかけ」「目的語」》 | |
| Raymond レモン n.m レーモンは | 「主語」 |

文の構成要素

s'est alors retourné セ・タロー・ルトゥルネ 3 単現・完了形(se retourner+alors)

v.pr それで振り返った 「動詞句」

vers la fille ヴェール・ラ・フィユ adv. 女のほうに 「副詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

«Attends, アトン 命・2 単現(attendre)v.t 待ってろよ 「動詞」

petite, プティット pron.f お前、おい 「呼びかけ」

on オン pron 俺たちが～する時を 「目的語」

se retrouvera. ス・ルトゥルヴラ 3 単未(se retrouver)v.pr また会うだろう 「動詞句」

「今晚、君が戻った時に、アパートの近くでそいつを見かけたら、教えてくれ」僕は、分か
ったと答えた。[C-1-5]

«Si tu le vois près de la maison ce soir en rentrant, avertis-moi.» J'ai dit que c'était
entendu. 「副詞節」, 「動詞」 「間接目的語」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

«Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

tu チュ pron 君が 「主語」

le ル pron そいつを 「目的語」

vois ヴォ 2 単現(voir)v.t 見る 「動詞」

près de la maison プレ・ドゥ・ラ・メゾン adv. アパートの近くで 「副詞句」

ce soir en rentrant, ス・スワ・ル・オン・レントロン adv. 今晚戻った時に 「副詞句」

avertis アヴェルティ 命・2 単現(avertir)v.t 知らせてくれ 「動詞」

moi. ムワ pron 俺に 「間接目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

c' ス pron それは 「主語」

était entendu. エテ・オントジュ 3 単半・受動(entendre)v.t 了解された 「動詞句」

「水の中に来て！」と、彼女が僕に言った。[C-1-6]

«Viens dans l'eau», m'a-t-elle dit.

«「動詞」 「副詞句」», 「間接目的語」 「動詞句」 「主語」 「動詞句」

«Viens ヴィエン 命・2 単現(venir)v.i 来て！ 「動詞」

dans l'eau, ドン・ロー adv. 水の中に 「副詞句」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

文の構成要素

a... dit. ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
elle エル pron 彼女が 「主語」

「だめだ！」と、僕はレーモンに言った。「素手で 1 対 1 で相手をしろ、そして僕に君のリボルバーをよこせ。もう一人が加わったり、そいつがナイフを取り出したりしたら、僕がそいつを撃ってやる」[C-1-6]

«Non, ai-je dit à Raymond. Prends-le d'homme à homme et donne-moi ton revolver. Si l'autre intervient, ou s'il tire son couteau, je le descendrai.»

《「呼びかけ」, 「動詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」》,

「動詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」, 《「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」》

«Non, ノ adv. (否定) だめだ、やめろ 「呼びかけ」

ai ...dit エ...ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

à Raymond. ア・レーモン adv. レーモンに 「間接目的語」

Prends プロシ 命・2 単現(prendre)v.t 相手にしろ 「動詞」

le ル pron そいつを 「目的語」

d'homme à homme トム・ア・オム adv. 男同士で、素手で 1 対 1 で 「副詞句」

生身の体で、しかも 1 対 1 で

et エ conj. そして

donne トヌ 命・2 単現(donner)v.t よこせ 「動詞」

moi ムリ pron 僕に 「間接目的語」

ton revolver. トン・ルヴォルヴエ n.m 君のリボルバーを 「直接目的語」

Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

l'autre ロートル pron もう一人が 「主語」

intervient, アンテルヴィヤン 3 単現(intervenir)v.i 参加する、加わる 「動詞」

ou ウ conj. それとも

s' シ conj. もし～ならば 「副詞節」

il イル pron そいつが 「主語」

tire チル 3 単現(tirer)v.t 取り出す 「動詞」

son couteau, ソン・クトー n.m ナイフを 「目的語」

je ジュ pron 僕が 「主語」

le ル pron そいつを 「目的語」

descendrai.» トゥソントレ 1 単未・意思(descendre)v.t 撃つ、撃ち殺す 「動詞」

看守が僕の右隣の男を迎えにやって来た。するとその妻が、もう叫ぶ必要がないことに気づかない様子で、声を弱くしないで叫んだ。「体に気を付けるんだよ、そして、用心するんだよ」それから、僕の順番がやって来た。[C-2-2]

On est venu chercher mon voisin de droite et sa femme lui a dit sans baisser le ton comme si elle n'avait pas remarqué qu'il n'était plus nécessaire de crier: «Soigne-toi bien et fais attention.» Puis est venu mon tour.

「主語」「動詞句」「目的語」et「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」:
 «呼びかけ」et「動詞」「目的語」, Puis「動詞句」「主語」

On お pron 看守が 「主語」
 est venu chercher エ・ヴニユ・シェルシエ 3 単現・完了形(venir+不定詞)
 v.t. ～を迎えに来た 「動詞句」
 mon voisin モン・ヴァン n.m 僕の隣の男を 「目的語」
 de droite ド・ウ・ドロワット adj. 右側の 「形容詞句」
 droite ド・ロワット n.f 右 droit ドルわ adj. 右(側)の à droite ア・ドゥルワット adv. 右(側)に
 et エ conj. そして
 sa femme サ・ファミ n.f その妻は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 sans baisser サン・ベッセ adv. (声を) 弱くしないで 「副詞句」
 le ton ル・トン n.m 声を 「目的語」
 comme si コム・シ conj. あたかも～であるかのように 「副詞節」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 n'avait pas remarqué ナヴ・エ・パ・ルマルケ 3 単半・完了形・否定・時制の一致(remarquer)
 v.t. 気づいていない 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il イル pron 仮の主語 (真の主語は de crier)
 n'était plus ネ・プリュ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i もう～でない 「動詞」
 nécessaire ネセール adj. 必要な 「補語」
 de crier: ド・ウ・クリエ 不定詞 v.i 叫ぶことは 「主語」
 «Soigne-toi bien スワニユ・トワ・ビヤン 命・2 単現(se soigner+bien)
 v.pr 体に気を付けてね 「呼びかけ」
 et エ conj. そして
 fais フェ 命・2 単現(faire)v.t. ～をなさい 「動詞」
 attention. アトシヨン n.f 用心 「目的語」
 Puis ビュイ adv. それから 「副詞」
 est venu エ・ヴニユ 3 単現・完了形(venir)v.i やって来た 「動詞句」

文の構成要素

mon tour. モン・トゥール n.m 僕の順番が 「主語」

「黙っていなさい！この件については、そのほうが良いです」 [C-2-4]

«Taisez-vous, cela vaut mieux pour votre affaire.»

《「動詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」》

«Taisez-vous, テーゼ・ウゝ 命・2 複現(se taire)v.pr 黙っていなさい 「動詞句」

cela スラ pron それが 「主語」

vaut ウゝ 3 単現(valoir)v.i 価値がある 「動詞」

mieux ミュー adv. よりよく 「副詞」

pour votre affaire.» プール・ウゝトル・アフェール adv. あなたの件について 「副詞句」

使役・放任・知覚動詞

ヤギが山のほうへ頭を上げて、ため息に似た小さな鳴き声を漏らすのを、彼はしばしば目にしていた。[A-5]

On la voyait souvent lever la tête vers la montagne et laisser échapper un léger cri qui ressemblait à un soupir. 「主語」「目的語」「動詞」「副詞」「補語」 et 「補語」
 On オン pron 彼は 「主語」
 la ラ pron ヤギが 「目的語」
 voyait ヴォワイ 3 単半・知覚(voir)v.t (VO+不定詞) O が～するのを見ていた 「動詞」
 souvent スヴオン adv. しばしば 「副詞」
 lever ルヴェ 不定詞 v.t 持ち上げる、上げる 「補語」
 la tête ラ・テット n.f 頭を 「目的語」
 vers la montagne ヴェール・ラ・モンターニュ adv. 山のほうへ 「副詞句」
 et エ conj. そして
 laisser échapper レッセ・エシャペ 不定詞・放任 v.t (思わず) 漏らす 「補語」
 un léger cri アン・レジェ・クリ n.m 小さな鳴き声を 「目的語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 ressemblait ルンブレ 3 単半・時制の一致(ressembler)
 v.i (à に) 似ている 「動詞」
 à un soupir. ア・ウン・スピール adv. ため息に 「間接目的語」

「旦那様、ここにいるのが退屈です。私を山に行かせてください」[A-5]

《Monsieur, je m'ennuie ici. Laissez-moi partir dans la montagne.》
 《「呼びかけ」「主語」「動詞句」「副詞」 | 「動詞」「目的語」「補語」》
 《Monsieur, ムッシュ adv. 旦那様 「呼びかけ」
 je ジュ pron 私は 「主語」
 m'ennuie モンニユイ 1 単現(s'ennuyer)v.pr 退屈した 「動詞句」
 ici. イシ adv. ここに 「副詞」
 Laissez レッセ 命・2 複現・放任(laisser)v.t ～させてください 「動詞」
 moi ムワ pron 私を 「目的語」
 partir パルティール 不定詞 v.i 行く 「補語」
 dans la montagne. トン・ラ・モンターニュ adv. 山の中へ 「副詞句」

もちろん、自分の角でオオカミを倒せないことは分かっていたましたが、たやすく食べられてしまうよりも、ルノード婆さんのように最後まで抵抗してみようと思ったのです。[A-5]

Bien sûr, elle savait que ses cornes ne pouvaient pas abattre un loup, mais au lieu de se laisser manger aisément, elle essaya de résister jusqu'à la fin, comme la vieille Renaude... 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」,mais 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」
 Bien sûr, ビヤン・シュール adv. もちろん 「副詞句」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 savait サヴェ 3 単半(savoir)v.t 知っていた 「動詞」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 ses cornes セ・コルヌ pl.n.f 彼女の角は 「主語」
 ne pouvaient pas abattre ノ・プウヴェ・パ・アバットル 3 複半・可能・否定(pouvoir+不定詞)
 v.t ～を打ち負かせない 「動詞句」
 un loup, アン・ルー n.m オオカミを 「目的語」
 mais メ conj. しかし
 au lieu de +不定詞 オ・リュ・ドゥ adv. ～するより、～しないで 「副詞句」
 se laisser manger ス・レッセ・モンジエ 不定詞・放任(se laisser+不定詞)
 v.pr 食べられるままになる 「動詞句」
 aisément, イセモン adv. たやすく 「副詞」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 essaya de +不定詞 エッセヤ・トゥ 3 単過・努力(essayer de+不定詞)
 v. ～しようと試みた 「動詞句」
 résister レジステ 不定詞 v.i 抵抗する 「動詞句」
 jusqu'à la fin, ジュスカ・ラ・ファン adv. 最後まで 「副詞句」
 comme la vieille Renaude... コム・ラ・ヴィエイユ・ルノード adv. ルノード婆さんのように 「副詞句」

その時、怒り狂った青ひげが、家じゅうが震えるほどの恐ろしい声で叫びました。[A-2]

La Barbe Bleue, alors furieux, hurla d'une terrible voix qui fit trembler toute la maison.
 「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」
 La Barbe Bleue, ラ・バルブ・ブルー n.f 青ひげは 「主語」
 alors アロー adv. その時、それで 「副詞」
 furieux, シュリュ adj. 怒り狂った 「形容詞」
 hurla ムラ 3 単過(hurler)v.i わめいた 「動詞」
 d'une terrible voix トュヌ・テリブル・ヴォ adv. 恐ろしい声で 「副詞句」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 fit フィ 3 単過・使役(faire+O+不定詞)v.t O を～させた 「動詞」
 trembler トンブレ 不定詞 v.i 震える 「補語」

toute la maison. トゥット・ラ・メゾン n.f 家じゅうを

「目的語」

彼女は残ったお金で貴族と再婚し、今までの全ての悪夢を忘れて暮らすことが出来ました。

[A-2]

Quant à elle, avec l'argent restant, elle se remaria avec un gentilhomme qui lui fit oublier tout le cauchemar qu'elle avait dû subir. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Quant à elle, コン・タ・エル adv. 彼女は 「副詞句」

avec l'argent restant, アヴ・ェッキ・ラルジ・ョン・レストン adv. 残ったお金で 「副詞句」

elle エル pron 彼女は 「主語」

se remaria スルマリア 3 単過(se remarier)v.pr 再婚した 「動詞句」

avec un gentilhomme アヴ・ェッキ・アン・ジ・ョンティヨム adv. 貴族と 「副詞句」

qui キ pron ～する 「形容詞節」

lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」

fit oublier フィ・トゥブリエ 3 単過・使役(faire+不定詞)v.t 忘れさせた 「動詞句」

tout le cauchemar トゥ・ル・コシュマル n.m 全ての悪夢を 「目的語」

qu' ク pron ～する 「形容詞節」

elle エル pron 彼女が 「主語」

avait dû subir. アヴ・ェ・ジ・ュ・スビール 3 単半・完了形(devoir+不定詞)

v.t 受けなければならなかった 「動詞句」

少しして宮殿に到着すると、ネコは王様の間に通されました。 [A-3]

Peu après, il arriva au palais où on le fit entrer dans l'appartement du roi.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」, 「副詞」 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

Peu après, プ・アフレ adv. 少し後で、少しして 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

arriva アリヴァ 3 単過(arriver)v.i 着きました 「動詞」

au palais オ・パレ adv. 宮殿に 「副詞句」

où ウ adv. そこで 「副詞」

on オン pron 人が 「主語」

le ル pron 彼を 「目的語」

fit entrer フィ・アントレ 3 単過・使役(faire+不定詞)v.t 入らせた 「動詞句」

受動態に翻訳する

dans l'appartement du roi. トン・ラパルトモン・ジユルわ adv. 王様の間に 「副詞句」

「ふう。ほんとうに驚きました！なんとたくましいお姿でしょう！」[A-3]

《Oufff! Que vous m'aviez fait peur! Vous aviez l'air si fort!》

《「間投」 | 「感嘆」「主語」「目的語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

Oufff! ウ int. ふう 「間投」
 Que ク int. なんと 「感嘆」
 vous ヴ pron あなたは 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 aviez fait アヴィエ・フェ 2 複半・完了形・使役(faire)v.t. ～にさせた 「動詞句」
 peur! ペール n.f 恐怖 「補語」
 Vous ヴ pron あなたは 「主語」
 aviez アヴィエ 2 複半(avoir)v.t (特徴) ～をしてる 「動詞」
 l'air si fort! レール・シ・フォル n.m とてもたくましい姿を 「目的語」

彼女がいくら嘆いて懇願しても無駄だった。しかし息子たちをこれ以上苦しめることは出来ないので、結局、夫の言う事に従った。[A-4]

Elle eut beau s'apitoyer, mais ne pouvant elle non plus continuer de laisser ses fils souffrir, obéit finalement à son mari.

「主語」「動詞句」,mais 「副詞句」, 「動詞」「副詞」「間接目的語」

Elle エル pron 彼女は 「主語」
 eut beau s'apitoyer, イ・ボ・サ・ピトワイエ 3 単過・無駄(avoir beau+不定詞)
 v.pr いくら嘆いて懇願しても無駄だった 「動詞句」
 s'apitoyer サ・ピトワイエ v.pr 自分を哀れむ、同情を引いて懇願する
 mais メ conj. しかし
 ne pouvant+不定詞 ネ・プヴァン 現在分詞 v. ～出来ないの 「副詞句」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 non plus continuer de laisser+不定詞 ノン・プリュ・コンティヌエ・ドゥ・レッセ 不定詞・使役・否定
 (continuer de laisser+不定詞)v.t もうこれ以上このまま～させておく 「動詞句」
 ses fils セ・フィス pl.n.m 息子たちを 「目的語」
 souffrir, スフリール 不定詞 v.i 苦しむ 「補語」
 obéit オベイ 3 単過(obéir)v.i 従った 「動詞」
 finalement フィナルメンテ adv. 結局、最後には 「副詞」
 à son mari. ア・ソン・マリ adv. 夫の言う事に 「間接目的語」

「なんて可哀そうな子供たち！人食い鬼の家のドアをノックしてしまふなんて。もしあなたたちを中に入れたら、私の夫はあなたたち全員を食い食ってしまうでしょう」[A-4]

《Mes pauvres enfants! Vous avez frappé à la porte d'un ogre. Si je vous laisse entrer, mon mari vous dévorera tous.

《「呼びかけ」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」》

《Mes pauvres enfants! メ・ポーヴル・オンフン pl.n.m 可哀そうな子供たち！ 「呼びかけ」

Vous ヴ pron あなたたちは 「主語」

avez frappé アヴェ・フラペ 2 複現・完了形(frapper)v.i(à を) ノックした 「動詞句」

à la porte ア・ラ・ポルト adv. ドアを 「間接目的語」

d'un ogre. ダン・オーグール adj. 人食い鬼の 「形容詞句」

Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

je ジュ pron 私が 「主語」

vous ヴ pron.pl あなたたちを 「目的語」

laisse entrer, レス・オントレ 1 単現・使役(laisser+不定詞)v.t 入らせる 「動詞句」

mon mari モン・マリ n.m 私の夫は 「主語」

vous ヴ pron.pl あなたたちを 「目的語」

dévorera デヴオルラ 3 単末(dévorer)v.t むさぼり食うだろう 「動詞」

tous. トゥ adj. みな、すべて 「形容詞」

結局、女は彼らの中に入れて、子供たちが暖炉の前で体を温めている間に、翌日まで彼らをかきまう方法を探していました。[A-4]

Finalment, la femme les laissa entrer et pendant que les enfants se réchauffaient devant la cheminée, elle cherchait un moyen de les cacher jusqu'au lendemain.

「副詞」「主語」「目的語」「動詞」「補語」 et 「副詞節」「主語」「動詞」「目的語」

Finalment, シナルモン adv. 結局 「副詞」

la femme ラ・ファム n.f 女は 「主語」

les レ pron 彼らを 「目的語」

laisa レッサ 3 単過・使役(laisser)v.t(O+不定詞) O に～させた 「動詞」

entrer オントレ 不定詞 v.i 入る 「補語」

et エ conj. そして

pendant que ポントソク conj. ～する間に 「副詞節」

les enfants レ・ゾソフン pl.n.m 子供たちが 「主語」

se réchauffaient ス・レショフェ 3 複半(se réchauffer)v.pr 体を温めていた 「動詞句」

devant la cheminée, トゥヴ・オン・ラ・シュミネ adv. 暖炉の前で 「副詞句」

elle エル pron 彼女は 「主語」

cherchait シェルシェ 3 単半(chercher)v.t 探していた 「動詞」

文の構成要素

| | | |
|--------------------------------------|-----------------|--------|
| un moyen アン・ムワイン n.m | 方法を | 「目的語」 |
| de +不定詞 トゥ adj. | ～するための | 「形容詞句」 |
| les レ pron | 彼らを | 「目的語」 |
| cacher カッシェ | 不定詞 v.t 隠す、かくまう | 「動詞」 |
| jusqu'au lendemain. ジュスコ・ロントゥモン adv. | 翌日まで | 「副詞句」 |

バケツ一杯の水を妻の顔にかけて目覚めさせた後で、怒りで真っ赤になった人食い鬼は、7里の長靴を履いて大急ぎで子供たちを探しに飛び出していきました。[A-4]

Après avoir jeté un seau d'eau à la figure de sa femme pour la faire revenir à elle, l'ogre, rouge de colère, chaussa ses bottes de sept lieues et se lança à la recherche des garçons...

| | | | | | |
|--|----------------------|-----------|-------|----------|---------|
| | 「副詞句」, 「主語」 | 「動詞」 | 「目的語」 | et 「動詞句」 | 「間接目的語」 |
| Après +不定詞・完了形 アプ レ adv. | ～した後で | | | | 「副詞句」 |
| avoir jeté アヴ わ・ル・ジ ュテ | 不定詞・完了形(jeter)v.t | 投げかけた | | | 「動詞句」 |
| un seau d'eau アン・ソー・トール n.m | バケツ一杯の水を | | | | 「目的語」 |
| à la figure de sa femme ア・ラ・フィギュール・ドゥ・サ・ファム adv. | 妻の顔に | | | | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. | ～するために | | | | 「副詞句」 |
| la ラ pron | 彼女を | | | | 「目的語」 |
| faire フェール | 不定詞・使役 v.t | ～させる | | | 「動詞」 |
| revenir ルヴニール | 不定詞 v.i | 戻る | | | 「補語」 |
| à elle, ア・エル adv. | 自分自身に | | | | 「間接目的語」 |
| → 目覚めさせるために | | | | | |
| l'ogre, ローグール n.m | 人食い鬼は | | | | 「主語」 |
| rouge de colère, ルージュ・トゥ・コレール adj. | 怒りで真っ赤になった | | | | 「形容詞句」 |
| chaussa ショサ | 3 単過(chausser)v.t | (靴を) 履いた | | | 「動詞」 |
| ses bottes セ・ボット pl.n.f | 長靴を | | | | 「目的語」 |
| de sept lieues トゥ・セツ・リュール adj. | 7 里の (1 里は 4Km) | | | | 「形容詞句」 |
| et エ conj. | そして | | | | |
| se lança ス・ロンサ | 3 単過(sse lancer)v.pr | 大急ぎで飛び出した | | | 「動詞句」 |
| à la recherche ア・ラ・ルシェルシュ adv. | 搜索に | | | | 「間接目的語」 |
| des garçons... テ・ギャルソン adj. | 子供たちの | | | | 「形容詞句」 |

その間に、親指小僧は兄たちに家に戻るように言いました。[A-4]

Pendant ce temps, le Petit Poucet ordonna à ses frères de regagner la maison.

| | | | | | |
|----------------------------------|---------------|------|------|-------|-------|
| | 「副詞句」 | 「主語」 | 「動詞」 | 「目的語」 | 「補語」 |
| Pendant ce temps, ポントンス・ストン adv. | その間に、鬼が寝ている間に | | | | 「副詞句」 |
| le Petit Poucet ル・プティ・プース n.m | 親指小僧は | | | | 「主語」 |

文の構成要素

ordonna オル^ドナ 3 単過・使役(ordonner)v.t 命じた 「動詞」
à ses frères ア・セ・フレール adv. 兄たちに 「目的語」
de regagner トゥ・カ・ルガニエ 不定詞 v.t 戻る 「補語」
la maison. ラ・メゾン n.f 家に 「目的語」

「なんだって？こいつも、狼に食われたいとは！いや、お前にそんな危険は冒させない！」

[A-5]

--- Ça alors, encore une chèvre qui veut se faire manger par le coup! Non, il n'est pas question que je te laisse courir ce danger.

《「感嘆」, 「主語」 | 「副詞」, 「動詞」 「補語」 「主語」》

--- Ça alors, サ・アロー adv. なんだって？ 「感嘆」
encore une chèvre オンコール・ユヌ・シェーヴル n.f またこのヤギが 「主語」
qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」
veut +不定詞 ヴェ 3 単現・願望(vouloir+不定詞)
v.t ~することを望む 「動詞句」
se faire +不定詞 ス・フェール 不定詞 v.t 自分を~させる 「動詞句」
manger モンジユ 不定詞 v.t 食う 「動詞句」
par le coup! パール・ル・クー adv. 狼に 「副詞句」
Non, ノン adv. いや 「副詞」
il イル pron 仮の主語 (真の主語は que je 以降)
n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ~でない 「動詞」
question クスチョン n.f 問題 「補語」
que ク conj. ~ということは 「主語」
je ジュ pron 私が 「主語」
te トゥ pron お前に 「目的語」
laisse レッス 1 単現・使役(laisser)v.t ~させる 「動詞」
courir クーール 不定詞 v.t (危険を) 冒す 「補語」
ce danger. ス・トンジエ n.m そんな危険を 「目的語」

ヤギは湧き水で涼み、平らな岩の上で横になって、見事な毛並みを日に当てて乾かした。

[A-5]

Au torrent, elle se rafraîchit avec l'eau de la source, et en s'allongeant sur une roche plate, fit sécher sa magnifique fourrure blanche au soleil.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 et 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Au torrent, オ・トロント adv. (場所) 急流で 「副詞句」
elle エル pron.f ヤギは 「主語」

文の構成要素

| | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------|--------|
| se rafraîchit | ス・ラフレイ 3 単過(se rafraîchir)v.pr | 涼んだ | 「動詞句」 |
| avec l'eau | アヴェ・エッキ・ロ adv. (手段) | 水で | 「副詞句」 |
| de la source, | ドゥ・ラ・スルス adj. | 水源の、泉の | 「形容詞句」 |
| eau de source | (泉の) | 湧き水 | |
| et | エ conj. | そして | |
| en s'allongeant | オン・サロンジョン ジェロンディフ(s'allonger)v.pr | 寝そべって | 「副詞句」 |
| sur une roche plate, | シュール・コンヌ・ロッシュ・プレート adv. | 平らな岩の上で | 「副詞句」 |
| fit sécher | フィ・セッシェ 3 単過・使役(faire+不定詞)v.t | ～を乾かした | 「動詞句」 |
| sa magnifique fourrure blanche | サ・マニフィキ・フーリュール・ブロンシュ | | |
| n.f | 見事な白い毛並みを | | 「目的語」 |
| au soleil. | オ・ソレイユ adv. | 日に当てて | 「副詞句」 |

一晩中戦い続けて、朝には貪り食われてしまったルノード婆さんの話を思い出して、ブランケットはすぐに食べられてしまったほうがましだと思ったでしょう。[A-5]

En se rappelant l'histoire de la vieille Renaude qui se battit toute la nuit et qui se fit dévorer au matin, Blanquette aurait préféré se faire manger tout de suite.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

| | | | |
|-----------------------|---------------------------------------|---------|--------|
| En se rappelant | オン・ス・ラプ・ロン ジェロンディフ(se rappeler)adv. | ～を思い出して | 「副詞句」 |
| l'histoire | リストワール n.f | 話を | 「目的語」 |
| de la vieille Renaude | ドゥ・ラ・ヴィエイユ・ルノード | | |
| adj. | ルノード婆さんの | | 「形容詞句」 |
| qui | キ pron (主語) | ～する | 「形容詞節」 |
| se battit | ス・バチ 3 単過(se battre)v.pr | 戦った | 「動詞句」 |
| toute la nuit | トゥット・ラ・ニュイ adv. | 一晩中 | 「副詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| qui | キ pron (主語) | ～する | 「形容詞節」 |
| se fit dévorer | ス・フィ・デヴワレ 3 単過・使役(se faire+不定詞: ～される) | | |
| v.t | 貪り食われた | | 「動詞句」 |
| au matin, | オ・マタン adv. | 朝に | 「副詞句」 |
| Blanquette | ブランケット n.f | ブランケットは | 「主語」 |
| aurait préféré +不定詞 | オーレ・プレフェレ 条・3 単現・完了形・推量(préférer+不定詞) | | |
| v. | ～するほうがましだと思ったでしょう | | 「動詞句」 |
| se faire manger | ス・フェール・モンジェ 不定詞・使役 v.pr | 食べられる | 「動詞句」 |
| tout de suite. | トゥ・ドゥ・シュイト adv. | すぐに | 「副詞句」 |

もし僕が作り話をしていると思うのなら、プロヴァンスに行けば分かると思うよ。そこでは誰もが、一晩中オオカミと戦って朝には食べられてしまった、スガンさんのヤギの話を君に話すだろう。[A-5]

Si tu crois que je l'ai inventée, tu verras qu'en Provence, tout le monde te parlera de la cabro de moussu Seguin qui s'est battue toute la nuit avec le loup et s'est fait manger au matin.

| | | | | |
|------------------------------|----------------------|------------------------------|--------------|---------|
| Si | シ conj. | もし～ならば | | |
| tu | チュ pron | 君が | | 「主語」 |
| crois | クルわ | 2 単現(croire)v.t | 思う | 「動詞」 |
| que | ク conj. | ～ということを | | 「目的語」 |
| je | ジュ pron | 私が | | 「主語」 |
| l' | ル pron | それを | | 「目的語」 |
| ai inventée, | エ・アンヴェ・オンテ | 1 単現・完了形(inventer)v.t | でっち上げた | 「動詞句」 |
| tu | チュ pron | 君は | | 「主語」 |
| verras | ヴェラ | 2 単末(voir)v.t | 分かるだろう、知るだろう | 「動詞」 |
| qu' | ク conj. | ～ということを | | 「目的語」 |
| en Provence, | オン・プロヴァンス | adv. | プロヴァンスでは | 「副詞句」 |
| tout le monde | トゥール・モンド | pron | 誰でもが | 「主語」 |
| te | トゥ pron | 君に | | 「間接目的語」 |
| parlera | パルラ | 3 単末(parler)v.i | 話すだろう | 「動詞」 |
| de la cabro de moussu Seguin | ドゥ・ラ・カブ・ロ・ドゥ・ムシュ・セガン | | | |
| adv. | スガンさんのヤギのことを | | | 「間接目的語」 |
| qui | キ pron | (主語) ～する | | 「形容詞節」 |
| s'est battue | セ・バチュ | 3 単現・完了形(su battre) | | |
| v.pr | 戦った | | | 「動詞句」 |
| toute la nuit | トゥット・ラ・ニュイ | adv. | 一晩中 | 「副詞句」 |
| avec le loup | アヴェ・エッキ・ル・ルー | adv. | オオカミと | 「副詞句」 |
| et | エ conj. | そして | | |
| s'est fait manger | セ・フェ・マンジェ | 3 単現・完了形・使役(se faire+manger) | | |
| v.t | 食べられてしまった | | | 「動詞句」 |
| au matin. | オ・マタン | adv. | 朝には | 「副詞句」 |

しかし妻は、娘たちが自分たちが流した血の海で横たわっているのを見て、ショックで気を失いました。[A-4]

Mais lorsqu'elle vit ses filles nager dans leur sang, la femme s'évanouit par choc.

Mais 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

文の構成要素

| | | | |
|-----------------|----------------------------|---------------|-------|
| Mais | メ conj. | しかし | |
| lorsqu' | ロルスキ conj. | ～した時 | 「副詞節」 |
| elle | エル pron | 彼女が | 「主語」 |
| vit | ヴィ 3 単過・知覚動詞(voir)v.t | (O が～するのを) 見た | 「動詞」 |
| ses filles | セ・フィユ pl.n.f | 娘たちが | 「目的語」 |
| nager | ナジェ 不定詞 v.i | 泳いでいる | 「補語」 |
| dans leur sang, | ドン・レル・ソソ adv. | 自分たちが流した血の海で | 「副詞句」 |
| la femme | ラ・ファム n.f | 妻は | 「主語」 |
| s'évanouit | セヴァヌイ 3 単過(s'évanouir)v.pr | 気を失った | 「動詞句」 |
| par choc. | パル・ショッキ adv. | ショックのために | 「副詞句」 |

「おや、もう？」と、ヤギは驚きました。一日中遊んでいたのに、時間が過ぎたことに気が付かなかったのです。[A-4]

| | | | | | |
|-------------------|--------------|------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|------------------------|
| 《Déjà?》 | s'étonna | la chèvre, | car en s'amusant toute la journée, | elle n'avait pas vu le temps passer. | 《「感嘆」》「動詞句」「主語」, 「副詞節」 |
| 《Déjà?》 | デ`ジャ | adv. | もう? | | 「感嘆」 |
| s'étonna | セナ | 3 単過(s'étonner) | v.pr | 驚いた | 「動詞句」 |
| la chèvre, | ラ・シェ`ヴル | n.f | ヤギは | | 「主語」 |
| car | カル | conj. | ～なので | | 「副詞節」 |
| en s'amusant | オン・サミュ`ゾン | ジェロンディフ(s'amuser) | | | |
| | adv. (原因・理由) | 遊んでいた | ので | | 「副詞句」 |
| toute la journée, | トゥット・ラ・ジュ`ルネ | adv. | 一日中 | | 「副詞句」 |
| elle | エル | pron.f | ヤギは | | 「主語」 |
| n'avait pas vu | ナ`ヴェ・パ`・ヴェ` | 3 単半・完了形・知覚動詞・否定(voir) | | | |
| | v.t(SVO+不定詞) | (O が～するのを) | 気がつかなかった | | 「動詞句」 |
| le temps | ル・ソ`ン | n.m | 時間 | | 「目的語」 |
| passer. | パ`セ | 不定詞・目的語の動作 v.t (時間が) | 過ぎる | | 「補語」 |

赤カブや薔薇の木の小枝なら、それが芽を出すままにさせておけば良い。[B-5]

| | |
|--|---------------------------------|
| S'il s'agit d'une brindille de radis ou de rosier, on peut la laisser pousser comme elle veut. | |
| | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞節」 |
| S' ス conj. もし～である | 「副詞節」 |
| il イル pron 非人称主語 | |
| s'agit サジ 3 単現(s'agir de+qch)v.h ～に関わることである | 「動詞句」 |
| d'une brindille デュヌ・ブランディユ n.f 小枝 | 「主語」 |
| de radis ou de rosier トゥ・ラディ・ウ・トゥ・ロジエ | |

文の構成要素

adj. 赤カブやバラの木の 「形容詞句 : brindille」
on お pron 人は 「主語」
peut ... laisser pousser プ ... レ・プセ 3 単現・可能・放任(pouvoir+不定詞)
v.i 伸びるままにさせて構わない 「動詞句」
la ラ pron 小枝が 「目的語」
comme elle veut コム・エル・ヴァー adv. 小枝が望むように 「副詞節」
もしそれが赤カブやバラの小枝なら、枝が伸びたい放題にさせておけば良い。

だって、もしそうしなかったら、ぼくをも辱めるために、本当に死んでしまうだろうから...》[B-20]

car, sinon, pour m'humilier moi aussi, elle se laisserait vraiment mourir ...》
car, sinon 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」「補語」
car, カール conj. なぜなら
sinon, シノン conj. そうしなければ
pour +不定詞 プール adv. ～するために 「副詞句」
m' ム pron ぼくを 「目的語」
humilier ユミリエ 不定詞 v.t 辱める 「動詞」
moi aussi, ムワ・オシ pron 僕までも 「目的語」
elle エル pron 彼女は 「主語」
se laisserait ス・レスレ 条・3 単現・放任(se laisser)v.t 自分に～させておくだろう 「動詞句」
vraiment ヴァレモン adv. 本当に 「副詞」
mourir ムリール 不定詞 v.i 死ぬ 「補語」
「本当に死んでしまうだろう」

僕は王子様に、バオバブは低木ではなくて、教会のように大きな木であること、王子様が象の群れ全体を連れて行っても、その群れはたった一本のバオバブも食べつくせないだろうということを気づかせた。[B-5]

Je fis remarquer au petit prince que les baobabs ne sont pas des arbustes, mais des arbres grands comme des églises et que, si même il emportait avec lui tout un troupeau d'éléphants, ce troupeau ne viendrait pas à bout d'un seul baobab.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
fis remarquer フィ・ルマルク 1 単過・使役(faire+不定詞 remarquer +à qn)
v.t (人に～を) 気づかせた 「動詞句」
不定詞は au petit prince の動作を表す「補語」の働きをしている
au petit prince オ・プティ・フランス adv. 王子様に 「間接目的語」

文の構成要素

| | |
|---|---------------|
| que ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| les baobabs レ・バオバブ pl.n.m バオバブは | 「主語」 |
| ne sont pas ス・ソ・パ 3 複現(être)v.i ～ではない | 「動詞句」 |
| des arbustes デ・サルビュスト pl.n.m 低木 | 「補語」 |
| mais メ conj. それどころか | |
| des arbres grands デ・サルブル・グロン pl.n.m 大きな木 | 「補語」 |
| comme des églises コム・デ・セグリーズ adj. 教会のように | 「形容詞句：arbres」 |
| et エ conj. そして | |
| que ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| si même シ・メム adv. たとえ～しても | 「副詞節」 |
| il イル pron 王子様が | 「主語」 |
| emportait オンポルテ 3 単半(emporter)v.t 連れてくる | 「動詞」 |
| avec lui アヴ・ェッキ・リュイ adv. 一緒に | 「副詞句」 |
| tout un troupeau d'éléphants トゥ・タン・トルポ・デレフォン n.m 象の群れ全体を | 「目的語」 |
| ce troupeau ス・トルポ n.m その群れは | 「主語」 |
| ne viendrait pas à bout d' ス・ヴィヤントレ・パ・ア・ブ・ドゥ 条・3 単半・否定・推量 v.t ～を食べつくせないだろう | 「動詞句」 |
| venir à bout de... ～を終える、に打ち勝つ、～を食べつくす | |
| un seul baobab アン・スル・バオバブ n.m 一本のバオバブさえも | 「目的語」 |

象の群れという思いつきに、王子様は笑った。「(ぼくんとは狭いから) 象を次々に重ねないといけないうな」 [B-5]

L'idée du troupeau d'éléphants fit rire le petit prince:

《Il faudrait les mettre les uns sur les autres ...》

「主語」「動詞句」「目的語」：《「動詞句」「主語」》

L'idée du troupeau d'éléphants リデ・ジユ・トルポ・デレフォン n.f 象の群れという考えは「主語」

fit rire フィ・リール 3 単過・使役(faire+不定詞 rire +qn)

v.i (人を) 笑わせた、(人が) 笑った 「動詞句」

不定詞は le petit prince の動作を表す「補語」の働きをしている

le petit prince ル・プチ・フランス n.m 王子様を 「目的語」

→ 王子を主語、L'idée を原因として翻訳する。

Il faudrait イル・フォトレ 条・3 単現(falloir+不定詞)v.h ～しなければならないだろう「動詞句」

les mettre les uns レ・メットル・レ・サン 不定詞+les uns n. 象たちを乗せること 「主語」

les は「目的語」で les uns 「象たち」の先出。

sur les autres シュール・レ・ゾートル adv. 他の象たちの上に

「副詞句」

それは惑星全体にはびこる。根でもってそれに穴をあける。そして星が小さすぎてバオバブが多すぎると、それらは星を破裂させてしまうのだ。[B-5]

Il encombre toute la planète. Il la perfore de ses racines. Et si la planète est trop petit, et si les baobabs sont trop nombreux, ils la font éclater.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Et 「副詞節」, et 「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞句」

Il イル pron それは (バオバブは) 「主語」

encombre オンコンブル 3 単現(encombrer)v.t (場所を) ふさぐ、はびこる 「動詞」

toute la planète トット・ラ・プ ラネット adv. 惑星全体に 「副詞句」

Il イル pron それは (バオバブは) 「主語」

la ラ pron 惑星に 「目的語」

perfore ペルフォー 3 単現(perforer de)v.t ~で穴をあける 「動詞」

de ses racines ドゥ・セ・ラシーヌ adv. (道具) 根によって 「副詞句」

Et エ conj. そして

si シ conj. もし~なら 「副詞節」

la planète ラ・プ ラネット n.f その惑星が 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

trop petit トロ・プ ティ adj. 小さすぎる 「補語」

et エ conj. そして

si シ conj. もし~なら 「副詞節」

les baobabs レ・バオバブ pl.n.m バオバブが 「主語」

sont ソン 3 複現(être)v.i ~である 「動詞」

trop nombreux トロ・ノンブル adj. 多すぎる 「補語」

ils イル pron.pl バオバブは 「主語」

la ラ pron 惑星を 「目的語」

font éclater フォン・エクラテ 3 複現・使役(faire+不定詞 éclater)

v.i 破裂させてしまう 「動詞句」

故障が大変深刻だということが分かってきたうえに、飲み水も底を尽きかけていたので、最悪の事態がたいへん心配だった。[B-7]

J'étais très soucieux car ma panne commençait de m'apparaître comme très grave, et l'eau à boire qui s'épuisait me faisait craindre le pire.

「主語」「動詞」「補語」「副詞節」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

文の構成要素

| | | |
|--|-------------------------------|---------|
| étais エ 1 単半 (être)v.i | ～であった | 「動詞」 |
| très soucieux トレ・スュー | adj. とても心配そうな | 「補語」 |
| car カル | conj. なぜなら | 「副詞節」 |
| ma panne マ・パンヌ | n.f 故障は | 「主語」 |
| commençait de m'apparaître コモンセ・ト・ウ・マ・パ・レートル | 3 単半・開始(commencer de+不定詞+me) | |
| v.i 私に分かり始めてきた | | 「動詞句」 |
| comme très grave コム・トレ・グラーヴ | adj. どれほど重大な | 「補語」 |
| et エ | conj. そして | |
| l'eau à boire ロ・ア・ブ わル | n.f 飲み水が | 「主語」 |
| qui キ | pron ～する | 「形容詞節」 |
| s'épuisait セ・ユイセ | 3 単半(s'épuiser)v.pr 底を尽きかけていた | 「動詞句」 |
| me ム | pron 私に | 「間接目的語」 |
| faisait craindre フェ・クラントル | 3 単半・使役(faire+不定詞) | |
| v.t 恐れさせていた | | 「動詞句」 |
| le pire ル・ピール | n.m 最悪の事態を | 「直接目的語」 |

「このボルトがまだいうことをきかないなら、カナヅチで叩いて吹っ飛ばしてやろう」

[B-7]

《Si ce boulon résiste encore, je le ferai sauter d'un coup de marteau.》

《「副詞節」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」》

| | | |
|-----------------------------------|------------------------------|-------|
| Si シ | conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| ce boulon セ・ブロン | n.m このボルトが | 「主語」 |
| résiste レジストゥ | 3 単現(résister)v.i 抵抗する | 「動詞」 |
| encore オンコール | adv. まだ | 「副詞」 |
| je ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| le ル | pron それを | 「目的語」 |
| ferai sauter フレ・サテ | 1 単未・使役(faire+不定詞)v.i 飛ばしてやる | 「動詞句」 |
| d'un coup de marteau ダン・ク・トゥ・マルトー | adv. 金槌で叩いて | 「副詞句」 |

『自分は真面目な男だ！真面目な男だ』って！そして傲慢で膨れ上がっている。だけど、あれは、人間じゃない。キノコだよ！」 [B-7]

“Je suis un homme sérieux! Je suis un homme sérieux!”, et ça le fait gonfler d'orgueil.
Mais ce n'est pas un homme, c'est un champignon!

《“「主語」 「動詞」 「補語」

「主語」 「動詞」 「補語」 ”, et 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

Mais 「主語」 「動詞句」 「補語」, 「主語」 「動詞」 「補語」》

文の構成要素

| | |
|--|--------------|
| Je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| suis シュイ 1 単現(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| un homme sérieux ア・ノム・セリュ n.m 真面目な男 | 「補語」 |
| Je suis un homme sérieux!" | 「主語」「動詞」「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| ça サ pron このことが | 「主語」 |
| le ル pron 彼を | 「目的語」 |
| fait gonfler フェ・ゴンフル 3 単現・使役(faire+不定詞)v.t 膨らましている | 「動詞句」 |
| d'orgueil トルグ・イェ adv. 傲慢によって | 「副詞句」 |
| →「俺は真面目な男だ！真面目な男だ！」と、そして傲慢で膨れ上がっている。 | |
| 「彼」を「主語」として翻訳する | |
| Mais メ conj. しかし | |
| ce ス pron あれは | 「主語」 |
| n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ~でない | 「動詞句」 |
| un homme ア・ノム n.m 人間 | 「補語」 |
| c'est セ 3 単現(être)v.i あれは~である | 「主語」「動詞」 |
| un champignon アン・ションピ・ニヨン n.m キノコ | 「補語」 |

王子様は活火山を二つ持っていた。それは朝の食事を温めるのに実に便利だった。

[B-9]

| | |
|---|--------------------------------------|
| <u>Il possédait deux volcans en activité. Et c'était bien commode pour faire chauffer le petit déjeuner du matin.</u> | 「主語」「動詞」「目的語」 Et 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| possédait ポセダ 3 単半(posséder)v.t 持っていた | 「動詞」 |
| deux volcans en activité トゥ・ウ・オルコン・オン・アクティヴィテ pl.n.m 活火山を2つ | 「目的語」 |
| Et エ conj. そして | |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| bien commode ビヤン・コモット adj. とても便利な | 「補語」 |
| pour +不定詞 プール adv. ~するために | 「副詞句」 |
| faire chauffer フェール・ショフェール 不定詞・使役(faire+不定詞) | |
| v.t 温める | 「動詞句」 |
| chauffer は自動詞で「暖かくなる」→ (使役により) 温める | |
| le petit déjeuner du matin ル・プティ・デジユネ・ジユ・マタン n.m 朝の食事 | 「目的語」 |

「違うよ、怠け者たちを夢想到にふけらせる、あの小さな金色のものだよ。」

だけど、おれ、真面目なんだ。夢想到にふけておるヒマがないのだ」 [B-13]

---- Mais non. Des petites choses dorées qui font rêvasser les fainéants.

Mais je suis sérieux, moi! Je n'ai pas le temps de rêvasser.

《「応答」 | 「主語」

Mais 「主語」「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

Mais non メ・ソ adv. いや違うよ 「応答」

Des petites choses テ・プティット・ショーズ pl.n.f 小さいもの 「主語」

dorées ドレ adj.pl.f. 金色の 「形容詞」

qui キ pron ~する 「形容詞節」

font +不定詞 フォン 3 複現・使役(faire)v.t ~させる 「動詞」

rêvasser レヴァセ 不定詞 v.i 夢想到にふける 「補語」

les fainéants レ・フェナソ pl.n.m なまけ者たちに 「目的語」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 俺は 「主語」

suis シュイ 1 単現(être)v.i ~である 「動詞」

sérieux セリュ adj. 真面目な 「補語」

moi ムワ pron 俺は 「主語」

Je ジュ pron 俺は 「主語」

n'ai pas ネ・パ 1 単現・否定(avoir)v.t がない 「動詞句」

le temps de rêvasser ル・トン・トゥ・レヴァセ n.m 夢想到にふける時間 「目的語」

《街灯に火をともしるとき、あたかも星をさらに一つ、それとも花をさらに一輪、この世にも
たらすようなものだ。》 [B-14]

Quand il allume son réverbère, c'est comme s'il faisait naître une étoile de plus, ou une fleur.

《「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

Quand コソ conj. ~するとき 「副詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

allume アリュム 3 単現(allumer)v.t (電灯を) 点灯する 「動詞」

son réverbère ソソ・レヴァセル n.m 街灯を 「目的語」

c' ス pron それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

comme s' コム・シ conj. あたかも~のようなもの 「補語」

il イル pron それが 「主語」

faisait naître フェ・ネトル 3 単半・使役(faire+不定詞+目的語)

v.i ~を生れさせた 「動詞句」

文の構成要素

une étoile de plus エヌ・エトワール・ドゥ・プリュ n.f さらに 1 つの星 「目的語」
ou une fleur ウ・エヌ・フレール n.f またはさらに花を一輪 「目的語」

「そして、そのうちの一人の見聞が興味深いと思われたら、地理学者はその探検家の品行を調査させる」 [B-15]

Et si les souvenirs de l'un d'entre eux lui paraissent intéressants, le géographe fait faire une enquête sur la moralité de l'explorateur.

《Et 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」》

Et エ conj. そして
si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
les souvenirs レ・スヴニール pl.n.m 見聞が 「主語」
de l'un d'entre eux トゥ・ラン・ドントル・ウー adj. それらの内の 1 人の 「形容詞句」
lui リュイ pron 彼にとって 「間接目的語」
paraissent パレス 3 複現(paraître)v.i ～に思われる 「動詞」
intéressants, アンテレスン adj. 興味深い 「補語」
le géographe ル・ジエオグラフ n.m 地理学者は 「主語」
fait faire フェ・フェール 3 単現・使役(faire+不定詞)v.t ～させる 「動詞句」
une enquête エヌ・オンケト n.f 調査を 「目的語」
sur la moralité シュル・ラ・モラリテ adv. 品行について 「副詞句」
de l'explorateur. トゥ・レクスプロラテール adj. その探検家の 「形容詞句」

ほかの足音はぼくを穴の中へ戻らせてしまう。 [B-21]

Les autres pas me font rentrer sous terre. 「主語」 「目的語」 「動詞」 「補語」
Les autres pas レ・ゾートル・パ pl.n.m 他の足音は 「主語」
me ム pron 僕を 「目的語」
font フォン 3 複現・使役(faire+人+不定詞)v.t (人に) ～させる 「動詞」
rentrentr ロントレ 不定詞 v.i 戻る 「補語」
sous terre. ス・テール adv. 地面の下に 「間接目的語」

すると、明かりのついた特急列車が、雷のような轟音をあげながら、転轍手のキャビンをゆらして通過した。 [B-22]

Et un rapide illuminé, grondant comme le tonnerre, fit trembler la cabine d'aiguillage.
Et 「主語」 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」

Et エ conj. すると
un rapide アン・ラピド n.m 特急列車が 「主語」
illuminé, イリュミネ adj. 明かりのついた 「形容詞」

文の構成要素

| | | | |
|---------------|--------------------------------|----------|--------|
| grondant | グロントソ 現在分詞(gronder)v.i | 轟音をあげながら | 「副詞句」 |
| comme | コム conj. | ～のように | 「副詞句」 |
| le tonnerre, | ル・トネル n.m | 雷鳴 | 「目的語」 |
| fit trembler | フィ・トロンブレ 3 単過・使役(faire+不定詞)v.t | 揺らした | 「動詞句」 |
| la cabine | ラ・キャビヌ n.f | 操縦席を | 「目的語」 |
| d'aiguillage. | デギョイヤージュ adj. | 転轍器の | 「形容詞句」 |

彼は笑い、綱に触れ、滑車を動かした。[B-25]

Il rit, toucha la corde, fit jouer la poulie.

| | | | |
|------------|------------------------------|---------------------------------|-------|
| | | 「主語」「動詞」, 「動詞」「目的語」, 「動詞句」「目的語」 | |
| Il | イル pron | 彼は | 「主語」 |
| rit, | リ 3 単過(rire)v.i | 笑った | 「動詞」 |
| toucha | トウシャ 3 単過(toucher)v.t | 触った | 「動詞」 |
| la corde, | ラ・コルト n.f | 綱に | 「目的語」 |
| fit jouer | フィ・ジュエ 3 単過・使役(faire+不定詞)v.t | 動かした | 「動詞句」 |
| la poulie. | ラ・プリー n.f | 滑車を | 「目的語」 |

「良い毒、持っているんだろう？長い間苦しめないって、確かだね？」[B-26]

《Tu as du bon venin? Tu es sûr de ne pas me faire souffrir longtemps?》

| | | | |
|--------------------------|------------------|--------------------------------|-------|
| | | 《「主語」「動詞」「目的語」 「主語」「動詞」「補語」》 | |
| Tu | チュ pron | 君は | 「主語」 |
| as | ア 2 単現(avoir)v.t | (念押し) 持っている、ある | 「動詞」 |
| du bon venin? | ジュ・ボン・ヴァン n.m | 強い毒を | 「目的語」 |
| Tu | チュ pron | 君は | 「主語」 |
| es | エ 2 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| sûr de +不定詞 | シュール・ドゥ adj. | ～するのが確かな | 「補語」 |
| ne pas me faire souffrir | ヌ・パ・ム・フェール・スフリール | 不定詞・使役・否定(faire+人+不定詞) | |
| | v.t | 僕を苦しめない | 「動詞句」 |
| longtemps?》 | ロントソ adv. | 長い間 | 「副詞」 |

しかし蛇は、僕のたてた足音で、まるで噴水が止まるように、静かに砂のなかへ滑り込んでいった。[B-26]

| | | | |
|---|------------|---------------------|-------|
| mais, au bruit que je fis, le serpent se laissa doucement couler dans le sable, comme un jet d'eau qui meurt, | mais | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 | |
| mais, | メ conj. | しかし | |
| au bruit | オブリユイ adv. | 物音によって | 「副詞句」 |

文の構成要素

| | | |
|--|----------|--------|
| que ク pron | ～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| fit, フィ 1 単過(faire)v.t | 作った、たてた | 「動詞」 |
| le serpent ル・セルパン n.m | 蛇は | 「主語」 |
| se laissa doucement couler ス・レサ・ト・カースモン・クール 3 単過・使役(se couler) | | |
| v.pr | 静かに潜り込んだ | 「動詞句」 |
| dans le sable, トン・ル・サブル adv. | 砂の中に | 「副詞句」 |
| comme コム conj. | ～のように | 「副詞句」 |
| un jet d'eau アン・ジェ・ト・ォ n.m | 噴水 | 「目的語」 |
| qui キ pron | ～する | 「形容詞節」 |
| meurt, メール 3 単現(mourir)v.i | 消える | 「動詞」 |
| 噴水の蛇口を閉じる時に、水が噴き出し口に吸い込まれるように戻る感じで | | |

彼のこめかみを湿布し、水を飲ませた。[B-26]

Je lui avais mouillé les tempes et j'avais fait boire.

| | |
|---|---------|
| 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「目的語」「動詞句」「補語」 | |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼の | 「間接目的語」 |
| avais mouillé アヴェ・ムイエ 1 単半・完了形(mouiller)v.t 湿らせた、湿布した | 「動詞句」 |
| les tempes レ・トンプ pl.n.f こめかみを | 「直接目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| l' ル pron 彼に | 「目的語」 |
| avais fait アヴェ・フェ 1 単半・完了形・使役(faire+人+不定詞)v.t に～させた | 「動詞句」 |
| boire. ヴォール 不定詞 v.t 飲む | 「補語」 |

「それは、水についてと同じみたいだね。ぼくが飲ませてもらったあの水は、滑車の綱のおかげで音楽のようなものだった。... ほら、覚えているね... あの水は美味しかった」

[B-26]

---- C'est comme pour l'eau. Celle que tu m'as donnée à boire était comme une musique, à cause de la poulie et de la corde ... tu te rappelles ... elle était bonne.

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」
「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞」「補語」》

| | | |
|-------------------------|-------|-------|
| C' ス pron | それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| comme コム conj. | ～と同様の | 「補語」 |
| pour l'eau. プール・ロー adv. | 水に対して | 「副詞句」 |

文の構成要素

| | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------|
| Celle セル pron | それ (水) は | 「主語」 |
| que ク pron | (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| tu チュ pron | 君が | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| as donnée à boire ア・トネ・ア・ボ わ・ル | 2 単現・完了形・使役.f(donner à+不定詞) | |
| v.t | 飲ませた | 「動詞句」 |
| 目的語の Celle が女性形なので過去分詞が donnée になっている | | |
| était エテ | 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| comme une musique, コム・ユヌ・ジッキ | adv. 音楽のような | 「補語」 |
| à cause ア・コース | adv.(de の) おかげで、せいで | 「副詞句」 |
| de la poulie トゥ・ラ・プリー | adv. 滑車の | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| de la corde ... トゥ・ラ・コルトゥ | adv. 綱の | 「目的語」 |
| tu チュ pron | 君は | 「主語」 |
| te rappelles ... トゥ・ラヘル | 2 単現・確認(se rappeler)v.pr 覚えているだろう | 「動詞句」 |
| elle エル pron | あの水は | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| bonne. ボヌ | adj. 美味しい | 「補語」 |

「ぼうや、ぼくはきみの笑い声をもっと聞きたいよ...」[B-26]

《Petit bonhomme, je veux encore t'entendre rire ...》

《「呼びかけ」「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「補語」》

| | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|--------|
| Petit bonhomme, プティ・ボノム | adv. 坊や | 「呼びかけ」 |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| veux encore t'entendre ヲ・オンコル・トントトル | 1 単現・願望(vouloir+不定詞+te+encore) | |
| v.t | もっと君が～するのを聞きたい | 「動詞句」 |
| te | は「目的語」(知覚動詞+人+不定詞：人が～するのを聞く、見る) | |
| rire ...》 | リール 不定詞 v.i 笑う | 「補語」 |

ガラス窓は閉じられていた。僕が着席すると、警官が両側から僕を挟んだ。[C-2-3]

On avait laissé les vitres closes. Je me suis assis et les gendarmes m'ont encadré.

「主語」「動詞句」「目的語」「補語」 | 「主語」「動詞句」et「主語」「目的語」「動詞句」

| | | |
|--------------------|----------------------|-------|
| On オン pron | 人は | 「主語」 |
| 受動態に翻訳する | | |
| avait laissé アヴァ・レ | 3 単半・完了形・放任(laisser) | |
| v.t | (～の状態のままに) していた | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | | | |
|---------------|----------------------------------|----------|-------|
| les vitres | レ・ヴィトル pl.n.f | ガラス窓を | 「目的語」 |
| closes. | クロス adj.f.pl | 閉じた | 「補語」 |
| Je | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| me suis assis | ム・シュイ・アシ 1 単現・完了形(s'asseoir)v.pr | 座った、着席した | 「動詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| les gendarmes | レ・ジ ヲンダルム pl.n.m | 警官は | 「主語」 |
| m' | ム pron | 僕を | 「目的語」 |
| ont encadré. | オン・オンカドレ 3 複現・完了形(encadrer)v.t | 両側から挟んだ | 「動詞句」 |

当然ながら社長は、僕が日曜を含めて 4 連休を取ることになると思ったはずだ。それでは彼も嬉しいはずがないだろう。[C-1-2]

Mon patron, tout naturellement, a pensé que j'aurais ainsi quatre jours de vacances avec mon dimanche et cela ne pouvait pas lui faire plaisir.

| | | | |
|----------------------------------|---|----------------|---------------------------------------|
| | | | 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Mon patron, | モン・パ トン n.m | 社長は | 「主語」 |
| tout naturellement, | トゥ・ナチュレルモン adv. | ごく自然に、当然ながら | 「副詞句」 |
| a pensé | ア・ポンセ 3 単現・完了形(penser)v.t (que) | ～と思った | 「動詞句」 |
| que | ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| j' | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| aurais | アレ 条・1 単現(avoir)v.t | ～をするだろう | 「動詞」 |
| ainsi | オンシ adv. | それでは | 「副詞」 |
| quatre jours de vacances | クワトル・ジュール・トゥ・ウ アコンス n.f | 4 連休を | 「目的語」 |
| avec mon dimanche | アウ エッキ・モン・デーイモンシュ adv. | 日曜日も含めて | 「副詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| cela | スラ pron | これは | 「主語」 |
| ne pouvait pas ...faire plaisir. | ヌ・プ ラ ヴェ・パ ...フェール・プレジール 3 単半・可能性・否定・使役 | | |
| | v.t | ～を喜ばせなかったに違いない | 「動詞句」 |
| lui | リュイ pron | 彼を | 「目的語」 |
| | | 「彼」を主語にして翻訳する | |

気持ちがよかった。僕はふざけたふりをして、頭を後ろにのけ反らせて、彼女の腹の上に頭を乗せた。[C-1-2]

Il faisait bon et, comme en plaisantant, j'ai laissé aller ma tête en arrière et je l'ai posée sur son ventre.

| | | | |
|------------|--------------------------|------|---------------------------------------|
| | | | 「動詞句」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| | | | et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 |
| Il faisait | イル・フェ 3 単半・非人称(faire)v.h | ～だった | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| bon ボン adj. 気持ちが良い | 「補語」 |
| et, エ conj. そして | |
| comme en plaisantant, コム・オン・プレザンタン adv. (comme+en+現在分詞 plaisanter) | |
| adv. ふざけているように、ふりをして | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai laissé aller エ・レッセ・アレ 1 単現・完了形・使役(laisser+不定詞)v.t 行かせた | 「動詞句」 |
| ma tête マ・テット n.f 自分の頭を | 「目的語」 |
| en arrière オン・アリエール adv. 後ろの方へ | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ラ pron 頭を | 「目的語」 |
| ai posée エ・ポ・ゼ 1 単現・完了形.f(poser)v.t 置いた、のせた | 「動詞句」 |
| sur son ventre. シュール・ソン・ヴァントル adv. 彼女の腹の上に | 「副詞句」 |

散歩をしていた人たちが、少しずつ戻って来た。僕は、他の人たちの間に例の上品な紳士がいるのに気付いた。子供たちは、泣いているか、引きずられて歩いていた。[C-1-2]

Les promeneurs revenaient peu à peu. J'ai reconnu le monsieur distingué au milieu d'autres. Les enfants pleuraient ou se laissaient traîner.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞」 ou 「動詞句」

| | |
|--|-------|
| Les promeneurs レ・プロムネール pl.n 散歩をしていた人たちが | 「主語」 |
| revenaient ルヴネ 3 複半(revenir)v.i 戻って来た | 「動詞」 |
| peu à peu. プ・ア・プ adv. 少しずつ | 「副詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai reconnu エ・ルコニュ 1 単現・完了形(reconnaître)v.t 〜に気付いた | 「動詞句」 |
| le monsieur distingué ル・ムシュ・ディスタンゲ n.m 例の上品な紳士に | 「目的語」 |
| au milieu d'autres. オ・ミリュ・ドートル adv. 他の人たちの間に | 「副詞句」 |
| Les enfants レ・ソフオン pl.n 子供たちは | 「主語」 |
| pleuraient プル 3 複半(pleurer)v.i 泣いていた | 「動詞」 |
| ou ウ conj. または | |
| se laissaient traîner. ス・レッセ・トレネ 3 複半・使役(se laisser+不定詞) | |
| v.t 引きずられるままになっていた | 「動詞句」 |

その時、街灯が突然点灯して、その光が、夜に先駆けて登っていた星たちを色あせさせた。

[C-1-2]

Les lampes de la rue se sont alors allumées brusquement et elles ont fait pâlir les premières étoiles qui montaient dans la nuit.

「主語」「動詞句」「副詞」 et 「主語」「動詞句」「補語」「目的語」

Les lampes de la rue レ・ロンプ・ドゥ・ラ・リュエ pl.n.f 街灯が 「主語」

se sont alors allumées ス・ツン・アロー・アリュメ 3 複現・完了形(s'allumer+alors)

v.pr その時明かりが灯った 「動詞句」

brusquement ブリュスクモン adv. 不意に、突然 「副詞」

et エ conj. すると

elles エル pron.pl 街灯の光が 「主語」

ont fait オン・フェ 3 複現・完了形・使役(faire+不定詞)v.t ~させた 「動詞句」

pâlir パール 不定詞 v.i 青ざめる、色あせる 「補語」

les premières étoiles レ・プ・ルミエール・ゼトワール pl.n.f 最初の星たちを 「目的語」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

montaient モンテ 3 複半(monter)v.i 登っていた 「動詞」

dans la nuit. トン・ラ・ニュイ adv. 夜に先駆けて 「副詞句」

街灯は濡れた歩道をきらめかせ、路面電車は規則的な間隔で、輝く髪の毛や、微笑みや、銀のブレスレットに照り返しの輝きを与えた。[C-1-2]

Les lampes faisaient luire le pavé mouillé, et les tramways, à intervalles réguliers, mettaient leurs reflets sur des cheveux brillants, un sourire ou un bracelet d'argent.

「主語」「動詞」「補語」「目的語」

et 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「目的語」 ou 「目的語」

Les lampes レ・ロンプ pl.n.f 街灯は 「主語」

faisaient フェ 3 複半・使役(faire)v.t (O+不定詞) O に~させた 「動詞」

luire リュール 不定詞 v.i きらめく 「補語」

le pavé ル・パヴェ n.m 歩道を 「目的語」

mouillé, ムイェ adj. 濡れた 「形容詞」

et エ conj. そして

les tramways, レ・トラムウェ pl.n.m 路面電車は 「主語」

à intervalles réguliers, ア・アンテルヴアル・レギュリエ adv. 規則的な間隔で 「副詞句」

mettaient メテ 3 複半(mettre)v.t 置いた、連れて来た 「動詞」

leurs reflets レール・ルフレ pl.n.m その照り返しを 「目的語」

sur シュール adv. ~の上に 「副詞句」

des cheveux brillants, デ・シュヴァ・ブリヨン

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| pl.n.m 輝く髪の毛 | 「目的語」 |
| un sourire アン・スリール n.m 微笑み | 「目的語」 |
| ou ヲ conj. または | |
| un bracelet d'argent. アン・ブラスレ・ダルジュン n.m 銀のブレスレット | 「目的語」 |

そのスパニエル犬は皮膚病だった。疥癬だと思うのだが。それがその犬のほとんどの体毛を失わせており、犬の体を出来物や褐色のかさぶたで覆っていた。[C-1-3]

L'épagneul a une maladie de peau, le rouge, je crois, qui lui fait perdre presque tous ses poils et qui le couvre de plaques et de croûtes brunes.

| | |
|---|--------|
| 「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」「主語」「動詞」, 「形容詞節」, 「形容詞節」 | |
| L'épagneul レパニエル n. そのスパニエル犬は | 「主語」 |
| a ア 3 単現(avoir)v.t ある | 「動詞」 |
| une maladie de peau, エヌ・マラデー・トゥ・プー n.f 皮膚病 | 「目的語」 |
| le rouge, ル・ルージュ n. 赤い皮膚病、疥癬 | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| crois, クルワ 1 単現(croire)v.t (que) 〜と思う | 「動詞」 |
| qui キ pron (主語) それが〜する | 「形容詞節」 |
| lui リュイ pron その犬に | 「目的語」 |
| fait perdre フェ・ペルトル 3 単現・使役(faire+不定詞)v.t 失わせる | 「動詞句」 |
| presque tous ses poils プレスキ・トゥ・セ・プル pl.n.m ほとんどの体毛を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| qui キ pron (主語) それが〜する | 「形容詞節」 |
| le ル pron 犬を | 「目的語」 |
| couvre クーブル 3 単現(couvrir)v.t (de で) 覆っている | 「動詞」 |
| de plaques トゥ・プラキ adv. 出来物で | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| de croûtes brunes. トゥ・クルト・ブリュヌ adv. 褐色のかさぶたで | 「副詞句」 |

疥癬 かいせん：

疥癬虫（ヒゼンダニ）の寄生によっておこる伝染性の皮膚病。下腹部などに散発する赤い丘疹、指の間に多発する小水疱と線状の皮疹が特徴でとてもかゆい。

それから彼は犬を引っ張りながら立ち去ったが、犬は 4 本の足で立ったまま、引っ張られて、うなっていた。[C-1-3]

Puis il est parti en tirant la bête qui se laissait traîner sur ses quatre pattes, et gémissait.

| | |
|--------------------|------|
| 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 | |
| Puis ビュイ adv. それから | 「副詞」 |

文の構成要素

| | | | | | |
|------------------------|-----------------|-------------------------|----------|---------|--------|
| il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| est parti | エ・パルティ | 3 単現・完了形(partir) | v.i | 立ち去った | 「動詞句」 |
| en tirant | オン・チロン | ジェロンディフ(tirer) | v.t | 引っ張りながら | 「副詞句」 |
| la bête | ラ・ベート | n.f | 動物を、犬を | | 「目的語」 |
| qui | キ | pron | (主語) ～する | | 「形容詞節」 |
| se laissait traîner | ス・レッセ・トレネ | 3 単現・使役(se laisser+不定詞) | | | |
| | v.pr | 引っ張られるままになっていた | | | 「動詞句」 |
| sur ses quatre pattes, | シュール・セ・クアトル・パット | | | | |
| | adv. | 4 本の足で立って | | | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | | |
| gémissait. | ジェミセ | 3 単半(gémir) | v.i | 呻いていた | 「動詞」 |

彼は最初、女をホテルに連れていき、風紀取り締まり警察を呼んでから、ひと騒動を起こして、女を売春婦の登録簿に記録させようと考えた。[C-1-3]

Il avait d'abord pensé à l'emmener dans un hôtel et à appeler les «moeurs» pour causer un scandale et la faire mettre en carte.

| | | | | | |
|-----------------------|-----------------|--------------------|----------------|---------|---|
| | | | | | 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| Il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| avait d'abord pensé à | アヴ・ダボール・ボンセ・ア | 3 単半・完了形・意図 | | | |
| | (penser à +不定詞) | v.i | 最初は～しようと考えた | | 「動詞句」 |
| l' | ラ | pron | 女を | | 「目的語」 |
| emmener | オンネ | 不定詞 v.t | 連れていく | | 「動詞句」 |
| dans un hôtel | ドン・サン・オテル | adv. | ホテルに | | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | | |
| à appeler | ア・アプレ | 不定詞(penser à +不定詞) | v.i | 呼ぼうと思った | 「動詞句」 |
| les «moeurs» | レ・メルス | pl.n.f | 風紀取り締まり警察を | | 「目的語」 |
| pour | +不定詞 プール | adv. | (目的・結果) ～するために | | 「副詞句」 |
| causer | コーセ | 不定詞 v.t | 引き起こす | | 「動詞」 |
| un scandale | アン・スコンダール | n.m | ひと騒動を | | 「目的語」 |
| et | エ | conj. | そして | | |
| la | ラ | pron | 女を | | 「目的語」 |
| faire mettre | フェール・メットル | 不定詞・使役 v.t | (書類に) 記録させる | | 「動詞句」 |
| en carte. | オン・カト | adv. | 売春婦の登録簿に | | 「副詞句」 |

文の構成要素

彼は、「女を足蹴にするような、そして同時に、女に後悔させるような」内容の手紙を書いて出したいと思っていた。[C-1-3]

Il voulait lui écrire une lettre «avec des coups de pied et en même temps des choses pour la faire regretter».

「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「形容詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

voulait ...écrire ヴレ...エクリル 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.t (手紙を) 書いて出したいと思っていた

「動詞句」

lui リュイ pron 女に

「間接目的語」

une lettre エヌ・レトル n.f 手紙を

「直接目的語」

«avec アヴ・ェッキ adj. ～を含んだ

「形容詞句」

des coups de pied デ・ク・ド・ピエ pl.n.m 足蹴を

「目的語」

et エ conj. そして

en même temps オン・メーム・トン adv. 同時に

「副詞句」

des choses デ・ショーズ pl.n.f 事柄を

「目的語」

pour +不定詞 プール adv. ～するための

「副詞句」

la ラ pron 女を

「目的語」

faire フェール 不定詞・使役 v.t ～させる

「動詞」

regretter». ルグレテ 不定詞 v.t 後悔する

「補語」

僕はマリーを抱き寄せた。それから大急ぎでバスに乗り、町に戻って、僕の部屋に入り、ベッドに飛び込んだ。[C-1-4]

Je l'ai tenue contre moi et nous avons été pressés de trouver un autobus, de rentrer, d'aller chez moi et de nous jeter sur mon lit.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「補語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron 彼女を

「目的語」

ai tenue エ・トゥニユ 1 単現・完了形(tenir)v.t 抱いた

「動詞句」

contre moi コントル・ムわ adv. 僕に向かって

「副詞句」

→ 抱き寄せた

et エ conj. そして

nous ヌ porn 僕たちは

「主語」

avons été pressés アヴ・オン・ゼ・テ・プレッセ 1 複現・完了形・受動・使役(presser)

v.t(+de+不定詞) ～するように急き立てられた、大急いで～した

「動詞句」

de trouver トゥ・トゥルヴレ 不定詞 v.t 拾う、乗る

「補語」

un autobus, アン・オトビュス n.m バスを

「目的語」

文の構成要素

de rentrer, ドゥ・ラントレ 不定詞 v.i 戻る 「補語」

d'aller ダレ 不定詞 v.i 〜に行く 「補語」

chez moi シェ・ムワ adv. 僕の部屋に 「副詞句」

et エ conj. そして

de nous jeter トゥ・ヌ・ジュテ 不定詞(se jeter)v.pr 飛び込む 「補語」

sur mon lit. シュール・モン・リ adv. 僕のベッドに 「副詞句」

→ 「浜辺でバスに乗り、アパートのベッドに飛び込む」までの、情欲に動かされた慌ただしい行動が1つの長い動詞句 (avons été pressés+ de+不定詞) によって描かれている。

能動態の文で考えると、「presser nous de+不定詞」の nous が「目的語」なので、後に続く一連の「de+不定詞」は目的語の動作を表す「補語」である。受動態によって、自分の意識的な行動ではなく、衝動に突き動かされた行動であることを表している。

そのすぐ後で、僕は社長に呼ばれたので、とっさに心配になった。というのも、社長はきつと僕に、電話は程々にして、もっと仕事に集中するようにと言うだろうと思ったからだ。

[C-1-5]

Peu après, le patron m'a fait appeler et sur le moment j'ai été ennuyé parce que j'ai pensé qu'il allait me dire de moins téléphoner et de mieux travailler.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞節」

Peu après, プ・アプレ adv. すぐ後で 「副詞句」

le patron ル・パトロン n.m 社長が 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

a fait appeler ア・フェ・アプレ 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞)v.t 呼ばせた 「動詞句」

受動態に翻訳する

et エ conj. そして

sur le moment シュール・ル・モモン adv. とっさに 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai été ennuyé エ・エテ・オンニュエ 1 単現・完了形・受動(ennuyer)v.t 当惑した 「動詞句」

parce que パルス・キ conj. 〜なので 「副詞節」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(que+直説法) 〜と思った 「動詞句」

qu' ク conj. 〜ということを 「目的語」

il イル pron 社長は 「主語」

allait +不定詞 アル 3 単半・近接未来・時制の一致(aller+不定詞)

v. 〜するだろう 「動詞句」

me ム pron 僕に 「目的語」

dire ティール 不定詞 v.t(de+不定詞) 〜するように言う 「動詞」

文の構成要素

de +不定詞 トゥ adv. ～するように 「副詞句」

moins téléphoner ムワソ・テレフォネ 不定詞

v.i あまり電話をしない 「動詞句」

et エ conj. そして

de +不定詞 トゥ adv. ～するように 「副詞句」

mieux travailler. ミュ・トラヴァイエ 不定詞

v.i もっと働く 「動詞句」

僕は彼を中へ入れた。彼は犬がいなくなったと言った。野犬収容所にもいなかったのだ。

[C-1-5]

Je l'ai fait entrer et il m'a appris que son chien était perdu, car il n'était pas à la fourrière.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 et

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞節」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ル pron 彼を 「目的語」

ai fait エ・フェ 1 単現・完了形・使役(faire+不定詞)v. ～させた 「動詞句」

entrer オントレ 不定詞 v.i 入る 「補語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a appris ア・アプリ 3 単現・完了形(apprendre)v.t 知らせた、教えた 「動詞句」

que ク conj. ～ということ 「直接目的語」

son chien ソン・シヤン n.m 彼の犬は 「主語」

était perdu, エテ・ペルジュ 3 単半・受動(perdre)v.t いなくなった 「動詞句」

car カル conj. ～なので 「副詞節」

il イル pron 犬は 「主語」

n'était pas ネ・ハ 3 単半・否定(être)v.i (存在) いなかった 「動詞」

à la fourrière. ア・ラ・フリエール adv. 野犬収容所に 「副詞句」

僕はサラマノ老人に、別の犬を飼ったらどうだろうかと言ったが、彼はあの犬に馴染んでい
るということを僕に気づかせた。[C-1-5]

J'ai dit au vieux Salamano qu'il pourrait avoir un autre chien, mais il a eu raison de me
faire remarquer qu'il était habitué à celui-là.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

文の構成要素

| | |
|---|---------|
| au vieux Salamano オ・ヴァィユ・サラマノ adv. サラマノ老人に | 「間接目的語」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| pourrait avoir プレ・アヴァール 条・3 単現・可能・語調緩和(pouvoir+不定詞) | |
| v.t 持つことも出来るのではないか | 「動詞句」 |
| un autre chien, アン・オートル・シヤン n.m ほかの犬を | 「目的語」 |
| mais メ conj. しかし | |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t あった | 「動詞句」 |
| raison レゾソ n.f 理由 | 「目的語」 |
| de +不定詞 トゥ 不定詞 v.t ～する | 「形容詞句」 |
| me ム pron 僕に | 「目的語」 |
| faire フェール 不定詞・使役 v.t ～させる | 「動詞」 |
| remarquer ルマルケ 不定詞 v.i 気づく | 「補語」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| était habitué エテ・アビチュエ 3 単半・受動(habituer) | |
| v.t 慣れていた | 「動詞句」 |
| à celui-là. ア・スリュイ・ラ adv. その犬に | 「間接目的語」 |

僕はいまだになぜかわからないのだが、僕がこのことで悪く言われているとは今まで知らなかったと答えて、さらに、母さんを看護してもらうだけの十分なお金がなかったので、養老院は自分にとっては自然な成り行きに思われたと答えた。[C-1-5]

J'ai répondu, je ne sais pas encore pourquoi, que j'ignorais jusqu'ici qu'on me jugeât mal à cet égard, mais que l'asile m'avait paru une chose naturelle puisque je n'avais pas assez d'argent pour faire garder maman.

| | |
|---|------------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」, 「副詞節」, 「目的語」 mais 「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu, エ・レポソジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| 副詞節が挿入されている | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない、知らない | 「動詞句」 |
| encore オンコール adv. まだ、いまだに | 「副詞」 |
| pourquoi, プルワ adv. なぜか | 「副詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |

文の構成要素

| | | | | |
|---------------------|----------------|-----------------------|-------------|---------|
| ignorais | イヨレ | 1 単半(ignorer)v.t | 知らなかった | 「動詞」 |
| jusqu'ici | ジュスキシ | adv. | 今まで | 「副詞句」 |
| qu' | ク | conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| on | オン | pron | 人が | 「主語」 |
| me | ム | pron | 僕を | 「目的語」 |
| jugeât | モンジャ | 接・3 単半・推量(juger)v.t | 評価しているとは | 「動詞」 |
| mal | マル | adv. | 悪く | 「副詞」 |
| à cet égard, | ア・セツ・エガール | adv. | この件で | 「副詞句」 |
| mais | メ | conj. | しかし | |
| que | ク | conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| l'asile | ラジール | n.m | 養老院は | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕にとっては | 「間接目的語」 |
| avait paru | アヴ・ェ・パリュ | 3 単半・完了形(paraître)v.i | ～のように思われた | 「動詞句」 |
| une chose naturelle | ユンス・ショーズ・ナチュレル | n.f | 自然なこと | 「補語」 |
| puisque | ピュイスキ | conj. | ～なので | 「副詞節」 |
| je | ジュ | pron | 私は | 「主語」 |
| n'avais pas | ナヴ・ェ・パ | 1 単半・否定(avoir)v.t | なかった | 「動詞句」 |
| assez d'argent | アセ・ダルジュヨ | n.m | 十分なお金が | 「目的語」 |
| pour +不定詞 | プール | adv. | (目的) ～するために | 「副詞句」 |
| faire garder | フェール・ギヤルテ | 不定詞・使役 | | |
| | v.t | | 看護をしてもらう | 「動詞句」 |
| maman. | マモン | n.f | 母さんを | 「目的語」 |

どうしてか分からないが、これを聞いてマリーが笑い出した。[C-1-6]

| | |
|--|----------------|
| <u>Je ne sais pas pourquoi cela a fait rire Marie.</u> | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Je ジェ pron 僕は | 「主語」 |
| ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない | 「動詞句」 |
| pourquoi プルクワ adv. どうして～するということを | 「目的語」 |
| cela スラ pron このことが（これを聞いたこと） | 「主語」 |
| a fait ア・フェ 3 単現・完了形・使役(faire)v.t ～させた | 「動詞句」 |
| rire リール 不定詞 v.i 笑う | 「補語」 |
| Marie. マリー n.f マリーを | 「目的語」 |
| どうしてこれがマリーを笑わせたのか分からない | |

すると再び、彼は仰向けになったが、手はポケットに入れたままだった。[C-1-6]

Alors de nouveau, il s'est laissé aller en arrière, mais sans retirer la main de sa poche.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 mais 「副詞句」

Alors アー adv. すると 「副詞」

de nouveau, トゥ・ヌヴェー adv. また、ふたたび 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

s'est laissé +不定詞 3 単現・完了形・使役(se laisser)

v. 〜になった 「動詞句」

aller アレ 不定詞 v.i (状態が) 〜である、行く 「動詞句」

en arrière, オン・リエール adv. 仰向けに 「副詞句」

mais メ conj. しかし

sans +不定詞 ソン adv. 〜せずに 「副詞句」

retirer ルレ 不定詞 v.t 引き出す 「動詞」

la main ラ・マン n.f 手を 「目的語」

de sa poche. トゥ・サ・ポ ッシュ adv. ポケットから 「副詞句」

僕には、空が全体に渡って開け放たれ、火の雨が降ってくるように思われた。[C-1-6]

Il m'a semblé que le ciel s'ouvrait sur toute son étendue pour laisser pleuvoir du feu.

「間接目的語」 「動詞句」 「主語」

Il イル pron 非人称

m' ム pron 僕には 「間接目的語」

a semblé ア・ソブレ 3 単現・完了形(sembler)v.h 〜らしい、〜のように思われた 「動詞句」

que ク conj. 〜ということは 「主語」

le ciel ル・シエル n.m 空は 「主語」

s'ouvrait スヴレ 3 単半(s'ouvrir)v.pr 開いた、開かれた 「動詞句」

sur toute son étendue シュール・トゥット・ソン・エトジユ adv. その全域に渡って 「副詞句」

pour +不定詞 プール adv. (目的) 〜するように 「副詞句」

laisser pleuvoir レッセ・フルヴ わル 不定詞・使役 v.t 雨を降らせる 「動詞句」

du feu. ジュ・フー adv. (手段) 火によって、火で 「副詞句」

彼はカーテンを張り巡らせた部屋の中で僕を迎えた。デスクの上にはランプが 1 つだけ置いてあり、肘掛椅子を照らしていた。彼は僕をそこに座らせたが、その一方で、彼は暗闇の中に留まっていた。[C-2-1]

Il m'a reçu dans une pièce tendue de rideaux, il avait sur son bureau une seule lampe qui éclairait le fauteuil où il m'a fait asseoir pendant que lui-même restait dans l'ombre.

「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」 「目的語」 「形容詞節」

文の構成要素

| | | | | | |
|-----------------|--------------|----------------------------|------------|--------|--------|
| Il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕を | | 「目的語」 |
| a reçu | ア・ルシュ | 3 単現・完了形(recevoir) | v.t | 迎えた | 「動詞句」 |
| dans une pièce | ドン・ジエヌ・ピエス | adv. | 部屋の中で | | 「副詞句」 |
| tendue | トンジュ | 過去分詞・受動(tendre) | | | |
| adj.f(de | ～によって) | | 張られた | | 「形容詞句」 |
| de rideaux, | トゥ・リドー | adv. | (手段) カーテンを | | 「副詞句」 |
| il | イル | pron | 非人称 | | |
| avait | アヴェ | 3 単半(avoir) | v.t | ～があった | 「動詞」 |
| sur son bureau | シュール・ソン・ビュロー | adv. | デスクの上に | | 「副詞句」 |
| il y avoir | 「～がある」の y | の代わりに具体的な場所を示す副詞句が使われている | | | |
| une seule lampe | エヌ・スル・ロンプ | n.f | ランプが1つだけ | | 「目的語」 |
| qui | キ | pron | (主語) ～する | | 「形容詞節」 |
| éclairait | エクレ | 3 単半(éclairer) | v.t | 照らしていた | 「動詞」 |
| le fauteuil | ル・フォトゥイユ | n.m | 肘掛椅子を | | 「目的語」 |
| où | ウ | adv. | そこで～する | | 「形容詞節」 |
| il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕を | | 「目的語」 |
| a fait | ア・フェ | 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞・他動詞) | | | |
| v.t | ～させた | | | | 「動詞句」 |
| asseoir | アスワール | 不定詞 v.t | 座らせる | | 「補語」 |
| pendant que | ポントン・キ | | | | |
| conj. | ～する一方で～する | | | | 「副詞節」 |
| lui-même | リュイ・メーム | pron | 彼自身は | | 「主語」 |
| restait | レスト | 3 単半(rester) | | | |
| v.i | ～に留まっていた | | | | 「動詞」 |
| dans l'ombre. | ドン・ロンブル | | | | |
| adv. | 暗闇の中に | | | | 「副詞句」 |

彼は僕に、審問の場や予審判事のところではこんなことを言わないと約束させた。

[C-2-1]

Il m'a fait promettre de ne pas dire cela à l'audience, ni chez le magistrat instructeur.

| | | | | | |
|--------|------|--------------------------------|-----|--|--------------------|
| | | | | | 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 |
| Il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕に | | 「目的語」 |
| a fait | ア・フェ | 3 単現・完了形・使役(SVO+不定詞 O に～するように) | させた | | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | | |
|-----------------------------------|---|-------|
| promettre | プロメットル 不定詞・me の動作 v.t(de+不定詞 ～すると) 約束する | 「補語」 |
| de ne pas dire | ドゥ・ヌ・パ・ディール 不定詞・否定形 v.i ～を言わない | 「動詞句」 |
| cela | スラ pron そのことを | 「目的語」 |
| à l'audience, | ア・ロジ・オンス adv. 審問の場で | 「副詞句」 |
| ni chez le magistrat instructeur. | ニ・シェ・ル・マジストラ・アンストリュクテール | |
| adv. | 予審判事のところで～ない | 「副詞句」 |

彼は僕を座らせてから、大変丁重に、僕の弁護士が、不測の事態のために来られなかった、と僕に伝えた。[C-2-1]

Il m'a fait asseoir et, avec beaucoup de courtoisie, m'a déclaré que mon avocat, «par suite d'un contretemps», n'avait pu venir.

| | | |
|-------------------|---|---------|
| | 「主語」「動詞句」 et 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | |
| Il | イル pron 彼は | 「主語」 |
| m'a fait asseoir | マ・フェ・アスワ・ル 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞 s'asseoir) | |
| v.t | 僕を座らせた | 「動詞句」 |
| et, ɛ conj. | そして | |
| avec beaucoup de | アヴ・ェッキ・ボク・トゥ adv. たくさんの～で | 「副詞句」 |
| courtoisie, | クルトゥワジー n.f 丁重さ | 「目的語」 |
| m' | ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a déclaré | ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと知らせた | 「動詞句」 |
| que | ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| mon avocat, | モン・アヴ・カ n.m 僕の弁護士が | 「主語」 |
| «par suite d' | パール・シュイット・トゥ prep ～のために | 「副詞句」 |
| un contretemps», | アン・コントルトン n.m 不測の事態 | 「目的語」 |
| n'avait pu venir. | ナヴ・ェ・ビュ・ヴニール 3 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞) | |
| v.i | 来られなかった | 「動詞句」 |

僕がその頃よく考えたのは、もし仮に、枯木の幹の中で、頭上の花の形をした空を見ることしか暇つぶしをしないで暮らすように、と誰かに強制されたとしても、僕は少しづつそれに慣れていったらということだ。[C-2-2]

J'ai souvent pensé alors que si l'on m'avait fait vivre dans un tronc d'arbre sec, sans autre occupation que de regarder la fleur du ciel au-dessus de ma tête, je m'y serais peu à peu habitué.

| | | |
|------------------|------------------------------|-------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 | |
| J' | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai souvent pensé | エ・スヴ・オン・ボンセ 1 単現・完了形(penser) | |
| v.t(que ～だと) | よく考えた | 「動詞句」 |

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| alors アール adv. その頃、そして | 「副詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| si シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| l'on ロン pron 人が、誰かが | 「主語」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| avait fait アヴィエ・フェ 3 単半・使役・仮定(faire+不定詞)v.t. ～させた | 「動詞句」 |
| vivre ヴィーヴル 不定詞・me の動作 v.i. 暮らす | 「補語」 |
| dans un tronc d'arbre sec, トン・ザン・トロン・ダルブル・セッキ | |
| adv. 枯れ木の幹の中で | 「副詞句」 |
| tronc トロン n.m 木の幹 sec セッキ adj. 乾いた、枯れた | |
| sans autre occupation ソン・オートル・オキユハシオン | |
| adv. 別の暇つぶしが無しで | 「副詞句」 |
| que de regarder ク・ドゥ・ルギヤルテ | |
| adv. (比較) 見ることも | 「副詞句」 |
| la fleur du ciel ラ・フレール・ジュ・シエル | |
| n.f 花の形の空を | 「目的語」 |
| au-dessus de ma tête, オ・ドゥ・シュ・トゥ・マ・テット | |
| adv. 頭上の | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| m'y serais peu à peu habitué. ミ・スレ・プ・ア・プ・アビチュエ 条・1 単現・完了形・推量(s'habituer) | |
| v.pr 僕はそれに少しずつ慣れていっただろう | 「動詞句」 |
| y は先の文章の内容、peu à peu プ・ア・プ adv. 少しずつ s'habituer サビチュエ v.pr 慣れる | |

警官 2 人が、日陰特有の湿り気やかび臭さを発散する小部屋に僕を入らせた。[C-2-3]

Les deux gendarmes m'ont fait entrer dans une petite pièce qui sentait l'ombre.

| | |
|--|--------------------|
| | 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 |
| Les deux gendarmes レ・ドゥ・ジヨンドアルム pl.n.m 警官 2 人が | 「主語」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| ont fait オン・フェ 3 複現・完了形・使役(faire)v.t(SVO+不定詞) ～させた | 「動詞句」 |
| entrer オントレ 不定詞・me の動作 v.i. 入る | 「補語」 |
| dans une petite pièce トン・ザン・プティット・ピエス adv. 小部屋に | 「副詞句」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| sentait センテ 3 単半・時制の一致(sentir) | |
| v.t (の) 匂いを発散する | 「動詞」 |
| l'ombre. ロンブル n.m 日陰 | 「目的語」 |

僕たちは扉の近くに座って待った。その扉の向こうで、話し声や、呼び声や、椅子の音や、大混乱の音が聞こえた。境界の祭りか、それともコンサートの後で、ダンスができるように会場を整理しているのではないかと、僕に想像させるような物音だった。[C-2-3]

Nous avons attendu, assis près d'une porte derrière laquelle on entendait des voix, des appels, des bruits de chaises et tout un remue-ménage qui m'a fait penser à ces fêtes de quartier où, après le concert, on range la salle pour pouvoir danser.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」
 avons attendu, アヴ ァン・アトジ ヌ 1 複現・完了形(attendre)v.i 待った 「動詞句」
 assis アシ 過去分詞・様態(asseoir)adv. 座って 「副詞句」
 près d' プレ・ドゥ prep 〜の近くに 「副詞句」
 une porte ユヌ・ポルト n.f 扉 「目的語」
 derrière laquelle デリエール・ラケル adv. その扉の向こうで 「副詞句」
 on オン pron 僕は 「主語」
 entendait オントンテ 3 単半(entendre)v.t 聞こえた 「動詞」
 des voix, テ・ウゝわ pl.n.f 声が 「目的語」
 des appels, テ・ザペル pl.n.m 呼び声が 「目的語」
 des bruits テ・ブリユイ pl.n.m 物音が 「目的語」
 de ドゥ prep (限定) 〜の 「形容詞句」
 chaises トゥ・シェーズ pl.n.f 椅子 「目的語」
 et エ conj. そして
 tout un remue-ménage トウト・アン・ルミューナージュ n.m 大混乱 「目的語」
 qui キ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 m' ム pron 僕に 「目的語」
 a fait ア・フェ 3 単現・完了形・使役(faire)v.t 〜させた 「動詞句」
 penser ポンセ 不定詞・me の動作 v.t 考える 「補語」
 à ces fêtes ア・セ・フェット adv. 祭りで 「副詞句」
 de quartier トゥ・クワルチエ adj. 境界の 「形容詞句」
 où, ウ conj. それとも
 après le concert, アプレール・コンセール adv. コンサートの後で 「副詞句」
 on オン pron 人が 「主語」
 range ロンジュ 3 単現(ranger)v.t 整理する 「動詞」
 la salle ラ・サル n.f 会場を 「目的語」
 pour +不定詞 プール adv. (目的) 〜するために 「副詞句」
 pouvoir danser. プウゝわ・ルトンセ 不定詞
 v.i ダンスができる 「動詞句」

僕は窓を開けたままにしておいた。日に焼けた僕らの体の上を、夏の夜が流れていくのを感じるのは心地よかった。[C-1-4]

J'avais laissé ma fenêtre ouverte et c'était bon de sentir la nuit d'été couler sur nos corps bruns.

J' ジュ pron 僕は 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」 et 「動詞」 「補語」 「主語」 「主語」

avais laissé アヴェ・レッセ 1 単半・完了形(laisser)v.t(laisser+O+C)

v.t O を C のままにしておいた 「動詞句」

ma fenêtre マ・フェネートル n.f 窓を 「目的語」

ouverte ウヴェルト adj.f 開いた 「補語」

et エ conj. そして

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は de sentir 以降)

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

bon ボン adj. 快適な 「補語」

de +不定詞 トゥ 不定詞 n. ~することは 「主語」

sentir ソンチール 不定詞・知覚動詞 v.t 感じる 「動詞」

la nuit d'été ラ・ニュイ・デテ n.f 夏の夜を 「目的語」

couler クレ 不定詞(nuit の動作)v.i 流れる 「補語」

sur nos corps シュール・ノ・コール adv. 僕らの体の上を 「副詞句」

bruns. ブラン adj. 褐色の、日に焼けた 「形容詞」

「死に損ないのこん畜生め」と微かに聞こえたが、彼は忙しそうに動き続けていた。

[C-1-4]

J'ai vaguement entendu qu'il murmurait: «Salaud, charogne», et il continuait à s'agiter.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai vaguement entendu エ・ウァーク・モン・オントンジュ 1 単現・完了形・知覚(entendre+ vaguement)

v.t(que と) かすかに聞こえた 「動詞句」

qu' ク conj. ~ということが 「目的語」

il イル pron 彼が 「主語」

murmurait: ミュルミユレ 3 単半(murmurer)v.t つぶやく 「動詞」

«Salaud, サロー n.m 畜生 「怒声」

charogne», シャローニュ n.f (動物の) 腐った死骸 「罵声」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

continuait à s'agiter. コンチヌエ・ア・サジテ 3 単半・継続(continuer à+不定詞)

文の構成要素

v.pr 忙しそうに動き続けた

「動詞句」

彼は自分の部屋のドアを閉じた。僕は彼が行ったり来たりするのが聞こえた。それから彼のベッドがきしんだ。[C-1-4]

Il a fermé sa porte et je l'ai entendu aller et venir. Son lit a craqué.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 | 「主語」「動詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

a fermé ア・フェルメ 3 単現・完了形(fermer)v.t 閉じた

「動詞句」

sa porte サ・ポルト n.f 彼の部屋のドアを

「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron 彼が

「目的語」

ai entendu エ・アントンジュ 1 単現・完了形・知覚(entendre)

v.t (O+不定詞) O が～するのが聞こえた

「動詞句」

aller et venir. アレ・エ・ヴァニール 不定詞 v.i 行ったり来たりする

「補語」

Son lit ソン・リ n.m 彼のベッドが

「主語」

a craqué. ア・クラック 3 単現・完了形(craquer)v.i きしんだ

「動詞句」

もう待つしかなかった。レーモンが自分の部屋のドアを閉じる音が聞こえた。[C-1-6]

Je n'avais plus qu'à attendre et nous avons entendu Raymond fermer sa porte.

「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais plus qu'à attendre ナヴ・エ・プリュ・クワ・アトントル 1 単半・完了形・否定

(avoir à+不定詞+ne...plus que...).v.i もう待つしかなかった

「動詞句」

avoir à+不定詞 「～しなければならない」 ne...plus que～ 「もう～しか... ない」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

avons entendu アヴ・オン・アントンジュ 1 複現・完了形・知覚(entendre)v.t 聞こえた

「動詞句」

Raymond レーモン pron レーモンが

「目的語」

fermer フェルメ 不定詞 v.t 閉める

「補語」

sa porte. サ・ポルト n.f 自分の部屋のドアを

「目的語」

少しすると、マリーが戻ってきた。僕は彼女が近づいてくるのを眺めようと振り返った。

[C-1-6]

Peu après, Marie est venue. Je me suis retourné pour la regarder avancer.

「副詞句」「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

文の構成要素

| | |
|--|-------|
| Peu après, プ・アフレ adv. 少しすると | 「副詞句」 |
| Marie マリー n.f. マリーが | 「主語」 |
| est venue. エ・ヴニユ 3 単現・完了形(venir)v.i 戻ってきた | 「動詞句」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis retourné ム・シュイ・ルトルネ 1 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り返った | 「動詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. ～するために | 「副詞句」 |
| la ラ pron.f 彼女が | 「目的語」 |
| regarder ルギヤルテ 不定詞・知覚 v.t 眺める | 「動詞」 |
| avancer. アヴァンセ 不定詞・la の動作 v.i 進んでくる | 「補語」 |

僕はゆっくり岩場のほうへ歩いて行った。僕の額が太陽の熱線で膨れ上がるのを感じた。

[C-1-6]

| | |
|--|------------------------------------|
| <u>Je marchais lentement vers les rochers et je sentais mon front se gonfler sous le soleil.</u> | 「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「目的語」「補語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| marchais マルシェ 1 単半(marcher)v.i 歩いた | 「動詞」 |
| lentement ロントゥモン adv. ゆっくり | 「副詞」 |
| vers les rochers ヴェール・レ・ロシェ adv. 岩場のほうへ | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| sentais ソンテ 1 単半・知覚動詞(sentir)v.t 感じた | 「動詞」 |
| mon front モン・フロン n.m 僕の額が | 「目的語」 |
| se gonfler ス・ゴンフレ 不定詞・front の動作 v.pr 膨れる | 「補語」 |
| sous le soleil. スル・ソレイユ adv. 太陽のもとで | 「副詞句」 |

太陽による焼け付くような痛みが頬にまで達し、汗の滴が眉に溜まってくるのを感じた。

[C-1-6]

| | |
|---|-------------------------------------|
| <u>La brûlure du soleil gagnait mes joues et j'ai senti des gouttes de sueur s'amasser dans mes sourcils.</u> | 「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」 |
| La brûlure ラ・ブリュリュール n.f やけど、焼け付く痛みが | 「主語」 |
| du soleil ジュ・ソレイユ adj. (動作主) 太陽による | 「形容詞句」 |
| gagnait ガニエ 3 単半(gagner)v.t (場所に) 達していた | 「動詞」 |
| mes joues メ・ジュー pl.n.f 頬に | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai senti エ・ソチ 1 単現・完了形・知覚動詞(sentir) | |

文の構成要素

| | |
|---------------------------------------|--------|
| v.t(SVO+不定詞 O が～するのを) 感じた | 「動詞句」 |
| des gouttes テ・グット pl.n.f 水滴が | 「目的語」 |
| de sueur トゥ・シュエール adj. 汗の | 「形容詞句」 |
| s'amasser サメ 不定詞 v.pr 溜まってくる | 「補語」 |
| dans mes sourcils. トン・メ・スルシ adv. 僕の眉に | 「副詞句」 |

先程まで雑然としていた聴衆の中から、養老院の院長と門番、トマ・ペレーズ老人、レーモン、マソン、サラマノ老人、そしてマリーが順に立ち上がり、その後、脇の扉を通して消えて行くのが見えた。[C-2-3]

Du sein de ce public tout à l'heure informe, j'ai vu se lever un à un, pour disparaître ensuite par une porte latérale, le directeur et le concierge de l'asile, le vieux Thomas Pérez, Raymond, Masson, Salamano, Marie.

| | |
|---|------------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」 「目的語」 |
| Du ジュ adv.(de le) ～から | 「副詞句」 |
| sein シン n.m 中心部、内部 | 「目的語」 |
| de ce public トゥ・ス・ピュブリク adj. 聴衆の | 「形容詞句」 |
| tout à l'heure トゥ・タ・レール adv. 先ほどは | 「副詞句」 |
| informe, アンフォルム adj. 形をなさない | 「形容詞」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai vu エ・ヴェ 1 単現・完了形・知覚動詞(voir)v.t 見えた | 「動詞句」 |
| se lever ス・ルヴェ 不定詞・un の動作 v.pr 立ち上がる | 「補語」 |
| un à un, アン・ナ・アン pron 一人ずつが | 「目的語」 |
| pour disparaître プール・ディスパレートル 不定詞・結果 v.i そして消えていった | 「動詞句」 |
| ensuite オンシュイト adv. それから | 「副詞」 |
| par une porte パール・コンヌ・ポルト adv. 扉を通して | 「副詞句」 |
| latérale, ラテラル adj. 横の、脇の | 「形容詞」 |
| le directeur ル・ディレクテール n.m 院長 | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| le concierge de l'asile, ル・コンシエルジュ・トゥ・ラジール n.m 養老院の門番 | 「目的語」 |
| le vieux Thomas Pérez, ル・ヴィエイユ・トマス・ペレ n.m トマ・ペレーズ老人 | 「目的語」 |
| Raymond, レモン n.m レーモン | 「目的語」 |
| Masson, マソン n.m マソン | 「目的語」 |
| Salamano, サラマノ n.m サラマノ老人 | 「目的語」 |
| Marie. マリー n.m マリー | 「目的語」 |

暑くなってきていた。傍聴席には、新聞紙を使って扇いでいる傍聴者たちが目についた。

[C-2-3]

La chaleur montait et je voyais dans la salle les assistants s'éventer avec des journaux.

「主語」「動詞」 et 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」「補語」

La chaleur ラ・シャレール n.f 暑さが 「主語」

montait モンテ 3 単半・継続(monter)v.i 上昇してきた 「動詞」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

voyais ヴワイ 3 単半・知覚動詞(voir)v.t(SVO+不定詞) O が～するのが見えた 「動詞」

dans la salle トン・ラ・サル adv. 傍聴席では 「副詞句」

les assistants レ・ザシストン pl.n 傍聴者たちが 「目的語」

s'éventer セヴァンテ 不定詞・assistants の動作 v.pr 自分を扇ぐ 「補語」

avec des journaux. アヴェ・エッキ・デ・ジ ユルノー adv. (手段) 新聞紙で 「副詞句」

journal ジ ユルナル n.m ([複] journaux) 新聞、新聞紙

「それで、私はこの方を見ることが出来ませんでした」検事は、少なくとも僕が泣いているのを見なかったか、と彼に尋ねた。[C-2-3]

Alors, je n'ai pas pu voir Monsieur.» L'avocat général lui a demandé si, du moins, il m'avait vu pleurer.

《「副詞」, 「主語」「動詞句」「目的語」》, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Alors, アロー adv. それで 「副詞」

je ジュ pron 私は 「主語」

n'ai pas pu voir ネ・パ・ピ ユ・ヴァール 1 単現・完了形・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t 見ることができなかった 「動詞句」

Monsieur. ムシユー n.m この方を 「目的語」

L'avocat général ラヴァカ・ジェネラル n.m 検事は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

a demandé ア・ドゥァンモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

si, シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

du moins, ジュ・ムワソ adv. 少なくとも 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕が 「目的語」

avait vu アヴァ・ヴェ ユ 3 単現・完了形・知覚動詞(voir)v.t 見た 「動詞句」

pleurer. プル 不定詞・me の動作 v.i 泣く 「補語」

そこで彼は証言台の柵の上に両手をのせた。彼は何かを準備しているように見えた。

[C-2-3]

Il a mis alors ses mains sur la barre et l'on voyait qu'il avait préparé quelque chose.

| | | | | | | | | | |
|----------------|-----------|-----------------------|-------------|-------|----|-------|------|------|-------|
| 「主語」 | 「動詞句」 | 「副詞」 | 「目的語」 | 「副詞句」 | et | 「目的語」 | 「主語」 | 「動詞」 | 「補語」 |
| Il | イル | pron | 彼は | | | | | | 「主語」 |
| a mis | ア・ミ | 3 単現・完了形(mettre)v.t | 置いた | | | | | | 「動詞句」 |
| alors | アール | adv. | それで、そこで | | | | | | 「副詞」 |
| ses mains | セ・マン | pl.n.f | 両手を | | | | | | 「目的語」 |
| sur la barre | シュール・ラ・バー | adv. | (証言台の) 柵の上に | | | | | | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | | | | | | |
| l' | ル | pron | 彼を | | | | | | 「目的語」 |
| on | オン | pron | 人は | | | | | | 「主語」 |
| voyait | ヴ・ワイ | 3 単半・知覚動詞(voir)v.t | 見えた | | | | | | 「動詞」 |
| qu' | ク | conj. | ～ということを | | | | | | 「補語」 |
| il | イル | pron | 彼は | | | | | | 「主語」 |
| avait préparé | アヴ・ェ・プレ | 3 単半・完了形(préparer)v.t | 準備していた | | | | | | 「動詞句」 |
| quelque chose. | ケウルク・ショーズ | pron | 何かを | | | | | | 「目的語」 |

さらにまたサ라마ノが、僕が彼の犬のことでは親切だったと説明した時や、彼が僕の母さんと僕自身についての質問に答えて、僕は母に何も話することがない、そしてそのために母さんを養老院へ入れたと説明した時にも、ほとんど誰も聞いていなかった。[C-2-3]

C'est à peine encore si on a écouté Salamano quand il a rappelé que j'avais été bon pour son chien et quand il a répondu à une question sur ma mère et sur moi en disant que je n'avais plus rien à dire à maman et que je l'avais mise pour cette raison à l'asile.

| | | | | | | | | | |
|-------------------------|------------|------------------------------|--------------|--|--|--|--|--|-------|
| | | | | | | | | | 「主語」 |
| C'est à peine encore si | セ・タ・ペ・ヌ・オン | conj. | さらにまたほとんど～ない | | | | | | |
| on | オン | pron | 人は | | | | | | 「主語」 |
| a écouté | ア・エクテ | 3 単現・完了形・知覚動詞(écouter)v.t | 聞いた | | | | | | 「動詞句」 |
| Salamano | サマノ | n.m | サ라마ノが言うことを | | | | | | 「目的語」 |
| quand | コン | conj. | ～するとき | | | | | | 「副詞節」 |
| il | イル | pron | 彼が | | | | | | 「主語」 |
| a rappelé | ア・ラプレ | 3 単現・完了形(rappeler)v.t(que と) | 説明した | | | | | | 「動詞句」 |
| que | ク | conj. | ～ということを | | | | | | 「目的語」 |
| j' | ジュ | pron | 僕は | | | | | | 「主語」 |
| avais été | アヴ・ェ・ゼテ | 1 単半・完了形(être)v.i | ～だった | | | | | | 「動詞句」 |
| bon | ボン | adj. | 親切的な | | | | | | 「補語」 |

文の構成要素

| | | | |
|--------------------------|---------------------|--------------------------------|---------|
| pour son chien | プール・ソン・シヤン | adv. 彼の犬のことで | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. そして | |
| quand | コン | conj. ～するとき | 「副詞節」 |
| il | イル | pron 彼が | 「主語」 |
| a répondu | ア・レポンスジュ | 3 単現・完了形(répondre)v.i(à に) 答えた | 「動詞句」 |
| à une question | ア・ユヌ・クエスチョン | adv. 質問に | 「間接目的語」 |
| sur ma mère | シュール・マ・メル | adv. 僕の母さんについての | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. そして | |
| sur moi | シュール・ムワ | adv. 僕自身についての | 「副詞句」 |
| en disant | オン・ディザン | ジェロンディフ(dire)v.t ～と言いながら | 「副詞句」 |
| que | ク | conj. ～ということを | 「目的語」 |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| n'avais plus rien à dire | ナヴァエ・プリュ・リヤン・ナ・ディール | 1 単半・否定 | |
| | v.t | 何も言うことが無い | 「動詞句」 |
| à maman | ア・マモン | adv. 母さんに | 「間接目的語」 |
| et | エ | conj. そして | |
| que | ク | conj. ～ということを | 「目的語」 |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| l' | ラ | pron 母さんを | 「目的語」 |
| avais mise | アヴァエ・ミス | 1 単半・完了形.f(mettre) | |
| | v.t | 入れた | 「動詞句」 |
| pour cette raison | プール・セット・レゾン | adv. この理由で | 「副詞句」 |
| à l'asile. | ア・ラジール | adv. 養老院へ | 「副詞句」 |

少なくとも、僕が気になっていたのはそのことだ。僕はもう検事の話聞いていなかったが、やがて検事の話が聞こえてきた：[C-2-4]

Du moins, c'était cela qui me frappait et je n'ai plus écouté le procureur jusqu'au moment où je l'ai entendu dire:

| | | | |
|-----------|--------|---|--------|
| | | 「副詞句」, 「補語」 「動詞」 「主語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞節」 | |
| Du moins, | デュ・ムワソ | adv. (しかし) 少なくとも、とにかく | 「副詞句」 |
| c' | ス | pron それ | 「補語」 |
| était | エテ | 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| cela | スラ | pron それが | 「主語」 |
| qui | キ | pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| me | ム | pron 僕を | 「目的語」 |
| frappait | フラハ | 3 単半(frapper)v.t (関心を) 引いた | 「動詞」 |

文の構成要素

| | |
|---|-------|
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai plus écouté ネ・プ リュ・セクテ 1 単現・完了形・否定(écouter) | |
| v.t もう聞いていなかった | 「動詞句」 |
| le procureur ル・プ ロキュール n.m 検事の話 | 「目的語」 |
| jusqu'au moment où +直説法 ジュスコ・モン・ウ conj. それから～した、～するまで | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ル pron 彼が | 「目的語」 |
| ai entendu エ・オントジュ 1 単現・完了形・知覚動詞(entendre) | |
| v.t(SVO+不定詞) 聞いた、聞こえた | 「動詞句」 |
| dire: ディール 不定詞・l'の動作 v.t 言う | 「補語」 |

最後に弁護士が、陪審の皆さんは、逆上して一瞬道に迷った正直な労働者を死に迫いやろうとは思わないでしょうと声を張り上げ、被告が既に永遠の悔恨という最も確かな懲罰を受けている犯罪に対して情状酌量を求めたのだが、僕にはほとんど聞き取れなかった。

[C-2-4]

C'est à peine si j'ai entendu mon avocat s'écrier, pour finir, que les jurés ne voudraient pas envoyer à la mort un travailleur honnête perdu par une minute d'égarement, et demander les circonstances atténuantes pour un crime dont je traînais déjà, comme le plus sûr de mes châtiments, le remords éternel.

C'est à peine si 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」 et 「補語」

C'est à peine si +直説法 セ・タ・ペ・ヌ・シ conj. (否定) かろうじて～する、ほとんど～ない

C'est à peine si on pouvait entendre le guitariste.

ギター奏者の演奏も聞こえるか聞こえないかだった。

| | |
|--|-------|
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai entendu エ・オントジュ 1 単現・完了形・知覚動詞(entendre+O+不定詞) | |
| v.t (否定文で) 聞こえなかった | 「動詞句」 |
| mon avocat モン・アヴカ n.m 弁護士が | 「目的語」 |
| s'écrier, セクリエ 不定詞・avocat の動作 v.pr 叫ぶ | 「補語」 |
| pour finir, プール・フィニール adv. 最後に | 「副詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| les jurés レ・ジュレ pl(juré).n.m 陪審は | 「主語」 |
| ne voudraient pas envoyer ヌ・ヴ・トレ・パ・オヴ わハ 条・3 複現・願望・否定・推量 | |
| (vouloir+不定詞)v.t 送りたいだろう | 「動詞句」 |
| à la mort ア・ラ・モール adv. 死に | 「補語」 |
| un travailleur honnête アン・トラヴァイユール・オネット n.m 正直な労働者を | 「目的語」 |

文の構成要素

| | | |
|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| perdu par une minute d'égarement, | ペルジュ・パール・ユヌ・ミニュト・デガールモン | |
| adj. | 逆上して一瞬道に迷った | 「形容詞句」 |
| perdu | ペルジュ | adj. 迷った |
| égarement | エガールモン | n.m 逆上 |
| et | エ | conj. そして |
| demander | ドゥモンテ | 不定詞・avocat の動作 v.pr 求めた |
| | | 「補語」 |
| les circonstances atténuantes | レ・シルコンストンス・アテニュアントゥ | pl.n.f 情状酌量を |
| | | 「目的語」 |
| pour un crime | プール・アン・クリム | adv. 犯罪に対して |
| | | 「副詞句」 |
| dont | ドン | pron それについて～する |
| | | 「形容詞節」 |
| je | ジュ | pron 僕は |
| | | 「主語」 |
| traînais | トレネ | 1 単半(trainer) |
| | | v.t 耐えている、(罰を) 受けている |
| | | 「動詞」 |
| déjà, | デジャ | adv. もう |
| | | 「副詞」 |
| comme | コム | conj. (資格) ～として |
| | | 「副詞句」 |
| le plus sûr de mes châtiments, | ル・プ リュ・シュール・ドゥ・メ・シャチモン | |
| | | n.m 最も確かな懲罰 |
| | | 「目的語」 |
| le remords | ル・ルモール | |
| | | n.m (同格) 悔恨という |
| | | 「形容詞句」 |
| éternel. | エテルネル | adj. 永遠の |
| | | 「形容詞」 |

それから、法廷内から、こもった声で何かを読み上げているのが聞こえてきた。[C-2-4]

Puis j'ai entendu une voix sourde lire quelque chose dans la salle.

| | | |
|----------------|----------|---------------------------------|
| | | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「補語」 |
| Puis | プイ | adv. それから |
| | | 「副詞」 |
| j' | ジュ | pron 僕は |
| | | 「主語」 |
| ai entendu | エ・オントンジュ | 1 単現・完了形・知覚動詞(entendre)v.t 聞こえた |
| | | 「動詞句」 |
| une voix | ユヌ・ヴァ | n.f 声を |
| | | 「目的語」 |
| sourde | スルトゥ | adj(sourd).f (音が) こもった、にぶい |
| | | 「形容詞」 |
| lire | リール | 不定詞・voix の動作 v.t 読む |
| | | 「補語」 |
| quelque chose | ケルキ・ショーズ | n.f 何かを |
| | | 「目的語」 |
| dans la salle. | ドン・ラ・サル | adv. 法廷で |
| | | 「副詞句」 |

僕は上訴を放棄したばかりだった。僕の体内を血流が規則正しく循環するのが感じられた。

[C-2-5]

Je venais de rejeter mon pourvoi et je pouvais sentir les ondes de mon sang circuler régulièrement en moi.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

Je ジュ pron 私は 「主語」

venais de rejeter ヴネ・トゥ・ルジュテ 1 単半・近接過去(venir de+不定詞 rejeter)

v.t 放棄したばかりである 「動詞句」

rejeter ルジュテ v.t 投げ捨てる、拒絶する

近接未来は、aller+不定詞

mon pourvoi モン・プ・ルヴワ n.m 上訴を 「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 私は 「主語」

pouvais sentir プ・ヴァ・サンチール 1 単半・可能・知覚動詞(pouvoir+不定詞)

v.t ～を感じられた 「動詞句」

les ondes レ・ゾン・トゥ pl(onde).n.f 波、流れが 「目的語」

de mon sang トゥ・モン・サン adj. 僕の血の 「形容詞句」

circuler シルクユレ 不定詞・ondes の動作 v.i 循環する、流れる 「補語」

régulièrement レギュリエルモン adv. 規則正しく 「副詞」

en moi. オン・ムワ adv. 僕の体内を 「副詞句」

構文解析の例 短編と小説の一部分など

[A-1] La Belle et la Bête 美女と野獣

La Belle ラ・ベル n.f 美女

et エ conj. と

la Bête ラ・ベート n.f 野獣

d'après Jeanne-Marie Leprince de Beaumont シャン

ヌ・マリー・ル・プランス・ボーモンによる

d'après ... ダプレ prep 〜による「副詞句」



むかしむかし、かわいい子供たちに囲まれた一人の裕福な商人がいました。

Il était une fois un riche marchand entouré de beaux enfants.

「動詞」「副詞句」「主語」「形容詞句」

Il イル pron 形式主語 (真の主語は un riche marchand)

était エテ 3 単半(être)v.i(存在)いました

「動詞」

une fois ムヌ・フワ adv. かつて、その昔

「副詞句」

un riche marchand アン・リッシュ・マルシヨン n.m 一人の裕福な商人が

「主語」

entouré オントゥレ 過去分詞・受動(entourer de に)adj. 囲まれた

「形容詞句」

de beaux enfants トゥ・ボ・ザンフオン adv. (動作主) かわいい子供たちに「副詞句」

3 人の息子と 3 人の娘、それがこの世で一番大事な物になっていた。

Trois fils et trois filles, voilà ce qu'il avait de plus cher au monde.

「主語」「動詞」「補語」

Trois fils et trois filles トルワ・フィス・エ・トルワ・フィユ pl.n. 3 人の息子と 3 人の娘

「主語」

voilà ce qu'il ヴァ・ラ・ス・キル n. それが

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (ある状態に) になっていた

「動詞」

de plus cher au monde トゥ・プリュ・シェール・オ・モンド n. この世で一番大事な物

「補語」

娘たちは皆とても美しかったのですが、彼らの性格に関しては別でした...

Ses filles étaient toutes très charmantes, mais quant à leur caractère, c'était autre chose ...

「主語」「動詞」「補語」 mais 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Ses filles セ・フィユ pl.n.f 娘たちは

「主語」

étaient エテ 3 複半(être)v.i 〜でした

「動詞」

toutes très charmantes トゥット・トレ・シャルメントゥ adj.pl.f. 皆とても美しい

「補語」

mais メ conj. しかし

quant à leur caractère コン・タ・レール・キャラクター adv. 彼らの性格に関しては 「副詞句」
quant à... 「～に関しては、～はといえば」
c' ス pron それは 「主語」
était エ 3 単半(être)v.i ～でした 「動詞」
autre chose オートル・ショーズ n.f 別のこと 「補語」

長女と次女は高慢でした。

L'ainée et la cadette étaient orgueilleuses. 「主語」「動詞」「補語」
L'ainée et la cadette レネ・エ・ラ・カデット pl.n.f 長女と次女は 「主語」
étaient エ 3 複半(être)v.i ～でした 「動詞」
orgueilleuses オルゲユーズ pl.f.adj. 高慢な 「補語」

二人は、ダンスパーティーの夜会、恋愛のデートそれに散歩が大好きでした。

Les deux adoraient les soirées de bals, les rendez-vous galants et les promenades ;
「主語」「動詞」「目的語」
Les deux レ・トゥ pl.n. 二人は 「主語」
adoraient アドル 3 複半(adorer)v.t 大好きでした 「動詞」
les soirées de bals レ・スワレ・トゥ・バル pl.n.f ダンスパーティーの夜会 「目的語」
les rendez-vous galants レ・ロンデ・ウ・ギャロン pl.n.m 恋愛のデート 「目的語」
et エ conj. そして
les promenades レ・プロムナトゥ pl.n.f 散歩 「目的語」

二人はあまりにも自尊心が強すぎたので、王子か侯爵、最低でも伯爵とでなければ結婚しないと決めていました。

elles étaient si fières qu'elles avaient décidé de ne se marier qu'avec un prince, un duc ou du moins un comte. 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」「副詞句」
elles エル pron.pl. 彼女たちは 「主語」
étaient エ 3 複半(être)v.i ～だった 「動詞」
si fières シ・フィエール adj. あまりにも自尊心が強すぎた 「補語」
qu' ク conj. (si ... que～) adv. (...なので) ～する 「副詞節」
elles エル pron.pl. 彼女たちは 「主語」
avaient décidé de ne se marier アヴァ・エ・デシテ・トゥ・ヌ・ス・マリエ
3 複半・完了形・否定(décider de+不定詞 se marier)
v.pr 結婚しないと決めていた 「動詞句」
qu' ク conj. (ne 動詞 que...)... しか 「副詞句」
avec アヴェ・エツキ adv. ～と 「副詞句」

un prince アン・プランス n.m 王子 「目的語」
un duc アン・デュキ n.m 侯爵（王子に次ぐ爵位） 「目的語」
ou ヲ conj. または
du moins un comte ジュ・ムワ・サン・コント
n.m 最低でも伯爵 「目的語」
貴族の爵位は上位から、「公爵、侯爵、伯爵、子爵、男爵、准男爵」

末娘が 3 人のうちで一番優雅で控えめでした。

La benjamine était la plus gracieuse et discrète des trois.

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」
La benjamine ラ・ベンジャミンヌ n.f 末娘は 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
la plus gracieuse et discrète ラ・プ リュ・グラシェーズ・エ・ディスケレット
adj. 一番優雅で控えめな 「補語」
des trois デ・トルワ adv. 3 人のうちで 「副詞句」

彼女は、たいてい読書をして過ごしていました。そして父のそばにるのが好きでした。

Elle passait la plupart du temps à la lecture et préférait rester aux côtés de son père.

「主語」「動詞」「副詞句」「間接目的語」 et 「動詞句」「副詞句」
Elle エル pron 彼女は 「主語」
passait パセ 3 単半(passer)v.t (時を) 過ごしていた 「動詞」
la plupart du temps ラ・プ リュ・ール・ジュ・トン adv. たいてい、ほとんどいつでも 「副詞句」
à la lecture ア・ラ・レクチュール adv. 読書をして 「間接目的語」
et エ conj. そして
préférait rester プレフェレ・レステ 3 単半・好む(préfé rer+不定詞)
v.i 居ることを好んだ 「動詞句」
aux côtés de son père オ・コテ・ド・ウ・ソン・ペール adv. 父のそばに 「副詞句」

人々は、「なんて美しい子だろう」と声を上げて、彼女の美しさに見とれていました。

Les gens admiraient sa beauté en s'exclamant “Quelle bell enfant!”

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
Les gens レ・ジヨン pl.n,m 人々は 「主語」
admiraient アトミレ 3 複半(admirer)v.t 感嘆した、見とれた 「動詞」
sa beauté サ・ボテ n.f 彼女の美しさに 「目的語」
en s'exclamant オン・セクスクレモン 現在分詞(s'exclamer)adv. 声を上げて 「副詞句」
“Quelle bell enfant!” ケル・ベル・オン・ファン n. なんて美しい子だろう 「目的語」

それで皆は、彼女を「ベル（美人さん）」と愛称で呼んでいました。

On l'appela donc simplement "Belle". 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」「補語」
On オン pron 皆は 「主語」
l' ラ pron 彼女を 「目的語」
appela アプ°ラ 3 単過(appeler)v.t 呼んだ 「動詞」
donc トン adv. それで 「副詞」
simplement サン°ルモン adv. 単に、愛称で 「副詞」
"Belle" ベル n. 「ベル（美人さん）」 「補語」

ある日、商人は財産をすっかり失ってしまいました。

Un jour le marchand se retrouva complètement ruiné. 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」「補語」
Un jour アン°ジュール n.m ある日 「副詞句」
le marchand ル°マルション n.m 商人は 「主語」
se retrouva ス°ルトゥルヴァ 3 単過(se retrouver)v.pr ある状態に陥った 「動詞句」
complètement コン°レトゥモン adv. 完全に 「副詞」
ruiné リュイネ adj. 破産した 「補語」

一家は、住み慣れた町を離れなくてはならなくなり、ずっと遠くの田舎に住み始めて、農民のように一生懸命働いて生計を立て直すことになりました。

La famille dut quitter la ville et partir s'installer loin, très loin dans la campagne pour se rétablir en travaillant dur comme paysan.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「動詞句」「副詞句」
La famille ラ°ファミユ n.f 一家は 「主語」
dut quitter ジュ°キテ 3 単過・必要(devoir+不定詞)
v.t 離れなくてはならなかった 「動詞句」
la ville ラ°ヴィル n.f 住み慣れた町を 「目的語」
et
partir s'installer パ°ルティール°サンスタレ 不定詞(dut+)(partir+不定詞+pour+不定詞)
v.pr 住み始めて～することになりました 「動詞句」
loin, très loin dans la campagne ル°ワソ°トレ°ル°ワソ°ト°ン°ラ°コンパ°ンニュ
adv. ずっと遠くの田舎に 「副詞句」
pour se rétablir プール°ス°レタブ°リール adv. 生計を立て直すために 「副詞句」
en travaillant オン°トラヴァ°アイオン 現在分詞 adv. 働いて 「副詞句」
dur comme paysan デ°ュール°コム°ペ°イズン adv. 農民のように一生懸命 「副詞句」

ベルは、父の様子を心配してとても悲しんだ。

Belle chagrinait beaucoup en s'inquiétant de la situation de son père.

「目的語」「動詞」「副詞」「主語」

Belle ベル n. ベルを

「目的語」

chagrinait シャグリネ 3 単半(chagriner)v.t 悲しませた

「動詞」

他動詞なので、文頭の Belle は「目的語」で、「主語」と「動詞」が倒置されている。

beaucoup ボク adv. とても

「副詞」

en s'inquiétant オン・サンキェト 現在分詞(s'inquiéter+de)adv. ～を心配することは

「主語」

de la situation de son père トゥ・ラ・シチュアション・トゥ・ソン・ペール

adv. 父の様子を

「目的語」

無生物「主語」を理由の副詞句と考えて、Belle を「主語」に翻訳する。

それで、父と兄たちが畑を耕している間、自分も役立ちたくて、家事を引き受けました。

Alor, pour se rendre utile, elle s'occupa des tâches ménagères, pendant que le père et les frères cultivaient la terre.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Alor アロー adv. それで

「副詞」

pour +不定詞 プール adv. ～するために

「副詞句」

se rendre ス・ロントル 不定詞 v.pr. ～になる

「動詞句」

utile テイル adj. 役に立つ

「補語」

elle エル pron 彼女は

「主語」

s'occupa ソキュハ 3 単過(s'occuper)v.pr 引き受けた

「動詞句」

des tâches ménagères テ・タッシュ・メナジェール pl.n.f 家事の仕事を

「目的語」

pendant que ポントン・キ adv. ～する間

「副詞節」

le père et les frères ル・ペール・エ・フレール pl.n.m 父と兄たちが

「主語」

cultivaient キュルチヴァ 3 複半(cultiver)v.t (畑を) 耕していた

「動詞」

la terre ラ・テール n.f 畑を

「目的語」

掃除、洗濯、食事の準備などをする。

Nettoyer, lessiver, préparer à manger

「動詞」, 「動詞」, 「動詞」「副詞句」

Nettoyer ネットワイ v.t 掃除する

「動詞」

lessiver レシヴァ 3 単半 lessiver v.t 洗濯する

「動詞」

préparer プレパレ v.t 準備する

「動詞」

à manger ア・モンジェ adv. 食事をするために

「副詞句」

それは彼女の華奢な両腕にはとてもきつい仕事でした。

Cela était très dur pour ses petits bras. 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」
Cela スラ pron そのようなことは 「主語」
était エテ (être)v.i ~だった 「動詞」
très dur トレ・デュール adj. とてもきつい仕事 「補語」
pour ses petits bras フール・セ・プチ・ブラ adv. 彼女の華奢な両腕には 「副詞句」

しかし彼女はすぐに、手際が良くなり、元気も出てきて、このように活気のある日々に満足
さえ感じるようになりました。

Mais elle devint vite habile, vigoureuse et même satisfaite par ces journées si actives.
Mais 「主語」「動詞」「副詞」「補語」「補語」 et 「副詞」「補語」「副詞句」
Mais メ conj. しかし
elle エル pron 彼女は 「主語」
devint トゥヴァン 3 単過(devenir)v.i ~になった 「動詞」
vite ヴィット adv. すぐに 「副詞」
habile ハビル adj. 手際の良い 「補語」
vigoureuse ビグールズ adj.f 元気な 「補語」
et エ conj. そして
même メム adv. さらに、さえも 「副詞」
satisfaite サスフェット adj. 満足した 「補語」
par ces journées パール・セ・ジユルネ adv. このような日々に対して 「副詞句」
si actives シ・アクティヴ adj. とても活気のある 「形容詞句」

それに対して姉たちは、朝から晩まで退屈して、昔の軽薄な生活を懐かしんでいました。

Ses soeurs aînées, par contre, s'ennuyaient du matin au soir, regrettant leur ancienne vie frivole... 「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」
Ses soeurs aînées セ・セル・エネ pl.n.f 姉たちは 「主語」
par contre パール・コントル adv. それに対して 「副詞句」
s'ennuyaient シンニユエ 3 複半(s'ennuyer)v.pr 退屈していた 「動詞句」
du matin au soir ジュ・マタン・オ・スワール adv. 朝から晩まで 「副詞句」
regrettant レグレットン 現在分詞(regretter)adv. ~を懐かしんで 「副詞句」
結果に翻訳する
leur ancienne vie レール・オンジェヌ・ヴィー n.f 昔の生活
frivole フリヴォル adj. 軽薄な 「形容詞」

一家が田舎のみすばらしい家に住み始めてから、もう 1 年が経ちました。そんな時に、一家は、近くの港に沢山の商品を積んだ船が到着したということを知りました。

Cela faisait déjà un an que la famille habitait dans son humble maison de campagne, quand elle apprit qu'un bateau chargé de marchandises était arrivé dans un port voisin.

「動詞句」「副詞」「主語」「副詞節」, quand 「主語」「動詞」「目的語」
Cela faisait スラ・フェ 3 単半(faire)v.i (時が) 経った、過ぎた 「動詞句」
déjà デジヤ adv. もう 「副詞」
un an アン・ナン n.m 1 年が 「主語」
que ク conj. ～してから 「副詞節」
la famille ラ・ファミユ n.f 一家が 「主語」
habitait アビテ 3 単半(habiter)v.i 住み始めて 「動詞」
dans son humble maison de campagne トン・ソン・アンブル・メゾン・ドゥ・コンパニュ
adv. 田舎のみすばらしい家に 「副詞句」
quand コン conj. そんな時に～する 「副詞節」
elle エル pron 一家は 「主語」
apprit アプリ 3 単過(apprendre)v.t (情報) を知った 「動詞」
qu' ク conj. ～という 「目的語」
un bateau アン・バトー n.m 船が 「主語」
chargé シャルジェ adj. 積んだ 「形容詞」
de marchandises トゥ・マルシヨントゥ・イズ
pl.n.f 沢山の商品を 「目的語」
était arrivé エテ・アリヴェ 3 単半・完了形(arriver)v.i 到着した 「動詞句」
dans un port voisin トン・サン・ポール・ウ・ワサン
adv. 近くの港に 「副詞句」

すぐに父親は、何とかして船にたどり着いて、何か商談をする準備をしました。

Aussitôt, le père s'apprêta à rejoindre le navire espérant y faire quelques affaires.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」 y 「動詞句」「目的語」
Aussitôt オスト adv. すぐに 「副詞」
le père ル・ペール n.m 父親は 「主語」
s'apprêta à +不定詞 サプレタ・ア 3 単過(s'apprêter à+不定詞)
v.t ～する準備をした 「動詞句」
rejoindre ルジュワントル 不定詞 v.t 追いつく、たどり着く 「動詞句」
le navire ル・ナヴィール n.m 船に 「目的語」
espérant エスペラン 現在分詞 adv. 期待して、なんとかして 「副詞」
y イ conj. そして

faire フェール 不定詞 v.t する 「動詞句」
quelques affaires ケルク・ザ・フェール pl.n.f 何か商談を 「目的語」

すると、二人の姉たちは父親の首に飛びつきました。

Les deux aînées sautèrent alors à son cou : 「主語」「動詞」「副詞句」
Les deux aînées レ・ドゥ・オ・ゼネ pl.n.f 二人の姉たちは 「主語」
sautèrent ソテル 3 複過(sauter)v.i (à に) 飛びついた 「動詞」
alors アー adv. すると 「副詞」
à son cou ア・ソ・クー adv. 父親の首に 「副詞句」

「ねえパパ、お願いします。私には、ドレスと帽子と靴を持ち帰ってください。それが
必要なんです」と一人が言った。

“Je t'en prie, papa, rapporte-moi des robes, des chapeaux et des souliers. J'en ai besoin!
dit l'une. 「主語」「間接目的語」「直接目的語」「動詞」「呼びかけ」
「動詞」「間接目的語」「目的語」 | 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」
「動詞」「主語」

Je ジュ pron 私は 「主語」
t' トゥ pron あなたに 「間接目的語」
en オ pron それを 「直接目的語」
prie プリ 1 単現(prier)v.t お願いします 「動詞」
papa ハ・パ n.m パパ 「呼びかけ」
rapporte-moi ラポ・ルトゥ・ムワ 命・3 単現(rapporter+moi)
v.t 私に～を持ち帰ってください 「動詞」「間接目的語」
des robes テ・ローブ pl.n.f ドレス 「目的語」
des chapeaux テ・シャポール pl.n.m 帽子 「目的語」
et エ conj. そして
des souliers テ・スリエ pl.n.m 靴 「目的語」
J' ジュ pron 私は 「主語」
en オ pron それらが 「副詞」
ai エ 1 単現(avoir)v.t ある 「動詞」
besoin ブス・ワソ n.m 必要 「目的語」
dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」
l'une リュヌ n.f 一人が 「主語」

「私も！」ともう一人が言った。「私には、宝石と香水と口紅を見つけてきてね！」

---- Moi aussi! continua l'autre. Il faut que tu me trouves des bijoux, du parfum et du rouge à lèvres! 「副詞句」, 「動詞」 「主語」 | 「動詞句」 「主語」

Moi aussi ムワ・オシ adv. 私も! 「副詞句」
continua コンティヌア 3 単過(continuer)v.t 続けて言った 「動詞」
l'autre ロートル n.f もう一人が 「主語」
Il faut que +接続法 イル・フォ・ク 3 単現 v.i ~すべきだ 「動詞句」
n. ~ということ 「主語」
tu トゥ pron あなたが 「主語」
me ム pron 私に 「間接目的語」
trouves トゥルヴ 2 単現(trouver)v.t 見つけてきてね 「動詞」
des bijoux デ・ビジュ pl.n.m 宝石 「直接目的語」
du parfum ジュ・パルファン n.m 香水 「直接目的語」
et エ conj. それに
du rouge à lèvres ジュ・ルー・ジュ・ア・レーヴル n.m 口紅 「直接目的語」

「ベル、それでお前は何が欲しいんだい？」と父親は末娘に言った。

---- Belle, et toi, que souhaiterait-tu donc? dit-il à la plus jeune. 「呼びかけ」 「目的語」 「動詞」 「主語」 「副詞」, 「動詞」 「主語」 「間接目的語」
Belle, et toi ベル・エ・トゥ n. ベル、それでお前は 「呼びかけ」
que ク pron 何を 「目的語」
souhaiterait スェトレ 条・3 単現(souhaiter)v.t 欲しい 「動詞」
tu チュ pron お前は 「主語」
donc ドン adv. それじゃあ 「副詞」
dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」
il イル pron 父親は 「主語」
à la plus jeune ア・ラ・プ・リュ・ジェヌ adv. 末娘に 「間接目的語」

「私のことまで気遣いしていただいたので、わたしはバラの花を一輪いただきたいわ。だって、ここにはバラがないから。」

---- Puisque tu as la gentillesse de penser à moi, je voudrais une rose, car il n'y en a pas ici. 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞節」
Puisque ビュイスキ conj. ~ので 「副詞節」
tu チュ pron あなたが 「主語」
as ア 2 単現(avoir)v.t ある 「動詞」
la gentillesse ラ・ジ・オンティエス n.f 心遣い 「目的語」

de penser à moi トゥ・ポンス・ア・ムワ adj. 私のことを考えるという 「形容詞句」
je ジュ pron 私は 「主語」
voudrais ヴトレ 条・1 単現(vouloir)v.t ~をいただきたい 「動詞」
une rose ユンヌ・ローズ n.f バラの花を一輪 「目的語」
car カル conj. なぜなら～だから 「副詞節」
il n'y en a pas イル・ニ・オン・ナ・パ 3 単現(avoir+en)v.t バラがない 「動詞句」「主語」
ici イ adv. ここには 「副詞」

こうして、父親は買い物リストを手に持って、大急ぎで船の方向へ出発しました。

Ainsi le père, la liste des achats en main, partit au grand galop en direction du navire.
「副詞」「主語」「副詞句」「動詞」「副詞句」

Ainsi アンシ adv. こうして 「副詞」
le père ル・ペール n.m 父親は 「主語」
la liste des achats en main ラ・リスト・デ・アシャ・オン・マン
adv. 購入リストを手に持って 「副詞句」
partit パルティ 3 単過(partir)v.i 出発した 「動詞」
au grand galop オ・グロン・ギャロ adv. 大急ぎで 「副詞句」
en direction du navire オン・ディレクション・ジュー・ナヴィール adv. 船の方向へ 「副詞句」

「はいどう！進め！」

“Hue! En avant!” 「かけ声」
Hue! En avant! イ・オ・ナヴ・オン int. はいどう！進め！ 「かけ声」

しかしながらその夕方には、頭をうなだれて、重い足取りで、てぶらで帰路につきました。

Cependant, le soir, il en revenait la tête baissée, d'un pas lourd et les mains vides.
「副詞句」, 「主語」「副詞」「動詞」「補語」「副詞句」

Cependant スポントン conj. しかしながら
le soir ル・スワール n.m 夕方 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
en オン adv. そこから 「副詞」
revenait ルヴェネ 3 単半(evenir)v.i 帰路についた 「動詞」
la tête baissée ラ・テトウ・ベッセ adj. 頭をうなだれて 「補語」
d'un pas lourd タン・パ・ルール adv. 重い足取りで 「副詞句」
et エ conj. そして
les mains vides レ・マン・ヴィット adv. 手ぶらで 「副詞句」

残念ながら商談はうまくいかず、むしろ以前よりも貧乏になってしまったのです。

Les affaires furent hélas mauvaises et il devint même plus ruiné qu'avant.

| | |
|--------------|---|
| | 「主語」「動詞」「副詞」「補語」 et 「主語」「動詞」「副詞」「補語」「副詞句」 |
| Les affaires | レ・ザ・フェール pl.n.f 商談は 「主語」 |
| furent | フェール 3 複過(être)v.i 〜になった 「動詞」 |
| hélas | エラス int. 残念ながら 「副詞」 |
| mauvaises | モヴァーズ pl.adj. まずい 「補語」 |
| et | エ conj. そして |
| il | イル pron 彼は 「主語」 |
| devint | トヴァン 3 単過(devenir)v.i 〜になった 「動詞」 |
| même | メム adv. いやむしろ 「副詞」 |
| plus ruiné | プリュルネ adj. もっと貧乏な 「補語」 |
| qu'avant | カヴァン adv. 前よりも 「副詞句」 |

天候も荒れていました。

Le temps aussi était mauvais.

| | |
|----------|-------------------------------|
| | 「主語」「副詞」「動詞」「補語」 |
| Le temps | ル・トン n.m 天候は 「主語」 |
| aussi | オシ adv. 〜も 「副詞」 |
| était | エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」 |
| mauvais | モヴァエ adj. (天気が) 悪い、荒れている 「補語」 |

激しい突風によって送り込まれた厚い雲が、空を暗くしていた。

Des épais nuages accompagnés de violents coups de vent assombrissaient le ciel.

| | |
|---------------------------|---|
| | 「主語」「形容詞句」「動詞」「目的語」 |
| Des épais nuages | デ・セペ・ニュアージュ pl.n.m 厚い雲が 「主語」 |
| accompagnés | アコンパニエ 過去分詞・受動 pl.(accompagner)adv. 送り込まれた 「形容詞句」 |
| de violents coups de vent | トヴァン・ク・トヴァン adv. 激しい突風で 「副詞句」 |
| assombrissaient | アッソブリセ 3 複半(assombrir)v.t 暗くしていた 「動詞」 |
| le ciel | ル・シエル n.m 空を 「目的語」 |

少しすると今度は、吹雪が男を苦しめにやってきた。

Peu après, une tempête de neige venait à son tour tourmenter notre homme.

| | |
|----------------------|---------------------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」 |
| Peu après | プ・アプレ adv. 少しして 「副詞句」 |
| une tempête de neige | ユヌ・トンペートゥ・ネージュ n.f 吹雪が 「主語」 |
| venait | +不定詞 ヴネ 3 単半(venir+不定詞)v. 〜しに来了 「動詞句」 |

à son tour ア・ソン・トゥール adv. 今度は 「副詞句」
tourmenter トゥールモンテ 不定詞 v.t 苦しめる 「動詞句」
notre homme ノル・オム n.m 男を 「目的語」

その時、寒さと疲労と恐怖が、彼を襲いました。

Le froid, la fatigue et la peur s'emparèrent alors de lui :

「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」

Le froid, la fatigue et la peur ル・フルワ・ラ・ファティグ・エ・ラ・ペール

pl.n. 寒さと疲労と恐怖が

「主語」

s'emparèrent ソンパレール 3 複過(s'emparer)v.pr (de を) 占領した、襲った

「動詞句」

alors アール adv. その時

「副詞」

de lui ドゥ・リュイ adv. 彼を

「間接目的語」

「なんてついていないんだ！私は全財産を失ったばかりだというのに、今度は道も見失ってしまった。完全に道に迷ってしまった。おや、しかしあそこに見えるのはなんだろう？」

“Quel malheur! Je viens de perdre mes biens, j'ai maintenant perdu mon chemin : je suis complètement égaré... Oh, mais que vois-je là-bas?”

《「感嘆」 | 「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞句」「目的語」:

「主語」「動詞」「副詞」「補語」 | 「間投」 mais 「動詞」「主語」「副詞」》

Quel +名詞 クル int. 何という～だ

「感嘆」

malheur マレール n.m 不運、不幸

「名詞」

Je ジュ pron 私は

「主語」

viens de perdre ビヤン・トゥ・ペルトル 1 単現・近接過去(venir de+不定詞)

v.t 失ったばかりである

「動詞句」

mes biens メ・ビヤン pl.n.m 全財産を

「目的語」

j' ジュ pron 私は

「主語」

ai maintenant perdu エ・マントゥノン・ペルデ 1 単現・完了形(perdre)vt. 失った

「動詞句」

maintenant マントゥノン adv. 今度は、今は

mon chemin モン・シュマン n.m 道を

「目的語」

je ジュ pron 私は

「主語」

suis シュイ 1 単現(être)v.i ～である

「動詞」

complètement コンプレットモン adv. 完全に、すっかり

「副詞」

égaré エガレ adj. 道に迷った

「補語」

Oh オ int. おや

「間投」

mais メ conj. しかし

que ク pron 何が

「目的語」

vois ヴァ 1 単現(voir)v.t 見える 「動詞」
je ジュ pron 私は 「主語」
là-bas ラ・バ adv. あそこに 「副詞」

遠くの闇の中に、何か明かりが光っているのが見えた。

Une lumière scintillait au loin dans l'obscurité. 「主語」「動詞」「副詞句」
Une lumière ユヌ・リュミエール n.f 何か明かりが 「主語」
scintillait サンティエ 3 単半(scintiller)v.i またたいていた、光っていた 「動詞」
au loin オルワソ adv. 遠くに 「副詞句」
dans l'obscurité ドン・ロプ・スキュリテ adv. 闇の中に 「副詞句」

「あれは幻影だろうか、それとも星なのか？もっと近づいて、見てみよう。」

“Est-ce un mirage? Une étoile? Voyons de plus près ...”
《「動詞」「主語」「補語」, 「補語」 | 「動詞」「副詞句」》
Est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
ce ス pron これは 「主語」
un mirage アン・ミラージュ n.m 幻影、蜃気楼 「補語」
Une étoile ユヌ・エトワール n.f 星 「補語」
Voyons ヴァワイソ 命・1 複現・勧誘(voir)v.t 見てみよう 「動詞」
de plus près ドゥ・プリュ・プレ adv. もっと近くから 「副詞句」

それは確かに明かりでした。照明で照らされた見事な宮殿からの明かりでした。

C'était en effet une lumière. La lumière d'un magnifique palais illuminé.
「主語」「動詞」「副詞句」「補語」 | 「補語」
C' ス pron それは 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
en effet オ・ネフェ adv. 確かに 「副詞句」
une lumière ユヌ・リュミエール n.f 明かり 「補語」
La lumière ラ・リュミエール n.f 明かり 「補語」
d' ドゥ adv. ~からの 「副詞句」
un magnifique palais アン・マニフィク・パレ n.m 見事な宮殿 「目的語」
illuminé イュミネ adj. 照明で照らされた 「形容詞」

内装を見ると、その館は外観と同様に豪華なものだった。

À l'intérieur, la demeure était aussi luxueuse que la façade.
「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」「補語」「副詞句」

| | | | | |
|-----------------|-----------|---------------|-------------|-------|
| À l'intérieur | ア・ランテリエール | adv. | 内部については | 「副詞句」 |
| la demeure | ラ・ドゥメール | n.f | 邸宅 | 「主語」 |
| était | エテ | 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| aussi | オッシ | adv. | もまた | 「副詞」 |
| luxueuse | リュクシューズ | adj. | 豪華な | 「補語」 |
| que la façade | ク・ラ・ファサド | adv. | 外観と同様に | 「副詞句」 |
| aussi ~ que ... | | | 「... と同様に～」 | |

大きな暖炉では火がぱちぱち燃えていて、ワインと温かい料理が食卓を飾っていました。

Le feu crépitait dans une grande cheminée, du vin et des plats chauds décoraient la table. 「主語」「動詞」「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

| | | | | |
|----------------------------|--------------------|-------------------|----------------|-------|
| Le feu | ル・フー | n.m | 火が | 「主語」 |
| crépitait | クレピテ | 3 単半(crépiter)v.i | (火花が) ぱちぱちいていた | 「動詞」 |
| dans une grande cheminée | ドン・ジユヌ・グロント・シュミネ | adv. | 大きな暖炉で | 「副詞句」 |
| du vin et des plats chauds | ジュ・ウ・アン・エ・テ・プ・ラ・ショ | | | |
| pl.n. | | | ワインと温かい料理が | 「主語」 |
| décoraient | デコレ | 3 複半(décorer)v.t | 飾っていた | 「動詞」 |
| la table | ラ・ターブル | n.f | 食卓を | 「目的語」 |

商人はしばらくためらっていたが、もう我慢できなくなった。彼はぬれた服を乾かすと、おいしい夜食を食べた。それから、一日の出来事のためにつかれていたのも、大きなベッドに寝そべって、ぐっすり寝入った。

Le marchand hésita un moment, mais ne pouvait plus se retenir : il sécha ses habits trempés, mangea du délicieux souper, puis épuisé par sa journée, s'allongea sur le grand lit et s'endormit à poings fermés. 「主語」「動詞」「副詞句」 mais 「動詞句」 :

「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞」「目的語」,
「副詞句」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「副詞句」

| | | | | |
|----------------------------|-----------------------|-------------------------|-------------|-------|
| Le marchand | ル・マルション | n.m | 商人は | 「主語」 |
| hésita | エジタ | 3 単過(hésiter)v.i | ためらっていた | 「動詞」 |
| un moment | ウン・モモン | adv. | しばらく、ちょっと | 「副詞句」 |
| mais | メ | conj. | しかし | |
| ne pouvait plus se retenir | ヌ・プ・ウ・エ・プ・リュ・ス・ルトゥニール | 3 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞) | | |
| v.pr | | | もう我慢できなくなった | 「動詞句」 |
| se retenir | ス・ルトゥニール | v.pr | 我慢する、自制する | |
| il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| sécha | セジャ | 3 単過(sécher)v.t | 乾かした | 「動詞」 |

| | | | |
|-----------------------|----------------------------|------------|-------|
| ses habits trempés | セ・ザビ・トロンパ° pl.n.m | ぬれた衣服を | 「目的語」 |
| mangea | モンジャ 3 単過(manger)v.t | 食べた | 「動詞」 |
| du délicieux souper | ジユ・デリシウ・スハ° n.m | おいしい夜食を | 「目的語」 |
| puis | ピュイ adv. | それから | 「副詞」 |
| épuisé | エピュイゼ° 過去分詞(épuiser)adv. | 疲れていたので | 「副詞句」 |
| par sa journée | パール・サ・ジュールネ adv. | 一日の出来事のために | 「副詞句」 |
| s'allongea | サロンジャ 3 単過(s'allonger)v.pr | 寝そべった | 「動詞句」 |
| sur le grand lit | シュール・ル・グロン・リ adv. | 大きなベッドの上に | 「副詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| s'endormit | ソントルミ 3 単過(s'endormir)v.pr | 寝入った | 「動詞句」 |
| à poings fermés | ア・プ° わン・フェルメ adv. | ぐっすりと | 「副詞句」 |
| poing | プ° わン n.m | げんこつ | |
| fermés | フェルメ adj. | 閉じた | |
| dormir à poings fermé | | ぐっすり眠る | |

廊下や他の部屋は、すべてが静まり返っていた。ただ商人のいびきだけが、部屋の壁の間で鳴り響いていた。

Dans les couloirs, dans les chambres, tout était silencieux : seul le ronflement du marchand retentissait entre les murs ...

| | | | |
|--------------------|--------------------------|---|--------|
| | | 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」 : 「主語」 「動詞」 「副詞句」 | |
| Dans les couloirs | ドン・レ・クルワール adv. | 廊下は | 「副詞句」 |
| dans les chambres | ドン・レ・ションブル adv. | 部屋の中は | 「副詞句」 |
| tout | トゥ pron | すべてが | 「主語」 |
| était | エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| silencieux | シロンシユ adj. | 静かな | 「補語」 |
| seul le ronflement | スール・ル・ロンフルモン n.m | いびきだけが | 「主語」 |
| du marchand | ジユ・マルション adj. | 商人の | 「形容詞句」 |
| retentissait | ルトンティセ 3 単半(retentir)v.i | 鳴り響いていた | 「動詞」 |
| entre les murs | オントル・レ・ミユール adv. | 壁の間で | 「副詞句」 |

男が目を覚ました時は、もう日は高かった。

Le soleil était déjà haut quand notre homme se réveilla.

| | | | |
|-----------|------------------|---------------------------|------|
| | | 「主語」 「動詞」 「副詞」 「補語」 「副詞節」 | |
| Le soleil | ル・ソレイユ n.m | 太陽は | 「主語」 |
| était | エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| déjà | デジャ adv. | もう | 「副詞」 |
| haut | オ adj. | 高い | 「補語」 |

quand コン adv. ～するとき 「副詞節」
notre homme ノル・オム n.m 男が (商人が) 「主語」
se réveilla ス・レヴェイエ 3 単過(se réveiller)v.pr 目を覚ました 「動詞句」

外には、嵐の傷跡などは何も見えませんでした、代わりに、花が咲いている素晴らしい庭園が見えました。

Dehors, il ne vit aucune trace de la tempête, mais un magnifique jardin fleuri.
「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 mais 「目的語」
Dehors トゥオール adv. 外は 「副詞」
il イル pron 彼は 「主語」
ne vit ス・ヴィ 3 単過・否定(voir)v.t 見えなかった 「動詞句」
aucune trace オキュヌ・トラス n.f いかなる跡も (～ない) 「目的語」
de la tempête トゥ・ラ・トンペー adj. 嵐の 「形容詞句」
mais メ conj. しかし
un magnifique jardin fleuri アン・マニフィキ・ジャルダン・フル
n.m 花が咲いている素晴らしい庭園 「目的語」

「これはおとぎ話のようだ！ベルに贈るバラまであるじゃあないか！」と感激しました。

“C’est comme un conte de fées! Il y a même des roses pour offrir à Belle” s’émerveilla-t-il.

《「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「主語」「形容詞句」》「動詞句」「主語」
C’ ス pron これは 「主語」
est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
comme コム adv. ～のような 「補語」
un conte de fées アン・コント・トゥ・フェ n.m おとぎ話 「目的語」
Il y a イ・ヤ 3 単現(avoir)v.t がある 「動詞」
même des roses メム・デ・ローズ pl.n.f バラまでも 「主語」
pour +不定詞 プール adj. ～するための 「形容詞句」
offrir オフリール 不定詞 v.t 贈る 「動詞」
à Belle ア・ベル adv. ベルに 「間接目的語」
s’émerveilla セメルヴェイエ 3 単過(s’émerveiller)v.pr 感激した 「動詞句」
il イル pron 彼は 「主語」

しかし突然、恐ろしいなり声が、彼を飛び上がらせました。

Mais tout à coup, un terrible grondement le fit sursauter :

Mais 「主語」「目的語」「動詞」「補語」

Mais メ conj. しかし
tout à coup トゥ・タ・ク adv. 突然 「副詞句」
un terrible grondement アン・テリブル・グロントゥモン n.m 恐ろしいうなり声 「主語」
le ル pron 彼を 「目的語」
fit +不定詞 フィ 3 単過・使役(faire)v.t ~させた 「動詞」
sursauter シュルソテ 不定詞 v.i 思わず飛び上がる 「補語」

「おい！」 鬼と雄牛を合わせたような恐ろしい獣が、不意に現れたのです。

“Dis-donc!” Une horrible créature qui ressemblait à la fois à un ogre et à un taureau surgit. 《「不満・呼びかけ」》 | 「主語」「形容詞節」「動詞」

Dis-donc ディ・ドン int. おい 「不満・呼びかけ」
Une horrible créature ユヌ・オリブル・クレアチュール n.f 恐ろしい獣が 「主語」
qui キ pron ~する 「形容詞節」
ressemblait ルソブレ 3 単半(ressembler)v.i (à に)似ている 「動詞」
à la fois ア・ラ・フワ adv. 同時に 「副詞句」
à un ogre et à un taureau ア・アン・オグール・エ・ア・アン・トロ
adv. 鬼と雄牛に 「間接目的語」
surgit シュルジ 3 単過(surgir)v.i 不意に現れた 「動詞」

「なんて図々しい奴だ！俺はお前を家に入れてやり、食事を与えて、泊まらせてやったんだ。今度は、俺が何よりも大切にしているバラの花まで盗もうというのか！」

“Il ne faut pas se gêner! Je t’ai abrité, nourri et logé. Et maintenant tu me voles mes roses que j’aime plus que tout!”

《「動詞句」 | 「主語」「目的語」「動詞句」
「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「形容詞節」》

Il ne faut pas +不定詞 イル・ヌ・フォ・パ 3 単現・否定 v. ~してはならない 「動詞句」
se gêner ス・ジ ㇼネ 不定詞 v.pr 遠慮する 「動詞」
(皮肉に) 少しは遠慮しろ！ → なんて図々しい奴だ！

Je ジュ pron 俺は 「主語」
t’ トゥ pron お前を 「目的語」
ai +過去分詞 エ 1 単現・完了形 v. ~した 「動詞句」
abrité アブリテ 過去分詞(abriter)v.t 家に入れてやった 「動詞句」
nourri ヌリ 過去分詞(nourrir)v.t 食事を与えた 「動詞句」
et エ conj. そして
logé ロジエ 過去分詞(loger)v.t 泊まらせた 「動詞句」
Et maintenant エ・マントゥアン conj. それなのに今 「副詞句」

| | |
|------------------------------------|---------|
| tu チュ pron お前は | 「主語」 |
| me ム pron 私から | 「間接目的語」 |
| voles ヴォル 2 単現(voler)v.t 盗もうとしている | 「動詞」 |
| mes roses メ・ローズ pl.n.f 私のバラの花を | 「直接目的語」 |
| que ク pron ～する | 「形容詞節」 |
| j' ジュ pron 俺が | 「主語」 |
| aime エム 1 単現(aimer)v.t 愛する、大切にしている | 「動詞」 |
| plus que tout プリュ・ク・トゥ adv. 何よりも | 「副詞句」 |

「お... お許してください。旦那様！」 怯えた商人は、口ごもりながら言った。

---- Pa ... Pardonnez-moi, Mon... Monsieur! bégaya le marchand terrifié.

《「動詞句」「目的語」「呼びかけ」》 | 「動詞」「主語」

Pa ... Pardonnez パ°...パ°ルト°ネ 命・2 複現(pardonner)

v.t お... お許してください 「動詞句」

moi ムわ pron 私を 「目的語」

Mon... Monsieur ム...ムシュ° n.m 旦那様 「呼びかけ」

bégaya ベ°ゲ°イヤ 3 単過(bégayer)v.t 口ごもりながら言った 「動詞」

le marchand ル°マルション n.m 商人は 「主語」

terrifié テリフィエ adj. 怯えた 「形容詞」

「何？旦那様だと？そんな気取った言い方をしてもむだだ。旦那様の顔に見えるか？俺は野獣だ！」 怪物はうなるように言った。

---- Quoi? 'Monsieur'?! Inutile de faire des manières! Est-ce que j'ai la tête d'un monsieur? Je suis la Bête! gronda le monstre.

《「応答」, 「補語」「主語」 | 「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」》
「動詞」「主語」

Quoi? 'Monsieur'?! クわ°ムシュ° int. 何？旦那様だと？ 「応答」

Inutile インユティル adj. 無駄だ 「補語」

de faire des manières ト°ウ°フェール°デ°マニエール 不定詞 n. 勿体ぶることは 「主語」

「気取った言い方をする」または「お世辞を言う」ような意味

Il est inutile de+不定詞 「～してもむだだ」

Est-ce que エス°ク 疑問文の開始

j' ジュ pron 俺は 「主語」

ai エ 1 単現(avoir)v.t ～がある 「動詞」

la tête ラ°テット n.f 顔 「目的語」

d'un monsieur ダ°ン°ムシュ° adj. 旦那様の 「形容詞句」

| | |
|------------------------------------|------|
| Je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| suis シュイ 1 単現(être)v.i である | 「動詞」 |
| la Bête ラ・ベット n.f 野獣 | 「補語」 |
| gronda グロンダ 3 単過(Gronder)v.i うなった | 「動詞」 |
| le monstre ル・モンストル n.m 怪物が | 「主語」 |

お前の罪を償うためには、お前が死ぬか、お前の一番大切なものを差し出すか、選ぶのだ！

Pour réparer ta faute, soit tu meurs, soit tu sacrifies ce qui t'est le plus cher! Choisis.

| | |
|--|--------------------------|
| | 「副詞句」、「副詞節」、「副詞節」 「動詞」 |
| Pour + 不定詞 プール adv. するために | 「副詞句」 |
| réparer レパレ 不定詞 v.t 償う | 「動詞」 |
| ta faute タ・フォート n.f お前の罪を | 「目的語」 |
| soit スわ conj. するにせよ | 「副詞節」 |
| tu トゥ pron お前が | 「主語」 |
| meurs メール 2 単現(mourir)v.i 死ぬ | 「動詞」 |
| soit スわ conj. するにせよ | 「副詞節」 |
| tu トゥ pron お前が | 「主語」 |
| sacrifies サクリフィエ 2 単現(sacrifier)v.t を供える | 「動詞」 |
| ce ス pron 物を | 「目的語」 |
| qui キ pron する | 「形容詞節」 |
| t' トゥ pron お前にとって | 「間接目的語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i である | 「動詞」 |
| le plus cher ル・プ リュ・シェール adj. 最も大切な | 「補語」 |
| Choisis シュワジ 命・2 単現(choisir)v.t 選ぶのだ | 「動詞」 |

こう言うと、くるりと向きを変え、バラの並木道の中へ姿を消した。

Sur ces mots, il se retourna et disparut dans les allées de rosiers.

| | |
|--|---------------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 et 「動詞」 「副詞句」 |
| Sur シュール adv. 後に | 「副詞句」 |
| ces mots セ・モ pl.n.m この言葉 | 「目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| se retourna ス・ルトゥルナ 3 単過(se retourner)v.pr 振り返った | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| disparut ティスパリュ 3 単過(disparaître)v.i 姿を消した | 「動詞」 |
| dans les allées トン・レ・ザレ adv. 並木道の中へ | 「副詞句」 |
| de rosiers トゥ・ロジエ adj. バラの | 「形容詞句」 |

ひどくおびえて、哀れな商人は大急ぎで帰宅した。やっと家にたどりつくと、彼は子供たちの前で泣き崩れてしまった。

Épouvanté, le pauvre marchand rentra à toute allure. Enfin arrivé, il s'écroula en larmes devant ses enfants.

「副詞」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
Épouvanté エプ[°]ウ[°]オンテ 過去分詞(épouvanter)adv. ひどくおびえて 「副詞」
le pauvre marchand ル[°]ポ[°]ール[°]マルション n.m 哀れな商人は 「主語」
rentra ロントラ 3 単過(rentrer)v.i 帰宅した 「動詞」
à toute allure ア[°]トゥット[°]アリュール adv. 全速力で、大急ぎで 「副詞句」
Enfin arrivé オンファン[°]アリヴェ 過去分詞(arriver)adv. やっとたどり着くと 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
s'écroula セクルラ 3 単過(s'écrouler)v.pr 崩れた 「動詞句」
en larmes オン[°]ラルム adv. 涙の上に 「副詞句」
→ 泣き崩れた
devant ses enfants ト[°]ウ[°]オン[°]セ[°]ザンソフオン adv. 子供たちの前で 「副詞句」

「これを受け取っておくれ、私のかわいいベルよ」震える手で娘にバラの花を差し出しながら言いました。

“Tiens ceci, ma petite Belle, dit-il à sa fille en lui tendant la rose d'une main tremblante. 《「動詞」「目的語」「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」「間接目的語」「副詞句」

Tiens チャン 命・2 単現(tenir)v.t 取っておくれ 「動詞」
ceci シ pron これを 「目的語」
ma petite Belle マ[°]プティット[°]ベル n.f 私のかわいいベルよ 「呼びかけ」
dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」
il イル pron 彼は 「主語」
à sa fille ア[°]サ[°]フィユ adv. 娘に 「間接目的語」
en オン adv. ～しながら 「副詞句」
lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」
tendant トントソ 現在分詞(tendre)v.t 差し出す 「動詞」
la rose ラ[°]ロズ n.f バラの花を 「目的語」
d'une main tremblante チュヌ[°]マン[°]トロンブレント adv. 震える手で 「副詞句」

残念ながら、これがお前にあげられる最後のプレゼントになるだろう。

Ce sera malheureusement le dernier cadeau que je pourrai t'offrir ...

「主語」「動詞」「副詞」「補語」「形容詞節」

| | | | |
|-------------------|-------------------------------|----------|--------|
| Ce | ス pron | これが | 「主語」 |
| sera | スラ 3 単末(être)v.i | ～になるだろう | 「動詞」 |
| malheureusement | マルルーズモン adv. | 残念ながら | 「副詞」 |
| le dernier cadeau | ル・テルニエ・キャト n.m | 最後のプレゼント | 「補語」 |
| que | ク pron | ～する | 「形容詞節」 |
| je | ジュ pron | 私が | 「主語」 |
| pourrai t'offrir | プレ・トフリール 1 単末・可能(pouvoir+不定詞) | | |
| | v.t | お前にあげられる | 「動詞句」 |

父親の災難を聞いて、子供たちは動転してしまいました。姉たちは末っ子に対して怒りくる
いました。ベルは当惑してしまいましたが、ついにははっきりと言いました。

La mésaventure du père bouleversa les enfants. Les aînées étaient furieuses contre la benjamine. Belle restait confuse mais déclara enfin :

「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」
「主語」「動詞」「補語」 mais 「動詞」「副詞」

| | | | |
|---------------------|------------------------------|--------------|--------|
| La mésaventure | ラ・メサヴ・オンチュール n.f | 災難、不運な出来事 | 「主語」 |
| du père | ジュ・ペール adj. | 父親の | 「形容詞句」 |
| bouleversa | ブルヴ・エルサ 3 単過(bouleverser)v.t | (気持ちを) 動転させた | 「動詞」 |
| les enfants | レ・ゾンフォン pl.n. | 子供たちを | 「目的語」 |
| Les aînées | レ・ゼネ pl.n.f | 姉たちは | 「主語」 |
| étaient | エテ 3 複半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| furieuses | フリューズ adj.pl.f. | 怒り狂った | 「補語」 |
| contre la benjamine | コントル・ラ・ベンジヤミヌ adv. | 末っ子に対して | 「副詞句」 |
| Belle | ベル n. | ベルは | 「主語」 |
| restait | レステ 3 単半(rester)v.i | ～のままになった | 「動詞」 |
| confuse | コンフューズ adj.f | 当惑した | 「補語」 |
| mais | メ conj. | しかし | |
| déclara | デクララ 3 単過(déclarer)v.t | はっきりと言った | 「動詞」 |
| enfin | オンファン adv. | ついに | 「副詞」 |

「泣かないで、可哀想なお父様。私がベートにこの身を捧げるわ。そうすることでベートの
怒りを鎮めることができると思うから。」

“Ne pleure pas, pauvre papa. Je me livrerai moi-même à la Bête car cela pourra
apaiser sa colère.”

《「動詞句」「呼びかけ」 | 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「副詞節」》

Ne pleure pas ス・プルル・パ 命・2 単現・否定(pleurer)v.i 泣かないで 「動詞句」

| | | | |
|----------------|---------------------------------|----------------------|---------|
| pauvre papa | ポ・ヴル・パ・パ n.m | 可哀想なお父様 | 「呼びかけ」 |
| Je | ジュ pron | 私は | 「主語」 |
| me livrerai | ム・リヴル 1 単未・意志(se livrer)v.pr | 身をささげる | 「動詞句」 |
| moi-même | ムわ・メム pron | 私自身を | 「直接目的語」 |
| à la Bête | ア・ラ・ベート adv. | ベートに | 「間接目的語」 |
| car | カル conj. | ～なので | 「副詞節」 |
| cela | スラ pron | そうすることが | 「主語」 |
| pourra apaiser | プ・ラ・ア・ゼ 3 単未・可能・推量(pouvoir+不定詞) | | |
| | v.t | (怒りなどを) 鎮めることができるだろう | 「動詞句」 |
| sa colère | サ・コレール n.f | ベートの怒りを | 「目的語」 |

今度は、父親が取り乱してしまった。彼は何よりも愛するわが子を引き留めようと試みたが、この末っ子は出発することを決心していた。

Le père s'affola à son tour. Il essaya de retenir son enfant si chère mais celle-ci était déterminée à partie.

「主語」「動詞句」「副詞句」

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「動詞」「補語」

| | | | |
|-------------------|--|------------|---------|
| Le père | ル・ペール n.m | 父親が | 「主語」 |
| s'affola | サ・フォラ 3 単過(s'affoler)v.pr | 取り乱した | 「動詞句」 |
| à son tour | ア・ソン・トゥール adv. | 今度は彼の番で | 「副詞句」 |
| Il | イル pron | 父親は | 「主語」 |
| essaya de retenir | エセヤ・ド・ウ・ルトゥニール 3 単過・試行(essayer de+不定詞) | | |
| | v.t | 引き留めようと試みた | 「動詞句」 |
| son enfant | ソン・ノンフォン n. | 子供を | 「目的語」 |
| si chère | シ・シェール adj.f. | 何よりも愛する | 「形容詞句」 |
| mais | メ conj. | しかし | |
| celle-ci | セル・シ pron | この末っ子は | 「主語」 |
| était | エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| déterminée | デテルミネ adj. | 決心した | 「補語」 |
| à partie | ア・パルティ adv. | 出発を | 「間接目的語」 |

姉たちはほっとして、泣くふりをした。

Les soeurs, elles, furent soulagées, et firent semblant de pleurer ...

「主語」「動詞」「補語」 et 「動詞」「目的語」

| | | | |
|-------------------|--------------------|--------------|------|
| Les soeurs, elles | レ・セル・エル pl.n.f | 姉たちは | 「主語」 |
| furent | フュール 3 複過(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| soulagées | スラジェ adj.pl.f. | ほっとした、気が静まった | 「補語」 |

et エ conj. そして

firent フィール 3 複過(faire)v.t. ～した

「動詞」

semblant ソンブロン n.m. 見かけ

「目的語」

de pleurer トゥ・プルー adj. 泣いていることの

「形容詞句」

faire semblant de pleurer 泣いているふりをする

それで父親と娘は一緒に、宮殿に向かって出発しました。

Le père et la fille partirent donc ensemble pour le palais.

「主語」「動詞」「副詞句」

Le père et la fille ル・ペール・エ・ラ・フィユ pl.n. 父親と娘は

「主語」

partirent パルティール 3 複過(partir)v.i. 出発しました

「動詞」

donc トン adv. それで

「副詞」

ensemble オンソンブル adv. 一緒に

「副詞」

pour le palais プール・ル・パレ adv. 宮殿に向かって

「副詞句」

彼らが宮殿に近づくほど、ベルの心臓は激しく鼓動を打った。しかし彼女は父親を心配させまいと、平静に見えるように努めた。

Plus ils s'en approchaient, plus le coeur de Belle battait fort; mais elle s'efforça de paraître tranquille pour ne pas inquiéter son père.

「副詞節」, 「副詞節」; mais 「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」

Plus プリュ adv. ～すればするほど

「副詞節」

plus ..., plus ... ～すればするほどますます...

ils イル pron 彼らが

「主語」

s'en approchaient ソン・アプ ロシェ 3 複半(s'approcher+en)

v.pr (de に) 近づく

「動詞句」

en は de le palais の代用

plus プリュ adv. ますます～になる

「副詞節」

le coeur de Belle ル・ケール・トゥ・ベル n.m. ベルの心臓は

「主語」

battait バテ 3 単半(battre)v.i. (心臓が) 鼓動を打った

「動詞」

fort フォール adv. 強く

「副詞」

mais メ conj. しかし

elle エル pron 彼女は

「主語」

s'efforça de paraître セフォルサ・トゥ・パレートル 3 単過・努力(s'efforcer de+不定詞)

v.i. ～のように見えるように努めた

「動詞句」

tranquille トロンキル adj. 平静な

「補語」

pour ne pas inquiéter プール・ヌ・パ・サンキエテ adv. 心配させないように

「副詞句」

son père ソン・ペール n.m 父親を

「目的語」

しかし宮殿の前に着くと、恐ろしいシルエットを見て、ベルは震えてしまいました。あれは
ベートだわ！別れの時が来ました。

Pourtant, arrivée devant le palais, elle frémit en voyant la silhouette terrifiante : c'est
elle, la Bête! L'heure de faire les adieux était venue.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」: 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」
Pourtant フルトン adv. しかし 「副詞」
arrivée アリヴェ 過去分詞(arriver)adv. 到着すると 「副詞句」
devant le palais トゥヴァン・ル・パレ adv. 宮殿の前に 「副詞句」
elle エル pron 彼女は 「主語」
frémit フレミ 3 単過(frémir)v.i 震えた 「動詞」
en voyant オン・ヴァン 現在分詞(voir)adv. ～をみて 「副詞句」
la silhouette terrifiante ラ・シルエット・テリフィヤント n.f 恐ろしいシルエットを 「目的語」
c' ス pron あれは 「主語」
est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
elle, la Bête エル・ラ・ベート n.f ベート 「補語」
L'heure レール n.f 時間 「主語」
de faire トゥ・フェール adj. ～すべき 「形容詞句」
les adieux レ・アディウ pl.n.m 別れを 「目的語」
était venue エテ・ヴィニュ 3 単半・完了形(venir)v.i 来た 「動詞句」

「さようなら、ベル！」父親はすすり泣いた。

「さようなら、パパ！」娘は答えた。

「さらばだ、さらば。もう二度とここに戻ってくるな！」ベートはかすれ声で言った。

“Au revoir, Belle! sanglotait le père, 《「感嘆」》, 「動詞」「主語」

---- Au revoir, papa ... répondit la fille, 《「感嘆」》, 「動詞」「主語」

---- Adieu, adieu, et ne reviens plus ici!” râlait la Bête.

《「感嘆」et「動詞句」「副詞」》, 「動詞」「主語」

Au revoir, Belle! オ・ルヴ・ワール・ベル int. さようなら、ベル 「感嘆」

sanglotait ソングロテ 3 単半(sangloter)v.i すすり泣いた 「動詞」

le père ル・ペール n.m 父親は 「主語」

Au revoir, papa オ・ルヴ・ワール・パパ int. さようなら、パパ 「感嘆」

répondit レポンスディ 3 単過(répondre)v.i 答えた 「動詞」

la fille ラ・フィユ n.f 娘は 「主語」

Adieu, adieu アディユ・アディユ int. さらばだ、さらば 「感嘆」

et エ conj. そして
ne reviens plus ヌ・ルヴン イソ 命・2 単現・否定(revenir)v.i もう戻ってくるな 「動詞句」
ici イ adv. ここに 「副詞」
râlait ラ 3 単半(râler)v.i かすれ声で言った 「動詞」
la Bête ラ・ベート n.f ベートは 「主語」

ベルは必死でこらえたが、父親が帰ってしまうと、泣き崩れてしまった。

Belle se retenait comme elle put, mais dès que son père repartit, elle fondit en larmes.
「主語」「動詞句」「副詞句」 mais 「副詞節」「主語」「動詞」「副詞句」
Belle ベル n. ベルは 「主語」
se retenait ス・ルトゥネ 3 単半(se retenir)v.pr こらえた 「動詞句」
comme elle put コム・エル・ビュ adv. できる限り 「副詞節」
mais メ conj. しかし
dès que +直説法 テ・ク conj. ～するやいなや 「副詞節」
son père ソン・ペール n.m 父親が 「主語」
repartit ルパ・ルティ 3 単過(repartir)v.i 帰ってしまった 「動詞」
elle エル pron 彼女は 「主語」
fondit フォンティ 3 単過(fondre)v.i 溶けた 「動詞」
en larmes オン・ラルム adv. 涙の中に 「副詞句」
→ 泣き崩れた

こうしてベルにとって新しい生活が始まった。

Ainsi, une nouvelle vie commença pour Belle. 「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」
Ainsi アンシ adv. こうして 「副詞」
ainsi が文頭にくると主語と動詞の倒置が行われるが、日常語では倒置しない。
une nouvelle vie ヌヌ・ヌヴェル・ヴィー n.f 新しい生活が 「主語」
commença コモンサ 3 単過(commencer)v.i 始まった 「動詞」
pour Belle プール・ベル adv. ベルにとって 「副詞句」

最初の日、彼女は思い切って見ることはできなかった。そして次の日はまだ震えていた。しかし日を重ねるごとに、彼に好感を感じ始めた。

Le premier jour, la jeune fille n'osait pas regarder le monstre. Le jour suivant elle tremblait encore, mais de jour en jour, elle commençait à ressentir de la sympathie.
「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」
mais 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
Le premier jour ル・プ・ルミエ・ジユール adv. 最初の日は 「副詞句」

| | | | |
|------------------------|---|------------|-----------|
| la jeune fille | ラ・ジュヌ・フィユ n.f | 若い娘は | 「主語」 |
| n'osait pas regarder | ノゼ・パ・ルギヤルテ 3 単半・否定・決断 | | |
| v.t | 思い切って見る | ことができなかった | 「動詞句」 |
| le monstre | ル・モンストル n.m | その怪物を | 「目的語」 |
| Le jour suivant | ル・ジュール・シュイヴオン n.m | 次の日は | 「副詞句」 |
| elle | エル pron | 彼女は | 「主語」 |
| tremblait | トロンブレ 3 単半(trembler)v.i | 震えていた | 「動詞」 |
| encore | オンコール adv. | まだ | 「副詞」 |
| mais | メ conj. | しかし | |
| de jour en jour | トゥ・ジュール・オン・ジュール adv. | 日増しに、だんだんと | 「副詞句」 |
| | 「peu à peu | 少しずつ、徐々に」 | も同様に使用できる |
| elle | エル pron | 彼女は | 「主語」 |
| commençait à ressentir | コモンセ・ア・ルゾンティール 3 単半・開始(commencer à+不定詞) | | |
| v.t | 感じ始めた | | 「動詞句」 |
| de la sympathie | トゥ・ラ・サンパティ n.f | 好感を | 「目的語」 |

実際、ベートはベルをまるでお姫様のようにもてなしてくれました。ベートは彼女に書棚とピアノがある立派な部屋まで用意してくれたのです。

En effet, la Bête accueillait Belle comme une princesse : elle lui avait aménagé une superbe chambre avec une bibliothèque et un piano.

| | | | |
|-----------------------------------|------------------------------|---------|--------------------------|
| | | | 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」: |
| | | | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| En effet | オ・ネフェ adv. | 実際、なるほど | 「副詞句」 |
| la Bête | ラ・ベート n. | ベートは | 「主語」 |
| accueillait | アクイヤ 3 単過(accueillir)v.t | もてなした | 「動詞」 |
| | 単純過去形は accueillit | である | |
| Belle | ベル n. | ベルを | 「目的語」 |
| comme une princesse | コム・ユヌ・プランス adv. | お姫様のように | 「副詞句」 |
| elle | エル pron | ベートは | 「主語」 |
| lui | リュイ pron | 彼女に | 「間接目的語」 |
| avait aménagé | アヴェ・アマナジェ 3 単半・完了形(aménager) | | |
| v.t | 整備して | くれた | 「動詞句」 |
| une superbe chambre | ユヌ・シュペルブ・シヨブル n.f | 立派な部屋を | 「直接目的語」 |
| avec une bibliothèque et un piano | アヴェ・エツ・キユヌ・ビブリアテキ・エ・タン・ピアノ | | |
| adv. | 書棚とピアノがある | | 「形容詞句」 |

ベートは彼女を脅したり怒鳴ったりしないで、1 日中彼女の自由にしてくれました。

Elle ne la menaçait ni ne la grondait, et la laissait libre de ses journées.

「主語」「動詞句」, 「動詞句」 et 「目的語」「動詞」「補語」「副詞句」
Elle エル pron ベートは 「主語」
ne la menaçait ヌ・ラ・メナセ 3 単半・否定(menacer+la)v.t 彼女を脅さなかった 「動詞句」
ni ne la grondait ニ・ヌ・ラ・グロンデ 3 単半・否定(gronder+la)
v.t 彼女に怒鳴ったりもしなかった 「動詞句」
et エ conj. そして
la ラ pron 彼女を 「目的語」
laissait レ 3 単半(laisser)v.t ~のまましておいた 「動詞」
libre リーブル adj. 自由な 「補語」
de ses journées トゥ・セ・ジュールネ adv. 1 日中 「副詞句」

3 ヶ月が過ぎる頃には、二人で夕食を食べながら楽しい時間を過ごすまでになりました。

Au bout de trois mois, ils partageaient même d'agréables moments en dînant :

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」
Au bout de trois mois オ・ブ・トゥ・トルワ・ムワ adv. 3 ヶ月が過ぎる頃に 「副詞句」
ils イル pron.pl. 彼らは 「主語」
partageaient パルタジエ 3 複半(partager)v.t 共有する、共にする 「動詞」
même メム adv. ~さえ 「副詞」
d'agréables moments ダグレアーブル・モモン n.m 楽しい時間を 「目的語」
en dînant オン・ディノ 現在分詞 adv. 夕食を食べながら 「副詞句」

「私のことを醜いと思うだろう?」ある晩、ベートが尋ねました。

“N'est-ce pas que tu me trouves laid ...? demanda la Bête un soir.

《「主語」「目的語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
N'est-ce pas que ネ・ス・パ・ク adv. ~ということじゃないか? 「副詞節」
tu チュ pron 君は 「主語」
me ム pron 私を 「目的語」
trouves トルーヴ 2 単現(trouver)v.t ~と思う 「動詞」
laid レ adj. 醜い 「補語」
demanda トゥモンタ 3 単過(demander)v.t 尋ねた 「動詞」
la Bête ラ・ベート n.f ベートが 「主語」
un soir アン・スワール n.m ある晩 「副詞句」

「何という問いかけでしょう！」ベルは驚いてしまいました。「醜いとは、どういう意味ですか?あなたは美しい心を持っています。心の美しい人は、決して醜くありません。」

--- En voila une question, s'étonna Belle. Qu'est-ce-que vous voulez dire par laid? Vous avez un coeur bon, et quelqu'un au coeur bon n'est jamais laid.

《「感嘆」》, 「動詞句」 「主語」 | 《「目的語」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

「主語」 「動詞」 「目的語」 et 「主語」 「動詞」 「補語」》

En voila une question オン・ヴァ わー・ユヌ・クエスチョン adv. 何という問いかけでしょう! 「感嘆」
s'étonna セトナ 3 単過(s'étonner)v.pr 驚いてしまいました 「動詞句」

Belle ベル n. ベルは 「主語」

Qu'est-ce-que ケ・ス・ク n. 何を 「目的語」

vous ヴェ pron あなたは 「主語」

voulez dire ヴレ・テ・イール 2 複現・願望(vouloir+不定詞)

v.t 言いたい 「動詞句」

par laid パール・レ adv. 醜いということで 「副詞句」

Vous ヴェ pron あなたは 「主語」

avez アヴェ 2 複現(avoir)v.t 持っている 「動詞」

un coeur bon アン・ケール・ボン n.m 美しい心を 「目的語」

et エ conj. そして

quelqu'un au coeur bon ケル・ク・オン・ケール・ボン n.m 心の美しい人は 「主語」

n'est jamais ネ・ジヤメ 3 単現・否定(être)v.i ~でない 「動詞句」

laid レ adj. 醜い 「補語」

「ああ、ベル！」ベートは顔を赤らめて言った。「私は思い切って言うことができなかったんだが、... 私と結婚してくれないだろうか？」

--- Ah, Belle! rougit la Bête, je n'osais pas te le dire mais ... voudrais-tu bien m'épouser?"

《「感嘆」》, 「動詞」 「主語」,

《「主語」 「動詞句」 「目的語」 mais 「動詞句」 「主語」 「動詞句」》

Ah, Belle! アー・ベル int. ああ、ベル 「感嘆」

rougit ルジ 3 単過(rougir)v.i 顔を赤らめた 「動詞」

la Bête ラ・ベート n.f ベートは 「主語」

je ジェ pron 私は 「主語」

n'osais pas +不定詞 /ゼ・パ 1 単半・否定(oser+不定詞)

v.t 思い切って~できなかった 「動詞句」

te le dire トゥール・テ・イール 不定詞(dire+te+le)

v. 君にそれをいうことが 「目的語」

mais メ conj. しかし

voudrais ...bien m'épouser ウトレ...ビヤン・メプゼ 条・2 単現・依頼(vouloir+不定詞)

v.t 私と結婚してくれないだろうか

「動詞句」

tu チュ pron 君は

「主語」

驚いて、ベルはフォークを落としてしまい、それから答えました。

Surprise, Belle laissa tomber sa fourchette, puis répondit :

「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」, 「副詞」 「動詞」

Surprise, シュルプ リーズ n.f 驚き

「副詞」

Belle ベル n. ベルは

「主語」

laissa tomber レサ・トンベ 3 単過・放任(laisser+不定詞)v.t ~が落ちるままにした 「動詞句」

sa fourchette, サ・フルシェット n.f フォークを

「目的語」

puis ビュイ adv. それから

「副詞」

répondit レボンディ 3 単過(répondre)v.t 答えた

「動詞」

「決してあなたから離れないと約束します、でも、もう一度父と会わせてください」

“Je vous promets de ne jamais vous quitter, mais permettez-moi de revoir mon père.”

「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 mais 「動詞句」 「目的語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

vous ヴ pron あなたに

「間接目的語」

promets プロメ 1 単現(promettre de+不定詞)v.t ~すると約束します

「動詞」

de ne jamais vous quitter, トゥ・ヌ・ジヤメ・ヴ・キテ 不定詞・否定(quitter+vous)

n. 決してあなたから離れないと

「直接目的語」

mais メ conj. でも

permettez-moi ペルメテ・ムわ 命・2 複現(permettre+moi+de+不定詞)

v.t 私が~することを許して下さい

「動詞句」

de revoir トゥ・ルヴ わル 不定詞 n. ~ともう一度会うことを

「目的語」

mon père モン・ペール n.f 父と

「目的語」

この言葉を聞いてベートは深いため息をもらしましたが、ベルはすぐに慰めました。

Sur ce, la Bête laissa échapper un long soupir, mais Belle la rassura tout de suite :

「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」 mais 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

Sur ce, シュール・ス adv. この言葉を聞いて 「副詞句」

la Bête ラ・ベート n. ベートは 「主語」

laissa échapper レサ・エシャペ 3 単過・放任(laisser+不定詞)v.t ~を漏らした 「動詞句」

un long soupir, アン・ロン・スピール n.m 深いため息 「目的語」

mais メ conj. しかし

Belle ベル n. ベルは「主語」

la ラ pron ベートを「目的語」

rassura ラシュラ 3 単過(rassurer)v.t 安心させた、慰めた「動詞」

tout de suite トゥ・トゥ・シュイト adv. すぐに「副詞句」

「あなたを悲しませたくないのですが、私に 1 週間の時間をください。ほんの 1 週間です。
そのあと、あなたのそばに戻ってきますから。」

“Je ne voudrais pas vous faire de la peine, mais laissez-moi une semaine. Juste une semaine, et je reviendrai à vos côtés.”

《「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「動詞句」「目的語」

「目的語」 et 「主語」「動詞」「副詞句」》

Je ジュ pron 私は

「主語」

ne voudrais pas +不定詞 ヌ・ヴ・ドレ・パ 条・1 単現(vouloir+不定詞)

v.t. ~したくないのですが

「動詞句」

vous faire de la peine, ヴ・フェール・トゥ・ラ・ペーヌ 不定詞 n. あなたを悲しませる

「目的語」

mais メ conj. しかし

laissez-moi レッセ・ムワ 2 複現(laisser+moi)v.t 私に与えてください

「動詞句」

une semaine. ユヌ・スメヌ n.f 1 週間

「目的語」

Juste une semaine, ジュスト・ユヌ・スメヌ n.f ほんの 1 週間

「目的語」

et エ conj. そうすれば

je ジュ pron 私は

「主語」

reviendrai ルヴィヤントレ 1 単末(revenir)v.i 戻ってきます

「動詞」

à vos côtés. ア・ヴォ・コテ adv. あなたのそばに

「副詞句」

「分かった」、ベートは答えた。「いとしい君を引き留めるなんてできない。さあ、もうお休み。明日になれば、また家族に会えるだろう」

---- D'accord, répondit la Bête. Je t'aime trop pour te retenir. Va donc te coucher, tu retrouveras ta famille demain.”

《「応答」, 「動詞」「主語」

《「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞」》

D'accord, ダコール adv. 分かった

「応答」

répondit レポントディ 3 単過(répondre)v.t 答えた

「動詞」

la Bête. ラ・ベート n. ベートは

「主語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

t' トゥ pron 君を

「目的語」

aime エム 1 単現(aimer)v.t 愛している

「動詞」

trop pour +不定詞 トゥロ・プール adv. ～しすぎて... できない 「副詞句」
te retenir. トゥ・ルトゥニール 不定詞 n. 君を引き留める 「動詞句」
Va donc te coucher ヴァ・ドン・トゥ・クシェ 命・2 単現・近未来(aller+不定詞 se coucher+done)
v.pr さあ、おやすみなさい 「動詞句」
tu チュ pron 君は 「主語」
retroveras ルトゥヴラ 2 単末(retrouver)v.t また会えるだろう 「動詞」
ta famille タ・ファミユ n.f 君の家族に 「目的語」
demain. ドゥマン adv. 明日 「副詞」

ベートを悲しませてしまったことを悔やみながらも、ベルは部屋へ戻り、眠りました。

Regrettant de l'avoir attristée, Belle regagna quand même sa chambre et s'endormit.
「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」 et 「動詞句」
Regrettant ルグレト 現在分詞(regretter de+不定詞)adv. ～することを悔やんで 「副詞句」
de l'avoir attristée, ドゥ・ラヴ・ワール・アトリス 不定詞・完了形.f(attrister)
v.t 彼を悲しませたことを 「目的語」
Belle ベル n. ベルは 「主語」
regagna ルガニャ 3 単過(regagner)v.t 戻った 「動詞」
quand même コン・メモ adv. それでも 「副詞句」
sa chambre サ・ションブル n.f 部屋へ 「副詞句」
et エ conj. そして
s'endormit. ソントルミ 3 単過(s'endormir)v.pr 眠った 「動詞句」

彼女が目覚めた時、最初は夢を見ていると思いました。このカーテン、このシーツそれにご
のベッド：そうです、ここは彼女の部屋だったのです。魔法にかかったように、彼女は自分
の家へ戻っていたのです。

À son réveil, Belle crut d'abord rêver. Ces rideaux, ces draps et ce lit : c'était sa chambre. Comme par magie, elle était revenue chez elle.
「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」
「主語」: 「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」
À ア prep ～の時に 「副詞句」
son réveil, ソン・レヴェイユ n.m 彼女の目覚め 「目的語」
Belle ベル n. ベルは 「主語」
crut ...rêver. クリュ...レヴェール 3 単過(croire+不定詞)
v.i 夢を見ていると思った 「動詞句」.. 「動詞句」
d'abord ダボール adv. 最初は 「副詞句」
Ces rideaux, セ・リト pl.n.m このカーテン 「主語」

| | | |
|---|---------|-------|
| ces draps セ・ド ^ラ pl.n.m | このシーツ | 「主語」 |
| et エ conj. | それに | |
| ce lit ス・リ n.m | このベッド | 「主語」 |
| c' ス pron | ここは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| sa chambre. サ・ショ ^ン ブル n.f | 彼女の部屋 | 「補語」 |
| Comme コム conj. | のように | 「副詞句」 |
| par magie, パール・マジエ adv. | 魔法にかかった | 「副詞句」 |
| elle エル pron | 彼女は | 「主語」 |
| était revenue エテ・ル ^ヴ ニユ 3 単半・完了形(revenir)v.i | 戻っていた | 「動詞句」 |
| chez elle. シェ・エル adv. | 自分の家に | 「副詞句」 |

父は本当に驚きましたが、娘に再会できてとても喜びました。姉たちは、父の後から駆け付けてきましたが、晴れやかでお姫様のように着飾った妹の姿を見て、嫉妬で真っ青になりました。

Le père fut vraiment surpris mais très heureux de revoir son enfant. Les soeurs accoururent après lui. Mais en voyant leur soeur radieuse et habillée comme une princesse, elles devinrent vertes de jalousie.

| | | |
|--|---------------|-------------------------|
| | 「主語」「動詞」「補語」 | mais 「補語」「副詞句」 |
| | 「主語」「動詞」「副詞句」 | Mais 「副詞句」「動詞」「補語」「副詞句」 |
| Le père ル・ペール n.m | 父は | 「主語」 |
| fut フュ 3 単過(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| vraiment surpris ヴレモン・シュル ^プ リ adj. | 本当に驚いた | 「補語」 |
| mais メ conj. | しかし | |
| très heureux トレ・ズル adj. | とても喜んだ | 「補語」 |
| de revoir トゥ・ル ^ヴ わール 不定詞・理由 adv. | 再会して | 「副詞句」 |
| son enfant. ソ・ノン ^フ オン n.m | 子供に | 「目的語」 |
| Les soeurs レ・セル pl.n.f | 姉たちは | 「主語」 |
| accoururent アクリュール 3 複過(accourir)v.i | 駆け付けた | 「動詞」 |
| après lui. アプレ・リュイ adv. | 父の後から | 「副詞句」 |
| Mais メ conj. | しかし | |
| en voyant オン・ヴァ ^ウ イオン 現在分詞 adv. | ～を見て | 「副詞句」 |
| leur soeur レール・セル n.f | 彼らの妹 | 「目的語」 |
| radieuse ラデ ^ィ ユーズ ^ス adj. | 晴れやかな | 「形容詞」 |
| et エ conj. | そして | |
| habillée アビエ ^エ adj. | 服を着た | 「形容詞句」 |

comme une princesse, コム・エンス・プランス adv. お姫様のように「副詞句」
elles エル pl.n.f 彼女たちは「主語」
devinrent トゥヴァンル 3 複過(devenir)v.i 〜になった「動詞」
vertes ヴェルト adj.pl.f. 青い「補語」
de jalousie. トゥ・ジャルジー adv. 嫉妬から「副詞句」

「だけど、なぜ彼女はあんなに幸せそうな様子をしてるの？」と次女が腹を立てて言った。

“Mais pourquoi a-t-elle l'air si heureuse? s'énervait la cadette.

《Mais 「副詞」「動詞」「主語」「目的語」》, 「動詞句」「主語」

Mais メ conj. だけど
pourquoi フルクワ adv. どうして「副詞」
a ア 3 単現(avoir)v.t (心身の状態) 〜している「動詞」
elle エル pron 彼女は「主語」
l'air レール n.m 様子「目的語」
si heureuse? シ・ウルーズ adj. あれほど幸せそうな「形容詞句」
s'énervait セネルヴェ 3 単半(s'énervier)v.pr 苛立って言った「動詞句」
la cadette. ラ・カデット n.f 次女が「主語」

「訳が分からないわ！」と長女が言った。「ねえ、いい考えがあるわ。私たちで、彼女がもう宮殿に戻らないようにするのよ。」

---- Je n'y comprends rien ...! dit l'aînée. Écoute, j'ai une superbe idée. On va s'arranger pour qu'elle ne retourne plus au palais.

《「主語」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」

《「動詞」, 「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞節」》

Je ジュ pron 私は「主語」
n'y comprends rien ニ・コンプ・ロン・リヤン 1 単現・否定(comprendre+y)
v.t そのことが全くわからない「動詞句」「目的語」
dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った「動詞」
l'aînée. レネ n.f 長女が「主語」
Écoute, エクトゥ 命・2 単現(écouter)v.t ねえ、聞いてちょうだい「動詞」
j' ジュ pron 私は「主語」
ai エ 1 単現(avoir)v.t う「動詞」
une superbe idée. エンス・シュペ・ルブ・イデ n.f 素晴らしい考え「目的語」
On オン pron (単数扱い) 私たちは「主語」
va s'arranger ヴァ・サロンジェ 3 単現・近未来(aller+不定詞 s'arranger)
v.pr 準備をする、うまく立ち回る「動詞句」

pour qu' + 接続法 プール・ク ～するように 「副詞節」
elle エル pron 彼女が 「主語」
ne retourne plus ノ・ルトゥルヌ・プリュ 接・3 単現・否定(retourner)
v.i もう帰らない 「動詞句」
au palais. オ・パレ adv. 宮殿に 「副詞句」

ベルに裏切られたと思えば、ベートは激怒するでしょうね。

La Bête sera alors furieuse pensant être trahie par Belle.

「主語」「動詞」「副詞」「補語」「副詞句」
La Bête ラ・ベート n. ベートは 「主語」
sera スラ 3 単未(être)v.i ～になるだろう 「動詞」
alors アール adv. そうすると 「副詞」
furieuse フュリュース adj.f 怒った、激怒した 「補語」
pensant ポンソン 現在分詞(penser)adv. (条件) ～を考えれば 「副詞句」
être エートル 不定詞 v.i ～である 「動詞」
trahie トライ adj.f(trahir の過去分詞 trahi の女性形) 裏切られた 「補語」
par Belle. パール・ベル adv. ベルに 「副詞句」

「そうね。彼女に優しいふりをしましょう。ふっふっふっ」

---- C'est ça! On va faire semblant d'être gentille avec elle. Hé, hé, hé..."

《「応答」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「間投」》

C'est ça! セ・サ adv. そうね! 「応答」
On オン pron 私たちは(動詞は三人称単数) 「主語」
va faire ヴァ・フェール 3 単未・勧誘 v.t ～しましょう 「動詞句」
semblant d'être gentille ソンブラント・デール・ジョンティユ n.m 優しいふりを 「目的語」
avec elle. アヴェックエル adv. 彼女に 「副詞句」
Hé, hé, hé ヘ・ヘ・ヘ int. ふっふっふっ 「間投」

家族のもとでは、ベルが気が付かないうちに日々が過ぎてゆき、すぐに、1 週間の終わりがやってきました。

En famille, Belle ne voyait pas les jours passer. Bientôt, la fin de la semaine arriva.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」 | 「副詞」「主語」「動詞」
En famille, オン・ファミユ adv. 家族そろって、家族のもとで 「副詞句」
Belle ベル n. ベルは 「主語」
ne voyait pas ノ・ヴァイ・パ 3 単半・否定(voir)v.t 分からなかった 「動詞句」
les jours レ・ジュール pl.n.m 日々が 「目的語」

passer. パセ 不定詞 v.i 過ぎていく 「補語」
Bientôt, ビヤント adv. すぐに 「副詞」
la fin de la semaine ラ・ファン・ドゥ・ラ・スメヌ n.f 1 週間の終わりが 「主語」
arriva. アリヴァ 3 単過(arriver)v.i やってきた 「動詞」

そこで予定通り姉たちは、末っ子のベルに戻らないように頼みました。ベルはベートのことが心配でしたが、あと数日残ることにしました。

Alors comme prévu, les soeurs supplièrent la benjamine de ne pas les quitter. Bien qu'elle s'inquiétât de la Bête, Belle décida de rester encore quelques jours ...

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「補語」 | 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
Alors アー adv. それで 「副詞」
comme prévu, コム・プレヴュ adv. 予定通りに 「副詞句」
les soeurs レ・セル pl.n.f 姉たちは 「主語」
supplièrent シュプレール 3 複過(supplier de+不定詞)
v.t ~するように懇願した 「動詞」
la benjamine ラ・ベンジヤミヌ n.f 末っ子のベルに 「目的語」
de ne pas les quitter. トゥ・ヌ・パ・レ・キテ 不定詞・否定(quitte+ les)
v.t 自分たちから去っていかない 「補語」
Bien qu' ビヤンク conj. ~ではあるが 「副詞節」
elle エル pron ベルは 「主語」
s'inquiétât サンキエタ 接・3 単半(s'inquiéter)v.pr (de を) 心配していた 「動詞句」
de la Bête, トゥ・ラ・ベート adv. ベートを 「間接目的語」
Belle ベル n. ベルは 「主語」
décida de rester デシダ・デ・レステ 3 単過・決断(decider de+不定詞)
v.i 残ることにした 「動詞句」
encore quelques jours オンコール・ケルク・ジュール adv. あと数日 「副詞句」

しかしある晩彼女は、ベートが宮殿にたった一人で、悲しみのせいで死にかけている夢を見たのです。

Mais un soir, elle rêva de la Bête, seule au palais, prête à mourir de chagrin.

Mais 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「補語」

Mais メ conj. しかし
un soir, アン・スワール adv. ある晩 「副詞句」
elle エル pron 彼女は 「主語」
rêva レヴァ 3 単過(rêver)v.i (de の) 夢を見た 「動詞」
de la Bête, トゥ・ラ・ベート adv. ベートの 「間接目的語」

seule au palais, スル・オ・パレ n. 宮殿に一人で 「補語」
prête à mourir プレート・ア・ムリール adv. まさに死にかけている 「形容詞句」
de chagrin. トゥ・シャグラン adv. 悲しみのせいで 「副詞句」

「いや、ベートを裏切ることはいわ。宮殿に戻らなければならないわ。」と彼女は決心しました。

“Non! Je ne peux pas la trahir. Il faut que je retourne au palais.” décida-t-elle.
《「感嘆」 | 「主語」「動詞句」 | 「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」
Non! ノン adv. いや、だめだ 「感嘆」
Je ジュ pron 私は 「主語」
ne peux pas la trahir. ス・フ・ハ・ラ・t ライール 1 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞 trahir+la)
v.t ベートを裏切ることはいわ 「動詞句」
Il faut que イル・フォ・ク 3 単現(falloir)v.h ~しなければならない 「動詞句」
n. ~ということを 「主語」
je ジュ pron 私は 「主語」
retourne ルトゥルヌ 1 単現(retourner)v.i (à に) 戻る 「動詞」
au palais オ・パレ adv. 宮殿に 「間接目的語」
décida デシダ 3 単過(décider)v.t 決めた 「動詞」
elle. エル pron 彼女は 「主語」

次の日の朝、ベルは宮殿の自分の部屋に戻っていた。彼女はベッドから飛び起きて、宮殿の主を探しに駆け出した。

Le matin suivant, Belle retrouva sa chambre au palais. Elle sauta de son lit et courut à la recherche de son hôte.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 et 「動詞」「間接目的語」
Le matin ル・マタン n.m 朝 「副詞句」
suivant, シュイヴァン adj. 次の 「形容詞」
Belle ベル n. ベルは 「主語」
retrouva ルトルヴァ 3 単過(retrouver)v.t (場所に) 戻っていた 「動詞」
sa chambre サ・シヨンプル n.f 自分の部屋に 「目的語」
au palais. オ・パレ adj. 宮殿の 「形容詞句」
Elle エル pron 彼女は 「主語」
sauta サタ 3 単過(sauter)v.i 飛び起きた 「動詞」
de son lit トゥ・ソ・リ adv. ベッドから 「副詞句」
et エ conj. そして
courut クリュ 3 単過(courir)v.i (à に) 駆け出した 「動詞」

à la recherche ア・ラ・ルゼルシュ adv. 探しに 「間接目的語」
de son hôte. トゥ・ソン・オート adj. 宮殿の主の 「形容詞句」

どの階も、部屋も廊下も、いたるところを探しましたが無駄でした。大声で叫びましたが、返事はありませんでした。それで彼女は庭のほうへ歩いて行きました。

Chaque étage, chaque pièce, chaque couloir, elle eut beau chercher partout, l'appeler de toutes ses forces, mais pas de réponse. Alors elle s'avança vers le jardin.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」, 「副詞句」 mais 「目的語」
「副詞」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Chaque étage, シャッキ・エタージュ n.m どの階も 「副詞句」
chaque pièce, シャッキ・ピエス n.f どの部屋も 「副詞句」
chaque couloir, シャッキ・クルワール n.m どの廊下も 「副詞句」
elle エル pron 彼女は 「主語」
eut beau +不定詞 ユ・ボ 3 単過(avoir beau+不定詞)
v. ～しても無駄だった 「動詞句」
chercher シェルシュ 不定詞 v.t 探す 「動詞」
partout, パルトゥ adv. いたるところ 「副詞句」
l'appeler ラ・プレ 不定詞(l'+ appeler)adv. 叫んだ (けれども) 「副詞句」
de toutes ses forces, トゥ・トゥット・セ・フォルス adv. 思い切り、大声で 「副詞句」
mais メ conj. しかし
pas de réponse. パ・トゥ・レポンス n. 返事はなかった 「目的語」
il n'y a pas de réponse の省略形
Alors アロー adv. それで 「副詞」
elle エル pron 彼女は 「主語」
s'avança サヴオンサ 3 単過(s'avancer)v.pr 進んでいった 「動詞句」
vers le jardin. ヴェール・ル・ジャルダン adv. 庭のほうへ 「副詞句」

その芝生の上に、ベートが、まるでしおれた花のように、ピクリともしないで弱り果てて倒れていました。

Là, sur l'herbe, la Bête languissait sans bouger, comme une fleur flétrie.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Là, ラー adv. そこに 「副詞」
sur l'herbe, シュール・レルブ adv. 芝生の上に 「副詞句」
la Bête ラ・ベート n. ベートが 「主語」
languissait ロングイェ 3 単半(languir)v.i 弱り果てていた 「動詞」
sans +不定詞 ソン adv. ～しないで 「副詞句」

bouger, ブジェ 不定詞 v.i 身動きする 「動詞」
comme une fleur コム・ユヌ・フレール adv. 花のように 「副詞句」
flétrie. フトリー adj. しおれた 「形容詞」

「ベ... ベル」と愛する彼女を見て、ベートは声をだした。「君がいなくて、とても不幸で、とても悲しかった。」

“Be...Belle, prononça la Bête en voyant sa bien-aimée. Sans vous, je me sentais tellement malheureux, tellement triste.

《「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」 | 《「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」》

Be...Belle, ベ`..ベル n. ベ... ベル 「目的語」
prononça プロノサ 3 単過(prononcer)v.t ~と声を出した 「動詞」
la Bête ラ・ベート n. ベートは 「主語」
en voyant オン・ウ`わイオン adv. ~を見て 「副詞句」
sa bien-aimée. サ・ビ`ヤン・エメ n.f 愛する彼女を 「目的語」
Sans vous, ソン・ウ` adv. 君なしでは 「副詞句」
je ジュ pron 私は 「主語」
me sentais ム・ソnte 1 単半(se sentir)v.pr 自分を~だと感じた 「動詞句」
tellemen malheureux, テルモン・マルルー adj. とても不幸な 「補語」
tellement triste. テルモン・トリスト adj. とても悲しい 「補語」

それでも、最後にもう一度君に会えてうれしい。

Je suis quand même heureux de vous revoir une dernière fois.

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

Je ジュ pron 私は 「主語」
suis シュイ 1 単現(être)v.i ~である 「動詞」
quand même heureux コン・メム・ウルー adj. それでもうれしい 「補語」
quand même コン・メム adv. それでも、やはり
de +不定詞 トゥ adv. (原因) ~して 「副詞句」
vous ウ` pron 君に 「目的語」
revoir ルウ`わール 不定詞 v.t 再会する 「動詞」
une dernière fois ユヌ・テルニエル・フワ adv. 最後にもう一度 「副詞句」

ベルはベートを両腕で抱え上げて、力の限り抱きしめた。

Belle prit la Bête dans ses bras et la serra de toutes ses forces :

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「目的語」「動詞」「副詞句」

Belle ベル n. ベルは 「主語」

| | |
|---|-------|
| prit プリ 3 単過(prendre)v.t 抱え上げた | 「動詞」 |
| la Bête ラ・ベート n. ベートを | 「目的語」 |
| dans ses bras トン・セ・ブラ adv. 両腕で | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| la ラ pron ベートを | 「目的語」 |
| serra セラ 3 単過(serrer)v.t 抱きしめた | 「動詞」 |
| de toutes ses forces トゥ・トゥット・セ・フォルス adv. 力の限り | 「副詞句」 |

「おお、私があなたにしたひどい仕打ちを許してください。こんな風に別れたくありません。
どうぞ、いつまでも私のそばにいてください。」

“Oh, pardonnez-moi du mal que je vous ai fait! Je ne veux pas vous quitter ainsi! S’il vous plaît, restez auprès de moi pour toujours.”

| | |
|---|---------|
| 《「感嘆」「動詞」「目的語」「副詞句」 「主語」「動詞句」 「副詞句」「動詞」「副詞句」》 | |
| Oh, オ int. おお | 「感嘆」 |
| pardonnez パルトネ 命・2 複現(pardonner)v.t 許してください | 「動詞」 |
| moi ムわ pron 私を | 「目的語」 |
| du mal ジュ・マル adv. ひどい仕打ちに対して | 「副詞句」 |
| que ク pron ～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 私が | 「主語」 |
| vous ウ pron あなたに | 「間接目的語」 |
| ai fait! エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t した | 「動詞句」 |
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| ne veux pas +不定詞 ヌ・ウ・パ 1 単現・願望・否定(vouloir+不定詞) | |
| v. ～したくない | 「動詞句」 |
| vous ウ pron あなたと | 「目的語」 |
| quitter キ 不定詞 v.t 別れる | 「動詞」 |
| ainsi! ウシ adv. こんな風に | 「副詞」 |
| S’il vous plaît, シル・ウ・プレ adv. どうぞ | 「副詞句」 |
| restez レステ 命・2 複現(rester)v.i とどまってください | 「動詞」 |
| auprès de moi オプレ・トゥ・ムわ adv. 私のそばに | 「副詞句」 |
| pour toujours. プール・トゥジュール adv. いつまでも、永遠に | 「副詞句」 |

すると、その瞬間、不思議なことが起こりました。ベルの腕の中に、怪物の代わりに、素敵な青年が現れたのです。これがこの宮殿の王子でした。

Alors, à cet instant, il y eut une chose extraordinaire. Dans les bras de Belle, à la place du monstre, apparut un charmant jeune homme : c’était le prince du palais.

| | |
|--|-------|
| 「副詞句」「動詞句」「主語」 「副詞句」「動詞」「主語」 「主語」「動詞」「補語」 | |
| Alors, アー adv. すると | 「副詞」 |
| à cet instant, ア・セ・タンストン adv. その瞬間 | 「副詞句」 |
| il y eut イ・リ・イ 3 単過(avoir)v.h 起こった | 「動詞句」 |
| une chose extraordinaire. エヌ・ショーズ・エクストラオルデ・イネル n.f 不思議なことが | 「主語」 |
| Dans トン prep. ~の中に | 「副詞句」 |
| les bras de Belle, レ・ブラ・トウ・ベル pl.n.m ベルの腕 | 「目的語」 |
| à la place de ア・ラ・プラス・トウ adv. ~の代わりに | 「副詞句」 |
| du monstre, ジュ・モンストル n.m 怪物 | 「目的語」 |
| apparut ア・リュ 3 単過(apparaître)v.i 現われた | 「動詞」 |
| un charmant jeune homme : アン・シャルモン・ジュヌ・オム n.m 素敵な青年が | 「主語」 |
| c' ス pron. これが | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| le prince du palais. ル・フランス・ジュ・パレ n.m 宮殿の王子 | 「補語」 |

「ありがとう、ベル」と王子が微笑みながら礼を言った。「意地の悪い妖精が、私に獣になる呪いをかけたのです。獣の私を愛してくれる女性だけが、私を救うことができることになっていました。ベル！それがあなただったのです。」

“Merci Belle, remercia le prince en souriant. Une méchante fée m'avait jeté le sort de devenir la Bête. Seule la femme qui m'aimerait pourrait me sauver : Belle, c'était donc vous.”

《「呼びかけ」》「動詞」「主語」「副詞句」

《「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」

「呼びかけ」「主語」「動詞」「補語」》

| | |
|---|---------|
| Merci Belle, メルシ・ベル int. ありがとうベル | 「感謝」 |
| remercia ルメルシア 3 単過(remercier)v.t 礼を言った | 「動詞」 |
| le prince ル・フランス n.m 王子は | 「主語」 |
| en souriant. オン・スリオン 現在分詞 adv. 微笑みながら | 「副詞句」 |
| Une méchante fée エヌ・メシント・フェ n.f 意地の悪い妖精が | 「主語」 |
| m' ム pron 私に | 「間接目的語」 |
| avait jeté アヴァ・ジェテ 3 単半・完了形(jeter)v.t 投げかけた | 「動詞句」 |
| le sort ル・ソール n.m 呪いを | 「直接目的語」 |
| de devenir la Bête. トウ・トウガニール・ラ・ベ・ベ adj. 獣になる | 「形容詞句」 |
| Seule la femme スル・ラ・ファム n.f 女性だけが | 「主語」 |
| qui キ pron ~する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron 私を | 「目的語」 |
| aimerait エムレ 条・3 単現(aimer)v.t 愛する | 「動詞」 |

pourrait me sauver: プレ・ム・ソヴ ェ 条・3 単現・可能(pouvoir+不定詞)

v.t 私を救うことができる 「動詞句」

Belle, ベル n. ベル 「呼びかけ」

c' ス pron それが 「主語」

était エ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」

donc vous. ドン・ヴ pron あなた 「補語」

様々な試練の後でついに、王子は家臣たちと、そしてベルは家族と再会できました。早速、
盛大な結婚式が行われて、皆はいつまでも幸せに暮らしました。

Finalement, après toutes ces épreuves, le prince retrouva ses sujets et Belle sa famille.

Sans tarder, il y eut un magnifique mariage et tout le monde vécut heureux longtemps

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 et 「主語」 「目的語」

「副詞句」 「動詞句」 「主語」 et 「主語」 「動詞」 「補語」 「副詞」

Finale

ment, ファイナル adv. やつと、ついに 「副詞」

après アプレ prep 〜のあとで 「副詞句」

toutes ces épreuves, トゥット・セ・ゼ プル・ヴ pl.n.f 様々な試練 「目的語」

le prince ル・プランス n.m 王子は 「主語」

retrouva ルトゥルヴァ 3 単過(retrouver)v.t 再会した 「動詞」

ses sujets セ・シュジエ pl.n.m 家臣たちと 「目的語」

et エ conj. そして

Belle ベル n. ベルは 「主語」

sa famille. サ・ファミリー n.f 家族と 「目的語」

Sans tarder, ソン・タルデ adv. 早速 (遅れずに、ぐずぐずしないで) 「副詞句」

il y eut イ・リ・イ 3 単過(avoir)v.h 行われた 「動詞句」

un magnifique mariage アン・マニフィキ・マリァージュ n.m 盛大な結婚式が 「主語」

et エ conj. そして

tout le monde トゥ・ル・モンド pron 皆は 「主語」

vécut ヴェキュ 3 単過(vivre)v.i 暮らした 「動詞」

heureux ウル adj. 幸せな 「補語」

longtemps ロントソ adv. いつまでも 「副詞」

というよりはほとんど皆というのが正しいでしょう。それは、姉たちは意地悪をした罰として、石像に変えられてしまったからです。そして彼らは自分たちの罪を認めない限り、城の門で寝ずの番をすることになりました。

...Enfin presque tout le monde, car les soeurs furent transformées en statues de pierre pour punir leur méchanceté. Et tant qu'elles ne reconnaîtront pas leur faute, elles devront veiller à la porte du château.

「副詞句」,car 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

「副詞節」,「主語」「動詞句」「副詞句」

Enfin オンファン adv. いやむしろ～です、というよりは～ 「副詞」

presque tout le monde, プレスキ・トゥ・ル・モント pron ほとんど皆 「目的語」

car カル conj. ～なので 「副詞節」

les soeurs レ・セール pl.n.f それは、姉たちは 「主語」

furent transformées フェール・トロンスフォルメ 3 複過・受動(transformer)

v.t 変えられた 「動詞句」

en statues de pierre オン・スタチュ・ドゥ・ピエール adv. 石像に 「間接目的語」

pour +不定詞 プール adv. ～するために 「副詞句」

punir ビュニール 不定詞 v.t 罰する 「動詞」

leur méchanceté. レール・メションステ n.f 意地悪を 「目的語」

Et tant qu' エ・トン・ク adv. ～する限り 「副詞節」

elles エル pl.n.f 彼女らは 「主語」

ne reconnaîtront pas ノルコネトン・パ 3 複未・未来(reconnaître)

v.t 認めない 「動詞句」

leur faute, レール・フォート n.f 罪を 「目的語」

elles エル pron 彼女らは 「主語」

devront veiller トゥヴァロン・ヴェイエ 3 複未・必要(devoir+不定詞)

v.i 寝ずの番をしなければならないだろう 「動詞句」

à la porte du château. ア・ラ・ポルト・ジュ・シャトー adv. 城の門で 「副詞句」

[B-1] 星の王子様 I



六歳だった時、ぼくは「体験した話」という原始林についての本のなかで、素晴らしい挿絵を一度見たことがある。

Lorsque j'avais six ans j'ai vu, une fois, une magnifique image, dans un livre sur la Forêt Vierge qui s'appelait «Histoires Vécues».

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」, 「目的語」 「副詞句」

Lorsque ロルスク conj. ～の時に 「副詞節」

j' ジュ pron 私が 「主語」

avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t (年齢が～歳で) あった 「動詞」

six ans シザン n.m 6 歳 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai vu エ・ヴェ 1 単現・完了形(voir)v.t 見た 「動詞句」

une fois ムヌ・フわ adv. 一度 「副詞句」

une magnifique image ムヌ・マニフィキ・イマージュ n.f 素晴らしい挿絵を 「目的語」

dans un livre sur la Forêt Vierge トン・サン・リーヴァル・シュール・ラ・フォレ・ヴェリエルジュ

adv. 原始林についての本の中で 「副詞句」

qui キ pron ～する 「形容詞節 : livre」

s'appelait サプレ 3 単半(s'appeler)v.pr ～という名前だった 「動詞」

《Histoires Vécues》 イストワ・ル・ヴェキュ n. 「体験した話」 「目的語」

Histoires イストワ・ル n.f 物語 Vêcu ヴェキュ adj. 体験された、実際にあった

それは一匹の獣を飲み込もうとしているボア大蛇を表していた。これがその写し。

Ça représentait un serpent boa qui avalait un fauve. Voilà la copie du dessin.

「主語」 「動詞」 「目的語」 | 「副詞」 「主語」

Ça サ pron その挿絵は 「主語」

représentait ルプレヴァンテ 3 単半(représenter)v.t 表していた 「動詞」

un serpent boa アン・セルパン・ボア n.m ボア大蛇 「目的語」

qui キ pron ～する 「形容詞節」
avalait アバレ 3 単半(avalier)v.t 飲み込んでいた 「動詞」
un fauve アン・フォーヴ n.m 獣を 「目的語」
Voilà ヴォーラ adv.v.i ここに～がある 「副詞」
voilà は前置詞・副詞・動詞・指示詞の機能を兼ねる。voici の意味でも使われる。
la copie du dessin ラ・コピ・ドゥ・デッサン n.f 絵の写しが 「主語」

その本の中ではこう言われていた：

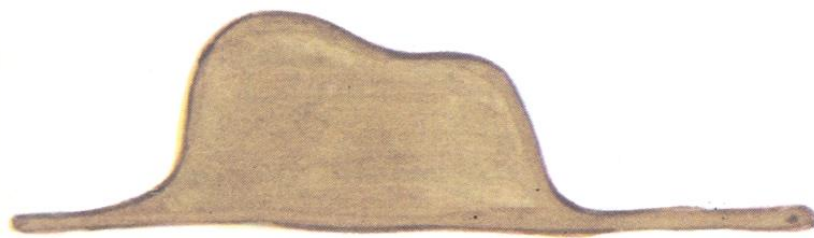
On disait dans le livre : 「主語」「動詞」「副詞句」：
On オン pron 人は 「主語」
disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 云っていた 「動詞」
三人称単数または複数の「主語」を用いて、能動文で受動の意味を表すことがある。
dans le livre トン・ル・リーヴル adv. その本の中では 「副詞句」

「ボア大蛇たちは、獲物を噛まずにまるごと飲み込む。」

《Les serpents boas avalent leur proie tout entière, sans la mâcher.》
《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
《Les serpents boas レ・セルパン・ボア pl.n.m ボア大蛇たちは 「主語」
avalent アヴァル 3 複現(avalier)v.t 飲み込む 「動詞」
leur proie tout entière レール・プロワ・トゥ・トンチェール n.f 獲物を丸ごと全部 「目的語」
sans la mâcher ソン・ラ・マシェ adv. それを噛まずに 「副詞句」
sans +不定詞 ～せずに、la mâcher 不定詞句 v.t(目的語+動詞) それを噛む

すると、もう動くことが出来なくなって、獣を消化する半年間、彼らは眠る」

Ensuite ils ne peuvent plus bouger et ils dorment pendant les six mois de leur digestion.
「副詞」「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞」「副詞句」
Ensuite オンシュイット adv. すると 「副詞」
ils イル pron 彼らは 「主語」
ne peuvent plus bouger ヌ・プーヴ・プリュ・ブジエ 3 複現・可能・否定(pouvoir+不定詞+plus)
v.i もう動けない 「動詞句」
et エ conj. そして
ils イル pron 彼らは 「主語」
dorment トルム 3 複現(dormir)v.i 眠る 「動詞」
pendant ポントン prep ～の間 「副詞句」
les six mois レ・シムワ pl.n.m 6 ヶ月 「目的語」
de leur digestion トゥ・レール・ディジエスチオン adj. 獣を消化するための「形容詞句」



そこでぼくは、ジャングルのさまざまな冒険について、大いに考えた。そして、今度は、色鉛筆で、初めてのデッサンを描き上げることに成功した。

J'ai alors beaucoup réfléchi sur les aventures de la jungle et, à mon tour, j'ai réussi, avec un crayon de couleur, à tracer mon premier dessin.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai alors beaucoup réfléchi エ・アロー・ボク・レフシ 1 単現・完了形(réfléchir+ alors beaucoup)

v.i そこで熟考した

「動詞句」

sur les aventures de la jungle シュール・レ・サウ・オンチュール・トゥ・ラ・ジ ャンゲル

adv. ジャングルでの様々な冒険について

「間接目的語」

et, エ conj. そして

à mon tour, ア・モン・トゥール adv. 今度は僕が

「副詞句」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

ai réussi エ・レウシ 1 単現・完了形(réussir à+不定詞)v.i ~することに成功した

「動詞句」

avec un crayon de couleur アウ・エッキ・アン・クレヨン・トゥ・クレール adv. 色鉛筆を使って

「副詞句」

à tracer ア・トラセ 不定詞 n. 描き上げる事に

「間接目的語」

mon premier dessin モン・プルミエ・デッサン n.m 僕の最初のデッサンを

「目的語」

ぼくの最初のデッサン、それはこのようなもの。

Mon dessin numéro 1. Il était comme ça :

「主語」 | 「主語」「動詞」「補語」:

Mon dessin numéro 1. モン・デッサン・ニュメロ・アン 僕の一番目のデッサン

「主語」

Il イル pron それは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

comme ça. コム・サ adj. このようなものだ

「補語」

僕はその傑作を、大人の人たちに見せて、僕のデッサンが彼らを怖がらせるかどうか、と僕は彼らに尋ねた。

J'ai montré mon chef-d'oeuvre aux grandes personnes et je leur ai demandé si mon dessin leur faisait peur.

「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」
et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

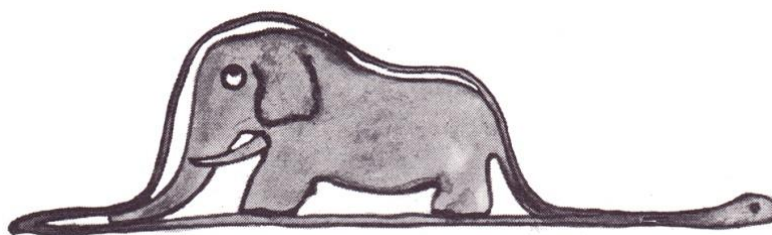
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai montré エ・モンテ 1 単現・完了形(montrer)v.t 見せた 「動詞句」
mon chef-d'oeuvre モン・シェ・ドゥ・ウヴル n.m 自分の傑作を 「直接目的語」
aux grandes personnes オ・グランド・ペルソヌ adv. 大人の人たちに 「間接目的語」
et エ conj. そして
je ジュ pron 僕は 「主語」
leur レール pron 彼らに 「間接目的語」
ai demandé エ・トウモンデ 1 単現・完了形(demander)v.t 聞いた 「動詞句」
si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
mon dessin モン・デッサン n.m 僕のデッサンが 「主語」
leur レール pron 彼らを 「目的語」
faisait フェ 3 単半・使役(faire)v.t させた 「動詞」
peur ペール adj. 怖い 「補語」

彼らは僕に答えた「帽子がどうして怖いのか」と。

Elles m'ont répondu : «Pourquoi un chapeau ferait-il peur?»

「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「副詞」「主語」「動詞」「補語」》

Elles エル pron.pl. 彼らは 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
ont répondu : オン・レポント 3 複現・完了形(répondre)v.i 答えた 「動詞句」
Pourquoi プルquoi adv. どうして 「副詞」
un chapeau アン・シャポー n.m 帽子が 「主語」
ferait フェ 条・3 単現(faire)v.i ～のように見えるだろうか 「動詞」
il イル pron (疑問文のため)
peur? ペール n.f 恐怖 「補語」



僕のデッサンは、帽子を表していたのではない。象を消化しているボア大蛇を表していた。

Mon dessin ne représentait pas un chapeau. Il représentait un serpent boa qui digérait un éléphant. 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Mon dessin モン・デッサン n.m 僕のデッサンは 「主語」

ne représentait pas ノ・ルプ・レザンテ・パ 3 単半・否定(représenter)

v.t 表していなかった 「動詞句」

un chapeau. アン・シャポ n.m 帽子を 「目的語」

Il イル pron それは 「主語」

représentait ルプ・レザンテ 3 単半(représenter)v.t 表していた 「動詞」

un serpent boa アン・セルパン・ボア n.m ボア大蛇を 「目的語」

qui キ pron ～する 「形容詞節」

digérait デイジエ 3 単半(digérer)v.t を消化している 「動詞」

un éléphant. ア・レフォン n.m 象を 「目的語」

そこで大人の人たちが理解できるように、僕は中に見えるボア大蛇を描いた。

J'ai alors dessiné l'intérieur du serpent boa, afin que les grandes personnes puissent comprendre. 「主語」「動詞句」「目的語」, 「副詞節」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai alors dessiné エ・アロー・デシネ 1 単現・完了形(dessiner+alors)

v.t そこで描いた 「動詞句」

l'intérieur du serpent boa, ランテリエール・ジュ・セルパン・ボア n.m ボア大蛇の内部を 「目的語」

afin que +接続法 アファン・ク conj. ～するために 「副詞節」

les grandes personnes レ・グロント・ヘルソヌ pl.n.f 大人たちが 「主語」

puissent comprendre. ビュイス・コンブ・ロントル 接・3 単現・可能(pouvoir+不定詞)

v.t 理解できる (だろう) 「動詞句」

彼らは、いつも説明を必要とする。僕の二番目のデッサンはこんなふうなものだった：

Elles ont toujours besoin d'explications. Mon dessin numéro 2 était comme ça :

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」:

Elles エル pl.pron 大人たちは 「主語」

ont オン 3 複現(avoir)v.t ～がある 「動詞」

toujours トゥジューール adv. いつも 「副詞」

besoin d'explications. ブースワン・デクスプリカシオン n.m 説明の必要を 「目的語」

avoir besoin de ... 「～が必要だ」

Mon dessin numéro 2 モン・デッサン・ニメ・トゥ n.m 僕の二番目のデッサンは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

comme ça : コム・サ adv. このような

「補語」

大人の人たちは、中に見えるボア大蛇だろうと、中が見えないボア大蛇だろうと、ボア大蛇の絵を脇へ放置しておいて、それよりもむしろ地理と歴史と算数と文法に興味を持つようにと僕に勧めた。

Les grandes personnes m'ont conseillé de laisser de côté les dessins de serpents boas ouverts ou fermés, et de m'intéresser plutôt à la géographie, à l'histoire, au calcul et à la grammaire.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 et 「補語」

Les grandes personnes レ・グランド・ペルソヌ pl.n.f 大人たちは

「主語」

m' ム pron 私に (私が)

「目的語」

ont conseillé オン・ CONSEI 3 複現・完了形(conseiller) v.t 勧めた

「動詞句」

de laisser トゥ・レセ 不定詞 v.t 置いておく (ように)

「補語」

de côté トゥ・コテ adv. 脇に

「副詞句」

les dessins de serpents boas レ・デッサン・トゥ・セルパン・ブわ

pl.n.m ボア大蛇のデッサンを

「目的語」

ouverts ou fermés ウヴァール・エ・フェルメ

adj. 中が見える物でも見えないものでも

「形容詞句 : dessins」

et エ conj. そして

de m'intéresser トゥ・マンテレス 不定詞(s'intéresser)v.t 興味を持つ (ように)

「補語」

(m'ont conseillé) de m'intéresser 興味を持つように私に勧めた

再帰動詞(s'intéresser)の不定法では再帰代名詞を動作主に変える

plutôt プリュト adv. それよりは

「副詞」

à la géographie, ア・ラ・ジエオルカフィー adv. 地理に

「間接目的語」

à l'histoire, ア・リストワール adv. 歴史に

「間接目的語」

au calcul オ・カルキュル adv. 算数に

「間接目的語」

et エ conj. そして

à la grammaire. ア・ラ・グラメール adv. 文法に

「間接目的語」

こうして、僕は六歳の時に、絵描きという素晴らしい職業を諦めた。

C'est ainsi que j'ai abandonné, à l'âge de six ans, une magnifique carrière de peintre.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

C'est ainsi que セ・タンシク adv. こうして

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai abandonné, エ・アボントネ 1 単現・完了形(abandonner)v.t あきらめた

「動詞句」

à l'âge de six ans, ア・ラージュ・トゥ・シザン adv. 6歳の時に

「副詞句」

une magnifique carrière ユヌ・マニフィキ・キャリエール n.f 素晴らしい職業を

「目的語」

de peintre. トゥ・パントル adj. 画家という

「形容詞句」

最初の絵と、二番目の絵の失敗によって、僕は落胆させられたのだった。

J'avais été découragé par l'insuccès de mon dessin numéro 1 et de mon dessin numéro 2.

「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

avais été découragé アヴェ・ゼ・テ・デ・クラジェ 1 単半・完了形・受動(décourager)

v.t 落胆させられた

「動詞句」

par l'insuccès パール・ランシュセ adv. 失敗によって

「副詞句」

de mon dessin numéro 1 et de mon dessin numéro 2.

トゥ・モン・デッサン・ニメロ・アン・エ・トゥ・モン・デッサン・ニメロ・トゥ

adj. 僕の最初のデッサンと二番目のデッサンの

「形容詞句」

大人の人たちというのは、たった一人では、決して何も分からない。いつもいつも、彼らに説明をするのは、子供たちにとっては、うんざりである...

Les grandes personnes ne comprennent jamais rien toutes seules, et c'est fatigant, pour les enfants, de toujours et toujours leur donner des explications.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「動詞」「補語」「副詞句」「主語」

Les grandes personnes レ・グランド・ペルソヌ pl.n.f 大人たちは

「主語」

ne comprennent jamais ネ・コンプレンス・ジャメ 3 複現・否定(comprendre)

v.t 決して何も分からない

「動詞句」

rien リエン pron (否定文で) 何も～ない

「目的語」

ne ... jamais rien→「絶対にない ne ... jamais」と「何もない ne ... rien」の組合わせ

toutes seules トゥット・スル adv. たった一人では

「副詞句」

et エ conj. そして

c' ス pron 形式主語 (真の主語は de toujours 以降)

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

fatigant ファティゴソ adj. うんざりする

「補語」

pour les enfants プール・レ・ゾンフォン adv. 子供たちにとって

「副詞句」

de +不定詞 トゥ n. ～することは

「主語」

toujours et toujours トゥジュール・エ・トゥジュール adv. いつもいつも

「副詞句」

leur レール pron 彼らに

「間接目的語」

donner ドネ 不定詞 v.t 与える

「動詞」

des explications テ・ゼ・クスパリカシヨ pl.n.f 説明を

「直接目的語」

そこで、僕は別の職業を選ばねばならず、飛行機の操縦の仕方を覚えた。

J'ai donc dû choisir un autre métier et j'ai appris à piloter des avions.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 私は

「主語」

ai donc dû choisir エ・ト・ン・ジュ・ショワジール 1 単現・完了形(devoir+不定詞+donc)

v.t そこで〜を選ばなければならなかった

「動詞句」

un autre métier ア・ノートル・メティエ n.m 別の職業を

「目的語」

et エ conj. それで

j' ジュ pron 私は

「主語」

ai appris à piloter エ・アプリ・ア・ピロテ 1 単現・完了形(apprendre à+不定詞)

v.t 操縦を覚えた

「動詞句」

des avions. デ・サヴァイオン pl.n.m 飛行機を

「目的語」

そして、ほぼ世界中を飛び回った。なるほど地理学は、大変役に立った。

J'ai volé un peu partout dans le monde. Et la géographie, c'est exact, m'a beaucoup servi.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | Et 「主語」, 「副詞節」, 「間接目的語」「動詞句」

J' ジュ pron 私は

「主語」

ai volé エ・ヴォレ 1 単現・完了形(voler)v.i 飛び回った

「動詞句」

un peu partout dans le monde. アン・プ・パルトゥ・ト・ン・ル・モン・ト adv.世界中あちこちを「副詞句」

un peu partout ほとんどいたるところを

Et エ conj. そして

la géographie, ラ・ジエオグラフィー n.f 地理学は

「主語」

c'est exact, セ・テグザ adv. なるほど (それは正しい)

「副詞節」

m' ム pron 僕にとって

「間接目的語」

a beaucoup servi ア・ボク・セルヴィ 3 単現・完了形(servir+ beaucoup)

v.i とても役に立った

「動詞句」

一目で、中国とアリゾナ州を見分ける事が出来た。夜間、方角が分からなくなったりしたら、地理学は大変役に立つ。

Je savais reconnaître, du premier coup d'oeil, la Chine de l'Arizona. C'est très utile, si l'on s'est égaré pendant la nuit.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」「副詞節」

Je ジュ pron 私は

「主語」

savais reconnaître, サヴィエ・ルコネートル 1 単半・可能(savoir+不定詞)

v.t 見分けることができた

「動詞句」

du premier coup d'oeil, ジュ・プルミエ・ク・トゥイユ adv. 一瞥で

「副詞句」

最初の一瞥によって

| | | |
|--|------------------------|-------|
| la Chine de l'Arizona. ラ・シヌ・ドゥ・アリゾナ n.f | アリゾナ州と中国を | 「目的語」 |
| C' ス pron | 地理学は | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| très utile, トレ・ジュティル adj. | 大変役に立つ | 「補語」 |
| si シ conj. (仮定) | もし～ならば、～する時は | 「副詞節」 |
| l'on オン pron | 人が (si の後ろでは l'on となる) | 「主語」 |
| s'est égaré セ・テガレ 3 単現・完了形(s'égarer)v.pr | 道に迷った | 「動詞句」 |
| pendant la nuit. ポント・ン・ラ・ニュイ adv. | 夜の間に | 「副詞句」 |

こうして、僕の人生の流れにおいて、僕は沢山の真面目な人たちと、沢山の近づきを得た。

J'ai ainsi eu, au cours de ma vie, des tas de contacts avec des tas de gens sérieux.

「主語」「動詞句」, 「副詞句」, 「目的語」「副詞句」

| | | |
|--|-------------|-------|
| J' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai ainsi eu エ・オン・シ・ユ 1 単現・完了形(avoir+ainsi)v.t | このように～を持った | 「動詞句」 |
| au cours de ma vie オ・クール・ドゥ・マ・ヴィー adv. | 僕の人生の流れにおいて | 「副詞句」 |
| des tas de contacts テ・タ・ドゥ・コンタクト pl.n.m | 沢山の交際を | 「目的語」 |
| des tas de テ・タ・ドゥ adj, | 沢山の～ | |
| contact コンタクト n.m | 交際 | |
| avec des tas de gens sérieux アヴ・エッキ・テ・タ・ドゥ・ジヨン・セリュ | | |
| adv. | 沢山の真面目な人々と | 「副詞句」 |
| gens ジヨン pl.n.m | 人々 | |
| sérieux セリュ adj.m | まじめな | |

大人の人たちの所でうんと暮らした、大人の人たちを、ごく近い所から見てきた。

J'ai beaucoup vécu chez les grandes personnes. Je les ai vues de très près.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

| | | |
|---|-----------------------------------|-------|
| J' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai beaucoup vécu エ・ボク・ヴ・エキユ 1 単現・完了形(vivre+ beaucoup) | | |
| v.i | うんと暮らした (副詞は助動詞と過去分詞(p.p)の間に置かれる) | 「動詞句」 |
| chez les grandes personnes シェ・レ・グロント・ペルソヌ adv. | 大人の人たちのところで | 「副詞句」 |
| Je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| les レ pron | おとなの人たちを | 「目的語」 |
| <u>目的語代名詞は助動詞の前に置かれる</u> (女性複数 → 過去分詞が性・数一致する) | | |
| ai vues エ・グユ 1 単現・完了形.f.pl(voir)v.t | 見てきた(過去分詞が性・数一致) | 「動詞句」 |
| de très près ドゥ・トレ・プレ adv. | とても近くから | 「副詞句」 |

それによって僕の見解が良くなることはあまりなかった。

Ça n'a pas trop amélioré mon opinion. 「主語」「動詞句」「目的語」
Ça サ pron そのような経験が 「主語」
n'a pas trop amélioré ナ・パ・トロ・アメリレ 3 単現・完了形・部分否定(améliorer)
v.t あまり改善することはなかった 「動詞句」
mon opinion モ・ピニオン n.m 僕の見解を 「目的語」

少し聡明そうだと思われるおとなの一人に出会うと、僕はいつも持ち歩いていた最初のデッサンで彼を試したものだ。

Quand j'en rencontrais une qui me paraissait un peu lucide, je faisais l'expérience sur elle de mon dessin numéro 1 que j'ai toujours conservé.
「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
Quand コン conj. ～するとき 「副詞節」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
en エン pron それの (grandes personnes)
rencontrais ロンコントレ 1 単半(rencontrer)v.t 出会った 「動詞」
une ユヌ n.f (大人の) 一人に 「目的語」
qui キ conj. ～する 「形容詞節: une」
me ム pron 私にとって 「間接目的語」
paraissait パレ 3 単半(paraître)v.i ～と思われる 「動詞」
un peu lucide アン・ブ・リュシト adj. 少し聡明な 「補語」
je ジュ pron 僕は 「主語」
faisais フェ 1 単半(faire)v.t おこなった 「動詞」
l'expérience sur elle レクスぺリヨンス・シュール・エル n.f その人に試験を 「目的語」
expérience エクスぺリヨンス n.f 実験、試験
de mon dessin numéro 1 トゥ・モン・デッサン・ニュメロ・アン
adv. (手段) 僕の最初のデッサンで 「副詞句: faisais」
que キ conj. ～する 「形容詞節」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai toujours conservé エ・トラジ ユール・コンセルヴエ 1 単現・完了形(conserver+ toujours)
v.t いつも持っていた 「動詞句」

本当に物わかりが良いかどうか、知りたかったのだ。

Je voulais savoir si elle était vraiment compréhensive. 「主語」「動詞句」「目的語」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
voulais savoir ヴレ・サヴァル 1 単半・願望(vouloir + 不定詞)v.t 知りたかった 「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということをする 「目的語」
elle エル pron その大人が 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i ～である (過去における現在) 「動詞」
vraiment compréhensive ウレモン・コンプレアソワ adj.f 本当に理解力がある 「補語」

ところが大人はいつもこう答えた。「それは帽子だろ」。

Mais toujours elle me répondait : «C'est un chapeau.»

Mais 「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」：《「主語」「動詞」「補語」》

Mais メ conj. しかし
toujours トウジュール adv. いつも 「副詞」
elle エル pron その大人は 「主語」
me ム pron 私に 「間接目的語」
répondait レボンテ 3 単半(répondre) v.t 答えた 「動詞」
C' ス pron それは 「主語」
est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
un chapeau アン・シャポー n.m 帽子 「補語」

それで僕は、ボア大蛇についても原始林についても星についても話さず、その人に話を合わせ、ブリッジやゴルフや政治やネクタイについて話すのだった。

Alors je ne lui parlais ni de serpents boas, ni de forêts vierges, ni d'étoiles. Je me mettais à sa portée. Je lui parlais de brige, de golf, de politique et de cravates.

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」

Alors アロー adv. (接続詞的) それで 「副詞」
je ジュ pron 僕は 「主語」
ne lui parlais ヌ・リュイ・パルレ 3 単半・否定(parler)
v.t ～を彼に話さなかった 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」
ni de serpents boas, ni de forêts vierges, ni d'étoiles
ニ・ト・ウ・セルパン・ボア・ニ・ト・ウ・フォレ・ウ・イエリジュ・ニ・デ・トリワール
n. ボア大蛇のことや原始林のことや星のことも～ない 「直接目的語」
de は否定冠詞 parler+無冠詞名詞 「～の話をする、論じる」この parler は他動詞
Je ジュ pron 僕は 「主語」
me mettais ム・メテ 1 単半(se mettre)v.pr (ある状況に) 身を置いた 「動詞句」
à sa portée ア・サ・ポルテ adv. その人の理解の及ぶ範囲 (射程距離) に 「副詞句」
(話を合わせた) porté が la grande personne に性・数一致して portée になった
Je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
parlais パル 3 単半 (parler)v.i (de について) 話した 「動詞」
de brige, de golf, de politique et de cravates
ドゥ・ブリッジ・ドゥ・ゴルフ・ドゥ・ポリティク・エ・ドゥ・クラヴァット
adv. ブリッジやゴルフや政治やネクタイについて 「間接目的語」
de は前置詞で、「～について」を表す「副詞句」・「間接目的語」を作る

すると、その大人は、かくも分別のある男だと知って、大変喜ぶのだった。

Et la grande personne était bien contente de connaître un homme aussi raisonnable.
Et 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」
Et エ conj. すると
la grande personne ラ・グロント・ペルソヌ n.f その大人は 「主語」
était エ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
bien contente ビヤン・コントント adj.f とても満足した 「補語」
de +不定詞 ドゥ adv. (原因) ～して 「副詞句」
connaître コネートル 不定詞 v.t 知る 「動詞」
un homme ア・ノム n.m 男が 「目的語」
aussi raisonnable オシ・レゾナブル adj. そんなに分別のある 「補語」

[B-2] 星の王子様 II

こうして、僕は6年前、サハラ砂漠での故障まで、本心で話せる人もなく、一人で暮らしていた。僕のエンジンの中で何かが壊れたのだった。

J'ai ainsi vécu seul, sans personne avec qui parler véritablement, jusqu'à une panne dans le désert du Sahara, il y a six ans. Quelque chose s'était cassé dans mon moteur.

「主語」「動詞句」「補語」, 「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai ainsi vécu エ・アンシ・ヴ ェキュ 1 単現・完了形(vivre)v.i それで暮らしていた 「動詞句」

seul スル adj. 一人の (状態で) 「補語」

sans ソン prep 〜のない 「副詞句」

personne ペルソヌ n.f 人 「目的語」

avec qui アヴ ェッキ adj. その人と 「形容詞節」

parler véritablement パル・ヴァ リタブルモン v.i 本心で話す 「動詞句」

→ 本心で話す相手もなく

jusqu'à ジュスカ prep 〜まで(jusque) 「副詞句」

une panne ユンス・パンヌ n.f 故障 「目的語」

dans le désert du Sahara トン・ル・デゼール・ジュ・サハラ adv. サハラ砂漠での 「副詞句」

il y a six ans イリ・ア・シ・ザン adv. 6 年前 「副詞句」

→ 6 年前、サハラ砂漠での故障まで

Quelque chose ケルク・ショーズ n.f 何かが 「主語」

s'était cassé セ・タセ 3 単半・完了形(se casser)v.pr 壊れた 「動詞句」

再帰動詞の完了形では、再帰代名詞が助動詞(être)の前に置かれる

dans mon moteur トン・モン・モテル adv. 僕のエンジンの中で 「副詞句」

機関士も乗客もいなかったもので、僕は難しい修理を一人で成し遂げようと準備した。

Et comme je n'avais avec moi ni mécanicien, ni passagers, je me préparai à essayer de réussir, tout seul, une réparation difficile.

Et 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Et エ conj. そして

comme コム conj. 〜なので 「副詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais ナヴ ェ 1 単半・否定(avoir)v.t なかった 「動詞句」

avec moi アヴ ェキムわ adv. 僕と一緒に 「副詞句」

ni mécanicien, ni passagers ニ・メカニシャン・ニ・パサジエ

n. 整備士も乗客も〜ない 「目的語」

→僕と一緒に整備士も乗客もいなかったので

me préparerai à essayer de réussir ム・プ レパレ・ア・エッセ・トゥ・レイシール 1 単過・準備(se préparer)

v.t うまく成し遂げようと準備した 「動詞句」

essayer de+不定詞 エッセ・トゥ ～しようと試みる réussir レシール v.i 成功する

tout seul トゥ・スル adv. 一人で 「副詞句」

une réparation difficile エヌ・レパ ラシオン・ディフィシル n.f 難しい修理を 「目的語」

それはぼくにとっては生か死かの問題であった。一週間分の飲み水が、やっとあった。

C'était pour moi une question de vie ou de mort. J'avais à peine de l'eau à boire pour huit jours. 「主語」「動詞」「副詞句」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

C' ス pron これは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

pour moi プール・ムワ adv. 自分にとって 「副詞句」

une question de vie ou de mort エヌ・クエスチョン・トゥ・ヴィー・ウ・トゥ・モール

n.f 生きるか死ぬかの問題 「補語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais アヴィエ 1 単半(avoir)v.t 持っていた 「動詞」

à peine de l'eau à boire pour huit jours ア・ペーヌ・トゥ・ロ・ア・ブ わ・ル・プール・ユイト・ジュール

n.f せいぜい一週間分の飲み水しか～ない 「目的語」

à peine de ア・ペーヌ・トゥ adj. せいぜい～の à boire ア・ブ わ・ル adj. 飲むための

pour huit jours プール・ユイト・ジュール adv. 一週間の間 (数え始めの日から8日で一週間)

だから、第一日目の晩、僕は人の住んでいるあらゆる地域から千マイルも離れた砂の上で眠った。

Le premier soir je me suis donc endormi sur le sable à mille milles de toute terre habitée. 「主語」「動詞」「補語」

Le premier soir ル・プレミエ・スワ・ル n.m 第一日目の晩 「副詞句」

me suis donc endormi ム・シュイ・ドン・オントルミ 1 単現・完了形(s'endormir+donc)

v.pr だから、僕は眠った 「動詞句」

sur le sable シュール・ル・サブル adv. 砂の上で 「副詞句」

à mille milles de toute terre habitée ア・ミル・ミル・トゥ・トゥット・テール・アビテ

adv. 人が住む全ての土地から千マイル離れた 「副詞句」

à mille milles ア・ミル・ミル adv. 千マイル離れた

de toute terre トゥ・トゥット・テール adv. 全ての土地から

habitée アビテ adj.f 人が住んでいる (terre に性・数一致)

大海をさまよう救命ボートに乗った人よりも、はるかに孤立無援な状態だった。

J'étais bien plus isolé qu'un naufragé sur un radeau au milieu de l'océan.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エ 1 単半(être)v.i 〜だった

「動詞」

bien plus isolé ビヤン・プリュ・イツレ adj. もっと孤立した

「補語」

qu'un naufragé カン・ノフラジエ adv. 遭難者よりも

「副詞句」

sur un radeau シュール・アン・ラト adv. 救命ボート（いかだ）の上にいる

「副詞句」

au milieu de l'océan オ・ミリュ・ドゥ・オセアン adv. 大海の真ん中の

「副詞句」

milieu ミリュ n.m 真ん中 océan オセアン n.m 大海

だから、夜明けに、おかしい可愛らしい声が僕を目覚めさせた時の僕の驚きを、君達は想像できるよね。

Alors vous imaginez ma surprise, au lever du jour, quand une drôle de petite voix m'a réveillé.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞句」「副詞節」

Alors アロー adv. (接続詞的) だから

「副詞」

vous ヴ pron 君たちは

「主語」

imaginez イマジネ 2 複現(imaginer)v.t 想像する (だろう)

「動詞」

ma surprise マ・シュルプ・リーズ n.f 僕の驚きを

「目的語」

au lever du jour オ・ルヴ・エ・ジユ・ジュール adv. 夜明けに

「副詞句」

quand コン conj. 〜するとき (〜したならば)

「副詞節」

une drôle de petite voix エヌ・ド・ロルト・ウ・プ・ティット・ウ・わ

n.f おかしい可愛らしい声が

「主語」

un(e) drôle de アン(エヌ)・ド・ロルト・ウ adj. 奇妙な〜、おかしい〜

petit(e) プ・ティ(ット) adj. 可愛い、いとしい、小さい

m' ム pron 僕を

「目的語」

a réveillé ア・レヴ・エイエ 3 単現・完了形(réveiller)v.t 起こした

「動詞句」

その声はこう言っていた... :

Elle disait : ...

「主語」「動詞」:

Elle エル pron その声は(voix)

「主語」

disait ティエイ 3 単半(dire)v.t 言った

「動詞」

「どうか... 僕におとなしい羊の絵を描いて！」

《S'il vous plaît ... dessine-moi un mouton!

《「副詞節」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

S' シ conj. もし～ならば

「副詞節」

il イル pron それが（非人称主語）

「主語」

vous ヴェ pron あなたに

「間接目的語」

plaît プレ 3 単現(plaire)v.i 気に入る

「動詞」

→ もしあなたの気に入れば、済みませんが、どうか

dessine デシ 命・3 単現(dessiner)v.t 描いてください

「動詞」

moi ムワ adv. 私に

「間接目的語」

un mouton アン・ムトン n.m（去勢した）おとなしい羊を

「直接目的語」

「え？」

--- Hein!

《「聞き返し」》

---Hein! アン int. ええ？

《「聞き返し」》

「僕に羊を描いて...」

--- Dessine-moi un mouton...》

《「応答」》

Dessine-moi un mouton...

《「応答」》

僕は、さながら雷に打たれてもしたみたいに、飛び起きた。

J'ai sauté sur mes pieds comme si j'avais été frappé par la foudre.

「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai sauté エ・サテ 1 単現・完了形(sauter)v.i 飛びあがった

「動詞句」

sur mes pieds シュール・メ・ピエ adv. 起きて、立って

「副詞句」

→ 飛び起きた

comme si コム・シ conj. まるで～かのように

「副詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

avais été frappé アヴェ・セ・テ・フラベ 1 単半・完了形・受動(frapper)

v.t 打たれた

「動詞句」

par la foudre パール・ラ・フトゥール adv. 雷に

「副詞句」

目を良くこすった。辺りをよく見た。

J'ai bien frotté mes yeux. J'ai bien regardé.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai bien frotté エ・ビヤン・フロテ 1 単現・完了形(frotter)v.t よくこすった 「動詞句」
mes yeux メ・ジュー pl.n.m 両目を 「目的語」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai bien regardé エ・ビヤン・ルギヤルテ 1 単現・完了形(regarder)v.t よく見まわした 「動詞句」

すると全く不思議な男の子が、真剣に僕を見つめているのが見えた。

Et j'ai vu un petit bonhomme tout à fait extraordinaire qui me considérait gravement.

Et 「主語」「動詞句」「目的語」

Et エ conj. そして
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai vu エ・ヴェ 1 単現・完了形(voir)v.t 見えた 「動詞句」
un petit bonhomme アン・プティ・ボンム n.m 男の子が 「目的語」
tout à fait extraordinaire トゥ・タ・フェ・エクストラオルディネール adj. 全く不思議な 「形容詞句」
qui キ conj. それは～する 「形容詞節」
me ム pron 私を 「目的語」
considérait コンシテレ 3 単半(considérer)v.t 見つめていた 「動詞」
gravement グラヴァモン adv. 真剣に 「副詞」

後になって、僕が描いた一番良い肖像画がこれだ。

Voilà le meilleur portrait que, plus tard, j'ai réussi à faire de lui. 「副詞句」「主語」

Voilà ヴォー adv. (副詞・動詞の機能をかねる) ここに～がある 「副詞句」

le meilleur portrait ル・メイェール・ポルトレ n.m 最良の肖像画 「主語」

que ク conj. それは～する 「形容詞節」

plus tard プリュ・タル adv. 後になって 「副詞句」

ai réussi à faire エ・レシ・ア・フェール 1 単現・完了形(réussir à+不定詞)

v.t 上手く描くことができた 「動詞句」

de lui トゥ・リュイ adv. 彼を 「間接目的語」

しかし、もちろん、僕の絵は実物よりもはるかに魅力に欠けている。

Mais mon dessin, bien sûr, est beaucoup moins ravissant que le modèle.

Mais 「主語」「副詞句」「動詞」「補語」

Mais メ conj. しかし

mon dessin モン・デッサン n.m 僕の絵は 「主語」

bien sûr ビヤン・シュール adv. もちろん 「副詞句」

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

beaucoup moins ravissant ボク・ムワソン・ラヴィッサン adj. はるかに魅力に欠ける 「補語」

que le modèle ク・ル・モデル adv. 実物よりも 「副詞句」

それは僕が悪いのではない。

Ce n'est pas ma faute. 「主語」「動詞」「補語」

Ce ス pron それは 「主語」

n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i 〜ではない 「動詞句」

ma faute マ・フォート n.f 僕の責任 「補語」

六歳の時、大人たちによって絵描きのキャリアをくじかれてしまったので、僕は中に見えるボア大蛇と中が見えないボア大蛇を描く以外には、絵の描き方を何も学んでいなかった。

J'avais été découragé dans ma carrière de peintre par les grandes personnes, à l'âge de six ans, et je n'avais rien appris à dessiner, sauf les boas fermés et les boas ouverts.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 私は 「主語」

avais été découragé アヴ・エ・ゼ・テ・テ・クラジ・エ 1 単半・完了形・受動(décourager)

v.t (意気込みを) くじかれた 「動詞句」

dans ma carrière de peintre トン・マ・キャリエール・トゥ・パントル

adv. 僕の絵描きという職業に対して 「間接目的語」

par les grandes personnes パール・レ・グロント・ウ・ペルソヌ adv. 大人の人たちによって 「副詞句」

à l'âge de six ans ア・ラージュ・トゥ・シ・サン adv. 6 歳の年に 「副詞句」

et エ conj. それで

je ジュ pron 私は 「主語」

n'avais rien appris à dessiner ナヴ・エ・リヤ・ナプリ・ア・デシネ 1 単半・完了形(apprendre)

v.t 絵の描き方を何も習わなかった 「動詞句」

sauf les boas fermés et les boas ouverts ソフ・レ・ボア・フェルメ・エ・レ・ボア・ウヴェール

adv. 中が見えないボア大蛇と中に見えるボア大蛇は別として 「副詞句」

そこで僕は、驚きですっかり丸くなった目で、その出現者を見つめた。

Je regardai donc cette apparition avec des yeux tout ronds d'étonnement.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
regardai ルガールデ 1 単過(regarder)v.t 見つめた 「動詞」
donc トン adv. それ故、それで 「副詞」
cette apparition セット・アパリシオン n.f この出現者を 「目的語」
avec des yeux アヴェ・エッキ・デ・ジュ adv. 両目で 「副詞句」
tout ronds d'étonnement トウ・ロン・デ・トンヌモン
adj. 驚きですっかり丸くなった 「形容詞句：yeux」

僕がその時、人の住んでいる地域から千マイルも離れたところにいたということを忘れないで欲しい。

N'oubliez pas que je me trouvais à mille milles de toute région habitée.

「動詞句」「目的語」

N'oubliez pas ヌブレ・リエ・パ 接・2 複現・否定・願望(oublier)
v.t 忘れないで欲しい 「動詞句」
que ク conj. ～ということ 「目的語」
je ジュ pron 僕は 「主語」
me trouvais ム・トゥルヴエ 1 単半(se trouver)v.pr (場所に) いた 「動詞句」
à mille milles de toute région habitée ア・ミル・ミル・トゥ・トゥ・レジョン・アビテ
adv. 僕が人が住むすべての土地から千マイル離れた所に 「副詞句」

さて、その男の子は、道に迷っているようには見えないし、疲れ切っているようにも、死ぬほどお腹がすいているようにも、死ぬほど喉が渴いているようにも、死ぬほど怖がっているようにも僕には見えない。

Or mon petit bonhomme ne me semblait ni égare, ni mort de fatigue, ni mort de faim, ni mort de soif, ni mort de peur. Or 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「補語」

Or オール conj. さて
mon petit bonhomme モン・プティ・ボンヌム n.m その少年は 「主語」
ne ... semblait ス...ツブレ 3 単半(sembler)
v.i (à qn 人には) ～のようには見えなかった 「動詞句」
me ム pron 私には 「間接目的語」
ni égare, ni mort de fatigue ニ・エガレ・ニ・モール・トゥ・ファティグ
adj. 道に迷った風にも、疲れて死にそうな風にも～ない 「補語」
ni mort de faim, ni mort de soif, ni mort de peur

ニ・モール・トゥ・ファム・ニ・モール・トゥ・スワフ・ニ・モール・トゥ・ペール adj. 死ぬほど空腹な風にも、死ぬほど喉が渇いている風にも、死ぬほど怖がっている風にも 「補語」
ne me semblait 動詞の否定は ne、補語や目的語の連続否定は ni を使用する。

人の住んでいる地域から千マイルも離れている砂漠の真ん中で、途方に暮れている子供、と
いった様子が少しもなかった。

Il n'avait en rien l'apparence d'un enfant perdu au milieu du désert, à mille milles de toute région habitée. 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

n'avait ナヴェ 3 単半・否定(avoir)v.t なかった 「動詞句」

en rien オン・リヤン adv. 少しも～ない 「副詞句」

l'apparence ラパ・ロンス n.f 様子が 「目的語」

d'un enfant perdu ダ・ノンフォン・ヘルデュー

adj. 途方に暮れた少年の 「形容詞句：apparence」

au milieu du désert, à mille milles de toute région habitée

オ・ミリュ・ジュ・デゼール・ア・ミル・ミル・トゥ・トゥット・レジヨン・アビテ

adv. 人の住む土地から千マイル離れた砂漠の真ん中で 「副詞句：perdu」

やっと口がきけるようになると、僕は彼に言った：

Quand je réussis enfin à parler, je lui dis: 「副詞節」, 「主語」「間接目的語」「動詞」:

Quand コン conj. ～する時、～して 「副詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

réussis ... à parler レウシ...ア・パール 1 単過(reussir à+不定詞)

v.i 喋れるようになった 「動詞句」

enfin オン・ファソ adv. やっと 「副詞」

je ジュ pron 僕は 「主語」

lui ヌイ pron 彼に 「間接目的語」

dis ディ 1 単過(dire)v.t 言った 「動詞」

「だけど... こんなところで、何してるの」

《Mais ... qu'est-ce que tu fais là?》 《Mais 「目的語」「主語」「動詞」「副詞」》

Mais メ conj. だけど

qu'est-ce que クス・ク n. 何を 「目的語」

fais フェ 2 単現(faire)v.t している 「動詞」

là ラ adv. ここで 「副詞」

là は場所を表す副詞で、「ここ、そこ、ここで、そこで」の意味

すると彼はとても深刻な事のように、実に物静かに繰り返した。

Et il me répéta alors, tout doucement, comme une chose très sérieuse:

Et 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」, 「副詞句」

Et エ conj. すると

il イル pron 彼は 「主語」

me ム pron 私に 「間接目的語」

répéta レパタ 3 単過(répéter)v.t 繰り返した 「動詞」

alors アール adv. すると 「副詞」

tout doucement トゥ・ドゥーサモン adv. とても静かに 「副詞句」

comme une chose très sérieuse コム・ユヌ・ショーズ・トレ・セリューズ

adv. とても深刻な事のように 「副詞句」

「どうか... 僕におとなしい羊の絵を描いて...」

《S'il vous plaît... dessine-moi un mouton ...》

《「嘆願」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

S'il vous plaît シル・ヴ・プレ adv. お願いですから 「嘆願」

dessine デシヌ 命・2 単現(dessiner)v.t 描いてください 「動詞」

moi ムワ pron 私に 「間接目的語」

un mouton アン・ムトン n.m 羊を 「直接目的語」

神秘というものがあまりにも感銘深い時には、人はあえて従わない訳にはいかない。

Quand le mystère est trop impressionnant, on n'ose pas désobéir.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」

Quand コン conj. ～の時には 「副詞節」

le mystère ル・ミステール n.m 神秘が 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

trop impressionnant トロ・アンプレシヨナル adj. あまりにも感動的な 「補語」

on オン pron 人は 「主語」

n'ose pas désobéir ノズ・パ・デゾベール 3 単現・否定(oser + 不定詞)

v.t あえて従わない訳にはいかない、自然と従ってしまうものだ 「動詞句」

人が住むすべての地域から、千マイルも離れていて、その上、死の危険にさらされている時、羊の絵を描くなどということが、どんなに馬鹿げているように見えようと、僕はポケットから一枚の紙と万年筆を取り出した。

Aussi absurde que cela me semblât à mille milles de tous les endroits habités et en danger de mort, je sortis de ma poche une feuille de papier et un stylographe.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Aussi 形容詞 que + 接続法 どんなに〜であっても 「副詞節」

Aussi 副 adv. どれほど 「副詞」

absurde アブシュルトゥ adj. 馬鹿げた 「補語」

que ク conj. 〜ということ 「形容詞節」

cela スラ pron. これが (羊の絵を描く事) 「主語」

me ム pron. 私に 「間接目的語」

semblât ヲンブラ 接・3 単半(sembler)v.i. 見えても 「動詞」

à mille milles de tous les endroits habités ア・ミル・ミル・トウ・トゥ・レ・オント・ロワ・アビテ

adv. 人が住む地域から千マイルも離れて 「副詞句」

et en danger de mort エ・オン・ドンジエ・トゥ・モール

adv. そして死の危険にさらされて 「副詞句」

je ジュ pron. 僕は 「主語」

sortis ソルティ 1 単過(sortir)v.t. 取り出した 「動詞」

de ma poche トゥ・マ・ポッシュ adv. ポケットから 「副詞句」

une feuille de papier et un stylographe ユンヌ・フイエ・トゥ・パ・ピエ・エ・アン・スティログラフ

pl.n. 一枚の紙と万年筆を 「目的語」

けれどもその時、地理と歴史と算数と文法をとりわけ勉強したことを思い出し、その坊やに (少し不機嫌に) 絵は描けない、と言った。彼はこう答えた。

Mais je me rappelai alors que j'avais surtout étudié la géographie, l'histoire, le calcul et la grammaire et je dis au petit bonhomme (avec un peu de mauvaise humeur) que je ne savais pas dessiner. Il me répondit:

Mais 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「目的語」

et 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 (「副詞句」) 「直接目的語」

「主語」 「動詞」 「間接目的語」

Mais メ conj. しかし

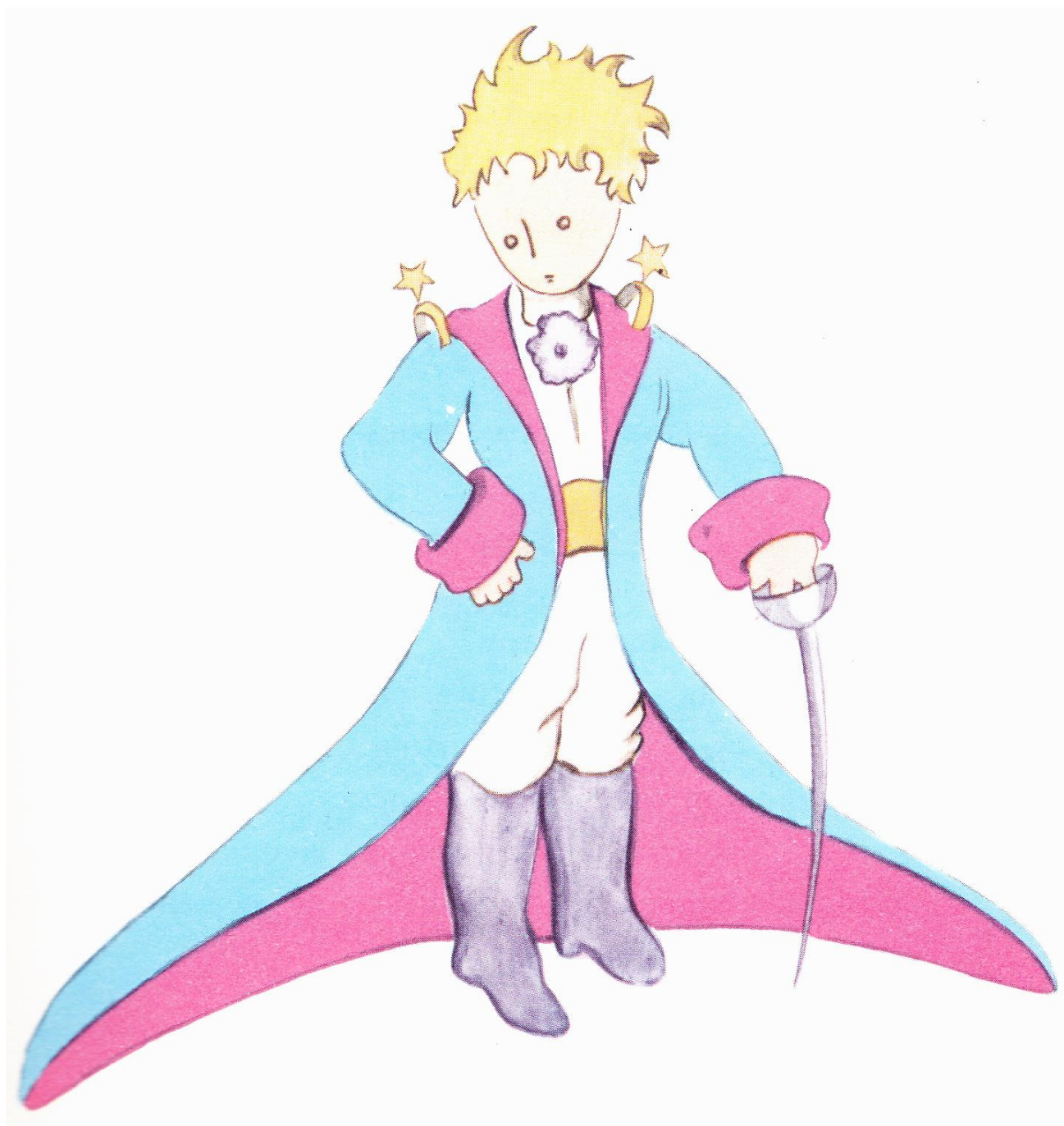
me rappelai ム・ラプレ 1 単過(se rappeler)v.pr. 思いだした 「動詞句」

alors アール adv. その時 「副詞」

que ク conj. 〜ということ 「目的語」

avais surtout étudié アヴィエ・シュルトゥ・エテューティエ 1 単半・完了形(étudier+ surtout)

| | | |
|--|---|---------|
| v.t | とりわけ勉強した | 「動詞句」 |
| la géographie, l'histoire, le calcul et la grammaire | | |
| | ラ・ジ [゛] ェオグラフィー・リストワール・ル・カルキュル・エ・ラ・グラメール | |
| pl.n. | 地理と歴史と算数と文法を | 「目的語」 |
| et | エ conj. そして | |
| je | ジ [゛] ェ pron 僕は | 「主語」 |
| dis | ディ 1 単過(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| au petit bonhomme | オ・プ [゛] ティ・ボ [゛] ノム adv. その坊やに | 「間接目的語」 |
| (avec un peu de mauvaise humeur) | アヴ [゛] ェッキ・アン・フ [゛] ・ト [゛] ウ・モヴ [゛] ェス [゛] ・イムール | |
| adv. | 少し不機嫌に | （「副詞句」） |
| que | ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| je | ジ [゛] ェ pron 僕は | 「主語」 |
| ne savais pas dessiner | ヌ・サヴ [゛] ェ・パ [゛] ・デシネ 1 単半・可能・否定 (savoir+不定詞) | |
| v.t | 描くことができない | 「動詞句」 |
| Il | イル pron 彼は | 「主語」 |
| me | ム pron 私に | 「間接目的語」 |
| répondit | レポ [゛] ンディ 3 単過(répondre)v.i 答えた | 「動詞」 |



「なんでもないよ。羊を描いて。」

《Ca ne fait rien. Dessine-moi un mouton.》

《「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

Ca サ pron それは 「主語」
ne fait ネ・フェ 3 単現・否定(faire)v.t (結果を) 影響を及ぼさない 「動詞句」
rien リャン pron 何も 「目的語」
Dessine デ・シヌ 命・2 単現(dessiner)v.t 描いて 「動詞」
moi ムわ pron 僕に 「間接目的語」
un mouton アン・ムトン n.m 羊 (の絵を) 「直接目的語」

僕は羊の絵を描いたことが一度も無かったので、僕が描くことのできるたった二つの絵のうちの一つを描いた。

Comme je n'avais jamais dessiné un mouton je refis, pour lui, l'un des deux seul dessins dont j'étais capable.

「副詞節」「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Comme コム conj. ～なので 「副詞節」
je ジュ pron 僕は 「主語」
n'avais jamais dessiné ナヴ・ェ・ジャム・デ・シネ 1 単半・完了形・否定(dessiner)
v.t これまで一度も描いたことがなかった 「動詞句」
un mouton アン・ムトン n.m 羊 (の絵を) 「目的語」
je ジュ pron 僕は 「主語」
refis ルフィ 1 単過(refaire)v.t 再び描いた 「動詞」
pour lui プール・リュイ adv. 彼のために 「副詞句」
l'un des deux seul dessins ラン・デ・トゥ・スル・デ・サン
n.m たった二つの中の一つを 「目的語」
dont トン pron ～の中の 「形容詞節：dessins」
j' ジュ・ジュ pron 僕が 「主語」
étais エテ 1 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
capable カパブル adj. 描くことができる 「補語」

中の見えないボア大蛇を。すると坊やがこう言うのを耳にして、僕は唖然とした。

Celui du boa fermé. Et je fus stupéfait d'entendre le petit bonhomme me répondre:

「目的語」 | Et 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

Celui スリュイ pron 絵を(dessins) (描いた) 「目的語」
du boa fermé ジュ・ボア・フェルメ adj. 中の見えないボア大蛇の 「形容詞句」
Et エ conj. そして
je ジュ pron 僕は 「主語」

fus stupéfait d'entendre フュ・スチュペ・フェ・トントントル 1 単過・受動(stupefaire de+不定詞)

v.t. ～を聞いて驚いた 「動詞句」

le petit bonhomme ル・プティ・ボノム n.m 坊やが 「目的語」

me répondre ム・レポントゥル 不定詞句 v.i 僕に答えた 「補語」



「違う、違う！ボア大蛇に飲まれた象なんか、欲しくないよ。」

《Non! Non! Je ne veux pas d'un éléphant dans un boa.

「応答」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Non! Non! ノン・ノン adv. 違う、違う！ 「応答」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

ne veux pas ス・ヴ・パ 1 単現・否定(vouloir)v.t 欲しくない 「動詞句」

d'un éléphant ダン・エレフォン n.m 象を (de は否定冠詞) 「目的語」

dans un boa トン・サン・ボア adj. ボア大蛇の中の 「形容詞句」

ボア大蛇。それはすごく危険なんだ。それに象、それはすごく場所ふさぎだよ。

Un boa c'est très dangereux, et un éléphant c'est très encombrant.

「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞」「補語」

Un boa c' アン・ブ・わ・ス n.m ボア大蛇、それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

très dangereux トレ・トンジユル adj. とても危険な 「補語」

et エ conj. そして

un éléphant c' エン・エレフォン・ス n.m 象、それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

très encombrant トレ・オンブロン adj. とても場所ふさぎの 「補語」

僕んここは、とっても狭いんだ。羊が必要なんだよ。僕に羊を描いて」

Chez moi c'est tout petit. J'ai besoin d'un mouton. Dessine-moi un mouton.》

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Chez moi シェ・ムわ adv. 僕の所は 「副詞句」

c' ス pron それは 「主語」

tout petit トゥ・プティ adj. とても狭い 「補語」

ai エ 1 単現(avoir)v.t がある 「動詞」

besoin d'un mouton ブズワ・タン・ムトン n.m 羊の必要 「目的語」

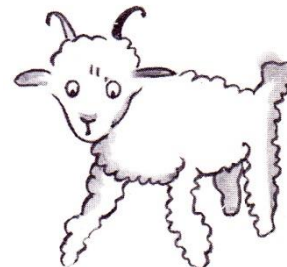
Dessine デ・シヌ 命・2 単現(dessiner)v.t 描いて 「動詞」

moi ムわ pron 僕に

「間接目的語」

un mouton アン・ムトン n.m 羊 (の絵を)

「直接目的語」



そこで僕は描いた。彼はじっと注意深く眺めてから、こう言った：

Alors j'ai dessiné. Il regarda attentivement, puis :

「副詞」「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞」, 「副詞」

Alors アー adv. そこで

「副詞」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dessiné エ・デシネ 1 単現・完了形(dessiner)v.t 描いた

「動詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

regarda ルギヤルダ 3 単過(regarder)v.t 眺めた

「動詞」

attentivement アントエイヴモン adv. 注意深く

「副詞」

puis ピュイ adv. それから (次のように言った)

「副詞」

「だめだよ！これはひどい病気にかかっている。別のを描いて」

《Non! Celui-là est déjà très malade. Fais-en un autre.》

《「応答」 | 「主語」「動詞」「副詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》

Non ノン adv. 違う

「応答」

Celui-là スリュイ・ラ pron これは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である

「動詞」

déjà デジャ adv. もう

「副詞」

très malade トレ・マラッド adj. ひどい病気の

「補語」

Fais フェ 命・2 単現(faire)v.t 描いて

「動詞」

en un autre オン・アン・オートル n.m 別の羊を (en は mouton)

「目的語」

僕は描きなおした：

Je dessinai :

「主語」「動詞」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

dessinai デシネ 1 単過(dessiner)v.t 描いた

「動詞」

僕の友達は、寛大げに優しくにっこりした：

Mon ami sourit gentiment, avec indulgence. 「主語」「動詞」「副詞句」：
Mon ami モ・ナミ n.m 僕の友人は 「主語」
sourit スリ 3 単過(sourire)v.i 微笑んだ 「動詞」
gentiment ジョントイモン adv. 優しく
avec indulgence アヴェ・エツキ・アンデ・ユルジョンス adv. 寛大げに 「副詞句」

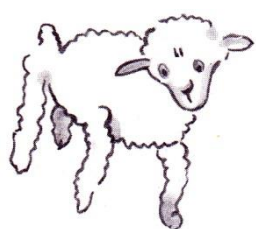
「良く見て... これはおとなしい羊じゃなくて、オスだよ。角がある...」

《Tu vois bien ... ce n'est pas un mouton, c'est un bélier. Il a des cornes ...》

《「呼びかけ」「動詞」「副詞」 ---

「主語」「動詞句」「補語」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

Tu チュ pron 君 「呼びかけ」
vois ヴワ 命・2 単現(voir)v.t 見なさい 「動詞」
bien ビヤン adv. よく 「副詞」
ce ス pron これは 「主語」
n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i 〜でない 「動詞句」
un mouton アン・ムトン n.m (去勢した) やさしい雄羊 「補語」
c' ス pron これは 「主語」
est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」
un bélier アン・ベリエ n.m (去勢していない) 雄羊 「補語」
Il イル pron それは 「主語」
a ア 3 単現(avoir)v.t ある 「動詞」
des cornes デ・コルヌ pl.n.f 角 「目的語」



そこで僕は、また描きなおした：でも、それは前作と同じように拒否されてしまった：

Je refis donc encore mon dessin : Mais il fut refusé, comme les précédents :

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」: Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」:

Je ジュ pron 僕は 「主語」
refis ルフィ 3 単過(refaire)v.t 描き直した 「動詞」
donc encore ドン・オンコール adv. そこでまた 「副詞句」
mon dessin モン・デサン 僕の絵を 「目的語」
Mais メ conj. ところが、しかし
il イル pron それは (その絵は) 「主語」

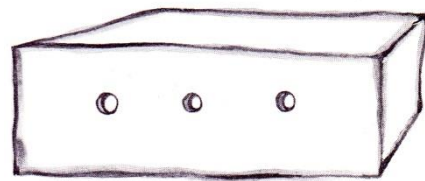
fut refusé フュ・ルフュゼ 3 単過・受動(refuser)v.t 拒否された 「動詞句」
comme les précédents コム・レ・プレデタン adv. 前作と同様に 「副詞句」

「これは年寄りだよ。うんと長生きする羊が欲しいんだ」

《Celui-là est trop vieux. Je veux un mouton qui vive longtemps.》

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

Celui-là スリュイ・ラ pron.m これは 「主語」
est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」
trop vieux トロ・ヴェュ adj. 年を取り過ぎた 「補語」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
veux ウ 1 単現(vouloir)v.t 欲しい 「動詞」
un mouton アン・ムトン n.m 羊を 「目的語」
qui キ conj. 〜するような 「形容詞節：mouton」
vive ヴィヴ 接・3 単現(vivre)v.i 生きるような 「動詞」
longtemps ロントン adv. 長い間 「副詞句」



僕は、エンジンの分解を始めるのを急いでいたので、我慢できなくな
って、こんな絵を描きなぐった。そしてこう言い放った。

Alors, faute de patience, comme j'avais hâte de commencer le démontage de mon moteur,
je griffonnai ce dessin-ci : Et je lançai :

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」: Et 「主語」「動詞」:

Alors アロー adv. (接続詞的に) それで 「副詞」
faute de patience フォット・ドゥ・パシヨンス adv. (理由) 我慢できなくて 「副詞句」
faute de ... 「〜がないので」
comme コム conj. (原因・理由) 〜なので 「副詞節」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
avais hâte de commencer アヴィエ・アトウ・ドゥ・コモンセ 1 単半(avoir hâte de +不定詞)
v.t 〜を早く始めたかった 「動詞句」
avoir hâte de +不定詞 「早く〜したいと思う」
le démontage de mon moteur ル・デモンタージュ・ドゥ・モン・モトゥール
n.m エンジンの分解を 「目的語」
démontage デモンタージュ n.m 分解、取り外し
je ジュ pron 僕は 「主語」
griffonnai グリフォネ 1 単過(griffonner)v.t 描きなぐった 「動詞」
ce dessin-ci ス・デサン・シ n.m こんな絵を 「目的語」

Et je lançai : Et 「主語」「動詞」
Et エ conj. そして
je ジュ pron 僕は 「主語」
lançai ロンセ 1 単過(lancer)v.t (言葉を) 放った 「動詞」

「これは箱だよ。君の欲しい羊はこの中にいるよ」

《Ça c'est la caisse. Le mouton que tu veux est dedans.》
《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「副詞」》
《Ça c' サス pron これは 「主語」
est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
la caisse ラ・ケース n.f 箱 「補語」
Le mouton ル・ムトン n.m 羊は 「主語」
que ク conj. ~する 「形容詞節：mouton」
tu チュ pron 君が 「主語」
veux ウェ 2 単現(vouloir)v.t 欲しがっている 「動詞」
est エ 3 単現(être)v.i いる 「動詞」
dedans トゥ・ダ・ソン adv. 中に 「副詞」

しかし僕はわが幼い審査員の顔が、パッと明るくなったのを見て、非常に驚いた：

Mais je fus bien surpris de voir s'illuminer le visage de mon jeune juge :
Mais 「主語」「動詞句」「補語」「目的語」：
Mais メ conj. しかし
je ジュ pron 僕は 「主語」
fus bien surpris de voir フュ・ビヤン・シュルプリー・トゥ・ウ・グワール 1 単過・受動
(être surpris de+不定詞)v.t ~を見てとても驚いた 「動詞句」
s'illuminer シュミネ 不定詞句 明るくなるのを 「補語」
le visage ル・ヴィザージュ n.m (不定詞の主語) 顔色が 「目的語」
de mon jeune juge トゥ・モン・ジュヌ・ジュージュ
adj. 僕の幼い審査員の 「形容詞句：visage」

「僕が欲しかったのは、まったくこんなだったのさ！この羊には、草がうんと必要だと思
う？」

《C'est tout à fait comme ça que je le voulais! Crois-tu qu'il faille beaucoup d'herbe à ce
mouton?》
《「動詞」「補語」「主語」 | 「動詞」「主語」「目的語」》
《C' ス pron それは (形式主語)
est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

| | |
|--|---------|
| tout à fait comme ça トゥ・タフエ・コム・サ n. 全くこんなの | 「補語」 |
| que ク conj. ～するものは | 「主語」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| le ル pron それを (dessiner) | 「目的語」 |
| voulais ヴレ 1 単半(vouloir)v.t 望んでいる | 「動詞」 |
| Crois クワ 2 単現(croire)v.t 思う | 「動詞」 |
| tu チュ pron 君は | 「主語」 |
| qu' ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| il イル pron 非人称主語 | |
| faillie ファイユ 接・3 単現(falloir)v.h 必要だと | 「動詞」 |
| beaucoup d'herbe ボク・デルブ n.f 沢山の草が | 「主語」 |
| à ce mouton ア・ス・ムトン adv. この羊に | 「間接目的語」 |

「どうして」

| | |
|-----------------------------|--------|
| --- Pourquoi? | 《「副詞」》 |
| --- Pourquoi プルワ adv. どうして? | 「副詞」 |

「だって、ぼくんとはとっても狭いから...」

| | |
|--|---------|
| --- <u>Parce que chez moi c'est tout petit</u> ... | 《「副詞節」》 |
| --- Parce que パルス・ク adv. ～だから | 「副詞節」 |
| chez moi c' シェ・ムワ・ス n. 僕のところは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| tout petit トゥ・プティ adj. とても小さい | 「補語」 |

「きっと、ちょうどいいよ。実に小さな羊をあげたんだから」

| | |
|---|--|
| --- <u>Ça suffira sûrement. Je t'ai donné un tout petit mouton.</u> | 《「主語」「動詞」「副詞」 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》 |
| --- Ça サ pron それは | 「主語」 |
| suffira シフィラ 3 単未・推量(suffire)v.i 十分だろう | 「動詞」 |
| sûrement シュールモン adv. きっと | 「副詞：suffira」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| t' トゥ pron 君に | 「間接目的語」 |
| ai donné エ・トネ 1 単現・完了形(donner)v.t あげた | 「動詞句」 |
| un tout petit mouton アン・トゥ・プティ・ムトン n.m 全く小さい羊を | 「直接目的語」 |

彼は絵の方へ顔を傾けた。

Il pencha la tête vers le dessin : 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」:
Il イル pron 彼は 「主語」
pencha ポンシャ 3 単過(pencher)v.t 傾けた 「動詞」
la tête ラ・テットゥ n.f 顔を 「目的語」
vers le dessin ヴェール・ル・デッサン adv. 絵の方へ 「副詞句: pencha」

「それほど小さくもないな... おや! 眠っちゃったよ...」

《Pas si petit que ça... Tiens! Il s'est endormi ...》

《「補語」 | 「感嘆」 | 「主語」「動詞句」》

《Pas si petit パ・シ・プティ adj. (部分否定) そんなに小さくない 「補語」
que ça ク・サ adv. それ程 「副詞」
Tiens ティアン int. (驚き) おや 「感嘆」
Il イル pron 羊が 「主語」
s'est endormi セ・オントルミ 3 単現・完了形(s'endormir)v.i 眠った 「動詞句」

こうして、僕はその王子さまと知り合いになった。

Et c'est ainsi que je fis la connaissance du petit prince. Et 「動詞」「副詞」「主語」
Et エ conj. そして
c' ス pron 形式主語
est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
ainsi オンシ adv. このように 「副詞」
que ク conj. ~ということは 「主語」
je ジュ pron 僕は 「主語」
fis フィ 3 単過(faire)v.t ~になった 「動詞」
la connaissance du petit prince ラ・コネッサンス・ジュー・プティ・フランス
n.f 王子様と知り合い 「目的語」
faire la connaissance de qn. 「人と知り合いになる」
C'est ... que 節 「~は... である」という強調構文

[C-1-1] 異邦人 I

きょう母さんが死んだ。あるいは昨日だったかもしれないが、よく分からない。

Aujourd'hui, maman est morte. Ou peut-être hier, je ne sais pas.

「副詞」「主語」「動詞句」 | Ou 「副詞句」「主語」「動詞句」

Aujourd'hui, オージュールトゥイ adv. 今日 「副詞」

maman マモン n.f 母さんが 「主語」

est morte. エ・モルトゥ 3 単現・完了形.f(mourir)v.i 死んだ 「動詞句」

mort+e 「主語」が女性なので過去分詞に e が追加されている

Ou conj. あるいは

peut-être hier, プ・テートル・イエール adv. もしかしたら昨日 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

ne sais pas. ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t よくわからない 「動詞句」

養老院からの電報を受け取ったのだ。

J'ai reçu un télégramme de l'asile:

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai reçu エ・ルシュ 1 単現・完了形(recevoir)v.t 受け取った 「動詞句」

un télégramme アン・テレグラム n.m 電報を 「目的語」

de l'asile: ド・ウ・ラシル adv. 養老院から 「副詞句」

asile アシル n.m 収容所、養老院

「ハハウエゴセイキョ ソウギアス オクヤミモウシアゲル」

«Mère décédée. Enterrement demain. Sentiments distingués.»

《「主語」「動詞」 | 「主語」「副詞」 | 「副詞句」》

Mère メール n.f 母上、ハハウエ 「主語」

décédée. テセテ 過去分詞.f・受動(décéder)v.i 逝去された、セイキョ 「動詞」

Enterrement アンテルモン n.m 葬儀は、ソウギ 「主語」

demain. ドゥマン adv. 明日、アス 「副詞」

Sentiments ソンチモン pl.n.m 思いやり、感情 「副詞句」

distingués.» デイスタンゲ adj.pl. 気品のある、卓越した 「形容詞」

日本語的には「お悔み申し上げます」という感じ

これでは意味が分からない。たぶん昨日だったんだろう。

Cela ne veut rien dire. C'était peut-être hier.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」
Cela スラ pron これは 「主語」
ne veut ...dire. ヌ・ヴ ・・・ディール 3 単現・願望・否定(vouloir dire)
v.t 意味しない 「動詞句」
rien リヤン pron 何も 「目的語」
C' ス pron それは 「主語」
était エ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
peut-être hier. プ ・・・テール・イエール adv. たぶん昨日 「補語」

養老院はアルジェから 80 キロメートル離れたマランゴにある。

L'asile de vieillards est à Marengo, à quatre-vingts kilomètres d'Alger.

「主語」「動詞」「副詞句」
L'asile de vieillards ラジール・ドゥ・ウ ェイヤール n.m 養老院は 「主語」
asile アジール n.m 収容所、養老院 vieillard ウ ェイヤール n.m 老人
est エ 3 単現(être)v.i (存在) 〜にある 「動詞」
à Marengo, ア・マランゴ adv. マランゴに 「副詞句」
à quatre-vingts kilomètres ア・クワトル・ヴァン・キロメートル adv. 80 キロメートルの 「副詞句」
d'Alger. ダルジエ adv. アルジェから 「副詞句」

2 時のバスに乗ろうと思う。そうすれば午後のうちに着くだろう。

Je prendrai l'autobus à deux heures et j'arriverai dans l'après-midi.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞」「副詞句」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
prendrai プ ロントレ 1 単末(prendre)v.t (乗物に) 乗ろうと思う 「動詞」
l'autobus ロトビュス n.m バスに 「目的語」
à deux heures ア・ドゥ・セール adj. 2 時の 「形容詞句」
et エ conj. そうすれば
j' ジュ pron 僕は 「主語」
arriverai アリガレ 1 単末(arriver)v.i 着くだろう 「動詞」
dans l'après-midi. ドン・ラプレ・ミディ adv. 午後のうちに 「副詞句」

すると通夜の番も出来るし、明日の晩には戻ってこられるだろう。

Ainsi, je pourrai veiller et je rentrerai demain soir.

「副詞」「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞」「副詞句」
Ainsi, アソ adv. そうすれば 「副詞」
je ジュ pron 僕は 「主語」
pourrai veiller プレ・ウエイェ 1 単未・可能(pouvoir+不定詞)
vi 通夜の番をすることが出来るだろう 「動詞句」
et エ conj. そして
je ジュ pron 僕は 「主語」
rentrerai ロントレ 1 単未(rentre)v.i 戻って来るだろう 「動詞」
demain soir. トゥマン・スワール adv. 明日の晩に 「副詞句」

僕は雇い主に 2 日間の休暇を願い出たが、このような理由では彼も断れなかつただろう。

J'ai demandé deux jours de congé à mon patron et il ne pouvait pas me les refuser avec une excuse pareille.

「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai demandé エ・トゥモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 求めた 「動詞句」
deux jours de congé トゥ・ジュール・トゥ・コンジエ pl.n.m 2 日間の休暇を 「直接目的語」
à mon patron ア・モン・パトロン adv. 雇い主に 「間接目的語」
et エ conj. そして
il イル pron 彼は 「主語」
ne pouvait pas ...refuser ヌ・プウエイェ・パ ...ルフェセ 3 単半・推測・否定(pouvoir+不定詞)
v.t 拒否することはできなかつただろう 「動詞句」
me les ム・レ pron 僕の要求を 「目的語」
me は「間接目的語」、les は「直接目的語」(2 日間の休暇)
avec une excuse pareille. アウッキ・コンヌ・エクスキューズ・パレイユ
adv. このような理由があるなら 「副詞句」
excuse エクスキューズ n.f 理由 pareil パレイユ adj. (adj.f pareille) このような

しかし彼は納得した様子ではなかつた。

Mais il n'avait pas l'air content.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は 「主語」
n'avait pas ナヴェ・パ 3 単半・否定(avoir)v.t (心身の状態) ～していなかつた 「動詞句」
l'air content. レール・コントソ n.m 納得した様子を 「目的語」

air エール n.m 様子 content コント adj. 気に入った、納得した

僕は彼に、「ぼくのせいじゃありません」とまで言ってしまった。

Je lui ai même dit : «Ce n'est pas de ma faute.»

「主語」「間接目的語」「動詞句」:《「主語」「動詞」「補語」》

Je ジェ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai même dit : エ・メーム・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t ~とさえ言った

「動詞句」

Ce ス pron これは

「主語」

n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ~ではない

「動詞」

de ma faute.» トゥ・マ・フォート n.f 僕の責任、僕のせい

「補語」

de は否定冠詞

彼は答えなかった。それで、僕は彼にそんなことを言うべきではなかったと思った。

Il n'a pas répondu. J'ai pensé alors que je n'aurais pas dû lui dire cela.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

n'a pas répondu. ナ・パ・レポンドゥ 3 単現・完了形・否定(répondre)

v.i 答えなかった

「動詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ポンセ 1 単現・完了形(penser)v.t ~と思った

「動詞句」

alors アロ adv. それで

「副詞」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'aurais pas dû ...dire ノレ・パ・ジュ...ディール 条・1 単現・完了形・否定(devoir+不定詞)

v.t 言うべきではなかった

「動詞句」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

cela. スラ pron そんなことを

「直接目的語」

要するに、僕が言い訳をする必要はなかった。

En somme, je n'avais pas à m'excuser.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」

En somme, オン・ソム adv. 要するに、結局

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais pas à +不定詞 サ・エ・パ・ザ 1 単半・必要・否定(avoir à+不定詞)

v. ~する必要はなかった

「動詞句」

avoir à+不定詞 「~しなければならない」

m'excuser. メ・クスキュゼ 不定詞 v.pr あやまる、言い訳をする 「動詞句」

むしろ彼の方が僕にお悔みを示すべきだった。

C'était plutôt à lui de me présenter ses condoléances. 「動詞」「副詞」「主語」

C' ス pron それは (仮の主語)

était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

plutôt プリュト adv. むしろ 「副詞」

à lui ア・リュイ adv. 彼が (不定詞の意味上の主語) ~することが 「主語」

de +不定詞 トゥ v. ~することが 「動詞句」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

présenter プレザンテ 不定詞 v.t 示す 「動詞」

ses condoléances. セ・コンドレオンス pl.n.f お悔みを 「目的語」

しかし、おそらく明後日に、喪服を着た僕を見たらお悔みを言ってくるだろう。

Mais il le fera sans doute après-demain, quand il me verra en deuil.

Mais 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は 「主語」

le ル pron そのことを 「目的語」

fera フラ 3 単末(faire)v.t するだろう 「動詞」

sans doute ソン・トゥット adv. おそらく、多分 「副詞句」

après-demain, アプレ・トゥマン adv. あさって 「副詞」

quand コン conj. ~する時 「副詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

me ム pron 僕を 「目的語」

verra ヴェラ 3 単末(voir)v.t 見る 「動詞」

en deuil. オン・トゥイユ adv. 喪服を着た 「副詞句」

さしあたって、母さんはまだ死んでいなかったかのような状態である。

Pour le moment, c'est un peu comme si maman n'était pas morte.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

Pour le moment, プール・ル・モン adv. さしあたって 「副詞句」

c' ス pron それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

un peu comme si アン・プ・コム・シ adv. あたかも~のような 「補語」

maman マモン n.f 母さんは 「主語」

n'était pas morte. ㇿ・ﾊﾟ・ﾓﾙﾄ 仮定法・3 単半・完了形(mourir)

v.i 死んでいなかった

「動詞句」

葬儀の後には反対に、それは処理済みの一件になって、全てがもっと公式な様子に見えるようになっているだろう。

Après l'enterrement, au contraire, ce sera une affaire classée et tout aura revêtu une
allure plus officielle.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Après l'enterrement, アﾌﾟﾚ・ｾﾝﾃﾙﾓﾝ adv. 葬儀の後には

「副詞句」

au contraire, オ・ｺﾝﾄﾚｰﾙ adv. 逆に、反対に

「副詞句」

ce ス pron このことは (母の死、葬儀)

「主語」

sera ｽﾗ 3 単末(être)v.i ～になるだろう

「動詞」

une affaire classée ウﾝｽ・ｱﾌｴｰﾙ・ｸﾗｯｾ n.f 処理済みの一件

「補語」

affaire アﾌｴｰﾙ n.f 事、問題 classé ｸﾗｯｾ 過去分詞(classer)adj. 分類された

et ɛ conj. そして

tout ｴｯﾄ 全てが

「主語」

aura revêtu オｰﾗ・ﾙﾍﾞ ㇿ 3 単末・完了形(revêtir)

v.t (～の風に) 見えるようになっているだろう

「動詞句」

une allure ユﾝｽ・ｱﾘｴｰﾙ n.f 様子

「目的語」

plus officielle. プﾙｴ・ｵﾌｨｼｴﾙ adj. もっと公式な

「形容詞句」

僕は2時のバスに乗った。とても暑かった。

J'ai pris l'autobus à deux heures. Il faisait très chaud.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 | 「動詞」 「補語」

J' ｼﾞｬ pron 僕は

「主語」

ai pris ɛ・ﾌﾟﾘ 1 単現・完了形(prendre)v.t (乗物に) 乗った

「動詞句」

l'autobus ｴｯﾄﾋﾞｴｽ n.m バスに

「目的語」

à deux heures. ア・ﾄﾞｴ・ｾｰﾙ adj. 2 時の

「形容詞句」

Il ｲﾙ pron 形式主語 (天気・気候)

faisait ﾌｴ 3 単半(faire)v.h ～だった

「動詞」

très chaud. ﾄﾚ・ｼｮ adj. とても暑い

「補語」

僕はいつものようにセレストのレストランで食事をした。

J'ai mangé au restaurant, chez Céleste, comme d'habitude. 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

J' ｼﾞｬ pron 僕は

「主語」

ai mangé ɛ・ﾓﾝｼﾞ ɛ 1 単現・完了形(manger)v.t 食べた

「動詞句」

au restaurant, オ・レストヅン adv. レストランで 「副詞句」
chez Céleste, シェ・セレスト adv. セレストのところで 「副詞句」
comme d'habitude. コム・ダビチュト` adv. いつものように 「副詞句」
habitude アビチュト` n.f 習慣

レストランの皆はぼくのことをとても気遣ってくれた。そしてセレストは僕に言った。「お
ふくろっていうのは一人しかいないからな。」

Ils avaient tous beaucoup de peine pour moi et Céleste m'a dit: «On n'a qu'une mère.»
「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」
《「主語」「動詞句」「目的語」》

Ils イル pron レストランの皆は 「主語」
avaient アヴァ 3 複半(avoir)v.t ~をした 「動詞」
tous beaucoup de peine トゥ・ボク・ドゥ・ペヌ n.f とても気遣いを 「目的語」
pour moi プール・ムわ adv. 僕に対して 「副詞句」
et エ conj. そして
Céleste セレスト n. セレストは 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
On オン pron 人は 「主語」
n'a qu' ナ・ク 3 単現・否定(avoir, ne..que)v.t ~しかいない 「動詞句」
une mère. ユヌ・メル n.f 一人の母親 「目的語」

店を出る時には、皆が僕を戸口まで送ってくれた。

Quand je suis parti, ils m'ont accompagné à la porte.
「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」
Quand コン conj. ~した時 「副詞節」
je ジュ pron 僕が 「主語」
suis parti, シュイ・パルティ 1 単現・完了形(partir)v.i 店を出た 「動詞句」
ils イル pron 皆は 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」
ont accompagné オン・アコンパニエ 3 複現・完了形(accompagner)v.t 送ってくれた 「動詞句」
à la porte. ア・ラ・ポルト adv. 戸口まで 「副詞句」

僕はもう少しで忘れるところだった。というのは、エマニュエルのところに立ち寄って、黒のネクタイと喪章を借りなければならなかったのだ。

J'étais un peu étourdi parce qu'il a fallu que je monte chez Emmanuel pour lui emprunter une cravate noire et un brassard.

| | | | |
|---|--------------|-----------|-----------|
| | 「主語」「動詞」「補語」 | parce qu' | 「動詞句」「主語」 |
| J' ジュ pron 僕は | | | 「主語」 |
| étais エ 1 単半(être)v.i ーだった | | | 「動詞」 |
| un peu étourdi アン・プ・エトルディ adj. 少しそそかしい | | | 「補語」 |
| もう少しで忘れるところだった | | | |
| parce qu' パルス・ク conj. ーなので | | | 「副詞節」 |
| il a fallu que +接続法 イ・ラ・ファリュ・ク 3 単現・完了形(falloir que+接続法) | | | |
| v.i ーしなければならなかった | | | 「動詞句」 |
| je ジュ pron 僕はー | | | 「主語」 |
| monte モントゥ 接・1 単現(monter)v.i (人の家に) 立ち寄る | | | 「動詞」 |
| chez Emmanuel シェ・エマニュエル adv. エマニュエルのところに | | | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. ーするために | | | 「副詞句」 |
| lui リュイ pron 彼に | | | 「間接目的語」 |
| emprunter オンプリュンテ 不定詞 v.t 借りる | | | 「動詞」 |
| une cravate noire et un brassard. エヌ・クラヴァット・ヌワ・ル・エ・アン・ブラサール | | | |
| n.pl. 黒のネクタイと喪章を | | | 「目的語」 |

彼は数か月前に伯父さんを失くしていたのだ。僕はバスの出発に遅れないように走った。

Il a perdu son oncle, il y a quelques mois. J'ai couru pour ne pas manquer le départ.

| | | |
|---|---------------------|----------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Il イル pron 彼は | | 「主語」 |
| a perdu ア・ペルデュ 3 単現・完了形(perdre)v.t 失くしていた | | 「動詞句」 |
| son oncle, ソン・オンクル n.m 伯父さんを | | 「目的語」 |
| il y a quelques mois. イ・リ・ア・ケルク・ムワ adv. 数か月前に | | 「副詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | | 「主語」 |
| ai couru エ・クリュ 1 単現・完了形(courir)v.i 走った | | 「動詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. ーするために | | 「副詞句」 |
| ne pas manquer ヌ・パ・モンケ 不定詞・否定形 v.t 逃がさない | | 「動詞句」 |
| le départ. ル・デパール n.m バスの出発を | | 「目的語」 |

このように急いだり走ったために、多分それに加えて車の揺れやガソリンのにおいや道路や空からの照り返しなどすべてのせいで、僕はうとうとしてしまった。

Cette hâte, cette course, c'est à cause de tout cela sans doute, ajouté aux cahots, à l'odeur d'essence, à la réverbération de la route et du ciel, que je me suis assoupi.

「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」 「主語」

Cette hâte, セット・アート n.f (原因) このように急いだことで 「副詞句」

cette course, セット・クルス n.f (原因) このように走ったことで 「副詞句」

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 節: 強調構文)

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

à cause de tout cela ア・コース・ド・トゥ・トゥット・スラ adv. これらすべてのせいで 「副詞句」

sans doute, シン・ドゥット adv. 多分、おそらく 「副詞句」

ajouté アジュテ 過去分詞・受動(ajouter)v.t (à) ~に加えて 「副詞句」

aux cahots, オ・カ adv. 車の揺れ 「目的語」

à l'odeur d'essence, ア・ロデーール・デ・シンス adv. ガソリンのにおい 「目的語」

à la réverbération de la route et du ciel, ア・ラ・レヴァール・エ・ラ・ル・エ・シエ

adv. 道路や空からの照り返し 「目的語」

que ク conj. ~ということは 「主語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis assoupi. ム・シュイ・アスビ° 1 単現・完了形(s'assoupir)v.pr うとうとした 「動詞句」

「僕が~したのは... のせいだ」という強調構文だが、「~のせいで、僕は~した」

僕は到着するまでほとんどの時間は眠っていた。

J'ai dormi pendant presque tout le trajet. 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dormi エ・ドルミ 1 単現・完了形(dormir)v.i 眠っていた 「動詞句」

pendant ポントン prep ~の間 「副詞句」

presque tout le trajet. プレスキ・トゥ・ル・トラジェ n.m ほとんどの道のり 「目的語」

presque プレスキ adv. ほとんど trajet トラジェ n.m 道のり

それから目を覚ますと、僕は一人の軍人にもたれかかっていた。彼は僕に微笑んで、遠くから来たのかと尋ねた。

Et quand je me suis réveillé, j'étais tassé contre un militaire qui m'a souri et qui m'a demandé si je venais de loin.

Et 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「補語」 「間接目的語」, 「形容詞節」

Et エ conj. そして

quand コン conj. ~した時 「副詞節」

| | |
|---|---------|
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| me suis réveillé, ム・シュイ・レヴ ェィエ 1 単現・完了形(se réveiller) | |
| v.pr 目を覚ました | 「動詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| étais エ 1 単半(être)v.i 〜だった | 「動詞」 |
| tassé タッセ 過去分詞(tasser)adj. 詰め寄った | 「補語」 |
| contre un militaire コントル・アン・ミテール adv. 一人の軍人に | 「間接目的語」 |
| qui キ pron (主語) 〜する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a souri ア・スリ 3 単現・完了形(sourire)v.i 微笑んだ | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| qui キ pron (主語) 〜する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・ト・ウモンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| si シ conj. 〜かどうかということ | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| venais ブネ 1 単半(venir)v.i 来た | 「動詞」 |
| de loin. トゥ・ル・ワ ン adv. 遠くから | 「副詞句」 |

僕はそれ以上話さなくても良いように「ええ」とだけ答えた。

| | |
|--|----------------------|
| <u>J'ai dit «oui» pour n'avoir plus à parler.</u> | 「主語」「動詞句」《「応答」》「副詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| «oui» ウィ adv. ええ、はい | 「応答」 |
| pour +不定詞 プール adv. 〜するように | 「副詞句」 |
| n'avoir plus à parler. ナヴ・ワ・ブル・リュ・ザ・パル 不定詞・否定(avoir à+不定詞) | |
| v.i それ以上話す必要がない | 「動詞句」 |
| avoir à+不定詞 〜しなければならない n'avoir à+不定詞 〜する必要がない | |

養老院は村から 2 キロメートル離れた所にある。僕はそこまで歩いて行った。

| | |
|--|-------------------------------------|
| <u>L'asile est à deux kilomètres du village. J'ai fait le chemin à pied.</u> | 「主語」「動詞」「副詞句」 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| L'asile ラジール n.m 養老院は | 「主語」 |
| est エ (être)v.i (存在) 〜にある | 「動詞」 |
| à deux kilomètres du village. ア・トゥ・ウ・キロメートル・ジュ・ヴィラー・ジュ | |
| adv. 村から 2 キロメートルのところに | 「副詞句」 |

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai fait エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t ~した 「動詞句」
le chemin ル・シュマン n.m その道のりを 「目的語」
à pied. ア・ピエ adv. (手段) 徒歩で 「副詞句」

僕は母さんにすぐ会いたかった。

J'ai voulu voir maman tout de suite. 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai voulu voir エ・ヴリュ・ヴ わ-ル 1 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)
v.t ~に会いたかった 「動詞句」
maman マモン n.f 母さんに 「目的語」
tout de suite. トゥ・ドゥ・シュイト adv. すぐに 「副詞句」

しかし門番は、僕が院長に会うように強く勧めた。

Mais le concierge m'a dit qu'il fallait que je rencontre le directeur.
Mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Mais メ conj. しかし
le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番が 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a dit ア・ティ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
qu' ク conj. ~ということを 「直接目的語」
il fallait イル・ファレ 3 単半(falloir que+接続法)
v.h ~しなければならない 「動詞句」
que ク conj. ~ということを 「目的語」
je ジュ pron 僕は 「主語」
rencontre ロンコントル 接・1 単現(rencontrer)v.t 会う 「動詞」
le directeur. ル・ディレクター n.m 院長に 「目的語」

彼は手がふさがっていたので、僕は少し待った。

Comme il était occupé, j'ai attendu un peu. 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」
Comme コム conj. ~なので 「副詞節」
il イル pron 彼は 「主語」
était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
occupé, オキュペ° adj. 忙しい、手がふさがった 「補語」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai attendu エ・アトンデ° 1 単現・完了形(attendre)v.i 待った 「動詞句」

un peu. アン・プ° adv. 少し 「副詞句」

待っている間ずっと、門番はしゃべり続けていた。それから院長に会った。彼は僕を院長室に迎え入れた。

Pendant tout ce temps, le concierge a parlé et ensuite, j'ai vu le directeur : il m'a reçu dans son bureau. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」 et 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」:
「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Pendant tout ce temps, ポントソ・トゥ・ストソ adv. 待っている間じゅう 「副詞句」
le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番は 「主語」
a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i しゃべっていた 「動詞句」
et エ conj. そして
ensuite, オンシュイト adv. それから 「副詞」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai vu エ・ヴ° ュ 1 単現・完了形(voir)v.t 会った 「動詞句」
le directeur : ル・ディレクトール n.m 院長に 「目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」
a reçu ア・リュ 3 単現・完了形(recevoir)v.t 迎えた 「動詞句」
dans son bureau. トソ・ソソ・ビュロー adv. 院長室で 「副詞句」
bureau ビュロー n.m 勤務先、会社、事務室、所長室、事務局

院長は、レジョン・ドヌール勲章をつけた小柄な老人だった。彼は淡い色の目で僕を見つめた。

C'était un petit vieux, avec la Légion d'honneur. Il m'a regardé de ses yeux clairs.
「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

C' ス pron 院長は 「主語」
était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
un petit vieux, アン・プ° ティ・ヴィユー n.m 小さな老人 「補語」
avec la Légion d'honneur. アヴ° エッキ・ラ・レジオン・ドヌール
adj. レジョン・ドヌール勲章をつけた 「形容詞句」
la Légion d'honneur ラ・レジオン・ドヌール n.f レジョン・ドヌール勲章 (ナポレオンが制定した勲章。国家に功績のあった者に与えられる。)
Il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」
a regardé ア・ルギ° ャルテ° 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた 「動詞句」
de ses yeux clairs. デ° セ・ジユ° クレル adv. (手段) 淡い色の目によって 「副詞句」

yeux イェ pl.nm 両目 clair クレール adj. 明るい、淡い色の

それから彼は僕の手を握りしめたが、その手をいつまでも話さなかったので、僕はどうやって手を引っ込めたら良いかが全く分からなかった。

Puis il m'a serré la main qu'il a gardée si longtemps que je ne savais trop comment la retirer. 「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「目的語」「主語」「動詞句」「副詞句」 que 「主語」「動詞句」「目的語」

Puis ピュイ adv. それから 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕の 「間接目的語」

a serré ア・セレ 3 単現・完了形(serrer)v.t 握りしめた、つかんだ 「動詞句」

la main ラ・マン n.f 手を 「直接目的語」

qu' ク pron その手を 「目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

a gardée ア・ギヤルテ 3 単現・完了形(garder)v.t 離さなかった 「動詞句」

si longtemps シ・ロントソ adv. あまりにも長く 「副詞句」

que ク conj.(si...que) その結果～できない

je ジュ pron 僕は 「主語」

ne savais trop ヌ・サヴェ・トロ 1 単半(savoir)v.t 全く分からなかった 「動詞句」

ne...trop は否定の強調

comment+不定詞 コモン n.m どのように～するかと言う方法が 「目的語」

la ラ pron 手を 「目的語」

retirer. ルレ 不定詞 v.t 引っ込める 「動詞」

彼は書類に目を通してから、僕に言った。

Il a consulté un dossier et m'a dit:

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「間接目的語」「動詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

a consulté ア・コンシルテ 3 単現・完了形(consulter)v.t 調べた、参照した 「動詞句」

un dossier アン・ドッシェ n.m 書類を 「目的語」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

「ムルソーさんは3年前にここにお入りになりました。あなたはたった一人の身内です」

«Mme Meursault est entrée ici il y a trois ans. Vous étiez son seul soutien.»

《「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」》

Mme Meursault マダム・ムルソー n.f ムルソーさんは 「主語」
est entrée エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入られました 「動詞句」
ici イ adv. ここに 「副詞」
il y a trois ans. イ・リ・ヤ・トルワ・サン adv. 3 年前に 「副詞句」
Vous ヴァ pron あなたは 「主語」
étiez エチエ 2 複半(être)v.i ~だった 「動詞」
son seul soutien. ソン・スル・スチアン n.m たった一人の身内 「補語」
soutien スチアン n.m 支え、支持者、支援

僕は、彼が僕に何かを咎めだてしているように思われたので、彼に説明を始めた。

J'ai cru qu'il me reprochait quelque chose et j'ai commencé à lui expliquer.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai cru エ・クリュ 1 単現・完了形(croire)v.t (que) ~だと思った 「動詞句」
qu' ク conj. ~だということを 「目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
me ム pron 僕に 「間接目的語」
reprochait ルプ・ロシェ 3 単半・過去の現在(reprocher)v.t 咎めている 「動詞」
quelque chose ケルク・ショーズ n.f 何かを 「直接目的語」
et エ conj. それで
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai commencé +à+不定詞 エ・コモンセ 1 単現・完了形・開始(commencer+à+不定詞)
v. ~をし始めた 「動詞句」
à lui expliquer. ア・リュイ・エクスプレケ 不定詞(+lui)v. 彼に説明を 「動詞句」

しかし彼は僕をさえぎって言った：「弁解などしなくてもいいのですよ。あなたは」

Mais il m'a interrompu: «Vous n'avez pas à vous justifier, mon cher enfant.»

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」: 《「主語」「動詞句」, 「呼びかけ」》

Mais メ conj. しかし
il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」
a interrompu: ア・アンテロンビュ 3 単現・完了形(interrompre)v.t さえぎって言った 「動詞句」
Vous ヴァ pron あなたは 「主語」

n'avez pas à vous justifier, ナヴ・ェ・パ・ア・ヴ・ジュスティフィエ 2 複現・必要・否定

(avoir à+不定詞 se justifier)v.pr 弁解しなくても良い 「動詞句」

avoir à+不定詞 は「～しなければならない」、否定形は「～する必要はない」

se justifier ス・ジュスティフィエ v.pr 弁明する

mon cher enfant. モン・シェール・オンフオン n.m あなたは 「呼びかけ」

「お母さまの書類は読みました。お母さまの面倒を見るゆとりはなかったのですね」

J'ai lu le dossier de votre mère. Vous ne pouviez subvenir à ses besoins.

《「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」》

J' ジュ pron 私は 「主語」

ai lu エ・リュ 1 単現・完了形(lire)v.t 読んだ 「動詞句」

le dossier ル・トッシェ n.m 書類を 「目的語」

de votre mère. ドゥ・ヴ・オル・メル adj. お母さまについての 「形容詞句」

Vous ヴ pron あなたは 「主語」

ne pouviez subvenir ヌ・プ・ヴィエ・シュブ・ヴィニール 2 複半・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.i (à に) 援助を与えることはできなかった 「動詞句」

à ses besoins. ア・セ・ブ・スワソ adv. 彼女の生活費に 「間接目的語」

→ お母さまの面倒を見るゆとりはなかった

「彼女には看護人が必要でしたが、あなたの収入はそれほどではない」

Il lui fallait une garde. Vos salaires sont modestes.

《「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

Il lui fallait イル・リュイ・ファレ 3 単半(falloir+名詞)v.t 彼女には～が必要だった 「動詞句」

lui は「間接目的語」彼女にとって

une garde. ユヌ・ギャルト n.f 看護人が 「目的語」

Vos salaires ヴォ・サレール pl.n.m あなたの給与は 「主語」

sont ソ 3 複現(être)v.i ～である 「動詞」

modestes. モデスト adj. 控えめの、慎ましい 「補語」

「そして全てを考えると、彼女はここに来たのが一番幸せだったのです」

Et tout compte fait, elle était plus heureuse ici.»

《Et 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」「副詞」》

Et エ conj. そして

tout compte トゥ・コント n.m 全ての計算が 「目的語」

fait, フェ 過去分詞・受動(faire)v.t なされたら 「副詞句」

→ 全てを考えると

elle エル pron 彼女は 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 plus heureuse プリュ・スールズ adj. 一番幸せな 「補語」
 ici.» イシ adv. ここにきて 「副詞」

僕は言った：「はい、その通りです。院長さん」

J'ai dit: «Oui, monsieur le Directeur.» 「主語」「動詞句」：《「応答」「呼びかけ」》
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 Oui, ウイ adv. はい、その通りです 「応答」
 monsieur le Directeur.» ムシユー・ル・テイレクトゥール n.m 院長さん 「呼びかけ」

彼は付け加えて言った。「ご存じの通り、お母さまには同年代の仲間がいました」

Il a ajouté: «Vous savez, elle avait des amis, des gens de son âge.
 「主語」「動詞句」：《「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」》
 Il イル pron 彼は 「主語」
 a ajouté: ア・アジユテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えて言った 「動詞句」
 Vous savez, ヴ・サヴヱ adv. ご存知の通り 「副詞句」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 avait アヴヱ 3 単半(avoir)v.t いた 「動詞」
 des amis, デ・ザミ pl.n. 仲間が 「目的語」
 des gens de son âge. デ・ジヨン・ドゥ・ソンの・ナジエ pl.n. 同年代の人々が 「目的語」

「彼女は彼らと一緒に一昔前の趣味を楽しむことが出来たのです」

Elle pouvait partager avec eux des intérêts qui sont d'un autre temps.
 《「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」》
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 pouvait partager プヴュ・パルタジエ 3 単半・可能(pouvoir+不定詞)
 v.t 共有することが出来た、共にすることが出来た 「動詞句」
 avec eux アヴヱッキ・ウ adv. 彼らと一緒に 「副詞句」
 des intérêts pl.n.m 趣味を 「目的語」
 qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 sont ソン 3 複現(être)v.i ~である 「動詞」
 d'un autre temps. ダン・オートル・トン adj. 一昔前の 「補語」

「あなたはまだお若いから、あなたと一緒にだとお母さまは退屈なさったでしょう。」

Vous êtes jeune et elle devait s'ennuyer avec vous.»

《「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」》

| | |
|--|-------|
| Vous ヴ pron あなたは | 「主語」 |
| êtes ㇼット 2 複現(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| jeune ジュヌ adj. 若い | 「補語」 |
| et エ conj. だから | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| devait s'ennuyer トゥㇼㇼェ・ソニユㇼ 3 単半・可能性(devoir+不定詞) | |
| v.pr 退屈したに違いない | 「動詞句」 |
| avec vous.ㇼ アㇼㇼヱキ・ヴ adv. あなたと一緒にだと | 「副詞句」 |

それは本当だった。

C'était vrai.

「主語」「動詞」「補語」

| | |
|-----------------------------|------|
| C' ス pron それは | 「主語」 |
| était エㇼ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| vrai. ヴレ adj. 本当の | 「補語」 |

母さんが家にいた時、彼女は黙って目で僕を追いながら時間を過ごしていた。

Quand elle était à la maison, maman passait son temps à me suivre des yeux en silence.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

| | |
|--|-------|
| Quand コㇼ conj. ~した時 | 「副詞節」 |
| elle エル pron 彼女が | 「主語」 |
| était エㇼ 3 単半(être)v.i ~にいた | 「動詞」 |
| à la maison, ア・ラ・メゾン adv. 家に | 「副詞句」 |
| maman マモン n.f 母さんは | 「主語」 |
| passait パㇼㇼ 3 単半(passer)v.t (時を) 過ごしていた | 「動詞」 |
| son temps ソㇼ・ソㇼ n.m 自分の時間を | 「目的語」 |
| à me suivre ア・ム・シュイヴル adv. (継続: à+不定詞) 僕を追いながら | 「副詞句」 |
| des yeux デㇼ・ジュ adv. 目で | 「副詞句」 |
| en silence. オン・シロㇼス adv. 黙って | 「副詞句」 |

母が養老院に来た最初の頃は、よく泣いていたものだった。

Dans les premiers jours où elle était à l'asile, elle pleurait souvent.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」

| | |
|---|-------|
| Dans les premiers jours トㇼㇼ・レ・プㇼルミㇼ・ジュール adv. 最初の頃は | 「副詞句」 |
|---|-------|

| | | |
|---|----------|--------|
| où <small>ウ</small> pron | ～した | 「形容詞節」 |
| elle <small>エル</small> pron | 彼女が | 「主語」 |
| était <small>エテ</small> 3 単半(être)v.i | ～に来た | 「動詞」 |
| à l'asile, <small>ア・ラジール</small> adv. | 養老院に | 「副詞句」 |
| elle <small>エル</small> pron | 彼女は | 「主語」 |
| pleurait <small>フル</small> 3 単半(pleurer)v.i | 泣いていたものだ | 「動詞」 |
| souvent, <small>スヴ・オン</small> adv. | よく | 「副詞」 |

しかしそれは習慣のせいだ。何ヶ月かたってから、もし彼女を養老院から出したとしても、
きっと泣いただろう。

Mais c'était à cause de l'habitude. Au bout de quelques mois, elle aurait pleuré si on l'avait retirée de l'asile.

| | | |
|---|--------------|---------------------|
| Mais | 「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞節」 |
| Mais <small>メ</small> conj. | しかし | |
| c' <small>ス</small> pron | それは | 「主語」 |
| était <small>エテ</small> 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| à cause de l'habitude, <small>ア・コース・ド・ラ・ビチュート</small> adj. | 習慣のせい | 「補語」 |
| Au bout de <small>オ・ブー・トゥ</small> adv. | ～の後に | 「副詞句」 |
| quelques mois, <small>ケルク・ムワ</small> pl.n.m | 数ヶ月 | 「目的語」 |
| elle <small>エル</small> pron | 彼女は | 「主語」 |
| aurait pleuré <small>アレ・フル</small> 条・3 単現・完了形(pleurer)v.i | きっと泣いただろう | 「動詞句」 |
| si <small>シ</small> conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| on <small>オン</small> pron | 人が | 「主語」 |
| l' <small>ラ</small> pron | 彼女を | 「目的語」 |
| avait retirée <small>アヴェ・エ・レイレ</small> 3 単現・完了形(retirer)v.t | 引き出した | 「動詞句」 |
| de l'asile, <small>ド・ラ・ラジール</small> adv. | 養老院から | 「副詞句」 |

やはり習慣のせいで。最近 1 年の間、僕がほとんど養老院に行かなくなっていたのは、少し
はそのせいといえる。

Toujours à cause de l'habitude. C'est un peu pour cela que dans la dernière année je n'y suis presque plus allé.

| | | |
|---|-----------------------|-------|
| Toujours <small>トゥジュール</small> adv. | やはり | 「副詞」 |
| à cause de l'habitude, <small>ア・コース・ド・ラ・ラジール</small> adv. | 習慣のせい | 「副詞句」 |
| C' <small>ス</small> pron | 仮の主語（真の主語は que 節）強調構文 | |
| est <small>エ</small> 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| un peu pour cela <small>アン・プ・プール・スラ</small> adv. | 少しはこのための | 「補語」 |

que ク conj. ～すつことは 「主語」
dans la dernière année トン・ラ・デルニェール・アネ adv. 最近 1 年の間 「副詞句」
je ジェ pron 僕が 「主語」
n'y suis presque plus allé. ニ・シュイ・プレスキ・プリュ・サレ 1 単現・完了形(aller)
v.i 養老院にほとんど行かなくなっていた 「動詞句」
y は à l'asile を表す

それにここに来ると、僕の日曜日がつぶれてしまうからでもあった。——バス停に行き、切符を買って、2 時間バスに乗るという手間は別にしてもである。

Et aussi parce que cela me prenait mon dimanche --- sans compter l'effort pour aller à l'autobus, prendre des tickets et faire deux heures de route.

Et 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

Et エ conj. そして
aussi parce que オシ・パルス・ク adv. また～だからでもある 「副詞句」
cela スラ pron ここへ来ることは 「主語」
me ム pron 僕から 「間接目的語」
prenait プレ 3 単半(prendre)v.t 奪い取った 「動詞」
mon dimanche モン・デ・イモンジュ n.m 日曜日を 「直接目的語」
sans +不定詞 ソ adv. ～しなくても 「副詞句」
compter コンテ 不定詞 v.t 計算に入れる 「動詞」
l'effort レフォル n.m 手間、骨折り 「目的語」
pour +不定詞 プール adj. ～するための 「形容詞句」
aller à l'autobus, アレ・ア・ラウトバス v.i バス停に行く 「動詞句」
prendre des tickets プロントル・デ・チケ v.t 切符を買う 「動詞句」
et エ conj. そして
faire deux heures de route. フェール・トゥ・セール・トゥールト
v.t 2 時間バスに乗る 「動詞句」

院長は僕にさらに話し続けていた。しかし僕は彼の話をもうほとんど聞いていなかった。それから彼は僕に言った：「お母さまに会いたいでしょ？」

Le directeur m'a encore parlé. Mais je ne l'écoutais presque plus. Puis il m'a dit: «Je suppose que vous voulez voir votre mère.»

「主語」「間接目的語」「動詞句」 | Mais 「主語」「動詞句」

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」: «「主語」「動詞」「目的語」»

Le directeur ル・ディレクトゥール n.m 院長は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」

| | |
|---|---------|
| a encore parlé. ア・オンコール・パル 3 単現・完了形(parler+encore) | |
| v.i さらに話し続けていた | 「動詞句」 |
| Mais メ conj. しかし | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne l'écoutais presque plus. ヌ・レクテ・プレスキ・プリュ 1 単半・否定(écouter) | |
| v.t 彼の話をもうほとんど聞いていなかった | 「動詞句」 |
| l' ル pron 彼の話 | |
| presque プレスキ adv. ほとんど | |
| plus プリュ adv. (ne) もう～ない | |
| Puis ピュイ adv. それから | 「副詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| suppose シュポズ 1 単現(supposer)v.t (que) ～と思う | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| vous ヴ pron あなたは | 「主語」 |
| voulez voir ヴレ・ヴ わル 2 複現・願望(vouloir+不定詞) | |
| v.t 会いたい | 「動詞句」 |
| votre mère. ヴォトル・メル n.f お母さまに | 「目的語」 |

僕が何も言わずに立ち上がると、彼は僕を先導してドアの方へ進んで行った。

| | |
|--|---------|
| <u>Je me suis levé sans rien dire et il m'a précédé vers la porte.</u> | |
| 「主語」「動詞句」「副詞句」et「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」 | |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis levé ム・シュイ・ルヴェ 1 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった | 「動詞句」 |
| sans +不定詞 ソン adv. ～せずに | 「副詞句」 |
| rien リヤン pron 何も～ない | 「目的語」 |
| dire ディール 不定詞 v.t 言う | 「動詞」 |
| et エ conj. すると | |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a précédé ア・プレテデ 3 単現・完了形(précéder)v.t (～より) 先に行った | 「動詞句」 |
| vers la porte. ヴェール・ラ・ポルト adv. ドアの方へ | 「副詞句」 |

階段を歩いている時、彼は僕に説明した。「お母さまは、私どものちょっとした霊安室へ移してあります。他の人たちを動揺させないためです。」

Dans l'escalier, il m'a expliqué: 《Nous l'avons transportée dans notre petite morgue. Pour ne pas impressionner les autres.

「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」》

Dans l'escalier, トン・レスカリエ adv. 階段を歩いている時 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a expliqué: ア・エクスプレ 3 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した 「動詞句」
Nous ヌ pron 私たちは 「主語」
l' ラ pron お母さまを 「目的語」
avons transportée アヴ・オン・トランスポート 1 複現・完了形.f(transporter)
v.t 移した、移動した 「動詞句」
dans notre petite morgue. トン・ノトル・プティット・モルク
adv. 私どものちょっとした霊安室へ 「副詞句」
petite プティット adj.f 小さい、ささやかな、ちょっとした morgue モルク n.f 霊安室
Pour +不定詞 プール adv. ~するために 「副詞句」
ne pas impressionner ヌ・パ・サンプレシヨネ 不定詞・否定形
v.t 動揺させない 「動詞句」
les autres. レ・ゾートル pl.n. 他の人たちを 「目的語」

「入寮者が亡くなるたびに、他の者たちは2〜3日の間神経質になります。するとそれが業務に支障を与えてしまうからです」

Chaque fois qu'un pensionnaire meurt, les autres sont nerveux pendant deux ou trois jours. Et ça rend le service difficile.»

《「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 | Et 「主語」「動詞」「目的語」「補語」》

Chaque fois シャッキ・フワ n.f 毎回 「副詞句」
qu' ク pron ~する 「形容詞節」
un pensionnaire アン・ポンシヨネール n. 入寮者が 「主語」
meurt, ムール 3 単現(mourir)v.i 亡くなる 「動詞」
les autres レ・ゾートル pl.pron 他の者たちは 「主語」
sont ソン 3 複現(être)v.i ~になる 「動詞」
nerveux ネルク adj. 神経質な 「補語」
pendant deux ou trois jours. ポント・ソ・トワ・ウ・トルワ・ジュール adv. 2〜3日の間 「副詞句」
Et エ conj. すると

ça サ pron. それが 「主語」
rend ロン 3 単現(rendre)v.t (SVOC) O を C にする 「動詞」
le service ル・セルヴィス n.m 業務を 「目的語」
difficile. デイフィシル adj. 困難な 「補語」
→ それが業務に支障を与えてしまう

ぼくたちは中庭を横切った。そこには大勢の老人たちがいて、小さなグループごとにおしゃべりしていた。僕たちが通りかかると、彼らは黙り込んだ。

Nous avons traversé une cour où il y avait beaucoup de vieillards, bavardant par petits groupes. Ils se taisaient quand nous passions.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

Nous ヌ pron 私たちは 「主語」

avons traversé アヴ・オン・トラヴ・エルセ 1 複現・完了形(traverser)v.t 横切った 「動詞句」

une cour エヌ・クール n.f 中庭を 「目的語」

où ウ adv. そこで～する 「副詞」

il y avait イ・リ・ヤヴ・エ 3 単半(avoir)v.t ～がいた 「動詞句」

beaucoup de vieillards, ボク・ド・ウ・ヴィエイヤール pl.n. 多くの老人が 「目的語」

bavardant バヴァルトン 現在分詞(bavarder)v.i おしゃべりしている 「形容詞句」

par petits groupes. パール・プ・ティ・グループ

adv. 小さなグループごとに 「副詞句」

Ils イル pron 彼らは 「主語」

se taisaient ス・テーセ 3 複半(se taire)v.pr 黙り込んだ 「動詞句」

quand コン conj. ～する時 「副詞句」

nous ヌ pron 私たちが 「主語」

passions. パション 1 複現(passer)v.i 通る 「動詞」

そして僕たちの後ろで、それぞれのお喋りがまた始まった。まるで声をひそめたインコのお喋りのようだった。

Et derrière nous, les conversations reprenaient. On aurait dit d'un jacassement assourdi de perruches.

Et 「副詞句」「主語」「動詞」 | 「動詞句」「間接目的語」

Et エ conj. そして

derrière nous, デリエール・ヌ adv. 僕たちの後ろで 「副詞句」

les conversations レ・コンヴァ・エルサション pl.n.f それぞれのお喋りが 「主語」

reprenaient. ルプルネ 3 複半(repandre)v.i また始まった 「動詞」

On aurait dit オル・ル・ディ 条・3 単現(dire)v.i まるで～のようだった 「動詞句」

d'un jacassement assourdi de perruches. ダン・ジ・ヤカスモン・アシュルディ・ト・ウ・ペリユシュ

n.m 声をひそめたインコのお喋り 「間接目的語」
jacassement ジャカスム n.m 鳴き声 assourdi アシュルディ 過去分詞 adj. 音を弱めた
perruche ペリュシュ n.f インコ

小さな建物の戸口で院長は僕と別れた。「ムルソーさん、あなたを残していきますが、私は院長室におりますので、何なりとお申し付けください。」

A la porte d'un petit bâtiment, le directeur m'a quitté: «Je vous laisse, monsieur Meursault. Je suis à votre disposition dans mon bureau.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」:

《「主語」「目的語」「動詞」「呼びかけ」 | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」》

A la porte ア・ラ・ポ ルウ adv. 戸口で 「副詞句」
d'un petit bâtiment, タン・プティ・バチモン adj. 小さな建物の 「形容詞句」
bâtiment バチモン n.m 建物、ビル
le directeur ル・ディレクター n.m 院長は 「主語」
m' ム pron 私と 「目的語」
a quitté: ア・キテ 3 単現・完了形(quitte)v.t (人と) 別れた 「動詞句」
Je ジュ pron 私は 「主語」
vous ヴ pron あなたを 「目的語」
laisse, レス 3 単現(laisser)v.t 別れる、置いていく、残す 「動詞」
monsieur Meursault. ムシユ・ムルソー n.m ムルソーさん 「呼びかけ」
Je ジュ pron 私は 「主語」
suis シュイ 1 単現(être)v.i ~である 「動詞」
à votre disposition ア・ヴォトル・ディスポジション adv. (状態) あなたの意のままに 「補語」
→ 何なりとお申し付けください
dans mon bureau. トン・モン・ビュロー adv. 院長室で 「副詞句」

「一応、葬儀は明日の 10 時ということにいたしました。そうすれば、お通夜をなさることが出来ると考えまして」

En principe, l'enterrement est fixé à dix heures du matin. Nous avons pensé que vous pourrez ainsi veiller la disparue.

《「副詞句」「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」》

En principe, オン・プランスィプ adv. 原則として、一応 「副詞句」
l'enterrement ロンテルモン n.m 葬儀は 「主語」
est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
fixé フィクセ adj. 定められた 「補語」
à dix heures du matin. ア・ディ・ゼール・ジユ・マタン adv. 明日の 10 時に 「副詞句」

| | |
|--|-------|
| Nous ヌ pron 私たちは | 「主語」 |
| avons pensé アヴン・ポンセ 1 複現・完了形(penser)v.t (que) と考えた | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| vous ヴ pron あなたが | 「主語」 |
| pourrez プレ 2 複未(pouvoir+不定詞)v.i ～することが出来るだろう | 「動詞句」 |
| ainsi アンシ adv. そうすると | 「副詞」 |
| veiller ヴェイエ 不定詞 v.t お通夜をする | 「動詞句」 |
| la disparue. ラ・ディスパリュ n.f 亡くなった方を | 「目的語」 |

「最後に一言だけ: お母さまはよくお仲間に、宗教にのっとって葬儀をして欲しいという希望をおっしゃっていたようです」

Un dernier mot: votre mère a, paraît-il, exprimé souvent à ses compagnons le désir d'être enterrée religieusement.

《「目的語」: 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「間接目的語」 「直接目的語」》

| | |
|--|---------|
| Un dernier mot: アン・デルニエ・モ n.m 最後に一言 | 「目的語」 |
| votre mère ヴォトル・メル n.f お母さまは | 「主語」 |
| a, paraît-il, exprimé ア・パレ・ティル・エクスプリメ 3 単現・完了形(exprimer) | |
| v.t おっしゃっていたようです | 「動詞句」 |
| paraît-il パレ・ティル adv. (挿入用の副詞句として) どうやら～のようだ | |
| souvent スヴン adv. よく、しばしば | 「副詞」 |
| à ses compagnons ア・セ・コンパニオン adv. お仲間に | 「間接目的語」 |
| le désir ル・デジール n.m 希望を | 「直接目的語」 |
| d'+不定詞 トゥ adj. (同格) ～するという | 「形容詞句」 |
| être enterrée エートル・オンテレ 不定詞・受動(enterrer)v.t 葬式が行われる | 「動詞句」 |
| religieusement. ルジューズモン adv. 宗教的に | 「副詞」 |

「私の判断で、必要なことはさせていただきましたが、念のために、そのことをあなたにお知らせしておきたかったのです。」

J'ai pris sur moi de faire le nécessaire. Mais je voulais vous en informer.»

《「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

Mais 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「直接目的語」》

| | |
|---|-------|
| J' ジュ pron 私は | 「主語」 |
| ai pris エ・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t (行動を) とった | 「動詞句」 |
| sur moi シュール・ムわ adv. 私の判断で、私の責任で | 「副詞句」 |
| de faire トゥ・フェール 不定詞 v.t ～することを | 「目的語」 |
| le nécessaire. ル・ネセール n.m 必要なことを | 「目的語」 |

Mais メ conj. しかし
je ジュ pron 私は 「主語」
voulais ヴレ 1 単半(vouloir+不定詞)v.t ～したかった 「動詞句」
vous ヴ pron あなたに 「間接目的語」
en オン pron そのことを 「直接目的語」
informer. アンフォルメ 不定詞 v.t 知らせる 「動詞句」

僕は彼に礼を言った。母さんは、無神論者ではなかったが、生前は宗教について考えたことはなかった（と思った）。

Je l'ai remercié. Maman, sans être athée, n'avait jamais pensé de son vivant à la religion.

「主語」「目的語」「動詞句」 | 「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」
Je ジュ pron 私は 「主語」
l'ル pron 彼に 「目的語」
ai remercié. エルメルシエ 1 単現・完了形(remercier)v.t 例を言った 「動詞句」
Maman, マモン n.f 母さんは 「主語」
sans +不定詞 ソン adv. (譲歩) ～でないが 「副詞句」
être エートル 不定詞 v.i ～である 「動詞」
athée, アテ adj. 無神論者 「補語」
n'avait jamais pensé ナヴェ・ジャメ・ポンセ 3 単半・完了形(penser)
v.i 一度も考えなかった 「動詞句」
de son vivant トゥ・ソ・ヴ・ヴ・オン adv. 存命中に、生きている間は 「副詞句」
à la religion. ア・ラ・ルジヨン adv. 宗教について 「間接目的語」

僕は中に入った。そこは石灰で白く塗られ、ガラス張りの屋根で覆われた、やけに明るい部屋だった。

Je suis entré. C'était une salle très claire, blanchie à la chaux et recouverte d'une verrière.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」
Je ジュ pron 私は 「主語」
suis entré. シュイ・アントレ 1 単現・完了形(entrer)v.i 中に入った 「動詞句」
C' ス pron そこは 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
une salle très claire, エヌ・サル・トレ・クレール n.f とても明るい部屋 「補語」
blanchie ブロシ 過去分詞・受動(blanchir)adj.f 白く塗られた 「形容詞句」
à la chaux ア・ラ・ショ adv. (手段) 石灰で 「副詞句」
et エ conj. そして
recouverte ルヴァ・エルト 過去分詞・受動(recouvrir)adj.f(de で) 覆われた 「形容詞句」

d'une verrière. トュヌ・ヴェリエール adj. ガラス張りの屋根で 「副詞句」
verrière ヴェリエール n.f. ガラス張りの屋根、大きなステンドグラス
(やけに明るい) という表現から、(明り取りのガラス窓) と考える

その部屋は椅子と X 字形の架台がいくつか備え付けられていた。

Elle était meublée de chaises et de chevalets en forme de X. 「主語」「動詞句」「副詞句」
Elle エル pron. その部屋は 「主語」
était meublée エテ・ムブレ 3 単半・受動.f(meubler)v.t. 備え付けられていた 「動詞句」
de chaises トゥ・シェーズ adv. 椅子が 「副詞句」
et エ conj. そして
de chevalets トゥ・シュヴァレ adv. 架台が 「副詞句」
en forme de X. オン・フォルム・トゥ・イクス adv. X 字形の 「形容詞句」

それらのうち中央の 2 つの架台が、蓋で覆われた柩を支えていた。

Deux d'entre eux, au centre, supportaient une bière recouverte de son couvercle.
「主語」「動詞」「目的語」
Deux d'entre eux, au centre, トゥ・ドントル・イ・オ・ソントル
pl.n.m. それらのうち中央の 2 つの架台が 「主語」
supportaient シポルテ 3 複半(supporter)v.t. 支えていた 「動詞」
une bière ユヌ・ビエール n.f. 柩を 「目的語」
recouverte ルクヴァルト adj. 覆われた 「形容詞」
de son couvercle. トゥ・ソン・クーヴァルク adv. 柩の蓋によって 「副詞句」

光るねじ釘が少しだけ締め付けられて、クルミ染料を塗られた柩の板の上に浮かび上がっているのだけが目を引いた。

On voyait seulement des vis brillantes, à peine enfoncées, se détacher sur les planches passées au brou de noix.
「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「補語」
On オン pron. 人は 「主語」
受動態などに翻訳するほうがわかりやすい
voyait ヴォワイ 3 単半(voir)v.t. 見た 「動詞」
seulement スルモン adv.(de) 〜だけ 「副詞」
des vis brillantes, テ・ヴィ・ブリヤント pl.n.f. 光っているねじ釘 「目的語」
vis ヴィ n.f. ねじ釘、ボルト brillant(e) ブリヤント adj. 光る
à peine enfoncées, ア・ペーヌ・オンフォンセ adv. 少しだけ締め付けた 「形容詞句」
à peine ア・ペーヌ adv. ほとんど〜ない enfoncé(e) オンフォンセ adj. 打込まれた
se détacher ス・テタッシェ 不定詞 v.pr. 浮かび出る 「補語」

sur les planches シュール・レ・プ ロンシュ adv. 板の上に 「副詞句」

passées パッセ 過去分詞(passer)v.t.adj.f.pl 塗られた 「形容詞句」

passer パセ v.t 塗る

au brou de noix. オ・ブル・ドゥ・ヌワ adv. クルミ染料を「間接目的語」

この文の「補語」は「目的語」の動作を表している

柩のそばにはアラブ人の看護婦がいて、白い上っ張りを着て、頭に色鮮やかなスカーフを被っていた。

Près de la bière, il y avait une infirmière arabe en sarrau blanc, un foulard de couleur vive sur la tête. 「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Près de +名詞 プレ・ドゥ adv. ~のそばに 「副詞句」

la bière, ラ・ビエール n.f 柩、ビール 「目的語」

il y avait イ・リ・アヴ ェ 3 単半(avoir)v.t ~がいた、あった 「動詞句」

une infirmière エヌ・アンフィルミエール n.f 看護婦 「目的語」

arabe アラブ adj. アラブ人の 「形容詞」

en sarrau blanc, オン・サロ・ブラン adv. 白い上っ張りを着て 「副詞句」

un foulard アン・フルール n.m スカーフ 「目的語」

de couleur vive トゥ・クレール・ヴィヴ adj. 色鮮やかな 「形容詞句」

vif ヴィフ adj.m, vive ヴィヴ adj.f 生き生きした、鮮やかな

sur la tête. シュール・ラ・テット adv. 頭の上に 「副詞句」

その時、門番が僕の背後に入ってきた。彼は走って来たに違いない。

A ce moment, le concierge est entré derrière mon dos. Il avait dû courir.

「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞句」

A ce moment, ア・ス・モモン adv. その時、その頃、当時 「副詞句」

le concierge ル・コンシエルジュ n.m 門番が 「主語」

est entré エ・アントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入ってきた 「動詞句」

derrière mon dos. テリエール・モン・ドゥ adv. 僕の背後に 「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

avait dû courir. アヴ ェ・ジユ・クリール 3 単半・完了形・推定(devoir + 不定詞)

v.i 走って来たに違いない 「動詞句」

彼は少しどもりながら言った：「柩に蓋をしてしまいました。お母さまにご対面できるようにするために、ねじ釘を外さなければなりません」

Il a bégayé un peu: «On l'a couverte, mais je dois dévisser la bière pour que vous puissiez la voir.» 「主語」「動詞句」「副詞句」:

《「主語」「目的語」「動詞句」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」》

Il イル pron 彼は 「主語」
a bégayé ア・ベゲイエ 3 単現・完了形(bégayer)v.i どもりながら言った 「動詞句」
un peu アン・プ adv. 少し 「副詞句」
On オン pron 私は 「主語」
l' ラ pron(la bière の代用) それを 「目的語」
a couverte, ア・クヴェルト 3 単現・完了形.f(couvrir)v.t 蓋をした 「動詞句」
mais メ conj. しかし
je ジュ pron 私は 「主語」
dois dévisser ト・ワ・デヴィッセ 1 単現・義務(devoir+不定詞)
v.t (ねじ釘を) 外さなければならない 「動詞句」
la bière ラ・ビエール n.f 柩 「目的語」
pour que +接続法 プール・ク conj. ～するために 「副詞節」
vous ヴェ pron あなたが 「主語」
puissiez +不定詞 ピュイシエ 接・2 複現(pouvoir+不定詞)v. ～できる 「動詞句」
la ラ pron お母さまに 「目的語」
voir. ヴェール 不定詞 v.t 対面する 「動詞」

彼は柩に近づいて行ったが、その時僕は彼を制止した。

Il s'approchait de la bière quand je l'ai arrêté.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 quand 「主語」「目的語」「動詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」
s'approchait サプロシェ 3 単半(s'approcher)v.pr (de に) 近づいて行った 「動詞句」
de la bière ト・ラ・ビエール adv. 柩に 「間接目的語」
quand コン conj. その時～する
je ジュ pron 私は 「主語」
l' ル pron 彼を 「目的語」
ai arrêté. エ・アレテ 1 単現・完了形(arrêter)v.t (動きを) 制止した 「動詞句」

彼は僕に言った：「ご対面なさりたくないのですか？」

Il m'a dit : « Vous ne voulez pas? » 「主語」「間接目的語」「動詞句」: 《「主語」「動詞句」》

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a dit : ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
Vous ウ pron あなたは 「主語」
ne voulez pas? » ヌ・ヴレ・パ 2 複現・否定(vouloir+不定詞) (voir が省略されている)
v.t ご対面なさりたくないのですか? 「動詞句」

僕は答えた:「ええ、まあ」

J'ai répondu: «Non.» 「主語」「動詞句」:《「応答」》
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai répondu: エ・レ・ン・デュ 1 単現・完了形(répondre)v.i 答えた 「動詞句」
Non.» ノ adv. ええ、まあ 「応答」
否定の「応答」で、少しぼかしている感じ

彼は動作を中断した。一方僕は、そんなことを言うべきではなかったという気がして気づまりを感じた。

Il s'est interrompu et j'étais gêné parce que je sentais que je n'aurais pas dû dire cela.
「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞節」
Il イル pron 彼は 「主語」
s'est interrompu セ・アンテロンビ・ユ 3 単現・完了形(s'interrompre)v.pr 動作を中断した「動詞句」
et エ conj. そして
j' ジュ pron 僕は 「主語」
étais gêné エ・ジェネ 1 単半・受動(gêner)v.t 気づまりを感じた 「動詞句」
parce que パルス・ク conj. ～だから 「副詞節」
je ジュ pron 僕は 「主語」
sentais ソテ 1 単半(sentir)v.t 感じた 「動詞」
que ク conj. ～ということ 「目的語」
je ジュ pron 僕は 「主語」
n'aurais pas dû dire ル・パ・ジュ・テイル 条・1 単現・完了形(devoir+不定詞)
v.t 言うべきではなかったかもしれない 「動詞句」
cela. スラ pron そんなことを 「目的語」

ちょっと時間をおいて、彼は僕をじっと見つめて、僕に尋ねた。「どうしてですか？」しかし、それは非難めいたことはなくて、単に問い合わせたという感じだった。

僕は言った。「よく分からない」

Au bout d'un moment, il m'a regardé et il m'a demandé : « Pourquoi.? » mais sans reproche, comme s'il s'informait. J'ai dit : « Je ne sais pas. »

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 et 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 :
《「問いかけ」》 mais 「副詞句」 | 「主語」 「動詞句」 : 《「主語」 「動詞句」》
Au bout d'un moment, オ・ブ・ダン・モン adv. 少し後に、ちょっと時間をおいて 「副詞句」
au bout de... 「～の後に、～の終わりに、～の端に、果てに」
il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」
a regardé ア・ルガヤレ 3 単現・完了形(regarder)v.t じっと見た 「動詞句」
et エ conj. そして
il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a demandé: ア・ドマンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
Pourquoi? プルワイ adv. どうしてですか 「問いかけ」
mais メ conj. しかし
sans reproche, ソン・ルプ ロッシュ adv. 非難めいたことはなくて 「副詞句」
comme s' コム・シ conj. あたかも～のような 「副詞節」
il イル pron 彼は 「主語」
s'informait. サンフォルメ 3 単半(s'informer)v.pr 問い合わせた 「動詞句」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai dit: エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
ne sais pas. ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t よく分からない 「動詞句」

すると、彼は白い口髭をよじりながら、僕を見ないで、はっきりと言った。「分かります」

Alors, tortillant sa moustache blanche, il a déclaré sans me regarder: « Je comprends. »

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 : 《「主語」 「動詞」》
Alors, アー adv. すると 「副詞」
tortillant トルティヨン 現在分詞(tortiller)v.t よじりながら 「副詞句」
sa moustache blanche, サ・ムスタシュ・ブ ロッシュ n.f 白い口髭を 「目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
a déclaré ア・テクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと言った 「動詞句」
sans +不定詞 ソン adv. ～しないで 「副詞句」
me ム pron 僕を 「目的語」
regarder: ルガヤレ 不定詞 v.t 見つめる 「動詞」
Je ジュ pron 私は 「主語」
comprends. コンプレ 1 単現(comprendre)v.t 分かる 「動詞」

彼は淡い青色の美しい目をしていて、顔色は少し赤みがかっていた。彼は僕に椅子を勧めてくれて、彼自身は僕の少し後ろに座った。

Il avait de beaux yeux bleu clair, et un teint un peu rouge. Il m'a donné une chaise et lui-même s'est assis un peu en arrière de moi.

「主語」「動詞」「目的語」et「目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」et「主語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」
 avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (心身の状態) ～をしていた 「動詞」
 de beaux yeux, ドゥ・ボ・ジユ pl.n.m 美しい目を 「目的語」
 bleu clair, ブル・クレール adj. 淡い青色の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 un teint アン・タン n.m 顔色 「目的語」
 un peu rouge. アン・プ・ルージュ adj. 少し赤みがかった 「形容詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a donné ア・ドネ 3 単現・完了形(donner)v.t くれた 「動詞句」
 une chaise ユヌ・シェズ n.f 椅子を 「直接目的語」
 et エ conj. そして
 lui-même リュイ・メーム pron 彼自身は 「主語」
 s'est assis セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
 un peu en arrière de moi. アン・プ・オン・アリエール・ドゥ・ムわ
 adv. 少し僕の後ろに 「副詞句」

看護婦は立ち上がって、出口に向かって歩いて行った。

La garde s'est levée et s'est dirigée vers la sortie. 「主語」「動詞句」et「動詞句」「副詞句」

La garde ラ・ギャルト n.f 看護婦は 「主語」
 s'est levée セ・ルヴェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 et エ conj. そして
 s'est dirigée セ・ディリジェ 3 単現・完了形.f(se diriger)v.pr (ver に) 向かった 「動詞句」
 s'が「直接目的語」なので、dirigée のように女性形になっている
 vers la sortie. ヴァール・ラ・ソルティエ adv. 出口のほうに 「副詞句」

その時、門番が僕に言った：「彼女は皮膚がただれているんですよ」

À ce moment, le concierge m'a dit: «C'est un chancre qu'elle a.»

「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「動詞」「補語」「主語」》

À ce moment, ア・ス・モモン adv. その時 「副詞句」

| | | | | |
|--------------|-----------|-------------------|------------------------|---------|
| le concierge | ル・コンシェルジュ | n.m | 門番が | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: | ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| C' | ス | pron | 仮の主語(真の主語は qu'以降) 強調構文 | |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| un chancre | アン・ショングル | n.m | 皮膚のただれ | 「補語」 |
| qu' | ク | conj. | (目的語) ～ということは | 「主語」 |
| elle | エル | pron | 彼女が | 「主語」 |
| a. | ア | 3 単現(avoir)v.t | (心身の状態) 持っている | 「動詞」 |

僕は意味が分からなかったので、看護婦を見た。すると彼女が目の下に包帯をしていて、それが頭を一巻きしていることに気がついた。

Comme je ne comprenais pas, j'ai regardé l'infirmière et j'ai vu qu'elle portait sous les yeux un bandeau qui faisait le tour de la tête.

| | | | | |
|--------------------|-----------|-----------------------|-----------|---|
| | | | | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Comme | コム | conj. | (原因) ～なので | 「副詞節」 |
| je | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ne comprenais pas, | ヌ・コンプレネ・パ | 1 単半・否定(comprendre) | | |
| | v.t | | 分からなかった | 「動詞句」 |
| j' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ai regardé | エ・ルギヤルテ | 1 単現・完了形(regarder)v.t | 見た | 「動詞句」 |
| l'infirmière | ランフィルミエール | n.f | 看護婦を | 「目的語」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| j' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ai vu | エ・ウ | 1 単現・完了形(voir)v.t | 見た | 「動詞句」 |
| qu' | ク | conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| elle | エル | pron | 彼女は | 「主語」 |
| portait | ポルテ | 3 単半(porter)v.t | 身に着けていた | 「動詞」 |
| sous les yeux | ス・レ・ジウ | adv. | 目の下に | 「副詞句」 |
| un bandeau | アン・ボントウ | n.m | 包帯 | 「目的語」 |
| bandage | ボンダージュ | n.m | 包帯 | |
| pansement | ボンセン | n.m | 包帯 | |
| qui | キ | pron | (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| faisait | フェ | 3 単半(faire)v.t | ～していた | 「動詞」 |
| le tour | ル・トゥール | n.m | 一回り、一周 | 「目的語」 |
| de la tête. | トゥ・ラ・テット | adv. | 頭を | 「副詞句」 |

鼻のあたりを見ると、包帯が平らだった。

À la hauteur du nez, le bandeau était plat. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」
À la hauteur du ア・ラ・オトゥール・ジュ adv. ～の所は、～と同じ高さに 「副詞句」
nez, ネ n.m 鼻 「目的語」
le bandeau ル・バンド° n.m 包帯は 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
plat. プラ adj. 平らな 「補語」
鼻は通常なら突き出ている (saillant サヨン adj. 突き出た)

彼女の顔の中で、包帯の白だけが目についた。

On ne voyait que la blancheur du bandeau dans son visage. 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」
On オン pron 人は 「主語」
ne voyait que ヌ・ヴ° わエ・ク 3 単半・否定(voir)
v.t ～しか見えなかった、～だけが見えた 「動詞句」
la blancheur ラ・ブロンシェール n.f 白さ 「目的語」
du bandeau ジュ・バンド° adj. 包帯の 「形容詞句」
dans son visage. トン・ツン・ヴァイザー・ジュ adv. 彼女の顔の中で 「副詞句」

看護婦が出て行くと、門番が言った：「あなたをお一人にしてさしあげましょう」

Quand elle est partie, le concierge a parlé: « Je vais vous laisser seul.» 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」: « 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」 「補語」 »
Quand コン conj. ～する時 「副詞節」
elle エル pron 彼女が 「主語」
est partie, エ・パルティ 3 単現・完了形.f(partir)v.i 出て行った、立ち去った 「動詞句」
le concierge ル・コンシエルジュ n.m 門番が 「主語」
a parlé: ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i 言った 「動詞句」
Je ジュ pron 私は 「主語」
vais +不定詞 ヴェ 1 単現・近接未来(aller+不定詞)v. ～します 「動詞句」
vous ヴ° pron あなたを 「目的語」
laisser レッセ 不定詞 v.t (人) を～のままにする 「動詞句」
seul.» スル adj. 一人きりの 「補語」

僕がどんな仕草をしたのか覚えていないが、彼はその場に残って僕の後ろに立っていた。

Je ne sais pas quel geste j'ai fait, mais il est resté, debout derrière moi. 「主語」 「動詞句」 「目的語」, mais 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

| | |
|---|--------|
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない、覚えていない | 「動詞句」 |
| quel geste ケル・ジ・ェスト n.m どんな仕草 | 「目的語」 |
| j'ai fait, ジェ・フェ 1 単現・完了形(faire)adj. 僕がした | 「形容詞節」 |
| mais メ conj. しかし | |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| est resté, エ・レステ 3 単現・完了形(rester)v.i その場に残った | 「動詞句」 |
| debout ドゥ・パヴ adv. 立って | 「副詞」 |
| derrière moi. デリエール・ムわ adv. 僕の後ろに | 「副詞句」 |

僕の背後に彼が居ると、少し窮屈な感じがした。

| | |
|---|---------------|
| <u>Cette présence dans mon dos me gênait.</u> | 「主語」「目的語」「動詞」 |
| Cette présence セット・プレザンス n.f 彼がいることは | 「主語」 |
| dans mon dos トン・モン・ドゥ adv. 僕の背後に | 「副詞句」 |
| dos ドゥ n.m 背中 | |
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| gênait. ジェネ 3 単半(gêner)v.t 不快にした、気づまりを感じさせた | 「動詞」 |
| 「主語」を原因・理由として翻訳する | |

部屋は午後の終わりの美しい光に満ちていた。

| | |
|---|--------------|
| <u>La pièce était pleine d'une belle lumière de fin d'après-midi.</u> | 「主語」「動詞」「補語」 |
| La pièce ラ・ピエス n.f 部屋は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| pleine d' プレヌ・ドゥ adj.f ~で一杯の、~に満ちた | 「補語」 |
| plein プラン adj.m, pleine プレヌ adj.f いっぱいの、満ちた | |
| une belle lumière ユンウ・ベル・リュミエール n.f 美しい光 | 「目的語」 |
| de fin d'après-midi. ドゥ・ファン・ダプレ・ミティ adj. 午後の終わりの | 「形容詞句」 |

2 匹のスズメバチがガラス張りの屋根に接触しながらぶんぶんいていた。

| | |
|--|---------------|
| <u>Deux frelons bourdonnaient contre la verrière.</u> | 「主語」「動詞」「副詞句」 |
| Deux frelons トゥ・フルン pl.n.m 2 匹のスズメバチが | 「主語」 |
| bourdonnaient ブルトネ 3 複半(bourdonner)v.i ぶんぶんいていた | 「動詞」 |
| contre la verrière. コントル・ラ・ヴェリエール adv. ガラス張りの屋根に接触しながら | 「副詞句」 |

そして僕は眠気が襲い掛かって来るのを感じた。

| | |
|-------------------------------------|----------------------|
| Et je sentais le sommeil me gagner. | Et 「主語」「動詞」「目的語」「補語」 |
|-------------------------------------|----------------------|

Et エ conj. そして
je ジュ pron 僕は 「主語」
sentais ソテ 1 単半(sentir+O+不定詞)v.t O が～するのを感じた 「動詞」
le sommeil ル・ソメイユ n.m 眠気が 「目的語」
me ム pron 僕を 「目的語」
gagner. ガニェ 不定詞 v.t (感情・眠気が) 襲う 「補語」

僕は、彼の方に振り返らずに、門番に言った：「ここに来てもう長いのですか？」

J'ai dit au concierge, sans me retourner vers lui: «Il y a longtemps que vous êtes là?»
「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」：《「動詞句」「目的語」「副詞節」》
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
au concierge, オ・コンシェルジュ adv. 門番に 「間接目的語」
sans +不定詞 ソン adv. ～せずに 「副詞句」
me retourner ム・ルトゥルネ 不定詞(se retourner)v.pr 振り返る 「動詞句」
vers lui: ヴェール・リュイ adv. 彼の方に 「副詞句」
Il y a イ・リア 3 単現(avoir)v.t ある、なる 「動詞句」
longtemps ロントン n.m 長い時間 「目的語」
que ク conj. ～してから 「副詞節」
vous ヴェ pron あなたが 「主語」
êtes エット 2 複現(être)v.i ～にいる、来た 「動詞」
là? ラ ここに 「副詞」

即座に彼は答えた。「5 年になります」 — ずっと僕の質問を待っていたかのように。

Immédiatement, il a répondu: «Cinq ans» — comme s'il avait attendu depuis toujours ma demande.
「副詞」, 「主語」「動詞句」：《「応答」》 --- 「副詞節」
Immédiatement, インメディアトゥモン adv. 即座に 「副詞」
il イル pron 彼は 「主語」
a répondu: ア・レポ・ンテュ 3 単現・完了形(répondre)v.i 答えた 「動詞句」
Cinq ans シン・コン pl.n.m 5 年になります 「応答」
comme s' コム・シ conj. まるで～であるかのように 「副詞節」
il イル pron 彼は 「主語」
avait attendu アヴ・エ・アトンテュ 3 単半・完了形(attendre)v.t 待っていた 「動詞句」
depuis toujours トゥピ・ユイ・トゥジュール adv. ずっと、ずっと前から 「副詞句」
ma demande. マ・トゥモン ト n.f 僕の質問を 「目的語」

それから、彼はずいぶんお喋りをした。

Ensuite, il a beaucoup bavardé. 「副詞」, 「主語」 「動詞句」
Ensuite, オンシュヰット adv. それから 「副詞」
il イル pron 彼は 「主語」
a beaucoup bavardé. ア・ボク・バヴァルデ 3 単現・完了形(bavarder+ beaucoup)
v.i ずいぶんお喋りをした 「動詞句」

ずっと以前に、いつか彼はマランゴの養老院で門番になるだろうと、誰かが万が一にでも言ったとしたら、彼はすごく驚いたかもしれないが。

On l'aurait bien étonné en lui disant qu'il finirait concierge à l'asile de Marengo.
「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」
On オン pron 誰かが 「主語」
l' ル pron 彼を 「目的語」
aurait bien étonné オーレ・ビヤン・エトネ 条・3 単現・完了形(étonner) (条件法・過去未来)
v.t ひどく驚かせたかもしれない 「動詞句」
en lui disant オン・リュイ・ディゾン ジェロンディフ(現在分詞 dire+lui)
adv. (条件・仮定) 彼に言ったら 「副詞句」
qu' ク conj. ～ということ 「目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
finirait ニレ 条・3 単現(finir)v.i やがて～になるだろう 「動詞」
concierge コンシェルジュ n.m 門番 「補語」
à l'asile de Marengo. ア・ラジール・トウ・マランゴ
adv. マランゴの養老院で 「副詞句」

彼は 64 歳で、パリ生まれということだった。

Il avait soixante-quatre ans et il était Parisien.
「主語」 「動詞」 「目的語」 et 「主語」 「動詞」 「補語」
Il イル pron 彼は 「主語」
avait アヴェ 3 単現(avoir)v.t (年齢が) ～歳である 「動詞」
soixante-quatre ans スワント・キョ・ラン pl.n.m 64 歳 「目的語」
et エ conj. そして
il イル pron 彼は 「主語」
était エ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
Parisien. パリジャン n.m パリっ子、パリ生まれの人 「補語」

その時、僕は彼の話に割り込んだ：「ここのご出身ではないのですね？」

À ce moment je l'ai interrompu: «Ah! vous n'êtes pas d'ici?»

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」：「感嘆」 | 「主語」「動詞」「補語」

À ce moment ア・ス・モメン adv. その時 「副詞句」
je ジュ pron 僕は 「主語」
l' ル pron 彼の話を 「目的語」
ai interrompu: エ・アンテロンピュ 1 単現・完了形(interrompre)v.t 遮った、割り込んだ 「動詞句」
Ah! アー int. ああ! 「感嘆」
vous ヴ pron あなたは 「主語」
n'êtes pas ネット・パ 2 複現・否定(être)v.i ~でない 「動詞」
d'ici?» ティシ adj. ここの出身の 「補語」

それから、彼が僕を院長室へ案内する前に、母さんのことを話していたのを思い出した。

Puis je me suis souvenu qu'avant de me conduire chez le directeur, il m'avait parlé de maman.

Puis 「主語」「動詞句」「目的語」

Puis ビュイ adv. それから、そして
je ジュ pron 僕は 「主語」
me suis souvenu ム・シュイ・スヴニユ 1 単現・完了形(se souvenir)
v.pr (que ~ということ)を 思い出した 「動詞句」
qu' ク conj. ~ということ 「目的語」
avant de +不定詞 アヴァン・ドゥ adv. ~する前に 「副詞句」
me ム pron 僕を 「目的語」
conduire コンジューイル 不定詞 v.t 案内する 「動詞」
chez le directeur, シェ・ル・ディレクター adv. 院長のところへ 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
avait parlé アヴェ・パル 3 単半・完了形(parler)v.i 話していた 「動詞句」
de maman. トゥ・マモン adv. 母のことを 「間接目的語」

とくにこの地方では平野部は暑いので、急いで母を埋葬しなければならないと言っていた。

Il m'avait dit qu'il fallait l'enterrer très vite, parce que dans la plaine il faisait chaud, surtout dans ce pays.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
avait dit アヴェ・ディ 3 単半・完了形(dire)v.t 話していた 「動詞句」
qu' ク conj. ~ということ 「直接目的語」

il fallait +不定詞 イル・ファレ 3 単半・時制の一致(falloir+不定詞)

| | |
|---|-------|
| v. ～しなければならない | 「動詞句」 |
| l'ラ pron 母を | 「目的語」 |
| enterrer オンテレ 不定詞 v.t 埋葬する | 「動詞」 |
| très vite, トレ・ヴィット adv. とても早く、急いで | 「副詞句」 |
| parce que パルス・ク conj. ～なので | 「副詞節」 |
| dans la plaine ドン・ラ・プレーヌ adv. 平野部では | 「副詞句」 |
| il イル pron (天候) 非人称 | 「主語」 |
| faisait フェ 3 単半・時制の一致(faire)v.h ～である | 「動詞」 |
| chaud, ショ adj. 暑い | 「補語」 |
| surtout dans ce pays. シュルトウ・ドン・ス・ペイ | |
| adv. 特にこの地方では | 「副詞句」 |
| surtout シュルトウ adv. 特に pays ペイ n.m 国、地方、故郷 | |

彼はパリで暮らしたことがあり、パリのことは忘れ難いと言ったのはその時だ。

C'est alors qu'il m'avait appris qu'il avait vécu à Paris et qu'il avait du mal à l'oublier.

| | |
|---|--------------|
| | 「動詞」「補語」「主語」 |
| C' ス pron 仮の主語(真の主語は qu'il 以降) 強調構文 | |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| alors アロー adv. その時 | 「補語」 |
| qu' ク conj. ～ということは | 「主語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| avait appris アヴ・ェ・アフリ 3 単半・完了形(apprendre)v.t 教えてくれた | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| avait vécu アヴ・ェ・ヴ・ェキュ 3 単半・完了形(vivre) | |
| v.i 暮らしたことがあった | 「動詞句」 |
| à Paris ア・パリ adv. パリで | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| qu' ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| avait アヴ・ェ 3 単半(avoir)v.t あった | 「動詞」 |
| du mal ジュ・マル n.m 困難 | 「目的語」 |
| à l'oublier. アルブリエ adv. パリを忘れるのに | 「副詞句」 |
| l' は Paris の代用 | |

avoir du mal à+不定詞 「～するのが困難だ、なかなか～できない」

パリでは、(涼しいので) 3 日、時には 4 日間死者とともに霊安室で過ごす。

À Paris, on reste avec le mort trois, quatre jours quelquefois.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

À Paris, ア・パリ adv. パリでは

「副詞句」

on オン pron 人々は

「主語」

reste レスト 3 単現(rester)v.i とどまる

「動詞」

avec le mort アヴ・ェッキ・ル・モール adv. 故人と共に、死者とともに

「副詞句」

trois, quatre jours quelquefois. トル・ア・クワトル・ジュール・ケルクワ

adv. 3 日、時には 4 日間

「副詞句」

(暑い地域の) ここではそんな時間はない。身内の死に対して十分に思いを馳せる時間の余裕もなく、もう霊柩車の後を急いで追わなければならないのだ。

Ici on n'a pas le temps, on ne s'est pas fait à l'idée que déjà il faut courir derrière le corbillard. 「副詞」 「主語」 「動詞」 「目的語」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞節」

Ici イシ adv. ここでは

「副詞」

on オン pron 人は

「主語」

n'a pas ナ・パ 3 単現・否定(avoir)v.t ない

「動詞」

le temps, ル・トン n.m そんな時間は

「目的語」

on オン pron 人は

「主語」

ne s'est pas fait ス・セ・パ・フェ 3 単現・完了形・否定(se faire)

v.pr (à に) 慣れていなかった

「動詞句」

se faire à... 「～に慣れる」

à l'idée ア・リデ adv. 死に対する想念に

「間接目的語」

que ク conj. ～する時に

「副詞節」

déjà デジャ adv. もう

「副詞」

il faut +不定詞 イ・フォ 3 単現(falloir)v. ～しなければならない

「動詞句」

courir クール 不定詞 v.i 走る、急いで行く

「動詞」

derrière le corbillard. デリエール・ル・コルビヤール adv. 霊柩車の後を

「副詞句」

「～する時に、... しなければならないかった」

身内の死に対して懐かしみ、そして決別する気持ちの整理がつかないうちに、...

その時門番の妻が彼に言った：「あなた、お止めなさい。この方にそんな事を話さなくてもいいでしょうに。」

Sa femme lui avait dit alors: «Tais-toi, ce ne sont pas des choses à raconter à monsieur.»

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」：《「動詞」「呼びかけ」「主語」「動詞」「補語」》
Sa femme サ・ファム n.f 門番の妻が 「主語」
lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
avait dit アヴェ・ディ 3 単半・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
alors: アロー adv. その時 「副詞」
Tais テ 命・2 単現(taire)v.t そんな事言うんじゃない 「動詞」
toi, トゥワ pron あなた 「呼びかけ」
ce ス pron それは 「主語」
ne sont pas ス・ソ・パ° 3 複現・否定(être)v.i ~でない 「動詞」
des choses デ・ショズ° pl.n 物事 「補語」
à raconter ア・ラコンテ adj. 話すべき 「形容詞句」
à monsieur. ア・ムシユー adv. この方に 「間接目的語」

当の老人は顔を赤らめて、弁解した。

Le vieux avait rougi et s'était excusé. 「主語」「動詞句」 et 「動詞句」

Le vieux ル・ヴィヨ n.m 当の老人は 「主語」
avait rougi アヴェ・ルジ° 3 単半・完了形(rougir)v.i 顔を赤らめた 「動詞句」
et エ conj. そして
s'était excusé. セ・エキスキゼ° 3 単半・完了形(s'excuser)v.pr 弁解した 「動詞句」

僕は間をとりなして言った：「いえいえ、だいじょうぶですよ」

J'étais intervenu pour dire: «Mais non. Mais non.»

「主語」「動詞句」「副詞句」：《「応答」》
J' ジュ pron 僕は 「主語」
étais intervenu エ・アンテルヴ・ニユ 1 単半・完了形(intervenir)v.i 仲裁した 「動詞句」
pour dire: プール・ディール adv. (結果) そして言った 「副詞句」
Mais non. Mais non. メ・ノン・メ・ノン adv. いえいえ、だいじょうぶですよ 「応答」

僕は彼が言った事が正しくて興味深く思われた。

Je trouvais ce qu'il racontait juste et intéressant. 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
trouvais トルヴァ 1 単半(trouver)v.t (SVOC) O が C だと思った 「動詞」
ce ス pron これ 「目的語」
qu' ク pron ~する 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」
racontait ラコンテ 3 単半(raconter)v.t 話した 「動詞」
juste et intéressant. ジュスト・エ・アンテレス adj. 正しくて興味深い 「補語」

小さな霊安室で、彼は生活困窮者としてこの養老院に收容されたことを僕に話してくれた。

Dans la petite morgue, il m'a appris qu'il était entré à l'asile comme indigent.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Dans la petite morgue, ドン・ラ・プティット・モルク adv. その小さな霊安室で 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a appris ア・アプリ 3 単現・完了形(apprendre)v.t 教えてくれた、話してくれた 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
était entré エテ・オントレ 3 単半・受動(entrer)
v.t 入れられた、收容された 「動詞句」
à l'asile ア・ラジール adv. この養老院へ 「副詞句」
comme indigent. コム・アンディージュン adv. 生活困窮者として 「副詞句」

彼は自分はまだ元気だと思っていたので、自分からこの門番の仕事を志願したのだった。

Comme il se sentait valide, il s'était proposé pour cette place de concierge.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

Comme コム conj. ～なので 「副詞節」
il イル pron 彼は 「主語」
se sentait ス・ソテ 3 単半(se sentir)v.pr 自分は～だと感じた 「動詞句」
valide, ヴァリット adj. 壮健な、健康な 「補語」
il イル pron 彼は 「主語」
s'était proposé セテ・プ・ロポゼ 3 単半・完了形(se proposer)
v.pr (pout として) 志願した、申し出た 「動詞句」
pour cette place de concierge. プール・セット・プラス・ト・ウ・コンシエルジュ
adv. この門番の職を 「間接目的語」

僕は、「それは結局、養老院の入寮者ということですね」と指摘した。

Je lui ai fait remarquer qu'en somme il était un pensionnaire.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai fait remarquer エ・フェ・ルマルク 1 単現・完了形(faire remarquer v.t 指摘する)

v.t 指摘した 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ 「直接目的語」

en somme オン・ソム adv. 結局、要するに 「副詞句」

il イル pron それは (番人として働くことは) 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

un pensionnaire. アン・ポ・ンシヨネル n.m (養老院の) 入寮者 「補語」

彼は僕に、「それは違う」と答えた。

Il m'a dit que non. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形((dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ～ということ 「直接目的語」

non. ノン adv. いいや、違う 「応答」

僕は彼の言葉遣いにもう気づいていた。彼は養老院の入寮者について話す時、「彼ら」とか「他の連中」とか、ごくまれにその中の何人かは彼よりも歳下であっても「年寄りたち」と呼ぶのであった。

J'avais déjà été frappé par la façon qu'il avait de dire: «ils», «les autres», et plus rarement «les vieux», en parlant des pensionnaires dont certains n'étaient pas plus âgés que lui.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais déjà été frappé アヴ・ェ・デ・ジヤ・エテ・フラヘ 1 単半・完了形・受動(frapper+ déjà)

v.t もう気づいていた 「動詞句」

par la façon パール・ラ・ファソン adv. 仕方に 「間接目的語」

qu' ク pron ～する 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

avait アヴ・ェ 3 単半(avoir)v.t 持つ動詞 「動詞」

de dire: トゥ・ディール adj. 言うための 「形容詞句」

→ 彼の言い方、呼び方 la façon de dire に qu'il avait が挿入されている

«ils», «les autres», et plus rarement «les vieux», イル・レゾートル・エ・プ リュ・ラルモン・レ・ヴィユ

n. 「彼ら」とか「他の連中」とか、ごくまれに「年寄りたち」

「目的語」

en parlant オン・パルン ジェルンディオ(parler)

v.i ～について話す時に 「副詞句」

des pensionnaires テ・ポ・ンシヨネル pl.n. 入寮者たち 「間接目的語」
dont certains トン・セルタン pl.n. その中の何人かは 「形容詞節」
n'étaient pas ネ・パ 3 複半・否定(être)
v.i ~でない 「動詞」
plus âgés que lui. プリュ・アジエ・ク・リュイ
adj. 彼より年上の 「補語」

しかし、この呼び方は同じことではない。

Mais naturellement, ce n'était pas la même chose. Mais 「副詞」「主語」「動詞」「補語」
Mais メ conj. しかし
naturellement, ナチュレルモン adv. 当然 「副詞」
ce ス pron この呼び方は 「主語」
n'était pas ネ・パ 3 単半・否定(être)v.i ~でなかった 「動詞」
la même chose. ラ・メーム・ショーズ n.f 同じこと 「補語」

彼は門番である、そしてある程度、彼らに対して権限がある。

Lui était concierge, et, dans une certaine mesure, il avait des droits sur eux.
「主語」「動詞」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
Lui リュイ pron 彼は 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
concierge, コンシエルジエ n.m 門番 「補語」
et, エ conj. そして
dans une certaine mesure, トン・ジユンヌ・セルテヌ・ムジユール adv. ある程度は 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t ある 「動詞」
des droits テ・ドルワ pl.n.m 権限 「目的語」
sur eux. シュール・ウー adv. 彼らに対して 「副詞句」

この時看護婦が入ってきた。

La garde est entrée à ce moment. 「主語」「動詞句」「副詞句」
La garde ラ・ギャルトゥ n.f 看護婦 「主語」
est entrée エ・オントレ 3 単現・完了形.f(entrer)v.i 入ってきた 「動詞句」
à ce moment. ア・ス・モメン adv. この時 「副詞句」

あっという間に日が暮れてしまっていた。

Le soir était tombé brusquement. 「主語」「動詞句」「副詞」
Le soir ル・スワール n.m 夕方は 「主語」
était tombé エテ・トンベ 3 単半・完了形(tomber)v.i 落ちてしまっていた 「動詞句」
Le soir tombe. 「日が暮れる」
brusquement. ブリュスクモン adv. 急に、あっという間に 「副詞」

急速に、夜がガラス張りの屋根の上で厚みを増していた。

Très vite, la nuit s'était épaissie au-dessus de la verrière.
「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
Très vite, トレ・ヴィット adv. 急速に 「副詞句」
la nuit ラ・ニュイ n.f 夜が 「主語」
s'était épaissie セテ・エペシ 3 単半・完了形.f(s'épaissir)v.pr 濃くなっていた 「動詞句」
au-dessus de オ・トウシュ・ドゥ adv. 〜の上で 「副詞句」
la verrière. ラ・ヴェリエール n.f ガラス張りの屋根 「目的語」

門番がスイッチをひねって入れた、すると突然ほとばしった光のために、僕は目が眩んだ。

Le concierge a tourné le commutateur et j'ai été aveuglé par l'éclaboussement soudain de la lumière. 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」
Le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番は 「主語」
a tourné ア・トルネ 3 単現・完了形(tourner)v.t 回して入れた 「動詞句」
le commutateur ル・コムタテール n.m (電気の) スイッチを 「目的語」
et エ conj. そして
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai été aveuglé エ・エテ・アヴグレ 1 単現・完了形・受動(aveugler)v.t 目が眩んだ 「動詞句」
par l'éclaboussement soudain パール・レクラブスモン・スタン
adv. 突然のほとばしりのために 「副詞句」
de la lumière. トゥ・ラ・リュミエール adj. 光の 「形容詞句」

彼は僕に、食堂へ行って夕食を食べるように勧めた。

Il m'a invité à me rendre au réfectoire pour dîner. 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」
Il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron ぼくに 「目的語」
a invité ア・アンヴィテ 3 単現・完了形(inviter)
v.t (qn à+不定詞) (人に) 〜するよう勧めた 「動詞句」
à +不定詞 ア 不定詞 v. 〜すること 「補語」

me rendre ム・ロントル 不定詞(se rendre)v.pr (à に) 行く 「動詞」
au réfectoire オ・レフェクトワール adv. 食堂へ 「副詞句」
pour dîner. プール・ディネ adv. 夕食を食べるために 「副詞句」

しかし僕は空腹ではなかった。

Mais je n'avais pas faim. Mais 「主語」「動詞句」「目的語」
Mais メ conj. しかし
je ジュ pron 僕は 「主語」
n'avais pas ナヴェ・パ 1 単半・否定(avoir)v.t (+無冠詞名詞) 〜でなかった 「動詞句」
faim. ファム n.f 空腹 「目的語」

それで彼は、カフェ・オ・レを一杯持って来ましようと言ってくれた。

Il m'a offert alors d'apporter une tasse de café au lait. 「主語」「間接目的語」「動詞句」
Il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a offert alors d'apporter ア・オフェール・アロー・ダボ ルテ 3 単現・完了形(offrir à qn de+不定詞+alors)
v.t それで (人に) 〜を持ってくることを申し出た 「動詞句」
une tasse de café au lait. エヌ・タス・トウ・キャフェ・オ・レ
n.f カフェ・オ・レを一杯 「目的語」

僕はカフェ・オ・レが大好きなので、そうしてもらった。すると少ししてからお盆に乗せて戻ってきた。

Comme j'aime beaucoup le café au lait, j'ai accepté et il est revenu un moment après avec un plateau. 「副詞節」, 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」
Comme コム conj. 〜なので 「副詞節」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
aime エム 1 単現(aimer)v.t 好きである 「動詞」
beaucoup ボク adv. とても 「副詞」
le café au lait, ル・キャフェ・オ・レ n.m カフェ・オ・レが 「目的語」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai accepté エ・アクセプテ 1 単現・完了形(accepter)v.t 申し出を受け入れた 「動詞句」
et エ conj. そして
il イル pron 彼は 「主語」
est revenu エ・ルヴニユ 3 単現・完了形(revenir)v.i 戻ってきた 「動詞句」
un moment après アン・モモン・アプレ adv. 少ししてから 「副詞句」
avec un plateau. アヴェ・エッキ・アン・プラト adv. お盆に乗せて 「副詞句」

僕は飲んだ。その時、タバコが吸いたくなった。

J'ai bu. J'ai eu alors envie de fumer.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai bu. エ・ビュ 1 単現・完了形(boire)v.t 飲んだ 「動詞句」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t (+無冠詞名詞) 〜だった、〜になった 「動詞句」
alors アー adv. その時 「副詞」
envie de fumer. オンヴィー・ドゥ・フュメ n.f タバコを吸う欲望 「目的語」

しかし、母さんの前で煙草を吸ってよいのかどうか分からなかったもので、ためらっていた。

Mais j'ai hésité parce que je ne savais pas si je pouvais le faire devant maman.

Mais 「主語」「動詞句」「副詞節」

Mais メ conj. しかし
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai hésité エ・エジテ 1 単現・完了形(hésiter)v.i ためらっていた 「動詞句」
parce que パルス・ク conj. 〜なので 「副詞節」
je ジュ pron 僕は 「主語」
ne savais pas ヌ・サヴァ・パ 1 単半・否定(savoir)v.t 分からなかった 「動詞句」
si シ conj. 〜かどうかということ 「目的語」
je ジュ pron 僕は 「主語」
pouvais +不定詞 プゥヴェ 1 単半・許可・時制の一致(pouvoir+不定詞)
v. 〜してよい 「動詞句」
le ル pron そんなことを(煙草をすうこと) 「目的語」
faire フェール 不定詞 v.t する 「動詞」
devant maman. ドゥヴァン・マモン adv. 母さんの前で 「副詞句」

少し考えて、大した問題ではないと思った。

J'ai réfléchi, cela n'avait aucune importance. 「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai réfléchi, エ・レフシ 1 単現・完了形(réfléchir)v.i よく考えた、考えてみた 「動詞句」
cela スラ pron それは(タバコを吸う事) 「主語」
n'avait ナヴァ 3 単半・否定(avoir)v.t なかった 「動詞」
aucune importance. オキュヌ・アンポルトンス n.f (否定文で) 大したことは〜ない 「目的語」

僕はタバコを 1 本門番に差し出して、一緒に吸った。

J'ai offert une cigarette au concierge et nous avons fumé.

| | | |
|---|-------------------------|--------------|
| | 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」 | et 「主語」「動詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | | 「主語」 |
| ai offert エ・オフェール 1 単現・完了形(offrir)v.t 差し出した | | 「動詞句」 |
| une cigarette ユヌ・シガレット n.f タバコを 1 本 | | 「直接目的語」 |
| au concierge オ・コンシェルジュ adv. 門番に | | 「間接目的語」 |
| et エ conj. そして | | |
| nous ヌ pron 二人で | | 「主語」 |
| avons fumé. ヲヴ・オン・フュメ 1 複現・完了形(fumer)v.i (タバコを) 吸った | | 「動詞句」 |

ふと、彼が僕に言った。

À un moment, il m'a dit:

| | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」 |
| À un moment, ア・ウン・モモン adv. ある時、ふと | 「副詞句」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |

「ところで、お通夜にはお母さまのお友達も来ることになっています。これはしきたりです。わたしは、椅子やブラック・コーヒーを取りに行かなければなりません」

«Vous savez, les amis de madame votre mère vont venir la veiller aussi. C'est la coutume. Il faut que j'aille chercher des chaises et du café noir.»

| | |
|---|-------------------------------|
| | 《「呼びかけ」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」 |
| | 「主語」「動詞」「補語」 「動詞句」「主語」》 |
| Vous savez, ヴァ・サヴェ adv. ご存じの通り、ところで | 「呼びかけ」 |
| les amis レ・ザミ pl.n. お友達は | 「主語」 |
| de madame votre mère ドゥ・マダム・ヴァートル・メル adj. あなたのお母さんの「形容詞句」 | |
| vont venir ヴァン・ヴァニール 3 複現・近接未来(aller+不定詞) | |
| v.i 来ることになっています | 「動詞句」 |
| la veiller ラ・ヴェイエ n.f お通夜に | 「間接目的語」 |
| aussi. オシ adv. 同様に、～もまた | 「副詞」 |
| C' ス pron これは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| la coutume. ラ・クチュム n.f しきたり、慣例、慣習 | 「補語」 |
| Il faut que イフ・ク 3 単現(Il faut que+接続法)v.h ～しなければならない | 「動詞句」 |
| j' ジュ pron 私は | 「主語」 |

aille chercher アユ・シェルシェ 接・1 単現・意思(aller+不定詞)

v.t. ～を取りに行きます

「動詞句」

des chaises デ・シェズ pl.n.f. いくつかの椅子

「目的語」

et エ conj. そして

du café noir. ジュ・キャフェ・ヌワール n.m. ブラック・コーヒーを

「目的語」

僕は彼に、電灯を1つ消してもらえないか、と尋ねた。

Je lui ai demandé si on pouvait éteindre une des lampes.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai demandé エ・ト・モンテ 1 単現・完了形(demander)v.t. 尋ねた

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

on オン pron あなたは、人は

「主語」

pouvait éteindre プ・ヴェ・エタンドル 3 単半・可能(pouvoir+不定詞)

v.t. を消すことができる

「動詞句」

une des lampes. エヌ・デ・ロンプ n.f. 電灯を1つ

「目的語」

白い壁から反射する閃光で、僕はうんざりしていたのだ。

L'éclat de la lumière sur les murs blancs me fatiguait.

「主語」「目的語」「動詞」

L'éclat de la lumière レクラ・ト・ウ・ラ・リュミエール n.m. 灯りの閃光が

「主語」

éclat エクラ n.m. 輝き、閃光 lumière リュミエール n.f. 光、明かり

sur les murs blancs シュール・レ・ミユール・ブロン adj. 白い壁から反射する

「形容詞句」

me ム pron 僕を

「目的語」

fatiguait. ファティゲ 3 単半(fatiguer)v.t. うんざりさせた

「動詞」

彼は僕に、それは出来ない、と言った

Il m'a dit que ce n'était pas possible.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t. 言った

「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「直接目的語」

ce ス pron それは

「主語」

n'était pas ネ・パ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i. ～でない

「動詞」

possible. ホ・ッシェブル adj. (否定文で) 出来ない

「補語」

配線工事がそのようにされていて、全ての明かりを点けるか消すかだった。

L'installation était ainsi faite : c'était tout ou rien.

「主語」「動詞句」:「主語」「動詞」「補語」
L'installation ランスタシヨン n.f 配線工事が 「主語」
était ainsi faite: エテ・アンシ・フェ 3 単半・受動(faire)v.t そのようにされていた 「動詞句」
ainsi アンシ adv. そのように faire フェール v.t する
c' ス pron それは 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
tout ou rien. トウ・ウ・リヤン adj. 全ての明かりを点けるか消すか 「補語」

僕はもうあまり彼が気にならなくなっていた。

Je n'ai plus beaucoup fait attention à lui. 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
n'ai plus beaucoup fait ネ・フリュ・ボク・フェ 1 単現・完了形・否定(faire)
v.t もうあまり〜しなくなっていた 「動詞句」
attention アトシヨン n.f 気配りを 「直接目的語」
à lui. ア・リュイ adv. 彼に対して 「間接目的語」

彼は部屋を出てから、戻って来て、椅子を並べた。

Il est sorti, est revenu, a disposé des chaises.

「主語」「動詞句」, 「動詞句」, 「動詞句」「目的語」
Il イル pron 彼は 「主語」
est sorti, エ・ソルティ 3 単現・完了形(sortir)v.i 出て行った 「動詞句」
est revenu, エ・ルヴニユ 3 単現・完了形(revenir)v.i 戻ってきた 「動詞句」
a disposé ア・ディスポゼ 3 単現・完了形(disposer)v.t 並べた 「動詞句」
des chaises. デ・シェーズ pl.n.f 椅子を 「目的語」

一つの椅子の上に、コーヒーポットをぐるりと囲んでカップを積み重ねた。

Sur l'une d'elles, il a empilé des tasses autour d'une cafetière.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
Sur l'une d'elles, シュール・ユンス・テル adv. 一つの椅子の上に 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
a empilé ア・オピレ 3 単現・完了形(empiler)v.t 積み重ねた 「動詞句」
des tasses テ・タス pl.n.f カップを 「目的語」
autour d'une cafetière. オトゥール・ド・ユンス・カフティエール adv. コーヒーポットの周りに 「副詞句」
autour オトゥール adv. (de) 〜の周りに cafetière カフティエール n.f コーヒーポット

それから、彼は母さんの向こう側の僕の正面に座った。

Puis il s'est assis en face de moi, de l'autre côté de maman.

「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Puis ピュイ adv. それから 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

s'est assis セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」

en face de moi, オン・ファストゥ・ムわ adv. 僕の正面に 「副詞句」

de l'autre côté トゥ・オートル・コテ adv. 反対側の 「形容詞句」

de maman. トゥ・マモン adv. 母さんから 「副詞句」

看護婦も部屋の奥でこちらに背を向けて座っていた。彼女が何をしているか見えなかった。

La garde était aussi au fond, le dos tourné. Je ne voyais pas ce qu'elle faisait.

「主語」 「動詞」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞句」 「目的語」

La garde ラ・ギャルト n.f 看護婦は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~いた、座っていた 「動詞」

aussi オン adv. もまた 「副詞」

au fond, オ・フオン adv. 部屋の奥に 「副詞句」

le dos ル・ド n.m ~の背中で 「副詞句」

tourné. トゥルネ 過去分詞(tourner)v.t 向けた 「形容詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

ne voyais pas ヌ・ヴァイ・パ 1 単半・否定(voir)v.t 見えなかった 「動詞句」

ce ス pron ことが 「目的語」

qu' ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」

elle エル pron 彼女が 「主語」

faisait. フェ 3 単半(faire)v.t していた 「動詞」

しかし彼女の腕の動きから、どうやら編み物をしているらしいと思った。

Mais au mouvement de ses bras, je pouvais croire qu'elle tricotait.

Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Mais メ conj. しかし

au mouvement オ・ム・ヴァモン adv. 動きで 「副詞句」

de ses bras, トゥ・セ・ブラ adj. 彼女の腕の 「形容詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

pouvais croire プ・ヴァエ・クルわ・ル 1 単半・可能(pouvoir+不定詞)

v.t ~と推察することができた 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ 「目的語」
elle エル pron 彼女は 「主語」
tricotait. トリコテ 3 単半・時制の一致(tricoter)v.i 編み物をしている 「動詞」

穏やかな夜だった。コーヒーが僕の体を温めてくれた。開いた戸口からは、夜と花のにおいが入ってきた。僕は少しうとうとしたと思う。

Il faisait doux, le café m'avait réchauffé et par la porte ouverte entraient une odeur de nuit et de fleurs. Je crois que j'ai somnolé un peu.

「動詞句」「補語」, 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「副詞句」「動詞」「主語」
「主語」「動詞」「目的語」

Il faisait イル・フェ 3 単半(faire)v.h (天候などを示す) ～だった 「動詞句」
doux, トゥ adj. (気候が) 穏やかな、温暖な 「補語」
le café ル・キャフェ n.m コーヒーが 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」
avait réchauffé アヴ・ェ・レショフェ 3 単半・完了形(réchauffer)v.t (人の体) を温めた 「動詞句」
et エ conj. そして
par la porte ouverte パール・ラ・ポルト・ウヴェルト adv. 開いた戸口から 「副詞句」
entrait オントレ 3 単半(entrer)v.i 入ってきた 「動詞」
une odeur ユヌ・オデール n.f においが 「主語」
de nuit et de fleurs. トゥ・ニユイ・エ・トゥ・フレール advj. 夜と花の 「形容詞句」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
crois クルわ 1 単現(croire)v.t (que ～だと) 思う 「動詞」
que ク conj. ～ということ 「目的語」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai somnolé エ・ソムレ 1 単現・完了形(somnoler)v.i うとうとした 「動詞句」
un peu. アン・プ adv. 少し 「副詞句」

軽く触れる音で、僕は目が覚めた。

C'est un frôlement qui m'a réveillé. 「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron 形式主語 (本当の主語は qui 以降) 強調構文
est エ 3 単現 (être) v.i ～である 「動詞」
un frôlement アン・フロールモン n.m 軽く触れる音 「補語」
qui キ pron (主語) ～するのは 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」
a réveillé. ア・レヴエイエ 3 単現・完了形(réveiller)v.t 起こした 「動詞句」
僕を起こしたのは、軽く触れる音だ。

眼を閉じていたせいで、白い部屋が僕にはさらにまぶしく思われた。

D'avoir fermé les yeux, la pièce m'a paru encore plus éclatante de blancheur.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「補語」
D'+不定詞・完了形 トゥ adv. (理由) ～していたので 「副詞句」
avoir fermé アヴ' わ・ル・フェルメ 不定詞・完了形 v.t を閉じていた 「動詞句」
les yeux, レ・ジユ pl.n.m 眼を 「目的語」
la pièce ラ・ピエス n.f 部屋は 「主語」
m' ム pron 僕にとって 「間接目的語」
a paru ア・パリュ 3 単現・完了形(praître)v.i ～のように見えた 「動詞句」
encore plus éclatante オンコール・プ' リュ・エクラント adj. さらにまばゆい 「補語」
de blancheur. トゥ・ブ' ロンシール adv. 白さのために 「副詞句」

僕の目の前には全く影がなくて、すべての物が、すべての角がそして全ての曲線が、目障りなほど正確に、くっきりと姿を現していた。

Devant moi, il n'y avait pas une ombre et chaque objet, chaque angle, toutes les courbes se dessinaient avec une pureté blessante pour les yeux.

「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
Devant moi, トゥヴァ' オン・ムわ adv. 僕の前には 「副詞句」
il n'y avait pas イル・ニ・アヴ' ェ・パ' 3 単半・否定・存在(avait)v.t 無かった 「動詞句」
une ombre ユヌ・オンブル n.f 影が 「目的語」
et エ conj. そして
chaque objet, シャッキ・オブジェ n.m すべての物が 「主語」
chaque angle, シャッキ・オングル n.m すべての角が 「主語」
toutes les courbes トゥット・レ・クルブ' pl.n.f すべての曲線が 「主語」
se dessinaient ス・デシネ 3 複半(se dessiner)v.pr くっきりと姿を現していた 「動詞句」
avec une pureté アヴ' エッキ・ユヌ・ピ' ユルテ adv. ～の正確さで 「副詞句」
blessante ブレソント 現在分詞(blessier)v.t 不快感を与える程の 「形容詞句」
pour les yeux. プール・レ・ジユ adv. 眼に 「間接目的語」

その時、母さんの友人たちが入ってきた。

C'est à ce moment que les amis de maman sont entrés.

「動詞」 「補語」 「主語」
C' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 節) 強調構文
est エ 3 単現 (être) v.i ～である 「動詞」
à ce moment ア・ス・モメン adv. その時 「補語」
「時間」を強調する場合は、「その時間に～する」と翻訳する

que ク conj. ～ということ 「主語」
les amis de maman レ・ザミ・ドゥ・マン pl.n. 母さんの友人たちが 「主語」
sont entrés. ヲン・オントレ 3 複現・完了形(entrer)v.i 入ってきた 「動詞句」

彼らは、合わせて 10 人くらいだった。皆、あまり高く足を上げずに床の上をすべるように、
このまばゆい光の中を進んできた。

Ils étaient en tout une dizaine, et ils glissaient en silence dans cette lumière aveuglante.

「主語」「動詞」「副詞句」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
étaient エテ 3 複現 (être) v.i ～だった 「動詞」
en tout オン・トゥ adv. みんなで、全部合わせて 「副詞句」
une dizaine, ユンヌ・デゼーヌ n.f 10 人くらい 「補語」
et エ conj. そして
ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
glissaient グリセ 3 複半(glisser)v.i あまり足を上げずに滑るように進んできた 「動詞句」
en silence オン・シロンヌ adv. 静かに 「副詞句」
dans cette lumière トン・セツ・リュミエール adv. この明かりの中を 「副詞句」
aveuglante. アヴ・グロント adj. 眼をくらませる 「形容詞」

彼らは、どの椅子もきしませることなく静かに着席した。

Ils se sont assis sans qu'aucune chaise grinçât. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
se sont assis ス・ソン・タシ 3 複現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
sans qu'+接続法 ヲン・ク adv. ～することなしに、(その結果)～しなかった 「副詞句」
aucune chaise オキュヌ・シェーズ n.f いかなる椅子も～ない 「主語」
grinçât. グランシャ 接・3 単半(grincer)v.i きしんだ 「動詞」
彼らは座ったが、どの椅子も軋まなかった。

僕はこれまでに人というものを一度も見ることがないというほどに彼らを見つめた、そして
彼らの顔や服のほんの細部までも僕の目ははっきりと捕らえていた。

Je les voyais comme je n'ai jamais vu personne et pas un détail de leurs visages ou de leurs habits ne m'échappait.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞節」 et 「動詞句」「主語」「動詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
les レ pron.pl 彼らを 「目的語」
voyais ヴァワイ 1 単半(voir)v.t 見た 「動詞」

comme コム conj. ーのように 「副詞節」
je ジェ pron 僕は 「主語」
n'ai jamais vu ネ・ジャメ・ヴェ 1 単現・完了形(voir)
v.t 一度も見たことがない 「動詞句」
主節と同じ voir が複合型で使用されているので、「一度も見たことがないほどに」となる
personne ペルソヌ pron 誰もーない 「目的語」
et エ conj. そして
pas パ adv. (主語の否定・強調) いかなるーもない 「動詞句」
un détail ウン・デタイユ n.m 細部が、詳細 「主語」
de leurs visages トゥ・レル・ヴィザージュ adj. 彼らの顔の 「形容詞句」
ou ウ conj. または、ーも
de leurs habits トゥ・レル・アビ adj. 彼らの服の 「形容詞句」
ne m'échappait. ヌ・メシャペ 3 単半(échapper+me)v.i 僕から逃れなかった 「動詞句」

けれども彼らの声が聞こえなかったので、彼らが本当にそこにいるとは信じ難かった。

Pourtant je ne les entendais pas et j'avais peine à croire à leur réalité.

「副詞」「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「間接目的語」
Pourtant プールタン adv. しかし、けれども 「副詞」
je ジェ pron 僕は 「主語」
ne les entendais pas ヌ・レ・ザンタンデ・パ 1 単半・否定(entendre+les)
v.t 彼らの声は聞こえなかった 「動詞句」
et エ conj. それで
j' ジュ pron 僕は 「主語」
avais peine à croire アヴェ・ペーヌ・ア・クルワール 1 単半・可能・否定(avoir peine à+不定詞)
v.i (à を) 信じ難かった 「動詞句」
avoir peine à+不定詞 「ーし難い、かろうじてーできる」
à leur réalité. ア・レル・リアリテ adv. 彼らの実在性を 「間接目的語」

女たちはほとんど全員がエプロンをしていた。そして彼らの胴回りを締め付けていたエプロンの紐が、膨れ上がった腹部をさらに目立たせていた。

Presque toutes les femmes portaient un tablier et le cordon qui les serrait à la taille faisait encore ressortir leur ventre bombé.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
Presque toutes les femmes プレスキ・トゥット・レ・ファム pl.n.f ほとんど全ての女は 「主語」
presque プレスキ adv. ほとんど、ほぼ
portaient ポルテ 3 複半(porter)v.t (衣服を) 着ていた 「動詞」

un tablier アン・タブリエ n.m エプロンを 「目的語」
et エ conj. そして
le cordon ル・コルトン n.m 紐が 「主語」
qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
les レ pron 彼らを 「目的語」
serrait セレ 3 単半(serrer)v.t 締めていた、縛っていた 「動詞」
à la taille ア・ラ・タイユ adv. 腰回りを 「副詞句」
faisait encore ressortir フェ・オンコール・ルソルティール 3 単半・使役(faire+不定詞+encore)
v.t さらに目立たせていた 「動詞句」
leur ventre bombé. レル・ウ・ヴォントル・ボンベ n.m 膨れ上がった腹部を 「目的語」
ventre ウ・ヴォントル n.m 腹、腹部 bombé ボンベ adj. 張り出した、突き出た

歳をとった女の腹がこれほど膨れあがるとは、今まで全く気にすることがなかった。

Je n'avais encore jamais remarqué à quel point les vieilles femmes pouvaient avoir du ventre.
「主語」「動詞句」「間接目的語」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
n'avais encore jamais remarqué ナヴェ・ゾンコール・ジヤメ・ルマルケ 1 単半・完了形(remarquer)
v.t 今までに一度も注目することがなかった 「動詞句」
à quel point ア・ケル・プ・ワソ adv. どの程度まで～であるかということ 「間接目的語」
les vieilles femmes レ・ウ・エイユ・ファム pl.n.f 歳をとった女が 「主語」
pouvaient avoir プヴァ・エ・アウ・ワル 3 複半・可能(pouvoir+不定詞)
v.t 持つことが出来る 「動詞句」
du ventre. ジュ・ウ・ヴォントル n.m 腹を 「目的語」

男たちはほとんどがひどく痩せていて、両手に杖をついていた。

Les hommes étaient presque tous très maigres et tenaient des cannes.
「主語」「動詞」「補語」 et 「動詞」「目的語」
Les hommes レ・ゾム pl.n.m 男たちは 「主語」
étaient エテ 3 複半(être)v.i ～だった 「動詞」
presque tous très maigres プレスキ・トウ・トレ・メーグール adj. ほとんどがひどく痩せた 「補語」
et エ conj. そして
tenaient トゥネ 3 複半(tenir)v.t 持っていた 「動詞」
des cannes. テ・カヌ pl.n.f 杖を 「目的語」

彼らの顔の中で僕の関心を引いたのは、彼らの目が見当たらず、顔のしわが集まったその真ん中にどんよりとしたほのかな光だけが見えたことだ。

Ce qui me frappait dans leurs visages, c'est que je ne voyais pas leurs yeux, mais seulement une lueur sans éclat au milieu d'un nid de rides. 「主語」「動詞」「補語」
Ce ス pron 事は 「主語」
qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
me ム pron 僕を 「目的語」
frappait フラ^パ 3 単半(frapper)v.t (関心を) 引いた 「動詞」
dans leurs visages, ドン・レール・ヴァイザージュ adv. 彼らの顔の中で 「副詞句」
c' ス pron それは 「主語」
est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
que ク conj. ～ということ 「補語」
je ジュ pron 僕は 「主語」
ne voyais pas ヌ・ヴァ^ワ・パ^パ 1 単半・否定(voir)v.t 見えなかった 「動詞句」
leurs yeux, レール・ジュー pl.n.m 彼らの目 「目的語」
mais メ conj. しかし
seulement スルモン adv. ～だけ 「副詞」
une lueur ユンヌ・リュエル n.f ほのかな光 「目的語」
sans éclat ツン・エクラ adv. 地味に、どんよりと 「副詞句」
au milieu オ・ミュー adv. 真ん中に 「副詞句」
d'un nid ダン・ニ adj. たまり場の 「形容詞句」
de rides. ドゥ・リッド^ド adj. 顔のしわの 「形容詞句」

彼らが座った時、大部分の老婆たちは僕を見つめて、歯のない口で唇をしっかりと噛みしめて遠慮がちに頭を上下に振った。それが、僕に挨拶しているのかそれとも妙な癖なのか僕には分からなかった。

Lorsqu'ils se sont assis, la plupart m'ont regardé et ont hoché la tête avec gêne, les lèvres toutes mangées par leur bouche sans dents, sans que je puisse savoir s'ils me saluaient ou s'il s'agissait d'un tic.

「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「動詞句」「目的語」「副詞句」
「副詞句」, 「副詞節」

Lorsqu' ロルスキ conj. ～した時 「副詞節」
ils イル pron.pl 彼らが 「主語」
se sont assis, ス・ツン・タシ 3 複現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
la plupart ラ・プリュパール n.f 大部分の老婆たちは 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」

| | | | | |
|-----------------------------|--------------------|----------------------------|-------------|---------|
| ont regardé | オン・ルギヤルデ | 3 複現・完了形(regarder)v.t | 見つめた | 「動詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| ont hoché | オン・オシェ | 3 複現・完了形(hocher)v.t | (首を) 上下に振った | 「動詞句」 |
| la tête | ラ・テット | n.f | 頭を | 「目的語」 |
| avec gêne, | アヴェ・ェッキ・ジエヌ | adv. | 遠慮がちに | 「副詞句」 |
| les lèvres | レ・レーヴル | pl.n.f | 唇を、口元を | 「目的語」 |
| toutes mangées | トゥット・モンジエ | 過去分詞.f.pl(manger)v.t | しっかりかみしめて | 「副詞句」 |
| par leur bouche sans dents, | パール・レール・ブーシュ・ソントゥン | | | |
| adv. | 歯のない口によって | | | 「副詞句」 |
| sans que | ソン・ク | adv. | ～なしに | 「副詞節」 |
| je | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| puisse savoir | ビュイス・サヴ | わ・ル 接・1 単半・可能(pouvoir+不定詞) | | |
| v.t | 分かった | | | 「動詞句」 |
| s' | シ | conj. | ～かどうかということ | 「目的語」 |
| ils | イル | pron | 彼らは | 「主語」 |
| me | ム | pron | 僕に | 「目的語」 |
| saluaient | サルユエ | 3 複半(saluer)v.t | 挨拶していた | 「動詞」 |
| ou | ウ | conj. | または | |
| s' | シ | conj. | ～かどうかということ | 「目的語」 |
| il | イル | pron | 非人称 | |
| s'agissait d' | サジセ・トゥ | 3 単半(s'agir de qch) | | |
| v.pr | ～が問題だった、～に関わることだった | | | 「動詞句」 |
| un tic. | アン・チック | n.m | (無意識の) 妙な癖 | 「間接目的語」 |

どちらかというと、挨拶だったと思う。

| | | |
|---|--|-------------------|
| <u>Je crois plutôt qu'ils me saluaient.</u> | | 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | | 「主語」 |
| crois クルわ 1 単現(croire)v.t (que+直説法) 〜だと思う | | 「動詞」 |
| plutôt プリュト adv. どちらかというと | | 「副詞」 |
| qu' ク conj. 〜ということ | | 「目的語」 |
| ils イル pron 彼らは | | 「主語」 |
| me ム pron 僕に | | 「目的語」 |
| saluaient. サリュエ 3 複半(saluer)v.t 挨拶していた | | 「動詞」 |

この時、僕は気がついた。彼らは皆僕と向き合って、門番を囲んで軽く頭を揺すりながら座っていたのだ。

C'est à ce moment que je me suis aperçu qu'ils étaient tous assis en face de moi à dodeliner de la tête, autour du concierge. 「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron 仮の主語(真の主語は que 以降) 強調構文

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

à ce moment ア・ス・モメン adv. この時 「補語」

→ 「この時〜した」と翻訳する

que ク conj. 〜したのは 「主語」

je ジュ pron 僕が 「主語」

me suis aperçu ム・シュイ・アペルシュ 1 単現・完了形(s'apercevoir)

v.pr (que+直説法) 〜に気付いた 「動詞句」

qu' ク conj. 〜ということ 「目的語」

ils イル pron 彼らは 「主語」

étaient エテ 3 複半(être)v.i 〜だった 「動詞」

tous assis トゥ・アシ adj. みな座っていた 「補語」

en face de moi オン・ファス・ド・オウ・ムワ adv. 僕と向き合って 「副詞句」

à dodeliner ア・ドゥクリネ adv. 軽く揺すりながら 「副詞句」

de la tête, トゥ・ラ・テット adv. 頭を 「間接目的語」

autour du concierge. オトゥール・ジュ・コンシエルジュ adv. 門番の周囲に 「副詞句」

僕は一瞬、彼らは僕を裁くためにそこに居るのだという、奇妙な印象を受けた。

J'ai eu un moment l'impression ridicule qu'ils étaient là pour me juger.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」「形容詞節」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t 持った 「動詞句」

un moment アン・モメン adv. 一瞬 「副詞句」

l'impression ridicule ランプレシヨ・リディキュール n.f 奇妙な印象を 「目的語」

qu' ク pron (同格) 〜という 「形容詞節」

ils イル pron 彼らは 「主語」

étaient エテ 3 複半(être)v.i 〜にいた 「動詞」

là ラー adv. そこに 「副詞」

pour +不定詞 プール adv. 〜するために 「副詞句」

me ム pron 僕を 「目的語」

juger. ジュジエ 不定詞 v.t 裁く 「動詞」

少しすると、女たちの1人が泣き始めた。

Peu après, une des femmes s'est mise à pleurer. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」
 Peu après, プ・アプレ adv. 少しすると、間もなく 「副詞句」
 une des femmes エヌ・デ・ファム n.f 女たちの1人が 「主語」
 s'est mise à pleurer. セ・ミセ・ア・フル 3 単現・完了形.f・開始(se mettre à+不定詞)
 v.i 泣き始めた 「動詞句」
 mise は mettre の過去分詞 mis の女性形

彼女は2列目に座っていて、同僚の1人の陰に隠れていたの、僕は彼女の姿がよく見えなかった。

Elle était au second rang, cachée par une de ses compagnes, et je la voyais mal.
 「主語」 「動詞」 「副詞句」, 「副詞句」, et 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 était エテ 3 単現(être)v.i 〜にいた 「動詞」
 au second rang, オ・スゴン・ロン adv. 2 列目に 「副詞句」
 cachée カシェ 過去分詞.f(cacher)v.t 隠されて 「副詞句」
 par une de ses compagnes, パール・エヌ・ド・サ・セ・コンパニー
 adv. 同僚の一人によって 「副詞句」
 et エ conj. それで
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 la ラ pron 彼女を 「目的語」
 voyais ヴァワイ 1 単半(voir)v.t 見えた 「動詞」
 mal. マル adv. よく〜ない 「副詞」

彼女は規則的にしゃくりあげて泣いていた：彼女は泣き止まないように見えた。

Elle pleurait à petits cris, régulièrement : il me semblait qu'elle ne s'arrêterait jamais.
 「主語」 「動詞」 「副詞句」: 「間接目的語」 「動詞」 「主語」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 pleurait プル 3 単半(pleurer)v.i 泣いた 「動詞」
 à petits cris, ア・プティ・クリ adv. 小さな叫び声をあげて 「副詞句」
 régulièrement: レギュリエルモン adv. 規則正しく 「副詞」
 il イル pron 仮の主語(真の主語は qu'以降)
 me ム pron 僕には 「間接目的語」
 semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i 〜のように思われた 「動詞」
 qu' ク conj. 〜ということは 「主語」
 elle エル pron 彼女は 「主語」

ne s'arrêterait jamais. ヌ・サレトレ・ジヤメ 条・3 単現・否定(s'arrêter)

v.pr (+de pleurer が省略) 泣き止まないだろう

「動詞句」

この条件法現在では過去における未来の推測を表す

他の老人たちは、それが聞こえない様子だった。

Les autres avaient l'air de ne pas l'entendre.

「主語」「動詞」「目的語」

Les autres レ・ゾートル pl.pron 他の老人たちは

「主語」

avaient アヴェ 3 複半(avoir)v.t (状態) ~をしていた

「動詞」

l'air de +不定詞 レール・トゥ n.m ~する様子を

「目的語」

ne pas l'entendre. ヌ・パ・ロントトル 不定詞・否定形 v.t それが見えない「動詞句」

彼らは、無言で陰気にかがみ込んでいた。

Ils étaient affaissés, mornes et silencieux.

「主語」「動詞」「補語」

Ils イル pron 彼らは

「主語」

étaient エ 3 複半(être)v.i ~だった

「動詞」

affaissés, アフェ 過去分詞(affaïsser)adj.pl かがみ込んだ、沈み込んだ

「補語」

mornes et silencieux. モルヌ・エ・シロンシヤ adv. 無言で陰気に

「副詞句」

彼らは、柩や自分の杖や他の物をじっと見つめていたが、それしか見ていなかった。

Ils regardaient la bière ou leur canne, ou n'importe quoi, mais ils ne regardaient que cela.

「主語」「動詞」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Ils イル pron 彼らは

「主語」

regardaient レギヤルテ 3 複半(regarder)v.t 見つめていた

「動詞」

la bière ou leur canne, ラ・ビエール・ウ・レール・カンヌ n. 柩や自分の杖を

「目的語」

ou ウ conj. そうでなければ

n'importe quoi, ナポルト・クワ pron なんでも

「目的語」

mais メ conj. しかし

ils イル pron 彼らは

「主語」

ne regardaient que ヌ・レギヤルテ・ク 3 複半・否定(regarder)

v.t ~しか見ていなかった

「動詞句」

cela. スラ pron それ

「目的語」

女はまだ泣いていた。

La femme pleurait toujours.

「主語」「動詞」「副詞」

La femme ラ・ファム n.f 女は

「主語」

pleurait プル 3 単半(pleurer)v.i 泣いていた

「動詞」

toujours. トゥジュール adv. まだ 「副詞」

彼女とは面識がなかったので、僕はとても意外だった。もう泣き止んでくれたらと思った。

J'étais très étonné parce que je ne la connaissais pas. J'aurais voulu ne plus l'entendre.

「主語」「動詞」「補語」「副詞節」 | 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

étais エテ 1 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」

très étonné トレ・エトネ adj. とても驚いた、意外に思った 「補語」

parce que パルス・ク conj. なので 「副詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

ne la connaissais pas. ス・ラ・コネ・パ° 1 単半・否定(connaître+la)

v.t 彼女と知り合いではなかった 「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais voulu +不定詞 オーレ・ヴリュ 条・1 単現・完了形(vouloir+不定詞)

v.t 〜したらよいと思った 「動詞句」

この条件法過去は「過去における未来完了」をあらわす

ne plus l'entendre. ス・プリュ・ロントトル 不定詞・否定(entendre+la)

v.t もう泣き声が聞こえない 「動詞句」

→ 泣き声が止んだらよいと思った

だが敢えてそれを彼女に言う事はしなかった。

Pourtant je n'osais pas le lui dire.

「副詞」「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「動詞句」

Pourtant プルトン adv. それでも、だが 「副詞」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'osais pas ノゼ°・パ° 1 単半・意思・否定(oser+不定詞)v.t 敢えて〜しなかった 「動詞句」

le ル pron そのことを 「直接目的語」

彼女が泣き止んで欲しいということ

lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」

dire. ティール 不定詞 v.t 言う 「動詞句」

門番が彼女の方に身をかがめて彼女に話しかけたが、彼女は頭を激しく振って、なにごとか口ごもり、先程と同じく規則的に泣き続けた。

Le concierge s'est penché vers elle, lui a parlé, mais elle a secoué la tête, a bredouillé quelque chose, et a continué de pleurer avec la même régularité.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」

mais 「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」 et 「動詞句」「副詞句」
 Le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番が 「主語」
 s'est penché セ・ボンシェ 3 単現・完了形(se pencher)v.pr 身をかがめた 「動詞句」
 vers elle, ヴェール・エル adv. 彼女の方へ 「副詞句」
 lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」
 a parlé, ア・パルレ 3 単現・完了形(parler)v.i 話しかけた 「動詞句」
 mais メ conj. しかし
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 a secoué ア・スクエ 3 単現・完了形(secouer)v.t (体の部分を) 振った 「動詞句」
 la tête, ラ・テット n.f 頭を 「目的語」
 a bredouillé ア・ブルトウエイ 3 単現・完了形(bredouiller)v.t 早口で口ごもった 「動詞句」
 quelque chose, ケルク・ショーズ pron 何かを 「目的語」
 et エ conj. そして
 a continué de pleurer ア・コンティヌエ・トウ・プル 3 単現・完了形・継続(continuer de+不定詞)
 v.i 泣き続けた 「動詞句」
 avec la même régularité. アヴ・エッキ・ラ・メム・レギュラリテ
 adv. 先程と同じ規則正しさで 「副詞句」

それで門番はこちら側へやって来て、僕のそばに座った。

Le concierge est venu alors de mon côté. Il s'est assis près de moi.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番は 「主語」
 est venu エ・ヴァニユ 3 単現・完了形(venir)v.i やって来た 「動詞句」
 alors アロー adv. それで 「副詞句」
 de mon côté. トウ・モン・コテ adv. 僕のいる側へ、こちら側に 「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 s'est assis セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
 près de moi. プレ・トウ・ムわ adv. 僕のそばに 「副詞句」

かなり時間がたってから、彼は僕の顔を見ないで説明してくれた。

Après un assez long moment, il m'a renseigné sans me regarder:

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」
 Après アプレ prep ~の後で 「副詞句」
 un assez long moment, アン・アゼ・ロン・トン n.m かなり長い時間 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a renseigné ア・ロンセニエ 3 単現・完了形(*renseigner*)v.t 説明した 「動詞句」
sans +不定詞 ソン adv. ～せずに 「副詞句」
me ム pron 僕を 「目的語」
regarder: ルガヤルテ 不定詞 v.t 見る 「動詞」

「彼女は、あなたの母上とともに親交が深かったのです。お母さまが、ここでのたった一人の友達だった、そして今はもう独りぼっちになってしまった、と言っています。」

«Elle était très liée avec madame votre mère. Elle dit que c'était sa seule amie ici et que maintenant elle n'a plus personne.»

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」 et 「目的語」》

Elle エル pron 彼女は 「主語」
était エテ 3 単半(*être*)v.i ～だった 「動詞」
très liée トレ・リエ adj.f とても親交が深かった 「補語」
avec madame votre mère. アヴ・エッキ・マダム・ヴァ・オル・メル adv. あなたの母上と 「副詞句」
Elle エル pron 彼女は 「主語」
dit ティ 3 単現(*dire*)v.t 言っている 「動詞」
que ク conj. ～ということを 「目的語」
c' ス pron それは 「主語」
était エテ 3 単半(*être*)v.i ～だった 「動詞」
sa seule amie ici サ・スル・アミ・イシ n.f ここでのたった一人の友達 「補語」
et エ conj. そして
que ク conj. ～ということを 「目的語」
maintenant マントナン adv. 今では 「副詞」
elle エル pron 彼女は 「主語」
n'a plus ナ・プリュ 3 単現・否定(*avoir*)v.t もういない 「動詞句」
personne. ペルソヌ pron 誰も～ない 「目的語」

僕たちは、長い間このようにしていた。

Nous sommes restés un long moment ainsi. 「主語」「動詞句」「副詞句」
Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
sommes restés ソム・レステ 1 複現・完了形.pl(*rester*)v.i そのままでいた 「動詞句」
un long moment アン・ロン・モモン adv. 長い間 「副詞句」
ainsi. アンシ adv. このように 「副詞」

女のため息とすすり泣きは、かなり少なくなってきた。

Les soupirs et les sanglots de la femme se faisaient plus rares.

「主語」「動詞句」「補語」

Les soupirs レ・スピール pl.n.m ため息は 「主語」
et エ conj. そして
les sanglots レ・ソングロ pl.n.m すすり泣きは 「主語」
de la femme ト・ラ・ファム adj. その女の 「形容詞句」
se faisaient ス・フェ 3 複半(se faire)v.pr (+補語) 〜になった 「動詞句」
plus rares. プリュ・ラル adj. かなり少ない 「補語」

彼女はひんぱんに鼻をすすった。そしてついに彼女は泣き止んだ。

Elle reniflait beaucoup. Elle s'est tue enfin.

「主語」「動詞」「副詞」 | 「主語」「動詞句」「副詞」

Elle エル pron 彼女は 「主語」
reniflait ルニフレ 3 単半(renifler)v.i 鼻をすすった 「動詞」
beaucoup. ボク adv. よく、ひんぱんに 「副詞」
Elle エル pron 彼女は 「主語」
s'est tue セ・チュエ 3 単現・完了形.f(se taire)v.pr 泣き止んだ 「動詞句」
enfin. オンファン adv. ついに 「副詞」

僕はもう眠くなかったが、疲れていて、腰が痛かった。

Je n'avais plus sommeil, mais j'étais fatigué et les reins me faisaient mal.

「主語」「動詞句」「目的語」,mais「主語」「動詞」「補語」et
「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
n'avais plus ナヴェ・プリュ 1 単半(avoir)v.t もうなかった 「動詞句」
sommeil, ソメイ n.m 眠気が 「目的語」
mais
j' ジュ pron 僕は 「主語」
étais エテ 1 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
fatigué ファティゲ adj. 疲れた 「補語」
et エ conj. そして
les reins レ・ラン pl.n.m 腰が 「主語」
me ム pron 僕に 「間接目的語」
faisaient フェ 3 複半(faire)v.t 作っていた、おこしていた 「動詞」
mal. マル n.m 痛みを 「直接目的語」

今では、ここにいる人たちの沈黙が僕の苦痛だった。

A présent c'était le silence de tous ces gens qui m'était pénible.

| | |
|---|-----------------------|
| | 「副詞句」, 「動詞」 「補語」 「主語」 |
| A présent ア・プレゼン adv. 今は | 「副詞句」 |
| c' ス pron 仮の主語(真の主語は qui 以降)強調構文 | |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| le silence ル・シロンス n.m 沈黙 | 「補語」 |
| de tous ces gens トゥ・トゥ・セ・ジヨン adj. ここにいる人たちの | 「形容詞句」 |
| qui キ pron ~するのは | 「主語」 |
| m' ム pron 僕にとって | 「間接目的語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| pénible. ペニブル adj. 苦痛な | 「補語」 |

ただ時々、奇妙な物音が聞こえていた。しかしそれが何の音なのか分からなかった。

De temps en temps seulement, j'entendais un bruit singulier et je ne pouvais comprendre ce qu'il était.

| | |
|---|--|
| | 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」 |
| De temps en temps トゥ・トン・ゾン・トン adv. 時々 | 「副詞句」 |
| seulement, スルモン adv. ただ~だけ | 「副詞」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| entendais オン・タンデ 1 単半(entendre)v.t 聞こえていた | 「動詞」 |
| un bruit アン・ブリュイ n.m 物音が | 「目的語」 |
| singulier サンギュリエ adj. 奇妙な | 「形容詞」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne pouvais comprendre ヌ・プヴァ・コンプレントル 1 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞) | |
| v.t 分からなかった | 「動詞句」 |
| ce ス pron それを | 「目的語」 |
| qu' ク pron (補語) 何であるという | 「形容詞節」 |
| il イル pron それは | 「主語」 |
| était. エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |

ようやく、老人たちの何人かが頬の内側を吸って、この奇妙な舌鼓の音を漏らしていたという
うことをついに推察することができた。

A la longue, j'ai fini par deviner que quelques-uns d'entre les vieillards suçaient
l'intérieur de leurs joues et laissaient échapper ces clappements bizarres.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

A la longue, ア・ラ・ロング adv. しまいには、ようやく 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai fini par deviner エ・フィニ・パール・ドゥ・ヴィン 1 単現・完了形・達成(finir par+不定詞)

v.t ついに推察することができた 「動詞句」

finir par+不定詞 「ついに～する、とうとう～する」

que ク conj. ～ということ 「目的語」

quelques-uns ケルク・サン pron 何人かの人が 「主語」

d'entre les vieillards ドントル・レ・ヴィエイヤール adj. 老人たちの 「形容詞句」

suçaient シュセ 3 複半(sucer)v.t 吸っていた 「動詞」

l'intérieur de leurs joues ランテリェール・トゥ・レール・ジュ n.m 頬の内側を 「目的語」

et エ conj. そして

laissaient échapper レ・エシャペ 3 複半・使役(laisser+不定詞)

v.t 外に漏らしていた 「動詞句」

ces clappements セ・クラブモン pl.n.m この舌鼓を 「目的語」

bizarres. ビザール adj. 奇妙な 「形容詞」

彼ら自身はそれぞれの思いに浸っていたので、そのことに気づかないでいた。

Ils ne s'en apercevaient pas tant ils étaient absorbés dans leurs pensées.

「主語」 「動詞句」 「副詞節」

Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

ne s'en apercevaient pas ヌ・ソン・アペルセヴァン 3 複半・否定(s'apercevoir+en)

v.pr それに気づかないでいた 「動詞句」

en は「彼らが舌鼓のような音を出していること」を表す

tant トン adv. (文頭に置かれると原因を示す) ～だから 「副詞節」

ils イル pron 彼らは 「主語」

étaient absorbés エテ・アブソルベ 3 複半・受動(absorber)v.t 吸収されていた 「動詞句」

dans leurs pensées. トン・レール・ポンセ adv. それぞれの思いの中に 「副詞句」

僕は、彼らの真ん中に横たわっているこの死者は、彼らの目には何の意味も無いのではない
かという印象さえ抱いた。

J'avais même l'impression que cette morte, couchée au milieu d'eux, ne signifiait rien à leurs yeux. 「主語」「動詞」「目的語」
J' ジュ pron 私は 「主語」
avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t 持った 「動詞」
même l'impression メム・ランプレッション n.f 印象さえ 「目的語」
que ク pron (同格) ~であるという 「形容詞節」
cette morte, セット・モルト n.f この死者は 「主語」
couchée クシェ adj.f 横たわった 「形容詞句」
au milieu d'eux, オ・ミユ・ドゥ・ウー adv. 彼らの真ん中に 「副詞句」
ne signifiait ヌ・シニフィエ 3 単半・否定(signifier)v.t 意味しない 「動詞句」
rien リャン pron 何も~ない 「直接目的語」
à leurs yeux. エール・ジュー adv. 彼らの目に 「間接目的語」

しかし今は、その印象は間違いだったと思う。

Mais je crois maintenant que c'était une impression fausse. Mais 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」
Mais メ conj. しかし
je ジュ pron 私は 「主語」
crois クルワ 1 単現(croire)v.t (que+直説法) ~だと思う 「動詞」
maintenant マントナソ adv. 今は 「副詞」
que ク conj. ~ということ 「目的語」
c' ス pron それは 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
une impression fausse. ユヌ・アンプレッション・フォス n.f 間違えた印象 「補語」
faux フォー adj.m, fausse フォス adj.f 間違った、誤った

僕たちはみな、門番が出してくれたコーヒーを飲んだ。

Nous avons tous pris du café, servi par le concierge. 「主語」「動詞句」「目的語」
Nous ヌ pron 私たちは 「主語」
avons tous pris アヴェ・オン・トゥ・プリ 1 複現・完了形(prendre+tous)
v.t みんな飲んだ 「動詞句」
du café, ジュ・キャフェ n.m コーヒーを 「目的語」
servi セルヴィ 過去分詞・受動(servir)v.t 出された 「形容詞句」
par le concierge. パール・ル・コンシエルジュ adv. 門番によって 「副詞句」

それから先は、もう分からない。夜は過ぎて行った。

Ensuite, je ne sais plus. La nuit a passé. 「副詞」「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」
Ensuite, オンシュイト adv. それから 「副詞」
je ジュ pron 僕は 「主語」
ne sais plus. ヌ・セ・プリュ 1 単現・否定(savoir+plus)v.t もうわからない 「動詞句」
La nuit ラ・ニュイ n.f 夜は 「主語」
a passé. ア・パセ 3 単現・完了形(passer)v.i 過ぎて行った 「動詞句」

僕は、ある時目を開けたのを覚えている。そして老人たちが背中を丸めて眠っているのを見たが、一人だけは例外だった。彼は、しっかり杖をつかんだその手の甲の上にあごを乗せ、僕をじっと見ていた、まるで僕の目覚めだけを待っていたかのように。

Je me souviens qu'à un moment j'ai ouvert les yeux et j'ai vu que les vieillards dormaient tassés sur eux-mêmes, à l'exception d'un seul qui, le menton sur le dos de ses mains agrippées à la canne, me regardait fixement comme s'il n'attendait que mon réveil.
「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

「副詞句」「目的語」「動詞」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
me souviens ム・スヴイヤン 1 単現(se souvenir)v.pr (que を) 思い出す 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
à un moment ア・ウン・モン adv. ある時 「副詞句」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai ouvert エ・ウヴェール 1 単現・完了形(ouvrir)v.t 開けた 「動詞句」
les yeux レ・ジュー pl.n.m 目を 「目的語」
et エ conj. そして
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai vu エ・ヴィュ 1 単現・完了形(voir)v.t 見た 「動詞句」
que ク conj. ～ということを 「目的語」
les vieillards レ・ヴィエイヤール pl.n.m 老人たちが 「主語」
dormaient ドルメ 3 複半(dormir)v.i 眠っている 「動詞」
tassés タセ adv. かがみ込んで 「副詞句」
sur eux-mêmes, シュール・ウーメーム adv. 自分自身の上に 「副詞句」
「背中を丸めて」
à l'exception d'un seul ア・レクセプシオン・ダン・スル adv. 1 人は例外として 「副詞句」
qui, キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
le menton ル・モンソン n.m あごを～して 「副詞句」

| | | |
|-------------------------|---------------------------------------|---------|
| sur le dos de ses mains | シュール・ル・ド・ト・ウ・セ・マン | |
| adv. | 手の甲の上に | 「副詞句」 |
| agrippées | アグリップ 過去分詞 f.pl(agripper) | |
| v.t (à を) | しっかりつかんだ | 「形容詞句」 |
| à la canne, | ア・ラ・カンヌ adv. 杖を | 「間接目的語」 |
| me | ム pron 僕を | 「目的語」 |
| regardait | ルギャルテ 3 単半(regarder)v.t 見ていた | 「動詞」 |
| fixement | フィクスモン adv. じっと | 「副詞」 |
| comme s' | コム・シ conj. あたかも～のように | 「副詞節」 |
| il | イル pron 彼は | 「主語」 |
| n'attendait que | ナントゥ・ク 3 単半・否定・限定(attendre, ne...que) | |
| v.t | ～だけを待っていた | 「動詞句」 |
| mon réveil. | モン・レウエイユ n.m 僕の目覚め | 「目的語」 |

それから僕はまた寝た。腰の痛みが次第に増してきたので、僕は目が覚めた。

Puis j'ai encore dormi. Je me suis réveillé parce que j'avais de plus en plus mal aux reins.

| | | |
|------------------|--|--------------------------------|
| | | 「副詞」「主語」「動詞句」 「主語」「動詞句」「副詞節」 |
| Puis | ピュイ adv. それから | 「副詞」 |
| j' | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai encore dormi. | エ・オンコール・ドルミ 1 単現・完了形(dormir+encore)v.i また寝た | 「動詞句」 |
| Je | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis réveillé | ム・シュイ・レウエイエ 1 単現・完了形(se réveiller)v.pr 目が覚めた | 「動詞句」 |
| parce que | パルス・ク conj. ～なので | 「副詞節」 |
| j' | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais | アヴエ 1 単半(avoir)v.t あった | 「動詞」 |
| de plus en plus | ト・ウ・プリュ・サン・プリュ adv. ますます、次第に | 「副詞句」 |
| mal aux reins. | マ・ラン n.m 腰の痛み | 「目的語」 |

朝の光が、ガラス張りの屋根の上に差し込んでいた。

Le jour glissait sur la verrière.

| | | |
|------------------|-----------------------------------|---------------|
| | | 「主語」「動詞」「副詞句」 |
| Le jour | ル・ジュール n.m 日の光、朝の光 | 「主語」 |
| glissait | グリス 3 単半(glisser)v.i (光が) 差し込んでいた | 「動詞」 |
| sur la verrière. | シュール・ラ・ヴァリエール adv. ガラス張りの屋根の上に | 「副詞句」 |

まもなく老人の1人が目を覚まして、ひどく咳き込んだ。

Peu après, l'un des vieillards s'est réveillé et il a beaucoup toussé.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 et 「主語」 「動詞句」
Peu après, プ・アフレ adv. 少し後で、まもなく 「副詞句」
l'un des vieillards ラン・デ・ヴィエイヤール n.m 老人の1人が 「主語」
s'est réveillé セ・レヴエイエ 3 単現・完了形(se réler)v.pr 起きた、目を覚ました 「動詞句」
et エ conj. そして
il イル pron 彼は 「主語」
a beaucoup toussé. ア・ボク・トゥセ 3 単現・完了形(tousser+beaucoup)
v.i ひどく咳をした 「動詞句」

彼は格子縞の大きいハンカチに痰を吐いていたが、一度痰を吐くたびに生木を裂かれるほど辛らそうに見えた。

Il crachait dans un grand mouchoir à carreaux et chacun de ses crachats était comme un arrachement.

「主語」 「動詞」 「副詞句」 et 「主語」 「動詞」 「補語」
Il イル pron 彼は 「主語」
crachait クラッシェ 3 単半(cracher)v.i 痰を吐いた 「動詞」
dans un grand mouchoir トン・ザン・グロン・ムシュワール adv. 大きいハンカチに 「副詞句」
à carreaux ア・キャロ adj. 格子縞の 「形容詞句」
et エ conj. そして
chacun de ses crachats シヤキャン・トゥ・セ・クラシャ pron それぞれの痰は 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
comme un arrachement. クム・アン・アラシュモン n.m 生木を裂かれるほどの辛さ 「補語」

彼は他の老人たちを起こしてしまったので、門番は皆にもう帰るように言った。

Il a réveillé les autres et le concierge a dit qu'ils devraient partir.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」
Il イル pron 彼は 「主語」
a réveillé ア・レヴエイエ 3 単現・完了形(réveiller)v.t 起こしてしまった 「動詞句」
les autres レ・ゾートル pl.n. 他の老人たちを 「目的語」
et エ conj. それで
le concierge ル・コンシエルジユ n.m 門番は 「主語」
a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
qu' ク conj. 〜ということを 「目的語」
ils イル pron 彼らは 「主語」
devraient partir. トゥヴレ・パルティール 条・3 複現・語調緩和(devoir+不定詞)

v.i 帰って行った方がいいだろう

「動詞句」

彼らは立ち上がった。このように窮屈な姿勢で寝ずの番をしたせいで、彼らの顔はすっかり灰色になっていた。

Ils se sont levés. Cette veille incommode leur avait fait des visages de cendre.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ils イル pron 彼らは 「主語」

se sont levés. ス・ツン・ルヴ^エ 3 複現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

Cette veille セット・ヴェイユ n.f この寝ずの番は 「主語」

incommode アンコムト^エ adj. 窮屈な 「形容詞」

leur レール pron 彼らに 「間接目的語」

avait fait アヴ^エ・フェ 3 単半・完了形(faire)v.t 作ってしまった 「動詞句」

des visages de cendre. デ・ヴィザージュ・ド・ツントル pl.n.m 灰色の顔 「直接目的語」

帰り際、非常に驚いたことに、彼らは皆僕の手を握りしめて行った。——あたかも、一言も言葉を交わさなかったこの一夜が、僕たちの親密感を増加させたとも言うように。

En sortant, et à mon grand étonnement, ils m'ont tous serré la main — comme si cette nuit où nous n'avions pas échangé un mot avait accru notre intimité.

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 --- 「副詞節」

En sortant, オン・ソルトン 現在分詞(sortir)v.i 出て行くときに、帰り際に 「副詞句」

et エ conj. そして

à mon grand étonnement, ア・モン・グロン・エトヌモン adv. 非常に驚いたことに 「副詞句」

ils イル pron 彼らは 「主語」

m' ム pron 僕の 「間接目的語」

ont tous serré オン・トゥ・セ 3 複現・完了形(serrer+tous)v.t 皆握りしめた 「動詞句」

la main — ラ・マン n.f 手を 「直接目的語」

comme si コム・シ conj. あかも〜であるかのように 「副詞節」

cette nuit セット・ニュイ n.f この1夜が 「主語」

où ウ pron 〜する 「形容詞節」

nous ヌ pron 私たちは 「主語」

n'avions pas échangé ナヴィオン・パ・エションジ^エ 1 複半・完了形・否定(échanger)

v.t 交換しなかった、交わさなかった 「動詞句」

un mot アン・モ n.m 一言も 「目的語」

avait accru アヴ^エ・アクリュ 3 単半・完了形(accroître)v.t 増大させた 「動詞句」

notre intimité. ノル・アンチミテ n.f 私たちの親密さを 「目的語」

僕は疲れていた。門番が僕を彼の部屋に連れて行ってくれたので、少し顔を洗ったり身づくろいが出来た。

J'étais fatigué. Le concierge m'a conduit chez lui et j'ai pu faire un peu de toilette.

「主語」「動詞」「補語」

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 私は 「主語」
étais エ 1 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
fatigué. ファティゲ adj. 疲れた 「補語」
Le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番は 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」
a conduit ア・コンジユイ 3 単現・完了形(conduire)v.t 連れて行った、案内した 「動詞句」
chez lui シェ・リュイ adv. (養老院の中にある) 彼の部屋に 「副詞句」
et エ conj. そして
j' ジュ pron 私は 「主語」
ai pu faire エ・ピュ・フェール 1 単現・完了形・可能(pouvoir+不定詞)
v.t ~することが出来た 「動詞句」
un peu de toilette. アン・プ・トゥ・トワレット n.f 少し顔を、身づくろい 「目的語」

僕はまたカフェオレを吞んだが、とても旨かった。

J'ai encore pris du café au lait qui était très bon.

「主語」「動詞句」「目的語」「主語」「動詞」「補語」

J' ジュ pron 私は 「主語」
ai encore pris エ・オノール・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t また飲んだ 「動詞句」
du café au lait ジュ・キャフェ・オレ n.m カフェオレを 「目的語」
qui キ pron それは 「主語」
était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
très bon. トレ・ボン adj. とても旨い 「補語」

僕が外に出た時、日はすっかり上がっていた。

Quand je suis sorti, le jour était complètement levé. 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

Quand コン conj. ~した時 「副詞節」
je ジュ pron 僕が 「主語」
suis sorti, シュイ・ソルティ 1 単現・完了形(sortir)v.i 外に出た 「動詞句」
le jour ル・ジュール n.m 日は 「主語」
était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
complètement levé. コンプレットゥモン・ルヴェ adj. すっかり上がった 「補語」

マランゴを海から隔てている丘の上には、空がすっかり赤い色に染まっていた。

Au-dessus des collines qui séparent Marengo de la mer, le ciel était plein de rougeurs.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」

Au-dessus des collines オ・ト・ウシュ・デ・コリーヌ adv. 丘の上には 「副詞句」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

séparent セパール 3 複現(séparer)v.t 分離する、隔てる 「動詞」

Marengo マランゴ n. マランゴを 「目的語」

de la mer, ト・ウ・ラ・メル adv. 海から 「副詞句」

le ciel ル・シエル n.m 空が 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

plein de rougeurs. プラン・ト・ウ・ルジエール adj. 赤い色で一杯の 「補語」

そして丘の上を通り抜ける風は、ここに潮の香りを運んで来ていた。

Et le vent qui passait au-dessus d'elles apportait ici une odeur de sel.

E 「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」

Et エ conj. そして

le vent ル・ヴァン n.m 風は 「主語」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

passait パセ 3 単半(passer)v.i 通り抜ける 「動詞」

au-dessus d'elles オ・ト・ウシュ・デル adv. 丘の上を 「副詞句」

apportait アポルト 3 単半(approter)v.t 運んできた 「動詞」

ici イ adv. ここに 「副詞」

une odeur de sel. エヌ・オデーール・ト・ウ・セル n.f 潮の香りを 「目的語」

潮：(特に朝に) 海水に満ちたり引いたりする現象、夕方の現象は汐(しお、セキ)

天気の良い1日になりそうだった。

C'était une belle journée qui se préparait. 「主語」 「動詞」 「補語」

C' ス pron 仮の主語 (une belle journée を強調する) 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

une belle journée エヌ・ベル・ジュール n.f 天気の良い1日 「補語」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

se préparait. ス・プレパレ 3 単半(se preparer)v.pr 起ころうとしていた 「動詞句」

se preparer ス・プレパレ v.pr 準備される、起ころうとしている

僕が田舎に来たのはずっと昔だったので、もし母さんのことがなかったならば、散歩などをすればどれほど楽しいだろうと思ったりした。

Il y avait longtemps que j'étais allé à la campagne et je sentais quel plaisir j'aurais pris à me promener s'il n'y avait pas eu maman.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 et 「主語」「動詞」「目的語」

Il y avait longtemps que 何・アヴェ・ロント・ク conj. ～したのはずっと前だった

j' ジュ pron 僕は 「主語」

étais allé エ・サレ 1 単半・完了形(aller)v.i 来た 「動詞句」

à la campagne ア・ラ・コンパ・ニユ adv. 田舎に 「間接目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

sentais ソテ 1 単半(sentir)v.t 思った 「動詞」

quel plaisir ケル・プレジール pron どれほどの喜びを～するかということを 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais pris オーレ・プリ 条・1 単現・完了形(prendre)v.t 手に入れるだろう 「動詞句」

à me promener ア・ム・プロムネ adv. 散歩することによって 「副詞句」

s'il n'y avait pas eu maman. シル・ニ・アヴェ・パ・ジュ・マモン

adv. もし母さんのことがなかったならば 「副詞節」

しかし僕は、中庭のプラタナスの木の下で待った。

Mais j'ai attendu dans la cour, sous un platane. Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai attendu エ・アトンテュ 1 単現・完了形(attendre)v.i 待った 「動詞句」

dans la cour, トン・ラ・クール adv. 中庭で 「副詞句」

sous un platane. ス・サン・プラタンヌ adv. プラタナスの木の下で 「副詞句」

みずみずしい土の香りを嗅ぐと、もう眠気は消えていた。

Je respirais l'odeur de la terre fraîche et je n'avais plus sommeil.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

respirais レスピレ 1 単半(respirer)v.t 嗅いだ 「動詞」

l'odeur ロデーール n.f 香りを 「目的語」

de la terre fraîche ト・カ・ラ・テール・フレッシュ adj. みずみずしい土の 「形容詞句」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais plus ナ・ヴ・プ・リュ 1 単半・否定(avoir)v.t もうなかった 「動詞句」
sommeil. ソメイ n.m 眠気 「目的語」

会社の同僚たちのことを考えた。

J'ai pensé aux collègues du bureau. 「主語」「動詞句」「間接目的語」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.i 考えた 「動詞句」
aux collègues コレグ pl.n. 同僚たちのことを 「間接目的語」
du bureau. シュ・ビュロー adj. 会社の 「形容詞句」

この時間は、彼らは会社に行くのにもう起きている頃だ。僕にとっては一番苦手な時間だ。

A cette heure, ils se levaient pour aller au travail : pour moi c'était toujours l'heure la plus difficile.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」: 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」「補語」
A cette heure, ア・セット・ウール adv. この時間には 「副詞句」
ils イル pron 彼らは 「主語」
se levaient スルヴ・エ 3 複半(se lever)v.pr 起きた 「動詞句」
pour +不定詞 プール adv. するために 「副詞句」
aller au travail: アル・オ・トラヴァイ 不定詞 v.i 仕事に行く 「動詞句」
pour moi プール・ムワ adv. 僕にとっては 「副詞句」
c' ス pron これは 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
toujours トウジュール adv. いつも 「副詞」
l'heure レール n.f 時間 「補語」
la plus difficile. ラ・プ・リュ・ティフィシル adj. 一番苦手な 「形容詞句」

僕は、また少しそのようなことについて考えていたが、建物の中で鳴った鐘の音に気をそらされてしまった。

J'ai encore réfléchi un peu à ces choses, mais j'ai été distrait par une cloche qui sonnait à l'intérieur des bâtiments.

「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」 mais 「主語」「動詞句」「副詞句」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai encore réfléchi エ・オンコール・レフシ 1 単現・完了形(réfléchir)v.i また考えた 「動詞句」
un peu アン・プ adv. 少し 「副詞」
à ces choses, ア・セ・ショーズ adv. そのようなことについて 「間接目的語」
mais メ conj. しかし

j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai été distraité エ・エテ・ディストレ 1 単現・完了形・受動(distraire)v.t 気をそらされた 「動詞句」
par une cloche パール・アン・クロシュ adv. 鐘の音によって 「副詞句」
qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
sonnait ソネ 3 単半(sonner)v.i 鳴った 「動詞」
à l'intérieur des bâtiments. ア・ランテリユール・デ・バチモン adv. 建物の中で 「副詞句」

窓の向こう側で大騒ぎがあったが、それからすべてが静まった。

Il y a eu du remue-ménage derrière les fenêtres, puis tout s'est calmé.

「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「副詞」「主語」「動詞句」
Il y a eu イ・ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t ～があった 「動詞句」
du remue-ménage ジュ・ルミュー・メナージュ n.m 大騒ぎ 「目的語」
derrière les fenêtres, テリェール・レ・フネートル adv. 窓の向こう側で 「副詞句」
puis ピュイ adv. それから 「副詞」
tout トゥ pron.m すべてが 「主語」
s'est calmé. セ・カルメ 3 単現・完了形(se calmer)v.pr 静まった 「動詞句」

太陽は、さらに高く空に昇っていた。そして日差しが僕の足を暖め始めていた。

Le soleil était monté un peu plus dans le ciel : il commençait à chauffer mes pieds.

「主語」「動詞句」「副詞句」: 「主語」「動詞句」「目的語」
Le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽は 「主語」
était monté エテ・モンテ 3 単現・完了形(monter)v.t 昇っていた 「動詞句」
un peu plus アン・プ・プリュ adv. もう少し高く 「副詞句」
dans le ciel : トン・ル・シエル adv. 空に 「副詞句」
il イル pron それは 「主語」
commençait à chauffer コモンセ・ア・ショフェ 3 単半・開始(commencer a+不定詞)
v.t 暖め始めていた 「動詞句」
mes pieds. メ・ピエ pl.n.m 僕の足を 「目的語」

門番が、中庭を横切ってやって来て、院長から僕に話があると告げた。

Le concierge a traversé la cour et m'a dit que le directeur me demandait.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Le concierge ル・コンシエルジュ n.m 門番が 「主語」
a traversé ア・トラヴァゼ 3 単現・完了形(traverser)v.t 横切ってきた 「動詞句」
la cour ラ・クール n.f 中庭を 「目的語」
et エ conj. そして

m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
le directeur ル・ディレクトゥール n.m 院長が 「主語」
me ム pron 僕と 「目的語」
demandait. ドゥモンテ 3 単半・時制の一致(demander)
v.t 話したがっている、話がある 「動詞」

僕は院長室へ入った。

Je suis allé dans son bureau. 「主語」「動詞句」「副詞句」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
suis allé シュイ・ザレ 1 単現・完了形(aller)v.i 行った、入った 「動詞句」
dans son bureau. ドン・ソン・ビュロー adv. 院長室の中に 「副詞句」

彼は僕に何枚かの書類にサインをさせた。

Il m'a fait signer un certain nombre de pièces. 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」
Il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「目的語」
a fait ア・フェ 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞)v.t ～させた 「動詞句」
signer シェ 不定詞 v.t ～にサインする 「補語」
un certain nombre de pièces. アン・セルタン・ノンブル・ドゥ・ピエス
pl.n.f いくらかの書類 「目的語」

僕は、院長が黒の服に縞のズボンを穿いていることに気がついた。

J'ai vu qu'il était habillé de noir avec un pantalon rayé. 「主語」「動詞句」「目的語」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai vu エ・ヴェ 1 単現・完了形(voir)v.t 見た、分かった 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
était habillé エ・アビエ 3 単半・受動・時制の一致(habiller)
v.t (de を) 着ている 「動詞句」
de noir ドゥ・ヌワール adv. 黒の服を 「目的語」
avec un pantalon rayé. アヴェッキ・アン・パントロン・レイエ adv. 縞のズボンを穿き 「副詞句」

彼は手に受話器を取り、離れたままで僕に声をかけた：「少し前から葬儀屋の者たちが来て待っています」

Il a pris le téléphone en main et il m'a interpellé: «Les employés des pompes funèbres sont là depuis un moment.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」：
《「主語」「動詞」「副詞句」》

Il イル pron 彼は 「主語」
a pris ア・プリ 3 単現・完了形(*prendre*)v.t を取った 「動詞句」
le téléphone ル・テレフォンヌ n.m 受話器を 「目的語」
en main オン・マン adv. 手に 「副詞句」
et エ conj.
il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a interpellé: ア・アンテルペレ 3 単現・完了形(*interpeller*)v.t (遠くから) 声をかけた 「動詞句」
Les employés レ・ゾンブ ルワイエ pl.n 従業員たちが 「主語」
des pompes funèbres デ・ポンプ・フネブル adj.pl 葬儀屋の 「形容詞句」
sont ソ 3 複現(*être*)v.i いる、来ている 「動詞」
là ラー adv. そこに 「副詞」
depuis un moment. ドゥピ ユイ・ザン・モモン adv. 少し前から 「副詞句」

私は、そろそろ柩の蓋を閉めに来るように彼らに伝えたいと思います。

Je vais leur demander de venir fermer la bière. 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」
Je ジュ pron 私は 「主語」
vais +不定詞 ヴェ 1 単現・近接未来・意思(*aller*+不定詞)v.i ～しようと思う 「動詞句」
leur レー pron 彼らに 「目的語」
demander ドゥモンデ 不定詞 v.t(+à qn de+不定詞) ～するように頼む 「動詞句」
de +不定詞 ドゥ ～することを 「補語」
venir fermer ヴェニール・フェルメ 不定詞(*venir*+不定詞)v.t 閉めにやって来る 「動詞句」
la bière. ラ・ビエール n.f 柩を 「目的語」
demander à qn de+不定詞 「(人に) ～するように頼む」

その前に、最後にお母さまにお会いになりますか？

Voulez-vous auparavant voir votre mère une dernière fois ? »

「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
Voulez... auparavant voir ヴレ...オパ ラヴァン・ヴァール 2 複現・勧誘(*vouloir*+不定詞)
v.t その前にお会いになりますか？ 「動詞句」

auparavant オ・ラウ・ヴォン adv. その前に、あらかじめ、まず
vous ヴェ pron あなたは 「主語」
votre mère ヴォトル・メル n.f お母さまに 「目的語」
une dernière fois ? ユヌ・デルニエール・フワ adv. 最後に 「副詞句」

僕は、いえ結構ですと答えた。彼は声を落として電話口で命じた：「ジャック、彼らに仕事を始めてよいと言ってくれ！」

J'ai dit non. Il a ordonné dans le téléphone en baissant la voix : « Figeac, dites aux hommes qu'ils peuvent aller. »

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」：
《「呼びかけ」, 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 答えた 「動詞句」
non. ノン n.m いいえという返事 「目的語」
Il イル pron 彼は 「主語」
a ordonné ア・オルドネ 3 単現・完了形(ordonner)v.t 命じた 「動詞句」
dans le téléphone トン・ル・テレフォンヌ adv. 電話口で 「副詞句」
en +現在分詞 オン adv. ～して、～しながら 「副詞句」
baissant ベツソ 現在分詞(baisser)v.t 低くする、落とす 「動詞」
la voix : « ラ・ヴォワ n.f 声を 「目的語」
Figeac, フィジャック n. (人名) フィジャック 「呼びかけ」
dites ディット 命・2 複現(dire)v.t 言ってくれ 「動詞」
aux hommes オ・ゾム adv. 彼らに 「間接目的語」
qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
ils イル pron 彼らは 「主語」
peuvent aller フー・ヴァ・タレ 3 複現・許可(pouvoir+不定詞)
v.i 仕事を始めてよい 「動詞句」

次に、院長が自分も葬儀に参列するつもりだと言ったので、僕は礼を言った。

Ensuite il m'a dit qu'il assisterait à l'enterrement et je l'ai remercié.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」
Ensuite オンジュイット adv. 次に 「副詞」
il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」
 assisterait アシステライ 条・3 単現・意思(assister)v.i 出席するつもりだ 「動詞」
 主節が過去時制の間接話法は「直説話法での単純未来が時制の一致で条件法現在に変わる」
 à l'enterrement ア・ロンテールモン adv. 葬式に、葬儀に、埋葬に 「副詞句」
 et エ conj. そして
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 l'ル pron 彼に 「目的語」
 ai remercié. エ・ルメルシエ 1 単現・完了形(remercier)v.t 礼を言った 「動詞句」

彼はデスクの向こう側に座り、短い足を組んだ。

Il s'est assis derrière son bureau, il a croisé ses petites jambes.
 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 s'est assis セ・タン 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
 derrière son bureau, デリエール・ソン・ビュロー adv. デスクの後ろに、向こう側に 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 a croisé ア・クルワゼ 3 単現・完了形(croiser)v.t (十字形に) 組んだ 「動詞句」
 ses petites jambes. セ・プティ・ジヨンブ pl.n.f 短い足を 「目的語」

彼は、当番の看護婦を別にすれば、葬儀は僕と彼の二人きりになるだろうと僕に知らせた。

Il m'a averti que moi et lui serions seuls, avec l'infirmière de service.
 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a averti ア・アヴェルティ 3 単現・完了形(avertir)v.t (que を) 知らせた 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 moi et lui ムワ・エリュイ pl.n. 僕と彼が 「主語」
 serions シロン 条・1 複現(être)v.i ～になるだろう 「動詞」
 主節が過去時制では、直接話法の単純未来が間接話法では条件法現在に変わる
 seuls, スル adj.pl 2 人だけ 「補語」
 avec ... アヴェッキ adv. ～を伴って 「副詞句」
 l'infirmière ランフィルミエール n.f 看護婦 「目的語」
 de service. ドゥ・セルヴィス adj. 役割の 「形容詞句」

原則として、入寮者たちは葬儀に参列できなかった。

En principe, les pensionnaires ne devaient pas assister aux enterrements.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」
En principe, オン・プランスィプ adv. 原則として 「副詞句」
les pensionnaires レ・ボンシヨネル pl.n. 入寮者たちは 「主語」
ne devaient pas assister ノ・ドヴァン・パ・サシステ 3 単半・禁止(devoir+不定詞)
v.i (à に) 参列できなかった 「動詞句」
aux enterrements. オ・ゾンテールモン adv. 葬儀に 「間接目的語」

院長は、彼らにお通夜に出ることだけは許可していた：「人情の問題ですから」と、彼は言った。

Il les laissait seulement veiller: «C'est une question d'humanité», a-t-il remarqué.

「主語」 「目的語」 「動詞」 「補語」: 《「主語」 「動詞」 「補語」》, 「動詞句」 「主語」 「動詞句」
Il イル pron 院長は 「主語」
les レ pron 彼らに 「目的語」
laissait レ 3 単半・放任(laisser)v.t (SVO+不定詞) O に～させていた 「動詞」
seulement スルモン adv. ～だけは 「副詞」
veiller: ヴェイエ 不定詞 v.i お通夜をする 「補語」
C' ス pron それは 「主語」
est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
une question d'humanité », エヌヌ・クエスチオン・デ・ユマニテ n.f 人情の問題 「補語」
a-t-il remarqué. ア・ティル・ルマルケ 3 単現・完了形(remarquer)v.t 言った、指摘した 「動詞句」

しかし院長は、今回は特別に、母さんの親友の「トマ・ペレーズ」に葬列の後ろについて行く許可を与えていた。

Mais en l'espèce, il avait accordé l'autorisation de suivre le convoi à un vieil ami de maman: «Thomas Pérez.»

Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「直接目的語」 「間接目的語」
Mais メ conj. しかし
en l'espèce, オン・レスペース adv. 今回は特別に 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
avait accordé アヴ・ェ・タコルテ 3 単現・完了形(accorder)v.t 与えた、認めた 「動詞句」
l'autorisation トリザシオン n.f 許可を 「直接目的語」
de +不定詞 ドゥ adj. ～する 「形容詞句」
suivre シューヴァル 不定詞 v.t 後について行く 「動詞」
le convoi ル・コンヴァ n.m 葬列に 「目的語」

à un vieil ami de maman : «Thomas Pérez.» ア・アン・ウ゛エイ・ヤミ・トマ・マモン・トマ・ペレ

adv. 母さんの親友の「トマ・ペレーズ」に

「間接目的語」

ここで院長は微笑んだ。

Ici, le directeur a souri.

「副詞」「主語」「動詞句」

Ici, イ adv. ここで

「副詞」

le directeur ル・ディレクター n.m 院長は

「主語」

a souri. ア・スリ 3 単現・完了形(sourir)v.i 微笑んだ

「動詞句」

彼は僕に言った。「お分りの通り、これは子供じみた感傷なんです」

Il m'a dit: «Vous comprenez, c'est un sentiment un peu puéril.

「主語」「間接目的語」「動詞句」:《「主語」「動詞」,「主語」「動詞」「補語」》

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

Vous ウ゛ pron あなたは

「主語」

comprenez, コンプレネ 2 複現(comprendre)v.t 分かる

「動詞」

c' ス pron これは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i 〜である

「動詞」

un sentiment アン・サンティモン n.m 思いやり、感傷

「補語」

un peu puéril. アン・プ・ピュエリル adj. 少し子供っぽい

「形容詞句」

「ですが、彼とお母さまはいつも一緒にいました」

Mais lui et votre mère ne se quittaient guère.

《Mais 「主語」「動詞句」》

Mais メ conj. ですが

lui et votre mère リュイ・エ・ウ゛ォトル・メル pl.n. 彼とお母さまは

「主語」

ne se quittaient guère. ス・ス・キテ・ゲール 3 複半・否定(se quitter)

v.pr ほとんど離れることがなかった

「動詞句」

guère ゲール adv. ほとんど〜ない

「養老院では、みんなで二人をからかって、ペレーズに〈お前のいいなずけか?〉などと言っていました。彼は笑っていましたが、ふたりともそう言われて喜んでいました」

A l'asile, on les plaisantait, on disait à Pérez: «C'est votre fiancée.» Lui riait. Ça leur faisait plaisir.

《「副詞句」,「主語」「目的語」「動詞」,「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

「主語」「動詞」 | 「主語」「目的語」「動詞」「補語」》

| | |
|--|---------|
| A l'asile, ア・ラジール adv. 養老院では | 「副詞句」 |
| on オン pron 人は | 「主語」 |
| les レ pron 彼らを | 「目的語」 |
| plaisantait, プレザンテ 3 単半(plaisanter)v.t からかっていた | 「動詞」 |
| on オン pron 人は | 「主語」 |
| disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言っていた | 「動詞」 |
| à Pérez: ア・ペレ adv. ペレーズに | 「間接目的語」 |
| C'est votre fiancée. セ・ヴォトル・フィアンセ 「お前のいいなずけか？」 | 「直接目的語」 |
| Lui リュイ pron 彼は | 「主語」 |
| riait. リエ 3 単半(rire)v.i 笑っていた | 「動詞」 |
| Ça サ pron そう言われることが | 「主語」 |
| leur レール pron 彼らを | 「目的語」 |
| faisait フェ 3 単半(faire)v.t ～にしていた | 「動詞」 |
| plaisir. プレジール n.m 喜び | 「補語」 |

そして事実、ムルソーさんが亡くなって、彼は相当悲しんでいるようです。

Et le fait est que la mort de Mme Meursault l'a beaucoup affecté.

Et

Et エ conj. そして

le fait ル・フェ n.m 事実は 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

que ク conj. ～ということ 「補語」

→ 「事実は～である、事実、～である」

la mort de Mme Meursault ラ・モール・ド・マダム・ムルソー n.f ムルソーさんの死は 「主語」

l' ル pron 彼を 「目的語」

a beaucoup affecté. ア・ボク・アフエテ 3 単現・完了形(affecter)

v.t 相当辛い思いをさせた、悲しませた 「動詞句」

私は、彼に許可を与えないほうが良いとは思いませんでした。

Je n'ai pas cru devoir lui refuser l'autorisation.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 私は 「主語」

n'ai pas cru +不定詞 ネ・パ・クリュ 1 単現・完了形・否定(croire+不定詞)

v.t ～すると思わなかった 「動詞句」

devoir+不定詞 ド・ヴァール 不定詞 v.t ～するべきである 「動詞句」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

refuser ルフゼ` 不定詞 v.t を断る、を与えない 「動詞句」
l'autorisation. オトリザシヨン n.f 許可を 「直接目的語」

しかし訪問医師の助言に従って、昨夜の通夜への列席は禁止しました。

Mais sur le conseil du médecin visiteur, je lui ai interdit la veillée d'hier.»

Mais 「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Mais メ conj. しかし
sur le conseil シュール・ル・conseil adv. 助言に従って 「副詞句」
du médecin visiteur, ジュ・メドゥサン・ヴィジトケール adj. 訪問医師の 「形容詞句」
je ジュ pron 私は 「主語」
lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
ai interdit エ・アンテルディ 1 単現・完了形(interdire)v.t 禁止した 「動詞句」
la veillée d'hier. ラ・ヴェイエ・ディエール n.f 昨夜の通夜を 「直接目的語」

僕たちはかなり長い間、無言のままでいた。

Nous sommes restés silencieux assez longtemps. 「主語」 「動詞句」 「補語」 「副詞句」
Nous ヌ pron 私たちは 「主語」
sommes restés ソム・レステ 1 複現・完了形(rester)v.i ~のままでいた 「動詞句」
silencieux シロンシユー adj. 無言の 「補語」
assez longtemps. アセ・ロントン adv. かなり長い間 「副詞句」

院長は立ち上がり、部屋の窓から外を眺めた。

Le directeur s'est levé et a regardé par la fenêtre de son bureau.

「主語」 「動詞句」 et 「動詞句」 「副詞句」

Le directeur ル・ディレクトケール n.m 院長は 「主語」
s'est levé セ・ルヴェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
et エ conj. そして
a regardé アルガヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 眺めた 「動詞句」
par la fenêtre パール・ラ・フェネートル adv. 窓から外を 「副詞句」
de son bureau. トゥ・ウ・ソン・ビュロー adj. 部屋の 「形容詞句」

その時院長は気付いた：「もう、マランゴの司祭様が着いている。予定より早いな」

A un moment, il a observé: «Voilà déjà le curé de Marengo. Il est en avance.»

「副詞句」 「主語」 「動詞句」 : 《「動詞句」 「副詞」 「主語」 | 「主語」 「動詞」 「補語」》

A un moment, ア・ウン・モモン adv. その時 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」

| | | |
|---|----------|-------|
| a observé: ア・オブセルヴァ 3 単現・完了形(observer)v.t | 気づいた | 「動詞句」 |
| Voilà ヴォーラ adv., v.i | あそこに～いる | 「動詞句」 |
| déjà デジャ adv. | もう | 「副詞」 |
| le curé de Marengo. ル・キュレ・ドゥ・マランゴ n.m | マランゴの司祭が | 「主語」 |
| Il イル pron (非人称) | 時間が | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| en avance. オン・アヴァンス adv. | 早めの | 「補語」 |

彼はあらかじめ知らせてくれたが、村の中にある教会まで歩いて行くには少なくとも 45 分はかかるらしい。

Il m'a prévenu qu'il faudrait au moins trois quarts d'heure de marche pour aller à l'église qui est au village même.

| | | |
|---|-------------|---------|
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a prévenu ア・プレヴァニユ 3 単現・完了形(préir)v.t | 前もって知らせてくれた | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | ということ | 「直接目的語」 |
| il イル pron | 非人称 | |
| faudrait フォドレ 条・3 単現・推測(falloir)v.h | ～が必要だろう | 「動詞」 |
| au moins trois quarts d'heure オ・ムワントルワ・キヤルト・テール | | |
| adv. | 少なくとも 45 分 | 「主語」 |
| de marche ドゥ・マルシュ adv. | 徒歩で | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. | ～するために | 「副詞句」 |
| aller アレ 不定詞 v.i | 行く | 「動詞」 |
| à l'église ア・レグリーズ adv. | 教会へ | 「間接目的語」 |
| qui キ pron (主語) | ～する | 「形容詞節」 |
| est エ 3 単現(être)v.i (存在) | ある | 「動詞」 |
| au village même. オ・ヴァイラージュ・メム | | |
| adv. | 村の中に | 「副詞句」 |

僕らは下へ降りた。

| | | |
|---|-------|-----------|
| <u>Nous sommes descendus.</u> | | 「主語」「動詞句」 |
| Nous ヌ pron | 僕たちは | 「主語」 |
| sommes descendus. ソム・デサンデュ 1 複現・完了形(descendre)v.i | 下に降りた | 「動詞句」 |

霊安室の建物の前に、司祭と侍者を務める 2 人の子供が待っていた。

Devant le bâtiment, il y avait le curé et deux enfants de chœur.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

Devant le bâtiment, トゥヴ'ォン・ル・バチモン adv. 霊安室の建物の前に

「副詞句」

il y avait イ・リ・アヴ'ェ 3 単半(avoir)v.t. ～がいた

「動詞句」

le curé ル・キュレ n.m. 司祭

「目的語」

et エ conj. そして

deux enfants de chœur. トゥ・ゾンフ'ォン・トゥ・ケール pl.n.m. 侍者を務める 2 人の子供 「目的語」

侍者：ミサの間、司祭の助手を務める子供

侍者の 1 人はつり香炉を持っていた。そして司祭は彼の方へ身をかがめて、銀の鎖の長さを調節していた。

L'un de ceux-ci tenait un encensoir et le prêtre se baissait vers lui pour régler la longueur de la chaîne d'argent.

「主語」 「動詞」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

L'un de ceux-ci ラン・トゥ・クスシ n.m. 侍者の 1 人は

「主語」

tenait トゥネ 3 単半(tenir)v.t. 持っていた

「動詞」

un encensoir アン・オンソンス'ワ・ル n.m. つり香炉を

「目的語」

つり香炉：ひもでつり下げたようにした香炉

et エ conj. そして

le prêtre ル・プ'レートル n.m. 司祭は

「主語」

se baissait ス'ベ'セ 3 単半(se baisser)v.pr. 身をかがめていた

「動詞句」

vers lui ヴ'ェール・リュイ adv. 彼の方へ

「副詞句」

pour +不定詞 プ'ール adv. ～するために

「副詞句」

régler レ'グレ 不定詞 v.t. 調整する

「動詞」

la longueur ラ・ロン'ゲール n.f. 長さを

「目的語」

de la chaîne d'argent. トゥ・ラ・シェヌ・ダ'ル'ゼ'ヨ'ン adj. 銀の鎖の 「形容詞句」

僕たちが着くと、司祭は立ち上がった。

Quand nous sommes arrivés, le prêtre s'est relevé.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」

Quand コ'ン conj. ～すると、～した時

「副詞節」

nous ヌ pron. 僕たちが

「主語」

sommes arrivés, ソム・サ'リヴ'ェ 1 複現・完了形(arriver)v.i. 着いた

「動詞句」

le prêtre ル・プ'レートル n.m. 司祭は

「主語」

s'est relevé. セ・ル'ヴ'ェ 3 単現・完了形(se relever)v.pr. 立ち上がった

「動詞句」

彼は僕のことを「我が子よ」と呼んで、僕に何かを話した。彼が中に入ったので、僕は彼の後ろについて行った。

Il m'a appelé «mon fils» et m'a dit quelques mots. Il est entré ; je l'ai suivi.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「主語」「動詞句」；「主語」「目的語」「動詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

a appelé ア・アプレ 3 単現・完了形(appeler)v.t (qn+補語) (人) を～と呼んだ 「動詞句」

mon fils» モン・フィス n.m 「我が子よ」 「補語」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

quelques mots. ケルク・モ pl.n.m 何かを 「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

est entré ; エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 中に入った 「動詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ル pron 彼に 「目的語」

ai suivi. エ・シュイヴィ 1 単現・完了形(suivre)v.t 後について行った 「動詞句」

既に柩のねじ釘が締められていることと、部屋の中には黒服の男が 4 人いることが一挙に僕の目に入ってきた。

J'ai vu d'un coup que les vis de la bière étaient enfoncées et qu'il y avait quatre hommes noirs dans la pièce. 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 et 「目的語」

J' ジュジュ pron 僕は 「主語」

ai vu エ・ヴィ 1 単現・完了形(voir)v.t 見えた 「動詞句」

d'un coup ダン・ク adv. 一目で 「副詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

les vis de la bière レ・ヴィストゥ・ラ・ビエール pl.n.f 柩のねじ釘が 「主語」

étaient enfoncées エ・オンフォンセ 3 複半・受動(enfoncer)

v.t 差し込まれていた 「動詞句」

et エ conj. そして

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(avoir)v.t ～がいた 「動詞句」

quatre hommes noirs キャトル・オム・ヌワール pl.n.m 黒服の男が 4 人 「目的語」

dans la pièce. トン・ラ・ピエス adv. 室内には 「副詞句」

院長が僕に、柩車が道で待っていると言う声と、司祭が祈禱を始める声が同時に聞こえた。

J'ai entendu en même temps le directeur me dire que la voiture attendait sur la route et le prêtre commencer ses prières.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」「補語」 et 「目的語」「補語」
J' ジュ ジュ pron 僕は 「主語」
ai entendu エ・オントデュ 1 単現・完了形・知覚動詞(entendre)v.t (qn+不定詞)
v.t (人が) ～するのが聞こえた 「動詞句」
en même temps オン・メム・トン adv. 同時に 「副詞句」
le directeur ル・ディレクテール n.m 院長が 「目的語」
me dire ム・ディール 不定詞 v.t 僕に～と言う 「補語」
que ク conj. ～ということを 「目的語」
la voiture ラ・ヴワチュール n.f 柩車が 「主語」
attendait アトンテ 3 単半(attendre)v.i 待っている 「動詞」
sur la route シュール・ラ・ルート adv. 道で 「副詞句」
et エ conj. そして
le prêtre ル・プレートル n.m 司祭が 「目的語」
commencer コモンセ 不定詞 v.t 始める 「補語」
ses prières. セ・プリエール pl.n.f 祈禱を 「目的語」

この瞬間から、すべてが非常に慌ただしく進んだ。

A partir de ce moment, tout est allé très vite. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」
A partir de ア・パルティール・トウ adv. ～から 「副詞句」
ce moment, ス・モモン n.m この瞬間 「目的語」
tout トウ pron 全てが 「主語」
est allé エ・アレ 3 単現・完了形(aller)v.i (物事が) 運んだ、進んだ 「動詞句」
très vite. トレ・ヴィット adv. 非常に慌ただしく 「副詞句」

4 人の男たちは、掛布を持って柩に歩み寄った。

Les hommes se sont avancés vers la bière avec un drap. 「主語」「動詞句」「副詞句」
Les hommes レ・ゾム pl.n.m 4 人の男たちは 「主語」
se sont avancés ス・ソン・アヴ・オンセ 3 複現・完了形.pl(s'avancer)v.pr 前に出た 「動詞句」
vers la bière ヴァール・ラ・ビエール adv. 柩の方へ 「副詞句」
avec un drap. アヴ・エッキ・アン・トラ adv. 柩の掛布を持って 「副詞句」

司祭、侍者、院長そして私自身は外に出た。

Le prêtre, ses suivants, le directeur et moi-même sommes sortis.

| | |
|---|--------------------------------|
| | 「主語」, 「主語」, 「主語」 et 「主語」 「動詞句」 |
| Le prêtre, ル・プ・レートル n.m 司祭は | 「主語」 |
| ses suivants, セ・シュイヴ'ォン pl.n.m 侍者たち | 「主語」 |
| le directeur ル・ディレクトゥール n.m 院長 | 「主語」 |
| et エ conj. そして | |
| moi-même ムワ・メーム pron 私自身 | 「主語」 |
| sommes sortis. ソム・ソルティ 3 複現・完了形(sortir)v.i 外に出た | 「動詞句」 |

戸口の前に 1 人の女性がいた : 「ムルソーさんです」と言って、僕をその女性に紹介した。

Devant la porte, il y avait une dame que je ne connaissais pas: «M. Meursault», a dit le directeur.

| | |
|--|--|
| | 「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」 : 《「紹介」》 「動詞句」 「主語」 |
| Devant la porte, ドゥ'ァン・ラ・ポルト adv. 戸口の前に | 「副詞句」 |
| il y avait イ・リ・アヴ'ェ 3 単半(avoir)v.t ~がいた | 「動詞句」 |
| une dame ユヌ・ダム n.f 1 人の女性が | 「目的語」 |
| que ク pron (目的語) ~する | 「形容詞節」 |
| je ジュ・ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| ne connaissais pas: 1 単半・否定(connaître)v.t 知らなかった | 「動詞句」 |
| M. Meursault, ムシュ・ムルソー n. ムルソーさんです | 「紹介」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| le directeur. ル・ディレクトゥール n.m 院長は | 「主語」 |

その女性の名前は聞き取れなかったが、彼女が派遣の看護婦だということだけは分かった。

Je n'ai pas entendu le nom de cette dame et j'ai compris seulement qu'elle était infirmière déléguée.

| | |
|---|-------|
| Je ジュ・ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai pas entendu ネ・パ・ォントジュ 1 単現・完・否定(entendre)v.t 聞こえなかった | 「動詞句」 |
| le nom de cette dame ル・ノム・ド'ォ・セツ・ダム n.m その女性の名前 | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ・ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 分かった | 「動詞句」 |
| seulement スルモン adv. ~だけは | 「副詞」 |
| qu' ク conj. ~ということを | 「目的語」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |

infirmière déléguée. アンフィルミエール・デレグ n.f 派遣の看護婦 「補語」
délégué デレグ 過去分詞(déléguer)adj. 送られた、派遣された

彼女は、微笑むこともなく骨ばって長いその顔を傾けた。

Elle a incliné sans un sourire son visage osseux et long.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
Elle エル pron 彼女は 「主語」
a incliné ア・アンクリネ 3 単現・完了形(incliner)v.t 傾けた 「動詞句」
sans un sourire ソン・ザン・スール adv. 微笑むこともなく 「副詞句」
son visage ソン・ヴァイザージュ n.m その顔を 「目的語」
osseux et long. オソ・エ・ロン adj. 骨ばって長い 「形容詞句」

それから僕たちは、棺を通させるために脇へ寄った。

Puis nous nous sommes rangés pour laisser passer le corps.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」
Puis ビュイ adv. それから 「副詞」
nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
nous sommes rangés ヌ・ソム・ロンジェ 1 複現・完了形(se ranger)v.pr 脇へ寄った 「動詞句」
pour +不定詞 プール adv. ～するために 「副詞句」
laisser passer レッセ・パセ 不定詞・使役(laisser+不定詞)v.t 通させる 「動詞句」
le corps. ル・コール n.m 柩を 「目的語」

僕たちは、柩を担いでいる男たちついて行き、養老院から外に出た。

Nous avons suivi les porteurs et nous sommes sortis de l'asile.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」
Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
avons suivi アヴ・オン・シュイヴィ 1 複現・完了形(suivre)v.t 後について行った 「動詞句」
les porteurs レ・ポルテール pl.n.m 柩を担いでいる男たち 「目的語」
et エ conj. そして
nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
sommes sortis ソム・ソルティ 1 複現・完了形(sortir)v.i 外に出た 「動詞句」
de l'asile. ドゥ・ラジール adv. 養老院から 「副詞句」

門の前には車が止まっていた。ニスを塗られ、細長くで光沢のあるその車は、鉛筆入れを思い出させた。

Devant la porte, il y avait la voiture. Vernie, oblongue et brillante, elle faisait penser à un plumier. 「副詞句」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」
Devant la porte, トゥヴ・オン・ラ・ポルト adv. 門の前には 「副詞句」
il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(avoir)v.t あった 「動詞句」
la voiture. ラ・ヴ・ワチュール n.f 車が 「目的語」
Vernie, ヴェルニ 過去分詞・受動(vernir)adj.f ニスを塗られた 「形容詞」
oblongue オブ・ロング adj.f 細長い 「形容詞」
et エ conj. そして
brillante, ブリヨント adj.f 光沢のある 「形容詞」
elle エル pron その車は 「主語」
faisait penser フェ・ボンセ 3 単半・使役(faire+不定詞)
v.i 思わせた 「動詞句」
à un plumier. ア・ウン・プリュミエ adv. 鉛筆入れのことを 「間接目的語」

その横には、おかしい服を着た小男の世話役とぎごちない様子の老人がいた。

A côté d'elle, il y avait l'ordonnateur, petit homme aux habits ridicules, et un vieillard à l'allure empruntée. 「副詞句」「動詞句」「目的語」 et 「目的語」
A côté d'elle, ア・コテ・デル adv. その横には 「副詞句」
il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(avoir)v.t いた 「動詞句」
l'ordonnateur, ロルデ・ナテル n.m 世話役が 「目的語」
世話役：葬儀の進行係
petit homme プティ・トム n.m (同格) 小男の 「目的語」
aux habits ridicules, オ・アビ・リディキュール adj. おかしい服を着た 「形容詞句」
et エ conj. そして
un vieillard アン・ヴィエイヤール n.m 老人が 「目的語」
à l'allure empruntée. ア・アリュール・オンプリテ adj. ぎごちない様子の 「形容詞句」
allure アリュール n.f 様子 emprunté オンプリテ adj. ぎごちない

それがペレーズ氏だと、僕は分かった。

J'ai compris que c'était M. Pérez. 「主語」「動詞句」「目的語」
J' ジュ・ジュ pron 僕は 「主語」
ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 分かった 「動詞句」
que ク conj. ～ということが 「目的語」
c' ス pron それが 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である 「動詞」
M. Pérez. ムッシュ・ペレ n. ペレーズ氏 「補語」

彼は、丸いお椀形でつばが広いソフト帽をかぶっていた。(柩が門を通り抜ける時、彼はそれを脱いだ) 服装は、ズボンがたるんで短靴の上で渦巻いており、黒い蝶ネクタイは白の大きいカラーのワイシャツに対して小さすぎるという具合だった。

Il avait un feutre mou à la calotte ronde et aux ailes larges (il l'a ôté quand la bière a passé la porte), un costume dont le pantalon tire-bouchonnait sur les souliers et un noeud d'étoffe noire trop petit pour sa chemise à grand col blanc.

「主語」「動詞」「目的語」「(「主語」「目的語」「動詞句」「副詞節)」「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」
avait アヴヱ 3 単半(avoir)v.t (着用) (帽子を) かぶっていた 「動詞」
un feutre mou アン・フートル・ムー n.m ソフト帽を 「目的語」
à la calotte ronde ア・ラ・ツキャロット・ロント adj. 丸いお椀形の 「形容詞句」
et エ conj. そして
aux ailes larges オ・エレ・ラルジュ adj. つばが広い 「形容詞句」
(il イル pron 彼は 「主語」
l' ル pron それを 「目的語」
a ôté ア・オテ 3 単現・完了形(ôter)v.t (帽子を) 脱いだ 「動詞句」
quand コン conj. 〜した時に 「副詞節」
la bière ラ・ビエール n.f 柩が 「主語」
a passé ア・パセ 3 単現・完了形(passer)v.t (を) 通り抜ける 「動詞句」
la porte), ラ・ポルト n.f 門を 「目的語」
un costume アン・コスチューム n.m 服装で 「副詞句」
dont トン pron (同格) 〜という 「形容詞節」
le pantalon ル・パンタロン n.m ズボンは 「主語」
tire-bouchonnait チル・ブショネ 3 単半(tire-bouchonner)v.i 渦巻いていた 「動詞」
sur les souliers シュール・レスリエ adv. 短靴の上で 「副詞句」
et エ conj. そして
un noeud d'étoffe noire アン・ヌー・テトッフ・ヌワール n.m 黒い蝶ネクタイ 「主語」
trop petit トロ・プティ adj. 小さすぎる 「補語」
pour sa chemise プール・サ・シュミーズ adv. ワイシャツに対して 「副詞句」
à grand col blanc. ア・グロン・コアル・ブロン adj. 白の大きいカラーの 「形容詞句」

黒い斑点が散りばめられた鼻の下で、彼の唇は震えていた。

Ses lèvres tremblaient au-dessous d'un nez truffé de points noirs.

「主語」「動詞」「副詞句」

Ses lèvres セ・レーヴル pl.n.f 彼の唇は

「主語」

tremblaient トロンブレ 3 複半(trembler)v.i 震えていた

「動詞」

au-dessous d'un nez オ・ドゥス・ダン・ネ 鼻の下で

「副詞句」

truffé トルフェ 過去分詞・受動(truffer)v.t 詰め込まれた

「形容詞」

de points noirs. トゥ・プ・オンヌワール adv. 黒い点によって

「副詞句」

黒い斑点が散りばめられた鼻の下で

彼の薄めの白髪の下から、ぶらっと垂れ下がって縁の形が崩れた奇妙な形の耳がはみ出し
ていた。彼の青白い顔の中で、その耳の血のような赤い色が僕に強烈な印象を与えた。

Ses cheveux blancs assez fins laissaient passer de curieuses oreilles ballantes et mal
ourlées dont la couleur rouge sang dans ce visage blafard me frappa.

「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「副詞句」「目的語」「動詞」

Ses cheveux blancs セ・シュヴ・ブロン pl.n.m 彼の白髪は

「主語」

assez fins アセ・ファン adj. どちらかというと薄い、薄めの

「形容詞句」

assez アセ adv. かなり、(次の形容詞を弱めて) まあ、どちらかというと

laissaient passer レ・パセ 3 複半・使役(laisser+不定詞)v.t はみ出させていた

「動詞句」

de curieuses oreilles トゥ・キュリュース・オレイ pl.n.f 奇妙な耳を

「目的語」

ballantes バラント adj. 垂れ下がった、ぶらぶらしている

「形容詞」

et エ conj. そして

mal ourlées マル・ウル adj. 縁の形が崩れた

「形容詞句」

耳を「主語」にして翻訳する

dont トン adj. その耳の

「形容詞」

la couleur rouge sang ラ・クレール・ルージュ・ソン n.f 血のような赤い色は

「主語」

dans ce visage blafard トン・ス・ヴィザージュ・ブラファール adv. 青白い顔の中で

「副詞句」

me ム pron 僕に

「目的語」

frappa. フラパ 3 単過(frapper)v.t 強烈な印象を与えた

「動詞」

葬儀の進行係が、僕たちにそれぞれの座席を示した。

L'ordonnateur nous donna nos places.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

L'ordonnateur ロルトナテル n.m 葬儀の進行係が

「主語」

nous ヌ pron 僕たちに

「間接目的語」

donna トナ 3 単過(donner)v.t 示した、知らせた

「動詞」

nos places. ノス・プラス pl.n.f 座席を

「直接目的語」

司祭が先頭を歩き、次に柩車が続いた。

Le curé marchait en avant, puis la voiture. 「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞」「主語」
Le curé ル・キュレ n.m 司祭が 「主語」
marchait マルシェ 3 単半(marcher)v.i 歩いた 「動詞」
en avant, オン・アヴァン adv. 先頭を、前へ 「副詞句」
puis ピュイ adv. 次に 「副詞」
la voiture. ラ・ウゝわチュール n.f 柩車が 「主語」

柩車の周りには、黒服の 4 人。その後ろに、院長とぼく。しんがりを務めているのは、派遣の看護婦とペレーズ氏である。

Autour d'elle, les quatre hommes. Derrière, le directeur, moi-même et, fermant la marche, l'infirmière déléguée et M. Pérez.

「副詞句」「主語」 | 「副詞」「主語」 et 「副詞句」「主語」
Autour d'elle, オトゥール・デール adv. 柩車の周りには 「副詞句」
elle は la voiture の代用
les quatre hommes. レ・クワトル・オム pl.n.m 黒服の 4 人 「主語」
Derrière, デリエール adv. その後ろに 「副詞」
le directeur, ル・ディレクテール n.m 院長 「主語」
moi-même ムワ・メーム pron 僕自身 「主語」
et, エ conj. そして
fermant フェルマン 現在分詞(fermer)v.i しんがりを務めているのは 「副詞句」
la marche, ラ・マルシュ n.f 行列の 「目的語」
fermer la marche 「行進のしんがりを務める」
l'infirmière déléguée ランフィルミエール・デレゲ n.f 派遣の看護婦 「主語」
et エ conj. そして
M. Pérez. ムシュ・ペレ n. ペレーズ氏 「主語」

空は、もうすでに太陽でいっぱいだった。

Le ciel était déjà plein de soleil. 「主語」「動詞」「副詞」「補語」
Le ciel ル・シエル n.m 空は 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
déjà デジャ adv. もう 「副詞」
plein de soleil. プラン・トゥ・ソレイユ adj. 太陽でいっぱい 「補語」

それが地上に重くのしかかってきて、暑さが急速に増してきた。

Il commençait à peser sur la terre et la chaleur augmentait rapidement.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「副詞」
Il イル pron それが 「主語」
commençait à peser コモンセ・ア・ペセ 3 単半・開始(commencer a+不定詞)
v.i (sur に) 重くのしかかってきた 「動詞句」
sur la terre シュール・ラ・テール adv. 地上に 「副詞句」
et エ conj. そして
la chaleur ラ・シャレール n.f 暑さが 「主語」
augmentait オグモンテ 3 単半(augmenter)v.i 増してきた 「動詞」
rapidement. ラピットモン adv. 急速に 「副詞」

なぜか分からないが、僕たちは歩き始めるまでにかかなり長い時間待った。

Je ne sais pas pourquoi nous avons attendu assez longtemps avant de nous mettre en marche.

「主語」「動詞句」「目的語」
Je ジュジュ pron 僕は 「主語」
ne sais pas ノセパ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない 「動詞句」
pourquoi フルクワ n. どうして～なのかということ 「目的語」
nous ノ pron 僕たちは 「主語」
avons attendu アヴオン・サトンドゥ 1 複現・完了形(attendre)v.i 待った 「動詞句」
assez longtemps アセ・ロントソ adv. かなり長い時間 「副詞句」
avant de +不定詞 アヴオン・ドゥ adv. ～する前に 「副詞句」
nous mettre en +無冠詞名詞 ノ・メトル・オン 不定詞(se mettre en+無冠詞名詞)
v.i ～し始める 「動詞句」
marche. マルシュ n.f 歩み、行進 「間接目的語」

僕の黒っぽい背広の内側が暑くなってきた。

J'avais chaud sous mes vêtements sombres.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
J' ジュジュ pron 僕は 「主語」
avais アヴエ 1 単半(avoir)v.t (+無冠詞名詞) ～だった 「動詞」
chaud ショ n.m 暑さ 「目的語」
sous mes vêtements ス・メ・ヴェトモン adv. 背広の下が 「副詞句」
sombres. ソンブル adj. 黒っぽい 「形容詞」

その小柄な老人は、帽子をかぶりなおしていたが、それをまた脱いだ。

Le petit vieux, qui s'était recouvert, a de nouveau ôté son chapeau.

「主語」「動詞句」「目的語」

Le petit vieux, ル・プティ・ヴィヨ n.m その小柄な老人は

「主語」

qui キ pron (主語) ~する

「形容詞節」

s'était recouvert, セテ・ルクヴェール 3 単半・完了形(se recouvrir)

v.pr 再びかぶっていた、かぶりなおしていた

「動詞句」

a de nouveau ôté ア・ドゥ・ヌヴェ・オテ 3 単現・完了形(oter+ de nouveau)

v.t また脱いだ

「動詞句」

son chapeau. ソン・シャポー n.m 帽子を

「目的語」

僕は少し彼の方を向いていたので、彼を見ていた。その時、院長が僕に彼の話を話し始めた。

Je m'étais un peu tourné de son côté, et je le regardais lorsque le directeur m'a parlé de lui.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「目的語」「動詞」

lorsque 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュジュ pron 僕は

「主語」

m'étais un peu tourné メ・アン・フ・トゥルネ 1 単半・完了形(se tourner+ un peu)

v.pr 少し〜の方を向いていた

「動詞句」

de son côté, ドゥ・ソン・コテ adv. 彼の方を

「副詞句」

et エ conj. そして

je ジュジュ pron 僕は

「主語」

le ル pron 彼を

「目的語」

regardais ルギャルテ 1 単半(regarder)v.t 見ていた

「動詞」

lorsque ルスキ conj. その時

le directeur ル・ディレクトゥール n.m 院長が

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i 話した

「動詞句」

de lui. ドゥ・リュイ adv. 彼の話を

「間接目的語」

彼の話では、母とペレーズ氏は看護婦に付き添われて、夕方よく村まで散歩に出かけたということだった。

Il m'a dit que souvent ma mère et M. Pérez allaient se promener le soir jusqu'au village, accompagnés d'une infirmière.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 話した 「動詞句」
que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
souvent スヴオン adv. しばしば、よく 「副詞」
ma mère et M. Pérez マ・メル・エ・ムシュ・ペレ pl.n 母とペレーズ氏は 「主語」
allaient +不定詞 3 複半(aller+不定詞)v.i ～しに行った 「動詞句」
se promener ス・プロムネ 不定詞 v.pr 散歩する 「動詞句」
le soir ル・スワール adv. 夕方 「副詞句」
jusqu'au village, シュスコ・ヴァイヤージュ adv. 村まで 「副詞句」
accompagnés アコンパニエ 過去分詞・受動.pl(accompagner)
adj. 付き添われて 「副詞句」
d'une infirmière. デュヌ・アンフィルミエール adv. 看護婦に 「副詞句」

僕は自分の周りの田園風景を眺めた。

Je regardais la campagne autour de moi. 「主語」「動詞」「目的語」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
regardais ルギャルテ 1 単半(regarder)v.t 眺めた 「動詞」
la campagne ラ・コンパニエ n.f 田園を、田園風景を 「目的語」
autour de moi. オウール・トゥムワ adv. 僕の周りの 「副詞句」

空に迫る丘へと続く糸杉の列、赤褐色と緑のこの大地、まばらで、輪郭がくっきりしたあれらの家々といったものを通して、僕は母さんを理解した。

A travers les lignes de cyprès qui menaient aux collines près du ciel, cette terre rousse et verte, ces maisons rares et bien dessinées, je comprenais maman.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」
A travers ア・トラヴァール adv. ～を通して 「副詞句」
les lignes de cyprès レ・リニエ・トゥ・シプレ pl.n.f 糸杉の列 「目的語」
qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
menaient ムネ 3 複半(mener)v.t (à に) 至る 「動詞」
aux collines オ・コリーヌ adv. 丘へ 「副詞句」
près du ciel, プレ・シユ・シエル adv. 空に迫る 「副詞句」
cette terre セット・テル n.f この大地 「目的語」
rousse et verte, ルス・エ・ヴェルトゥ adj. 赤褐色と緑の 「形容詞句」
ces maisons セ・メゾン pl.n.f あれらの家々 「目的語」
rares et bien dessinées, ラール・エ・ビヤン・デシネ
adj.f.pl まばらで、輪郭がくっきりした 「形容詞句」
je ジュ pron 僕は 「主語」

comprenais コンプレネ 1 単半(comprendre)v.t 理解した 「動詞」
maman. マモン n.f 母さんを 「目的語」

夕暮れは、この田舎町では、物悲しい休戦のような時間だったに違いない。

Le soir, dans ce pays, devait être comme une trêve mélancolique.

「主語」「副詞句」「動詞句」「補語」
Le soir, ル・スワール n.m 夕方は 「主語」
dans ce pays, ドン・ス・ペイ adv. この田舎町では 「副詞句」
devait être トゥヴァー・テートル 3 単半・推定(devoir+不定詞)
v.i 〜であったに違いない 「動詞句」
comme コム conj. 〜のような 「補語」
une trêve mélancolique. エヌ・トレヴ・メラコリキ n.f 物悲しい休戦 「目的語」

今日は、陽炎のように風景を震えさせている溢れんばかりの太陽が、その景色を無情で気の滅入るものに変えていた。

Aujourd'hui, le soleil débordant qui faisait tressaillir le paysage le rendait inhumain et déprimant.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「補語」
Aujourd'hui, オージュルトゥイ adv. 今日は 「副詞」
le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽が 「主語」
débordant デボルトン adj. 溢れんばかりの 「形容詞」
qui キ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
faisait tressaillir フェ・トサイール 3 単半・使役(faire+不定詞)
v.i (陽炎のように) 震えさせていた 「動詞句」
le paysage ル・ペイザージュ n.m 風景を 「目的語」
le ル pron それを 「目的語」
rendait ロンテ 3 単半(rendre)v.t(SVOC) O を C にしていた 「動詞」
inhumain et déprimant. イヌマン・エ・デプリモン adj. 無情で気の滅入る 「補語」

僕たちは歩き始めた。

Nous nous sommes mis en marche.

「主語」「動詞句」「間接目的語」
Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
nous sommes mis ヌ・ソム・ミ 1 複現・完了形(se mettre+en+無冠詞名詞)
v.pr 〜し始めた 「動詞句」
en marche. オン・マルシュ adv. 歩みに 「間接目的語」

ペレーズがわずかにびっこを引いているのに気がついたのはその時だった。

C'est à ce moment que je me suis aperçu que Pérez claudiquait légèrement.

「動詞」「副詞句」「主語」

C' ス pron 仮の主語(真の主語は que 以降) 強調構文

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

à ce moment ア・ス・モメン adv. この時 「副詞句」

que ク conj. 〜ということは 「主語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis aperçu ム・シュイ・アペルシュ 1 単現・完了形(s'apercevoir que+直説法)

v.pr 〜に気付いた 「動詞句」

que ク conj. 〜ということ 「目的語」

Pérez ペレ n. ペレーズが 「主語」

claudiquait クロティケ 3 単半(claudiquer)v.i びっこを引いていた 「動詞」

légèrement. レジェルモン adv. わずかに、軽く 「副詞」

霊柩車がだんだん速度を上げて行くと、老人は遅れ始めた。

La voiture, peu à peu, prenait de la vitesse et le vieillard perdait du terrain.

「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞」「目的語」

La voiture, ラ・ヴァチュール n.f 車が、霊柩車が 「主語」

peu à peu, プ・ア・プ adv. 少しずつ、だんだん 「副詞句」

prenait プルネ 3 単半(prendre)v.t (速度を) 上げた 「動詞」

de la vitesse トゥ・ラ・ヴィテス n.f 速度を 「目的語」

et エ conj. すると

le vieillard ル・ビエイヤール n.m 老人は 「主語」

perdait ペルテ 3 単半(perdre)v.t 失った 「動詞」

du terrain. ジュ・テラン n.m 土地 「目的語」

perdre du terrain 「地歩を失う、後退する、遅れる」

馬車を取り囲んでいた男たちの一人も同様について行けなくなって、今は僕と同じ位置を歩いていた。

L'un des hommes qui entouraient la voiture s'était laissé dépasser aussi et marchait maintenant à mon niveau.

「主語」「動詞句」「副詞」 et 「動詞」「副詞」

L'un des hommes ラン・デ・ゾム n.m 男たちの一人が 「主語」

qui キ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

entouraient オトウレ 3 複半(entourer)v.t 取り囲んでいた 「動詞」

la voiture ラ・ヴァチュール n.f 霊柩車(馬車)を 「目的語」

s'était laissé dépasser セ・レ・セ・パセ 3 単現・完了形・受動(se laisser+不定詞)

v.pr 追い越されるままになった、付いて行けなくなった 「動詞句」

se laisser+不定詞「～される（がままになる）」

aussi オ adv. もまた、同様に 「副詞」

et エ conj. そして

marchait マルシェ 3 単半(marcher)v.i 歩いていた 「動詞」

maintenant マントナソ adv. 今は 「副詞」

à mon niveau. ア・モン・ニヴェォ adv. 僕の位置を 「副詞句」

僕は太陽が空に昇る速さに驚かされた。

J'étais surpris de la rapidité avec laquelle le soleil montait dans le ciel.

「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

étais surpris エテ・シュルプリ 1 単半・受動(surprendre)v.t 驚かされた 「動詞句」

de la rapidité トゥ・ラ・ラピディテ adv. 速度によって 「副詞句」

avec laquelle アヴェ・ェッキ・ラケル adj. それで～する 「形容詞節」

le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽が 「主語」

montait モンテ 3 単半(monter)v.i 昇る 「動詞」

dans le ciel. トン・ル・シエル adv. 空に 「副詞句」

僕は、もうだいぶ前から田畑が虫の鳴き声や草のこすれる音で騒がしくなっていることに気がついていた。

Je me suis aperçu qu'il y avait déjà longtemps que la campagne bourdonnait du chant des insectes et de crépitements d'herbe.

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis aperçu ム・シュイ・アペルジュ 1 単現・完了形(s'apercevoir)

v.pr (que+直説法) ～に気がついていた 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ 「目的語」

il y avait déjà longtemps que +直説法 イ・リ・アヴェ・テジャ・ロントソ・ク

adv. もうだいぶ前から 「副詞句」

la campagne ラ・コンパニユ n.f 田畑が 「主語」

bourdonnait ブルトネ 3 単半(bourdonner)v.i ぶんぶん音を立てていた 「動詞」

du chant des insectes ジュ・シヨン・テ・アンセクト adv. 虫の鳴き声で 「副詞句」

et エ conj. そして

de crépitements d'herbe. トゥ・クレピトモン・デルブ adv. 草のこすれる音で 「副詞句」

crépitement クレピトモン n.m パチパチいう音

汗が左右の頬を伝って流れ落ちた。

La sueur coulait sur mes joues. 「主語」「動詞」「副詞句」
La sueur ラ・シュール n.f 汗が 「主語」
coulait クレ 3 単半(couler)v.i 流れた 「動詞」
sur mes joues. シュール・メ・ジュー adv. 頬の上を 「副詞句」

僕は、帽子が無かったので、ハンカチで自分の顔をあおいだ。

Comme je n'avais pas de chapeau, je m'éventais avec mon mouchoir.
「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」
Comme コム conj. ～なので 「副詞節」
je ジュ pron 僕は 「主語」
n'avais pas ナヴ・ェ・パ 1 単半・否定(avoir)
v.t 無かった、かぶっていなかった 「動詞句」
de chapeau, トゥ・シャポー n.m 帽子を 「目的語」
je ジュ pron 僕は 「主語」
m'éventais メヴ・ォンテ 1 単半(s'éventer)v.pr 自分をあおいだ 「動詞句」
avec mon mouchoir. アヴ・ェツキ・モン・ムシュワール adv. ハンカチで 「副詞句」

その時、葬儀屋の社員が僕に何か言ったのだが、僕は聞き取れなかった。

L'employé des pompes funèbres m'a dit alors quelque chose que je n'ai pas entendu.
「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」「形容詞節」
L'employé ロンフ・ロワイエ n.m 従業員が 「主語」
des pompes funèbres テ・ポ・ンフ・フネブル adj. 葬儀屋の 「形容詞句」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
alors アロー adv. その時 「副詞」
quelque chose ケルク・ショーズ pron 何かを 「直接目的語」
que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
je ジュ pron 僕は 「主語」
n'ai pas entendu. ネ・パ・ォントンデュ 1 単現・完了形・否定(entendre)
v.t 聞き取れなかった 「動詞句」

同時に彼は、右手でハンチングのつばを持ち上げて、左手に持っていたハンカチで頭のでっぺんを拭った。

En même temps, il s'essuyait le crâne avec un mouchoir qu'il tenait dans sa main gauche, la main droite soulevant le bord de sa casquette.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「副詞句」

En même temps, オン・メーム・トン adv. 同時に 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

s'essuyait セシュエイ 3 単半(s'essuyer)v.pr 拭いた、拭った 「動詞句」

le crâne ル・クラヌ n.m 頭のでっぺんを 「目的語」

avec un mouchoir アヴ・エッキ・アン・ムシュワール adv. ハンカチで 「副詞句」

qu' ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」

il イル pron 彼は 「主語」

tenait トゥネ 3 単半(tenir)v.t 持っていた 「動詞」

dans sa main gauche, ドン・サ・マン・ゴッシュ adv. 左手に 「副詞句」

la main droite ラ・マン・トルワット n.f 右手は 「主語」

soulevant スルヴァン 現在分詞(soulever)v.t 持ち上げながら 「副詞句」

le bord ル・ボードール n.m 縁を 「目的語」

de sa casquette. トゥ・サ・カスケット adj. ハンチングの 「形容詞句」

casquette n.f ひさしのある帽子、ハンチング

僕は彼に言った：「なんですって？」

Je lui ai dit: «Comment?» 「主語」「間接目的語」「動詞句」:《「応答」》

Je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

Comment? コモン adv. なんですって? 「応答」

彼は空を指しながら、繰り返し言った。「照りつけるねえ」僕は答えた。「ええ」少し後で、彼は僕に尋ねた。「あのひつぎはおふくろさんかい？」僕はまた答えた。「ええ」「おおふくろさんはかなりのお年だったのかい？」

Il a répété en montrant le ciel: «Ça tape.» J'ai dit: «Oui.» Un peu après, il m'a demandé: «C'est votre mère qui est là?» J'ai encore dit: «Oui.» «Elle était vieille?»

「主語」「動詞句」「副詞句」:《「主語」「動詞」》 | 「主語」「動詞句」:《「応答」》

「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」:《「動詞」「補語」「主語」》

「主語」「動詞句」:《「応答」》 | 《「主語」「動詞」「補語」》

Il イル pron 彼は 「主語」

| | | | | |
|----------------|------------|--------------------------|-------------------------|---------|
| a répété | ア・レペテ | 3 単現・完了形(répéter)v.t | 繰り返して言った | 「動詞句」 |
| en montrant | オン・モンタロン | ジェロンディフ(montrer)v.t | 指し示しながら | 「副詞句」 |
| le ciel: | ル・シエル | n.m | 空を | 「目的語」 |
| Ça | サ | pron | あれが (太陽が) | 「主語」 |
| tape. » | タプ | 3 単現(taper)v.i | (太陽が) 照りつける | 「動詞」 |
| J' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ai dit: | エ・ディ | 1 単現・完了形(dire)v.t | 答えた | 「動詞句」 |
| Oui. » | ウィ | adv. | ええ | 「応答」 |
| Un peu après, | アン・プ・アプレ | adv. | 少し後で | 「副詞句」 |
| il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé: | « ア・ドマンデ | 3 単現・完了形(demander)v.t | 尋ねた | 「動詞句」 |
| C' | ス | pron | 仮の主語(真の主語は qui 以降) 強調構文 | |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| votre mère | ヴォトル・メル | n.f | お母さん | 「補語」 |
| qui | キ | pron | (主語) 〜する人は | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | 〜にいる | 「動詞」 |
| là?» | ラー | adv. | あそこに | 「副詞」 |
| J' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ai encore dit: | エ・オンコール・ディ | 1 単現・完了形(dire+encore)v.t | また答えた | 「動詞句」 |
| Oui. » | ウィー | adv. | ええ | 「応答」 |
| Elle | エル | pron | 彼女は | 「主語」 |
| était | エテ | 3 単半(être)v.i | 〜だった | 「動詞」 |
| vieille?» | ヴィエイユ | adj. | 年老いた | 「補語」 |

僕は、正確な数字を知らなかったので、「ええ、まあ」と答えた。

J'ai répondu: «Comme ça», parce que je ne savais pas le chiffre exact.

| | | | | |
|-------------------|------------|-----------------------|--------|---------------------|
| | | | | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」 |
| J' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ai répondu: | エ・レポント | 1 単現・完了形(répondre)v.t | 答えた | 「動詞句」 |
| Comme ça», | コム・サ | adv. | ええ、まあ | 「目的語」 |
| parce que | パルス・ク | conj. | 〜なので | 「副詞節」 |
| je | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ne savais pas | ヌ・サヴァエ・パ | 1 単半・否定(savoir)v.t | 知らなかった | 「動詞句」 |
| le chiffre exact. | ル・シッフル・エグザ | n.m | 正確な数字を | 「目的語」 |

それから彼は黙った。僕が振り返ると、僕たちのおよそ 50 メートル後ろに年老いたペレーズ
の姿が見えた。

Ensuite, il s'est tu. Je me suis retourné et j'ai vu le vieux Pérez à une cinquantaine de mètres derrière nous.

「副詞」「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」et「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
Ensuite, オンシュイト adv. それから 「副詞」
il イル pron 彼は 「主語」
s'est tu. セ・チュ 3 単現・完了形(se taire)v.pr 黙った 「動詞句」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
me suis retourné ム・シュイ・ルトゥルネ 1 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り返った 「動詞句」
et エ conj. そして
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai vu エ・ヴェ 1 単現・完了形(voir)v.t 見えた 「動詞句」
le vieux Pérez ル・ヴィエイ・ペレ n.m 年老いたペレーズが 「目的語」
à une cinquantaine de mètres ア・ユヌ・サンコンテヌ・ド・ク・メートル
adv. およそ 50 メートルの距離に 「副詞句」
derrière nous. デリエール・ヌ adv. 僕らの後ろに 「副詞句」

彼は、腕の先に持ったソフト帽を振りながら、遅れないように速足で歩いていた。僕は院長
も観察してみた。

Il se hâtait en balançant son feutre à bout de bras. J'ai regardé aussi le directeur.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」
Il イル pron 彼は 「主語」
se hâtait ス・アテ 3 単半(se hâter)v.pr 遅れないように速足で歩いていた 「動詞句」
en balançant オン・バロンソ ジェロンディフ(balancer)v.t ～を振りながら 「副詞句」
son feutre ソン・フトル n.m ソフト帽を 「目的語」
à bout de bras. ア・ブ・ド・ク・ブラ adj. 腕の先の 「形容詞句」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai regardé エ・ルギヤルテ 1 単現・完了形(regarder)v.t 観察した 「動詞句」
aussi オシ adv. ～もまた 「副詞」
le directeur. ル・ディレクテール n.m 院長を 「目的語」

院長は、無駄な仕草をせずに、威厳に満ちた様子で歩いていた。

Il marchait avec beaucoup de dignité, sans un geste inutile. 「主語」「動詞」「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」
marchait マルシェ 3 単半(marcher)v.i 歩いていた 「動詞」

avec beaucoup de dignité, アヴ`ェッキ・ボク・ド`カ・デ`ィグニテ adv. 威厳に満ちた様子で「副詞句」
sans un geste inutile. ソン・アン・ジ`ェスト・イヌチル adv. 無駄な仕草をせずに「副詞句」

汗の滴がいくつか、額の上で玉になっていたが、彼はそれを拭わないでいた。

Quelques gouttes de sueur perlaient sur son front, mais il ne les essuyait pas.

「主語」「動詞」「副詞句」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」
Quelques gouttes ケルク・グット pl.n.f いくつかのしずくが 「主語」
de sueur トゥ・シュエール adj. 汗の 「形容詞句」
perlaient ペル 3 複半(perler)v.i (しずくが) 玉になっていた 「動詞」
sur son front, シュール・ソン・フロン adv. 額の上で 「副詞句」
mais メ conj. しかし
il イル pron 彼は 「主語」
ne ...essuyait pas. ス...エシュイエ・パ 3 単半・否定(essuyer)v.t 拭わないでいた 「動詞句」
les レ pl.pron それを 「目的語」

僕には、葬列の進行が少し速まったように思われた。

Il me semblait que le convoi marchait un peu plus vite. 「間接目的語」「動詞」「主語」
Il イル pron 仮の主語(真の主語は que 以降)
me ム pron 僕には 「間接目的語」
semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i ~のように見えた 「動詞」
que ク conj. ~ということが 「主語」
le convoi ル・コンヴァ` わ n.m 列が 「主語」
marchait マルジェ 3 単半・時制の一致(marcher)v.i 進んでいる 「動詞」
un peu plus vite. アン・プ`・フリュ・ヴァ`ィット adv. 少し早く 「副詞句」

僕の周りには、相変わらず太陽の光に満ちた同じ田園だった。

Autour de moi, c'était toujours la même campagne lumineuse gorgée de soleil.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」「補語」
Autour de moi, オトゥール・ド`カ・ムわ adv. 僕の周りには 「副詞句」
c' ス rpon そこは 「主語」
était セテ 3 単半(ce être)v.i ~だった 「動詞」
toujours トウジ`ュール adv. 相変わらず 「副詞」
la même campagne ラ・メーム・コンパ`ーニュ n.f 同じ田園 「補語」
lumineuse gorgée de soleil. リュミヌス`・ゴルジ`ェ・ト`カ・ソレイユ
adj. 太陽の光に満ちた 「形容詞句」

空の輝きが強くて、耐え難いほどだった。

L'éclat du ciel était insoutenable. 「主語」「動詞」「補語」
L'éclat du ciel レクラ・ドゥ・シエル n.m 空の輝きは 「主語」
était エ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
insoutenable. アンストゥナーブル adj. 耐えられない 「補語」

ふと気がつくと、僕らは最近修理されたと思われる道路の個所に通りかかった。

A un moment donné, nous sommes passés sur une partie de la route qui avait été
récemment refaite. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」
A un moment donné, ア・アン・モン・ドネ adv. ふとある時、急に、いつかは 「副詞句」
nous ヌ pron 私たちは 「主語」
sommes passés ソム・パセ 1 複現・完了形(passer)v.i 通りかかった 「動詞句」
sur une partie de la route シュール・ユヌ・パ ルティ・ドゥ・ラルート adv. 道路の部分に 「副詞句」
qui キ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
avait été récemment refaite. アヴ・ェ・エテ・レサモン・ルフエット 3 単半・完了形・受動(refaire)
v.t 最近修理された 「動詞句」
récemment ルサモン adv. 最近、近頃

灼熱の太陽がアスファルトを破裂させていた。

Le soleil avait fait éclater le goudron. 「主語」「動詞句」「補語」「目的語」
Le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽が 「主語」
avait fait アヴ・ェ・フェ 3 単半・完了形・使役(faire qn+不定詞)
v.t (人・物に) 〜させていた 「動詞句」
éclater エクラテ 不定詞 v.i 破裂する 「補語」
le goudron. ル・グドゥロン n.m アスファルトを 「目的語」

足が、破裂したアスファルトにめり込み、輝く中身を剥きだしにした。

Les pieds y enfonçaient et laissaient ouverte sa pulpe brillante. 「主語」「副詞」「動詞」 et 「動詞」「補語」「目的語」
Les pieds レ・ピエ pl.n.m 足が 「主語」
y イ adv. アスファルトに 「副詞」
enfonçaient オンフォンセ 3 複半(enfoncer)v.i 入り込む 「動詞」
et エ conj. すると
laissaient レッセ 3 複半・使役(laisser qn+C)v.t (人・物を) C の状態にした 「動詞」
ouverte ウヴエルト 過去分詞(ouvrir)adj.f 剥きだしの 「補語」
sa pulpe brillante. サ・ピュルプ・ブリヨントゥ n.f 輝く中身を 「目的語」

馬車の上の御者の煮固めた帽子がアスファルトの黒い泥の中でこねられたように見えた。

Au-dessus de la voiture, le chapeau du cocher, en cuir bouilli, semblait avoir été pétri dans cette boue noire. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Au-dessus de la voiture, オトウシユ・トウ・ラ・ウゝ わチュール adv. 馬車の上で 「副詞句」

le chapeau du cocher, ル・シャポ・ー・ジユ・コッシェ n.m 御者の帽子は 「主語」

en cuir bouilli, オン・クイル・ブイ adj. 煮固めた 「形容詞句」

「煮込んだ革」と言う意味。オイルやワックスで煮込んで乾燥して硬度を増した「ハードレザー」。なめし革のままの柔らかいものを「ソフトレザー」と呼ぶ。

semblait +不定詞 ツプレ 3 単半(sembler+不定詞)v.i ~するように見えた 「動詞句」

avoir été pétri アヴ・ワ・ル・エ・ペトリ 不定詞・完了形・受動(pétrir)

v.t こねられた 「動詞句」

dans cette boue noire. トン・セツ・ブー・ヌワ・ル adv. この黒い泥の中で 「副詞句」

空の青と白に対して、裂けたタールのねばねばした黒色、服のくすんだ黒、柩車の漆黒といった単調な色に囲まれて、僕は自分を見失いそうになった。

J'étais un peu perdu entre le ciel bleu et blanc et la monotonie de ces couleurs, noir gluant du goudron ouvert, noir terne des habits, noir laqué de la voiture.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

étais un peu perdu エテ・アン・プ・ペルテュ 1 単半・受動(perdre+ un peu)

v.t 自分を見失うところだった 「動詞句」

entre オントル adv. ~の間で 「副詞句」

le ciel bleu et blanc ル・シエル・ブル・エ・フロン n.m 青と白の空 「目的語」

et エ conj. そして

la monotonie de ces couleurs, ラ・モトニー・トウ・セ・クレール n.f その色の単調さ 「目的語」

noir gluant ヌワ・ル・グリュオン n.m ねばねばした黒色 「目的語」

du goudron ouvert, ジュ・グトロソ・ウヴェール adj. 裂けたタールの 「形容詞句」

noir terne ヌワ・ル・テルヌ n.m くすんだ黒 「目的語」

des habits, テ・ザビ adj. 服の 「形容詞句」

noir laqué ヌワ・ル・ラケ n.m 漆黒 「目的語」

de la voiture. トウ・ラ・ウゝ わチュール adj. 柩車の、馬車の 「形容詞句」

太陽、枢車が発する革と馬糞の臭い、ニスと香の匂い、徹夜の疲労といった、これらすべてが僕の視力と思考力を乱したのだ。

Tout cela, le soleil, l'odeur de cuir et de crottin de la voiture, celle du vernis et celle de l'encens, la fatigue d'une nuit d'insomnie, me troublait le regard et les idées.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Tout cela, トゥ・スラ pron これらすべてが 「主語」

le soleil, ル・ソレイユ n.m 太陽 「主語」

l'odeur オデーール n.f 臭い 「主語」

odeur オデーール n.f 悪い臭い senteur ソンテール n.f よい香り、香気(parfum)

de cuir トゥ・キューール adj. 革の 「形容詞句」

et エ conj. そして

de crottin トゥ・クロタン adj. 馬糞の 「形容詞句」

de la voiture, トゥ・ラ・ヴ むチュール

adj. 枢車が発する 「形容詞句」

celle du vernis セル・ジュー・ヴェルニ pron.f ニスの匂い 「主語」

et エ conj. そして

celle de l'encens, セル・トゥ・ロンソン pron.f 香の匂い 「主語」

la fatigue ラ・ファティグ n.f 疲労 「主語」

d'une nuit d'insomnie, テュヌヌ・ニユイ・ダンソムニ adj. 徹夜の 「形容詞句」

me ム pron 僕の 「間接目的語」

troublait トゥルブレ 3 単半(troubler)v.t 邪魔した、乱した 「動詞」

le regard et les idées. ル・ルギヤール・エ・レ・ジデー pl.n 視力と思考力を 「直接目的語」

僕はもう一度すり返ってみた：ペレーズは陽炎の陰にかすんでとても遠くに見えた。それから、彼はもう見えなくなった。

Je me suis retourné une fois de plus : Pérez m'a paru très loin, perdu dans une nuée de chaleur, puis je ne l'ai plus aperçu.

「主語」「動詞句」「副詞句」:

「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」「副詞句」, 「副詞」「主語」「動詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis retourné ム・シュイ・ルトゥルネ 1 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り返った 「動詞句」

une fois de plus : ヌヌ・フワ・トゥ・プリュ adv. もう一度 「副詞句」

Pérez ペレ n. ペレーズは 「主語」

m' ム pron 僕には 「間接目的語」

a paru ア・パリュ 3 単現・完了形(paraître)v.i ~のように見えた 「動詞句」

très loin, トレ・ルワン adj. とても遠くに 「補語」

perdu ペルジュ 過去分詞・受動(perdre)v.t 失われて 「副詞句」
dans une nuée de chaleur, トン・ジユヌ・ヌエ・トゥ・シャレル adv. 陽炎の中に 「副詞句」
nuée ニエ n.f 厚い雲 chaleur シャレル n.f 熱さ、熱 → 夏の熱さでできる陽炎
puis ピュイ adv. それから 「副詞」
je ジュ pron 僕は 「主語」
ne l'ai plus aperçu. ヌ・レ・プリュ・アペルシュ 1 単現・完了形・否定(apercevoir+l'+plus)
v.t もう彼は見えなくなった 「動詞句」

僕は視線を巡らせて彼を探した。すると、彼が道を離れて、野原に入っていくのが見えた。

Je l'ai cherché du regard et j'ai vu qu'il avait quitté la route et pris à travers champs.
「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
l' ル pron 彼を 「目的語」
ai cherché エ・チェルシェ 1 単現・完了形(chercher)v.t 探した 「動詞句」
du regard ジュ・ルギヤール adv. 視線で 「副詞句」
et エ conj. そして
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai vu エ・ウ ヌ 1 単現・完了形(voir)v.t ~が見えた 「動詞句」
qu' ク conj. ~ということが 「目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
avait quitté アヴァ・キテ 3 単半・完了形(quitter)v.t を離れていた 「動詞句」
la route ラ・ルト n.f 道を 「目的語」
et エ conj. そして
pris プリ 3 単半・完了形(prendre)v.t 入って行った 「動詞句」
à travers champs. ア・トラヴァール・ション adv. 野原を通して 「副詞句」

僕はまた、すぐ先で道路が曲がっていることに気がついた。

J'ai constaté aussi que devant moi la route tournait.
「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai constaté エ・コンステ 1 単現・完了形(constater)v.t 確認した 「動詞句」
aussi オッシ adv. ~も 「副詞」
que ク conj. ~ということを 「目的語」
devant moi トゥヴァン・ムワ adv. 目の前で、すぐ先で 「副詞句」
la route ラ・ルト n.f 道路が 「主語」
tournait. トゥルネ 3 単半(tourner)v.i 曲がっていた 「動詞」

僕は、この村をよく知っているペレーズが、僕たちに追いつくために最短距離を横切っていることが分かった。

J'ai compris que Pérez qui connaissait le pays coupait au plus court pour nous rattraper.

| | |
|---|----------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 理解した、納得した | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| Pérez ペレ n. ペレーズは | 「主語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| connaissait コネ 3 単半(connaître)v.t 知っている | 「動詞」 |
| le pays ル・ペイ n.m この村を | 「目的語」 |
| coupait クペ 3 単半(couper)v.t (道を) 横切っている | 「動詞」 |
| au plus court オ・プ・リュ・クール adv. 最短距離を | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. ～するために | 「副詞句」 |
| nous ヌ pron 僕たちに | 「目的語」 |
| rattraper. ラトラペ 不定詞 v.t 追いつく | 「動詞」 |

曲がり角のところで、彼は僕たちに合流した。それからまた彼は見えなくなった。

Au tournant il nous avait rejoints. Puis nous l'avons perdu.

| | |
|---|--|
| | 「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」 「副詞」「主語」「目的語」「動詞句」 |
| Au tournant オ・トゥルナン adv. 曲がり角のところで | 「副詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| nous ヌ pron 僕たちに | 「目的語」 |
| avait rejoints. アヴァ・エ・ルジュワ 3 単半・完了形.pl(rejoindre)v.t 合流した | 「動詞句」 |
| rejoindre の過去分詞は rejoint だが、「直接目的語」 nous が複数なので s が付く | |
| Puis ビュイ adv. それから | 「副詞」 |
| nous ヌ pron 僕らは | 「主語」 |
| l' ル pron 彼を | 「目的語」 |
| avons perdu. アヴァ・オン・ペルデュ 1 単現・完了形(perdre)v.t 失った | 「動詞句」 |

彼はまた野原を通して近道をして、その後も何度かこのように繰り返した。

Il a repris encore à travers champs et comme cela plusieurs fois.

| | |
|---|-------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「副詞句」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a repris ア・ルプリ 3 単現・完了形(reprendre)v.t 繰り返した | 「動詞句」 |

encore オンコール adv. また 「副詞」
à travers champs ア・トラヴ`ェール・シヨン adv. 野原を通して 「副詞句」
et エ conj. そして
comme cela plusieurs fois. コム・スラ・プ`リュシエール・フワ adv. 何度かこのように 「副詞句」

僕はこめかみ辺りに血が脈打つのを感じた。

Moi, je sentais le sang qui me battait aux tempes. 「主語」「動詞」「目的語」
Moi, je ムア・ジュ 私は 「主語」
sentais ソンテ 1 単半(sentir)v.t 感じた 「動詞」
le sang ル・ソン n. 血を 「目的語」
qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」
me ム pron 僕を 「目的語」
battait バテ 3 単半(battre)v.t 打った 「動詞」
aux tempes. オ・トンブ` adv. こめかみ辺りを 「副詞句」

それからは全てがとても慌ただしく、確実にそして自然に行われていったので、僕はもう何も覚えていない。

Tout s'est passé ensuite avec tant de précipitation, de certitude et de naturel, que je ne me souviens plus de rien. 「主語」「動詞句」「副詞句」, que 「主語」「動詞句」「目的語」
Tout トゥ pron すべてが 「主語」
s'est passé セ・パセ 3 単現・完了形(se passer)v.pr 行われていった 「動詞句」
ensuite オンシュイト adv. それから 「副詞」
avec tant de précipitation, アヴ`ェッキ・トン・ト`ウ・プレシ`ピ`タシオン adv. とても慌ただしく 「副詞句」
de certitude ト`ウ・セルチュート` adv. 確実に 「副詞句」
et エ conj. そして
de naturel, ト`ウ・ナチュレル adv. 自然に 「副詞句」
que ク conj.(tant ... que) それで~する
je ジュ pron 僕は 「主語」
ne me souviens plus ヌ・ム・スヴィヤン・フリュ 1 単現・否定(se souvenir)
v.pr (de を) もう覚えていない 「動詞句」
de rien. ト`ウ・リヤン pron 何も~ない 「目的語」

1 つだけ覚えているのは、村の入り口で派遣の看護婦が、僕に話しかけて来たことだ。

Une chose seulement : à l'entrée du village, l'infirmière déléguée m'a parlé.
「目的語」: 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」
Une chose seulement : ユンヌ・ショーズ`・スルモン n.f ただひとつだけ (覚えている) 「目的語」

à l'entrée du village, ア・ロントレ・ジュー・ヴァイラー・ジュー adv. 村の入り口で 「副詞句」
l'infirmière déléguée アンフィルミエール・デレグ n.f 派遣の看護婦が 「主語」
délégué デレグ 過去分詞(déléguer)adj. 送られた、派遣された
m' マ pron 僕に 「間接目的語」
a parlé. ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i 話しかけた 「動詞句」

彼女は、その顔つきに似合わない、歌うような震えるような独特な声をしていた。

Elle avait une voix singulière qui n'allait pas avec son visage, une voix mélodieuse et tremblante. 「主語」「動詞」「目的語」
Elle エル pron 彼女は 「主語」
avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (身体的特徴) ～をしていた 「動詞」
une voix singulière ユンヌ・ヴァー・ワンギユリエール n.f 独特な声を 「目的語」
qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
n'allait pas ナレ・パ 3 単半・否定(aller)v.i (avec に) 似合わない 「動詞句」
avec son visage, アヴェッキ・ソン・ヴァイザー・ジュー adv. 彼女の顔つきに 「副詞句」
une voix ユンヌ・ヴァー n.f 声を 「目的語」
mélodieuse et tremblante. メロディエーズ・エ・トロンブロン
adj. 歌うような震えるような 「形容詞句」

彼女は僕に言った：「もしゆっくり歩けば、日射病の危険があります」

Elle m'a dit: «Si on va doucement, on risque une insolation. 「主語」「間接目的語」「動詞句」:《「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」》
Elle エル pron 彼女は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a dit: « ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
on オン pron 人が 「主語」
va ヴァ 3 単現(aller)v.i 歩いて行く 「動詞」
doucement, ドゥーサモン adv. ゆっくり 「副詞」
on オン pron 人は 「主語」
risque リスク 3 単現(risquer)v.t (～の) 危険がある 「動詞」
une insolation. ユンヌ・アンソラシオン n.f 日射病 「目的語」

「でも、速く歩きすぎると汗だくになって、教会に入ってから悪寒に襲われてしまいます」

Mais si on va trop vite, on est en transpiration et dans l'église on attrape un chaud et froid.》 《Mais 「副詞節」「主語」「動詞」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」》

| | |
|---|-------|
| Mais メ conj. でも | |
| si シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| on オン pron 人が | 「主語」 |
| va ヴァ 3 単現(aller)v.i 歩いて行く | 「動詞」 |
| trop vite, トロ・ヴィット adv. あまりにも速く | 「副詞句」 |
| on オン pron 人は | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～になる | 「動詞」 |
| en transpiration オン・トランスピラシオン adv. 汗だくに | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| dans l'église トン・レグリーズ adv. 教会の中で | 「副詞句」 |
| on オン pron 人は | 「主語」 |
| attrape アトラプ 3 単現(attraper)v.t (病気に) かかる、こうむる | 「動詞」 |
| un chaud et froid. アン・ショ・エ・フルワ n.m 悪寒 | 「目的語」 |

彼女の言う通り、解決策はなかった。

| | |
|--|---------------------------|
| <u>Elle avait raison. Il n'y avait pas d'issue.</u> | 「主語」「動詞」「目的語」 「動詞」「目的語」 |
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t ～があった | 「動詞」 |
| raison. レゾン n.f 道理、理屈 | 「目的語」 |
| Il n'y avait pas イル・ニ・アヴェ・パ 3 単半・否定(y avoir)v.t ～がなかった | 「動詞」 |
| d'issue. デイシュ n.f 出口、解決策 | 「目的語」 |

この日の情景がいくつか記憶に残っている：例えば、村の近くで、ペレーズが最後に僕たちに追いついた時の顔だ。

J'ai encore gardé quelques images de cette journée : par exemple, le visage de Pérez quand, pour la dernière fois, il nous a rejoints près du village.

| | |
|---|----------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」: 「副詞句」「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai encore gardé エ・オンコール・ギャルテ 1 単現・完了形(garder+encore) | |
| v.t さらに残しておいた | 「動詞句」 |
| quelques images de cette journée: ケルク・イマーージュ・トウ・セット・ジュールネ | |
| pl.n.f この日の情景をいくつか | 「目的語」 |
| par exemple, パー・レグゾンブル adv. 例えば | 「副詞句」 |
| le visage de Pérez ル・ヴィザージュ・トウ・ペレ n.m ペレーズの顔 | 「目的語」 |
| quand, コン adj. ～する時の | 「形容詞節」 |
| pour la dernière fois, プール・ラ・テルニエル・フワ adv. 最後に | 「副詞句」 |

il イル pron 彼が 「主語」
nous ヌ pron 僕たちに 「目的語」
a rejoints ア・ルジュワソ 3 単現・完了形.pl(rejoindre)
v.t 追いついた 「動詞句」
près du village. プレ・ジュ・ヴィラージュ adv. 村の近くで 「副詞句」

苛立ちと苦悶の大粒の涙が、彼の頬をとめどなく流れていた。

De grosses larmes d'énervement et de peine ruisselaient sur ses joues.

「主語」「動詞」「副詞句」
De grosses larmes トゥ・グロス・ラルム pl.n.f 大粒の涙が 「主語」
Des larmes に形容詞が挿入されて De...になった
d'énervement et de peine デネルヴモン・エ・トゥ・ペーン adj. 苛立ちと苦悶の「形容詞句」
ruisselaient リュイスレ 3 複半(ruisseler)v.i (とめどなく) 流れていた 「動詞」
sur ses joues. シュール・セ・ジュ adv. 彼の頬を 「副詞句」

だが、頬のしわのせいで流れ落ちなかった。

Mais à cause des rides, elles ne s'écoulaient pas. Mais 「主語」「動詞句」
Mais メ conj. だが
à cause des rides, ア・コース・デ・リット adv. 頬のしわのせいで 「副詞句」
elles エル pron.f.pl (De grosses larmes の代用) それが 「主語」
ne s'écoulaient pas. ヌ・セクレ・パ 3 複半・否定(s'écouler)
v.pr 流れ落ちなかった 「動詞句」

大粒の涙は、皺だらけの顔の上で広がり、互いにつながって1枚の水の膜になった。

Elles s'étaient, se rejoignaient et formaient un vernis d'eau sur ce visage détruit.

「主語」「動詞句」, 「動詞句」 et 「動詞」「目的語」「副詞句」
Elles エル pron.f.pl 大粒の涙は 「主語」
s'étaient, セタレ 3 複半(s'étaler)v.pr 広がった 「動詞句」
se rejoignaient スルジュワニエ 3 複半(se rejoindre)v.pr 互いにつながった 「動詞句」
et エ conj. そして
formaient フォルメ 3 複半(former)v.t 作った 「動詞」
un vernis d'eau アン・ヴァニ・ドゥ n.m 水の膜 「目的語」
vernис ヴェニ n.m ニス、釉薬 (表面を保護する透明の膜になる)
sur ce visage détruit. シュール・ス・ヴィザージュ・デ・トリュイ adv. 壊れた顔の上に 「副詞句」

さらに記憶に残っていることがある。教会と歩道の村人たち、墓地の墓石にそなえられた赤いゼラニウム、ペレーズの失神（まるで糸の切れた操り人形のようなだった）、母さんの柩の上に落下する血の色をした土、土に混ざっている木の根の白い表皮、さらに、人々、人の声、村、カフェの前での待ち時間、絶え間のないエンジンの轟音、そしてバスがアルジェの光の巣の中に入ってきて、もうすぐ僕は横になって 12 時間眠れると考えた時の喜び。

Il y a eu encore l'église et les villageois sur les trottoirs, les géraniums rouges sur les tombes du cimetière, l'évanouissement de Pérez (on eût dit un pantin disloqué), la terre couleur de sang qui roulait sur la bière de maman, la chair blanche des racines qui s'y mêlaient, encore du monde, des voix, le village, l'attente devant un café, l'incessant ronflement du moteur, et ma joie quand l'autobus est entré dans le nid de lumières d'Alger et que j'ai pensé que j'allais me coucher et dormir pendant douze heures.

「動詞」「目的語」 encore 「目的語」

Il y a eu encore イ・リ・ア・イ・オンコール 3 単現・完了形(y avoir)v.t さらに～があった 「動詞句」

さらに～が記憶に残っている

l'église レ・グ・リ・ズ n.f 教会

「目的語」

et エ conj. そして

les villageois レ・ウ・イ・ラジ・ユワ pl.n.m 村人たち

「目的語」

sur les trottoirs, シュル・レ・トロットワ・ル adj. 歩道の

「形容詞句」

les géraniums rouges レ・ジ・ェラニウム・ルージュ pl.n.m 赤いゼラニウム

「目的語」

sur les tombes du cimetière, シュール・レ・トンブ・・ジ・ュ・シムチェール

adj. 墓地の墓石にそなえられた

「形容詞句」

l'évanouissement de Pérez レ・ヴァヌイスマン・ド・ペレ n.m ペレーズの失神

「目的語」

(on オン pron 人は

「副詞節」

eût dit イ・テ・ィ 接・3 単半・完了形（条件法過去第 2 形）(dire)

v.t. まるで～のようだった

「動詞句」

on aurait dit ... 「まるで～のようだった」

un pantin disloqué, アン・ポンタン・デ・イスロク n.m 糸の切れた操り人形

「目的語」

la terre couleur de sang ラ・テル・クレール・トゥ・ソン n.f 血の色をした土

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

roulait ル 3 単半(rouler)v.i 落下する

「動詞」

sur la bière de maman, シュール・ラ・ビエール・トゥ・ママン

adv. 母さんの柩の上に

「副詞句」

la chair blanche des racines ラ・シェール・ブロンシュ・テ・ラシーヌ n.f 根の白い表皮

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

s'y mêlaient, シ・メル 3 複半(se mêler+y)v.pr 土に混ざっている 「動詞句」

encore オンコール adv. さらに

「副詞」

| | |
|---|--------|
| du monde, ジュ・モント n. 人々 | 「目的語」 |
| des voix, デ・ヴォ pl.n.f 人々の声 | 「目的語」 |
| le village, ル・ヴィラージュ n.m 村 | 「目的語」 |
| l'attente devant un café, ラントナ・トゥヴァン・タン・キャフェ n.f カフェの前での待ち時間 | 「目的語」 |
| l'incessant ronflement du moteur, ランセソン・ロンフルモン・ジュ・モテール n.m 絶え間のないエンジンの轟音 | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| ma joie マ・ジョワ n.f 僕の喜び | 「目的語」 |
| quand コン conj. ～した時の | 「副詞節」 |
| l'autobus ロトビュス n.m バスが | 「主語」 |
| est entré エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入ってきた | 「動詞句」 |
| dans le nid de lumières d'Alger トン・ル・ニ・トゥ・リュミエール・タルジエ adv. アルジェの光の巣の中に | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| que ク conj. ～する | 「形容詞節」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t 考えた | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| allais +不定詞 アル 1 単半(aller+不定詞) v. ～するところだ | 「動詞句」 |
| me coucher ム・クシェ 不定詞(se coucher)v.pr 横になる | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| dormir ドルミール 不定詞 v.i 眠る | 「動詞」 |
| pendant douze heures. ホントン・トゥカース・ウール adv. 12 時間 | 「副詞句」 |

[D-1-1] 小さいうち 1.

まず始めに、大事な説明をしておきます：この本は家事入門書ではないということです。

D'abord une précision importante : ceci n'est pas un traité de ménage.

| | |
|--------------------------------------|------------------------|
| | 「副詞句」「主語」：「主語」「動詞」「補語」 |
| D'abord タ・ボール adv. まず第一に、まず始めに | 「副詞句」 |
| une précision ユンヌ・プレジシヨン n.f 詳しい説明 | 「主語」 |
| importante : アンポルトント adj.f 大事な | 「形容詞」 |
| ceci シ pron この本は | 「主語」 |
| n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i 〜ではない | 「動詞」 |
| un traité アン・トレテ n.m 概論 | 「補語」 |
| de ménage. トゥ・メナージュ adj. 家事の | 「形容詞句」 |

私は家事を意のままに処理する方法（家事術）についてこれ以上話すことはありません。読者にはそのことを分かってもらいたいのです。

Je n'ai plus rien à dire sur la manière de tenir une maison. Que mes lecteurs le sachent.

| | |
|--|------------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 Que 「主語」「目的語」「動詞」 |
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| n'ai plus ネ・ブリュ 1 単現・否定(avoir)v.t もうない | 「動詞句」 |
| rien リャン pron 何も〜ない | 「目的語」 |
| à dire ア・テイル 不定詞・目的 v.t 話すべき | 「形容詞句」 |
| sur la manière シュール・ラ・マニエール adv. 方法について | 「副詞句」 |
| de tenir トゥ・トゥニール 不定詞・目的 v.t 意のままにするための | 「形容詞句」 |
| une maison. ユンヌ・メゾン n.f 家を | 「目的語」 |
| tenir la maison 「家事を見る」 | |
| Que ク conj. (命令・願望を表す独立節) 〜してもらいたいものだ | |
| mes lecteurs メ・レクテール pl.n この本の読者は | 「主語」 |
| le ル pron そのことを | 「目的語」 |
| sachent. サッシュ 接・3 複現・願望(savoir)v.t 分かってもらいたい | 「動詞」 |

渡辺家での仕事を辞めてから、私は茨城のこの小さな町に引き下がり、一人でつましく暮らしている。

Depuis que j'ai cessé de travailler chez les Watanabe, je me suis retirée dans cette petite ville d'Ibaraki où je vis seule, chichement.

Depuis que トゥ・ピュイ・ク conj. 〜してから、して以来

| | |
|--|--------|
| j' ジュ pron 私 | 「主語」 |
| ai cessé de travailler エ・セッセ・ト・ウ・トラヴァイエ 1 単現・完了形・終了(sesser de+不定詞) | |
| v.i 働くのをやめた | 「動詞句」 |
| chez les Watanabe, シェ・レ・ワタナベ adv. 渡辺家で | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| me suis retirée ム・シュイ・ルテ 1 単現・完了形(se retirer) | |
| v.pr 引き下がった、家に帰った | 「動詞句」 |
| dans cette petite ville ドン・セツ・プ・ティット・ヴィル adv. この小さい町に | 「副詞句」 |
| d'Ibaraki デイバラキ adj. 茨城の | 「形容詞句」 |
| où ウィ adv. (継続) そこで～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| vis ヴィ 1 単現(vivre)v.i 暮らしている | 「動詞」 |
| seule, スル adj.f 一人で | 「補語」 |
| chichement. チシュモン adv. つましく | 「副詞」 |

さほど遠くない所に住んでいる私の甥が、時々家に招いてくれるので、老後の生活としては特に不満はない。

Mon neveu, qui n'habite pas loin, m'invite de temps en temps chez lui, et je ne peux pas me plaindre de la façon dont je passe mes vieux jours.

| | |
|---|--------------------------------------|
| | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」et「主語」「動詞句」「間接目的語」 |
| Mon neveu, モン・ヌヴェー n.m 私の甥が | 「主語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| n'habite pas ナビット・パ 3 単現・否定(habiter) | |
| v.i (部分否定) 住んでいる | 「動詞句」 |
| loin, ルワ adv. (部分否定) あまり遠くない所に | 「副詞」 |
| m' ム pron 私を | 「目的語」 |
| invite アンヴァイト 3 単現(inviter)v.t 招く | 「動詞」 |
| de temps en temps ト・ウ・トン・ゾン・トン adv. 時々 | 「副詞句」 |
| chez lui, シェ・リュイ adv. 彼の家に | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| ne peux pas me plaindre ヌ・プ・パ・ム・プラントル 1 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞) | |
| v.pr(se prendre de qn ～について) 不平を言うことはできない | 「動詞句」 |
| de la façon ト・ウ・ラ・ファツ adv. 仕方について | 「間接目的語」 |
| dont トン adj. ～の | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 私が | 「主語」 |

passe パス 1 単現(*passer*)v.t (時を) 過ごす 「動詞」
 mes vieux jours. メ・ヴ・イユ・ジュール pl.n.m 私の晩年を 「目的語」

これまでずっと苦勞して、多少のお金は貯金してあるので、自分だけでなんとかできなくな
った時に、これで養老院に入ることができるだろう。

J'ai mis un peu d'argent de côté en trimant toute ma vie, et cela me permettra d'entrer dans une maison de retraite le jour où je n'arriverai plus à me débrouiller seule.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「目的語」「動詞」「補語」
 J' ジュ pron 私は 「主語」
 ai mis エ・ミ 1 単現・完了形(*mettre*)v.t 預けてある 「動詞句」
 un peu d'argent アン・プ・ダルジュン n.m 多少の金を 「目的語」
 de côté トゥ・コテ adv. 脇に 「副詞句」
 mettre de l'argent de côté 「金を残しておく、貯金する」
 en trimant オン・トリモン ジェロンディフ(*trimer*)v.i 苦勞して 「副詞句」
 toute ma vie, トゥット・マ・ヴィー adv. 一生の間、これまでずっと 「副詞句」
 et エ conj. そして
 cela スラ pron これが 「主語」
 me ム pron 私に 「目的語」
 permettra ペルメトラ 3 単未・推量(*permettre*)
 v.t(à qn de+不定詞) 出来るようにするだろう 「動詞」
 d'entrer ドントレ 不定詞・目的語の動作 v.i ~に入る 「補語」
 dans une maison ドン・シヨヌ・メゾン adv. 家に 「副詞句」
 de retraite トゥ・ルトレット adj. 引退の 「形容詞句」
 le jour ル・ジュール n.m その日に 「副詞句」
 où ウ adv. ~するとき 「副詞節」
 je ジュ pron 私は 「主語」
 n'arriverai plus à +不定詞 カリグレ・フリュ・ア 1 単未・到達・否定(*arriver à*+不定詞)
 v. ~できるようにならない 「動詞句」
 me débrouiller ム・デブルイェ 不定詞(*se débrouiller*)
 v.pr やりこなす 「動詞句」
 seule. スル adv. 一人だけで 「副詞」

私は貯金の一部を株に投資して、私の甥に運用してもらっている。そして出費については十分に注意して節約に励んでいる。

J'ai placé une partie de mes économies en Bourse, mon neveu s'en occupe, et je fais attention à ce que je dépense. 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「主語」「動詞句」
et 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 私は 「主語」
ai placé エ・プラセ 1 単現・完了形(placer)v.t 投資した、預けた 「動詞句」
une partie de mes économies エヌ・パルティエ・トゥ・メ・エコノミー n.f 預金の一部を 「目的語」
économies エコノミー pl.n.f(économie) 貯金、貯え
en Bourse, オン・ブルス adv. 株式市場に 「副詞句」
mon neveu モン・ネヴー n.m 私の甥が 「主語」
s'en occupe, ソン・オキュプ 3 単現(s'occuper+en) 「動詞句」
v.pr その世話をしている、運用している
et エ conj. そして
je ジュ pron 私は 「主語」
fais フェ 1 単現(faire)v.t (行為を) している 「動詞」
attention アトシヨン n.f 注意 「目的語」
à ce ア・ス adv. そのことに対して 「副詞句」
que ク pron (同格) ~という 「形容詞節」
je ジュ pron 私が 「主語」
dépense. デポンス 1 単現(dépenser)v.t 出費する 「動詞」

私はほんの少しの年金を受け取っているが、長い間わずかな金で家事をしてきたので、若い世代の人たちよりずっと上手にやりくりしている。

Je touche une toute petite pension, mais comme j'ai depuis longtemps l'habitude de faire avec peu, je m'en sors bien mieux que la jeune génération.

「主語」「動詞」「目的語」 mais 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」
Je ジュ pron 私は 「主語」
touche トゥシュ 1 単現(toucher)v.t (給料を) 受け取っている 「動詞」
une toute petite pension, エヌ・トゥト・プティット・ポシヨン n.f ほんの少しの年金を 「目的語」
toute petite トト・プティット adj.f ほんのちっぽけな pension ポシヨン n.f 年金
mais メ conj. しかし
comme コム conj. ~なので 「副詞節」
j' ジュ pron 私は 「主語」
ai エ 1 単現(avoir)v.t ある 「動詞」
depuis longtemps トゥピュイ・ロントン adv. 長い間 「副詞句」

l'habitude ラビチュート n.f 習慣 「目的語」
de faire トゥ・フェール 不定詞・同格 v.t (家事を) するという 「形容詞句」
avec peu, アヴェッキ・プ adv. 少ない物や金で 「副詞句」
je ジュ pron 私は 「主語」
m'en sors モン・ソール 1 単現(se sortir+en)v.pr なんとかやれる 「動詞句」
bien mieux ビヤン・ミュ adv. ずっと上手に 「副詞句」
que la jeune génération. ク・ラ・ジュヌ・ジェネレーション adv. (比較) 若い世代よりも 「副詞句」

言い換えると、私がこれを書いている目的は、金を稼ぐためではない。

Tout cela pour dire que mon but en écrivant n'est pas de gagner de l'argent.

「主語」「副詞句」「主語」「動詞」「補語」
Tout cela トゥ・スラ pron これは 「主語」
pour dire que プール・ディール・ク adv. 言い換えると 「副詞句」
mon but モン・ビュ n.m 私の狙いは 「主語」
en écrivant エン・エクリヴァン ジェロンディフ(écrire)v.t 書いている 「形容詞句」
n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i 〜でない 「動詞」
de gagner トゥ・ガニエ 不定詞 n. 稼ぐこと 「補語」
de l'argent. トゥ・ラルジョン n.m 金を 「目的語」

「タキ婆ちゃんの秘訣 ― 家事の達人になる入門書」というあの本は、出版社で働いている
渡辺様のお嬢様のおかげで出版されたが、疑いもなく私の人生における転機だった。

Les Secrets de la vieille Taki ou Comment devenir une championne du ménage, le livre sorti il y a deux ans grâce à la demoiselle Watanabe qui travaille dans l'édition, a sans aucun doute été un tournant dans ma vie.

「主語」「動詞句」「副詞句」「補語」
Les Secrets レ・スクレ pl.n.m 秘訣、秘密 「主語」
de la vieille Taki トゥ・ラ・ヴィエイユ・タキ adj. タキばあちゃんの 「形容詞句」
ou ウ conj. あるいは
Comment コモン n.m 方法、やり方、解説書、入門書 「主語」
devenir トゥ・ヴェニール 不定詞・目的 adj. 〜になるための 「形容詞句」
une championne エヌ・ションピオンヌ n.f 第一人者、達人 「補語」
du ménage, ジュ・メナージュ adj. 家事の 「形容詞句」
le livre ル・リーヴル n.m あの本は 「主語」
sorti ソルティ 過去分詞・受動(sortir)adj. 出版された 「形容詞句」
il y a deux ans イ・リ・ヤ・トゥ・ゾン adv. 2 年前に 「副詞句」
grâce à +人 グラス・ア adv. 〜のおかげで 「副詞句」
la demoiselle Watanabe ラ・トゥオムワゼル・ワタナベ

n.f 渡辺様のお嬢様 「目的語」
qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
travaille トラヴァイエ 3 単現(travailler)
v.i 仕事をしている 「動詞」
dans l'édition, ドン・レディシオン
adv. 出版社で 「副詞句」
a ...été ア...エテ 3 単現・完了形(être)v.i ～だった 「動詞句」
sans aucun doute ツン・オクン・ドゥット adv. 疑いもなく、確かに 「副詞句」
un tournant アン・トゥルナン n.m 転機 「補語」
dans ma vie. ドン・マ・ヴィー adv. 私の人生において 「副詞句」

近頃の若者たちは、どうやらもう家事について何もわからないようだ。誰も家事について一度も習ってこなかったのだ。

Les jeunes d'aujourd'hui ne comprennent apparemment plus rien aux choses de la maison, personne ne leur a jamais appris ;

「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞句」「目的語」
Les jeunes レ・ジエンヌ pl.n.f (女性を想定) 若者たちは 「主語」
d'aujourd'hui ド・ジユル・ドゥイ adj. 近頃の 「形容詞句」
ne comprennent apparemment plus ヌ・コンプレヌ・アパランモン・プリュ 3 複現・否定(comprendre)
v.t どうやらもう分からないようだ 「動詞句」
rien リヤン pron 何も～ない 「目的語」
aux choses de la maison, オ・ショーズ・ド・ラ・メゾン adj. 家事について 「形容詞句」
personne ペルソヌ pron 誰も～ない 「主語」
ne ...a jamais appris ; ヌ...ア・ジャメ・アプリ 3 単現・完了形・否定(apprendre)
v.t 一度も習っていない 「動詞句」
leur レール pron.pl それらのことを 「目的語」

彼らは野菜を選ぶことも、それを調理することもできないのだ。

ils sont aussi incapables de choisir les légumes que de les préparer.

「主語」「動詞」「補語」
ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
sont ツン 3 複現(être)v.i ～である 「動詞」
aussi incapables オシ・アンカパーブル adj.(de+不定詞 ～することが) ～もできない 「補語」
de choisir トゥク・ショワジール 不定詞 v.t 選ぶ 「動詞句」
les légumes レ・レギューム pl.n.m 野菜を 「目的語」
que ク conj. (aussi...que ～も... も)

de les préparer. ドゥ・レ・プレパレ 不定詞 v.t それらを調理する 「動詞句」

彼らは家事のやり方を知らないのだ。

Ils ne savent pas comment s'y prendre pour le ménage. 「主語」「動詞句」「目的語」

Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

ne savent pas ヌ・サヴ・パ 3 複現・否定(savoir)v.t 知らない 「動詞句」

comment+不定詞 コモン n.m ～するためのやり方を 「目的語」

comment+不定詞 コモン pron ～すべき方法、～するための方法

s'y prendre シ・プ ロントル 不定詞・目的 v.pr 手をつける、行動する 「動詞句」

pour le ménage. プール・ル・メナージュ adv. 家事のために 「副詞句」

信じられないほどの人たちが私に助言を求めるのを見ると、時代が変わったものだと思っ
た。彼らには相談する相手がいないのだそうだ。

Je me suis dit que les temps avaient changé en voyant le nombre incroyable de gens qui
me demandaient conseil, soi-disant parce qu'ils n'avaient personne d'autre vers qui se
tourner. 「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 私は 「主語」

me suis dit ム・シュイ・ディ 1 単現・完了形(se dire)v.pr (que ～と) 思った 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

les temps レ・ン pl.n.m 時代が 「主語」

avaient changé アヴ・ェ・シヨンジエ 3 複現・完了形(changer)v.i 変わった 「動詞句」

en voyant オン・ヴァン ジェロンディフ(voir)adv. ～を見ていると 「副詞句」

le nombre incroyable de gens ル・ナンブル・アソクロワイヤブル・ドゥ・ジョン

n.m 信じられないほどの人数を 「目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

me ム pron 私に 「間接目的語」

demandaient ドゥモンテ 3 複半(demander)

v.t 求める 「動詞」

conseil, コンセイル n.m 助言、教え 「直接目的語」

soi-disant parce qu' スワ・ディゾン・パルス・キ

conj. (soi-disant que) ～だそうだ、らしい 「副詞節」

ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

n'avaient ナヴ・ェ 3 複半・否定(avoir)v.t ない

personne d'autre ペルソヌ・トール pron 他に誰も～ない 「目的語」

vers qui +不定詞 ヴァール・キ adj. ～すべき 「形容詞句」

se tourner. ストルネ 不定詞

v.pr (人に) 助けを求める

「動詞句」

近頃では自分で書かなくても、誰でも本の著者になれるということも、私は知らなかった。

J'ignorais aussi que de nos jours on peut devenir auteur d'un livre sans l'avoir écrit.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

J' ジュ pron 私は

「主語」

ignorais インヨレ 1 単半(ignorer)v.t(que のことを) 知らなかった

「動詞」

aussi オシ adv. ～もまた

「副詞」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

de nos jours トウ・ノ・ジュール adv. 今日では、近頃は

「副詞句」

on オン pron だれでも

「主語」

peut devenir プ・トゥヴァニール 3 単現・可能(pouvoir+不定詞)v.i ～になれる

「動詞句」

auteur オテル n.m 著者、作家

「補語」

d'un livre ダン・リーヴル adj. 本の

「形容詞句」

sans +不定詞 ソン adv. (譲歩) ～しなくても

「副詞句」

l' ル pron それを

「目的語」

avoir écrit. アヴ・ワ・エクリ 不定詞・完了形(écrire)v.t 書いた

「動詞句」

このことは、近頃では、何でも粗製乱造で済ましていることを表している。

Cela confirme qu'on fait maintenant tout trop vite et mal.

「主語」「動詞」「目的語」

Cela スラ pron このことは

「主語」

confirme コンフィルム 3 単現(confirmar)v.t 立証する

「動詞」

qu' ク conj. ～ということ

「目的語」

on オン pron 人々は

「主語」

fait フェ 3 単現(faire)v.t 作る、する

「動詞」

maintenant マントナソ adv. 今では

「副詞」

tout トゥ pron.n 何でも

「目的語」

trop vite トロ・ヴァイト adv. 非常に早く

「副詞句」

et エ conj. そして

mal. マル adv. 悪く、不十分に

「副詞」

結局、私にしたって、そのおかげで著者になれたのだけれど...

Enfin... je ne serais pas devenue auteur autrement.

「副詞」, 「主語」「動詞句」「補語」「副詞」

Enfin... オンファン adv. 結局、要するに

「副詞」

je ジュ pron 私は

「主語」

ne serais pas devenue ヌ・スレ・パ°・ト・ウガ°ニユ 条・1 単現・完了形・推量・否定(devenir)

v.i 〜になれなかったかもしれない 「動詞句」

auteur オテール n.m 著者、作家 「補語」

autrement. オートルモン adv. さもなければ 「副詞」

それでも、私の本はけっこう良い本だった。よく売れた。

Mais mon livre n'est pas mal du tout. Il s'est bien vendu.

Mais 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」

Mais メ conj. しかし

mon livre モン・リーヴル n.m 私の本は 「主語」

n'est pas ネ・パ° 3 単現・否定(être)v.i 〜でない 「動詞」

mal du tout. マル・ジュ・トゥ adv. (否定の強調) まったく悪くない 「補語」

まったく悪くない → けっこう良い

Il イル pron その本は 「主語」

s'est bien vendu. セ・ビヤン・ウ・オンジュ 3 単現・完了形・再帰受動(se vendre+bien)

v.pr よく売れた 「動詞句」

あの本がもたらしてくれたお金のおかげで、私はいくらかの株を買い足すことができた。

Grâce à l'argent qu'il m'a rapporté, j'ai pu acheter encore quelques actions.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Grâce à +qn グラス・ア adv. 〜のおかげで 「副詞句」

l'argent ラルジョン n.m お金 「目的語」

qu' ク pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

il イル pron あの本が 「主語」

m' ム pron 私に 「間接目的語」

a rapporté, ア・ラボ°ルテ 3 単現・完了形(rapporter)

v.t もたらした 「動詞句」

j' ジュ pron 私は 「主語」

ai pu acheter エ・ピ°ュ・アシュテ 1 単現・完了形・可能(pouvoir+不定詞)

v.t 買うことができた 「動詞句」

encore オンコール adv. さらに 「副詞」

quelques actions. ケルキ・アクション pl.n.f 株をいくらか 「目的語」

しかしながら、あの本には私が知っている家事のコツをすべて書いたから、またそこに戻るつもりはない。

Il contient cependant toutes les astuces de ménage que je connais et je ne compte pas revenir là-dessus. 「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron あの本は 「主語」

contient コンチヤン 3 単現(contenir)v.t 含んでいる 「動詞」

cependant スポントソ conj. しかしながら

toutes les astuces トゥット・レ・ザシュス pl.n.f すべてのコツを 「目的語」

de ménage トゥ・メナージュ adj. 家事の 「形容詞句」

que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

je ジュ pron 私が 「主語」

connais コネ 1 単現(connaître)v.t 知っている 「動詞」

et エ conj. そして

je ジュ pron 私は 「主語」

ne compte pas revenir ヌ・コント・パ・ルヴニール 1 単現・意志・否定(compter+不定詞)

v.i また戻るつもりはない 「動詞句」

là-dessus. ラ・トゥシュ adv. そこに 「副詞句」

同じものを 2 個持つ必要はない。

Personne n'a besoin d'avoir la même chose en deux exemplaires.

「主語」「動詞句」「目的語」

Personne ペルソヌ pron 誰も～ない 「主語」

n'a besoin d'+不定詞 ナ・ブズワソ・トゥ 3 単現・必要性・否定(avoir besoin de+不定詞)

v.t ～する必要がある 「動詞句」

avoir アヴ・ワール 不定詞 v.t 持つ 「動詞句」

la même chose ラ・メーム・ショーズ n.f 同じものを 「目的語」

en deux exemplaires. オン・トゥ・エグザンプレール adv. 2 個 「副詞句」

それはそもそもあまり金を使わずに生活するためのコツでもある。

C'est d'ailleurs un des secrets pour vivre sans dépenser trop. 「主語」「動詞」「補語」

C' ス pron それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

d'ailleurs ダイエール adv. その上、そもそも 「副詞句」

un des secrets アン・デ・スクレ n.m 一つのコツ 「補語」

secret スクレ n.m 秘訣、コツ、秘密

pour +不定詞 プール prep ～するための 「形容詞句」

| | |
|-------------------------------|-------|
| vivre ヴィヴル 不定詞 v.i 生活する、暮らす | 「動詞」 |
| sans +不定詞 シン prep ～しないで | 「副詞句」 |
| dépenser デポンス 不定詞 v.t (金を) 使う | 「動詞」 |
| trop. トロ adv. (否定文で) あまり | 「副詞」 |

[D-1-2] 小さいうち 2.

今日、出版社の若い女性が私の家にやってきたが、次の本について話し合うために私に会いに来たのだった。

J'ai eu aujourd'hui la visite d'une jeune femme de la maison d'édition, qui venait me voir pour discuter du prochain livre. 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」, 「形容詞節」

| | |
|--|---------|
| J' ジュ pron 私は | 「主語」 |
| ai eu エイ 1 単現・完了形(avoir)v.t ～があった | 「動詞句」 |
| aujourd'hui オージュール adv. 今日 | 「副詞」 |
| la visite ラヴィジット n.f 訪問客 | 「目的語」 |
| d'une jeune femme トゥンヌ・ジュヌ・ファム adj. 若い女性の | 「形容詞句」 |
| de la maison d'édition, トゥ・ラ・メゾン・デ・エディション | |
| adj. 出版社の | 「形容詞句」 |
| la maison d'édition ラ・メゾン・デ・エディション n.f 出版社 | |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| venait ...voir ヴネ...ヴァール 3 単半(venir+不定詞) | |
| v.t 会いに来た | 「動詞句」 |
| me ム pron 私に | 「目的語」 |
| pour +不定詞 プール prep ～するために | 「副詞句」 |
| discuter ディスクテ 不定詞 v.i(de について) 話し合う | 「動詞」 |
| du prochain livre. シュ・プロシヤン・リーヴル | |
| adv. 次の本について | 「間接目的語」 |

だいたい前に、検討していた次の本の構想は、出版社に説明してあった。

| | |
|---|--------------------------------|
| <u>Il y a quelque temps déjà, je leur ai expliqué la manière dont je le voyais.</u> | 「副詞節」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Il y a イリヤ 3 単現(il y avoir)v.t (時間) ～前に | 「副詞節」 |
| quelque temps ケルク・トン n.m いくらかの時間 | 「目的語」 |
| déjà, デジャ adv. すでに | 「副詞」 |
| あいまいな時間を示して、「すでに大分前から」 | |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |

leur レール pron.pl 出版社に 「間接目的語」
ai expliqué エ・エクスプレク 1 単現・完了形(expliquer)v.t 説明してあった 「動詞句」
la manière ラ・ミニエール n.f やり方を、構想を 「直接目的語」
dont トン conj. ～についての 「形容詞節」
je ジュ pron 私 「主語」
le ル pron (prochain livre の代用) それを 「目的語」
voyais. ヴァワイ 1 単半(voir)v.t 検討していた 「動詞」

「もちろん、改めて家事のことに取り組むつもりはありません」と、彼女は言った。

Il va sans dire que nous n'avons aucune intention d'aborder à nouveau le ménage, m'a-t-elle annoncé.

《「動詞」「副詞句」「主語」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」

Il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 節)
va ヴァ 3 単現(aller)v.i 事が運ぶ 「動詞」
sans dire サン・デール adv. 言わなくても 「副詞句」
que ク conj. ～ということは 「主語」
「言うまでもなく～、もちろん～」
nous ヌ pron 私たちは 「主語」
n'avons ナヴォン 1 複現・否定(avoir)v.t ない 「動詞句」
aucune intention オキュヌ・アントンシヨン n.f 何も心づもりが 「目的語」
d'aborder ダボルテ adj. (同格) ～に取り組むという 「形容詞句」
à nouveau ア・ヌヴォ adv. 改めて 「副詞句」
le ménage, ル・メナージュ n. 家事を 「目的語」
m' ム pron 私に 「間接目的語」
a ...annoncé. ア...アノンセ 3 単現・完了形(annoncer)v.t 告げた 「動詞句」
elle エル pron 彼女は 「主語」

「あなたにしか語れない昔の東京の事についてとか、季節ごとにあなたが作ったことのあ
る美味しいお惣菜についてとか、人付き合いの方法とかについて、話していただけたらよい
と思っています。」

Nous voudrions que vous parliez du Tokyo d'autrefois, de choses que vous êtes la seule à
pouvoir raconter, de votre vision des saisons, des bons petits plats que vous prépariez, de
comment entretenir de bonnes relations avec les autres. 「主語」「動詞」「目的語」
Nous ヌ pron 私たちは 「主語」
voudrions ヴウドリオン 条・1 複現・願望(vouloir)v.t ～して欲しいと思っている 「動詞」
que ク conj. ～ということ 「目的語」

| | | | | |
|------------------------|----------------|-----------------------|------------|---------------------------|
| vous | ヴ | pron | あなたは | 「主語」 |
| parliez | パルイエ | 3 単半・假定法(parler)v.i | 話したら | 「動詞」 |
| du Tokyo d'autrefois, | ジュ・トキオ・ドートルワ | | | |
| adv. | | | 昔の東京について | 「間接目的語」 |
| de choses | ドゥ・ショーズ | adv. | ことについて | 「間接目的語」 |
| que | ク | pron (同格) | ～する | 「形容詞節」 |
| vous | ヴ | pron | あなたが | 「主語」 |
| êtes | エツト | 2 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| la seule | ラ・スル | n.f | 唯一の人 | 「補語」 |
| à pouvoir raconter, | ア・プ・ヴ | | わ・ル・ラコンテ | |
| adj. | | | 語ることができる | 「形容詞句」 |
| de votre vision | ドゥ・ヴ・オトル・ヴィジョン | adv. | あなたの見方について | 「間接目的語」 |
| des saisons, | デ・セゾン | adj. | 季節の | 「形容詞句」 |
| des bons petits plats | デ・ボン・プティ・プラ | | | |
| adv. | | | 美味しい総菜について | 「間接目的語」 |
| que | ク | pron (目的語) | ～する | 「形容詞節」 |
| vous | ヴ | pron | あなたが | 「主語」 |
| prépariez, | プレパリエ | 2 複半(préparer)v.t | 作った | 「動詞」 |
| de comment | ドゥ・コモン | adv. | 方法について | 「間接目的語」 |
| entretenir | オントウルトゥニール | | 不定詞・目的 | |
| adj. | | | 維持するための | 「形容詞句」 |
| de bonnes relations | ドゥ・ボンヌ・レラシオン | | | |
| pl.n.f | | | 関係を | 「目的語」 |
| avec les autres. | アヴ・エツキ・レ・ゾートル | | | |
| adv. | | | 他人との間で | 「副詞句」 |
| 私には、そのアイデアは悪くはないと思われた。 | | | | |
| L'idée | リデー | ne m'a pas paru | mauvaise. | 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「補語」 |
| L'idée | リデー | n.f | そのアイデアは | 「主語」 |
| ne ...a pas paru | ヌ...ア・パ・パリュ | 3 単現・完了形・否定(paraître) | | |
| v.i | | | ～に思われなかった | 「動詞句」 |
| m' | ム | pron | 私にとっては | 「間接目的語」 |
| mauvaise. | モヴ・エーズ | adj.f | 悪い | 「補語」 |

彼女の言いたいことは分かった。

Je comprenais ce qu'elle voulait dire. 「主語」「動詞」「目的語」
Je ジュ pron 私は 「主語」
comprenais コンプレネ 1 単半(comprendre)v.t 分かった 「動詞」
ce ス pron それを 「目的語」
qu' ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
elle エル pron 彼女が 「主語」
voulait dire. ウレ・テ・イル 3 単半・願望(vouloir dire)
v.t (人が) 主張している、(物が) 意味する 「動詞句」

けれども、それは完全に私がやりたい事という訳ではない。

Pourtant ce n'est pas tout à fait ce que je veux faire. 「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」「補語」
Pourtant プールトン adv. けれども 「副詞」
ce ス pron それは 「主語」
n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ～でない 「動詞」
tout à fait トゥ・タ・フェ adv. 全く、完全に、まったく 「副詞句」
ce ス pron それ 「補語」
que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
je ジュ pron 私が 「主語」
veux faire. ヴェ・フェール 1 単現・願望(vouloir+不定詞)v.t やりたい 「動詞句」

台所のステンレスの上に残った水垢を取り除くための上手な方法の他には、私には何も話すことは無い、と人々は思うかもしれない。

Les gens doivent penser que je n'ai rien d'autre à raconter que la meilleure méthode pour effacer les auréoles laissées par l'eau sur l'inox de l'évier. 「主語」「動詞句」「目的語」
Les gens レ・ジヨン pl.n.m 人々は 「主語」
doivent penser トゥ・ワグ・ポンセ 3 複現・可能性(devoir+不定詞)
v.t ～と思うかもしれない 「動詞句」
que ク conj. ～ということ 「目的語」
je ジュ pron 私は 「主語」
n'ai ネ 1 単現・否定(avoir)v.t ～がない 「動詞句」
rien d'autre リヤン・ドートル pron 他に何も 「目的語」
à raconter ア・ラコンテ adj. 話すべき 「形容詞句」
que ク conj. (比較) ～以外に、～よりも 「副詞句」

la meilleure méthode ラ・メイェール・メット

n.f 最良の方法

「目的語」

pour +不定詞 プール

adj. (目的) ~するための

「形容詞句」

effacer エファッセ 不定詞

v.t 消す、取り除く

「動詞」

les auréoles レ・オレオール pl.n.f しみを「目的語」

laissées レッセ 過去分詞・受動.f.pl(laisser)

adj.f.pl 残された

「形容詞」

par l'eau パール・ロ

adv. 水によって「副詞句」

sur l'inox シュール・リノクス

adv. ステンレスの上に「副詞句」

de l'évier. ドゥ・レヴィエ

adj. 台所の「形容詞句」

私自身も、そう思っていた。

Je le croyais moi-même.

「主語」「目的語」「動詞」「主語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

le ル pron それを

「目的語」

croyais クワイエ 1 単半(croire)v.t 思っていた

「動詞」

moi-même. ムワ・メム pron 私自身

「主語」

しかし、私もまもなく 90 歳になろうとしていて、毎日が命日になるかも知れないという年になったので、もっと大事な事を書いておきたいと思っている。

Mais à l'âge que j'ai, bientôt quatre-vingt-dix ans, chaque jour peut être le dernier, et j'ai envie d'écrire des choses plus importantes. Mais 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

à l'âge ア・ラージュ adv. (理由) (時点) 歳に (なったので)

「副詞句」

que ク pron (同格) ~する

「形容詞節」

j' ジュ pron 私は

「主語」

ai, エ 1 単現(avoir)v.t (年齢が、~歳で) ある

「動詞」

bientôt quatre-vingt-dix ans, ビヤント・クワトル・ウァン・ディ・ザン

pl.n.f 間もなく 90 歳

「目的語」

chaque jour シャッキ・ジュール n.m 毎日が

「主語」

peut être プ・テートル adv. もしかしたら

「副詞句」

le dernier, ル・デルニエ n.m 最後の日 「補語」
et エ conj. そして
j' ジュ pron 私は 「主語」
ai envie d'écrire エ・オヴ・イー・テ・クリル 1 単現・願望(avoir envie de+不定詞)
v.t ~を書きたいを思っている 「動詞句」
des choses デ・ショーズ pl.n.f 事を 「目的語」
plus importantes. プリュ・アンポ・ルト adj.pl もっと大事な 「形容詞句」

私が女中として仕えていた時代を知っている人は、もはや誰もいなくなった。

Plus personne n'a connu l'époque où j'étais employée comme bonne.

「主語」「動詞句」「目的語」
Plus personne プリュ・ペルソヌ pron もはや誰も～ない 「主語」
n'a connu ナ・コニュ 3 単現・完了形・否定(connaître)v.t 知らなくなっている 「動詞句」
l'époque レポ・ッキ n.f その時代を 「目的語」
où ウ adv. その時～する 「形容詞節」
j' ジュ pron 私が 「主語」
étais employée エ・オヴ・ロワイ 1 単半・受動(employer)
v.t 雇われていた 「動詞句」
comme bonne. コム・ボンヌ adv. 女中として「副詞句」 「補語」
bonne ボンヌ n.f (住み込みの) 女中、使用人

「女中」という言葉が日常会話から消え失せた時期を正確に突き止めることは大事な事だ
と思うし、それを研究している人々もいるだろうと思う。

J' imagine qu'établir précisément le moment où le mot « bonne » a disparu du langage
courant est un grave problème et que des gens font des recherches là-dessus.

「主語」「動詞」「目的語」
J' ジュ pron 私は 「主語」
imagine イマヰヌ 1 単現(imaginer)v.t(que ～と) 思う 「動詞」
qu' ク conj. ～ということ 「目的語」
établir エタブリール 不定詞 v.t ~を明らかにすることは 「主語」
précisément プレシゼモン adv. 正確に 「副詞」
le moment ル・モメン n.m 時期を 「目的語」
où ウ adv. その時～する 「形容詞節」
le mot « bonne » ル・モ・ボンヌ n.m 女中という言葉が 「主語」
a disparu ア・ディスパリュ 3 単現・完了形(disparaître)
v.i 消え失せた 「動詞句」

du langage courant ジュ・ロンカージュ・クーロン

adv. 日常語から

「副詞句」

est エ 3 単現(être)v.i ~である

「動詞」

un grave problème アン・グラーヴ・プロブレム n.m 重大問題

「補語」

et エ conj. そして

qu' ク conj. ~ということ

「目的語」

des gens デ・ジヨン pl.n 人々が

「主語」

font フォン 3 複現(faire)v.t ~している

「動詞」

des recherches デ・ルゼルシュ pl.n.f 研究を

「目的語」

là-dessus. ラ・ドゥシュ adv. それについて

「副詞句」

昭和 40 年代、つまり 1970 年頃には、まだ使われていたと思う。

Il était encore usité dans les années quarante de Père Shôwa, vers 1970, me semble-t-il.

「主語」「動詞」「補語」, 「間接目的語」「動詞」「主語」

Il イル pron 女中という言葉は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

encore usité オンコール・ユジテ adj. (言葉が) まだ使われていた

「補語」

dans les années quarante ドン・レ・ザネ・キャント adv. 40 年代には

「副詞句」

quarante キャント adj. 40 の

de Père Shôwa, ド・ウ・ペール・ショワ adj. 昭和の

「形容詞句」

Père Shôwa ペール・ショワ n.m 昭和天皇の治世 → 昭和 (期)

vers 1970, ヴェール・ミル・ヌフソンスワソント・デイス adv. 1970 年頃

「副詞句」

me ム pron 私には

「間接目的語」

semble ソンブル 3 単現(sembler)v.i ~に思われる

「動詞」

il. イル pron それは

「主語」

私は、高校生の甥が、赤頭巾ちゃん（黒頭巾ちゃんだったかも知れない）という当時の流行小説に出てくる女中さんが、女中の仕事に誇りを持っていて「お手伝いさん」と呼ばれるのを嫌っていた、ちょっと叔母さんに似ているね、と話していたことを覚えている。

Je me souviens que mon neveu, qui était au lycée, m' avait parlé d'un roman alors très à la mode. Petit Chaperon rouge (ou bien était-ce Petit Chaperon noir “注釈 1” ?), dont l'un des personnages... qui s'appelait la petite Yo, était fière d'être bonne et refusait, « un peu comme toi, tata », qu'on dise qu'elle était « employée de maison ».

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

| | | |
|--|------------------------|------------|
| me souviens ム・スヴイヤン 1 単現(se souvenir)v.pr | 覚えている | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| mon neveu, モン・ヌヴェー n.m | 私の甥が | 「主語」 |
| qui キ pron (主語) | ～する | 「形容詞節」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～に行っていた | 「動詞」 |
| au lycée, オ・リセ adv. | 高校へ | 「間接目的語」 |
| m' ム pron | 私に | 「間接目的語」 |
| avait parlé アヴ・ェ・パル 3 単半・完了形(parler) | | |
| v.i (de について) | 話していた | 「動詞句」 |
| d'un roman ダン・ロモン adv. | 小説について | 「間接目的語」 |
| alors アール adv. | そのころ | 「副詞」 |
| très à la mode, トレ・ア・ラ・モート adj. | とても流行っていた | 「形容詞句」 |
| Petit Chaperon rouge プ・ティ・シャプ・ロン・ルージュ n.m | 赤頭巾ちゃん | 「間接目的語」 |
| (ou bien ウー・ビヤン adv. | あるいは、～かも知れない | 「副詞句」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| ce ス pron | それは | 「主語」 |
| Petit Chaperon noir ?), プ・ティ・シャプ・ロン・ヌワール n.m | 黒頭巾ちゃん | 「補語」(注釈 1) |
| dont l'un des personnages, ドン・ラン・デ・ペルソナージュ | | |
| pron.f | その小説の登場人物の一人の女中が～することを | 「直接目的語」 |
| qui キ pron (主語) | ～する | 「形容詞節」 |
| s'appelait サブレ 3 単半(s'appeler) | | |
| v.pr | ～という名前である | 「動詞句」 |
| la petite Yo, ア・プ・ティット・ヨー n.f | よっちゃん | 「補語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| fière d'+不定詞 フィエル・ドゥ adj. | ～するのが誇らしい | 「補語」 |
| être エトル 不定詞 v.i | ～である | 「動詞」 |
| bonne ボンヌ n.f | 女中 | 「補語」 |
| et エ conj. | そして | |
| refusait, ルフゼ 3 単半(refuser)v.t | 拒んだ、いやがった | 「動詞」 |
| « un peu comme toi, tata », アン・プ・コム・トゥワ・タタ | | |
| adv. | ちょっとおばさんに似ているね | 「呼びかけ」 |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| on オン pron | 人が | 「主語」 |
| dise ディス 接・3 単現(dire)v.t | 言う | 「動詞」 |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| elle エル pron | 彼女は | 「主語」 |

était エテ 3 単半(être)v.i ~である 「動詞」
« employée de maison ». オンフ ロワイエ・ト・ウ・メゾン
n.f 家のお手伝いさん 「補語」

注釈 1. Petit Chaperon noir

1969 年に出版されて大成功を収めた、第 61 回芥川賞受賞の『赤頭巾ちゃん気をつけて』という庄司薫の
小説を暗示している。(注釈はすべて翻訳者 SOPHIE REFLE によるものである)

Allusion à un roman de Shôji Kaoru, Akazukinchan ni ki wo tsu- kete (Fais attention au Petit Chaperon rouge), paru en 1969, qui eut un grand succès. (Toutes les notes sont de la traductrice.)

「主語」

Allusion アリュジヨン n.f 暗示

「主語」

à un roman de Shôji Kaoru, ア・アン・ロモン・ト・ウ・ショージ・カオル adj. 庄司薫の小説に対する 「形容詞句」

Akazukinchan ni ki wo tsu- kete (Fais attention au Petit Chaperon rouge),

アカズキンチャン・ニ・キ・ヲツケテ (フェ・アトション・オ・フ・テイ・シャプ ロン・ルーシェ)

n. 第 61 回芥川賞受賞の『赤頭巾ちゃん気をつけて』 「目的語」

フランス語の翻訳では、『赤頭巾ちゃんに気をつけて』と「間接目的語」になっているが、

「赤頭巾ちゃん」は、日本語の原題では「主語」に対する「呼びかけ」と考えられる。

paru en 1969, パリュオン・ミル・ヌフゾン・スワソト・ヌフ adj. 1969 年に出版された 「形容詞句」

qui eut un grand succès. キ・イ・アン・グロン・シュケセ adj. 大成功した 「形容詞節」

(Toutes les notes sont de la traductrice.) トゥット・レ・ノト・ソン・ト・ラ・トラジエクトリス

n. 注釈はすべて翻訳者 SOPHIE REFLE による

「女中」という言葉が使われていたのは、おそらくその頃が最後だったと思う。

Je crois que c'est à peu près à ce moment-là qu'on a cessé de l'utiliser.

| | |
|---|---------------|
| | 「主語」「動詞」「目的語」 |
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| crois クルわ 1 単現(croire)v.t (que ～だと) 思う | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| c' ス pron 仮の主語 (真の主語は qu'on a cessé 以降) | |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| à peu près ア・プ・プレ adv. およそ、おそらく | 「副詞句」 |
| à ce moment-là ア・ス・モン・ラ adv. その頃 | 「副詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということは | 「主語」 |
| on オン pron 人々が | 「主語」 |
| a cessé de l'utiliser. ア・セ・トゥ・リゼ 3 単現・完了形・中止(cesser de+不定詞) | |
| v.t 「女中」という言葉の使用を止めた | 「動詞句」 |
| l' は「女中という言葉」の代用 | |

また甥の言うことによれば、今では「家事代行サービス」と言うそうだが、奇妙な方式だ。

Désormais, toujours selon mon neveu, on parle de « service d'aide ménagère à domicile », une formule qui ne ressemble à rien.

| | |
|---|------------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」, 「主語」 |
| Désormais, デゾルマ adv. これからは、今後は、現在では | 「副詞」 |
| toujours トゥジュール adv. また、いつも | 「副詞」 |
| selon スロン prep ～の言によれば | 「副詞句」 |
| mon neveu, モン・ヌヴ n.m 甥 | 「目的語」 |
| on オン pron 人は | 「主語」 |
| parle パルル 3 単現(parler)v.i(de について) 話す | 「動詞」 |
| de トゥ prep ～について | 「間接目的語」 |
| « service セルヴィス n.m 業務 | 「目的語」 |
| d'aide ménagère デ・テ・メナジェール adj. 家事を手伝う | 「形容詞句」 |
| à domicile », ア・ドミシル adv. 自宅で | 「副詞句」 |
| → 家事代行サービス | |
| parler de+無冠詞名詞 「～(という言葉)を口にする、～と言う」 | |
| une formule ユンヌ・フォルミュル n.f 方式 | 「主語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| ne ressemble ヌルソンプル 3 単現・否定(ressembler) | |
| v.i(à に) 似ていない | 「動詞句」 |

à rien. ア・リヤン adv. 何にも 「間接目的語」
ne ressemble à rien 「見たこともない、変な、奇妙な、ユニークな」

私が 13 歳で初めて女中になったときは、東京の上流家庭の地域では奉公人が不足していて、
必ず「さん」付けで呼ばれるほど大事にされていたものだ。

Quand je suis devenue domestique au début des années trente, le personnel manquait dans les bons quartiers de Tokyo, et personne ne tutoyait les bonnes.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
Quand コン conj. ～するとき 「副詞節」
je ジュ pron 私 「主語」
suis devenue シュイ・トウヴニユ 1 単現・完了形(devenir)v.i ～になった 「動詞句」
domestique ドメスキ n. 女中 「補語」
au début オ・デビュー adv. 初めて 「副詞句」
des années trente, テ・ザネ・トロント adv. 13 歳で (30 歳で) 「副詞句」
→ trente は、**treize** トレーズ n.m 13 の間違い
原作では、「小学校卒業後 12～13 歳から奉公に出る」と書かれている
le personnel ル・ペルソネル n.m 使用人が 「主語」
manquait モンケ 3 単半(manquer)v.i 不足していた 「動詞」
dans les bons quartiers ドン・レ・ボン・クワルチエ adv. 上流家庭の地域では 「副詞句」
de Tokyo, ド・オ・トキオ adj. 東京の 「形容詞句」
et エ conj. そして
personne ペルソヌ pron 誰も (～ない) 「主語」
ne tutoyait ヌ・チュワエ 3 単半・否定(tutoyer)v.t 親しげに話した 「動詞句」
ne は虚辞
→ 単なる使用人として「呼びつけ」ではなく、「さん」付けなどで親しげに呼んだ
les bonnes. レ・ボンヌ pl.n.f 使用人を 「目的語」

雇い主たちは、私たちを「あなた」とか「さん付け」で呼んでくれた。彼らは、私たちを才女として見てくれていたのだろう。

Nos employeurs nous vouvoaient parce que nous étions précieuses à leurs yeux.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞節」
Nos employeurs ノ・オンブ ルイユール pl.n 私たちの雇い主たちは 「主語」
nous ヌ pron.pl 私たちを 「目的語」
vouvoaient ヴー・ヴワエ 3 複半(vouvoyer)v.t あなたと呼んでいた 「動詞」
parce que パルス・キ conj. ～なので 「副詞節」
nous ヌ pron.pl 私たちは 「主語」

étions エション 1 複半(être)v.i ~だった 「動詞」
précieuses プレシユーズ pl.n.f 才女 「補語」
à leurs yeux. ア・レル・ジュ adv. 彼らの目には 「副詞句」

これはよい家庭における規律だった。

C'était la règle dans les bonnes familles. 「主語」「動詞」「補語」
C' ス pron これは 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
la règle ラ・レグル n.f 規律 「補語」
dans les bonnes familles. ドン・レ・ビンス・ファミユ adv. よい家庭では 「副詞句」

全ての奥様は、きちんと整頓された家庭には優秀な女中が不可欠である、と知っていた。

Toutes les maîtresses de maison savaient qu'une bonne de qualité était indispensable à un foyer bien tenu. 「主語」「動詞」「目的語」
Toutes les maîtresses トット・レ・メレス pl.n.f すべての女主人は 「主語」
de maison ドゥ・メゾン adj. 家の 「形容詞句」
savaient サヴェ 3 複半(savoir)v.t 知っていた 「動詞」
qu' ク conj. ~ということ を 「目的語」
une bonne ユヌ・ボンヌ n.f 女中が 「主語」
de qualité ドゥ・カレ adj. 優れた、優秀な 「形容詞句」
était エテ 3 単半(être)v.i ~である 「動詞」
indispensable アンデイスボンサブル adj. (à に) 欠かせない 「補語」
à un foyer ア・ウン・フワイ adv. 家庭に 「副詞句」
bien tenu. ビヤン・トゥニュ adj. きちんと整頓された 「形容詞句」

私はたまたま 1 度も結婚しなかったけれど、その頃は、女中として働きながら結婚の準備をするのはごくありふれたことだった。

Il se trouve que je ne me suis jamais mariée, mais à cette époque-là on se préparait au mariage en travaillant comme bonne.

「動詞句」「主語」,mais 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」
Il イル pron 仮の主語 (真の主語は que je ne me suis jamais mariée)
se trouve ス・トゥヴ 3 単現(se trouver)v.pr たまたま~という状態である 「動詞句」
que ク conj. ~ということは 「主語」
je ジュ pron 私は 「主語」
ne me suis jamais mariée, ヌ・ム・シュイ・ジヤメ・マリエ 1 単現・完了形・否定(se marier)
v.pr 1 度も結婚しなかった 「動詞句」

mais メ conj. しかし
à cette époque-là ア・セツト・エポ・キ・ラ adv. その頃は 「副詞句」
on オン pron 人々は 「主語」
se préparait ス・プレパレ 3 単半(se preparer)v.pr(à に対して) 準備していた 「動詞句」
au mariage オ・マリヤージュ adv. 結婚に対して 「間接目的語」
en travaillant オン・トラヴァイヨン ジェロンディフ(travailler)adv. 働きながら 「副詞句」
comme bonne. コム・ボンヌ adv. 女中として 「副詞句」

そう、私たちは模範的な妻になることを学ぶために使用人になったのであった。

Oui, on devenait domestique pour apprendre à être une épouse accomplie.
「副詞」「主語」「動詞」「補語」「副詞句」
Oui, ウー adv. そうなのだ 「副詞」
on オン pron 私たちは 「主語」
devenait トゥヴネ 3 単半(devenir)v.t ~になった 「動詞」
domestique ドメスキ n. 使用人 「補語」
pour +不定詞 プール adv. ~するために 「副詞句」
apprendre à +不定詞 アプ ロントル・ア 不定詞 v. ~することを学ぶ 「動詞句」
être エトル 不定詞 v.i ~になる 「動詞句」
une épouse accomplie. エヌ・エプ・ーズ・アコンプリ n.f 模範的な妻 「補語」
épouse エプ・ーズ n.f(n.m: époux) 配偶者 accomplie アコンプリ adj.f(accomplie) 模範的な

たとえ皆が、女中という職業は奴隷みたいなものだと考えているとしても、私は今日の女子
大学みたいなものとまでは言わないけれども、断じて馬鹿にされる仕事ではなかった。

Je n'irais pas jusqu'à dire que c'était comme l'université pour les jeunes filles d'aujourd'hui, mais ce n'était certainement pas une profession méprisée, même si tout le monde a Pair de penser qu'être bonne, c'était presque être esclave.

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」「補語」「副詞節」
Je ジュ pron 私は 「主語」
n'irais pas jusqu'à dire コレ・パ・ジュスクワ・テイル 条・1 単現・近接未来・否定・語調緩和
(aller+不定詞+ jusqu'à)v.t ~とまでは言わないけれど 「動詞句」
que ク conj. ~ということ 「目的語」
c' ス pron (女中という職業が) それは 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
comme l'université コム・リュニヴァエルテ adv. 大学のような 「補語」
pour les jeunes filles プール・レ・ジュヌ・フィユ adj. 女性のための 「形容詞句」
d'aujourd'hui, トゥジュルトゥイ adj. 今日の 「形容詞句」

mais メ conj. しかし
ce ス pron それは 「主語」
n'était certainement pas ネ・セルテヌモン・パ° 3 単半・否定(être)
v.i 確かに～でなかった 「動詞句」
une profession méprisée, ユヌ・プロフェシオン・メプリゼ° n.f 馬鹿にされる仕事 「補語」
méprisée メプリゼ° 過去分詞・受動.f (mépriser) adj.f 軽蔑される、馬鹿にされる
même si メム・シ conj. たとえ～でも 「副詞節」
tout le monde トゥル・モンド° pron 皆が 「主語」
a l'air de penser ア・レル・ドゥ・ポンセ° 3 単現・様子(avoir l'air de+不定詞)
v.t 考えているように見える 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということ 「目的語」
être bonne, エートル・ボンヌ 不定詞句 n. 女中であることは 「主語」
c' ス pron それは 「主語」
était エテ° 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
presque être esclave. プレスキ・エートル・エスクラヴ° 不定詞句
n. ほとんど奴隷である 「補語」
presque プレスキ° adv. ほとんど esclave エスクラヴ° n. 奴隷

もちろん、この仕事をやってきて、つらい事も何度か経験した。しかし、楽しいばかりの仕事など存在するだろうか？

Bien sûr, j'ai connu des moments difficiles en faisant ce métier, mais existe-t-il des professions où l'on ne fait que s'amuser ?

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 mais 「動詞」「主語」
Bien sûr, ビヤン・シュール° adv. もちろん 「副詞句」
j' ジュ° pron 私は 「主語」
ai connu エ・コニュ° 1 単現・完了形(connaitre)v.t 経験した、知った 「動詞句」
des moments difficiles テ・モン・ディフィシル° pl.n.m つらい事を何度か 「目的語」
en faisant オン・フザン° adv. (en+現在分詞 faire) ～をしていて 「副詞句」
ce métier, ス・メティエ° n.m この仕事を 「目的語」
mais メ conj. しかし
existe-t-il エグジストゥ・ティル° 3 単現・非人称・疑問文(il exister)v.i 存在するか？ 「動詞」
des professions テ・プロフェシオン° pl.n.f 職業が 「主語」
où ウ° adv. そこで何する 「形容詞節」
l'on ロン° pron 人々は 「主語」
ne fait que s'amuser ? ネ・フェ・ク・サミゼ° 3 単現・だけ(ne faire que+不定詞)
v.pr 遊んでばかりいる 「動詞句」

私はもはや、この職業が広く重んじられていたとか尊敬されたとかまでは主張しない。

Je n'irais pas non plus jusqu'à affirmer que cette occupation était universellement bien considérée et que tout le monde la respectait.

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

n'irais pas non plus jusqu'à affirmer ニレ・パ・ノン・プ リュ・ジ ュスク わ・アフィルメ

条・1 単現・近接未来・否定・語調緩和(aller+不定詞+ jusqu'à)

v.t ~とまではもはや主張しないけれど

「動詞句」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

cette occupation セット・オキュパ シオン n.f この仕事が

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~である

「動詞」

universellement bien considérée ウニヴァ エルセルモン・ビ ヤン・コンシテレ

adj. 広く重んじられた

「補語」

et エ conj. そして

que ク conj. ~ということ

「目的語」

tout le monde トゥ・ル・モンド n. 皆が

「主語」

la ラ pron それを

「目的語」

respectait. レスパ クテ 3 単半(respecter)v.t 尊敬した

「動詞」

そして誰かが、私が最初に仕えた家の旦那様がいかがわしい目つきで私を見たことはなかったのか、と尋ねたら、私はそういうことは彼にもあったと認めざるを得ないが、それは何度も聞かないで欲しい。

Et si quelqu'un me demandait si le Monsieur de la première famille chez qui j'ai servi ne me regardait pas parfois d'un œil coquin, je serais bien obligée de reconnaître que cela lui arrivait, mais n'allez pas le répéter.

Et 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「動詞句」「目的語」「動詞句」

Et エ conj. そして

si シ conj. もし~ならば

「副詞節」

quelqu'un ケルカン pron 誰かが

「主語」

me ム pron 私に

「間接目的語」

demandait トゥモンテ 3 単半(demander)v.t 尋ねた

「動詞」

si シ conj. ~かどうかということ

「直接目的語」

le Monsieur ル・ムッシュ n.m 主人が

「主語」

de la première famille トゥ・ラ・プルミエ・ファミユ

adj. 最初の家の

「形容詞句」

chez qui シェ・キ adv. (目的語) ~する

「形容詞節」

| | | | | |
|------------------------------------|-------------------------|-------------------|------------|---------|
| j'ai servi | シェ・セルヴィ | n. | 私が仕えた | 「目的語」 |
| ne ...regardait pas | ヌ...ルギヤルテ・パ | 3 単半・否定(regarder) | | |
| v.t | 見なかった | | | 「動詞句」 |
| me | ム | pron | 私を | 「目的語」 |
| parfois | パルワ | adv. | 時には | 「副詞」 |
| d'un œil coquin, | ダン・ウイユ・カン | | | |
| adv. | (手段) いかかわしい目つきで | | | 「副詞句」 |
| oeil | ウイユ | n.m | 目 | |
| coquin | カン | adj. | いかかわしい、猥褻な | |
| je | ジュ | pron | 私は | 「主語」 |
| serais bien obligée de reconnaître | スレ・ビヤン・オブリジエ・ト・ウ・ルコネートル | | | |
| 条・1 単現・完了形・推量(être obligé de+不定詞) | | | | |
| v.t | 〜と認めざるを得ないだろう | | | 「動詞句」 |
| être obligé de+不定詞 | 「〜せざるを得ない」 | | | |
| que | ク | conj. | 〜ということ | 「目的語」 |
| cela | スラ | pron | そのようなことは | 「主語」 |
| lui | リュイ | pron | かれに | 「間接目的語」 |
| arrivait, | アリヴァ | 3 単半(arriver)v.i | 起こったものだ | 「動詞」 |
| mais | メ | conj. | しかし | |
| n'allez pas +不定詞 | ナル・パ | 命・2 複現・否定 v. | 〜しないでください | 「動詞句」 |
| le | ル | pron | それを | 「目的語」 |
| répéter. | レパテ | 不定詞 v.t | 繰り返す | 「動詞句」 |

有名な作家でしたから、あの方の名前がこの記事によって流出するなどあってはならない。

Il s'agissait d'un écrivain célèbre et il est hors de question que son nom sorte de ce journal.

| | | | | |
|------------------|--------------|---------------------------------|---------------------|-------|
| 「動詞句」「補語」 | et | 「動詞」「補語」「主語」 | | |
| Il s'agissait d' | イル・ザンセ・ト・ウ | 3 単半・非人称(il s'agir de+qch / qn) | | |
| v.h | それは〜であった | | | 「動詞句」 |
| un écrivain | アン・エクリヴァン | n.m | 作家 | 「補語」 |
| célèbre | セレーガル | adj. | 有名な | 「形容詞」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| il | イル | pron | 仮の主語 (真の主語は que 以降) | |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| hors de question | ホル・ト・ウ・クエション | adj. | 論外の | 「補語」 |
| hors | ホル | prep | 〜を外れた、〜を脱した | |
| que | ク | conj. | 〜ということ | 「主語」 |
| son nom | ソン・ノム | n.m | 彼の名前が | 「主語」 |

sorte ソルトゥ 3 単現(sortir)v.i 流出する 「動詞」
de ce journal. トゥ・ス・ジュルナル adv. この記事によって 「副詞句」

私はこの秘密を墓の中まで持っていくつもりだ。

J'emporterai ce secret dans la tombe. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
J' ジュ pron 私は 「主語」
emporterai オンポルトレ 1 単末・意思(emporter)v.t 持っていくつもりだ 「動詞」
ce secret ス・スクレ n.m この秘密を 「目的語」
dans la tombe. トン・ラ・トンブ adv. 墓の中まで 「副詞句」

時には、私が拭き掃除をしている時に、私の太腿や尻に手を伸ばすことがあったし、時には私にマッサージをするように頼むことがあった。また、奥様には内緒で私に小遣いをくれることもあった。

Parfois il me passait la main sur les cuisses ou les fesses quand je faisais la poussière, parfois il me demandait de lui servir de masseuse, et il me donnait aussi de l'argent de poche sans le dire à Madame.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞節」,
「副詞」「主語」「目的語」「動詞句」「補語」
et 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」「副詞句」

Parfois パルフわ adv. 時には、時々 「副詞」
il イル pron 彼は 「主語」
me ム pron 私に 「間接目的語」
passait パセ 3 単半(passer)v.t (手などを) 動かした 「動詞」
la main ラ・マン n.f 手を 「直接目的語」
sur シュール prep ~の上に 「副詞句」
les cuisses シュール・レ・キュイス pl.n.f 太腿 「目的語」
ou ウ conj. または
les fesses レ・フェス pl.n.f 尻 「目的語」
quand コン conj. ~する時に 「副詞節」
je ジュ pron 私が 「主語」
faisais フェ 1 単半(faire)v.t していた 「動詞」
la poussière, ラ・プ・シエール n.f ほこり 「目的語」
faire la poussière 「拭き掃除をする、ほこりを払う」
parfois パルフわ adv. 時には、時々 「副詞」
il イル pron 彼は 「主語」
me ム pron 私に 「目的語」

| | |
|--|---------|
| demandait トゥマンデ 3 単半・依頼(demander à qn de+不定詞) | |
| v.t ~するように頼んだ | 「動詞句」 |
| de +不定詞 トゥ 不定詞・me の動作 v. ~する | 「補語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| servir セルヴィール 不定詞 v.i (à qn de+無冠詞名詞) ~として役立つ | 「動詞句」 |
| de masseuse, トゥ・マシュズ adv. マッサージ師として | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| me ム pron 私に | 「間接目的語」 |
| donnait トネ 3 単半(donner)v.t ~をくれた | 「動詞」 |
| aussi オシ adv. ~もまた | 「副詞」 |
| de l'argent de poche トゥ・ラルジ ヨン・トゥ・ポ ッシュ n.m 小遣いを | 「直接目的語」 |
| argent de poche アルジ ヨン・トゥ・ポ ッシュ n.m 小遣い | |
| sans +不定詞 ソン adv. (様態) ~しないで | 「副詞句」 |
| le ル pron そのことを | 「直接目的語」 |
| dire ディール 不定詞 v.t 言う | 「動詞」 |
| à Madame. ア・マダム adv. 奥様に | 「間接目的語」 |

しかしそれは大した問題ではないし、昔の話だ。

Mais cela ne portait pas à conséquence. C'était autrefois.

Mais 「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞」

| | |
|--|---------|
| Mais メ conj. しかし | |
| cela スラ pron それは | 「主語」 |
| ne portait pas ス・ポ ルテ・パ 3 単半・否定(porter)v.i ~に関わらない | 「動詞句」 |
| à conséquence. ア・コンセコンス adv. 重要性に | 「間接目的語」 |
| C' ス pron それは | 「主語」 |
| était エ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| autrefois. オトルワ adv. 昔 | 「副詞」 |

日記の例文

東北地方太平洋沖地震発生 11/03/2011 晴れ

Le tremblement de terre se produisait dans la région de Tohoku en l'océan Pacifique
haute mer. 11 (onze オーンズ) mars 2011 beau temps



真里と私は北広島の浅利家に居た。

Mari et moi nous mettions à l'aise chez Asari en nord Hiroshima.

「主語」「動詞」「副詞句」

Mari et moi マリ・エ・モリ 真里と私

「主語」

nous mettions ノ・メチヨ 1 複半 < se mettre ス・メットル v.pr (ある状態に) なる 「動詞」

à l'aise ア・レーズ adv. 気楽に、楽々と

「副詞句 : nous mettions」

→ nous mettions à l'aise 私たちはくつろいでいた

chez Asari シェ・アサリ adv. 浅利宅で

「副詞句 : nous mettions」

en nord Hiroshima オン・ノール・イロシマ adj. 北広島の

「副詞句 : Asari」

午後 2 時 46 分頃、地震が発生。

Le tremblement de terre se produisait à 2 (deux) heures 46 (quarante six) de l'après-midi.

「主語」「動詞」「副詞句」

Le tremblement de terre ル・トロンプ・ルモン・ト・ウ・テール n.m 地震

「主語」

se produisait ス・プ・ロト・ウ・イェ 3 単半 < se produire ス・プ・ロト・ウ・イール v.pr 起こる、生ずる

à 2 heures 46 ア・ト・ウ・ス・ールキャロントシス adv. 2 時 46 分に

「副詞句 : se produisait」

de l'après-midi ト・ウ・ア・プ・レ・ミティ adv. 午後の

「副詞句 : 2 heures 46」

穏やかな揺れから始まって、やがて激しい揺れに変化。

Les secousses sismiques étaient douces au commencement, mais elles changeaient violentes bientôt.

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」, mais 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

Les secousses sismiques レ・スクス・シスキ n.f pl. 地震の揺れ

「主語」

étaient エテ 3 複半 < être エートル v.i ~である

「動詞」

douces ドゥス adj. n. pl. 穏やかな 「補語」
au commencement オ・コモンソン adv. 初めは 「副詞句：étaient」
mais メ conj. だが、しかし
elles エル pron 女性・複数名詞の Les secousses sismiques を代表 「主語」
changeaient ションジエ 3 複半 <changer ションジエ v.i 変わる、変化する 「動詞」
violentes ヴィオロントゥ adj. f. pl. 激しい、猛烈な 「補語」
bientôt ビヤント adv. 間もなく、すぐに、やがて 「副詞句：changeaient」

3 分位の長時間揺れが続いた。

Les secousses sismiques duraient durant 3 (trois) minutes. 「主語」「動詞」「副詞句」
Les secousses sismiques レ・スス・シスキ n.f pl. 地震の揺れ 「主語」
duraient デュレ 3 複半 <durer デュレ v.i 続く、持続する 「動詞」
durant デュロン prep ~の間中、~を通じて
3 minutes トワ・ミニット 三分
→ durant 3 minutes 三分間 「副詞句：duraient」

地震が収まったので、恵庭の魚半という魚屋で買い物をしてから帰宅した。

Comme le tremblement de terre se calmait, Mari et moi allions acheter à la poissonnerie Uohan à Eniwa et rentrions à la maison.

Comme 「主語」「動詞」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞」「副詞句」
Comme コム conj. (原因・理由) ~なので
le tremblement de terre ル・トロンブルモン・トゥ・テール n.m 地震 「主語」
se calmait ス・カルメ 3 単半 <se calmer ス・カルメ v.pr 鎮まる、平静になる 「動詞」
Mari et moi マリ・エ・モリ 真里と私 「主語」
allions アリオン 1 複半 <aller アレ v.i 行く、(+不定詞) ~しに行く
→ allions acheter 買い物に行った 「動詞句」
à la poissonnerie Uohan ア・ラ・ポワソニエリ・ウオン 魚屋の魚半に 「副詞句：allions acheter」
à Eniwa ア・エニワ adj. 恵庭の 「形容詞句：Uohan」
et エ conj. そして、それから
rentrions ロントリオン 1 複半 <rentrer ロントレ v.i 帰る、帰宅する 「動詞」
à la maison ア・ラ・メゾン adv. 家に 「副詞句：rentrions」

夕方、テレビを見ると東北地方の地震被害の様子が映し出された。

Je voyais les terribles scènes du tremblement de terre dans la région du Tohoku en télévision. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
Je ジュ pron 私 「主語」

voyais ヴォワイ 1 単半 < voir ヴォワール v.t 見る、見える 「動詞」
les terribles scènes レ・テリブル・セヌ n.f pl. 恐ろしい光景 「目的語：voyais」
du tremblement de terre チュ・トロンブルモン・トゥ・テル adj. 地震の 「形容詞句：scènes」
dans la région du Tohoku トン・ラ・レジヨン・チュ・トク adj. 東北地方における
「形容詞句：tremblement de terre」
en télévision オン・テレヴィジョン adv. テレビで 「副詞句：voyais」

東電の原子炉が危機的な状況であることも知った。

Je savais en plus que le réacteur de Tokyo compagnie d'électricité était dans une situation critique.
「主語」「動詞」「副詞」 que 「主語」「動詞」「副詞句」
Je ジュ pron 私 「主語」
savais サヴェ 1 単半 < savoir サヴァール v.t 知る、知っている 「動詞」
en plus オン・プリュ adv. 加えて、その上、おまけに 「副詞」
que ク conj. (名詞節を作る)、～ということ
le réacteur ル・リアクター n.m 原子炉 「主語」
de Tokyo compagnie d'électricité トウ・トキオ・コンパニー・エレクトリシテ
adj. 東京電力の 「形容詞句：réacteur」
était エテ 3 単半 < être エートル v.i ～である、～にいる 「動詞」
dans トン prep ～の中で、～において
une situation critique ユヌ・シチュアシオン・クリティキ n.f 危機的な状況
→ dans une situation critique 危機的な状況 「副詞句：était」

東北地方太平洋沖地震翌日 12/03/2011 晴れ

Le lendemain du tremblement de terre dans la région de Tohoku

12 (douze ドゥーズ) mars 2011 beau temps



菅首相が東京電力福島第一原子力発電所に現地訪問した。

Le Premier ministre Kann visitait la première centrale nucléaire de Tokio énergie électrique. 「主語」「動詞」「目的語」

Le Premier ministre Kann ル・プ^ルルミエ・ミストル・カン n.m 菅首相 「主語」

visitait ヴィジテ 3 単半 <visiter ヴィジテ v.t 訪問する、訪れる 「動詞」

la première centrale nucléaire ラ・プ^ルルミエール・ソントラール・ニクレエール n.f 第一原子力発電所

de Tokio énergie électrique トゥ・トキオ・エネルギー・エレクトリキ adj. 東京電力の

→ la première centrale nucléaire de Tokio énergie électrique 「目的語」

このことが現場の作業を停滞させて、炉心溶融を引き起こす一因になった。

Ça faisait stagner les travaux des lieux, et devenait une cause de la fusion du réacteur.

「主語」「動詞句」「目的語」, et 「動詞」「補語」

Ça サ pron 全文の内容を代用する 「主語」

faisait フェ 3 単半 <faire フェール v.t (+不定詞) ~させる

stagner スタグネ v.i 停滞する、遅れる

→ faisait stagner 遅らせた (使役) 「動詞句」

les travaux des lieux レ・トラヴァ^{ヴォ}・デ・リウ n.m pl. 現場の作業 「目的語」

et エ conj. そして、それから

devenait トゥヴァ^グネ 3 単半 <devenir トゥヴァ^グニール v.i ~になる 「動詞」

une cause ユヌ・コース n.f 一因

de la fusion du réacteur トゥ・ラ・フュジ ョン・ジュ・リアクトゥール adj. 炉心溶融の

→ une cause de la fusion du réacteur 炉心溶融の一因 「補語」

1 号機にベント。

Le premier réacteur était ventilé. 「主語」「動詞句」

Le premier réacteur ル・プ ルミエ・リアクトゥール n.m 第一原子炉、一号機 「主語」

était エテ 3 単半 < être エートル 助動詞 (+p.p 受動文を作る)

ventilé ヴァンティレ p.p < ventiler ヴァンティレ v.t 換気する

→ était ventilé 換気された (受動) 「動詞句」

大量の放射性物質が大気中に放出されて、その後各地にホットスポットが出来た。

Une grande quantité de substance radioactive était émise dans l'air, et beaucoup de régions étaient polluées fortes par la radioactivité.

「主語」「動詞句」「副詞句」, et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Une grande quantité de substance radioactive

ユンス・グランド・クワンチテ・トゥ・シプ ストンス・ラディオアクティヴ n.f 大量の放射性物質 「主語」

était エテ 3 単半 < être エートル 助動詞 (+p.p 受動文を作る)

émise エミ p.p < émettre エメットル v.t 放出する

→ était émise 放出された (受動) 「動詞句」

dans l'air ドゥン・レール adv. 大気中に 「副詞句」

beaucoup de régions ボク・トゥ・レジ ョン n.f pl. 沢山の地域 「主語」

étaient polluées fortes エテ・ボ ルエ・フォルトゥ 激しく汚染された (受動) 「動詞句」

par la radioactivité パール・ラ・ラディオアクティヴ イテ adv. 放射能によって 「副詞句」

早くも一年半たったが、除染はほとんど進んでいない。

Déjà un an et demi est passé, mais la élimination de la radioactivité ne marche rien.

「副詞」「主語」「動詞句」, mais 「主語」「動詞句」

Déjà デジャ adv. もう、すでに 「副詞」

un an et demi アンナン・エ・ドゥミ n.m 一年半 「主語」

est エ 3 単現 < être エートル 助動詞 (+p.p 複合過去を作る) (移動・変化の動詞)

passé パセ p.p < passer パセ v.i (時が) 過ぎる、経つ

→ est passé (時が) 経った (複合過去) 「動詞句」

mais メ conj. しかし、だが

la élimination de la radioactivité ラ・エリミナシオン・トゥ・ラ・ラディオアクティヴ イテ n.f

放射能の除去、除染

「主語」

ne ヌ adv. (否定) ~ない

ne ... rien ヌ ... リン 何も～ない
marche マルシュ 3 単現 < marcher マルシェ v.i (仕事が) はかどる
→ ne marche rien 何も進んでいない

「動詞句」

参考資料

2010 年 8 月 20 日のジャパン・タイムズの社説では、「大規模災害時には、政府のトップが責任ある指導力を発揮する必要があるが、一方では、災害対策現場に直接姿を現すことは避けるべきである」と警告している。しかしこの記事から約半年後に、菅首相は、災害現場に直接乗り込んで現場の作業を大いに停滞させたと云える。

Dealing with disaster

The Japan Times EDITORIALS Friday, August 20, 2010

First, and most important, when dealing with disasters of this scale, top government officials have to engage. In fact, there's little the top leadership can do, but it can impart urgency and direction. Direct involvement can mobilize resources, spur the bureaucracy and convince the public that their leaders care about their condition. Staying on vacation—as U.S. President George W. Bush first did when Hurricane Katrina devastated the U.S. Gulf Coast—or continuing with one's schedule—as Pakistani President Asif Ali Zardari did in his visit to Europe while his country was being devastated — does not reassure. Instead, it sends the message that top officials do not care.

Engaging does not mean either appearing on the scene or micromanaging. The presence of the top government official in the midst of a natural disaster is invariably a distraction. Resources are diverted, time is wasted with protocol and the inevitable image management.

災害に対処する

最初に、そして最も重要なことは、大規模災害に対処するには、政府のトップがかかわらなければならないということだ。実際には、トップの指導者に直接できることはほとんどないが、緊急性と方向性を伝えることはできる。直接的な関与は、人力を含めての諸資源を結集し、官僚にはっぱをかけ、指導者は国民に彼らの状況を心配していると確信させることができる。休暇先に滞在し続けたり（ハリケーン・カトリナがメキシコ湾岸を徹底的に破壊した際に米国のジョージ・ブッシュ大統領が最初にとった行動だ）、予定をそのまま続けたり（自国が壊滅的な被害を受けている最中に、ヨーロッパ訪問中のパキスタンのアシフ・アリ・ザルダリ大統領がとった行動だ）することは、人々を安心させない。それどころか、政府のトップは国民のことを気にしていないというメッセージを発することになる。関与するというのは、いちいち現場に姿を見せることを意味するわけではない。自然災害のただ中に政府のトップがいて、どんな場合でも関係者の一致団結が乱れる。人力その他は転用され、儀礼や必ずつきまとうイメージ管理に時間が無駄になる。

東北地方太平洋沖地震発生後 13/03/2011～

Depuis le tremblement de terre dans la région de Tohoku

13 (treize トレーズ) mars 2011～

テレビでは一日中、東北地震関連のニュース。

Toute la journée en télévision, les informations du tremblement de terre dans la région de Tohoku. 「副詞句」「主語」「副詞句」

Toute la journée en télévision トゥートゥ・ラ・ジ ユルネ・オン・テレヴィ ジョン

adv. 一日中テレビで 「副詞句」

les informations du tremblement de terre レサンフォルマシヨ・ヂュ・トロンブルモン・トゥ・テール

n.f pl. 地震のニュース 「主語」

dans la région de Tohoku ドン・ラ・レジ ヨン・トゥ・トオク adv. 東北地方で 「副詞句」

毎日、震度 5 程度の余震が数回起きている。

Chaque jour arrivent les secousses secondaires du degré environ cinq.

「副詞句」「動詞」「主語」

Chaque jour シャック・ジ ユール adv. 毎日 「副詞句」

arrivent アリガ 3 複現 < arriver v.i 起こる、発生する 「動詞」

les secousses secondaires レ・スクス・スコンドンテール n.f pl. (複数の) 余震

du degré environ cinq チュ・トゥグレ・オンヴィロン・サンキ adj. 震度 5 程度の

→ les secousses secondaires du degré environ cinq 「主語」

かなり高い防波堤であっても、津波はそれを破壊して乗り越える映像が示された。

Les images indiquaient que le tsunami pouvait détruire une énorme digue et escalader.

「主語」「動詞」 que 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「動詞」

Les images レジマージュ n.f pl. (複数の) 映像 「主語」

indiquaient アンディク 3 複半 < indiquer アンディク v.t 教える、示す 「動詞」

que ク conj. (名詞節を導く) ～ということ : indiquaient の目的語

le tsunami ル・ツナミ n.m 津波 「主語」

pouvait プウエ 3 単半 < pouvoir プウワール v.t (+不定詞) ～することが出来る

détruire テトリエール v.t 破壊する、壊す

→ pouvait détruire 破壊することができた 「動詞句」

une énorme digue エヌ・エノルム・ディク n.f 巨大な堤防 「目的語 : détruire」

et エ conj. そして、それから

escalader エスカデ v.t よじ登る、乗り越える 「動詞」

スーパー防波堤計画は 200 年に一度の大津波を想定して進行中だが、完成までに 400 年かかる」とされている。

Le super-digue plan est en cours pour défendre la ville contre énorme tsunami qui arrive une fois par deux cent ans, mais il a besoin de quatre cent ans pour achever.

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」, mais 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
Le super-digue plan ル・シーペル・ディグ・プラン n.m スーパー堤防計画 「主語」
est エ 3 単現 < être エートル v.i 〜である 「動詞」
en cours オン・クール adj. 進行中の 「補語」
pour défendre la ville プール・デフンドレ・ラル・ヴィエイユ adv. 町を守るために 「副詞句」
contre énorme tsunami コントル・エノルム・ツナミ adv. 巨大な津波に対して 「副詞句」
qui キ pron. 関係代名詞（先行詞は tsunami）〜するところの：形容詞節
arrive アリヴ 3 単現 < arriver v.i 起こる、発生する 「動詞」
une fois par deux cent ans エヌ・フォア・パー・ドゥ・サンタン adv. 200 年に一度 「副詞句: arrive」
mais メ conj. しかし、だが
il イル pron それ（plan の代用） 「主語」
a ア 3 単現 < avoir アヴァール v.t 持つ 「動詞」
besoin de quatre cent ans ブーズ・ワン・ドゥ・クワトル・サンタン n.m 400 年の必要 「目的語」
pour achever プール・アチュヴェ adv. 完成するために 「副詞句」

これでは建設中に 2 度も堤防が破壊されることになるので、計画が破綻している。

Ça représente que le digue sera détruit deux fois en construction, par conséquent le plan est contradictoire.

「主語」「動詞」「目的語」, par conséquent 「主語」「動詞」「補語」
Ça サ pron この事、前文の内容 「主語」
représente ルプレザンテ 3 単現 < représenter ルプレザンテ v.t 表す 「動詞」
que ク conj. （名詞節を導く）〜ということ：représente の目的語
le digue ル・ディグ n.m 堤防 「主語」
sera スラ 3 単未 < être エートル 助動詞（+p.p 受動態を作る）
détruit デトリュイ p.p < détruire デトリュイール v.t 破壊する、壊す
→ sera détruit 破壊されるだろう（受動・未来） 「動詞句」
deux fois en construction ドゥ・フォア・オン・コンストラクション adv. 建設中に二度 「副詞句」
par conséquent パール・コンセコン conj. したがって、それゆえ
le plan ル・プラン n.m 計画 「主語」
est エ 3 単現 < être エートル v.i 〜である 「動詞」
contradictoire コントラディクトワール adj. 矛盾した 「補語」

住居を高台に移動するなど、別の計画が必要と思われる。

Un autre plan est nécessaire, par exemple on déplace la habitation à la hauteur.

「主語」「動詞」「補語」, 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Un autre plan アン・オートル・プラン n.m 別の計画 「主語」

est エ 3 単現 < être エートル v.i 〜である 「動詞」

nécessaire ネセール adj. 必要な 「補語」

par exemple パール・エクザンプル adv. 例えば 「副詞句」

on オン pron 人、誰か 「主語」

déplace テプラス 3 単現 < déplacer v.t 移動させる 「動詞」

la habitation ラ・アビタシオン n.f 住居 「目的語」

à la hauteur ア・ラ・オートール adv. 高台へ 「副詞句」

16/09/2012 日曜日 曇り

dimanche 16 (seize セーズ) septembre 2012 couvert

今日はイタリア語とスペイン語で日記を書くために参考書を2冊買った。

Aujourd'hui j'ai acheté 2 (deux) livres à consulter pour tenir un journal en italien et en espagnol. 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Aujourd'hui オジユルトゥイ adv. 今日 「副詞」

ai acheté エ・アシュテ 1 単現・完了形 買った 「動詞句」

2 livres à consulter トゥ・リーヴル・サ・コンシルテ n.m pl. 2 冊の参考書 「目的語」

pour tenir un journal en italien et en espagnol

プール・トゥニール・アン・ジユルナル・オニタリアン・エ・オネスパギョール

adv. イタリア語とスペイン語で日記をつけるために 「副詞句：acheté」

フランス語とドイツ語と英語は適当な参考書を見つけられなかったので、文法書を見ながら日記を書くことにする。

Je n'ai pas pu trouver un livre convenable pour français, allemand et anglais, donc je tiendrai un journal avec chaque livre de grammaire.

「主語」「動詞句」「目的語」, donc 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

n'ai pas pu trouver ネ・ピユトルゥエ 1 単現・完了形・否定 見つけれなかった 「動詞句」

un livre convenable アン・リーヴル・コンヴァナブル n.m ふさわしい本

pour français, allemand et anglais プール・フロンセ・アルモン・エ・オングレ

adj. フランス語、ドイツ語そして英語用の

→ un livre convenable pour français, allemand et anglais 「目的語」

tiendrai ティアントレ 1 単未・意志未来 < tenir v.t (日記を) つける 「動詞」

un journal アン・ジユルナル n.m 日記 「目的語」

avec chaque livre de grammaire アウ・エツキ・シャッキ・リヴァルトゥ・グラメル

adv. それぞれの文法書を使って 「副詞句：tiendrai」

2 週間の間、風邪のために喉が痛い。

J'ai mal à la gorge par le rhume pendant deux semaines.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

ai エ 1 単現 < avoir v.t (痛みなどが) ある 「動詞」

mal à la gorge マ・ラ・ゴルジュ n.m 喉の辺りに痛みを 「目的語」

par le rhume パール・リューム adv. 風邪のために

pendant deux semaines ホントン・トゥ・スメヌ adv. 2 週間

→ par le rhume pendant deux semaines 風邪で2週間 「副詞句：ai」

薬もほとんど効き目がない。

Le médicament n'agit rien.

「主語」「動詞句」

Le médicament ル・メディカモン n.m 薬

「主語」

n'agit rien ナジ・リアン 3 単現・否定 < agir v.i 効く

「動詞句」

今朝は痰が緑色だったが、先ほど白っぽく変わった。

Ce matin la couleur de flegme était verte, mais cela changeait à blanc à l'instant.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」, mais 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

Ce matin ス・マタン adv. 今日

「副詞句 : était」

la couleur de flegme ラ・クレール・ドゥ・フレグム n.f 痰の色

「主語」

était エテ 3 単過 < être v.i 〜である

「動詞」

verte ヴェルトゥ adj. 緑の、緑色の

「補語」

mais 、エ conj. しかし

cela スラ pron それ (痰の色の代用)

「主語」

changeait ションジエ 3 単半 < changer v.i 変わる

「動詞」

à blanc ア・ブロン adv. 白に

「補語」

à l'instant ア・ランストン adv. 先程

「副詞句 : changeait」

先週パソコンを購入した。

J'ai acheté un ordinateur la semaine dernière.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

ai acheté エ・アシュテ 1 単現・完了形 買った

「動詞句」

un ordinateur アン・オルテイナトゥール n.m パソコン

「目的語」

la semaine dernière ラ・スメヌ・デルニエール adv. 先週

「副詞句 : acheté」

今日、理にインターネットの設定をしてもらった。

Aujourd'hui j'ai fait ajuster Osamu pour Internet.

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Aujourd'hui オジュルトゥイ adv. 今日

「副詞」

ai fait ajuster エ・フェ・アジステ 1 単現・完了形・使役 設定してもらった

「動詞句」

Osamu オサム n. 理に

「間接目的語」

pour Internet プール・アンテルネット adv. インターネット用に

「副詞句 : ajuster」

パソコンと一緒に購入した Office 2010 は自分でインストールした。

J'ai tout seul installé Office 2010 que j'ai acheté avec l'ordinateur.

「主語」「動詞句」「目的語」

ai tout seul installé エ・トゥ・スル・インスタレ 1 単現・完了形 一人でインストールした「動詞句」

Office 2010 que j'ai acheté avec l'ordinateur

オフィス・ヴァンテ・イス・ク・ジェ・アシェ・アヴェ・エキ・ロルテ・イナトゥール

n. パソコンと一緒に買った Office 2010 を

「目的語」

これまで使っていたのは Office 2000 なので、画面と操作が大きく変化したと感ずる。

J'ai utilisé Office 2000, donc je sent que l'écran et l'opération de logiciel sont bien changés.

「主語」「動詞句」「目的語」, donc 「主語」「動詞」「目的語」

ai utilisé エ・イテイレ 1 単現・完了形 使っていた

「動詞句」

Office 2000 オフィス・ヴァンテ・イス n. Office 2010 を

「目的語」

donc ドンキ conj. (節の初めではドンキ) それゆえ、だから

sent ソン 1 単現 < sentir ソンティール v.t 感じる

「動詞」

que ク conj. ～ということ、sent の「目的語」になる名詞節を導く

l'écran et l'opération de logiciel レクロン・エ・ロペラシヨ。ド・ロジシェル

n. pl. ソフトウェアの画面と操作

「主語」

sont bien changés ソン・ビアン・シヨンジエ

3 複現・完了形

大きく変わった

「動詞句」

→ que l'écran et l'opération de logiciel sont bien changés

n. ソフトウェアの画面と操作が大きく変わったという事を

「目的語」

17/09/2012 月曜日 曇り

lundi 17 (dix-sept ディセツト) septembre 2012 couvert

朝から、普段使用するソフトウェアをインストールした。

Ce matin j'ai installé beaucoup de logiciels que j'utilise toujours.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

Ce matin ス・マタン adv. 今朝

「副詞」

ai installé エ・アンスタレ 1 単現・完了形 インストールした

「動詞句」

beaucoup de logiciels ボク・ド・ウ・ロジシェル n.m pl. 沢山のソフトウェア

que j'utilise toujours ク・ジユティリス・トウジユール adj. いつも使用する「形容詞節 : logiciels」

→ beaucoup de logiciels que j'utilise toujours

いつも使用する沢山のソフトウェアを

「目的語」

30 本のソフトウェアリストを作成してから、インストールを開始した。

Je dressais une liste des 30 (trente) logiciels, puis je commençais à installer.

「主語」「動詞」「目的語」, puis 「主語」「動詞句」

dressais ドレッセ 1 単半 < dresser v.t 作成する、こしらえる 「動詞」

une liste des 30 logiciels エヌ・リスト・デ・トロント・ロジシェル

n.f ソフトウェア 30 本のリスト 「目的語」

puis ピュイ adv. それから、次に

commençais à installer コモンセ・ア・インストル 1 単半 インストールを開始した 「動詞句」

18 時間かかった。

Il fallait 18 (dix huit) heures.

「Il 形式主語」「動詞」「主語」

fallait ファレ 3 単半 < falloir ファルワール v.t (Il faut + 名詞) 〜が必要だ、〜かかる 「動詞」

18 heures デイジューイトワール n. 18 時間 「主語」

注意 : Il me(te, lui,...) faut + 名詞、私 (君、彼 (女)) には〜が必要だ

Windows Vista(32bit)から Windows-7(64bit)に代わったので、インストールできないソフトがいくつかあった。

Comme j'ai changé Windows Vista(32bit) à Windows-7(64bit), quelques logiciels ne pouvaient pas être installé.

Comme 「主語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」, 「主語」「動詞句」

Comme コム conj. (理由) 〜なので

ai changé エ・ションジエ 1 単現・完了形 代えた 「動詞句」

Windows Vista(32bit) ウイントゥズ・ヴァイスタ・トロントゥ・トゥ

n. Windows Vista(32bit) 「直接目的語」

à Windows-7(64bit) ア・ウイントゥズ・セツ・スワソントクワトル

adv. Windows-7(64bit)に 「副詞句」

quelques logiciels ケルク・ロジシェル n. いくつかのソフトウェア 「主語」

ne pouvaient pas être installé ヌ・プヴァエ・パセートル・アンストル

3 複半・受動・否定 インストールされなかった 「動詞句」

大抵はメーカーのホームページから 64bit 版のバージョンをダウンロードすることで解決できた。

Mais j'ai pu installer presque tous logiciels de édition 64bit que j'ai téléchargé de le site de fabrique de chaque logiciel.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」「形容詞節」

Mais メ conj. しかし、だが

ai pu installer エ・ピュ・アンスタレ 1 単現・完了形 インストールできた 「動詞句」
presque tous logiciels de édition 64bit プレスク・トゥ・ロジシェル・トゥ・エディション・スワソントキヤトル・ビット
n. pl. ソフトウェアほとんどの 64bit 版を 「目的語」
ai téléchargé エ・テレシャルゼ 1 単現・完了形 ダウンロードした 「動詞句」
de le site de fabrique de chaque logiciel トゥ・ル・シート・トゥ・ファブリキ・トゥ・シャキ・ロジシェル
adv. 各ソフトウェア販売会社のホームページから 「副詞句」
→ que j'ai téléchargé de le site de fabrique de chaque logiciel
各ソフトウェア販売会社のホームページからダウンロードした 「形容詞節 : logiciels」

しかし acrobat-8.0 と photoshop-cs はインストールすることができなかった。

Mais je n'ai pas pu installer acrobat-8.0 et photoshop-cs.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし、だが

n'ai pas pu installer ネ・パ・ピュ・アンスタレ 1 単現。完了形・完了形
インストールできなかった 「動詞句」

acrobat-8.0 et photoshop-cs アクロバット・エイット・エ・フォトショッパ・セエス
n. acrobat-8.0 と photoshop-cs を 「目的語」

優先順位から考えて、まず acrobat-X を購入する。

En considération d'ordre de priorité, j'achèterai acrobat-X d'abord.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

En considération de ... オン・コンシデラシオン・トゥ adv. ～を考慮して

ordre de priorité オルトゥル・トゥ・プリオリテ n.m 優先順位

→ En considération d'ordre de priorité 優先順位を考えて 「副詞句」

achèterai アシェートレ 1 単未 < acheter v.t 買う 「動詞」

acrobat-X アクロバット・テイイス n. acrobat-X を 「目的語」

d'abord タボール adv. まず、最初に、何よりも 「副詞句」

18/09/2012 火曜日 晴れ

mardi 18 (dix-huit ディジュイット) septembre 2012 beau temps

Word 2010、Excel 2010 それぞれの全機能を説明した技術参考書を 2 冊購入した。

J'ai acheté deux livres de technique à consulter qui expliquent toutes fonctions de Word 2010 et Excel 2010.

「主語」「動詞句」「目的語」「形容詞節」

ai acheté エ・アシェテ 1 単現・完了形 買った 「動詞句」

deux livres de technique à consulter トゥ・リヴル・トゥ・テクニキ・ア・コンシルテ

n.m pl. 技術の参考書を 2 冊 「目的語」
qui キ pron (関係代名詞) livres を説明する形容詞節を導く
expliquent エクスプリク 3 複現 < expliquer v.t 説明する 「動詞」
toutes fonctions de Word 2010 et Excel 2010
トートゥ・フォンクシヨ・ドゥ・ワート・ドゥ・ミルデイス・エ・エクセル・ドゥ・ミルデイス
n. Word 2010 と Excel 2010 の全機能を 「目的語」
→ Word 2010 と Excel 2010 の全機能を説明した 「形容詞節 : livres」

合計で 6000 円以上と高額だった。

Ça coûtait plus de 6000 (six mille) yens. 「主語」「動詞」「補語」
Ça サ pron それ、形式主語 「主語」
coûtait ケ 3 単半 < coûter v.i 値段が～である
plus de 6000 yens プリュ・ドゥ・シスミル・イエン n. 6000 円以上 「補語」

Excel 2010 では表の内容を PDF に変換する機能が追加されているが、キメ細かな変換をするには acrobat-X が必要である。

La nouvelle fonction de Excel 2010 peut transformer une table en un fichier de PDF, mais j'ai besoin d'acrobat-X pour transformer avec attention.

「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」
, mais 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
La nouvelle fonction de Excel 2010 ラ・ヌヴ・エル・フォンクシヨ・ドゥ・エクセル・ドゥ・ミルデイス
n.f Excel 2010 の新機能 「主語」
peut transformer プ・トランスフォルメ 1 単現 変換できる 「動詞句」
une table ユンス・タブル n.f 表データを 「直接目的語」
en un fichier de PDF オン・アン・フィシェ・ドゥ・ヘ・デ・エフ
adv. PDF (形式) ファイルに 「間接目的語」
ai エ 1 単現 < avoir v.t 持つ、ある 「動詞」
besoin d'acrobat-X ブズワ・ン・ダクロバット・デイス n. acrobat-X の必要性 「目的語」
pour transformer avec attention プール・トランスフォルメ・アラ・エキ・アトシヨ
adv. 注意深く変換するために 「副詞句」

カシオのラベルプリンタ TL-E20 が動作しない。

Le Casio TL-E20 qui est l'imprimante d'étiquette ne fonctionne pas.

「主語」「形容詞節」「動詞句」
Le Casio TL-E20 ル・カシオ・テ・エル・ウ・ウァン n.m カシオの TL-E20 「主語」
qui キ pron (関係代名詞) TL-E20 を説明する形容詞節を導く

l'imprimante d'étiquette ランプ・リモート・デ・チケット n.f. ラベルプリンター

→ qui est l'imprimante d'étiquette それはラベルプリンターである 「形容詞節」

ne fonctionne pas ノ・フオンクシヨヌ・パ 3 単現・否定 機能しない、動作しない 「動詞句」

AC アダプターが壊れたようだ。

La unité de source d'énergie électrique semble en panne. 「主語」「動詞」「補語」

La unité de source d'énergie électrique ラ・ユニテ・ド・ウ・スルス・デ・ネルジ・エレクトリキ

n.f. 電源ユニット 「主語」

semble ソンブル 3 単現 < sembler v.i (～のように) 思われる 「動詞」

en panne オン・パンヌ adv. 故障して 「補語」

真里は咳と痰が長く続くので病院に行ったら、肺炎および喘息と診断されて錠剤と吸入器具などをもらってきた。

Mari allait à clinique parce qu'elle a la toux et le crachat longtemps, et elle était diagnostiqué une pneumonie et un asthme. Elle est rentrée portant les comprimés et une inhalation.

「主語」「動詞」「副詞句」 parce que 「主語」「動詞」「目的語」「副詞」

, et 「主語」「動詞句」「目的語」

「主語」「動詞句」「副詞句 : rentré」

Mari マリ n. 真里 「主語」

allait アレ 3 単半 < aller v.i 行く 「動詞」

à clinique ア・クリニク n.f. 診療所に 「副詞句 : allait」

parce que パルスク conj. (理由) ～なので

a ア 3 単現 < avoir v.t 持つ、ある 「動詞」

la toux et le crachat ラ・トゥ・エ・ラ・クラシャ n. 咳と痰 「目的語」

longtemps ロントソ adv. 長い間、しばらくの間 「副詞」

et エ conj. そして、それから

était diagnostiqué エテ・デアグ・ノスティケ 3 単半・受動 診断された 「動詞句」

une pneumonie et un asthme エヌ・ニューモニー・エ・タン・アスム

n. 肺炎と喘息を 「目的語」

est rentrée エ・ロントレ 3 単現・完了形 帰ってきた 「動詞句」

portant les comprimés et une inhalation ポ・ルトソ・レ・コンプレ・エ・チュヌ・イナラシヨ

adv. 錠剤と吸入器を持って 「副詞句 : rentré」

あと 2 日間通院すると云うので、明日は一緒に行って自分も診察してもらうことにした。

Parce qu'elle a besoin d'aller à clinique deux jours encore, ie là irai à la consultation avec Mari demain.

Parce que 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「副詞」「動詞句」「副詞句」
parce que パルスク conj. (理由) ~なので
a besoin d'aller ア・ブズワ・ダレ 3 単現 いかなければならない 「動詞句」
à clinique ア・クリニキ n.f 診療所に
deux jours encore トゥ・ジュール・ゾンコール adv. さらに二日
→ à clinique deux jours encore 診療所にさらに二日 「副詞句: allait」
là ラ adv. そこ (診療所) 「副詞」
irai à la consultation イレ・ア・ラ・コンシルタシヨ 1 単未 診察を受けに行く 「動詞句」
avec Mari demain アヴェ・エッキ・マリ・トゥマン adv. 明日、真里と一緒に 「副詞句」

19/09/2012 水曜日 雨のち曇り

mercredi 19 (dix neuf ディズヌフ) septembre 2012 pluie / beau temps

ミョウガの花芽が出ていたので、日除けネットを除去した。

Comme j'ai trouvé les bourgeons de gingembre japonais, j'éliminais les filets de store.

Comme 「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」
Comme コム conj. (理由) ~なので (主節の前に置かれる)
ai trouvé エ・トゥルヴエ 1 単現・完了形 見つけた 「動詞句」
les bourgeons de gingembre japonais レ・ブルジョ・ン・トゥ・ジヤンジョ・ンブル・ジヤホネ
n.m pl. ミョウガのつぼみ 「目的語」
éliminais エリミネ 1 単半 v.t 除去する、排除する 「動詞」
les filets de store レ・フレ・トゥ・ストール n.m pl. 日除けネット 「目的語」

黒いビニールシートを片付けていると、大きなスズメバチが低空飛行で近づいてきた。

Quand je rangeais les housses noirs de vinyle, une grande guêpe s'approchait de moi en voltigeant à basse altitude.

Quand 「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」
Quand コン conj. ~する時に、~したら、~する時は (いつも)
rangeais ロンジエ 1 単半 < ranger v.t 整理する、片づける、しまう 「動詞」
les housses noirs de vinyle レ・ス・ヌワール・トゥ・ヴィニール n.f pl. 黒いビニールシート 「目的語」
une grande guêpe エヌ・グロント・ゲップ n.f 大きなスズメバチ 「主語」
s'approchait サプロシェ 3 単半 < s'approcher v.pr (de ~に) 近づく 「動詞」
注意: ここでは再帰代名詞が「直接目的語」になっている。
de moi トゥ・モイ adv. 私に 「間接目的語」

en voltigeant à basse altitude オン・ウ゛ォルティシヨン・ア・バス・アルティチュト

adv. 低空飛行で (ジェロンディフ)

「副詞句 : s'approchait」

スズメバチのすきを見て車庫に逃げ込み、殺虫剤の大型スプレーをもって外にでると、スズメバチが近づいてきた。

Je me jetais dans le garage en trompant la garde d'elle, et sortais de le garage avec un grand vaporisateur d'insecticide, alors elle s'approchait de moi.

「主語」「動詞」「副詞句」, et 「動詞」「副詞句」

, 「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」

me jetais ム・ジ ユテ 1 単半 < se jeter v.pr 身を投げる、～に飛び込む

「動詞」

dans le garage トン・ル・ガラージュ adv. 車庫に

en trompant la garde d'elle adv. スズメバチの隙を見て

→ dans le garage en trompant la garde d'elle スズメバチの隙を見て車庫に 「副詞句」

et エ conj. そして

sortais ソルテ 1 単半 < sortir v.i (de から)外へ出る、離れる

「動詞」

de le garage トゥ・ル・ガラージュ adv. 車庫から

avec un grand vaporisateur d'insecticide アウ゛ェッキ・アン・グロン・ウ゛ァボ リザテール・ダンセクティシト

adv. 殺虫剤の大きな噴霧器を持って

→ de le garage avec un grand vaporisateur d'insecticide

殺虫剤の大きな噴霧器を持って車庫から

「副詞句 : sortais」

alors アール adv. するとその時

s'approchait サプ ロシェ 3 単半 < s'approcher v.pr (de ～に) 近づく

「動詞」

de moi トゥ・モイ adv. 私に

「間接目的語」

注意しながらスプレーを吹きかけると逃げて行ったが、多分どこかで死んでいると思う。

Aussitôt que je la pulvérisais d'insecticide avec atttention, elle se sauvais. Je crois que elle est morte quelque part.

Aussitôt que 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

, 「主語」「動詞」

「主語」「動詞」「目的語」

Aussitôt que オスト・ク conj. (副詞節を導く) ～するとすぐに

la ラ pron それ (une grande guêpe の代用)

「間接目的語」

pulvérisais プルヴ ェリセ 1 単半 v.t (de を) 散布する、吹きかける

「動詞」

d'insecticide ダンセクティシト n.m 殺虫剤を

「直接目的語」

avec atttention アウ゛ェッキ・アトシヨン adv. 注意して

「副詞句 : pulvérisais」

elle エル pron それ (une grande guêpe の代用)

「主語」

se sauvais ス・サヴ^ェ 3 単半 < se sauver v.pr 逃げる、逃げ去る 「動詞」
crois クワ 1 単現 < croire v.t (+que+直説法) ~だと思ふ 「動詞」
que ク conj. (名詞節を導く) ~ということ、crois の目的語になる
morte モルト adj. f. 死んだ 「補語」
quelque part ケルク・パール adv. どこかで 「副詞句」
→ que elle est morte quelque part スズメバチはどこかで死んでいるという事 「目的語」

日除けネットを片付けてから、ミョウガを 23 個とキュウリも 6 本収穫した。

Après que je rangais les filets de store, je récoltais 23 (vingt trois) bourgeons et 6 (six) concombres.
「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

Après que アプレ・ク conj. ~した後で、(副詞節を導く)

rangais ロンジ^ェ 1 単半 < ranger v.t 片づける 「動詞」

les filets de store レ・フイレ・ト^ウ・ストール n.m pl. 日除けネット 「目的語」

→ Après que je rangais les filets de store 日除けネットを片づけた後で 「副詞節」

récoltais レコレテ 1 単半 v.t 収穫する、取り入れる 「動詞」

23 bourgeons et 6 concombres ウ^ァントロワ・ブルジ^{ョン}・エ・シス・コンコンブル

n. pl. ミョウガ 23 個とキュウリ 6 本を 「目的語」

ミョウガは去年より大きく成長した。

Les bourgeons de gingembre japonais ont poussé plus grand que l'année dernière.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Les bourgeons de gingembre japonais レ・ブルジ^{ョン}・ト^ウ・ジヤンジ^{ョン}ブル・ハポネ

n.m pl. ミョウガのつぼみ 「主語」

ont poussé オン・プ^{ッセ} 3 複現・完了形 成長した 「動詞句」

注意：完了形では、一般他動詞の助動詞は「avoir」を使用する。

plus grand que l'année dernière プリ・グ^ロン・ク・ランネ・テルニエール

adv. 去年より大きく 「副詞句：poussé」

ミョウガの半分を酢漬けにした。

Je marinais la moitié des bourgeons. 「主語」 「動詞」 「目的語」

marinait マリネ v.t (漬け汁に) 漬ける、(酢に) 漬ける 「動詞」

la moitié des bourgeons ラ・ムワティエ・テ・ブルジ^{ョン} n.f つぼみの半分 「目的語」

注意：念のために、文末に dans le vinaigre トン・ル・ヴィネグル (酢に) を追加してもよい。

真里と一緒に病院に行った。

Je suis allé à la clinique avec Mari. 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」

suis allé シュイ・ザレ 1 単現・完了形 行った 「動詞」

注意：完了形では、移動や生死を表す「動詞」の助動詞は「être」を使用する。

à la clinique ア・ラ・クリニク adv. 診療所へ 「間接目的語」

avec Mari アベキ・マリ adv. 真里と 「副詞句：allé」

真里と同様に、肺炎と喘息の診断だった。

Je suis diagnostiqué une pneumonie et un asthme le même que Mari.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

suis diagnostiqué シュイ・ディアクノスティク 1 単現・受動 診断された 「動詞句」

une pneumonie et un asthme ユヌ・プノモニ・エタスム n.f 肺炎 「目的語」

le même que Mari ル・メーム・ク・マリ adv. 真里と同様に 「副詞句：diagnostiqué」

点滴を受けた。

J'ai subi une perfusion. 「主語」「動詞句」「目的語」

ai subi エ・シュビ 1 単現・完了形 受けた 「動詞句」

une perfusion ユヌ・ペルフュジヨン n.f 点滴 「目的語」

明日から2日間は点滴のために通院する。

J'ai besoin d'aller à la clinique encore deux jours.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

ai besoin d'aller エ・ブズワシ・ダレ 1 単現 行かなければならない 「動詞句」

à la clinique ア・ラ・クリニク adv. 診療所へ 「間接目的語」

encore deux jours オンコール・トゥワ・ジュール adv. さらに二日間 「副詞句：aller」

肺炎は真里よりも重症との診断だった。

Ma pneumonie était plus grave que Mari. 「主語」「動詞」「補語」

Ma pneumonie マ・プノモニ n.f 私の肺炎 「主語」

était エテ 3 単半 < être v.i ~である 「動詞」

plus grave que Mari プリュ・グラーヴ・ク・マリ adj. 真里より重症の 「補語」

終わり

終わり